明治四十年三月二十日印刷
明治四十年三月廿五日發行

非賣品

東京市京橋區南傳馬町一丁目十二番地
國書刊行會代表者
編輯兼發行者　市島謙吉

東京市京橋區新榮町五丁目三番地
印刷者　本間季男

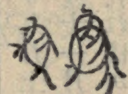
東京市京橋區新榮町五丁目三番地
印刷所　內外印刷株式會社分工場

に誤字おほくして解しがたしためたふは爲任にて實方中將の伯父小一條贈右大臣濟時の嫡男正四位下伊豫守寛徳二年月日被ニ射殺一と尊界分脉に見えたる人なり職事補任一條院條には右少辨從五位下藤爲任正暦六正十一補ニ長徳五正七從四位下一侍從右中辨正五位下と見えたりなかよりは仲賴か永賴かしりがたしといへども恐らくは永賴なるべし爲任朝臣の舍第濟時三男中納言通任卿の男參木師成ノ母ハ從二位永賴女とあるをみるに此永賴卿の女ははじめ爲任朝臣のかよはれたりしが絕てのち通任卿のかよはれけるなるべしたゝそめしはたえそめしの誤寫なるべし宮のへのうへの御そのとのあるところ誤寫脱字おほかるべしさるからにかさまの神もゆくりなく聞ゆるなるべしはじらひは耻らひなりあめにますはさすの誤字なりかさの枕詞なり式內越前國坂井郡加賀國石川郡に笥間神社あり

伴信友全集 終

黒川眞道 校訂

長亨三大歳己酉卯月十日
禰宜大夫宗保大工大藏亟宗久
氏家郷今宮大明神御社壇
御神主前下野守藤原朝臣成綱
清原朝臣綱高



國人河野守弘曰宇都宮朝綱五男氏家五郎兵衞尉公頼當地ニ城ヲ築シ時産神宇都宮明神ヲ勸請シテ鬼門ノ守護トシタルナリ祭禮ハ公頼ノ曾孫刑部少輔公宗ノ時正安二年ヨリ宇都宮ノ下知トシテ鹽谷郡廿四郷ノ被官毎歳順番ニ頭ヲ勤ムト當社祭禮録ト云フ書ニミエタリ

頭注 同人曰成綱ハ宇都宮少將成綱朝臣綱高ハ芳賀駿河守トテ當城主也

下野芳賀郡
大前神社中所安置大黑天木像



越前加賀
かさまの神

〔實方朝臣集〕七右 ためたふの辨なかよりが家にたゝそめしとしことしはかりてとて宮のへのうへの御そのはじらひたりけるけしきをみてしりうごとに「あまにますかさまの神のなかりせはふりにし中をいかてとはまし」○春村案に此うたはし詞とも

祭禮は十月下子午日より十一月上子午日まで七日の間寒川郡にうち七郷を渡御すその神輿川原田村といふに至る日は殊に群集して近國まで高名なり云々○春村謹て當社鎮座の由來を按るにふつに古書に見ゆる所なければ所〻據なしといへどもこは近隣なる宇都宮に二荒山神山鎮まりましますに競ひて小山氏にて嚴重なる新社を經營み日光の神の御魂を遷しまつれるとのみ見えたり（彼熊倉の緣起のおもぶきはさらにとるべきところなし）かく思はるゝにみつのよしあり一には日光の神を滿願權現と稱するを當社の別當滿願寺の號あり二には吾妻鏡に當社の神領を割て日光山の三昧田に付らるゝ事所〻由なくばあるべからず三には宇都宮の大祭は七月下子午日より九月上子午日にいたる當社のは十月下子午日より十一月上子午日にいたるいづれも由緒あるに似たればかく思ひよれるなりかくいふ所たがふまじくは祭神は豐城入彥命にておはしますなり（日光權現の御事は附考卷二ゝ見合はすべし）後世壬生氏にて日光の神と鹿沼に勸請して今も今宮權現とておはしますは今と同例にておのづから然るべき事のいきほひなり

下野國 大平大權現

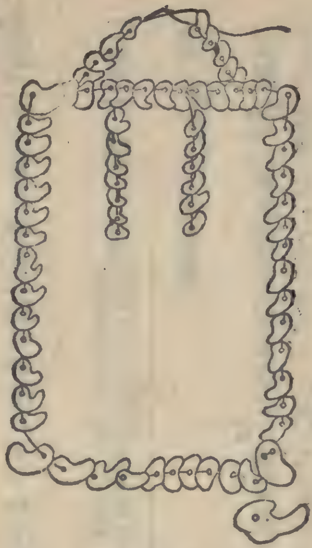
下野人河野守弘曰當社は下野國都賀郡太平山の半腹にあり別當連祥院般若敎寺天台宗の大寺なり傳記に云當山は人皇五十三代淳和天皇の勅願所にして慈覺大師の草創なり神躰は三光天子本地は虚空藏菩薩なり中興開山は贈僧正亮守觀應二年常陸國黑子東叡山に移轉して彼寺もまた中興開基と云々三光神社の額は後小松天皇の宸翰中興三世良海僧都の時明德三年壬申七月比叡山竹內御門主覺如法親王の執奏なり御門主添翰は長沼駿河守殿とありそのかみ皆川の領主にて宗恒と聞えし人なり當社社務職青木對馬が寶曆九年神社御調の家記には舊號大神社祭神天孫尊相殿天照大御神豐受大神と書上たるよしなり然らば大神社（オホミワノ）なるべし守弘按ふに勅額に三光神社とあるこそ大神社の明證ならめそは三和と三光と音近き故に浮屠氏等和光同塵の義に附會したるものなり

氏家今宮棟札（下野國鹽谷郡氏家驛馬場村ニアリ 神主船生左京）

七月十八日に旅所に御出あり　八月十八日御祭り此所は都の最中大内の祭りなれば氏子の分ほこを立て内裏へねりわたる故見物おびたゝし

椎尾八幡宮什物曲玉載崎寓漫錄後篇

長二尺三寸



經一尺三寸

野木宮

下野國都賀郡野木驛ニ有リ神領十五石別當眞言宗滿願寺社家海老沼市正［吾妻鏡］二治承五閏二廿五義廣成二喜悅之思一來二臨于朝政館之邊一先レ之朝政出二本宅一令レ引二籠于野木宮一義廣到二于彼宮前一之時朝政廻二計義一而令三人昇二于登々呂木澤地獄谷等林之梢一令レ造二時之聲一云々［又］廿五日足利又太郎忠綱雖レ令レ同二意于義廣一野木宮合戰敗北之後悔二先非一恥二後勘一潛二籠于上野國山上鄕龍奧一［同］六文治二九廿下野國寒河郡內以二田地十五町一被レ付二日光山三昧田一當郡去年雖レ被レ寄二進野木宮一於二件十五町一者可レ被レ切二改國領一之由云々［同］十二建久三九十二同年二月廿三日於二下野國野木宮邊一合戰之刻抽二軍功一畢云々［同］建仁三十十四野木宮以下諸社被レ奉二神馬一是世上無爲御報賽云々〇下野人河野守弘曰當地はもと寒川郡なりしを小山朝政が領地となりて小山庄と稱しけるより都賀郡に屬るなり驛長熊倉氏に緣起を藏す當社は人皇十六代應神天皇の皇子菟道稚郎子を齋ひ祀る往古下毛野國造故ありて彼御遺骨を守り奉り此土淺井ノ牧に來しりに川ありて船なし時に川島某筏に乘せて渡し奉る今の野渡村の筏場是なり則その所に宮を造て藏めまつる其後延曆年中坂上田村麻呂東夷征罰の時靈夢の告あるによりて身隱ノ森に移し奉ると見えたり熊倉氏は小山の次將にして熊倉十郎景宗といへるもの丶孫なりそのかみ當社の社務職なりしよし彼緣起の末に見えたり

かすイはありといへども塔婆いまだ見えず建立のぐわんもとよりありけるによりて造營を始られけり中略かの鄕宰相のあひだ寺家の佛事神事の儀式寺務のあるべき次第など委しく記しおかれて三卷の書と寶藏に納て今に傳り秩滿の後都へ歸り給て長德二年に參議に任じ寛弘六年十二月に八十五にてうせ給ふ其後神とあらはれて叢祠を廟壇の傍にひらかる萬壽寿永イ三年三月に贈正三位の加階にあつかり給けり

［系圖］○道眞―淳茂文章博士右中辨從五位下○五男也在躬文章博士

大和守輔正北野宰相殿是也

［玉海］壽永二閏十二兼光語云北野御幸之□實歟別當權別當共被レ補ニ僧都ニ云々此事未曾有也別當ハ親範入道ノ子也三十未滿之人云々又云件頭玉海作次北野社之內小神等被レ增ニ神位ニ之間輔正宣義兩人加ニ神階ニ云々此事驚奇不レ少彼兩人者今（玉海）任ニ朝庭ニ已是人臣也今祝ニ小神ニ之條氏人□案歟非ニ公家之所ニ知食ニ而被レ加ニ階級ニ者已贈位歟其由緒如何次第甚不當大略有者レ亡歟勿論云々

又十三日及レ晩大夫史隆職來談ニ世間事ニ中略又語云北野小神輔正定義神位贈位之間事未レ被レ決於レ社雖レ被レ仰ニ其由ニ未レ被ニ宣下ニ云々此事偏定長之不覺也不レ能ニ左右ニ云々

管粥神事

者社ニ管粥神事ト云フ事アリ青竹ノ筒ニ五穀ヲ入レテ神前ニ竈ヲ居テ其筒ヲ煮ルニ其煮加減ニヨリテ五穀ノウチ當年ハ何ヲ豐饒スベシト占フナリ余ガ聞タルハ三河八名郡石卷神社上野國一宮同國碓氷坂熊野社等ナリ其他ニモアマタアルベシ

御靈社 山城卅四右

［內裡雛］六十一左御靈社上の社領九十石下の社領二石當社は八所の神なり崇道天皇伊豫親王藤原夫人文屋宮田丸橘はやなり藤原廣嗣吉備大臣火雷神此八人の靈たゝりをなし給ふ故傳敎大師そうもん有八社の神とあがめ給ふ其後百一代後小松院の御宇至德元年九月十八日に八社の神に正一位さづけ給へり御祭禮は每年



［諸社根元記］賀州石河郡河內庄　金劒宮
天照太神分身應現也白山妙理權現第一皇子也　崇神天皇御宇天降垂跡給也同天皇三年三月社立仁明天皇御宇神殿破壞道澄大德造ニ營之一朱雀院承平三當社金劒奉レ成ニ三位一　圓融院永觀元年叙ニ從二位一　一條院寬弘四正一位

山城 北野宰相殿

［古今著聞集］一八左小野宰相殿は天神四世の苗裔なり圓融院の御侍讀として道の名譽ゆヽしくおはしましけり天元四年に太宰大貳に任じて同五年九月に府につきて安樂寺をしゆんれいし給けるに堂舍



及で世々受繼て皇祚他をまじへず百王守護の三十番仍末代と云どもあらたなる闘有云々
○春村又云古今神學類篇（一名本神階編 尾州藤濱晴編）卷九ニ慈覺大師如法經守護ハ十二神ニテ其後白河院御時延久五年ニ横川解脱谷ノ南樂坊阿闍梨良正三十神ヲ請ズト云コト事長クツヅカケリ往テ見ベシ

龜神

「日本紀抄」上卌右　上古ニハ鹿ノ肩ノ骨ヲ取テ占ヲシタゾ鹿ノ占デ有ゾ地神三代ニ、ギノ尊ノ降臨ノ時有二龜ノ神一名曰二太詔戸命一ト服二玄衣一而進延レ頸白二天照太神一曰鹿者知レ天而不レ知レ地龜莫レ所レ不レ知焉請獻レ甲灼(ヤイテ)レ之觀レ兆則天下之吉凶居可レ知矣

妙見八星神

「諸社根元記」妙見八星神　太白星ト云々　一説北辰也口傳　此星ハ太山府君之由賀茂在入道演説也然者神道ヨリ神君ヲ案ズルニ國常立尊也太山府君ハ國常立ニテマシマセバ也「又」云永觀二年甲申三月卅日慈光僧正始奉二崇敬一御社建立也鶴岡八幡宮依二御告一御勸請也云々　永萬元年乙酉七月十八日棟上　安元二年丙申六月三日　宣旨被レ下二權中納言一　治承元年丁酉九月七日武内社建立遷宮同二年戊戌十一月十八日若宮建立遷宮　五社長棟（稻荷祇園賀茂春日住吉北野大將軍造立）之同三年妙見造二立之一

金神

「諸社根元記」金神　天上御座處天ニ五方ノ帝王星內光明第一也

金劍宮

伊豫國三島大明神隨身木像縮圖



廿三日　信州
諏訪大明神　武神以來垂跡
武御名萬神　大己貴御子
廿四日　攝州西宮
廣田大明神
蛭兒
一殿住吉二殿廣田三殿八幡四殿西宮松尾五殿八祖神
廿五日　越前
氣比大明神同宇佐仲哀天皇四年戊子勸請
廿六日　常陸
氣多大明神　延喜八年八月十六日百官幣能登或近江兩國比神同名一體
大己貴神
廿七日　常陸
鹿島大明神　神代以來
武甕槌神　天兒屋根一體別名
廿八日　山城
北野大明神　天曆元六月二日鎭座
中間菅原丞相東間中將殿西間吉祥天女
廿九日　山城大原
江文大明神

妙音菩薩　垂跡不二分明一
卅日　山城
貴船大明神　弘仁九年五月鎭座
罔象女命
此記錄吉田ヨリ出大秘書也不レ可ニ他見一也
寛文六丙午臯下澣八日　日辰判

○春村案ルニ右七種ノ卅番神ハト部家ノ妄説ニテ聊モトルベキ所ナサゲニミユレドコヽニ名目ヲ記シオクハスベテ物ニ見エタル限リヲ不レ洩トテナリ其故ハ元來卅番神ト云フ事古代ニハ聞エヌ事ニテ鎌倉時代ナドヨリコナタニ作リ設ケシモノナラント思ヘバソヲ慥カニ考フベキタメナリ彼慈覺大師如法經ノ事（今昔物語）ニミユトイエドモイマダ卅番神ト云フ字面ハミエヌヲ（保元物語）ニイタリテハジメテミエタルヲ思ヘバ此等ヤ此名目ノハジメナラムナホ后日ニ考フベシ又案ルニ元亨釋書ニカノ如法經書寫ノ事ハ載タレドモ二百餘神ト稱シテ卅番神トハ記サズ思フニ是ハタ思惟スルトコロ有テナルベシ
（澁柿）明惠上人傳十五オ我朝は神の代より至レ今九十代に

十三日　同

稲荷大明神

宇賀神　保食神也

瓊々杵尊

伊弉册尊　上社　延喜八年相國時平公始建二立三箇社一

大己貴命　中社

嚴嶋　下社

十四日

住吉大明神　神功皇后御宇伐二新羅國一明年鎮座也

表筒男命

中筒男命

底筒男命

神功皇后

十五日　山城

祇園大明神　貞觀十八年勸請

素戔嗚尊　中ノ大政所午頭天王

稲田姫　西ノ間少將井婆利采女

沙竭羅龍王　東間蛇毒氣神

十六日

赤山大明神　慈覺大師入唐時天台山ノ麓ニ座ス歸朝後叡山西坂麓ニ勸請

素戔嗚尊

十七日　近江

建部大明神　貞觀五年授二神位一

大物主神　三輪ト同躰大己貴命

十八日　同

三上大明神　養老年中勸請

興玉神　猿田彦

十九日　同

兵主大明神

八千戈神

廿日　同

苗鹿大明神　垂跡本縁未レ知

廿一日　備中

吉備大明神　孝靈天皇第五王子勸請年記未レ知

吉備津彦命　內寶斷呪劔

廿二日

熱田大明神　景行天皇御宇始立レ社

草薙劔　八劔大宮

日本武尊

宮酢姫　氷上

石清水八幡大菩薩
　應神天皇
　神功皇后
　玉依姫
三日　山城　貞觀元年九月十九日鎭座
加茂大明神
　下社大已貴命
　上社別雷神　天武天皇六年二月營二社壇一
四日　山城
松尾大明神
　大山咋命
　大已貴命　市杵嶋姫大寶元年奉請松尾始造二神殿一
五日　大和
大原野大明神　仁壽元年二月勸請
同　春日社
六日　大和
春日大明神
　第一殿武甕槌神　神護景雲二年正月九日
　第二殿經津主神　三笠山垂迹同年十一月
　第三殿天兒屋根神　九日寅日寅時造二御殿一
　第四殿天照大神
七日　山城
平野大明　延暦十年立レ社

第一日本武尊　源氏
第二仲哀天皇　平家
第三仁德天皇　高階
第四天照太神　大江
第五天穗日命　菅
八日　近江
大比叡大明神　天智天皇卽位元年鎭座
大己貴命　大宮
九日　同
小比叡大明神　垂跡未勘
國常立尊　紹二事代主神
十日　同
聖眞子大明神　天武天皇元年垂跡
八幡大菩薩　應神天皇
十一日　同
客人大明神　桓武天皇延暦元年降臨
伊弉册尊
十二日　同
八王子大明神　崇神天皇元年八人之皇子現天降故號二八王子一
國狹槌尊

祠堂於彼地一奉レ授二神號一謂二北野天滿天神一貞觀
六年以降經二八十餘年星霜一者也

[瑚璉集]下三十二神降臨事

(舊事本紀)曰高皇產靈尊勅曰若有下葦原中國之敵拒二神人一而待レ戰者上能爲二方便一誘欺防拒而令二治平一三十二人並爲二防衛一天降供奉矣

(麗氣府錄)曰注三十二菩薩

天香鼻山命金剛鈎　天鈿賣語命金剛薩埵
天太玉命金剛玉　天兒屋命金剛愛
天櫛玉命金剛喜　天道根命金剛索上首
天神玉命金剛寶　天椹野命金剛光
天糠戶命金剛幢　天明玉命金剛咲
天村雲命金剛鏁上首　天背男命金剛法
天御蔭命金剛利　天造日女命金剛目
天世手命金剛語　天斗麻彌命金剛鈴上首
天皆斗女命金剛業　天神魂命金剛奉
天三降命金剛喜　天日神命金剛鬘
天乳速命金剛歌　天八坂彥命金剛舞
天活玉命火天　天小彥根命水天
天湯彥命風天　天表春命地天
天下春命金剛燒香菩薩　天月神命金剛花
天伊佐布魂命金剛燈　天伊岐志邇保命金剛塗香

天降　已上

豐受皇太神宮御降臨三十二神

天潛尾命　地潛尾命　水潛尾命
火潛尾命　木潛尾命　土潛尾命
金潛尾命　石潛尾命　天日尾命
天月尾命　天子尾命　地子尾命
天破堵命　天破泣命　天破神命
天破仁命　國加利命　國加富命
國加國命　國加賀命　愛鬘尾命
愛護尾命　解法尾命　學耳尾命
上法神命　下法神命　中言神尊
天鏡神尊　萬々神尊　已上三十二神

日蓮宗秘書內裏三十番神

朔日　伊勢國

伊勢大明神
内宮天照太神　垂仁天皇廿五年鎭座
外宮國常立尊　雄略天皇十七年鎭座

二日　山城國

初四日　氣比　　初五日　氣多
初六日　鹿嶋　　初七日　北野
初八日　大原江文　初九日　貴布禰
閏月備之前中後（本ノマヽ）三吉備津一旬充ニ守護一之但補ニ
毎年六宵之闕一云爾當日當番中番神等企參詣神
不ㇾ在焉是故强不ㇾ秘ㇾ之云々　以上
此外番神有ニ二種一一日傳敎大師與ニ桓武皇帝一草ニ
創日枝之山一時誓ニ約于神一而逐日令ㇾ鎭ニ守五神一
守護所依經云爾因之號爲ニ法花五番神一番者直
日番也二日慈覺大師於ニ楞嚴峰松洞一如法經始行
之時毎日有ニ化現之瑞一號又曰ニ番神一云々

第六法華守護卅番神

大比叡 毎月自ニ朔日一至ニ六日一守護之　小比叡 自ニ七日一至ニ十二日一
聖眞子 自ニ十三日一至ニ十八日一　客人 自ニ十九日一至ニ廿四日一
八王子 自ニ廿五日一至ニ晦日一
右件五神山門鎭座靈神護靈神也因ㇾ玆令ニ五神
守ニ護此經一云々閏月者爲ニ諸末社之役一云々

第七如法經守護卅番神

初一日　伊勢　　初二日　石清水
初三日　賀茂　　初四日　松尾
初五日　平野　　初六日　稻荷
初七日　春日　　初八日　大比叡
初九日　小比叡　初十日　聖眞子
十一日　客人　　十二日　八王子
十三日　大原野　十四日　大神
十五日　石上　　十六日　大倭
十七日　廣田　　十八日　龍田
十九日　住吉　　二十日　鹿島
廿一日　赤山　　廿二日　健部
廿三日　三上　　廿四日　兵主
廿五日　苗荷　　廿六日　吉備
廿七日　熱田　　廿八日　諏訪
廿九日　廣瀨　　卅日　氣比
凡人以ニ禁闕守護番神一爲ニ法花守護一又以ニ法花
守護一爲ニ如法經守護一此曾无ニ蹤跡一抑慈覺大師者
貞觀六年甲申正月十四日入滅是後經ニ數年一垂跡
神多加ニ此番神中一於ニ祇園社一者貞觀十八年丙午
始勸ニ請之一比野天神者延喜三年癸亥二月廿五日
於ニ大宰府一薨大師入滅之後經ニ四十年一也然天曆
元年丁未六月九日影ニ向於右近馬場一是故改建ニ

六太白神第七澤神第八天神　以上乃八神於波高雄麓鳴瀧川邊仁封之天自ニ西朱雀一至ニ西洞院一而九町之內於擁護之

後玄武八神

第一亥神第二壬神第三火神第四子神第五癸神第六海神第七龍神第八山神　以上乃八神於波紀森邊仁封之天自ニ一條ニ至ニ綾小路ニ而廿町之內於擁護之

第四吾國守護三十番神

第一天神與地神　第二日高見與太元宮イ
第三陰神與陽神　第四內宮源與外空宗
第五狹槌與豐斟渟　第六泥土煮與沙土煮
第七大戶道與笘邊　第八面足與惶根
第九忍穗耳與瓊々杵　第十火々出見與葺不合
第十一伊弉諾與伊弉冊　第十二日前與國懸
第十三淡路胞與淡路洲　第十四伊豫二名與筑紫洲
第十五隱岐洲與佐渡洲　第十六越洲與大洲
第十七對馬與壹岐　第十八潮沫與水沫
第十九海原與野原　第廿川神與山神
第廿一野槌與句々廼馳　第廿二脚摩乳與手摩乳
第廿三思兼與手力雄　第廿四照日與月夜
第廿五杵築與八重垣　第廿六兒屋根與天種子
第廿七天御蔭與地御蔭　第廿八織津與秋津
第廿九氣吹戶與速佐須良　第卅夜司與晝司

高天原仁共誓曰他國與利吾國止他人與利吾人止故天長久地久久君樂人安異賊襲來之恐毛无久雜々罪事咎祟毛无志祝々他不傳云々

第五禁闕守講三十番神

初十日　伊勢　十一日　石淸水
十二日　賀茂　十三日　松尾
十四日　大原野　十五日　春日
十六日　平野　十七日　大比叡
十八日　小比叡　十九日　聖眞子
二十日　客人　廿一日　八王子
廿二日　稻荷　廿三日　住吉
廿四日　祇園　廿五日　赤山山[illegible]
廿六日　健部　廿七日　三上
廿八日　兵主　廿九日　苗荷
三十日　吉備津　初一日　尾張熱田
初二日　諏方上下　初三日　廣田

第五星宿神　此云澄水吉見神　第六張宿神此云
片山野神
第七巽宿神　此云神高見神　第八軫宿神此云時
主天兒神
右南方八神
右深秘家傳之訣也容易不レ可レ傳云々
第二内侍所三十番神
第一離火神　第二大日靈貴尊
第三日前尊　天懸　第四國懸尊コクケントイフ所ノ人ハ云ナリ
第五坤地神　或國津母尊　第六伊弉冊尊
第七香久山尊　第八三輪高見尊
第九兌澤尊　或少女尊　第十宇多魂尊
第十一坤山雄取子尊　第十二鳥籠尊
第十三乾天尊　或天津祖尊　第十四伊弉諾尊
第十五佐種原尊　第十六心太尊
第十七坎水尊　或河主神　第十八國常立尊
第十九國狹槌尊　第二十豐斟渟尊
第廿一艮山尊　或山主尊　第廿二泥土煮尊
第廿三大戸道尊　第廿四素戔烏尊
第廿五震雷神尊　或雷主尊　第廿六天津彥々火
瓊々杵尊
第廿七彥火々出見尊　第廿八鸕鷀草葺不合尊
第廿九巽風尊　第卅沙土煮尊
第卅一大苫邊尊　第卅二惶根尊
以上所レ奉レ勸ニ請内侍所ニ者三十番神也上古不レ秘レ之自ニ延喜聖代ニ以來平人不ニ傳授ニ之神儒之家訣勿レ令ニ他見ニ之勿愼怠云々
第三王城守護三十番神
左青龍八神
第一寅神第二甲神第三日神第四卯神第五乙神第六辰神第七雷神第八風神以上乃八神平波將軍塚内仁封レ之天自ニ東朱雀ニ至レ町而九町之内於擁護之
前朱雀八神
第一巳神第二丙神第三火神第四午神第五丁神第六河伯神第七己神第八地神　以上乃八神於波男山清水乃畔仁封レ之之天自ニ九條ニ至ニ五條坊門ニ而十八町之内於擁護之
右白虎八神
第一申神第二庚神第三月神第四酉神第五辛神第

野　八日江文　九日貴布禰　十日伊勢　十一日八幡　十二日賀茂　十三日松尾　十四日大
原野　十五日春日　十六日平野　十七日大比叡　十八日小比叡　十九日聖眞子　二十日客
人　廿一日八王子　廿二日稻荷　廿三日住吉　廿四日祇園　廿五日赤山　廿六日建部　廿七日三
上　廿八日兵主　廿九日苗鹿　三十日吉備津

三十番神之由雖レ在レ之惣而神道不レ用之間先年吉田二品兼倶卿勸請之時天孫降臨供奉三十二神守護被二勸請一云々仍今度又如レ此

七種番神

第一天地擁護三十番神

第一歳星神木 此云木祖句々迺馳　第二角宿神木 此云草祖野槌

第三元宿神火 此云小鳥神　第四氐宿神火 此云大鳥神

第五房宿神水 此云神雷神　第六心宿神火 此云神風神

第七尾宿神火 此云飛鳥神　第八箕宿神金 此云浮船神

右東宮八神

第一辰星神水 此云川神　第二斗宿神土 此云下津神

第三牛宿神此云大和山神　第四女宿神木 此云磐根神

第五虚宿神土 此云萬雄神　第六危宿神土 此云海原神

第七室宿神木 此云忌部神　第八壁宿神此云齋幡多尾神

右北宮八神

第一太白神此云金祖神　第二奎宿神木 此云澤邊水神

第三婁宿神火 此云烏野田神　第四胃宿神金 此云瀧祭神

第五昴宿神此云膳雄神　第六畢宿神土 此云浦上神

第七觜宿神水 此云酒守神　第八參宿神此云時守神

右西方八神

第一熒惑星神此云火神　第二井宿神水 此云井筒守神

第三鬼宿神木 此云彥魂主神　第四柳宿神火 此云道祖兒玉神

補叡岳要記下 如法堂條十二左 延久五年勸請日本國卅神爲ニ如法堂守護神一 楞嚴院長吏阿闍梨良正 又 慈覺大師如法經事十二左 天長八年九月十五日榲穴中草庵堀ニ請當山座主義眞阿闍梨一遂ニ十種供養一云々天竺第三之佛事凡天竺震旦惣无レ有ニ如レ此甚深善根一以ニ國內有レ勢有レ德神明三十箇所一爲ニ守護神一列ニ結番一定レ日中略貞觀六年正月十四日壹道謹記レ之

○以上延久五年勸請ノコトアリ後日可レ加

「元亨釋書」十六 十右 釋淨藏傳云藏夏ニ橫河如法堂一一夕旋レ庭俄有ニ異人一自ニ西方一來藏問誰ゾ答曰我是賀茂明神也昔慈覺大師令ニ京畿二百餘神一番護中此經上今日我之直也庭下有レ穢我欲レ責レ之而師之所レ爲也我不レ能ニ如何一便召ニ神人一穿ニ去其地一方五尺餘云云「神祇正宗」人皇七十二代白河院延長五癸丑年阿闍梨傳燈大法師釋良正爲ニ如法經守護一請ニ三十番神ニ「類聚名物考」神祇部十七 左 三十番神近代法華宗日蓮の派にて此名みゆもとは比叡山如法經の守護神の卅番神を我に我物として日本國の諸神法華をもて勸請せざるは悉く天上し給ふなど日蓮の書にあるよし禁斷義十卷に云日蓮の時代に卅番神を勸請したる事はなし今も關東の日蓮宗の寺には多分番神を勸請せず京都に於て日蓮滅後に日蓮黨談合して卅番神を立と見えたりいはんや如法經と云は慈覺大師の御所行なりしかるに日蓮ふかく慈覺大 脱歟 師を誹謗し然も如法經守護の番神を取て己が家の鎭守とする事豈盜たるにあらずやともみえたり又案るに今比番神問答といふ書を得て見るに卜部兼俱以下日蓮宗の僧徒との問答あり委しくは事長ければ此にしるさずその書をみて知るべし「日本紀抄」下卅左 大嘗會條云其國郡ト定ノヲコニリハ昨日五人ノ頭ヲ下シマイラセラレタゾ根本ハ三十二神ヂヤ是ガ內侍所ニ有ゾ人王四十六代圓融院ノ時クワンジヤウゾ是ガ卅番神ゾ北野天神ハ末代ノ神デ御座アル程ニノゾカレタゾ夫カラ次デガ有テ入タゾ五十三代淳和天王ノ天長年中ゾ慈覺大師ノ十二神ヲ入ラレタゾ子カラ始ルゾ慈覺大師入滅ノ後白河院ノ延久五年ニ 本ノマヽ 如法經守護ノ爲ニハ十日カラ始リ候中略內裏ノハ日カウツテ候一日カラ伊勢大明神カラデ候ゾ「諸社根元記」云三十番神 悉以正一位神也神宮幷祇園無ニ御位一記一 一日熱田 二日諏訪 三日廣田 四日氣比 五日氣多 六日鹿島 七日北

行ニ新羅祭一とみゆ新羅明神は叡山の麓にあり

由伎明神

[諸社根元記]由伎明神鞍馬寺天慶年中勸ニ請之一後宇多延慶元五十七前左大辨宰相宣房朝臣爲ニ奉行一被ニ仰下一(者イ)云件神有ニ尊崇一事可レ被レ授ニ位記一(・五イ)本位可ニ注申一也本位不レ詳五條天神正治二四廿・被レ奉レ授ニ正五下一貽本位不レ詳以嘉祥二韓神位記被レ授之由注進・(之)以レ之案・(之)件明神疫神歟 紫野今宮韓神五條天神等同體也[徒然草]文段抄六 二百三段 勅勘の所に靫かくる作法今はたえてしれる人なし主上の御悩大方世中のさわがしき時は五條の天神に靫をかけらる鞍馬にゆぎの明神といふも靫かけられたりける神なり 注云九折の中間に有所の氏神と也[山城名勝志]十一 五十 左九 坐大門上二町許九月九日祭レ之

粟田宮

[諸社根元記]粟田宮崇德院宇治惡左府賴長六條判官爲義元曆元四十五勸請 建久四八月十五己酉始祭自今以後可レ用ニ今月中酉一由被レ下ニ宣旨ニ了被レ立ニ內藏寮御幣宣命一上卿民部卿經房卿使內藏助惟宗久義應永七九九當社神供御精進也○山城名勝志卷十三 卌八右 已下ニ諸書ヲ引テ委シク註セリ往テミルベシ

鞠神

[諸社根元記]鞠神中御門西洞院東頰滋野井小社三座是鞠神也此地成道卿舊跡 一計案林 二春陽花 三樹尊 形猿額ニ金色ノ文字ニテ貌上神名ナ顯ス 申日以ニ紀氏人一祭レ之故年始鞠始ニテ用ニ件日一

三十番神

[古本今昔物語]十一 廿七段 亦大師(慈覺)此ノ山(叡山)ニ大ナル楃有リ其木ノ空ニ住シテ如法ニ精進シテ法華經ヲ書給フ既ニ書畢テ後堂ヲ起テ此ノ經ヲ安置シ給如法經是ニ始ル其貽ニ此ノ朝ノ諸ノ止事无キ神皆誓ヲ發テ番ヲ結テ此ノ經ヲ守リ奉ラムト誓ヘリ于今其經堂ニ在マス云々○春村案ニコレ三十番神ノモノニ見エタルハジメナルベシ[保元物語]一 十三 吾國ハ云々依レ爲ニ神國一惣ジテハ七千餘座ノ神殊ニハ三十番神朝家ヲ守リ奉リ玉フ云々

永和四正一位（已下小書）天文九十廿九荒川三郎（又二郎）爲二父重服一件社セウノ餅可二進調一旨可レ有二如何一之旨尋來之間五旬以後不レ苦之旨返答了（○春云下ノ白伎明神ノ條ニモ云ルベキ事アリ）

清瀧社

[諸社根元記]清瀧社（醍醐）弘法大師入唐御歸朝之時爲二東寺眞言擁護一有二御同船一降二臨醍醐山上醍醐巽方窟上一給小野僧正仁海之時祈レ雨依二効驗一被レ叙二一位一婆婆朔羅王第三之御女云々本大唐青龍寺鎭守云々　堀川院御宇寬治三年四月四日依二夢想一三寶院權僧正勝覺（俊房公子）自二本宮一奉レ遷二上醍醐一初立二神殿等一同御宇承德元年四月十七日同僧正下醍醐立レ社奉レ遷レ之以上三箇所鎭座之本宮自二上醍醐一辰方大磐石御坐云々（清瀧社事見二于應永十三御記一）

新羅大明神

[同書]新羅大明神素戔嗚尊也智證大師勸請云々震旦ノ開闢ハ磐古王也是又素戔嗚尊也是吾國ヨリ彼國闢ク證也佛於二靈鷲山一爲二天地一祭二十二神一爲二伽藍一祭二十八神一爲二佛法一祭二八十神一也十二神ノ內ニ金毘羅神ト云ハ吾國ノ三輪大明神也三輪明神ハ素戔嗚御子也傳敎大師爲二求法一詣二葛城神一祈レ之神出迎云是大願也宜レ祈二天神地祇一我ガ所レ不レ及也三輪明神ハ吾國ノ地主ニテ三國共敬レ之彼神ニ詣デ祈ルベシト云リ傳敎大師叡山ニ歸時ニ大ナル杉ニ三光アリ其光ヲ認テ行ケバ則今ノ日吉ノ宮地邊也其ヨリ渡唐セリ歸朝無事ト云事ヲ唐土青龍寺ノ鎭守ニ祈ル青龍寺ノ鎭守ハ素戔嗚尊也摩多羅神ト號ス金毘羅神是也歸朝シテ其所ニ宮ヲ立ル是大宮三輪大明神也[續古事談]下（四オ）三井寺ノ新羅明神ハヤムゴトナキ神也宇治殿ノ御祈ニ賴豪阿闍梨參リタリケレバ寶殿ノ妻戸ヨリ御直衣ノ袖サシ出タリケリ[三井寺新羅歌合]皇太后宮大夫俊成「わかのうら波にくちても年へすは新羅の神にしられましやは」[夫木抄]雜四（新羅社歌會）紅葉親實法師「紅のこのはのみちる冬さへやなほもしらきの社といふへき」[舞本烏帽子折]上（十左）みなんみあたり給ふは大津のしんらへ御まゐりありてしんら三郎殿となのらせ給ふとうけ給はる云々[和訓栞]水承七年に始

九月廿一日　　　左中辨賴房奉

進上　大炊御門大納言殿

御位記持參事被レ仰二家君綸旨一云
御靈神位記可下令二持參一給上之由攝政殿御氣色所作
也仍執達如レ件

九月廿一日　　　左中辨賴房

謹上　神祇大副殿

抑大内記服レ暇之後未レ補也於二位記一者追可レ被レ進
レ之歟且先例有レ旨也
天慶諸神一階位記至二天曆一延引了先以二宣下一被
レ告二申社頭一追可レ被レ進二位記一也刑部大輔殿祖父紫
野今宮極位事然本居申沙汰今上御靈社者家君予之
本居也追被レ申二沙汰一了神慮定有二擁護一者歟

五條天神

[諸社根元記]社解云當社者高野大師之草創洛城无雙之名神也云々　正治二年四月廿五日被レ奉レ授二正五位下一延文五年五月十六日奉レ授二從二位一

延文五年五月十日藤原國定解狀云當社者高野大師之草創去正治二年四月廿五日被レ奉レ授二正五位下一訖其後諸神一同被レ增二一階一事已及二度々一歟當時御位階爲二正三位一之由所二傳來一也云々件位記當時可レ被レ奉レ授二一階一而及レ事可二計申一之由被二仰下一

兼豐已下申狀云正治二年四月廿五日正五位下无二相違一者也記云上卿帥中納言宗賴奏聞頭右大辨資□朝臣奉行神祇官史生季俊持向云々正治以後者天下之諸神御加階以上三箇度也爭至二正三位一哉所レ謂建仁元年二月諸神一同被レ奉レ增二一階一之間此神可レ爲二正五位上一也（天下一同之時者无二越階一矣）弘長元年二月同被レ奉レ授二諸神之一階一此日從四位下也建治元年七月又奉レ增二一階一但其中於二極位之神一者禰宜祝等宜レ令二叙位一之旨被二宣下一然者當階可レ爲二從四位上一之條无二左右一歟今般被レ奉レ授二從二位一者可二宣已（春案宜已恐宣旨二字歟）下云々同十六日被レ奉レ授二二位一矣奉行藏人頭右中辨忠光也

春案ニ右ノ文イサヽカ解シガタシ仍テ推案スルニ當位正三位ト云フハ誤リニテ實ハ從四位上ナリサレバコレニ從二位ヲ奉ラレンニハ別ニ宣旨ヲ下サルベシト云フ意ナルベシ從四位上ヨリタダチニ從二位ニ叙セラレタル事ト聞エタリ

郡鏡明神是也
紫野今宮　素戔嗚尊（本文一ノ巻今宮首書ニアリミルベシ）
神樂岡社　仁治奉レ改ニ御在所一之由見ニ于次御記一
其以後所見无レ之霹靂雷火神也見ニ應永二年正月廿
一日一　當社地主良方

八所御靈緣由事

至德元年九月十八日癸丑晴早旦御靈社神位事談ニ
合家君ニ可ニ宣下一之由被レ仰ニ賴房朝臣ニ了
八所御靈神位記（正一位）事被レ仰ニ談兼熈朝臣一可レ被ニ
宣下一之狀如レ件
九月十八日　御判
頭左中辨殿
御靈社神位記事被レ申ニ攝政殿一可レ有ニ申御沙汰一之
由被レ仰也恐々謹言
九月十八日　說雅
大弼殿
八所御靈神位記事（貞觀以後天下一國諸神一階奉レ計レ之）
寬平九年十二月十三日　從五位下
天慶三年正月六日　從五位上
承曆五年二月十日　正五位下
永治元年七月十日　從四位下
治承四年十二月十三日　從四位上
元曆二年三月四日　正四位下
建仁二年二月十三日　從三位
弘長元年二月二十日　正三位
建治元年七月二十日　從二位
已上九ヶ度也奉レ計レ之令レ相ニ當從二位一給了（不レ計ニ正上五位四品一也）此社事於ニ鎭座年記一者不ニ分明一也仍見以ニ貞
觀以往一天下諸神一階奉レ計レ之同廿一日（春村案至德元九月也）
丙辰晴早旦予詣ニ四辻一品一（善成殿下御猶子也）則被ニ對面一□（選カ）
進之可ニ存知一之由被レ申レ之暫雜談詣ニ儀同三司第一
御靈神位記事攝政殿下御書持ニ向之一賴房朝臣同對
面可□（或家君）之由被レ載ニ御書一可レ爲ニ何樣一或之由談合之
間正一位不レ可レ有ニ子細一從二位神也无位神直被レ奉
レ授ニ極位一例存レ之已二品也則於ニ當座一書ニ出之一
至德元年九月廿一日　宣旨
宜レ奉レ授ニ正一位々記一
藏人頭左中辨藤原賴房奉
口宣一紙獻ニ上之一早可レ令ニ下被レ行之狀如レ件

三伊豫親王崇道天皇御子
四藤原夫人 崇道天皇后伊豫親王母儀 平城大同二年十月伊豫親王
潜謀癸未牽ニ兵百卅人一圍ニ親王第一十一月己丑徙ニ
親王并母夫人藤原朝臣吉子於川原寺一幽ニ一室ニ不
レ通ニ飮食一乙未親王母子死時人哀レ之仁明帝承和六
九月二品伊豫親王贈ニ一品一吉子贈ニ從三位一十月吉
子贈ニ從二位一
五藤大夫 從四位上太宰少貳兼左近少將藤原廣繼也宇合子肥前國松浦郡鏡宮是也
聖武天皇天平十二年八月廣嗣上表九月起レ兵十月
行ヲ幸伊勢國一十一月一日於ニ肥前國松浦郡一斬ニ廣嗣
等一畢于レ時東風猶扇レ船於レ是廣嗣自捧ニ驛鈴一一曰
云我是大忠臣也神靈奇哉云々
六橘大夫 從五位下但馬守橘逸勢恒貞依ニ此人一謀反被ニ廢坊一 橘氏敏達後也橘諸兄參議
奈良麻呂 入居 右中辨逸勢 近江權守 仁明帝承和元年
七月謀反 敷輩 庚申逸勢流ニ伊豆國一九月十二日身死云
云 文德仁壽三五逸勢爲ニ從四位下一
七文大夫 文屋宮田丸 天平十二年九月謀反被レ誅宇合
第一子也 已下衍歟 仁明承和十年十二月丙子謀反癸未流ニ
伊豆一
八火雷天神 山城國乙訓郡坐火雷神社 松尾日吉

御同躰也
下御靈社者八所内分テ神泉苑ニ於テ祭申也今按貞
觀五五廿壬申勅於ニ神泉苑一被レ行ニ御靈會一遣ニ左近
衞中將藤原基經同權中將藤原常行等一監ニ會事一王
公卿士起集共觀座六前設施凡供ニ養花菓一以ニ律師
惠邏一爲ニ講師一又命ニ雅樂寮一以ニ帝近侍兒童及良家
稚子一爲ニ舞人一云々勸請年記不ニ分明一
西惣社 嘉祿二十一四 經 兼直
廣繼自ニ太宰府一至ニ奈良京一一日往來云々身有ニ七
能一異常人得ニ龍駒一京都鎭西朝夕往反聖武天皇天
平十二年十一月十五日依レ有ニ謀反之聞一玄昉僧正
反奏聞之間斬首云々
又云宇合一男廣繼少將於ニ西府一發ニ謀反一之時以ニ
大野東人一爲ニ官兵一將合戰敗北之間廣繼自以レ刀刎
レ之後其首昇レ空之次多殺ニ官軍一云々此首於ニ空中一
成ニ赤鏡一見レ之人悉以死云々 豐後國鏡宮靈神是也
云々吉備大臣廣繼之師也通レ神人云々
天平十八年太宰府觀音寺供養之日玄昉僧正爲ニ導
師一乘ニ腰輿一之時自ニ大虛一有レ聲來其身忽然失云々
後日其首落ニ興福寺唐院一云々廣繼亡靈肥前國松浦

安須波神ヲ祭リテ旅行スル所ノ圖



下總國香取郡海上郡邊ノ農家伊勢參宮スル時ソノ門出ノ早朝ニ知己ヲツドヘテ酒宴ヲス其時神職アルヒハ寺僧來リテ幣帛ヲ切リ圖ノ如ク門ニ祭ルナリサテ歸國ノ日足アラヒ酒トテカネテカモシオクトコロノ濁酒ヲイサヽカ洗足ノ湯ニクハヘサテ例ノ人々群集シテマタ祝ヒノ酒宴ヲ催スト云ヘリ此トキ神前ヲコボチテ鎭守ノ社內ニヲサムルナリ但シ此神前ヲハジメ祭ルヲシメオロシト云ト云ヘリ案ルニ是庭中ノアスハノ神ニコシバサシト云ヘル古風ノ遺レルニテイトモ〳〵尊トキ事ナリ

八所御靈

［諸社根元記］八所御靈　吉備大臣　崇道天皇光仁御子早良親王　伊豫親王崇道天皇御子　藤原夫人伊豫親王母儀　藤大夫藤原廣繼　橘大夫逸勢　文大夫文屋宮田丸宇合第一子也　火雷天神

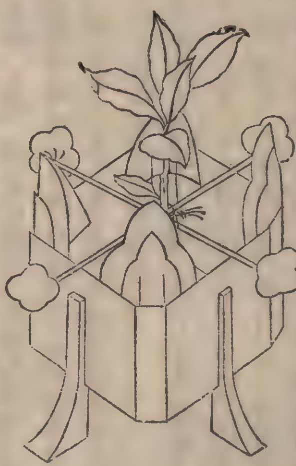
清和天皇貞觀五年五月廿日壬午於ニ神泉苑一修ニ御靈會一

一吉備大臣　光仁帝寶龜六冬十月右大臣正二位吉備朝臣眞備薨寶龜二年七十入唐我朝學士播ニ名唐國一者在ニ大臣及朝衡二人一而已天平五年歸朝高野天皇師レ之受ニ禮記及漢書一恩寵甚渥賜ニ吉備朝臣一神護景雲四年八月四日皇太子光仁右大臣眞備等都不レ聽十月己丑皇太子卽位右大臣眞備忽隱居寶龜元年五上啓致仕薨時八十三

二崇道天皇早良親王是也光仁天皇第三皇子　桓武天應元四朔壬辰爲ニ皇太子一　桓武延暦四九庚申皇太子自ニ內裏一歸東宮奉レ傾ニ朝廷一之謀云々送ニ淡路一至ニ高瀨橋一氣已絕載レ屍至ニ淡路一葬十九年七月追ニ稱崇道天皇一廢皇后井上內親王追ニ復皇后一

求る事なく入ては家の犬を飼て煩悩をいとはずひるはちどりの岡に遊て遅々たる春の日をくらしよるは鳥籠の山にふして耿々たる秋の夜をあかす彼處は山深くして麓々たり林茂くして森々たり或時口々たる林の中に入て獸を射んとするに日忽に暮ぬ人家遠くしてなとやらん物すこし弓に雁また取そへ大なる枯木のもとに立より夜を明さんとする處に比良汀(ヒラカタ)の目撿校と云犬子に小白丸とて祕藏の犬をつれたりけるが深更に及で此犬主に向ひてほえしかば狩人聲を出してしかれども猶飛あがり飛あがり吠ける程に狩人はらをたて刀を拔て犬のかしらを打落したりければ其頭飛あがり則朽木の上より大蛇のはひ下て獅子頭のごとくなる口を開て獵師を呑んとする喉笛を嚙付て則大蛇を食殺けり狩人これを見おどろき怖悲泣して其處に祠を立て彼犬を神と崇む今の犬神の明神とは是なり彼所を犬上郡といふも此故也とぞ

山城國稻荷山神供圖



春日山末社香爐



下地桐クリモノコフシ地
筋ハ緑青丹ヲ以テ畫ク

左近衛權中將平朝臣重衡

治承三年三月廿六日

天皇我詔旨止掛畏支伊都岐島太神乃廣前爾恐美恐美毛申給者久止申（下略在二本集一）太外記業實草レ之［吾妻鏡］文治三年六月三日癸酉去々年平氏討滅之時於二長門國海上一寶劍紛失雖レ被二搜求一于今不二出來一猶凝二御祈禱一仰二嚴島神主安藝介景弘一以二海人一依レ可レ被レ索二之處一申二粮米一也早可レ召二仰西海一等之旨被二宣下一仍今日有二沙汰一可レ被二充催一之由［百錬抄］文治三年七月廿日己未奉二幣七社一依二寶劍御祈一也今日被レ遣二勅使於長門國一且被二祈謝一爲レ令二搜索一也神祇大副（百錬作祐）卜部兼衡大藏少輔安倍泰成等爲レ使前安藝守佐伯景弘去頃下向景弘合戰之時在二彼國一存二知寶劍沈沒之所一云々［諸社根元記］伊都岐島田心姫神湍津姫神市杵嶋姫神已上三座松尾神同體也或書云推古天皇癸巳十二月十三日甲申アラハレマシマス船中ニ女房三人御出現洗米マイラスベシ其數十三マイラセ佐伯鞍職（クラトモ）（播磨國住人流サレテ當島ニアリ）御供ニテ七嶋ヲメグル中ニ此恩賀嶋コソスムベキナレトテワカキノ浦笠ノ濱ヲ御覽シテ御殿造アリ（チホミヤノヨルヘハイツク）

（左八ツ右八九ツ中八十六）

（尾張）尾張大國靈神社

［本朝語園］卷一右十四尾張國中島郡國府ノ宮ニ直會祭トテ正月十一日ニコレヲ行フ先ヅ神官旌旗ヲ立テ路ノ邊リニ出テ往來ノ者一人ヲトラヘ來リ沐浴ヲサセ淨衣ヲ著セテ神前ニ牽キ行キ未那板一器木ニテ作レル庖丁生膾箸等ヲマウケ置キ又別ニ人形ヲツクリテ右ノ捕ハレタル人ノ代トシテ是ヲ俎板ニ居ヱ同クカノ捕レシ人ヲ其傍ヱ居シメテ神前ニ備ヘ進スルコト一夜翌朝神官來ツテ神前ヨリ右ノ備物人トモニ下シ土ニテ餅ノゴトキノ形チヲツクリ彼人ノ背ニ負セ青銅一貫文ヲ以テ首ニカケ追逐ヒ走リテ必ズ倒レ絶入スサテ暫クアリテ正氣イデテ本ノ如シ則チ走リ退ソノ倒レシ所ニ塚ヲ築テ土餅ヲ納ムコノ神事社家ニ傳ヘテ深秘トス」

犬上明神

［榻鴫曉筆］卷八似類上十四段昔近江國不知也河の邊に獨の狩人ありし出ては山の鹿を殺して菩提を

[類聚國史]月次祭部弘仁二年七月安藝國佐伯郡速谷神伊都伎島神並預㆓名神例幣㆒云々[延喜式]四時祭部神祇官所㆑祭之神七百三十七座奠㆓幣案上㆒神三百四座安藝國一座云々(嚴島圖會五(三左)本書神號を記さゞれども一宮なれば當社なること明けし)座別絁五尺五色薄絁各一尺倭文一尺木綿二兩麻五兩庸布一丈四尺倭文纏刀形(絁三寸)布纏刀形(布三寸)各一口四座置八座置各一束楯一枚槍鋒一竿弓一張靫一口鹿角一雙鍬一口酒四缻鰒堅魚各五兩腊二缻海藻滑海藻雜海菜各六兩鹽一缻酒坏一口褁葉薦五尺云々[同]臨時祭部名神之祭二百八十五座速谷神社一座伊都岐島神社一座多家神社一座(以上安藝國)座別絁五尺綿一屯絲一絇五尺薄絁各一尺木綿二兩麻五兩褁料薦二十枚若有㆓大禱㆒者加絁五丈五尺以㆓布一端㆒代㆓絲一絇㆒云々[百錬抄]治承二年戊戌六月以㆓中宮有㆑身奉㆓幣嚴島㆒云々[山槐記]治承二年十一月十二日內大臣被㆑奉㆓馬於諸社㆒臨㆓其時㆒引㆓立西門外㆒侍等相具參㆓向所々㆒云々但大神宮御馬被㆑仰㆓付在京之禰宜㆒伊都岐島御馬又付㆓在京神主㆒云々太神宮二疋(中略)伊都岐島一疋云々[百錬抄]治承三年二月廿四日以㆓安藝國伊都岐島社㆒可㆑加㆓二十二社㆒之次第并祭禮日事等有㆓其沙汰㆒右大臣兼實已下大外記賴業師尙等預㆓勅問㆒計申之以㆓二月十一月上申日㆒可㆑爲㆓祭禮日㆒之由被㆓定仰㆒先議㆓公卿㆒[山槐記]治承三年二月廿九日被㆑發㆓遣祈年穀奉幣安藝伊都岐島㆒可㆑令㆑列㆓二十二社㆒之由有㆓沙汰㆒頭中將通親朝臣被㆓仰下㆒云々而猶彼社祭日只可㆑令㆑預㆓官幣㆒之由有㆑議正㆓二十二社列㆒[又]治承三年三月廿六日被㆑遣㆓伊都岐島奉幣㆒上卿三條大納言實房辨藏人右少辨光雅藏人中宮大進基親申㆑沙㆓汰之㆒使五中將重衡朝臣去年中宮御產之時始被㆑立㆓奉幣使㆒同重衡朝臣(于時左馬頭中宮亮)御願趣見㆓宣命㆒後聞㆑使翌日下向

陰陽寮

擇㆓申可㆑被㆑遣㆓御幣使於伊都岐嶋社㆒

三月廿六日甲申　時未二點

治承三年三月廿六日

大　屬菅野朝臣季長

權漏刻博士菅野朝臣季親

權　助賀茂朝臣濟兼

奉幣　伊都岐島社使

ありさま感歎するに餘あり既に入日の光とゝもに御本宮に還幸なし奉る中央には國常立尊御長二尺餘左には伊弉諾尊右には伊弉册尊各御神形たゝせ給ふいたく神さびたる御ありさまなり左の方の攝社には八十萬神の御神像數をしらず或は坐し或は立せ給ふ中略磤馭盧嶋の南に一嶋あり碧巖峩々として嶺松巍々たり大和嶋と名く人麻呂の歌に「天さかるひなの長路ゆ漕くれは明石の戸より大和島みゆ」とよめるは此島なり大日本豐秋津洲を産給へる胞所なるがゆゑに大胞島とも呼なり所の人に問へばむかしより魔所なりと云つたへて登る人なきよしいふ危石をふみ薜蘿を攀て絶頂に到り大山祇神を祭り奉りぬ云々下略又附言ニ云ク神代卷口訣曰磤馭盧嶋ハ自凝嶋也在二淡路西北隅一小島也と此説能く事に叶へり纂疏には在二淡路洲之西南一小島具今得二此名一とあるは恐らくは西北の書謬なるべし云々〇春村案に(古事記傳)卷四十二左淤能碁呂嶋條下に諸説を載てさて或説云とて此日記の文を載たれど委しからず在所この文に從ふべし

安藝 伊都伎島神社



石屋神社并磤馭盧嶋地理附天地太神宮神事

「磤馭盧嶋日記」明和七年龍雷神人大神貫道著 云磤馭盧嶋は淡路洲の西北の隅に在る胞嶋なり蓋神代巻曰以二磤馭盧嶋一爲レ胞生二淡路洲一といへる本文によりて云やすきが故に俗つねには胞島と呼び又おのごろ島と名を存す斯島の岩に圓く玉のごとく湧出したる石幾千といふ數をしらず其形表は金氣を以て包み裏には土砂を含む誠に金輪を以て地輪を縮鎭たる形中心金性主たる事土金の秘訣顯然たり春村云跋文ノ趣イサヽカ異ナリ云ク島中奇石磊落多現二男根女淫之狀一奇形怪狀不レ可二勝數一又金玉之精湧出其形如レ露似レ珠云々トミエタリ本文脫字アルカ是全く瓊矛の滴瀝分散して其儘凝しけりたるものなり其外產盥釜杓子などいつか世帶道具の形皆自然石に現れ島の風景樹木の葉色岩の滑澤なる事いづれ書にも書にもあらはしがたし一度歩みをはこぶ人誰か感歎せざらんやさて其地方に鶺鴒嶋あり二神交道をみそなはし給ふ迹も殘せり其邊に磐櫲樟神社あり式文には岩屋神社と出たり岩屈の內に二神之蛭兒と合せ祭る二尊はじめ蛭兒を產たまひ磐櫲樟船に載せて流し給ふといへる事跡を殘せり其東南の方の山に天地太神宮の鎭座あり國常立尊伊弉諾尊伊弉冊尊三座ましますその攝社に八十萬神達各神像鎭座ならひ給ふ中略其夜丑ノ刻ばかりに健なる門人を擇び竊に磤馭盧嶋の絕頂に攀登りて一宇の神祠を建て多年加持したる寶劍を納めて天神七代の神靈を祭り奉る此處古昔神祠ありし礎のみ殘りありし故再興の志ありけるが不思儀に今夜願望成就す春村云此事ハ明和七年八月十一日ノ夜ノ事トミユ中略十五日は天地太神宮恒例の神事にて廿餘丁西の方濱づたひに八幡宮おはします此處まで神輿出御ならせ給ふ中略道すがら神樂を奏し供奉の人々三種大祓を高聲に唱へつゝ八幡宮の拜殿に入御ましまし御膳御酒の品々を捧げ種々の神事ありて後海濱に遷し奉り此所にて祝詞奉幣して神樂を奏し次に神の角力とて十二三の子供相撲ありて神官より双方に褒美を取らせ次に子供等おもひ／＼に藝をつくす中略神輿を舁く人は前齋して火を改め當日は各海潮に浴し白き帷子に素襖侍烏帽子を着して髻に榊葉をかざし道すがら大祓を唱へて靜に渡御なし奉る

七月十六日　撿校　法橋祐信狀

進上　秋田城介殿

右裏書云御文畏承り抑蒙レ仰候神馬鈴音事去廿一日曉晨鐘よりさきほどに夢中に聞ニ鈴音一より夢覺ても猶きこえ候間道佛がひが耳かと存じ候て家中に候者どもに是は聞かと問候へば皆聞申由答申候其音天野明神酒殿より出させ給ひて玉津島へ御行成り候時の神馬の鈴の音の如くにて西をさしてさり候之間彼ノ行は九月にてこそ候によりて當時かやうに候やらむと思ひて立出て見候へば鈴音も聞えず其體も不レ見候き此由も神主に委申て候へば御存候とて不ニ申上一候所預ニ御尋一事恐入候恐々謹言

閏四月廿六日　沙彌道佛

謹上　院主代入寺御房

又云今月廿一日天野社烏如ニ先年一皆悉飛去候天只一双殘留候同日又酒殿御戸開候彼御戸者常家堅奉レ納候天御鑰不レ預ニ他人一候前々未如レ此事不レ候之間成レ怪之所如ニ兄井藤四郞入道道佛申候一同曉如ニ大明神御行之時一有ニ神馬鈴音一指レ西去道佛幷家中廿餘人輩皆聞之候上者以レ之案候ニ御殿御戸明神令レ開給候之條無ニ異儀一候哉嚴重不思議事候間注申候以ニ此旨一可レ有ニ御披露一候恐々謹言

閏四月廿三日　散位常家上

進上院主代入寺御房

異國降伏御祈事　參ニ詣丹生社ニ可レ令レ致ニ祈請一候依レ仰執達如レ件

永仁二年四月廿日　陸奥守

相摸寺

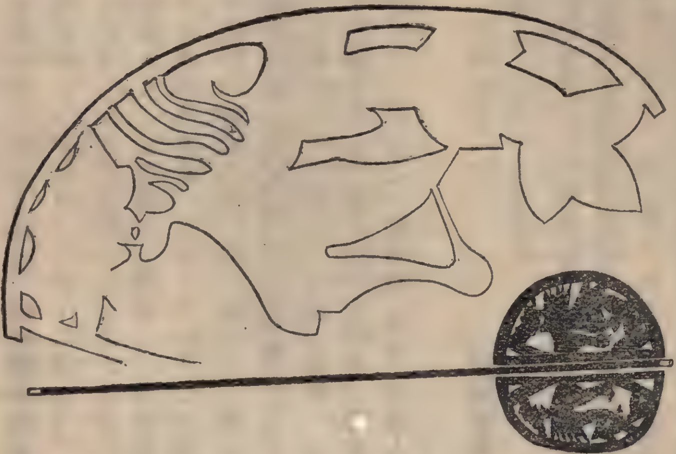
中納言法師御房

三輪神社神供器之圖



此二器今ナホ用キルトコロナリ友人片山爲之コレヲ藏ス

日翳



同神供圖





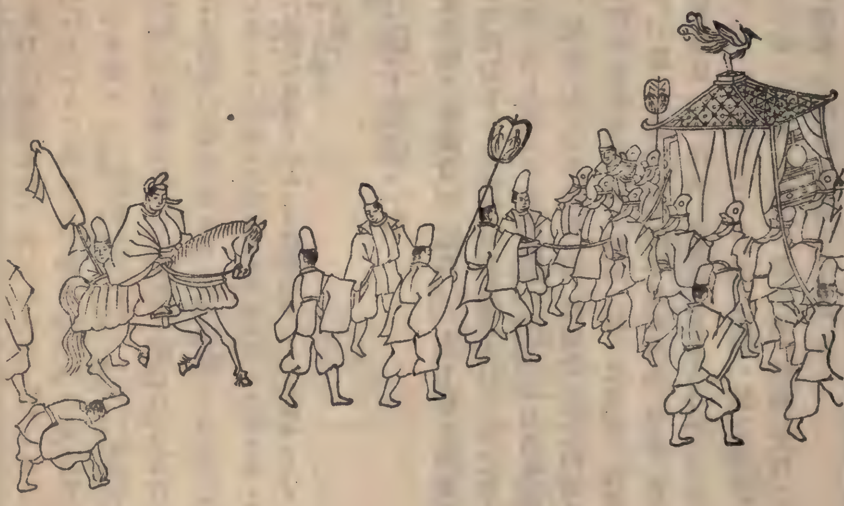
右轉害會渡御圖は一とせ谷文晁かの地に至りて目前に拜するところを立ながら寫し來つるを友人日觀再寫して持たれば借得てさらにこゝに加へつ
弘化二年十月下旬

り社戸は社邊也然て神社を古曾といふより尊稱の詞にもなりて舊本今昔物語廿四卷十五語に文古曾などもいへり云々〇次文に東國にて田地に樹木のさし覆ふを古佐といひ又蝦夷人のこさふくといふも同語のよしいへど取がたければ略レ之社地は杜にて樹陰の處なれば古曾といへるは籠氣の通音也モリと云は室の通音にや〇前文に云く氣を志と云は時雨も氣暗也嵐も荒氣也虹も丹氣也咳も息放也されば曇氣を籠氣といふより陰翳の名にもいひ轉せるなり」とありあやしき說なり不審々々

紀伊國 高野御子靈威之事

[紀伊國名所圖會]三編四卌三左 山上寶庫所藏文書云
去閏四月廿一日天野社群鳥悉去只一双之外不レ見二社頭一其上同日三谷酒殿明神御幸時御出之處御戸自然開ケ同曉自二彼社一有二神馬鈴音一指レ西而令レ去之由神主常家等注申候此事雖レ可レ馳二申一就レ之先爲二彼祈禱一聊逐二日數一之間去弘安四年夏頃殊抽二懇祈一候所感應揭焉間依レ爲二佳例一宮老分御影堂入寺分金堂衆分御社於二三ヶ所一點二七ヶ日一勵二老若一同之懇誠一被二晝夜不斷之精祈一候仍進二御卷數一候如二此旨一可レ有二御披露一之由依二衆議一言上如レ件



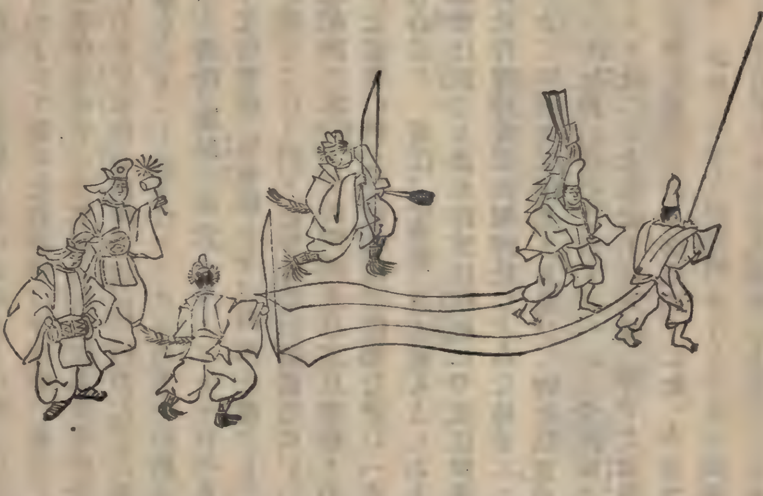


東大寺八幡宮轉害會　南大門出御圖



同渡御圖

毎年九月三日巳尅ばかり東大寺の南門に出御有て祭事あり伶人樂を奏し迎へ奉り大佛の中門の前を還幸す此時大佛殿のうちより衆徒出て拜す夜に入て拜殿にて舞樂等あり



ミテオソルノ〱見物スレドモ火ノコ夥シクシテ危キコト云ンカタナシカクテ夜半ニオヨベバ彼大松明ニ火ヲ移シテ一同ニ歸村ス辰日以下ノ神事ハ上件ニ云フガ如シ○春村案ニ此祭式ハ城攻ノ學ビナリ（應永記）十四左に大左義長を造て敵陣を燒く用意す」トアル思フベシ

神社を古曾と云事

「松屋外集」廿五二右云神社を古曾と云ふは延木ノ四時祭式ノ下十七左に攝津國八箇社の中下照比賣ノ社一處或號比賣許曾社ト云々又廿右紀伊國四箇社の中伊太祁曾社一座云々神名式上廿左に河內國澁川郡波牟許曾神社云々又廿一右河內國丹比郡阿麻美許曾神社云々又廿四左攝津國東生郡比賣許曾神社云々又廿五右伊勢國三重郡小許曾神社云々神名式下三左に近江國淺井郡上許曾神社云々又卅八左出雲國秋鹿郡許曾志神社云々出雲風土記卅六右に秋鹿郡許曾志社云々以上十一所並在ニ神祇官ニ云々天武紀上十三右に社戸臣大口云々新撰姓氏錄上八右攝津國皇別に許曾倍朝臣云々圓光大師九卷ノ一に美作國稻岡ノ北ノ莊栃社云々など許曾とも祁曾ともいふ詞あり巨勢といへる地名もかよひて聞ゆ比賣許曾は下照姬の社にて姬社の義也伊太祁曾は和名鈔に紀伊國名草郡伊太杵曾神戶あり旦來鄕日前神戶須佐ノ神戶などに並たり旦來をイタコと訓ムはアシタコのアシの約イなればなり常陸ノ鹿島に潮宮イタノミヤといへる小祠あり又行方郡ノ板來鄕を今は潮來と書けりこは朝來の誤ならむと門人北條時鄰が鹿島志にいへり續日本紀四の卷十三左に紀伊國名草郡旦來鄕とありさて伊太祁曾の伊太は地名にて伊都などいへるもおなじ心にや　近江ノ伊香郡ノ意太社もよしある名なり祁曾は社なり波牟許曾は蛇社にや近江伊香郡波彌神社丹後丹波郡波彌神社などみな通音にて蛇の義ときこゆ波美は閇美とも通ひて物を取食虫なればいへり反鼻の音ぞとおもふべからず阿麻美許曾はアマヒ社にや古事記上に天神ノ御子之御壽者木花之阿摩比能微坐云々神代紀下に如ニ木華之移落云々一云如ニ木華之俄還轉ニ云々などある阿摩比に通へり小許曾は小社也上許曾は上社なり許曾志は社下にや下を志とのみいふは高倉下など例あ





杉丸太長四間餘

次ニ村々ノ長ドモ幷ニ由緒アル者ドモ陣笠陣羽織ヲ着用シ一刀ヲ帶シ鳶口アルヒハ棒ヲ持テ庄官年寄ナド云フ者ハ麻上下ヲ着シ二刀ヲ帶シテ練行スイヅレモ拜殿ニ列座スルナリ次ニ村々持松明アリ一村ニ二十本ヅヽナリ是ハ五人持十人持ナド云ヒテ大キナルハ高サ三間餘アリ青竹ヲ眞トシ内ニ菜種ガラヲ籠メコトノ外手際ヨク造リタルモノナリ其製左ノ如シ



此餘手アキノ者ハスベテ手振松明ヲ持ツ是ハ二三尺ヨリ一間餘マデナル數萬本ナリサテ昏ニオヨベバ一同ニ松明ニ火ヲ點ジ太鼓ヲウチ鉦鼓ヲ鳴シベイヘイタイラゲウト同音ニ囃シツレテ社頭ヨリ馬場先マデ往返スル事夜半ニオヨブサレバ火勢天ヲ焦シ金鼓地ニ響キ魂ヲ消スバカリナリ里俗云囃詞ハ平家ヲ平ラゲンノ訛言ナリトゾ如レ此キ神事ナレバ諸人血氣強勢ヲ旨トシ松明鳶口ナド振チラシ押歩行コト故ヤヽモスレバ口論ヲシテ年々怪我人モ多クアリサレバ見物ノ者モ迯道ヨキトコロヲ撰

ヲ加フル事ト成レルモノ歟

近江
八幡明神

○日野八外池眞澄云當社ハ蒲生郡八幡町ニ鎭座ス祭禮ハ毎歳四月中卯日ヨリ四日ノ間ナリ卯日二ツアル時ハ上ミノ卯ヲ用キルナリ但シ卯日ヲバ宵祭ト云ヒ辰日ハ兒參リ太鼓ソフナリ午日ハ氏子數十人馬上ニテ本社ヨリ御旅所ヘ列行ス巳日ハ間日ト稱シテ渡リモノナシ此神事ハ近郷十三ケ村ノ預ルトコロニテ町方ハ始終タヾ奉燈ノミナリ其十三郷ハ林村鷹飼村一井村多賀村北ノ庄村字津呂村中村上田村小船木村船木村願成就寺村津田村大房村等ナニ此村々年番ヲ定テ本社ノ番場先ニ大松明三基ヲ作ル（春村云番場ハ馬場ノ訛言ナリ）左ノ圖ノ如シサテ卯日ノ申ノ時マヘニ兒ノ練込アリ是モ年番ノ村ヨリ出スナリ（春村云人數タヅヌベシ）此兒ハ八九歳ノ童子ニ衣冠セサセテ長柄傘ヲ指カケ華ヤカニ粧ヒ拜殿ニ列座ス次ニ大太鼓ヲ臺ニノセ大鉦鼓ヲ杵ニ附ケ荷ヒテ村ゴトニ一組ヅヽ打鳴シツヽ連行ス太鼓鉦鼓圖ノ如シ





ウチ二章コヽニ載ス

たんだ、ふれ〳〵、ヤア、、ヤアンのやア、一やれこォしをォふれよサア、こしをふらねはやいよ、さんのサア、、あアやァいよさんのサ、、」むかい七夕ヤアヤンノヤア、おいとしやア、ないかエ、川をへだてヽヤイヨサンノサア、ア、ヤイヨサンノサア、、」社地ノ圖ナラビニ鳥毛打ハ上ニ圖スルガ如シ ○春村云飛州志七ヲ案ズルニ鳥毛打ハ國中所々ニアルヨシナリ但シコノ鳥毛打綾踊ハ昔ノ田樂ノ遺風ナルベシ又謠曲ニ綾鼓アリ恐ラクハ同物歟綾トハ立マフニモ鼓ウツニモアヤドル如キ所作アルナルベシ

頭注 飛州志卷七人事部 鳥毛打條ニ云本土ニテ神事祭禮ノ時下民是ヲツトムルナリ神イサメト云リ按ズルニ其人數ハ究リナシ各鶏毛ヲ被リ赤白ノ紙ヲ切リ重ネテ背ニ負ヒ鞨鼓或ハ鉦ヲ頸ニカケ笛ヲ吹テ舞蹈スルヲ鳥毛打ト稱セリ是他州ニ於テ鶏毛ヲウエタル木獅子ヲ被リ頸ニ鞨鼓ヲカケ笛ヲ吹テ舞蹈スルヲ越後獅子上總獅子ナド、云ヘリ其木獅子ハ廢シテ毛バカリヲ被リテ又鉦

○高山人（松田屋吉兵衛）云當社ハ當國一ノ宮ニテ今ハスヰム大明神ト稱ス祭禮ハ八月十五日ナリ當日神輿御旅所ニ出御アリテ（御旅所ハ本社ノ南六丁許ニアリ神輿ノ行粧ハ繁多ナレバコレチ略ス）獅子鳥毛打綾踊等ノ神事アリ事了ヌレバ社家ヨリ濁酒ヲ出シテスベテ踊ノ者共ニ呑シム此ウチ鳥毛打ノ鉦鼓モチタル者共ハソノ鉦鼓ヲ出シテ皆ナミ〳〵ト受ル古例ナリモシ下戸ナレバ受テノチ他人ニ呑シム此鳥毛打ト云フハ五十歳位ヨリ已下十二三歳已上ノ男百人ト定メテ鷄ノ毛ニテ作リタル冠ヲ頂キ白地ニテ背ニ孔雀ヲ畫ガキ裾ハ五色ニイロドリタル衣裝ヲ着歌ヲウタヒテ太鼓鉦鼓ヲ打ナラシツヽ始終一同ニ仰ニソリ又ウツブシニカガムナリ（此ウチ太鼓ウチハタヽテルノミナリ）此鉦鼓ニ大小アリ目方一貫二百匁位ヲコトニ大トス子供ノハ皆小形ナリサテ綾踊ハ五十人バカリナリ是モ五十歳グラヰヨリ十二三歳マデニテ絹麻布等ノ羽織ヲ着シ常ノ風俗ニカハル事ナシ手ニハアヤトテ



如レ此モノヲ持ツ是ハ丸竹ニ赤靑ノ紙ヲ卷付ク但シ此ウチニ十二三歳ナル童ヲ二三人女風俗ニシタテ、花笠着セタルアリ上ミニ云ル唱歌ハ何章モアレド其



水無明神社圖

へば問此みやしろの前なるはみなかゝる葉の生いづめりこをむかしよりあやつばきとぞ云なる又このうしろなる高根をつばきがたけともいひなべてこのほとりに椿いとおほしとなんいふ又このみやしろはなにの神のいはゝれ給ふにかといへば猿田彦の大神なりとぞやがていかきのもとにぬかづきて「はふり子かいはふはむろのあや椿遠つ神代に植し種かも」行道がいへらくこのちかきあたりにいにしへ大寺あまたありつるが今はみな跡たえたりその寺々の石などはむかし聞おきしかど今はわすれぬ佛のみかたなどは猶かた〳〵にのこれりいざとてもりのうち立はなれて少し北へゆけば軒かたぶきて柱などくちたる庵ありいにてみればいとふるき藥師のみかた一つなんおはするが蜘のすなどかきたりて花供すべき皿だになしかたはらにあやしげなるから櫃よつありふたおしひらきて經文とりいでたるを卷々くりかへしみるにあるは永德あるは康暦あるは明德などいふ年の名をしるして又かける人とをぼしく妙通聖周妙香などいふ名をしるせりまた人の名も年もしるさゞるありこは後に補ひうつしたるなりとみゆすべて大般若經になんありけるこゝには卷の數五百あまりありてなほのこれる卷どもは高宮の青蓮寺にありとなん古き佛のみかたこと所に猶あまたありともなひ行てみせまゐらせんといへど雨ふりきぬれば得ゆかずこよひ又行道がもとに來りてねぬ二日ひはさしいでながらかぜはげしう吹ていと寒し椿が嶽よりすべてたちならびたるみねども夜のまに雲しろうふりたり山あひ打過ていつみ野にいづさくらの花どもかた〳〵にさきにほひたるが吹くる山風にみだれあいたり「をちかたや椿かたけの朝かせに櫻ふきまくいつみのゝ原」高宮てふ所をすぎて庄野の驛にいづなかばすきかへしたる田面にひばりのあがりたるみて並樹「あらを田のおのかふる巣を賤の男にたちかへされてなく雲雀かな」くれちかき程にかへりつきぬこの白子のさとより椿のみやしろまでは道のほどは今の五里にあまれりとなん

天明七年三月

飛驒 水無神社地圖并祭禮之事

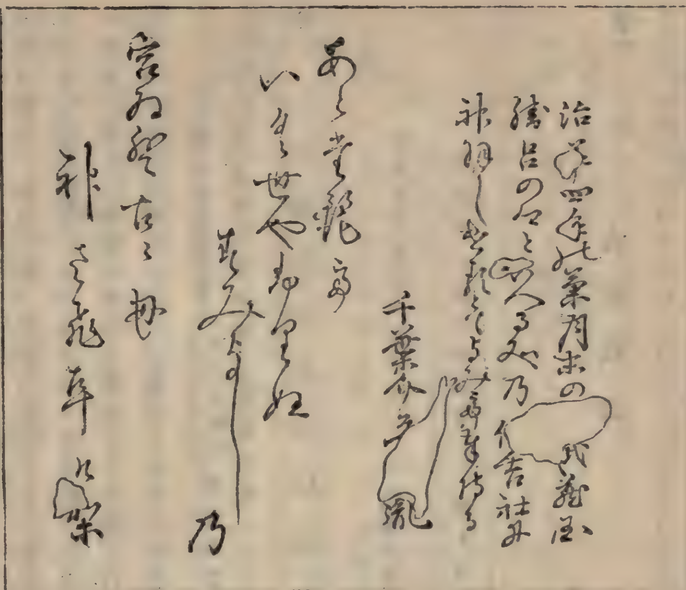
ければさだかにはわかたず谷すこしめぐればこなたの山にそひてかのしやくだいしなんおはすなるこゝをぎすとぞいふなるはるかにあふぎみるにいとも〳〵大きなる石にておはすなるがたゞにひろごり立給ひたるさまかたはらなる高ねどもとあらそひそびえて高きこといくそばくともをもひはかりがたしそのしきませる根ざしのわたりはめぢもかすむばかりひろし此ふもとの田長どものひでりうちつゞく時はこゝにむらがり來て歌うたひ笛ふきなどしてこの御こゝろをなぐさめまつれば雨かならずふりくとなんそも〳〵しやくだいしとはいかなるいはれぞと問ふにむかしより文字には石大神と書來れりさるはふるくはいしのおほかみともとなへたてまつりつらんか延喜式に石神社とみえたるはこれをいふにやと並樹いへり日かたぶきぬるまゝにもと來し道をくだりて御贄川より北の山あひをへだてゝ山本村にいたるこゝなん椿の御社なりける卽式には鈴鹿郡椿太神社と見えたり日くれぬれば御社へはまうでず此みやしろのはふり山本行道がもとを問ふ行道いと心ある人にてあるじまうけなどまめやかにせり夜いと寒ければ埋火のもとによりそひてふるき跡のことゞものがたりす夜ふくるまゝに軒のまつこゑたてゝ嵐はげしう吹出でたり「あし引の山まつかねのかりまくらあらし吹よはいこそねられぬ」並樹「世のほかのこゝちこそすれまれに來てやとる軒端の松風の音」朔日つとめておきいづよべより雨いたうふりたるがなほをやむべくもあらねどとく御社に詣でたちかへらばやなどいひあへりあるじのこの雨にはいかでかへらせ給ふべき山のそば道たど〳〵しかるべしけふはやすらひて明日なんたちかへらせ給へなどいへばさらばとて思ひとゞまりぬひるますぐる程に雨やゝはれぬれば御社にまうづ行道も道しるべせんとてともなふもりのうちいとかうがうしくみわたされたり年ふりたる木だちどもの枝さしかはしてしげりあひたるがさと吹くる風にさそはれて露みだれちりつゝ衣手ぬれとほりぬ御社の前にいたればいと陰ふりたる椿のはな白きと赤きがあまた立りたちよりてみるに檜の木のさましたる葉の枝ごとに生いでたりこはいかなる種ぞと

はいとふるき名のつたはれるにて古事記にも日本紀にも日本武の尊の能褒野にてかみあがりましつとしるせるはこの野をいへるになんゆき〳〵てうちのぞむにたゞ目路のかぎり小松どものたちならびていづこをかぎりともえわかずゆくその道の人はもゝ櫻などかた〴〵にほころびてすみれいとおほくさきたりしばしこゝにして草をむしろにやすらはゞやなどいひて並樹「見るたひにゆかしさそはるすみたへさつまてはいかてのへをすぐへき」牛ひきつれたる柴人のあまたかよふなるが桃さくらなど手ごとにとりてゆく「さく花をてことにとりて賤のをも心ありけにみゆるのへかな」午の時すぐるころにたけひてふところにいづ松のむらたちたるなかに白鳥の陵なりとてはつかなる塚とおぼしきが木だちなどうちしげりたるあり前には鳥居をたてたりこはいにしへの跡ともえおぼえぬよなどいへば並樹がげにさる事なりこはちかき世に五天といへる法師のこゝを白鳥の陵なりとはさだめつるなりむかしは鳥居もなく只たけひ塚といへりとなん此野には塚こそおほけれ車つかふたご塚

ひよ鳥つかなどいふがこのちかきほとりにもあれど陵ならんとおぼしきはあらずいづれ此大野の中にかの陵ありぬべきを年を經て今はさだかにもしられぬにこそまたかの西のかたに高き山をのゝぼりとなんいふなる山のかみつかたに大きなる石のひつきあらはれ出たる所ありといへりのゝぼりはのぼ野をよみなまれるにてこれなんみさゝぎなるべきやなどいふ人も有とぞかくうちかたらふほどに時うつりぬしやくだいしにまうでゝとく椿の御社にこそゆかめとていそぐ山ちかくなるほどに道やゝさかしうおぼゆあるはのぼりあるはくだりて御贄川をわたるしばし松のたち並たる陰をすぐれば山路いと廣く黒き岩どもこゝかしこにみだれたてりあゆみぐるしなどいひてしばしこゝに休らひぬさてそばかけをつたひ行に道いとせばし谷ふところふかうみわたせばながれゆく川水ははなだの布引たらんやうにて瀬々の波石にふれて白ううちけぶりとゞろ〳〵となりどよめる聲は高根の松にひゞきあひぬはるかむかひなる山には岩むらごとにあかき花のみゆるはつゝじにこそあらめほど遠

のこるかたなくかけてかりそめのたびゐもやすらがねば伊勢の國白子の里に村田の橋彦とておのがちかきゆかりなるがもとをとひ來てこゝに日數をなんおくりける橋彦が子なりける並樹といへるはみやび人にてなにくれとふるき跡など問もとむることをしかもこのみけりひと日おのれにかたらくこの白子の里より西なるかたにはるかにいと高うみゆる山あなりかしこに椿の明神しやくだいしなどいふ神なんおはすなるそのあたりにしも古き跡はのこれりあはれみせまほしうこそおのれさいつとしわけのぼりぬとてかたる聞もおよばぬことゞもおほかり例の野山ふみわくるすさみのとゞめがたくていざ道しるべし給へなどいひそゝのかしてきさらぎはつる九日の日かどですずさなどはなくてたゞ二人ともなひいづ橋彦はしばしのほどのわかれをしみけるにや庭のさくらの枝をゝりて「山路ゆく君とゝめよと我宿のはなこそまたき咲そめにけれ」返し「契おきてわれみはやさん櫻はなかへり來んまはちらすもあらなん」といひすてゝゆく里きははなるれば春の海しづかにはれて松の嵐もうちかすめるに遠山まゆのかつみえかつかくれたる繪にかゝまほしき朝なり火うち取いでゝ烟うちふきていにしへ今のことゞもあひかたらひつゝ來しかたのいまはるかなるもえおぼえず神戸の驛を過てかひ川を渡る此川にそひて山の邊むらあり少し高き岡のもとに山の邊の御井の跡なりとてあるをたちよりてみればかたはらみな田につくりなしてはづかに井とおぼしくてあり今は水もあせてたゞ老木の松の枝ふたつにわかれたるが一本なんたてりける萬葉集にこの山の邊の御井のことみえたるを加茂の翁はこの山のべ村なるにはあらでいすかの神宮の邊にありつらんといはれたりいま並樹がことをきくに本居のぬしの考たるは此山の邊村なるが古の跡なるべしといへりとぞ其ゆゑよしをきくにいとことわりあるやうにおぼゆれどことながければこゝにはもらしつ石藥師の驛のなかばより道を西北のかたにとりて廣き野にいづ此野を鳴の長明がうたにはいつみ野といひ烏丸光廣卿の歌にまりが野ともよみ給へりいまは廣瀨てふ村のあるにより廣瀨野ともいへり又のぼ野ともいへる

高一尺九分　濶一尺四寸五分



又神主ノ古墳アリ表ニ宗教禪門永和己巳十一月十六日ト記シ裏ニ勝治良左衛門入道頼阿 丙午八月十五日也 トアリ

以上ハ天保十三年七月朔日神主土佐問ヒ來テ棟札文書等ノ寫シヲモ見セ懐紙ノ榻本ヲモ得サセケレバ巨細ニ言トヒケルヲ此外ニモ寶物アレバツイデアラバ問ヒ來ヨカシ不レ殘ミセント談ラヒタリキ

「回國雜記」頭從本廿八右 河越といへる所にいたり完勝院 寺イ といふ山伏の所に一兩夜やどりて云々これより武士の館へまかりける道にうとふ坂 標注云河越の南東廿町計の所にあり今訛りてオトウ坂といふと云々 といへる所にて云々すぐろといへる所にいたりて名に聞し薄など尋てよめる「旅ならぬ袖もやつれてむさしのやすぐろのすゝき霜にお・に いか き」又野寺といへる所爰にも侍り云々 標注云新坐郡野寺村なり

頭注 慶長七年九月四日梵舜記に武州之内社家須黑二宮神主大嶋下總守禮に來る三十疋、子息狗伊勢申也と見えたるは別社にやめらむ可レ考

伊勢國
石神社　同國 椿大神社

「椿まうでの記」平春海 去年の秋都にまうのぼりけるにことしむつきのつごもりの日都のうちなべて

勝呂神社

○勝呂神社ハ武藏國入間郡勝呂郷（勝呂訓曰ニ須久路一）塚越村ニアリ勝呂ハ勝ノ一字ヲモ訓ミ又須黒トモ物ニ見エタリ(回國雜記)ニスグロノス、キト讀ミ玉ヒシモ此地ノ事ナリ祭神ハ住吉大明神ナリ天德三年鎭座ノヨシ永享ノ棟札ハ見エ又慶長七年寅九月二日

東照宮御下知狀ニハ須黒大宮トミエテ北武藏十二郡ノ神社ヲ管領スベキヨシ書載セ給ヘリ今モ御朱印アリテ社領六石頂戴ス神主ハ勝呂土佐ト稱ス此地ハ河越城ヨリ西北ノ方一里半許ニ當レリ頗舊社ニテ多ク神寶モ傳ハリタリシヲ近世ミナ失ヘリト云フ惜ムベシ〳〵サテ棟札ノ銘ニ云

表

村上天皇天德三未四月廿三日 山田長慶本 鎭座永享元年寶祚長久天下泰平 祈所武藏國入西郡勝郷

人王百三代今上皇帝萬々歲

國家安全五穀豐饒

勅願所奉遷宮住吉太神　三座

關東太夫源持氏公建立

己酉九月十五日亥上刻

五代孫 從四位下大宮司前因幡守勝重直朝臣

中央高一尺八寸八分　濶上五寸　下四寸七分

裏

大願成就

普請奉行 岡部三郎左衞門

大工頭 村田伊兵衞 三四郎 平三

納神物以下繁多之仍年中行事供祭物諸役人等令下行嚴密執行之近來信長秀吉太閤以後每事衰微八神殿其外殿舍漸及破損然而以官町境內等之地子類雖如形神事體無退轉云々

右神祇官繪圖依 櫻町院仰奉備 叡覽

以今按十一月中寅日鎭魂祭之尤御代々奉初 主上 院宮御方御魂鎭之御祈禱執行之尤奉祭口八神殿自往古神祇官八神殿者神祇伯奉守司之依之伯家別而可奉重御神也右信長秀吉亂戰之砌爲兵火神祇官燒亡自其中漸々御神體奉守退自失代々居地之傍搆小社奉成御鎭座其後小社零落之時者以自力小社造營仕來候近代四代以前雅喬子三代已前雅光所願天爾當年自力ヲ以天再興仕志願之所時ナル哉一條攝政公御命雅富先祖ヨリ傳來之八神殿與申御正體先年雅富學頭帶刀與申者差上申度旨申之大閤御預リ今以一條家御相傳之御事雅富密相窺彌於無相違者伯家へ可被遂下旨依御命奉窺所彌伯家傳來八神殿御正體紛無之旨奉申上候處則雅富へ御附屬有難忝依之居地之小社雖如形今般雅富自力ヲ以テ奉再興奉成御鎭座從 禁廷モ御初穗頂戴誠雅富冥加至極全以雅富非自力偏 神慮之所致難有忝不知所云仕合彌天下泰平 朝廷安穩諸臣繁榮五穀成就萬民快樂之祈無怠慢執行仕候事候

右者伯家傳來之家記或家之說之趣奉書上候所無相違御座候以上

近江 建部神社神事再興事

伯家部類明應文書云江州勢田鄉建部明神之事年來甲乙人等寄於左右神田等令勘落發歟之間神事有名無實云々不可然者也早任先規致神事再興可專御祈禱之由可令下知給之旨天氣候也仍上啓如件

明應七年九月廿一日　右中辨守光

謹上　伯二位殿

江州勢田鄉建部明神事近年神事神田等有名無實云云太以不可然者也早可神事再興之由 綸旨如此仍案文遣之任先規專神事可抽 御祈禱精練之旨 本官所仰候也仍狀如件

明應七年九月廿一日　左衛門尉孝久奉

建部社神宮供僧等中


官町略圖
神祇官町
大炊殿
陽成院
高陽院殿
冷泉院
東宮町
神祇町
東宮町
神祇町
大膳
大炊
神祇町
雅樂
郁芳門
待賢門
此所ニ田畠アリトミエタリ是近代ノフ歟

故爾其神體於我家爾護持止須雖毛神殿於建留事無久宅
後乃叢祠爾僅爾鎮座介牟留所爾先年當家乃學頭舊井
帶刀與云惠留者柄於執留乃餘利故安利天當家於避志武其時此
神於執退豆後日爾一條太閤兼香公江獻志奉留太閤崇
奉志給布事多年奈利茲于攝政道香公其神威於憚利給比豆
當家爾鎮座志最毛崇奉志奉留來由於知食豆此趣乎奏
志給比辱毛御初穗黃金於下志給比荊門乃內爾新爾新祠
於營美鎮座志奈奉利永久（ヒタブル）于崇奉志奉留可幾由於下官雅富
爾命志賜布仁依利經營日於經豆成就志維時寶曆改元十
一月十三日酉刻爾新躰於新祠爾遷志鎮座志奈奉利長田
狹田乃稻於御飯御酒爾炊豆志奉利海山乃生物干物於捧
介奉利豆謹天獻比生（利カ）安久平介久常鎮利鎮利給止惠申須仰願者久天
下泰平國土安穩寶祚永久玉體安全御願圓滿當攝政
家壽命長遠家族繁榮無レ祟無レ咎諸家平安大將軍家
武運長久五穀成就萬民豐樂自他乃諸願滿足介常磐
堅磐爾夜乃守利晝乃護利仁幸給止江恐美恐美毛申壽

御神體御宮之事二重宮

一御殿　五色糸榊葉八枚內宮外大和錦包平緒ニテ
十文字結ヒ內ニ水晶御玉御鏡御劔

二御殿　內宮同斷榊葉五色糸御玉

三御殿　同上

四御殿　同上

五御殿　同上

六御殿　同上

七御殿　同上

八御殿　同上

已上

同時二條宗基公ヘ指出ス扣
是ハ今度再興ノ事ニ付吉田ヨリ彼是申旨有レ之由九條殿ヨリ二條家ヘ御尋ノ由ニテ此方ヘ被レ仰候ニ付書付差上候其後其沙汰相止ミ

八神殿之御事者　朝廷守護之神爾豆從ニ往昔一神祇
官御鎮座之御事也（神射神秘略レ之）職員令云（春村案職員令
不レ見此文可レ考）神祇官是人主之所レ望臣下之所
レ尊祈ニ福祥一求ニ永貞一無レ所レ歸神祇官爲ニ官首一矣
家記云神祇官者在ニ大內裏南一（一說巽）上古者四町也
其後爲ニ方一町一（大宮猪熊在ニ圖ニ二條城邊也）綸天下御祈禱四姓輩參集
而勤レ之伯一人構レ帖（左座之上）大副已下分ニ左右一着座各
着レ座伯者只加ニ判形一（此印今以惠ニ家神鈴神鏡相傳任候）正月神祇官御
贖物二月祈年祭四度官幣御體卜行幸等之類公事根
源抄其外年中行事諸抄載レ之昔者從ニ諸國一令レ奉ニ

明神と申す是なり(萬葉)七の卷に「神さふるいはねこゝしきみよしのゝみくまり山をみればかなしも」とよめるも此神社の山なり然るをミヅワケ山とも訓をつけたるは此神の御名をだにしらざるひがごとなり又今の世に吉野川ちかき丹治村といふ所にある神社を水分の神社とするもいみじきひが事なり水分の神社は續紀に峰神とある如くかの丹治村なるをそれとしたるは水こもりといふ御名につきて川近かるべき所と心得ておしあてにあてたるものにて峰の神とあるにたがひ(萬葉)なる歌のさまにもかなはざるものをや云々[續日本紀]一右五文武天皇二年四月戊午奉ニ馬于芳野水分峰神ニ祈レ雨也[枕草紙]十一左十三神は云々みこもり(くまイ)の神いとおかし[大和國名所圖會]いつの代にや洪水にながれて今は平砂と成り云々○案に水分神社は大和に四箇所河内攝津等に一箇所また式外にて安藝に一箇所都合七社おはしませり

對馬國 住吉神社神寶曲玉圖 惣丈三尺曲玉數及形象色目如レ圖管玉凡二百十二(○色目今略之)



統タル糸ハ後世コレヲ改ト云リ生絲ノ如クミユ然レドモ本ノ色目ヲカヘズト云赤キ糸ナリ管玉ハ大體似ヨリタル色ナリ曲玉ハ皆玲瓏タルモノナリ

宮中 八神殿御再興之事

[伯家部類]云寶曆元年辛未十一月遷宮其詔刀詞云(コトハ祝詞ニツマビラカ也)大八神殿者天皇皇后乃御身於護利給比朝家守護乃御神奈利是故爾往昔神祇官爾鎮座奈志奉利祭禮懈利無久伯其職多留事舊典爾明良奈加利中比官舍廢絶爾及志賀

美文一と見へ壬生氏の建ける御門を美福門といひ(輔仁本草)に介加奈とあるを(康頼本草)に美加奈とあるなど猶これかれ證どもあればいかでかは誤字とはいふべき（いにしへ美字を介に假字につかひけむと思はるゝよしどもにあれど事長ければこゝにはしるさず）さて庭火神は(古事記)上卷に故其大年神云々又娶二天知迦流美豆比賣一生子云々次庭津日神次阿須波神次香山戸臣神次羽山戸神次庭高津日神次大土神亦名土之御祖神とある庭津日神歟或は庭高津日神なるべし（此よしは下にいふ）(續紀)天平三年正月神祇官奏二庭火御竈四時祭祀一永爲二常例一(文德實錄)齊衡二年十二月大炊寮大八嶋竈神齋火武主比命庭火皇神並授二從五位下一天安元年四月有レ勅大炊寮大八嶋竈内膳司忌火庭火神並授二從五位下一（記傳に前の從五位疑ひありといへり）(三代實錄)貞觀元年正月大炊寮從五位下大八嶋竈神八前齋火武主比命内膳司從五位下庭火皇神等並授二從五位上一（(記傳)に脱文あり古本云々とあるに從ふ）(日本紀略)天德四年十一月十九日今夜坐二内膳司一忌火庭火等御神奉レ遷二冷泉院一内膳仍權大納言師尹卿以下奉レ遷レ之平野謂祭二一口一也庭火謂鑄一口也各有二臺長櫃等一衞士持レ之奉レ移二院乾方新屋一庭火平野別々屋也安レ置之一後宮主祝詞康保三年八月廿六日授二内膳司正四位下庭火神從三位一（正五位下より正四位下までの敍位いつにかいまだ考へず）(中右記)に内膳司御竈神三所也平野件美御祭奉レ仕神也一所庭火是等是詩常御飯奉レ仕神也一所忌火是則十一月新嘗六月神今食祭奉レ仕神也など見へたり但し竈忌火庭火三神の御正體はもし金輪（今いふ五德）かと思はるゝよしありさらば庭火の火を借字ともいひがたし猶よく考ふべし又大膳式に御膳神八座高倍神一座竈神四座窖神四座とある高部神は庭高津日神と同神と覺しきこゝちす是をもて思へば是則庭火神なるべし○因云窖は(類聚名義抄)に窖音敎下谷地室つちぐら(字鏡集)に窖埳同ムスカム、ツチクラなどあるを見るに今あるさまの閇都比にはあらぬ歟是にて閇都比と加麻との差別あるに似たり猶竈神の事は別にいふべし

吉野水分神社（大和）

[玉勝間]十二廿七右云あてこの水分と申すを中昔より訛りてみこもりなど申て吉野のをも(六帖)の歌(枕册子)などにもみこもりの神といひ今も子守大

和泉國 石津神社末社野見宿禰命像

寛政元年己酉二月廿五日片山誠之摸



弘化二年四月廿二日再摹之　春村

大鳥美波比神社

春村案に延喜廿二年四月五日（大神宮五社 大鳥神社也 流記帳）に正一位尒波比社また（本國神名帳）に正一位尒波比社前などあるにつきて或人美は尒の誤歟尒波比は庭燎にて神樂する地に祭れる社なるべしと云り今考るに庭燎かといへるはよろしき考なれど神樂する地に云々はいかゞあらむ（古事記傳）十二廿七右　庭津日神の注解に［續紀］（文德實錄）（三代實錄）等に見へたる庭火神は即ち此神の御名によれる成べしと見へて其細注に火は借字にて必庭燎のことには非じ日は産靈の靈なるべしとあるを見れば大鳥神社の敷地に由緒ある神なるべしまた美は尒の誤かと思るなり（古事記）中卷訶志比宮段に邇本杼理（萬葉）四五丁右　二寶鳥同五五左　爾保鳥同十二十二右　尒保鳥同十五十三右　柔保等里（新撰字鏡）鸊鷉爾保鷁爾保（倭名鈔）鸊鷉爾保　などあるを（古事記）中卷明宮段には美本杼理と見へ又（新撰字鏡）に哨且醮反　小也不レ止爾加牟齣ハ丑之反食已出入嚼牛乃尒介加三齝ハ五佳反齒不レ齊良波爾加牟又久不齳ハ側鳩反齵也齒偏波尒加牟又久不齒士佳反平也齒不レ正也　波爾加牟又伊女久（類聚名義抄）に哨に肯（けカ）む　などあるを同書にまた噍黍之反牛哨也牛乃美加牟とも書るが見へ（萬葉）一十右　熟田津同二十八左　和多豆同二廿右十二四十右　柔田　津同三廿九右　飽田津などいづれも尒伎太豆なるを（仙覺抄）三に（伊豫風土記）を引て美枳多頭ともありたま壬生は尒布なる事勿論なるを（書紀）皇極御卷六左　に　乳部此云ニ

石見 靜權現窟

「諸國周遊奇談」五七右 石見國邑智郡出羽(イツハ)組岩屋村に靜權現の神社あり祭神大汝命少名彦命なり尤秋祭あるよし窟もあり至て奥深く口も大概廣し按に萬葉集「大汝少名彦のいましけんしつの窟はいく世經にけん」とあるはこゝにはあらざる歟播磨の石の寶殿をそれといへどいはやにあらず爰は岩屋村といひ靜權現といひて右兩神を祭れりかたく證據たしかなり

山城 宗像社

「諸社根元記」左京東一第宗像神社三座田心姫湍津姫市杵嶋姫(松尾同體之神)貞觀元年二月卅日筑前并東一條并正二位歟格云筑前宗像神一位云々 (建治二年勘文云東一條宗像神社三座元爲二式外之神一而去年建治元年被文勘二奏子細一可レ須二四度官幣一之由 宣下了)

丹後國 大宮賣神社神像二軀

(弘化二年四月廿二日自下野國蘆野人戸村忠彌獲之 春村)

丹後國丹波郡周枳村所レ祀神像二座稱二二宮一額字曰正一位大宮賣大明神從一位若宮賣大明神 相傳是崇神天皇之時波道主來二此邦一而始祀レ之云



一曰豐保食命長一尺八寸

村人以爲二氏神一



宮津稻荷祠官坂根筑前圖并識

の色は猶のこれり

出雲 美保神社一年神主事

[諸國周遊奇談]文化三丙寅 春昌東舍著 三ノ一 云出雲國嶋根郡三穂の關は崎とも湊とも云なり三穂津姫命 事代主命二座を祭神として正神主横山大隅守白川家執奏也また一年とは神主年々に代り日夜勤るをいふこれは三年まへより究る事なり先づ九十兩月の間三穂凡三百軒餘の家數の内男子十二三歳より老年までいづれにも右の二神より夢の告あり都合三度なり正神主と一年神主になる人と同じ夢を見る事なり但し白髮の老人來りて告る事もありまた淨衣烏帽子着たる人の夢の告もありみな正神主と同じ夢をみる事なり都合三度にて三年後の年の神主究るなり夫につきその家を煤拂して鹽水にて洗ひ佛檀を寺へ預け前後三ヶ年佛事を禁ず則十二月大晦日の夜より海邊なれば毎夜八つ時頃汐こりをとりて一年が間右の二神一社へ參りて假神主首尾よく勤む事を願ふこれ夢の告ありし年の翌年一年中の事なりさて三年目の春三月十日は右神社の祭禮なれば其日前年の神主より神役うけとる是迄前二年より船着なれば船中安全のためとて諸國船より米初穂料の金銀錢を送る夫にて前後三年を暮すなり妻あれば不淨の時裏に他家とて離れ家兼てありこれへ遣し清淨になれば常のごとし如レ此して此祭禮の日大なる湯立の釜ありて水八分いれ焚立て湯玉のたつ時に其年の新神主淨衣白無垢風折烏帽子着したるまゝにてその湯釜へ入て煮るなり介抱の前神主數人ありて皆其加減を見て息絶たりと思ふ時四五人にて釜より出し神前の荒菰を上にねかし置なりしばらくして生かへり起たる時に拜殿までかき出して幣帛を持せ皆平伏す其時近國參詣の老若男女大勢群集して心得たる人々は皆々神託を書留るために紙矢立を持參しまちひかへ居る彼一年神主幣を振る三々九度七五三その事濟て其一年中の作の善惡病などはやる事一々神の告あり其事終りてそのまゝ臥す時に神前の菰の上へかき乘せまたしばらくして元の如し衣服着かへて家に歸るなり但しいつにても願主有て祈願相たのみ神託を願へば右の通り湯立して一年神主を釜へ入れ祭禮のごとくして神託を告るなり此初穗金七兩貳歩なり是もとり〴〵船かたよりあるなり

樓ニ勒ニ其鐘ニ曰八幡宮譽田山陵之鐘建久二年七月鑄又有ニ縁記文五卷ニ春村云三卷ノ誤寫カ乃足利義教卿所ニ書傍有ニ僧院敎十區ニ祝家多居ニ邑中ニ又壺井村亦有ニ此神宮ニ與國文中天授年間國宣祝家家藏焉

當宗神社 河内

「公事根源抄」云當宗祭四月十一月上酉日是は河内國に侍る神社なり午日使たつ杜本當宗は程近き故に獨の使兩社の爲に下向す宇多御門の御外祖母は當宗氏なるによりて仁和五年四月十四日に祭をはじめ行はる「世俗淺深秘抄」云寛平法皇御外祖母氏神在ニ河内國ニ所謂當宗社也仍自ニ仁和五年ニ被レ祭レ之或説曰實御秘抄有母字儀也御母儀中野親王女班子女王由雖レ記レ之其年齡頗不レ可レ然爲ニ後見ニ如レ此雖レ註實當宗氏女也大概見ニ寛平御記ニ歟「年中行事秘抄」云寛平御記云仁和五年四月十四日乙亥朕外祖母當宗氏神在ニ河内國ニ自ニ今年ニ可ニ祭始ニ之狀仰畢又世記云寛平五年四月七日戊辰是日始奉ニ遣河内國志紀郡當宗秘抄有氏字神祭幣帛使ニ國司一人專ニ當其事ニ使食薑等並用ニ國正税ニ永爲ニ恒例ニ當社天皇外祖母之氏神也按諸社根源記神名帳頭注又載ニ此二説ニ然寛平五年四月無ニ戊辰ニ仍今從ニ初說ニ又按小野宮年中行事爲ニ去年ニ年中行事抄師緒年中行事等並爲ニ此年ニ以上史料卷四載レ之

蜂社 陸奥

「舊蹟遺聞」二七右云蜂社は志波郡郡山の西八九町あなたの廣野に陣カ岡蜂ノ社の名殘れり東鑑に文治五年九月四日辛酉着ニ御于志波郡ニ中略今日二品令レ陣ニ于陣岡蜂社ニ給云々十一日戊辰今日令レ立ニ陣岡ニ云云考るにこは土人義家朝臣の陳し給ふよりの名なりといふはよし有て聞ゆ中略さて蜂ノ社はこの陣カ岡のうちに小祠のあるは則これなりといひ傳ふこは義家朝臣の此所に社を建給ひしなどいへれど今考るよしなし今は此社を八幡の社なりとすれど蜂の訓と八の音とおなじければ後の世にかくあやまりしならん今縁起といふ物にも蜂の社とありこの縁起は後世に僧などの作りたるものとみゆれど古

頭注寛耀僧都ハ曆應比ノ人ナリ頓阿ガ繪ヲ誂ヘシ事ナド草庵集ニミユ

[諸社根元記]稻荷或説イ記曰知證大師弘仁十二年夏參ニ熊野一以ニ顯密法文一奉レ飾ニ三所威光一還向之砭過ニ紀伊國石田河ノ下稻羽里一之間一人老翁多苅稻二人女(春村云此間可有脫文)老翁者稻荷大明神二人女者下中宮云々

河内 譽田八幡宮

○春村案ルニ河内國志紀郡丹比郡等ニ長野神社アリ此八幡モ長野山ノ御陵ナレバヨシアリ追テ考フベシ

[譽田宗廟緣起圖]上卷云應神天皇御治世四十一年仙算百十一の御年二月十五日に崩御しましますす其時のみやは豐明の宮なりそれより河内國長野山に送葬し奉て玉體を瑪瑙のひつにおさめて御陵をつきて四門をたつる事みな遺勅の旨にまかせたり中略其界畔の境をば公家永々寄進ありて社家又四至傍至を定をく山陵神領と成て毎年卯月一日八月一日一年兩度の御穢をいむ事をこたりなし山陵を守護する事はみな勅命をふくむで六十六箇の國々屋舍をかまへて警固したてまつる事六十九字なり朝によらう本ノマヽひ夕にはらふおこたりなし其よし孫々今に傳たり宣旨の奉免の神人と申これなり[同]中卷云譽田宗廟の社壇は欽明天皇の勅定によりて應神天皇の御廟前にはじめて寶殿をつくり給ふ其時の社壇は南むき欽明天皇二十年己卯二月十五日に八幡大菩薩をあらたに勸請し給ふなり[同]下卷云後冷泉院御宇天の告によりて御廟前の宮をあらためて南へ去こと一町ばかり引うつして造替せらるる事嚴重なり是則今の社なりさら〳〵かはる事なし

奥書云先年當社參詣之時拜ニ見緣起三卷一之處事多疎略繪未ニ周備一仍拾ニ舊本之遺一更致ニ新寫之功一益顯既往之靈驗爲レ備ニ將來之龜鏡一謹寄進 寶前數奉レ仰ニ玄鑒一者也永享五年孟夏廿一日 征夷大將軍左大臣兼右近衛大將源朝臣華押[河内志]四左二古市郡式外八幡宮在ニ譽田村一有ニ正殿禮殿舞殿門廡鐘

○春村案ニトノ神社ト訓ベキ歟（和鈔）兒湯郡ノ郷名ニ都𢊩アリ是ト訓ベキ書ザマニテ恐ラクハ同所ナラム又（塵添壒嚢鈔）巻一廿五左ニ云日向國古庚當ㇾ作ㇾ庚郡常ニハ兒陽當ㇾ作ㇾ湯郡トカクニ吐濃峰トノト云フ峰アリ神ヲハス吐乃大明神トゾ申スナル昔シ神功皇后新羅ヲウチ給ヒシ時此神ヲ請ジ給テ御船ニノセ給テ船ノ舳ヘヲ令ㇾ護給ケルニ新羅ヲウチトリテ歸給テ後稻馬峰ウシマノト申ス所ニヲハシテ弓射給ケル時土中ヨリ黑物頭サシ出ケルヲ弓ハズニテ堀出シ給ケレバ男一人女一人ゾ有ケル其ヲ神人カンヌシトシテ召仕ヒケリ其子孫今ニ殘レリ是ヲ頭黑カシラクロト云フホリ出サルル時頭ノ黑クテサシ出タリケル故ニヤ子孫ハヒロマリケルガ疫癘ニ死失テ二人ニナリタリケリ其事ヲカノ國記ニ云ヘルニハ日々ニ死盡シニツキテ僅ニ殘レル男女兩口フタクチト云リ是ハ國守神人ヲカリツカヒテ國役クニヤクニシタガハシムル故ニ明神イカリヲナシ給テアシキ病起テ死ニケル也トアルモト、訓ケル證ニテトノ、ノハ助辭ナルガ既クヨリ轉ジテ體言ノ如クナレル成ベシ

稻荷神影

○山城國葛野郡栂尾高山寺閼伽井坊ニ稻荷ノ神影アリ寬耀僧都ノ畫クトコロナリト云リ



攝政（法性寺殿）内大臣（宇治左大臣）左大將源雅定卿大納言藤伊通卿皇太后宮大夫藤宗能卿民部卿顯賴卿左衞門督公教卿權中納言公能卿參議忠雅卿等參ニ會殿上一藏人頭左中辨資信朝臣以ニ解狀二通一（祇園社解一通延暦寺解一通）獻ニ攝政一攝政以下次第見ニ下之一忠雅卿讀ニ上解狀一卽爲ニ發語一群議大略一同也忠盛不レ知ニ事發之根源何嬰ニ罪戾一云々先召ニ下手輩一隨ニ指申一可レ被ニ科決一內大臣被ニ定申一云春秋左氏傳說趙盾依レ不レ出レ境空負ニ殺逆之罪一今忠盛朝臣雖レ不レ知ニ事發之根元一猶在ニ山城國境一者依レ不レ知ニ事之根元一一向可レ无レ罪之由難ニ定申一云々資信朝臣以ニ群議之趣一奏ニ聞法皇一又顯賴卿參ニ御前一奏聞云々顯賴卿雖レ非ニ十六之員一依レ爲ニ大事一關此議一也又人々定申云遣ニ官史一先可レ被レ撿ニ注濫行之實否一內大臣仰ニ資信朝臣一令レ遣ニ官史一資信朝臣召ニ右史生中原國長一仰云今夜內召ニ具左大史小槻宿禰永業一罷ニ向祇薗一可ニ實撿一也（按久安云々者本朝世紀文采要也盖世紀文頗首尾明白也附本書可校之（○今按附當作就））

江尻大明神（相模）

○春村案ニ江尻疑ラクハ江島ノ寫誤ナリ

「源光行海道記」（群書類從卷三百卅四十三右）云囘瀨川をわたりて江尻の海汀をすぐれば江の中に一峰の孤山あり孤山に靈社あり江尻大明神と申威驗ことにあらたにして御前を過る下り船は上分を奉る法師はまいらぬこときけばそのこゝろをたづぬるにむかし此邊の山寺に禪僧有て法華經を讀誦して夜をあかし日をくらす其時女の形出來て夜ごとに聽聞してあくれば忽然としてうせぬれば其行方をしらず僧これをあやしみて糸を搆てひそかに裾につけにけりあくる朝に糸をたゞしてみれば海上にひかれてかの山にいたりぬ後僧にはぢてこれをいれずといへり云々「江のしまやさして（本ノマヽ）鹽路に跡たるゝ神はちかいのふかきなるべし」路の池に高き山あり山のみねかぶろにて貴からずといへども恠石ならびゐて興なきにあらず步をおさへて石をみればむかしの堀うがちたる礬どもなりうみも久しくなればひるやらむとみゆ腰越といふ平山のあはひを過れば稻村と云ふ所あり云々（次文湯井濱鎌倉とつゞきたり略レ之）

都農神社（日向）

年ニ神主ト爲キ(三代實錄)ニ見エタリ御豐ノ弟ハ眞濟(柿本紀僧正)其弟ハ安宗トテ別當ニ補シタリ此レ當社別當ノ始ナリ(末社記)云仁和三年九月十九日安宗入滅(七十五)寺務廿五年 猶クハシクハ紀氏系圖ニ記シヌ

(山城)祇園鬪亂之事

[鳩嶺雜日記]云久安例先度注進有然るに猶注ニ進之ニ左傳文事久安ノ度僉議之時宇治左大臣殿令レ申給候今度被レ仰ニ彼例ニ候歟晉靈公わろく候間趙盾(其時爲ニ晉靈公之臣ニ)惡避レ之然間趙穿(趙盾之いとこの子なり)殺ニ靈公ニ趙盾自不レ殺とも晉國之境之中に有依レ之趙盾が罪とす其時我君殺さずとあらがひ(へ脫)ども身居ニ國中ニ其親者殺レ之仍趙盾が殺うちにいれられそ(本ノマヽ)久安にも假令忠盛鬪亂之時にあはず我しらずと申せども我身在ニ山城國中ニ所從既出レ事仍忠盛の罪とす彼度被レ引ニ左傳ニ事は此趣にてぞ候けむと愚推にも平家之輩其家近ニ祇園ニ何不ニ制止ニ哉と候けるは不レ知ニ制止ニ致ニ鬪亂ニたりけるにやと被レ疑たるにこそ候めれ無ニ別儀ニ候歟但委不レ知レ存上久安例に在候此申狀近々猶可レ被レ致レ意候かくは申候ともあしき事に心得てもや候らん非ニ見參ニ者難レ盡ニ帋上ニ候謹言

十月十一日　　頼向

序

祭禮ノ事[貞德文集]上云祇園祭ノ事八百歲已往貞觀年中ニ相始候應神之亂ヨリ已來京都衰微山鉾人形作物不レ改レ古用來候長刀函谷放家船之外鬮次第定ニ前後ニ相渡候犬神人警固逸興犬神人者淸水坂之絃懸事(仁而)候也　六月七日(案ニ犬神人前文ニハ絃召トアリ)

[本朝世紀]久安三年六月廿八日庚申叡山衆徒及日吉祇園兩社神人等舁ニ神輿ニ猥欲ニ入洛ニ是則依ニ去十五日祇園鬪亂事ニ忠盛朝臣淸盛朝臣父子共以下可レ被レ處ニ流刑ニ之由上訴申故也以ニ奏狀ニ進レ院云々爰法皇差ニ遣撿非違使左衞門少尉源朝臣光保同朝臣親康同朝臣季頼同爲義平家弘等ニ於ニ切堤邊ニ令ニ守禦ニ又散位平正弘河内守源季範等各率ニ軍兵ニ發向依ニ法皇仰ニ也衆徒等結レ黨成レ群放聲叫喚其響聞ニ洛中ニ京師因レ茲騷動及ニ申刻ニ民部卿顯頼卿奉ニ 院宣ニ差ニ遣廳官一人ニ仰ニ衆徒ニ云至ニ于訴申事ニ者任ニ道理ニ可レ有ニ裁許ニ早可ニ罷歸ニ衆徒等承レ仰愁歸レ山了　卅日壬戌今夕於ニ法皇御所ニ(白川北殿)被レ定ニ祇園鬪亂事ニ

貞觀四年十二月廿三日太政官符云應下改二石清水一號中護國寺上云々護國寺者造立之願主草創不レ知レ之大菩薩御遷座以前之堂也行敎和尚奉レ崇レ之又帳中古ヘ御躰（行敎作云々）幷勝尾寺御躰奉レ居レ之云々

[八幡愚童訓]序大菩薩ノ御託宣（天安三年二月三日）ニ末代ニ及デ人ノ心不信ニシテ佛神ヲ信ゼザラン時必吾敎言ヲモテ世ニ披露ノ信ヲ發サシムベシ玉不レ瑩バ光ナシ言語ニ云ザレバ人不レ知神ハ自モノイハズ人代テ是ヲ云吾敎ヲ信ズルモノハ二世ノ願タガフ事ナシ（本卷首書ニモ載タリ見合スベシ）

[同書]（御體御事條）保延燒失ノ時木像ノ御躰ハ燒テ灰ト成リ內殿ニ安置ノ劔璽ハ火ノ中ヲ去テ今ニ威力ヲ施シ玉フ事ヲ思フニ云々（○春村案ニ此神體ハヤケテ劔璽ノ安穩ニマシマス事イミジク尊キ事ナリケリ其御體ハ敦實親王ノ御作ニテ法體ノヨシナレバ必神慮ニ協ハザリシ成ベシ此御社ナバ殊ニ浮屠氏等ノアツカヒ奉ル事イトモ〳〵ウレタキ事ニ思ハルヽチイミジクコヽチヨキ神ノ御仕業ニゾアリケル）其時諸道ノ勘文ヲ被レ召シニ明法ノ博士小野有隣ガ申狀ニハ祖廟ノ璽信者劔ト鏡トナリ今既ニ奉レ出ニ烟炎ノ中ニ寧非ニ靈驗之令レ然哉是ニ知ル國家鎮護之誓長ク存シ天下泰平之運无レ疑徵トゾ申ケル

○春村案ニスベテ寺院ノ鎮座ハ八幡多シ是後世ノ事ナラズ鎌倉ノ末既ニシカリカノ宇佐宮ヨリ東大寺ニ遷シ奉リシニ習ヘル事トミエタリ（愚童訓）下佛法事條云大菩薩モ日本國ニヒロマル所ノ佛法何モ愛シ守リ玉ヘリ依レ之東大寺ノ八宗兼學ノ所ニハ大菩薩ヲ鎮守トシ奉ル是故ニ御託宣ニ京都ニ向テ大佛ヲ拜シ奉ランガ爲トアリ諸宗ヲ守護シ玉フ故ニ大伽藍ト云所ニ大菩薩ヲ鎮守トシ奉ル南都七大寺大略ハ八幡ニテ御座ナリ弘法大師ハ東寺ニ祝ヒ傳敎大師ハ中堂ニアガメ薗城寺ハ社檀ヲタテ興福寺ニハ南圓堂ニシテ法味ヲ備ヘ自餘ノ寺院遠近ノ靈地ニ勸請シ奉ル事六十六ケ國ニ滿々テ其數知ガタシ文（已上）トアルヲ見ルベシ愚童訓ハ後伏見ノ御代正安（二年アリ）ノ時書ル書ナリ

○又案ニ八幡ノ神主別當ハ代々紀氏ナリ是ハ其始メ行敎ノ一族御豐ヲ神主トシ其弟安宗ヲ別當トセシヨリ今世迄相承シタル也行敎ハ竹內ノ大臣ヨリ廿代ノ末裔ニテ大安寺僧ナリ祖父ハ山城守豐河父ハ山城守兼弼或ハ由長（兼弼ヲ(石清水末社記)ニハ魚弼ニ作ル）ト云リ行敎ノ兄彈正大弼御園ノ子御豐ヲ貞觀二

マツラム」

頭注「身のうさを中々何といはし水思ふこゝろをくみてしるらむ」とよみて利生を得し女の事十訓抄下第十訓十二段にみゆ

宣命云天皇加詔旨止掛畏支石清水爾坐八幡大菩薩乃廣前爾恐美恐美毛申賜止申去二年冬乃比兵亂事起天東西騷動志遠近不レ靜須天皇朝廷毛歎愁御坐天彼時爾御心中爾祈申賜布事有支依レ之且其祈之年分度者御封戸等去三年爾奉レ寄已了支其後宜應情念天中外無レ事久兵革且休三天諸國已平奈利卽彼祈之未レ畢奉二神事一等早奉賽給波无止須留間仁宮中仁頻觸穢事出來于今爾延廻給へり故是以吉日良辰擇定散位從四位上源朝臣允明ヲ差使天先年御祈之火幣走馬神寶細男等令二齊整一令二牽持一天奉レ出給布掛畏支大菩薩此狀乎早聞食給天寶位無レ動天下平安之天夜守日守護幸賜止恐美恐毛申賜止波久申　天慶五年四月廿七日

抑四年十月五日辛酉依二平將門藤原純友等討得一報賽始自二今年一石清水宮可レ被レ奉二歌舞人等一式乾門內西掖爲二樂所一自二今日一行事所司每日差二饌舞人十人一左右衞門兵衞左右馬兵庫等判官也歌人十人堪能六位等也

同祭延引　李部記天慶六年十一月廿九日癸卯可レ有二石清水祭事一仍使二舞人陪從一皆給二裝束一奉二仕御禊一欲二發留（本ノマヽ）一之間從二太政官一右少辨曹司犬產穢通二內裏一仍停二止神事一云々

同祭延引代行御讀經　李部記天慶八年十月卅日癸巳依二先年兵亂禱一講二供最勝王經于石清水社一云々

先年有レ如二歌舞妓一每年可レ供之料仍去五年初有二件祭一六年以後依二天意之妨一常以停二舞人一成二神明不享之穢一仍變二作法一每年可レ被レ修云々

天祿二年三月八日癸卯石清水宮臨時祭也御宿願賽也臨時祭始歟云々　使右近權中將源忠清朝臣　舞人十人以上臨事祭事出二于宮寺緣事抄臨時祭部一

「同書」云石清水八幡宮不レ入二式神名帳一事　近都不レ供二魚味社一不レ附二官帳一者例也所謂當宮祇園北野等是也仍漏二神名帳一歟祇園社本名觀慶寺　貞觀年中圓如大德建立元慶年中依二神託一殊搆二精舍一撰レ式以前被レ尊二崇之一猶漏二神名帳一畢（モト）兼直

「石清水末社記」云石清水者素山寺名也而權現移二坐男山一之後改二東面堂一爲二南面堂一今藥師堂是也

病アラセズ速ニ返玉ハヲ本ノ國ベニ」因ニ此長歌ノ詞ニヨメルニコソ凡荒人神ト申コト其品多シ之日本武尊對ニ蝦夷ニ吾是現人神ト可レ申也又日本紀曰雄略天皇四年春二月射ニ獵於葛城山ニ忽見ニ長人ニ天皇問曰何處公長人對曰現人神僕是一事主神也云云天神地祇ノ外ノ神ヲバ皆荒人神ト申ベシト日本紀ニ申タンナレバ以ニ何篇ニ墨吉大明神ト申ベキヤ荒御前ト申ニ付テ申ニヤ云々又住吉四所明神者如ニ古事記看ニ神功皇后遷座ト見エタリ但津守國基ガ申ケルハ第四ノ社ハ玉津嶋明神也云々定有ニ子細ニ歟追可レ尋云々〇此神ノ御事ハ記傳六七十一右卅四十八右卅五廿右等ニ委シ

頭注 相生ノ説賀茂翁ハ相老トシ鈴屋翁ハ相追ナリト云レタレド共ニナホ穩ナラズ春村案ニ神ノ出現ヲ生アレマシ、事ニ云ナシ松ノ生ソメシ事ヲ兼タルニ似タリ舊説ノ相生ニ從ヒテアラム事カヘリテ是ナルベシ

新古今集賀、後冷泉院おさなくおはしましける時卯杖の松を人の子にたまはせけるによみ侍ける大貳三位「相生のをしほの山のこまつはら今よりちよのかけをまたなん」

首巻
現人神

春村云現人神ノ事前文ニ見ユル所詳ナラズ此ハ記傳卅五十一右卅二十二右等併考フベシ参考熱田緣起七左ニモミユ

大和
三輪ノ神主由來

［古本今昔］廿卅一段「今昔持統天皇ト申ス女帝ノ御代ニ中納言大神ノ高市麿ト云人有ケリ本ヨリ性心直クシテ心ニ智リ有ケリ又文ヲ學シテ諸道ニ明也ケリ然サレバ天皇此ノ人ヲ以テ世ノ政ヲ任セ給ヘリ中略大和國城上郡ニ三輪ト云フ郷其ノ中納言ノ栖也其家ヲバ寺トナシテ三輪ト云フ其流ヲ以テ其社ノ司トシテ今ニ有リトナム語リ傳ヘタリト也

山城
岩清水

［鳩嶺雜日記］續群書類從三十一云臨時祭事天慶五年四月廿七日庚辰石清水臨時祭也 使播磨・守從四位上源朝臣允明 舞子十人略之歌人十人略レ之 歌云「イノリクルヤハタノミヤノイハシミツユクスヱトホクツカヘ

「醍醐雜抄」類從本三十五 一 離宮兩社事藤原忠文朝臣奉寄附九條右丞相之地也下社者仲哀天皇御子忍熊皇子應神天皇御舍兄離大津之宮宇治河之汀留跡御座依神託延喜聖代仰山城國司神殿已下被致造營是下社廢離宮申自延喜年中至長祿年中五百餘年上社者應神天皇御子菟路稚郎子仁德天皇御連枝離難波之京宇治山麓ト居御是上社背離宮申下社祭禮使節勤仕氏人事四姓氏人者宇治氏酒波氏佐伯氏藤原氏「諸社根元記」離宮明神舊事紀曰此神者廢太子云々又忠文民部卿二人爲彼地主云々位記治承三十七正三位

攝津 住吉神社

「詞林采葉」三十左藏本撿日本紀底筒男中筒男表筒男三神也古事記曰問曰是三大神者當在ス筑紫橋ノ小戸今在ス攝津國墨江如何哉答曰此神ノ荒御魂者猶至筑紫但和魂獨在墨吉神功皇后紀曰九年三月皇后親爲神主其後皇后墨江遷座矣此神本在筑前小戸卽神功皇后初遷居攝津墨江矣此三神海中ヨリ涌出シ玉コトヲヨメル「西ノ海淡木カ原ノシホ路ヨリアラハレ出シ住吉ノ神」卜部兼直 神功皇后新羅百濟高麗三韓ヲ征之時守護ノ荒御前トシテ歸朝ノ後住吉ニ鎭シツマリ玉ケル孝謙天皇ノ御宇天平勝寶年中ニ社荒廢シタルコトヲ帝ニ告申サセ玉ヒケル御詞「夜ヤサムキ衣ヤ薄キカタソキノ行アイノマヨリ霜ヤオクラン」新古今集ニ侍ヤランアル人カノ社ニマウデ、ヨメル「人ナラハトハマシモノヲ住吉ノ松ハイクタヒオイカハルラン」明神翁ノスガタニアラハレサセタマイテ「イカハカリ年ハヘネトモ住吉ノ松ハ二度生カハリケリ」伊勢物語ニヤ業平朝臣住吉ニ詣テ「住吉ノ岸ノヒメマツ人ナラハイク世カヘシト問マシ物ヲ」トヨミタリケレバ井カキノ内ヨリ翁出テメデ返給ケル「衣タニ二アリセハアカハタノ山ニ一ハカサマシモノヲ」安法々師住吉ニマウデ、ヨメル「アマクタルアラ人神ノアイオイヲ思ハ久シ住吉ノ松」彼大神ハ如上ニ述ルガ神代ニ自海中涌出シ玉神也然ヲ天降トモ荒人神トモ可申哉ト覺ユ當集第十六巻石上乙麿歌曰「カケマクモユ、シカシコシ墨吉ノ荒人神ノフナノ上ニウシワキ玉シツキタマハン嶋ノサキ〴〵ヨクタマハム礒ノサキ〴〵アラ浪ノ風ニアハセズ草ツ、ミ

神名帳考證土代附考

藤原春村謹輯

宮中 八神殿

「百寮訓要抄」右ニ神祇官と云は今の八神殿渡らせ給ふ神祇官の事也是を本宮と申神祇の人々天下の御祈を申時此本宮に候て申事也八神殿には天上の神達をいはひ奉るなり「伯家部類」神祇官之事 一神祇官八神殿造營之事付日時勘文年號不レ見 神祇官八神殿假殿造營事昨日委令ニ言上ニ候了於ニ事始ニ者不レ及ニ方忌沙汰ニ候之間日次令ニ注申ニ候也元被レ立ニ假殿ニ候之後可レ有ニ遷宮之沙汰ニ候歟然者自ニ當時 禁裏大內ニ相當□將軍方候之間假殿造立□大工以□方違候者不レ可レ叶之由相存候也以ニ此旨ニ可レ有ニ御 奏聞ニ候也長親謹言

正月十二日　長親

神祇官八神殿假殿木作始日　正月廿一日壬子廿二日癸丑　廿七日戊子已上「同」雅朝王雜談 雅陳王聞書寫 一寛永元年云々神祇官ハ大內裏ノ辰見也今ハ二條通リ北ニルベシ其屋敷卅九年許已前予ガ卅餘ノ時迄屋敷アリソノ頃ハ芝ニ成テアリシヲ大閤撿地ノ時カハリテソレヨリ絶タルト也神祇官屋敷ノ末ニ官町トテ神祇官ノ町ト云コヽロナリ有レ之神祇官被管之輩居タル所ナリ一吉田ノ八神殿ノ事イツ比ウツサレシトモシレズ候二位ナドガ所爲ナリ吉田卜部兼見慶長二年二月廿四日丁酉叙 寛永元ヨリハ卅九年已前正親町院代末也ニ當ル天正十二年雅朝王三十歳天正十五年後陽成院御代始ナリ元和三年 東照權現神號被レ贈之奉幣之時神祇官屋敷二條也此所號ニ內野ニ云々荒廢如ニ野原ニ于レ玆引レ幔而諸司參向而發遣云々此義古キ役人等慥ニ申候由外記師言雜談ナリ○春村案ニ神祇官退轉ハ天正十五年ナルベシ（豐鑑）二吹上卷五十七右云その年天正十五年の夏の始より近江の中將秀次を都に殘し置うち野に秀吉住給ふべき殿つくりかまへさせ給ひしが秋のほどにはことなりぬれば冬の始に大坂よりもこゝにうつりて聚樂となづけ住給ふ文テヘリとあるも此神祇官の地なる事しるしさて近代伯家の地內に八神殿御再興あり寶曆元年十一月十一日御遷宮と云り次下十四丁右可ニ併考ニ

山城 宇治離宮

同　兼永卿眞蹟奥書

天文二年三月廿六日兼隆朝臣從二駿河國一所望之由申上候條書ニ寫之一校合今日終

神祇大副卜部朝臣兼永朱印

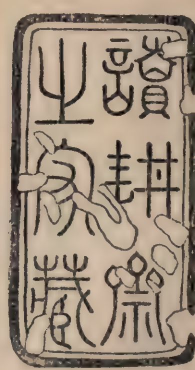
一本　度會延經校合本

一本ヘ

右延經本異本校合アリ出所不レ知姑ク一本トス

左大臣正二位兼行左近衛大將皇
太子傅臣藤原朝臣忠平
文龜三年十二月廿六日
神道長上從二位行神祇大副兼侍
從卜部朝臣兼倶
當帳校合之事

一本　奥書云
文龜三年十二月廿六日
神道長上從二位行神祇大副兼侍從卜部朝臣兼倶
件ノ本ハ延喜式全部アリテ林道春主ノ次子春德藏本也（自筆ナリトモ云フ表紙ノ下紙ニ林道春樣皆川ト書タルモミユルナリ）或人ノ秘藏セルヲ其内神名帳ノ部ヲ求メ借リテ校合シタル也本書イタク虫食テ開キ見ルニキレ〴〵ニナラントスイト惜シキ事也イトマアラン時悉借テ校スベシサテ卷毎ノ首ニ印ヲオシタリ左ニ記ス
文化四年五月十六日ノ宵ヨリ翌日マデニ校畢
伴　信友



一本　兼倶卿眞蹟奥書
文明十三年十二月令ニ修補一訖　兼倶

一本　日野家本也奥書
此上下兩卷蒙ニ　勅命一仰ニ嫡孫兼滿一終ニ書寫之功一致ニ校合一畢
文龜三年十二月廿六日
神道長上從二位行神祇大副兼侍從卜部朝臣兼倶

一本　兼永卿眞蹟奥書
天文元壬辰年八月廿七日云惡筆云老眼一向雖レ無ニ正躰一兼隆朝臣從ニ田舍一懇ニ望之一令ニ書寫一訖
正二位行神祇大副卜部朝臣兼永

神名帳秘釋　奥書
天文元年八月廿三日　卜部兼永訓點之

［三實］貞觀十二年三月五日和多都美神從五位上○仁位鄕仁位村ニアリ到レ今安曇氏任ニ神主ー

平神社

［續後紀］承和八年八月戊戌朔戊午奉レ授ニ對馬島平神從五位下ー［三實］貞觀十二年三月五日平神正五位下○元慶元年閏二月十七日授ニ正五位上平ー神從四位下ー［古事記］建比良島命津島縣主直等之祖也

敷島神社

［三實］貞觀十二年三月五日敷島神從五位上○今在ニ與良鄕加志村ー

都々智神社

［續後紀］承和七年十一月癸酉朔庚辰對馬島都々知神預ニ官社ー○按都々（和鈔）酘豆乎

銀山神社

［續後紀］承和七年十一月庚辰對馬島銀山神預ニ官社ー○上ニ銀山上神社アリ○在ニ佐須鄕ー

頭注［三實］貞觀十二年三月五日銀山神從五位上

式外舊社

大調神

［續後紀］承和四年二月甲午朔戊戌對馬島下縣郡无位大調神奉レ授ニ從五位下ー

延喜式卷第十

延長五年十二月廿六日

外從五位下行左大史臣阿刀宿禰忠行

從五位上行勘解由次官兼大外記紀伊權介臣伴宿禰久永

從四位上行神祇伯臣大中臣朝臣安則

大納言正三位兼行民部卿臣藤原朝臣淸貫

使ニ於百濟ニ便娶ニ彼土女ニ生ニ一男ニ名ニ日本大臣ニ云云今在ニ酘豆郷ニ○當國社家傳來神名帳云豆酘雷大明神今豆酘村ニテ龜卜ヲスル佐岩氏正月ニ豆酘村ノ西ナル社ニ詣テ此神ヲ祭リトヲスル也龜卜ハ雷神ヨリ傳レリ雷命ハト部ノ神ニテ神功皇后ニ隨ヒ三韓ニ渡リ當國ニ住給阿連村其住處也ト云傳タリ阿連村ニ雷神占卜申モ今連阿村ヨリ出ス也阿連村ハ居處ナル故ニ祭タルカ豆酘ノ社ハ其神ナラン雷命ハ今按烏賊津使主命也

和多都美（ワタツミノ）神社 名神大

「三實」貞觀十二年三月五日從五位上和多都美神正五位下○國府八幡宮此社歟

多久頭（タクツノ）神社

「續後紀」承和四年二月甲午朔戊戌村對馬島下縣郡多久都神奉レ授ニ從五位下ニ「三實」貞觀十二年三月詔授ニ對馬島正五位上多久都神從四位下「書紀」天智紀注云使ニ大山下狹井連檳榔小山下奉造田來津守ニ護百濟ニ

太祝詞（フトノトノ）神社 名神大

「三實」貞觀十二年三月五日太祝詞神正五位下「臨時祭式」卜部取ニ三ロト術優長者伊豆五人壹岐五人對馬十人○今云加志大明神始者在ニ佐須郷ニ今者在ニ與良郷加志村ニ

阿麻氏留（アマテルノ）神社

○卜部兼長本曰阿麻邦（郡イ）留「舊事紀」天日神命對馬縣主等祖○按高魂命子也在ニ小船越ニ御子神降（カミオロシ）ニ小船越ニハ照日權現ト云々天照神社ナラン

住吉（スミヨシノ）神社 名神大

「續後紀」承和四年二月甲午朔戊戌對馬島下縣郡住吉神奉レ授ニ從五位下ニ「三實」貞觀十二年三月五日住吉神正五位下○元慶三年五月廿一日授ニ對馬島正五位下住吉神從四位下ニ○與良郷鴨居瀬村紫瀬戸ニアリ今同郷難知（ケチ）村白江山ニアリ

頭注　神寶曲玉圖載附考一十三左

和多都美神社

島大國魂神御子神社

[三實]貞觀十二年三月五日從五位上嶋大國魂神正五位下

大嶋神社

[神名帳頭注]大作レ木トアリテ大島トアゲタリ(秘釋)同作レ大ハ非トアリ

波良波神社

[續後紀]承和七年十一月庚辰對馬島波良波神預ニ官社ニ

下縣郡十三座 大四座 小九座

高御魂神社 名神大

[續後紀]承和四年二月甲午朔戊戌對馬島下縣郡高御魂神奉レ授ニ從五位下ニ○貞觀元年正月廿七日高御魂神從五位上○同十二年三月五日從五位上高御魂神正五位下[國造本紀]津島縣直橿原朝高魂尊五世孫建彌己巳命改爲レ直[書紀]顯宗紀三年夏四月丙辰朔庚申神著レ人謂阿閉臣事代日以ニ磐余田ニ獻ニ我祖高皇産靈ニ事代便奏依ニ神乞ニ獻ニ四十四町ニ對馬下縣直侍同今在ニ酘豆鄕ニ

銀山上神社

[續後紀]承和七年十一月癸酉朔庚辰對馬島銀山神預ニ官社ニ[書紀]天武紀三年三月庚戌朔丙辰對馬國司守忍海造大國言銀始出ニ于當國ニ卽貢上由レ是大國授ニ小錦下位ニ凡銀有ニ倭國ニ初出ニ于此時ニ故悉奉ニ諸神祇ニ亦同賜ニ小錦以上大夫等ニ[本草和名]銀屑一名白銀云々和名之呂加禰出ニ對馬國ニ[醫心方]白銀云々出ニ對馬長門飛驒國ニ

雷命神社

[續後紀]承和十年九月丙戌朔甲辰對馬島无位雷命神无位健男霜凝丼比咩神奉授ニ從五位ニ 健男霜凝丼比咩神社在ニ豐後國ニ [書紀]神功紀 中臣烏賊津使主爲ニ審神ニ云々當國所レ侍符合[姓氏]津島且天兒屋根命十四世孫雷大臣之孫也[續紀]廿六 伊賀都臣是中臣遠祖天御中主命廿世之孫意美佐夜麻之子也伊賀都臣神功皇后御世

〔三實〕貞觀十二年三月五日宇努刀神從五位上

小枚宿禰命神社

〔三實〕貞觀十二年三月九日小枚宿禰神從五位上
〔古事記〕建比良鳥命津島縣直之祖○今在ニ櫛村一俗云ニ小枚繁一其中ニ社アリ

那須加美乃金子神社

〔三實〕貞觀十二年三月五日奈蘇上金子神從五位上
○按下野國那須那健武山神（續後紀）武茂神坐採ニ沙金之山ニ（三實）奈蘇上那須與爾志音通○在ニ男鹿村志多賀村一

伊奈久比神社

〔續紀〕卅九 延暦七年對馬島人穴咋皆麻呂○神護景雲二年對馬島上縣郡人高橋連波自釆女孝義之至有レ感行路表ニ其門閭一復祖終身〔和鈔〕下縣郡伊奈

行相神社

〔三實〕貞觀十二年三月五日行相命神從五位上

和多都美御子神社

〔續後紀〕承和七年十一月庚辰對馬島和多都美御子神預ニ官社一〔三實〕貞觀十二年三月五日和多都美神從五位上○三根郷木坂村ニアリ神功皇后ノ社ノ西ニアリ應神天皇○信友云海神ワタツミ又ワタノ神ノ事大小ツミノ類也サレドワタツミノ神社トモアリ渡ツ海ノ義モアリ

胡祿神社

〔續後紀〕承和八年八月戊戌朔戊午奉レ授ニ對馬无位胡祿神從五位下一〔三實〕貞觀十二年三月五日胡祿神正五位下○信友云（武藏國風土記）（總國風土記）也荏原郡赤坂庄小六天神或古呂故云々ノ下所ニ見合一○信友按胡祿ヤナグヒノ事ナラバ伊奈久比神社モ由アリゲ也

胡祿御子神社

〔續後紀〕承和四年二月甲午朔戊戌對馬島上縣郡无位胡祿御子神奉レ授ニ從五位下一〔三實〕貞觀十二年三月五日從五位上胡祿御子神正五位下

神名帳考證　六十九

延喜式卷第十之四十八

對馬島廿九座

○當國神社ノ事玉勝間九卅二右可ニ併考一

大六座

小廿三座

上縣郡十六座大二座小十四座

和多都美神社名神大

[續後紀]承和四年二月甲午朔戊戌對馬島上縣郡无位和多都美神奉レ授ニ從五位下一[三實]貞觀元年正月廿七日對馬島從五位下和多都美神從五位上○同十二年三月五日和多都美神正五位下○三根郷木坂村ニアリ今云神功皇后之社也八幡本紀卷二九四十可ニ引用一

島大國魂神社

[三實]貞觀十二年三月五日島大國魂神正五位下○伊奈郷仁田村仁田嶽島大國魂社ナラン御嶽ハ上津郡第一ノ高山也此山頭ニ祠アリ其窟ノ中ニ昔神ヲ祭タル處アリテ瓶子皿坏等于レ今有レ之ト云々

能理刀神社

[三實]貞觀十二年三月五日告刀神從五位上[龜兆傳](釋紀)所レ引龜津比女命今稱ニ天津詔戸太詔戸命一也

天諸羽命神社

[三實]貞觀十二年三月五日天諸羽神從五位上

天神多久頭麻命神社

[三實]貞觀十二年三月五日天多久都麻神從五位上○信友云(三實)ニ天神ノ神字ナシ(玉勝間)ニ引用ニハ天神多久頭麻命神社トアリ○今三根ニ天神ト云神アリ此山三根第一ノ高山ニテ今世建立シタル體ニ非ズアマガミヲ今誤テ音ニテ天神ト云ナルベシ○下縣郡多久頭神社アリ

宇努刀神社

列ニ於官社ニ[略志]物部村ニアリ○一宮天手力男神社ハコレ歟

天手長比賣神社 名神大

[文實]嘉祥三年十月丁卯詔以ニ壹岐島天手長比咩神ニ列ニ於官社ニ[略志]物部村ニアリ

彌佐支刀神社

[續後紀]承和八年縣主前利連氏益賜ニ縣連ニ神八井耳命之後也○信友云眞崎門歟[略志]志原村ニアリ

國津神社

[略志]渡良村ニアリ

海神社 大

[三實]貞觀元年正月廿七日壹岐島從五位下海神從五位上[略志]箇城村ニアリ所レ祭豐玉彦神

津神社

[姓氏]津宿禰菅野朝臣同祖百濟國都慕王之後鹽君男番侶君之後也[書紀]齊明紀津臣敏達紀津史[略志]半城村ニアリ

與神社

○按與訓阿多倍(古)阿多都比賣[略志]湯岳村ニアリ所レ祭足仲彦天皇○與一本作レ輿○信友按ニ輿神ハ沖ノ義歟海神津神オモヒ合スベシ

大國玉神社

[略志]志原村ニアリ

爾自神社

○播磨國宍粟郡邇志神社[略志]長嶺村ニアリ

見上神社

[略志]初山村ニアリ

國津意加美神社

[略志]武生水村ニアリ

物部布都神社

[和鈔]物部○今物部村ニアリ略志

國片主神社

○壹岐縣主祖押見宿禰[三實]ニ廿伊伎宿禰是雄者壹岐島人也本姓卜部改爲ニ伊伎ニ始祖忍見宿禰命始自ニ神代ニ供ニ龜卜事ニ[略志]國分村ニアリ所レ祭少彦名命ナリトイフ○百木云國堅主ノ義歟

高御祖神社

[和鈔]田河アリ○信友云住吉神社ノ下ニ云フ[略志]諸吉村ニアリ

手長比賣神社

○住吉明神社下ニ云フ[略志]本宮村ニアリ

佐肆布都神社

[古事記]建御雷神平レ國之横刀云々此刀名云ニ佐布都神ニ[略志]新城村ニアリ

同佐肆布都神社

○信友云同字衍字ナルベシコレハ本ニ略シテ同神社トアリケルヲ後ニ全ク御名ヲ記セル本ニヨリテ寫ストキ書入タルカ又イ本ニ同神社トアリシヲ校合シテ旁ニ書ソヘタルガ混ヒ入タルニテモアルベシ[略志]箱崎村ニアリ

中津神社 名神大

[舊事紀]市杵島姫命亦名中津島姫命○(和鈔)那賀郷アリ[略志]在ニ新城村ニ

角上神社

[文實]嘉祥三年六月庚戌壹岐島角上神列ニ於官社ニ
[略志]湯岳村ニアリ

石田郡十二座 大三座 小九座

[三實]貞觀五年九月七日壹岐島石田郡人官主外從五位下卜部是雄神祇權少史正七位上卜部業孝等賜ニ姓伊伎宿禰ニ其先出レ自ニ雷大臣命ニ也

天手長男神社 名神大

[文實]嘉祥三年十月丁卯詔以ニ壹岐島天手長男神ニ

延喜式卷第十之四十七

壹岐（伎イ）島廿四座

○信友云當國ノ神社コトゞゝク存在シ給ヘリ

大七座

小十七座

壹岐（伎イ）郡十二座 大四座 小八座

○當郡今池田郡ト云フ

水神社

［舊事紀］國造本紀伊吉島造磐余玉穗朝伐ニ石井從者一新羅海邊人天津水凝後上毛布直造［壹陽略志］（以下略志）ト標ス 布氣村ニアリ

阿多彌（アタミノ）神社

［古事記］大山津見神之女神阿多都比賣按彌與賣音通［略志］立石村ニアリ

住吉（スミヨシノ）神社 名神大

［三實］貞觀元年正月廿七日住吉神從五位上［扶桑略記］延喜十八年十月十五日太宰府解壹岐島言上、手長比賣明神社住吉明神社如ニ大鼓ノ鳴動御體美石出ニ寶殿ノ在ニ地上ノ高御祖名神社內亂聲炎光照耀指レ東去飛ト部等申云彼島內疾兵革、寇云兵賊驚者［略志］住吉村ニアリ

兵主神社 名神大

［三實］貞觀七年正月廿七日兵主神從五位上［略志］河北村ニアリ正一位兵主神社ト云祭神ハ大己貴命

月讀神社 名神大

［三實］貞觀元年正月廿七日月讀神從五位上［舊事紀］天月神命壹岐縣主等祖［書紀］顯宗紀三年春二月丁巳朔河閉臣事代啣レ命出使ニ于任那一於レ是月神著レ人謂レ之曰云々壹岐縣主先祖押見宿禰侍祠［略志］國分村ニアリ

出水郡一座小

加紫久利神社

[三實]貞觀二年三月廿日薩摩國從五位下賀紫久利神從五位上○同七年五月廿五日授ニ薩摩國從五位上賀紫久利神正五位下ー○同八年四月七日正五位下賀紫久利神正五位上[文實]仁壽元年以ニ薩摩國賀紫久利神ニ預ニ於官社ー○按加紫恐也久利闇御津羽神郡名出水有レ由ニ於水神ー○信友云(和鈔)借家トアリ家ハ栗ノ誤カ栗家

式外舊社

志奈毛神　白羽火雷神　智賀尾神　鹿兒島神　伊余色神

[三實]貞觀二年三月廿日薩摩國從五位下志奈毛神白羽火雷神智賀尾神鹿兒島神並授ニ從五位上正六位上伊余色神從五位下ー○按鹿兒島神者大隅桑原郡神カ

紫美神

[三實]貞觀八年四月七日紫美神從五位下○同十年三月八日授ニ薩摩國正六位上紫美神從五位下ー

多夫施神

[三實]貞觀十五年四月五日薩摩國正六位上多夫施神從五位下

掖玖ニ（推古紀）（舒明紀）（天武紀）等有ニ掖玖人歸化之事一

神名帳考證　六十七

延喜式卷第十之四十六　西海道第九

薩摩國二座並小

穎娃郡一座小

枚聞（ヒラキヽノ）神社

[三實]貞觀二年三月廿日庚午薩摩國開聞神加ニ從四位下一○同八年四月七日授ニ薩摩國從四位下開聞神從四位上一○同十六年七月二日戊子太宰府言薩摩國從四位上開聞神山頂有レ火自燒煙薰滿レ天灰沙如レ雨震動之聲聞ニ百餘里一近レ社百姓震恐失レ精求ニ之蓍龜一神願ニ封戶一及汙ニ穢神社一仍成ニ此祟一勅奉ニ封二千戶一[三實]元慶六年十月九日授ニ從四位上開聞神正四位下一○社家說彥火々出見尊○或書ニ又作ニ開聞渡海（ヒラキヽワタツミ）一又作ニ海神宮綿積宮等一一開聞山ハ名所ナリ又作ニ海門山一一名穴穗島穎娃郡開聞鄕ニアリ又一書ニ開聞嶽（カイモンガタケ）ニアリ和多津美社ト云フ鹽土翁ナリ[和鈔]開聞（ヒラキヽ）

レ息以レ故民多流亡仍加ニ賑恤ニ[三實]貞觀二年三月廿日庚午薩摩國從五位下鹿兒島(カコシマ)神授ニ從五位上ニトアルハ當社ナルベシ大隅日向薩摩國ニ古ト後ト異ナル事(古事記傳)ニモアリナホ可レ考信友○或書云桑原郡國分鄉宮内村ニアリト云ヘリ○或書ニ當社未レ詳明府人云此宮處ハ桑原郡ニアラズ噌唹郡也ト云ヘリ鹿兒島ノ地今ノ正八幡宮ヨリ遙ニ隔タリ南ニアリナホヨク可レ考鹿兒島城下ノ人諸人凡テ産神トス當國ノ一宮ト稱セリ○又或書ニ薩摩國鹿兒島郡鹿兒島神社澤手村ニアリテ今氏瀨ト云フトアリ[諸社一覽]今正八幡ト號[中右記]寛治六年二月十五日有ニ陣定ニ是去年大隅國正八幡宮寶殿燒亡之事也

囎唹郡三座(並小)

○信友云式外肥後國曾男神アリ

大穴持神社

[續紀]卅五寶龜九年十二月甲申去神護中大隅國海中有ニ神造島ニ其名曰ニ大穴持神ニ至レ是爲ニ官(印本無官字)社ニ

頭注 古寫本有ニ官字ニ○神護中云々天平寶字八年十二月紀天平神護二年六月紀宜レ考

○信友云或書ニ桑原郡國分鄉ニアリ(式)ト不レ合大穴持命少彦命大歲神ヲ祭レリ此處ニ神造島(カミツクルシマ)ト云フアリ今小島トモ又宮瀨トモ云フサテ拜殿ニ大穴持命ト云フ額ヲウチタリ

宮浦(ミヤウラノ)神社

○今當郡福山鄉宮浦村ニアリ

韓國宇豆峯(カラクニノウヅミネノ)神社

○信友云或書ニ今桑原郡國府鄉上井村ニアリ(式)ト不レ合又或人云ソレハ大穴持神社也當社ハ大江村ニアリ

馭謨(コムノ)郡一座(小)

益救(スクヒノ)神社

○信友云或書ニ稱ニ一品寶壽權現ニ宮浦村一品ガ浦ニアリ今大隅郡也(式)ト合ズ又益救島アリ又作ニ夜句夜古夜久野古養久ニ山亦島葉活今作ニ耶久耶古

日向國ノ南ノ極ニテ大隅國ノ堺ナリ（神代紀）ニ二上トアルゴトク東西ト分レテ峰二ツアリ山下ニ東霧島西霧島ト云フ村モアリ西ナル峰ハ大隅國噌唹郡ニ屬キ東ナルハ日向國諸縣郡ニ屬ケリ霧島明神社ハ麓ニアリ大キナル社也トゾ云々トアリ霧島山霧山トモ云フ（古事記）筑紫日向之高千穗之久士布流多氣（神代紀）（日向風土記）可レ引トアル處ノ山也コノ委キ考ハ傳ノ十五ノ七十二丁ニアリ

式外舊社

高智保神

［續後紀］承和十年九月無位高智保神從五位下○天安二年十月廿二日授ニ日向國從五位上高智保神從四位上ニ（古事記傳）十五七十丁十七ノ八十二丁十八六丁可レ見

神名帳考證　六十六

延喜式卷第十之四十五　西海道第八

大隅國五座

［續紀］和銅六年夏四月乙未割ニ日向國肝杯噌唹大隅始欏四郡ニ始置ニ大隅國ニ

大一座

小四座

桑原（クハハラノ）郡一座大

鹿兒島神社大

［續紀］廿五天平寶字八年十二月是月西方有レ聲似レ雷非レ雷時當ニ大隅薩摩兩國之堺ニ烟雲晦冥奔電去來七日之後乃天晴於ニ鹿兒島信爾村之海ニ沙石自聚化ニ成三島ニ炎氣露見有下如ニ冶鑄ニ之爲中形勢上相連望似ニ四阿之屋ニ爲レ島被レ埋者民家六十二區口八十餘人○神護二年六月己丑大隅國神造ニ新島ニ震動不

神名帳考證　六十五

延喜式卷第十之四十四　西海道第七

日向國四座並小

兒湯郡二座並小

都農神社

［續後紀］承和四年八月壬辰日向國子湯郡濃神預二官社一○同十年日向國無位都濃神奉レ授二從五位下一○天安二年十月廿二日授二日向國從五位上都濃神從四位上一［一宮記］大己貴命［出雲風土記］八束水臣津野命○信友云今延岡ヨリ津野ノ丁ニ入ル前ノ北ノ方ニアリ一宮都農大明神ト額打タリトゾ

頭注 附考一七右可二併考一

都萬神社

［續後紀］承和四年八月壬辰日向國子湯郡妻神預二官社一○紀伊國都麻比賣神社○井間田里樓木原又作レ妻今作二妻萬宮一サイマングウト云フ信友［文實］天安二年十月廿二日授二日向國從五位上都萬神從四位下一

宮崎郡一座小

［續紀］宮崎郡人大伴人益

江田神社

［續後紀］承和四年八月壬辰日向國宮崎郡江田神預二官社一○天安二年十月廿二日授二日向國從五位上江田神從四位下一○宮崎ノ町近所ニアリ大宮司下社家ナドモアリテ一宮都農ヨリハ大社ナリ［和鈔］江田

諸縣郡一座小

霧島神社

［續後紀］承和四年八月壬辰日向國諸縣郡霧島岑神預二官社一○天安二年十月廿二日授二日向國霧島神從四位下一［應神紀］日向諸縣君牛諸井○信友云或書ニ高原郷今云二東霧島山一（古事記傳）ニ霧島山ハ

下阿蘇比咩神從四位上○同年五月十七日壬申肥後國從四位下阿蘇比咩神列ニ於官社ニ○同十年閏十二月廿一日授ニ肥後國從四位上阿蘇比咩神正四位下ニ○同十年年四月五日授ニ正四位下阿蘇比咩神正四位上ニ○同十七年十二月廿七日授ニ正四位上阿蘇比咩神從三位ニ○在ニ宮地村ニ［和鈔］阿蘇

國造神社（クニツクリ）

［國造本紀］阿蘇國造瑞籬朝御世火國造同祖神八井耳命孫速瓶玉命定ニ賜國造ニ［景行紀］以ニ弟市鹿文ニ賜ニ於火國造ニ○在ニ宮地村ニ［續後紀］仁明承和十四年丁卯國造神爲ニ官社ニ

玉名郡一座 小

匹野神社（ヒキノ）

○國人帆足長秋云今匹野（ヒキヌ）村ニアリ（和鈔）ニ日置アリ日置野ナルベシ此社大社ニテ神領五十石神主四人アリ［續後紀］承和七年七月庚子以ニ肥後國玉名郡以疋（乃カ）石神ニ預ニ官社ニ焉○今在ニ大野庄立願寺村ニ

式外舊社

曾男神

［文實］天安元年六月丙寅朔甲申在ニ肥後國ニ從五位上曾男神授ニ正五位下ニ

蒲智比咩神社

［三實］元慶二年九月七日己亥肥後國云々宇土郡正六位上蒲智比咩神社前河水變赤如レ血云々

國阿蘇郡從三位勳五等健磐龍神社神主預ニ把笏ニ○同十四年阿蘇郡國造神爲ニ官社ニ[文實]嘉祥三年十月乙巳朔辛亥肥後國健磐龍命神加ニ正三位ニ仁壽元年冬十月己亥朔丙午進ニ肥後國健磐龍命大神階ニ加ニ從二位ニ○齊衡元年六月壬午加ニ肥後國健磐龍神封卅戸ニ[三實]貞觀元年正月廿七日肥後國從二位勳五等健磐龍命大神正二位[古事記]神八井耳命者阿蘇君之祖也[舊事紀]神八井耳命孫建五百建命[阿蘇社大宮司系圖]神武天皇第二之王子天建磐龍則阿蘇權現也[筑紫軍記]神八井耳命此御子天磐龍命ヲ筑紫ニ居置テ西戎ノ鎭守トシ玉フ肥後國ニ下リ玉ヒケルニ國神草吉見命ノ御女阿蘇都姫ヲ以テ妻トス其後速瓶玉命ヲ産玉フ此子孫代々神職トナル阿蘇氏ノ祖也[百錬抄]寛治元年四月卅日諸卿定申太宰府言上阿蘇社祝恒富爲レ免ニ敵難ニ奉レ負ニ御正體ニ迯脱事[景行紀]丙子到ニ阿蘇國ニ也其國郊原曠遠不レ見ニ人居ニ天皇曰是國有レ人乎時有ニ二神ニ曰ニ阿蘇都彦阿蘇都媛ニ忽化レ人以遊詣レ之曰吾二人在何無レ人乎故號ニ其國ニ曰ニ阿蘇ニ[三實]貞觀元年五月十七日壬申肥後國從四位下阿蘇比咩神列ニ於官社ニ○同九年八月六日太宰府言肥後國阿蘇郡正二位勳五等健磐龍命神正四位下姫神所居山嶺去五月十一日夜奇光照耀十二日朝震動乃崩廣五十餘丈長二百五十餘丈[續後紀]承和七年九月癸巳太宰府言肥後國阿蘇郡健磐龍命神靈池洪水大旱未ニ甞增減ニ而涸渇卅丈[日本紀略]延暦十五年七月肥後國阿蘇郡山上有レ沼其名ニ神靈池ニ無レ故涸減二十餘丈[北史]倭國有ニ阿蘇山ニ其石無レ故火起接レ天者俗以爲レ異因行ニ祭禱ニ[後拾遺]大貳成章肥後守にて侍ける時阿蘇社に御裝束奉り侍けるにかの國の女のよみ侍ける「あめのしたはくゝむ神のみそなれはゆたけにそたつみつのひろまへ」○精古按(百錬抄)○信友云四年六月條ニ云廿四年肥後國阿蘇山雪降五六寸○信友云同書ニ永承四年三月十九日肥後國阿蘇社燒亡○一宮ナリ

頭注[勝間]十一廿一右可ニ併考ニ

阿蘇比咩神社

[文實]仁壽二年正月戊辰朔戊寅加ニ肥後國阿蘇比咩神從四位下ニ[三實]貞觀元年正月廿七日從四位

中臣鎌子連鎌足御殿戸之孫正三位式部卿藤原朝臣宇合之第一子也以天平十年授正五位下拜式部少輔兼大養徳守同年十二月爲大五(イ少貳)花洛鎮西朝夕往反(往古今來世人未有此事奇異甚多　今擧五異七能而已設程(雜イ))得龍駒朝夕往反身力豈堪乎仍異常人也○松浦廟宮先祖贈太政大臣大中臣鎌足之一男右大臣藤原不比等二男參議式部卿正三位宇合一男太宰少貳正五位下廣繼

東屋明神　大神明神

[符宣抄]太政官符神祇官　正六位上東屋明神大神明神(並坐肥前國)　幷今奉授從五位下延喜廿年十一月□日下

神名帳考證　六十四

延喜式卷第十之四十三　西海道第六

肥後國四座

[三實]貞觀元年五月四日分肥後國合志郡始置山本郡

大一座

小三座

阿蘇郡三座(大一座 小二座)

健磐龍命神社(名神大)

[後紀]弘仁九年坐肥後國阿蘇郡從四位下勳五等健磐龍命神奉宛當郡封戸二千戸此神久卑之時祈即降雨護國救民靡不賴之[續後紀]承和七年四月丙寅奉授肥後國從四位下勳五等健磐龍神從四位上餘如故○同年七月乙未奉授肥後國阿蘇郡從四位上勳五等健磐龍神從三位餘如故○肥後

堤雄神丹生神並從五位下○仁和元年二月十日肥前國從五位上天山神正五位下稻佐雄神堤雄神並從五位上

甘南備神

[三實]貞觀十二年正月十一日授二肥前國正六位上甘南備神從五位下一

宗形天神

[三實]貞觀十二年四月三日肥前國宗形天神從五位下○同十五年九月十六日肥前國從五位下宗形神從五位上○岡田氏云下松浦田平村總社宗形明神アリ

白角折神　葛木一言主神　温知神

[三實]貞觀十五年九月十六日肥前國云々正六位上白角折神葛木一言主神温知神並從五位下

神島神　鳴神　銀山神

[三實]貞觀十八年六月八日肥前國正六位上神島神鳴神銀山神並從五位下○岡田氏云平戸島ノ西隅ヨリ海上七里小値賀島ト云フ島ノ近キ島ニ神島ト云フ小島ニ神社アリ神島明神ト云フ神功皇后新羅ヨリ還幸ノ比從ヒ奉ルイチハヤ丸ト云フ人ノ靈ヲマツレリト云此人ノ兄ヲトオキワケノ命ト云フ志自伎神社ハ其靈ヲマツレル也海中ニ自然石ノ鳥居ニ似タル門アリテ其島ニ石ノ神社アリコレヲ本社トス小値賀島ニヨキ社アリテ常ニハコレヘ詣ヅトイヘリ（文政五年午九月宇都宮社司中里詮篤神主ノ許ニテ聞ケリ）

松浦明神

[著聞集]五、我國ノ松浦佐夜姫ト云ソレヨリ此山ヲ領巾麾ノミ子ト云フ此山肥前國ニ在松浦明神トテオハシマス彼佐夜姫ノ成レルト云傳ヘタリ

[扶桑見聞私記]四十五 文治二年十二月十日肥前國鏡社宮司職事以二草野次郎大夫永平一被レ定二補是一且任二相傳一且被レ優二奉公勞一云々[色葉字類抄]諸社之部式外ニ松浦明神（マツラノミヤ）（坐二肥前國一）右近少將從四位下藤原朝臣廣繼太宰少貳任中盧外難罪觀世音寺讀師能鑒執筆筑前介南淵漾雄內豎磯上輿浪等慕二主公一而傳右少貳廣繼朝臣者孝德天皇御宇臣大織官太政大臣

祈云天神地祇爲レ我助福乃用ニ御鏡ヲ安ニ置此所ニ其鏡卽化爲レ石見在ニ山中ニ因名曰ニ鏡山ニ［分類年代記］

松津神ハ鏡宮也肥前國號ニ松浦明神ニ仲哀天皇弟雅武王也［國造本紀］火國造松津國造（松津ノ考予ガ國造記攷注稿ニアリ信友）末羅國造ト次第ヲ記セリ

志々伎神社（シ、キノ）

［三實］貞觀二年八月八日進ニ從五位下志々伎神從五位上ニ○同十五年九月十六日從五位上志々支神正四位下○同十八年六月八日授ニ從五位上志岐神（本ノマヽ）正五位下ニ○信友云（諸社一覽）下松浦明神ト云フ國人岡田瑞頴（平戸人字庸輔本氏ハ松崎マツサキト唱フ）云今在ニ志自岐村ニ祭神トオキ別ノ命也式外神島神ノ條可ニ見合ニ

基肄郡一座（キイノ）小

荒穗神社（アラホノ）

［三實］貞觀二年八月八日肥前國從五位上荒穗神正五位下［和鈔］基肄（伊木）○物部荒神連乎［色葉］

佐嘉郡一座（サカノ）小

與止日女神社（ヨトヒメノ）

［三實］貞觀二年八月八日進ニ肥前國從五位下豫等比咩大神從五位上ニ○同十五年九月十六日從五位上豫等比咩神正四位下○山城國與杼神社伊勢國大與杼神社○松浦郡平戶御厨浦ニ今與止姬神社アリト云［神名帳頭注］（肥前風土記）人皇卅代欽明天皇廿五年甲子冬十一月甲子肥前國佐賀郡與止姬神有ニ鎭座ニ（名豐姬）淀姬乾元二年紀云淀姬大明神云云○信友云（風土記）本書可レ見○一宮ナリ［諸社一覽］淀姬社川上大明神ト號ス ○（頭注）云豐前國田川郡豐比咩命神社同神ナリ

式外舊社

久治國神　天山神　温泉神　金立神

［三實］貞觀二年八月八日進ニ肥前國從五位下久治國神天山神温泉神並從五位上正六位上金立神從五位下ニ○岡田瑞頴云温泉神島原ニ在トイヘリ

稻佐神　堤雄神　丹生神　天山神

［三實］貞觀三年八月廿四日肥前國正六位上稻佐神

レ迎奏言此山有二大磐窟一名曰二大磐窟土蜘蛛一二人住レ之其名曰二青白一又於二直入郡禰疑野一有二土蜘蛛三人一其名曰二打媛八田國摩侶一是五人並爲レ人強暴衆レ類亦多悉皆謠云不レ從二皇命一若強喚者興レ兵距焉於レ茲天皇遣レ兵遮二其要害一悉誅滅因レ斯名曰二速津媛國一後人改曰二速見郡一［續紀］卅八豐後國海部郡大領海部公常山等云々○國人云今佐賀關ノ早吸六柱神又六柱大神宮ト云フハ早吸神社ニハアラズ海部郡佐伯庄入津浦（ニフツウラ）ニ當社アリ入津ト宮浦トハ双ビタル浦也サテソノ早吸神社ノ坐ス地ヨリ下満江（シモマンエ）浦ト云フ沖ヨリ佐賀關マデ早吸灘（ハヤスフナタ）ト昔ヨリ里人モ舟人モ云傳ヘタリシカレバ早吸神ハ入津神社ナル事明ケシ

神名帳考證　六十三

延喜式卷第十之四十二　西海道第五

肥前國四座

大一座

小三座

松浦（マツラノ）郡二座（大一座 小一座）

田島（タシマノ）坐神社（名神大）

［三實］貞觀元年正月廿七日肥前國從五位下田島神從四位下○同二年八月八日進二肥前國田島神階一加二從四位上一○同十八年六月八日授二從四位上田島神正四位下一○元慶八年十二月十六日授二正四位下田島神正四位上一○社家云宗像同體云々［和鈔］姫社○正身按唐津領呼子壁島ニアリ此所松浦佐與姫ノ舊蹟アリ［諸社一覽］松浦社上松浦下松浦トモニ鏡宮ト稱ス田島神ハ上杉浦明神ト云フ（肥前國風土記）田河郡鏡山（在二郡東一）昔氣長足姫尊在二此山一遙覽二國形一而勅

ヲカタブケミクジヲトリテ御神事ヲユスハラヘ還幸ヲナシ奉リシハタヾゴトナラヌアリサマ也宗鱗カチテ吉利支丹ヲ信ジタリケレバ大ニイカリ國中ノ寺社ヲノコラズ燒ハラ以下缺

速見郡三座　並小

（ハヤミノ）

[景行紀]十二年到二速見邑一有二女人一曰二速津媛一爲二一處之長一其聞二天皇車駕一而自奉レ迎レ之諮言云々

宇奈岐日女神社

（ウナキヒメノ）

[續後紀]嘉祥二年奉レ授二豐後國宇奈岐比咩神社從五位下一[三實]元慶七年九月二日授二從五位上宇奈岐比咩神正五位下一○在二延岡領油布郷一

火男火賣神社二座

（ヒヲノヒメノ）

[續後紀]嘉祥二年六月癸未朔奉レ授二豐後國火男火咩神從五位下一[三實]貞觀九年八月十六日豐後國從五位上火男神火咩神並正五位下○同年二月廿六日丙申太宰府言從五位上火男神從五位下火女神二社在二豐後國速見郷鶴見嶺一山頂有二三池一一池泥水色青一池黑一池赤去正月廿日池震動其聲如レ雷俄而臭如二硫黄一遍二滿國內一磐石飛二亂上下一無レ數石大者方丈小者如レ甕晝黑雲蒸夜炎火熾沙泥雪散積二於數里一池中元出二温泉一々水沸騰自成二河流一山脚道路往還不レ通温泉之水入二衆流一魚醉死者千萬數其震動之聲經二歷三日一[神代紀]軻遇突智娶二埴山姫一○在二鶴見山一鶴見權現ト云フ[弘安圖田帳]鶴見社御神領十五丁餘

海部郡一座　小

（アマノ）

早吸日女神社

（ハヤスヒヒメノ）

[續後紀]承和十年九月甲辰豐後國無位早吸咩神奉レ授二從五位下一[三實]元慶七年九月二日授二從五位下早吸咩神正五位下一○速秋津比賣命今在二佐加郷一按速吸水門在二豐後伊豫兩州之間一稱二鷹島一今云二高島一(豐後風土記)昔者纒向日代宮御宇天皇欲レ誅二玖磨贈於一行二幸於筑紫一從二周防國佐婆津一發レ船而渡二泊於海部郡宮浦一時於二此村一有二女人一名曰二速津媛一爲二其處之長一卽聞二天皇行幸一親自奉

大分郡ト定ムベキ事ハ西寒多神社ノ下ニ注ス

西寒多神社（ニシサムタノ）

○異本大トアリ[三實]貞觀十一年三月廿二日豐後國无位西寒多神從五位下○サウダ、ト云フ○相模國寒田神社[續後紀]太宰府言云々豐後國大分郡云云寒川石上護ニ白龜一枚ニ云々○國人云大分郡早田村ニアリ今寒田八幡ト云當社今延岡領ニ屬スル故惑フ人アリ又曰杵ハ大野郡ニアリ因テ臼杵ニ此神社坐ス由云ヘレド附會ノ説也(式)ニ大野郡トアルハ大分郡ヲ誤リタルナリサテ又今世由原八幡ヲ社僧等一ノ宮ト稱シ祈禮等ニモシカ書ケリソモ〳〵寒田神ヲ八幡ト云傳フルモ甚近キ事ニハアラズ文龜三年吉田御本所兼倶ノ御記ニモ西寒田神名ニ作原大明神ニ宮崎同體也トノセラレタリ信友按(弘安圖田帳)ニ由原宮御神領二百四十六町トアルハコレナルベシ(大友記)一名(九州治亂記)○大友家末世ニ書タル實六ナリ曰豐後國ノ鎭守由須原八幡宮ノ御神事ハ毎年八月十四日ヨリアクル十五日マデ放生會御祭トテ上古ヨリ取行フ今年モコノ年號シレズ宗麟ノ代ノ事也恒例ナレバトテ八月十四日午ノ刻ニユスラ、ヨリ出シイクシノハマ、カンタンノ湊ヘ御幸ヲナシ奉ル供奉ノ人々ニハ先一番ニ隨兵ノ先陣ニテ高崎土野牧橋如來宗像以上六騎聲花ニヨロヒ其勢三百餘人メシグシテ二行ニツラナリ先行ス二番ニ、チントウ、トテ鬼ノ面ヲカケ其サマ鬼形ノゴトク出立テツガヒタリ三番ニ供僧衆百二十人御コシノ前後ニ供奉ス四番ニ宮司小宮司ギダイグウジサイショナンド、云モノ我モワレモト金銀ヲチリバメテ打ツヾク大行司ハ狹間三十騎バカリニテ打タリケリイクシノ濱御警固ニハ田北紹鐵山下和泉守色々ノ糸毛ノヨロヒ着太ク逞キ馬ニアツブサカケテ乘タリケリ相隨フモノ三千餘騎テリカヾヤク計ニ甲冑ヲタイシ濱ノ手ヲカタメラル、見物ノ貴賤巷ニ充滿シニユ、シキ壯觀カナトサヾメキアヘル處ニ恐怖ナリシ事コソアレ御輿俄ニ重クナラセタマフ事大磐石ノゴトクニシテ御輿タチマチニ土塵ニ落玉フ貴賤キモヲケシ供僧玉輿ヲアグ奉ラントシケレドモ敢テウゴキ玉ハズ如何セントアキレタル所ヘ老僧一人御輿ノ前ニ畏リ三度首

ユヱニ彦山トイヘルナルベシ

豐比咩命神社

○同上○肥前與止日女神社可二見合一同神ナリ○筑後三井郡豐比咩神社

式外舊社

大富神

[三實]貞觀二年十月三日授二豐前國大富神從五位下一

神名帳考證 六十二

延喜式卷第十之四十一 西海道第四

豐後國六座

大一座

小五座

直入郡一座小

[景行紀]是時禱二神志我神直入物部神・直入中臣神三神一矣

建男霜凝日子神社

[續後紀]承和十年從五位下建男霜凝日子神幷比咩神ヒコ、ヒメ二座ト見ユ[三實]元慶七年九月二日授二從五位上建雄霜起神正五位下一○九重山ニ坐ス

大野(分イ)郡一座小

○信友云異本又異本共ニ大分郡トアリ

等神石化ニ美麗童ニ遂遠浮レ海以入ニ日本國豐國前郡ー
爲ニ比賣語曾社神ー○按大目命豐宇氣姬命也爲ニ蕃
別歸化ー建レ祠到ニ(本ノマヽ)神功皇后三韓ー內屬故以息長大
姬邑名上「元亨釋書」釋宦澄(傳教)弘仁五年春於ニ賀春
神宮寺ー講ニ妙經ー是時豐前田河郡吏等錄ニ瑞雲形ー
寄レ之澄固封告ニ義眞ニ云非ニ吾滅後ニ不レ得レ開レ緘寂
後門弟子等彼閱ニ其文ニ云今月十八日未時紫雲光耀
起ニ賀春嶺ー覆ニ法筵之庭ニ云々夢梵僧來レ前袒レ衣露
レ身左肩似レ人右肩如レ石言レ之曰我是賀春明神也和
尙慈悲救ニ吾業道之身ニ云々澄明旦睎ニ山石邊崩巖ー
草木不レ生宛如ニ夢中半身ニ而建ニ法華院ー自創ニ講席ー乃
神宮院也開講之後其右嵒之地漸生ニ草木ー年々慈茂
鄕邑嘆レ異トアリ既クヨリ妖僧立入タリ心シテ神
傳ヲ考フベシ○信友云(續後紀)ノ文香春峯ニ坐ス
神三座アリ辛國息長火姬大日命一社(或ヒハ火ヲ大、日ヲ目ニ作)忍
骨命一社豐比咩命一社以上三社アリト云フ事也又
按(此注非多シ考テ改ベシ)豐前風土記ニ田河郡鹿春鄕昔新羅國
神自度到(フタリ)來(キタリ)住ニ此川原ー便卽名曰ニ鹿春神ートアリ辛
國息長云々神社トアルハコレナルベシ豐比咩命ハ
コヽニ(雄略紀)ヲ引タル比賣語曾社ナルベシ當國
豐國トイヘルニヨリテ國ノ名ヲ負ヒタルナルベシ
共ニ韓國ヨリ來リタル神ユヱ彼最澄ガ入唐ノ時海
路ノ平安ナラム事ヲ乞祈リタルト見エタリ忍骨命
ハ天忍骨命カ又異神カ未レ考又云(古事記)ニ新羅國
主之子天日矛ガ妻難波ニ留リテ比賣碁曾社トイハ
ハレタルト同名異神也サレド宇佐郡ニ比賣神社ア
リコレモ姬古曾カナホヨク考ベキ也サテコソハ稱
ヘタル辭也(肥前風土記)ニモ姬乞(コソ)アリ(姬社ノ社ト書)コレ
モ異神也ソノ事別ニ考アリ又按ニ(豐前風土記)ニ
云ヘル香春神ハ件三神カ又息長大姬ハ神功皇后ニ
テ大目命ハ韓ノ神ナルヲ合セタルニテソハ皇后韓
國征伐ノ時大目命忍骨命豐比咩命ノ舊ト歸化セル
神ナル緣ニヨリ祀ラレタルニテ卽是(風土記)ナル
香春神トサセル社ナランカ

忍骨(オシホネノ)神社

「三實」貞觀七年二月廿七日豐前國從五位上忍骨神
從四位上「神代紀」一書云天忍骨命○辛國ノ下ニ注
○筑前遠賀郡二島人飯高重躬云今彥山權現是也緣
起ニモ忍骨命也トアリ信友云此彥神ノ坐ス山ナル

答アルニヨテ帝ノリ玉フ御輿ヲ奉ラセ玉ヒシカバヤガテ乘ウツラセ玉フ南都ヘ入セ玉フ自レ其以來代々ノ御門ノ祖神一朝ノ宗廟四維八埏ヲ擁護シ玉フ者也榊ノ葉集上放生會勤行濫觴事養老四年庚申九月有ニ征夷一云々大神託宣云合戰之間多レ殺致レ生宜レ修ニ放生會一者諸國放生會始自ニ此時一也　天平寶字五年八月十五日修ニ宇佐宮放生會一

比賣神社 名神大

「文實」天安二年五月辛未是日八幡比咩神授ニ一品一「神代紀」日神食ニ其十握劒一化生兒瀛津島姫命又云々湍津姫命又云々田霧姫命使レ降ニ居于葦原中國之宇佐島一矣今在ニ海北道中一號曰ニ道主貴一此筑紫水沼君等祭神是也「左經記」姫宮○或說比賣神社在ニ三殿中央一是道主貴也後配ニ享八幡及大帶姫左右一爲ニ三座一○案唯云比賣則（神武紀）所出之宇狹津媛之祠乎又按所レ引（文實）云八幡比賣神則當レ在ニ上之宇佐宮下一

大帶姫廟神社 名神大

○神功皇后「三實」元慶三年三月十六日丙午豐前國八幡大菩薩宮前殿東神功皇后御前瓶無レ故破裂成ニ九十片一○信友云（左經記）寬仁元年十月二日驛鈴ヲ玉フ條ニ豐前宇佐石淸水姫トアルハコノ神カ○八幡諸社ノ下合考スベキ事多シ左經記大多羅志女

田川郡三座 並小

辛國息長大姫大目命神社

○信友云大姫（續後紀）作レ火又大目（釋紀）及一本同（續紀）作ニ大日一當帳異本又一本作ニ大自一「續後紀」承和四年十二月庚子太宰府言管豐前國田河郡香春岑神辛國息長大姫大目命忍骨命豐比咩命總是三社元來是石山而土木總無至ニ延曆年中遣唐請益僧最澄躬到ニ此山一祈云願緣ニ神力一平得ニ渡海一卽於ニ山下一爲レ神造レ寺讀經爾來草木蓊欝神驗如レ在每レ有ニ水旱疾疫之災一郡司百姓就レ之祈禱必蒙ニ感應一年登人壽異ニ於他郡一望預ニ官社一以表ニ崇祠一許レ之「三實」貞觀七年二月廿七日豐前國從五位上辛國息長比咩神授ニ從四位上一「雄略紀」都怒我阿羅斯

甲寅遣云々等以爲迎神使路次諸國差發兵士一百人以上前後駈除云々十二月戊寅遣云々二十人迎八幡神於平群郡是日入京卽於宮南梨原宮造新殿以爲神宮請僧四十口悔過七日丁亥大神禰宜尼大神朝臣杜女其輿紫色一同乘輿拜東大寺天皇太上天皇太后同亦行幸是日云々奉大神一品比咩神二品云々奉詔白神曰天皇我御命爾坐申賜止申久去辰年河內國六縣郡乃智識寺爾坐盧舍那佛遠禮奉天則朕毛欲奉造止思登毛得不爲之間爾豐前國宇佐郡爾坐廣幡乃八幡大神仁申賜閇止勅久神我天神地祇乎率伊佐奈比天必成奉无事立不有銅湯乎水止成我身遠草木土爾交天障事無久奈佐牟止勅賜頁奈我成波奴禮歡比貴美奈毛美念食留然猶止事不得爲天恐家禮登毛御冠獻事手恐美恐美毛申賜久止申尼杜女授從四位下主神大神朝臣田麻呂外從五位下施東大寺封四千戶奴百人婢百人云々○同二年二月戊子奉宛一品八幡大神封八百戶前四百廿戶今加三百八十戶位田八十丁前五十丁今加三十丁二品比賣神封六百戶位田六十町冬十月丙辰朔詔授正五位上勝原朝臣乙麻呂從三位任太宰帥以八幡大神敎也○七年三月丁亥八幡大神託宣曰神吾不願矯託神命請取封一千四百戶田一百四十町徒无所用如捨山野宜奉返朝廷唯留常神田耳依神宣行之○八歲云々○廢帝天平寶字八年云云○高野天皇天平神護二年云々○桓武天皇延曆十三年三月戊寅遣少僧都傳燈大法師位小於豐前國八幡筑前國宗形肥後國阿蘇三神社讀經爲三神度七人○嵯峨天皇弘仁元年十二月壬午云々奉幣帛於八幡大神宮樫日廟云々○淳和天皇弘仁十四年十一月甲戌云々奉幣帛於八幡大神樫日廟云云天長六年五月丁酉令傳僧十口轉讀一切經八幡大菩薩宮等信友按此年ヨリ菩薩號始テ見エタリサレドコノ後大神ト書タル處モアリ（大同三年ノ官符）ニ菩薩トアリ初丁左ニアリ又（文實）齊衡二年九月ニモアリ○十年四月壬戌云々八幡大菩薩宮云々○仁明天皇天長十年十月云々已下略貞觀七年四月十七日石淸水八幡大菩薩宮ノ告文ニ云々大菩薩爾云々大帶命爾云々但比咩大神乃云々○信友云カク三神ニ分ケテ告シ給ヘリ但シ神財ヲ上ラル、告文ナリ〔補〕詞林采葉一左然ル間聖武天皇我朝ノ諸神ノ中ニ奉撰玉ヒテ正八幡大菩薩ヲ此寺東大寺也ノ鎭守ト崇タテマツラントテ勅使ヲ鎭西宇佐宮ヘタテマツラセ玉ヒテケレバ乘物ナキヨシ勅

食天云々〔廿二社注式〕豐前國宇佐郡菱形山廣幡八幡大神坐二郡家東馬城峰頂一後人皇四十代聖武御宇神龜四年就二此山一奉レ造二神宮一〔日本紀略〕後一條天皇長元五年四月廿二日宇佐宮寶殿爲レ風顛倒〔三實〕貞觀元年二月卅日丙辰大二祓於建禮門前一以二明日可レ發下奉二幣八幡大菩薩一使上也筑前國從二位勳八等田心姫神湍津姫神市杵島姫神並授二正一位一太政大臣東京一條第從二位勳八等田心姫神湍津姫神市杵島姫神並授二正一位一此六社居雖レ異實是同神也三月丁巳朔遣二云々一向二豐前國八幡大菩薩宮一奉二幣帛財寶神馬等一告二以即位之由一也〔松下見林自筆記〕宇佐ニ菱潟池アリ彼社家說秘說此池ニ菰マコモアリ此マコモニ付テ大事アリト云フ加レ之ニ宇佐社家アマタアル中ニ小山田氏ヲ御裝束所ト稱ス御衣ヲ調進スルニアラズ彼社ニ行幸會ト云フ事アリ天子ノ行幸ニハアラズ宇佐神ノ行幸會也宇佐ノ末社六七社本殿ハ二社アリ大宮新殿ト二通リニ建アリ行幸會ノトキ小山田氏ヨリ御神體ヲ調進ス本殿ノ舊神體ヲ新殿ヘ遷シ新殿ナリシヲバ第一ノ末社ヘウツシ段々ニクリテ遷シ最末ノ社ヲ小山田ノ社ト云ヘリ其小山田ノ社ノ舊主ヲウツロ舟ヲ造リテノセテ海上ヘ流スニ伊豫國ノ海中ニ御机石ミツクヱトテ海ノ正中ニアリソノ石上ヘ件ノ流シタル田神體毎度ノコト〳〵クキット流レツキテ石上ニ坐シ玉ヒテ石上ニテ朽テナクナリ玉フ也此正體ヲスヱ奉ルニ件ノ菱潟池ノマコモヲカリテ編テ木ヲ切テ枕トシテソノ枕ヲマコモニテツヽム此御正體也タヾ枕ノゴトク横タヘテスヱ奉ル此正體ヲ調進スルガ小山田氏ノ掌也故ニ裝束所ト稱スソノ木枕三ツ出來ス三座ノ御シルシ也コレ一社ノ秘說也但宇佐記ニマコモヲ枕トスル事ヲノセタリ○信友云(東大寺要錄)弘仁官符見合スベシサテ此三座ノ由來通考スベシ又筑前國那珂郡筥崎宮ノ下見合〔伊呂波字類抄〕國郡部ニ豐前國管八　田川タカハ云々宇佐ウサ此所　齋宮坐云々宮都ミヤコ府云々上毛カミツケ〔類史〕聖武皇帝天平十三年閏三月甲戌奉二八幡神宮秘錦冠一頭金字最勝王經法華經各一部度者十八人封戸馬五匹一又令レ造二三重塔一區一賽二宿禱一也十七年九月甲戌令三播磨守正五位上阿倍朝臣蟲麻呂奉二幣帛於八幡神社一○孝謙皇帝天平勝寶元年十一月己酉八幡大神託宣向レ京

神名帳考證　六十一

延喜式卷第十之四十　西海道第三

豐前國八座

大三座

小五座

宇佐郡三座（並大）

八幡大菩薩宇佐ノ宮（名神大）

[續紀]天平勝寶元年十一月ノ詔詞ニ豐前國宇佐郡爾坐廣幡乃八幡大神云々○信友云(詔詞解)十五詔ニ此事アリイマダ菩薩號ナシ又云當社(名神祭式)ニ不ㇾ載○春村云(長明文字鏁)宮崎ノ條ニミユ「八幡本紀」三所神殿相並東中西坐南面也西爲ニ第一殿ニ八幡宇佐宮也中爲ニ第二殿ニ比賣神是田心姫命湍津姫命市杵島姫命也號ニ道主貴ニ此三神先ニ于八幡宮ニ鎭座此地仍爲ニ地主神ニ是宇佐大宮司家説也第三殿大帶姫命也凡御宮地山也則小倉山是也川水廻流如ㇾ島故云ニ宇佐島ニ大

宮司宇佐公姓宇佐津彦命之後也祠官四姓宇佐大神田部漆島大同三年七月丙申七月太政官符應ㇾ令(下)國司出(中)納八幡大菩薩宮雜事(上)云々[玉葉]文治元年十月九日戊午藏人左衞門權佐親雅傳ニ院宣ニ云宇佐宮黄金(或稱ニ御靈ニ或稱ニ社寶ニ)之間事可ㇾ計ㇾ奏者外記勘申黄金事當宮之習以薦ニ御驗ニ幷奉ㇾ稱ニ御正體ニ者之由上洛神官等所ㇾ申也而然寛治之比有ニ沙汰ニ事不ㇾ切之由見ニ外記勘文ニ[扶桑見聞私記]廿一壽永二年九月祭云十一日主上女院内府以下ノ一族門葉ノ人々山鹿城ヲ落テ豐前國宇佐宮ニ參詣アリ社頭ヲバ皇居トシ廻廊ハ月卿雲客ノ居所トス五位六位ノ宮人等大鳥居ノ邊ニ徘徊シ九國ノ軍兵等ハ弓箭甲冑ヲ帶シテ庭上ニ並居タリ内大臣宗盛「思ヒカネ心ツクシニ祈レトモウサニハモノモイハレサリケリ」[朝野群載]二十宇佐宮ニ神寶奉ラル、宣命ノ例文ニ筑前國仁坐須香椎廟仁種々乃神寶云々奉ㇾ出給(布加)上此宮仁御坐須姫宮乃廣前(仁毛)云々奉ㇾ出又同久此宮仁御坐須若宮若姫兩所大神(爾毛)禮代乃大幣(遠)奉ㇾ出給(布)但此兩所大神者去天慶二年閏七月(爾)始天可ㇾ奉ㇾ預ニ官幣ニ岐乃狀奉ㇾ定(留阿)禮バ此般(毛)奉ㇾ出給(不)共仁此狀(遠)平(久)聞

高良ノ下師時記曰江帥曰高良大明神者武内大臣也非也高良者藤大臣連保也神號曰二高良玉垂命一以二子滿兩顆一令三奉行二之故奉レ號二玉垂一云○豐前國田川郡豐比咩命神社補「高良社文書」見レ上

御原（ミハラノ）郡一座小

御勢（ミセノ）大靈石（タイレイセキ・ミカケ古訓）神社

○信友云今大靈石字音ニ呼テ神體ハ石ニテ坐セリト云フ又按ニ御勢ハ陸奥國黒川郡石神山金勢〔精〕大明神ノ類ニテ勢ハ男根ナランカ（勢ヲ男根トセル事醫書又（和鈔）ニモアリ）男根ノ靈石ナルベシサラバイカニ唱フベキト云フニ御勢ハ、ゴセイ、ト音ニ唱ヘタランカ（男根ノ訓ハ（和鈔）（醫心方）ニモ、マラ、マラハ梵語トオモハル又（太秦牛祭々文）ニ、チハセトアリ）大和國城上郡穴師坐兵主神社、穴師大兵主神社モ字音ニヒヤウズト訓ベシ又美濃國不破郡大領神社遠江國敷智郡息神社　官舍神社　舊府神社　郡家神社等ト同ジク音ニモヨムベシサテ壹岐國石田郡與神社アリコモ印本ニ與神社トアヤマレリ

式外舊社

高樹神

「三實」元慶二年十一月十三日筑後國高樹神從五位上○正身按竹野郡ニ高木村アリ隣村ニ口高村アリ口高村ト高木村トノ交ニ氏神アリ其森喬木甚多クシテ尤古リタリ是高皇產靈尊ヲ祭ル歟

筑後國從五位下高良玉垂神從五位上〇同八年四月奉レ授二筑後國從五位上高良玉垂神正五位下一〇嘉祥元年十一月奉レ授二筑後國正五位下高良玉垂神從四位下一「文實」同三年十月乙巳朔辛卯筑後國高良玉垂神從四位上〇仁壽元年三月甲戌加二筑後國高良山玉垂神正四位下一〇同年九月甲午進二筑後國高良玉垂神階一加二從三位一〇齊衡二年五月丁卯加二筑後國高良玉垂命名神位田四丁一〇天安元年十月乙丑朔丁卯在二筑後國一從三位高良玉垂名神從五位下豐比咩神等宛二封戸並位田一同二年二月庚辰在二筑後國一高良玉垂神社火、同二年五月甲戌雨終夜不レ止先レ是高良玉垂神及比咩神等正殿過失レ火位記皆被二燒損一仍今日勘二奪文案一更令レ書レ之玉垂神本位從三位今授二正三位一比咩神本位從五位下今授二從四位下一又同神殊授二封廿七戸一「三實」貞觀元年正月廿七日筑後國正三位高良玉垂命神從二位〇同六年七月廿七日進二筑後國從二位高良玉垂命神階一加二正二位一〇同十一年三月廿二日進二筑後國正二位高良玉垂神階一加二從一位一〇信友云當社已下三社ノ辨豐比咩神社ノ下ニアリ補「高良社文書」筑後國解文云御井郡高良玉垂命神貞觀十一年三月廿二日奉レ授二從一位一寛平九年十二月三日奉レ授二正一位一豐比咩命神貞觀十一年三月廿二日奉レ授二正四位下一寛平九年十二月三日奉レ授二正四位上一已上勅授位記

伊勢天照御祖神社（アマテラスミオヤノ）

豐比咩神社（トヨヒメノ）名神大

「文實」天安元年十月乙丑朔丁卯筑後國從三位高良玉垂命名神從五位下豐比咩神宛二封戸並位田一「三實」貞觀元年正月廿七日從四位下豐比咩神從四位上〇同年七月七日筑後國從四位豐比咩神列二官社一〇同五年七月廿七日豐比咩神從四位上〇同十一年三月廿二日授二從四位上豐比咩神正四位下一「三社辨」高良乾涸名潮涸瓊爲レ名歟玉垂命海神豐彦命也字書云垂將也以二將瓊一爲二神名一世稱二武內宿禰一者非也天照御祖伊勢大神宮也豐比咩海神豐玉姫命也〇清在云傳云高良神者武內宿禰靈也延經非レ之亦難レ從「神社啓蒙」石清水所レ攝上高良下注肩書曰石清水則當澄清曰上高良武內也下高良玉垂也又下

さうなり給にきされば道鏡がごとく世の末あしき心あらんともがらをばいましめん爲にやおはしましけんとぞおぼし侍りし○同時うさの宮の御託宣のうた「にしのうみたつしら波のうへにしてなにすくすらんかりのこの世を」

補注 春村按ニ延喜御託宣異同アリ（諸社根元記）云延喜廿一年六月廿一日御託宣吾穗浪宮柱立欲レ移ニ住筥崎松原ニ其故者天下國土乎鎮護始時戒定惠筥宿置志松原ナリ仍號ニ筥崎ニ末世新羅禍害發物曾吾戒定惠筥宿置禮留筥崎松原仁建ニ立新宮ニ可レ降ニ伏新羅ニ之字乎書付天吾坐下置天其於石居仁柏柱乎立天宮殿乎造ニ向彼新羅ニ天自然降伏消除志奈牟云々件新宮以ニ延長九年ニ經遷トミエタリ

神名帳考證　六十

延喜式卷第十之卅九　西海道第二

筑後國四座

大二座

小二座

三井(ミイノ)郡三座 大二座 小一座

高良玉垂命(タカラノタマタレノ)神社 名神 大

○信友云高ノ音カウ也筑前ノ郡名早良ヲ（和鈔）ニ佐波良トアリ早ノ音、サウ、ナルヲウヲハニ用ヒタルト同例ニテ高ノ音ヲ、カハ、ニ用タルナルベシ一本及（秘釋）ニ高良(カハラ)トアリサテ當社ハ當國一宮也府中ノ高良山ニアリ武内宿禰ヲ祭レリト云フ今ノ唱ヘ、カハラ様ト云フト國人云ヘリ又（管國神名帳）ニ玉垂命ノ御子神アマタアリ武内宿禰ノ子ナルベシ「日本紀略」延暦十五年五月壬申筑後國高良神奉レ授ニ從五位下ニ「續後紀」承和七年四月丙午朔丙寅

前國宇佐宮とあらはれ給ふ元正天皇の御時養老四年秋の頃大すみ日向大やけにしたがひ奉らぬものどものありしかば宇佐の宮の禰宜宣旨を承りていくさをおこしてかれらもうちたいらげき時に託宣し給ふいくさに多く人をころせり放生會をすべしとの給ひしかばこれよりして國その放生會ははじまりし也孝謙天皇の御時ゆげのだうきやうと申内へ參りてによいりんの法をえしほどに御門のおぼへつねに御かたらひさぶらひて御おぼへならびなくなりしかば神護慶雲二年に法皇の位をさづけおき同三年にだうきやうを位につけたらば世の中おたしくまかるべきよしいつはりて申いだしたりしほどには八幡大菩薩御夢に見へ給てわが國はむかしよりたゞ人を君とする事なしかくよこざまなる心あらん人をばすみやかにはらひのぞくべしとのたまはせしにだうきやう大にいかり御門をすゝめ奉り和氣清丸を御使として宇佐宮へ奉りて此事を申こめ奉りしにたくせんなし給ひし事御門の御夢にいさゝかたがはざりしかば清丸此事はわりなき大事なりねがはくは一のしるしをあらはしめ給へと祈り申しかば則御かたちをあらはし給き御丈三丈計にて望月のごとくにて光りかゞやき給ひ清丸肝魂もうせてみ奉らざりき此時託し給はく道鏡へつらへるへいはくをさま〳〵の神たちに奉りて世をみださんとすおれはおほく我はすくなし佛の御力を仰ぐ御門の御すゑたすけ奉らんとすみやかに一切經を書佛像をつくり最勝王經一萬卷よみ奉り二のがらんをたてゝ此あしき心はともがらをうしなひ給へと申べし此事一言もおとすべからずはや〳〵そうし申せとぞ給けるまことにたうとく侍ること也此御門たゞ人におはしまさゞるにて天平元年に西大寺をつくり給ひて金堂の四天王をいたてまつり給ひしも三躰はなり給ひて今一躰は七度までいそこなはれ給しかば御門ちかひ給てふくとくによりてながく女身を捨て佛となるべくば赤がねのわくにわが手をいれん此度いらせ給へ此願かなふべからずばわが手やけそこなはるべしとの給ふに御手はいさゝかなるきずもなくしててんわうの

郡大介（分カ）宮ニ移住已有ニ三悪ニ一者竈門宮ハ我伯母止御坐々々大貳藤原雅幹朝臣託宣旨被ν言ニ上於公家ニ任ニ官符旨ニ少貳眞村朝臣造ニ立件離營ニ其官符狀云託宣之旨爲ν禦ニ來寇ニ加之外賓通接也學ニ其寶殿ニ殊盡ニ美麗ニ者延長元年癸未歲從ニ大分宮ニ遷ニ御佛經ニ已了奉ν號ニ宮崎宮ニ矣　託宣狀云避ニ彼地ニ欲ν移ニ住宮崎松原ニ有ニ其故ニ昔我天下國土乎鎭護志始時戒定惠宮乎彼松原乃地ニ所ν置ナリ仍其名乎波宮乃埼止波號奈利　緣起云宮埼宮在ニ西海道筑前國那珂郡ニ蓋八幡宮菩薩之別宮也云々（コレハ朝野群載ナル文ト同ジ）○按穗波郡（筑前也）大介ハ大分ノ誤也末ニ從ニ大分宮ニ遷御云云トアルヲ考ヘ合ベシサテコレニヨレバ大分宮ヨリ延長元年ニ宮埼ニ遷リ玉ヘル也（延喜式）ハ延長五年十二月ニ成タル式ナレバ其說叶ヘリ素ヨリ佛說ヲマジヘテモテナシ奉レルナリアナカシコ

補長明文字鏁（下箱崎の松條）筑紫筑前國はこざきの宮しるしによみ侍る社頭　ちはやふる神代に植しはこ崎の松はひさしきしるし也けり」其戒定惠の三かくの宮を地原にうつみ給ひしにより箱崎とは申也筑紫のはかたにつゞきたる處なればはるかに唐のうみにむかひて社壇をにしむきにおはしますこれは夷國降伏の御ため也といへり日本仁王はじまらせ給て十四代に仲哀天皇と申御門おはしましけり唐をせめに向給ふとてつくしにてかくれさせ給にき此御時の后を神功皇后と申けるかいけ天皇五代の孫おきながしゆくねのむすめ也みづから軍をおこしてわたらんとし給ふにうみ月にあたるによりていしをとりてものこしにはさみて歸りて後むまれ給へとちかひしにたちまちに男のかたちとなりて新羅へ渡給ひ住吉すは明神御船の前後に隨ひて新羅高麗はくさい三ッの國をうち取て歸り給ひて筑紫にて譽田皇子はむまれさせ給ふそのおさなくおはしますほどくわうごう世のまつりごとをして武内大臣をうしろみとし給へり今のひへ田の明神は此名也つの國たけくらの郡にあとをたれ給ふかのいこくかうぶくをたつし給ふによりて郡をも山の名をもたけくらと申なり譽田の王子の位につかせ給ひけるをぞ應神天皇と申ける此御門の神とあらはれさせ給ふことは欽明天皇の御時也始て豐

替遷宮之儀ニ加之其身前司タリナガラ押而行ニ社務ニ早可レ被ニ罪科ニ之由社官等日來關東ニ訴申ス仍今日其身ヲ追却シ遷宮ヲ可ニ遂行ニ若不ニ承引ニ者遣ニ別御使ニ任レ法可レ致ニ沙汰ニ之旨令ニ下知ニ給後奉ニ行之ニ「符宣抄」一ノ卅一右長保四年三月十九日太政官符太宰府内正六位上勝伴宿禰公武　右去年十一月十四日任ニ筑前國香椎廟宮司ニ畢云々「兵範記」ニ香椎大多羅志姫廟云々「本朝無題詩」過ニ門司關ニ遷ニ四韻ニ釋蓮禪西鎭古關經過程、兩三守者欲レ拘情、門司關名因レ例雖レ加警、社牒有レ威不ニ憚行ニ」香椎宮行牒威權滿ニ日域ニ拘關者不レ能ニ拘留ニ故云」云々○信友云當時此廟ノ威權アリシ事シルベシ此蓮禪ノ時代可レ考藤原周光ト唱和ノ詩ミエタリ又同書蓮禪ガ於ニ香椎宮ニ賦ニ所レ見之事ニト題セル詩句中ニ唐蘆岸古何春露自注古岸有ニ蘆葦之藂ニ邑老語云古人殖ニ唐蘆之種ニ四時不レ枯也ト(記傳)ニ香椎廟ハ韓人ノ奉レ齋ニヤアラムト云ハレタルニ合オモフニ此蘆モ韓人ノ殖奉レルニモヤアラム又(無題詩)ニ蓮禪ノ詩初出ニ西府ニ宿ニ香椎宮濱殿ニ長海之濱孤岫麓、假留每事思依々、岸高旅艇暫維レ抑、客舟數艘繫ニ江岸之柳ニ故云山近行厨便採レ薇、社樹神鷗臨レ暮集古社之樹多ニ瞑鷗ニ故云云々藤原周光ノ和詩アリ其句中ニ湘水廟荒空ニ暮竹ニ首陽祉古只春薇、瑞籬嵐底祈レ神去、舊土花前與レ鷹歸云々次ニ自ニ濱殿ニ移ニ民家ニ矣蓮禪詩云々次ニ周光ノ和詩アリ件ノ詩中ニ廟ノ字ヲ用タリ(拾芥抄)承保四年月日香椎宮社燒亡公卿宣云件社或稱ニ神功皇后廟或仲哀天皇ニ廟無ニ一定ニ資綱云仲哀天皇廟也元亮抄有ニ所見ニ歟云々此說イカヾ(記傳)ノ說ニテ神功ナル事明ナリ(仲哀紀)ニ到ニ儺縣ニ因以居ニ橿日宮ニトアルニヨレリ誤ナルベシ又(萬葉)卷□端詞ニモ香椎廟トアリ件ノ詩ニハ香椎宮トイヘリナホ香椎廟筥崎ノ宮ノ事(廟陵記)ニ書入オケリ

那珂郡筥崎宮

信友追考(伊呂波字類抄)筥崎ハコザキ延喜廿一年六月廿一日於ニ觀世音寺西大門ニ若宮一御子七歲女子橘滋子仁就御志天託宣志天曰當寺講師道一可呂志可レ仰事乃有奈利又小貳眞村朝臣同可レ召止宣云々以ニ此由ニ觸ニ少貳館ニ于時眞村朝臣驚怖天卽以參對世利其時宣天曰吾是八幡乃若宮一御子也大菩薩仰云吾穗浪

「三實」元慶元年十二月十五日筑前國正六位上天照神從五位下「和爾雅」高倉神社在遠賀郡高倉村是大倉主菟夫羅媛本宮也相殿之神一座天照大神是雷神高倉神並神功皇后所禱祭也

賀津萬神　大歲神　託神咩神

「三實」元慶四年三月廿二日筑前國正六位上賀津萬神大歲神託神咩神以下印本欠「和爾雅」在志摩郡韓泊浦

香椎廟

「續紀」廿二天平寶字三年八月己亥遣太宰帥三品船親王於香椎廟奏應伐新羅之狀「同」廿四天平寶字六年十一月庚寅遣參議從三位武部卿藤原朝臣巨勢麻呂散位外從五位下土師宿禰犬養奉幣于香椎廟以爲征新羅調習軍旅也「續後紀」十承和八年五月壬申詔曰天皇我詔旨爾坐掛畏支神功皇后乃御陵爾申賜閉止申久頃者在肥後國阿蘇郡神靈池無故涸減卅丈又伊豆國爾有地震之變乍驚問求禮波卑疫之災及兵事可有止申自此之外爾毛物恠亦多依此左右爾念行爾掛畏支神功皇后乃護賜比助賜牟爾依天無事止可有止思食天參議大和守從四位下正躬王乎差使氐奉出狀乎聞食天天皇朝廷乎無動久大坐未國家乎平遣久護賜比助賜倍止恐々三毛申賜久止申須是日遣宣命使於山科柏原兩山陵賽崇焉大和國正六位上緣連道繼授外從五位下以輸私稻四萬束助國用也重奉神功皇后御陵宣命曰天皇我詔旨止掛畏支山陵爾申賜倍止申久頃者涉旬天不雨佐流如有祟天河止卜永禮波山陵爾奉遣大流例貢之物闕怠流禮祟見由申久香椎廟毛同爲祟賜倍久理申勢理驚而尋撿留所司申久自去年以往兩年間荷前乃使輙久陵戶乃人爾付奉遣志與理不必供致毛在介无疑布可止止申今恐畏天將來波不令然之天貞令進致武香椎廟爾毛當遣專使謝申止武差參議從四位上和氣朝臣眞綱謝申祈申狀乎平久聞食天時毛換左須甘雨令零賜倍止恐美恐美毛申賜倍止申是夜曉雨降「式部式」上廿八凡諸神宮司并櫃日廟司以六年爲秩限「同」上四十一丁凡櫃日廟宮舍人一人大臣武內宿禰資人一人預得考之例或本作列「日本紀略」大同二年正月辛丑遣使奉大唐綵幣於香椎宮「扶桑見聞私記」四十元暦二年六月廿日條云筑前國香椎宮前大宮司公友忽領家ノ命背致濫行抑留造

下座郡(シモツアサクラノ)三座 並大

美奈宜(ミナキノ)神社三座 名神大

［三實］貞觀元年正月廿七日美奈宜神從五位上［天智紀］於ニ筑紫ニ築ニ大堤ニ貯レ水名曰ニ水城ニ［和鈔］三城 美都木○信友按都ハ那ノ誤ニテモアランカ ○今在ニ林田村ニ［和爾雅］美奈岐神社在ニ下座郡林田村ニ［筑紫紀行］關屋村此所ヲ水城村トモ云天智天皇ノ御時大キナル堤ヲ築セ玉ヘルニヨリテ水城ト云フトイヘリ今モ彼堤ノ跡トテ東ノ方ハ百五六十間西ノ方ハ三百二十三間根磐(ネハリ)各廿七間アリ又ソノ東ノ方ノ道ニ門ナドノ跡トオボシキ大キナル礎ノ殘レリ水城ノ關ト云ヒシハ此アタリナルベシト里人モイヘリ此里ヲスギテ三四丁ニ下水城村アリ 信友云今文ヲ切略シテ記ス

夜須(ヤスノ)郡一座 小

於保奈牟智(オホナムチノ)神社

［筑前國風土記］氣長足姬尊欲レ伐ニ新羅ニ整ニ理軍士ニ發行之間道中遁亡占ニ求其由ニ即有ニ祟神ニ名曰ニ

大三輪神ニ所以樹ニ此神社ニ遂平ニ新羅ニ［神功紀］秋九月己卯令ニ諸國集ニ船舶ニ練ニ兵甲ニ時軍卒難レ集皇后曰必神心焉則立ニ大三輪社ニ以奉ニ刀矛ニ矣軍衆自聚○今在ニ彌永村ニ（和爾雅）同

式外舊社

背布利神

［三實］貞觀十二年五月廿九日筑前國正六位上背布利神從五位下

烏野神

［三實］貞觀十五年四月五日筑前國從五位下烏野神從五位上○元慶六年十月九日筑前國烏野神從五位上

高磯比咩神

［三實］元慶元年九月廿五日筑前國正六位上高磯比咩神從五位下［和爾雅］高祖神社在ニ怡土郡高祖村ニ［和鈔］怡土郡託杜社ノ注見合ベシ

天照神

大膳氏共大彦命裔也今在ニ原田村ニ（筑紫紀行ト合）［和爾雅］在ニ怡土郡原田村ニ○信友云コノ隣村ニ筑紫村アリ昔ハ原田村モ筑紫村ノ内也シトゾ社ハ（原田村北ノ林中ニアリ高キ處ナリ）南向ニ坐ス五十猛命ヲ祭竈門明神ヲ相殿トスコノ社地筑後肥前ニ近キ處也

竈門神社（名神大）

［續後紀］承和七年筑前國從五位下竈門神從五位上［文實］嘉祥三年十月辛亥竈門神正五位上（下カ）［三實］貞觀元年正月廿七日正五位下竈門神從四位下○元慶三年六月八日授ニ從四位下竈門神從四位上ニ［百錬抄］嘉祥元年十一月三日宰府竈門宮授ニ正一位ニ［中右記］嘉承元年十一月三日辛卯竈門宮奉レ增ニ正一位ニ（本位從二位）又有ニ別宣旨ニ仍位記請印記ニ宣命ニ今度宇佐神祇官使正一位上伊伎宿禰義成爾被レ付云々此事有レ故歟○在ニ御笠郡竈神ニ山上亦號ニ寶滿山ニ（太平記）爲ニ寶滿明神ニ（和爾雅ノ同上但シ竈神山作ニ竈門山ニ）○信友云竈門宮ハ八幡宮ノ伯母ニ坐ス由宮崎宮ノ託宣ニアリ［山家要略記］竈門神ノ事　五大院御記云　竈門神者一切衆生本明元神毘盧遮那普門等流身也或摩訶迦羅天或堅牢地神或大辨才天之垂跡也文口決云右件文者九州天台末社有智山地主寶滿大菩薩ヲ尺スル也然又今日吉ノ三聖竈殿者卽三聖精神也三聖神者釋迦藥師彌陀三佛三所竈神者理知事三點大日也故ニ三所竈神同ク三聖之精神也ト云ヘリ（信友云古ヨリカヽル妄説アリ心スベシ故抄錄ス）又（同書）ニ傳教大師鎭西ニ造佛事　後傳法記云延暦廿二年癸未十月廿三日先師於ニ太宰府竈門山寺ニ爲ニ四船平達ニ敬ニ造白檀藥師佛四軀高五尺ニ其名號ニ無勝淨土善名吉祥王如來ニ歸朝之後弘仁五年春先師爲ニ渡海之願ニ於ニ鎭西ニ造ニ千手菩薩像一軀高五尺ニ繕ニ寫大般若經二部妙法蓮華經ニ以修ニ諸功德ニ云々

上座郡一座（小）

麻氐良布神社

○今在ニ山田村麻氐良山ニ［和爾雅］同［三實］元慶元年九月廿五日授ニ從五位下眞天良布神正五位上ニ同三年九月廿七日授ニ從五位下眞天良布神從五位上ニ同四年六月三日授ニ從五位上眞天良布神正五位上ニ［姓氏］筑紫連饒速日命男味眞治命之後也

去年五月三日被レ配ニ伊豆國ニ自レ是嚮ニ同祠官昌守ハ治承二年正月三日是被レ配ニ流當國ニト云々而ニ彼昌助ガ弟住吉小大夫昌長初テ參ニ武衞ニ云々○信友云（本朝無題詩）ニ釋蓮禪ガ於ニ香椎宮ニ云々ノ詩ノ次ニ同人乘レ舟到ニ新宮湊ニノ詩アリ次ニ藤原周光和韻ノ句中ニ「靈祠移岸古松青自注傳聞住吉靈社移ニ此地ニ號ニ新宮ニ故云」云々ノ詩作ノ順路ヲ考ルニ新宮此神社ニ當レリ

糟屋郡三座 並大

志加海神社三座 並名神大

［三實］貞觀元年正月廿七日志賀海神從五位上［舊事紀］底津少童命中津少童命表津少童命此三神者阿曇連等齋祀筑紫斯香神信友云（廿二社注式奧入）同上［和鈔］糟屋郡志阿阿曇○國人云中間隔レ海住吉社者在レ東志賀海社者在レ西云々在ニ志賀島ニ［萬葉］七チハヤフル金ノミサキヲ過レトモワレハ忘レスシカノ皇神［同］シカノアマ云々［和爾雅］志賀神社在ニ那珂郡志賀島ニ當ニ昔屬ニ粕屋郡ニ［和鈔］志阿トアルハ志珂ノ誤信友

怡土郡一座 小

志登神社

○信友云（秘釋）ニ志登ヲ意登ニ作ハ誤［釋紀］十（筑前國風土記）五十跡手奏云高麗國意呂山自レ天降來日桙之苗裔五十跡手是也［仲哀紀］筑紫伊覩縣主祖五十跡手聞ニ天皇之行ニ拔ニ取五百枝賢木ニ立ニ子船之舳艫ニ上枝掛ニ八尺瓊ニ云々天皇美ニ五十跡手ニ曰ニ伊蘇志ニ云々今云志摩郡志登村［和爾雅］在ニ志摩郡志登村ニ昔屬ニ怡土郡（志摩イ）ニ

御笠郡一座 並大

筑紫神社 名神大

［三實］貞觀元年正月廿七日從五位下筑紫神從四位下○元慶三年六月八日授ニ從四位下筑紫神從四位上ニ［國造本紀］大彥命是筑前國造志賀高穴穗朝御世阿部臣同祖大彥命五世孫田道命定ニ賜國造ニ［類史］天長五年筑前國人難波部安郎女叙ニ位二階ニ○按難波大彥々命之後也當國香椎祠官有ニ膳伴宿禰ニ

栩機姬神織ニ神衣一〇今在ニ金崎織幡山一[和爾雅]在ニ宗像郡鐘崎浦織幡山一云々

那珂郡四座 並大

八幡大菩薩筥崎宮一座 名神大

〇信友云（名神祭式）ニ出マタ一坐トアル例ナシ削ベシ上ノ織幡神社ノ下ニ云リ[朝野群載]筥崎宮記 作者未詳 筥崎宮在ニ西海道筑前國那珂郡一蓋八幡大菩薩之別宮也云々其處之爲レ體也北臨ニ巨海一西向ニ絕域一爲レ防ニ異國之來寇一垂ニ跡此地一潮汐之聲常滿ニ宮中一坤艮卅餘里乾巽七八許里敢無ニ他木一只青松而已長短次序敢不ニ參差一云々其母神功皇后爲レ討ニ新羅一幸ニ於此道一長降ニ敵國一每年進ニ八十艘調庸舟三韓入貢百濟來朝仲哀天皇即是大菩薩之考廟也稱ニ之三所一云々 コノ外ハ佛説也 又云長元之間起レ兵欲ニ來侵一忽有ニ地震一所レ造之舟船皆破壞豈非ニ掲焉之驗一乎

補注〇春村按ニ筥崎宮記ノ作者ハ一本ニ帥江納言マタ一本ニハ作者帥江匡房トアリ朝野群載卷三之卅八丁右ニミユ

[三長紀]建久七年十一月九日筥崎宮第二御體顚倒可レ奉レ直否 官外記勘申 右府被レ申云被レ直之條不レ可ニ異儀一强不レ可レ擇ニ日次一只以下開ニ寶殿一之次上可レ奉レ直也[日本紀略]大同二年正月辛丑遣レ使奉ニ大唐綵幣香椎宮一後一條天皇長元五年四月廿二日宇佐宮寶殿爲レ風顚倒[和爾雅]筥崎神社在ニ那珂郡箱崎村一[扶桑見聞私記]四十九元曆二年六月廿日條ニ筑前國香椎宮云々 以下式外香椎宮ノ下ニ載ス [廿二社注式]人皇六十代醍醐天皇延喜廿一年六月廿一日依ニ託宣一建ニ宮柱於筥崎松原一書ニ新羅降伏之旨一而置ニ御坐下一立ニ石柱一祈ニ神誓不レ朽[東大寺戒壇神明帳]ニ八幡ニハツマント假名ヲ施セリ信友 一宮也

住吉神社三座 並名神大

[三實]貞觀元年正月廿七日无位住吉神從五位下[中右記]元永二年四月廿六日參ニ仗坐一聞頭辨仰下云筑前國住吉社可レ有ニ遷宮一也件日時可ニ勘下一云云則仰ニ下件旨一七月三日若八日奏覽之後先下右中辨〇今在ニ住吉村一神殿西向[和爾雅]在ニ那珂郡住吉村一[扶桑見聞私記]四 治承四年七月廿三日條ニ豆州ニ有ニ佐伯昌助云者一渠ハ筑前國住吉社神官也

聞一當二知行一不レ可レ有二相違一之由去年九月十七日被レ成二下綸旨一之處猶以不二叙用一致二狼藉一云云早止二彼濫妨一仕二先度　綸旨一全所務可レ專二神用一云々建武元年三月廿日　西市正中原朝臣花押右中辨藤原朝臣花押［同古文書］欲下殊被レ經二早速御沙汰一令レ備二進當社第二太神宮長日御供一爲二朝町村内國方得丸二云々（得丸ハ□□□名也下文ニミユ）正應六年七月日權擬少宮司宗形資致權擬少宮司安部長光權擬少宮司宗形資親擬小宮司藤原致長權少宮司平長滋忌子禰宜宗形千連擬少宮司大中臣長運祝祠禰宜藤原致康權少宮司藤原資長宜命禰宜藤原致繼少宮司平長貞少宮司宗形親氏權少宮司宗形氏能權擬大宮司大中臣經實權大宮司中原長信擬大宮司宗像氏廉權大宮司宗像資氏正應六年七月日トアリ信友云上文ニテ社職ノ稱シルベシ又宗像宗形姓字差別アリサテ件ノ署名ニミエタル宗形氏能ヲ大宮司ニ補セラレシ事（符宣抄）ニ太政官符太宰府　應レ補下任坐二筑前國一宗像宮大宮司正六位上宗形朝臣（按ニ神社ヲ宗像トカキ姓ヲ宗形トカケリ）氏能上事　右得二神祇官貞元三年八月五日解一偁彼宮司幷氏人等去天延二年二月五日解状偁此宮從二世初之時一已爲二日本之固一其奇異縁起不レ可二勝計一謹檢二舊例一［去天慶年中以往不レ置二件宮司一只以二神主職一爲二雜々執行之長一其時□慶度々祭只臨二山海一爲レ先二漁獵一而（○春村云依二板本卷一ノ卅六右一校レ之）藤原純友凶亂和平之後登二坐正一位勳一等之階一爰源淸平朝臣爲二彼時大貳一之間可下言二上公家一奉上レ授二菩薩位一之由託宣頻了仍且注二託宣旨一言二上解文一且爲レ使二小貳藤原朝臣惟遠一奉レ授二菩薩位一矣（下略）天元二年二月十四日トアリ○大和國城上郡宗像神社可二考合一

織幡（チリハタノ）神社一座（名神大）

○信友云一座トアル例ナシ次ナル宮崎宮トコレトハ衍ナルベル又［名神祭式］ニ不レ載下ナル宮崎宮ノ名神トアリシヲコ、ヘ轉シ誤レルナルベシ［文實］嘉祥三年七月丙子朔甲辰授二筑前國織幡神從五位下一［三實］貞觀元年正月廿七日從五位下織幡神從五位上○元慶元年十二月十五日從五位上織幡神正五位下［應神紀］四十一年阿知使主等自レ吳至二筑紫一時胸形大神乞二工女等一故以二兄媛一奉二胸形大神一是則今在二筑紫國一御使君之祖也［古語拾遺］令二

島姫神並授二正三位一［三實］貞觀元年正月廿七日正三位勳八等田心姫神湍津姫神市杵島姫神從二位○同年二月卅日丙辰筑前國從二位勳八等田心姫神湍津姫神市杵島神並正二位［古事記］多記理毘賣命者坐二胷形之奥津宮一市寸島毘賣命者坐二胷形之中津宮一次田寸津毘賣命者坐二胷形之邊津宮一此三柱神者胷形君等之以伊都久三前大神者也［筑前國風土記］宗像大神自レ天降居二崎門山一之時以二青蕤玉一置奥津宮之表一以二八坂瓊紫玉一置二中津宮之表一以二八咫鏡一置二邊津宮之表一成二神體之形一納二三宮一即隱レ之因曰二身形郡一後人改曰二宗像一○宗像三神ノ事奥津宮ハ四十八里沖沖島之中津宮ハ大島田島ヨリ三里海中ニアリ田島ハ邊津宮陸ナリ皆宗形郡也［釋紀］先師說云胸肩神體爲レ玉之由見二風土記一然則尋二其由來一爲二神像一者也［履中紀］五年三月於二筑紫一所レ居三神云々釋紀爲二宗像神一［神代卷］田心姫湍津姫市杵島姫凡三女此則筑紫胸肩君等所レ祭神是也［類聚三代格］在二宗像金崎一又云延曆十九年十二月應レ停二筑前國宗像郡大領兼帶宗像神主一事云々［和爾雅］在二宗像郡一所レ祭之神三坐瀛津島姫命又名田心姫鎭二坐于瀛島一此島距二陸五十餘里一而突二出于海中一田心姫命鎭二坐于此所一者爲レ防二異賊一故也見二于社記一第二湍津島姫命鎭二坐于大島一第三市杵島姫命鎭二坐于田島一［格］在二筑前國宗像郡一金崎坐二大和國城上郡一神同神也天照大神子也［色葉字類抄］宗像ムナタカ［淸和紀］貞觀元年二月卅日丙辰大二祓於建禮門前一以二明日一可レ祭下奉二幣八幡大菩薩一使上也筑前國從二位勳八等田心姫神湍津姫神市杵島（三實有姫字）神並授二正二位一太政大臣東京一條第從二位勳八等田心姫神湍津姫神市杵島姫神並授二正二位一此六社居雖レ異實是同神也三月□□朔遣云々向二豐前國一八幡大菩薩宮奉二席帛賊實神馬等一告二以卽位之由一也

信友云太政大臣一條第云々（十一月七日イ）コノ太政大臣ハ良房公也天安二年八月廿七日攝政于レ時太政大臣從一位トアリ天安ハ二年ニテ翌年貞觀ト改元アリ

良房公ハ淸和ノ外祖號二染殿一

［宗像社古文書］雜訴決斷所牒筑前國宗像社右如二彼社解一者當國宗像庄內曲村者末社七十五社修理料所重色無雙之地也而天下騷亂之剋云々經二奏

シ位階不レ合[三實]貞觀十二年三月五日丁巳詔授二土佐國從五位上立石神正五位下小村神從五位上正六位上大谷神從五位下一

伊勢神

[三實]貞觀十二年十一月廿三日辛未授二土佐國正六位上伊勢神從五位下一

□業神社

[類聚符宣抄]太政官符神祇官外印應レ補下坐二土佐國安藝郡一從四位下□業神社祝從八位下布師首勝士凡上事云々　康保四年五月七日

補玉島社

○重遠云在二吾川郡玉島一[土佐國風土記]曰吾川郡玉島或說曰神功皇后巡國之時御船泊レ之皇后下レ島休二息礒際一得二一白石一團如二雞卵一皇后安二御掌一光明四出皇后大喜詔二左右一曰是海神所レ賜白眞珠也故爲二島名一已上引釋記卷十ノ九左

○春村云此珠ヲ祭リテ御正躰トシタル社歟

神名帳考證　五十九

延喜式卷第十之卅八　西海道第一

西海道神一百七座

大卅八座

小六十九座

筑前國十九座

大十六座

小三座

宗像(ムナカタノ)郡四座並大

宗像(ムナカタノ)神社三座並名神大

[續後紀]承和七年四月丙寅授二勳八等宗像神從五位下一[文實]嘉祥三年十月乙巳朔筑前國宗像神從五位上○仁壽三年二月癸亥加二筑前國宗像神正五位下一○天安元年十月丙寅在二筑前國一正四位下勳八等宗像神授二正三位一○天安二年閏二月癸巳朔戊午在二筑前國一正四位下勳八等田心姫神湍津姫神市杵

社ニ[和鈔]大和國高市郡波多○高市多介知○今平田村戸内俗作ニ高持者大明神ニ屬社尤多

賀茂神社

[舊事紀]事代主神孫鴨王○又云都佐國造志賀高穴穗朝御世長阿比古間祖三島溝抗命九世孫小立足尼定ニ賜國造ニ[萬葉抄]仙覺(土佐國風土記)神河訓ニ三輪川ニ源出ニ此山之中ニ屆ニ伊豫國ニ水清故爲ニ大神ニ釀レ酒也用ニ此河水ニ故爲レ名也倭迹々媛皇女爲ニ大三輪大神婦ニ毎夜有ニ一壯士ニ密來曉歸皇女思レ奇以ニ綜麻ニ貫レ針及ニ壯士之曉去ニ也以レ針貫レ襴及レ旦也著レ之唯有ニ三輪ニ遺レ器者故時人稱爲ニ三輪村ニ社名亦然云々○今未レ詳式云在ニ入野松原ニ

式外舊社

殖田上神　峯本神　祈年神

[三實]貞觀八年五月廿二日乙丑授ニ土佐國正六位上殖田上神峯本神祈年神並從五位下ニ

神奈地祇神

[三實]貞觀八年八月七日乙卯授ニ正六位上神奈地祇神從五位下ニ

並山神　大谷神　宇賀神

[三實]元慶三年九月廿七日土佐國正五位下並山神正五位上從五位下大谷神從五位上正六位上宇賀神從五位下

堰留神　石留神

[三實]元慶八年十月四日辛卯授ニ土佐國正六位上堰留神石留神並從五位下ニ

宗我神

[三實]貞觀十年閏十二月廿一日庚戌授ニ土佐國无位宗我神從五位下ニ

立石神　小村神

信友云香美郡小松神社歟

大谷神

吉從云此ニ載レル大谷神ト上ナルトハ別神ナルベ

レ社神名天津羽々神天石帆別命今天石門別神子也「姓氏」國栖出レ自二石穂押別神一大和國高市郡天津石門別神社吉野大國栖御魂神社按（風土記）石門別者石穂押別也大和國吉野郡波賓神社羽々與二波賓一音通遠江國佐野郡巳等乃麻知神社阿波々神社「大系圖」本系帳玉主命女許登能麻遲媛命按阿波々者天津波々乎玉主者安國玉主天神也「齋明紀」七年五月云々天皇遷二居于朝倉橘廣庭宮一是時斮キリハラヒ二除朝倉社木一云々

○篤胤云林春齋（朝倉宮緣起）ニ當社者古老傳稱二高鴨大明神一則味鉏高彥根之靈也古老之所レ傳不レ可レ訝乎式云下野宇都宮社亦是崇二祀味鉏高彥根神一マタ（假名緣起）ヲモ書テ抑當社ハ古より高加茂大明神とあがめ奉り味鉏高彥根命といひ傳へたり下野國宇都宮も此神をあがめ奉ると聞りトアリト云リ「鵞峰文集」林春齋四、今在二朝倉村一（土佐宮再興記）方今前國主從四品拾遺兼土州大守藤原忠義有二繼レ絕興レ廢之志一明曆三年丁酉孟春十六日聚二土匠一督二繩墨一以經二始之一及二其年仲秋一土木成レ功云々

吾川アカハ郡一座小

天石門別安國玉主天神社アマノイハトワケノヤスクニタマヌシノ

○信友云安國玉主天神社一本及契冲本主字ナシ又（秘釋）ニ主字衍トアリ○百木云今モ國玉トノミ云國玉主トハイハズト云リ信友按主字ハ玉ノ字ヲ一本ニ主トアリツルヲ玉ノ字ノ傍ニ書添タルヲ後ニ本文ニ書入タル也古書ニ例アル事也「萬葉」四、玉主タマモリ○今在二吾川郡神谷坤隅之山嶺一○兼倶卿書寫本ニハ天石門別安國玉主神社トアリテ天字ナシ

幡多ハタノ郡三座並小

「國造本紀」波多國造瑞籬朝御世天韓襲命依二神敎一云定賜

伊豆多イツタノ神社

○今在二伊豆多坂南伊豆多山一在二下田浦與下加江浦之間一此社近二下加江一

高知坐タカシリノ神社

「舊事紀」都味齒八重事代主神坐二倭國高市郡高市

降神身已隱以祝代之云々高野天皇寶字八年從五位上高賀茂朝臣田守等奏而奉レ迎ニ鎭於葛木山東下高宮岡上其和魂者猶留ニ彼國ニ于今祭禮而云々○國人云今土佐郡ノ中ニ土佐ト稱スル郷ナシ此社ノアル地ヲ一宮村トヨベリコハ土佐國中ノ大社ナレバ一宮トヨビナラハシテ郷名ハイツトナクヨバザル事ニナリケン此一宮村ヨリ今ノ路一里バカリ北ニ土佐山ト稱スル山里アリイニシヘ一宮村ヲ土佐ノ郷トイヒケン事明ラカ也此神社祭日多シ其中ニ七月二日ハシナテマツリ、ト唱ヘテ大祭アリ御輿一ツ也其行列日中ニ松火ヲオビタヾシクトボシ神職ノモノ横笛ヲフキ其音ニ應ジテ御輿ヲ仁王門ト云マデカキユク也神社ヨリ三丁バカリノ行程也其カキユク内ニ狼ノホユル聲ヲスルモノアリ里人云此神ムカシハ此ヨリ七里バカリ未申ノ方、オトナシ、ト云處ヘ海路ヲ船ニテ御ユキアリシ時礒山ヨリ狼出テワザハヒセリ其カタヲ今殘セリ其狼ノワザハヒセシヨリ、オトナシヘノミユキハヤミテ此ヨリ一里バカリ南吸江トイフ處ノ旅宮マデミユキアリシヲソレモヤミテ仁王門マデニナリタリト云傳ヘ吸ノ江ハ入海ノ處ナリコノイソベニ小社アリ小一(コイツ)宮(クウ)ト稱ス

葛木男(カツラキヲ)神社

○重遠云今布師田村有ニ高結社ー恐此歟

葛木咩(カツラキヒメ)神社

○重遠云今在ニ布師田村東田中小森ー曰葛木宮此歟
[土佐國風土記]土佐郡々家西去四里有ニ高賀茂社ー神名爲ニ一言主尊ー

郡頭(コヲリヅ)神社

○今鴨部神社在ニ鴨部村ー○信友云頭部ヲ下上ニ誤リテ字ヲアヤマリタルカサラバ モトハカミベ、カウベ、ナド稱ヘルニカ○遠江國山名郡郡邊神社[東鑑]信濃國郡戸○信友云(信濃地名考)ニ郡戸今、コホツ、トアリ

朝倉(アサクラ)神社

[釋紀](土佐國風土記)云土佐郡有ニ朝倉郷ー々中有

朝峯神從五位上ニ○今在ニ介良ケラ村一祭日九月二日

殖田ウヘタノ神社

[三實]貞觀八年五月廿二日乙丑授ニ土佐國從五位下殖田神從五位上ニ正六位上殖田神峯本神祈年神並從五位下[和鈔]殖田宇惠多○今在ニ植田村一里人號ニ高賀茂大明神一祭日二月十三日九月九日

小野ヲノノ神社

[姓氏]小野朝臣大足彥國押人命之後也○按（舊事紀）天忍男命女世襲足姬命生ニ國押人命一與ニ香美郡天忍穗別神社一可ニ併考一○今在ニ小野村鄉連如寺村西隣一此邊總名曰ニ豐岡一此社里人號ニ豐岡大明神一

石土イハツチ神社

○今在ニ池村ノ池端ニ稱ニ住吉一[續後紀]承和八年八月辛丑以ニ土佐國石土神一預ニ官社ニ[古事記]石上毘古神[神代紀]入水吹生磐土命

土佐トサノ郡五座 大一座 小四座

都佐トサノ坐神社 大

○精古按長寬勘文天慶三年二月一日此社授ニ正一位ニ○信友云一宮也高鴨大明神ト云フ[三實]貞觀元年正月廿七日甲申土佐國從五位上都佐坐神從五位上[土佐國風土記]土佐郡々家西去四里有ニ土佐高賀茂大社一其神名爲ニ一言主尊一其祖未レ詳一說云大穴六道尊子味鉏高彥根尊[百錬鈔]元仁元年十月六日或人云土佐國一宮去八月十八日以後至廿二日大風大水等顚倒也此日神殿以下不レ殘ニ一宇一顚倒[續紀]神護景雲二年十一月戊子土佐國土佐郡人神依田公名代等四十八人賜ニ姓加茂一○又云天平寶字八年十一月庚子復祠ニ高鴨神於大和國葛上郡一高鴨神者法臣圓與其弟中衞將監從五位下賀茂朝臣田守等言 續紀有昔字 大泊瀨天皇獵ニ于葛城山一時有ニ老夫一每與ニ天皇一相逐爭レ獲天皇怒レ之流ニ其人於土佐國一先祖所レ主之神化成ニ老夫一爰被ニ放逐一 今撿ニ前記一不レ見ニ此事一 於レ是天皇乃遣ニ田守一迎レ之令レ祠ニ本處一[釋紀]云々今正月十五日立レ例百姓相聚行ニ射禮於社下一五月下旬申南畝功竟之事月上旬貢ニ封戶調物一國司必白自レ古成蹤[同]十二七左風土記ノ文チ引テ云 或說云時神與ニ天皇一 雄略也 相競有ニ不遜之言一天皇大瞋奉レ移ニ土佐一神隨而

俗云ニ多氣坂本社ー

香美郡四座 並小

天忍穗別神社

〔姓氏〕火明命三世孫天忍男命〔類史〕大同五年正月土佐國香美郡人物部文連金敷女授ニ少初位上ー金敷女同郡物部鏡連家主之妻也○按物部氏出レ自ニ天忍男命ー○谷重遠云山田野東西舊有ニ八王子社ー近ニ物部川ー蓋此歟物部川源夢野水涯有ニ鏡岩ー映ニ燭往來人ー此郡名以レ鏡蓋由レ此也寛永中開ニ墾山田野ー遷ニ社北山舊趾ー見在ニ八王寺村ー按舊事紀天忍男命妻賀奈良知姫劔根命女而劔雄社在ニ賀奈知南一里ー劔根命 葛城姓而葛木男 葛木咩兩 社在ニ劔雄西北一里ー

小松神社

〔三實〕貞觀十二年小村神 式外ノ處可レ考 ○陸奥國新田郡子松神社今在ニ槇山別役村ー

深淵神社

〔古事記〕深淵之水夜禮花神〔和鈔〕深淵 布加不知 ○今云ニ深淵村十禪寺大明神ー○重遠 谷氏 國人 此社今在ニ野市ー里人呼爲ニ十禪師ー舊祠在ニ深淵村ー

大川上美良布神社

〔續後紀〕承和八年八月辛丑以ニ土佐國美良布神ー預ニ官社ー〔三實〕ニ貞觀八年八月七日己卯授ニ土佐國從五位下大川上美良布神從五位上ー〔舊事紀〕健飯賀田須命此命鴨部美良姫爲レ妻生ニ一男ー〔和鈔〕土佐國鴨部美良布々字助語也○今在ニ韮生川上村ー

長岡郡五座 並小

豐岡上天神社

○信友云(秘釋)及一本ニ豐岡女天神トアリ〔拾遺集〕天にます豐岡姫〔姓氏〕豐岡連出レ自ニ漢高祖苗裔伊須久牟治使主ー○今在ニ豐岡古城西丸山下ー天神社是歟祭日九月十八日也

朝峰神社

〔三實〕貞觀八年六月廿日癸丑授ニ土佐國從五位下

レ載文于左ニ爲レ證　三代實錄曰貞觀五年九月廿一日伊豫國正六位上高繩神從五位下勘解由使廳請ニ二條ー其一曰神社帳准ニ官帳ー々勘畢之日令レ移ニ式部省ニ云々同九年二月五日授ニ伊豫國略上正六位上浮島神位五位下ー同十七年三月廿九日伊豫國正六位上風伯神從五位下四月五日伊豫國從五位下楠木神從五位上元慶二年七月八日伊豫國无位墓邊神雄郡神並從五位下同五年十二月廿八日授伊豫國正四位上中略天皇神從三位仁和元年二月十日授ニ伊豫國正六位上德威神門島神宇和津彥神從五位下ー

神名帳考證　五十八

延喜式卷第十之廿七　南海道第六

土佐國廿一座

大一座

小廿座

安藝郡三座並小

室津神社

○今未レ詳或云室津浦有ニ天津大明神ー恐此歟「和名鈔」室津牟呂津

多氣神社

○今奈半利村云ニ嶽明神ー○精古按（古）土佐國謂ニ建依別ー蓋此神歟可レ考

坂本神社

○美濃國坂本神社○元在ニ多氣社同殿ー阻レ壁云々

紀〕天平神護二年四月甲辰伊豫國神野郡伊曾乃神授二從四位下一充二神戸五烟一

式外舊社

伊豫豆比子命神社

高忍日賣神社

高繩神

〔三實〕貞觀五年九月廿五日伊豫國正六位上高繩神從五位下

浮島神

〔三實〕貞觀九年二月五日授二伊豫國正六位上浮島神從五位下一

龍神

〔三實〕貞觀十二年八月廿八日正四位下龍神正四位上

風伯神

〔三實〕貞觀十七年三月廿九日伊豫國正六位上風伯神從五位下

墓邊神　雄郡神

〔三實〕元慶四年七月八日无位墓邊神雄郡神並從五位下

井河神

〔三實〕元慶八年十一月十七日伊豫國正六位上井河神從五位下

德威神　神門島神　宇和津彦神

〔三實〕仁和元年二月十日伊豫國正六位上德威神神門島神宇和津彦神並從五位下〔神名帳辨疑〕辨三伊豫國有位神社漏二神名帳一　伊豫國（神學二國史所レ載郡不分明一）　高繩神　浮島神　風伯神　楠木神　墓邊神　雄郡神　天皇神　德威神　門島神　宇和津彦神　右十前有位神國史所レ載不レ見二神名帳一（義知）按古有二神社帳一而悉載二有位神一官省使各知依レ授二神社位田神戸一也而神名帳不レ載者是亦可レ謂二脫誤一乎記二國史所

溫泉郡四座 大一座 小三座

阿沼（一本沼作治）美神社 名神大

○信友云沼作レ治又「名神祭式」モ沼トアリ誤「續紀」廿九溫泉郡人味酒部稻依等賜ニ姓平群味酒朝臣一

出雲崗（岡イ）神社

○和久云岡村ニアリ岡ノ社ト稱

湯神社

「伊豫國風土記」溫泉郡大穴持命見悔耻而宿奈毗古奈命欲レ活而大分速見湯自下樋持度來以ニ宿奈毗古那命一而浴レ濆者暫間有活起居○和久云松山領道後ニ坐今モ溫泉アリテ諸人浴ソノ溫泉ノ上ノ小キ社則湯神社ナリ

伊佐爾波神社

○和久云松山領道後ニアリ湯月八幡宮ト申社ト同社ニテ往古ハ伊佐爾波神社也當領主ノ先祖此社ヘ八幡宮ヲ勸請セラレテヨリ伊佐爾波ト云號ハ知人少クナリテ諸人湯月八幡ト申セリトイヘリ「萬葉」三山部宿禰赤人至ニ伊豫溫泉一歌云伊豫能高嶺乃射狹庭乃岡爾立之而「伊豫國風土記」立湯岡側碑文其立ニ碑文一（仙覺抄ニ其以下四字ナシ）處謂ニ伊社邇波之岡一也

伊豫郡四座 大一座 小三座

伊豫神社 名神大

「續紀」天平神護二年四月甲辰伊豫國久米郡伊豫神社授ニ從五位下神戸二烟一「三實」貞觀四年九月十八日授ニ伊豫國從五位上伊豫村神從四位下一○同八年閏三月七日伊豫村神授ニ從四位下一○同十二年八月廿八日正四位下伊豫村神正四位上「國造本紀」久味國造輕島豐明朝神魂尊十三世孫伊豫主命定ニ賜國造一「續後紀」承和元年四月壬子伊豫國人正六位上浮穴直千繼等賜ニ姓春江宿禰一千繼之先大久米命也「姓氏」久米直神魂命八世孫味耳命之後也「顯宗紀」山部連先祖伊豫來目部小楯

伊曾能神社

○信友云契冲本曰能作レ野三代實錄作ニ磯野一「續

大野神社

姫坂神社 名神大

○信友云(名神祭式)ニ不レ載マタ一本ニモ名神大ト不レ記无キヲ正シトシテ削ルベシ其由ハ越智郡ノ下ニ云ヘリ

多伎神社 名神大

○信友云異本及(臨時祭式)ニ名神大ト不レ記[三實]貞觀二年閏十月十七日授二伊豫國從五位上瀧神從四位下一○同八年閏三月七日從四位下瀧神從四位上○同九年二月五日授二伊豫國從四位上瀧神正四位下一

樟本神社

[三實]櫛本神

野間郡一座大

野間神社 名神大

[續紀]天平神護二年四月甲辰伊豫國野間郡野間神授二從五位下一充二神戶二烟一○[續後紀]承和四年八月戊戌從五位下野間神預二名神一[三實]貞觀三年五月廿一日授二伊豫國從五位下野間神從四位下一○貞觀八年閏三月七日壬子伊豫國從四位上野間天皇神正四位下○同十二年八月廿八日正四位下野間神正四位上○元慶五年十二月廿八日授二正四位上野間天皇神從三位一○精古按長寬勘文有二正二位授階一

風早郡二座並小

國津比古命神社

[續後紀]承和六年十一月癸未伊豫國人外從五位下風早直豐宗等賜二姓善友朝臣一天神饒速日命之後也[國造本紀]風速國造輕島豐明朝物部連祖伊香色雄命四世孫阿佐利定二賜國造一[三實]四 貞觀二年物部朝臣廣泉卒本伊豫國風早郡姓物部首[持統紀]風速郡物部薬

櫛玉比賣命神社

○大和國廣瀨郡櫛玉比女命神社[文實]齊衡元年三月壬辰授二伊豫國櫛玉姬神從五位下一[神代紀]三島溝橛姬或云玉櫛姬

大須伎神社（オホスキノ）

伊加奈志神社（イカナシノ）

大山積神社（オホヤマツミノ）名神大

○信友云（名神祭式）ニ不ㇾ載○和久云今大三島ト云フ島ニ榮エ坐ス「續紀」天平神護二年甲辰伊豫國越智郡大山積神授ニ從四位下ㇾ充ニ神戸五烟ㇾ「續後紀」承和四年八月戊戌伊豫國從四位下大山積神預ニ名神ㇾ「三實」貞觀二年閏十月十六日進ニ伊豫國從四位上大山積神ニ加ニ從三位ㇾ○同八年閏三月七日伊豫國從三位大山積神階加ニ正三位ㇾ○同十二年八月廿八日授ニ伊豫國正三位大山積神從二位ㇾ○同十七年三月廿九日授ニ伊豫國從二位大山積神正二位ㇾ「伊豫國風土記」宇智郡御島坐神御名大山積神一名和多志大神也是神者所ㇾ顯ニ難波高津宮御宇天皇（仁徳）御世ㇾ此神自ニ百濟國ㇾ度來坐而津國御島坐云々謂ニ御島ㇾ者津國御島以上神名帳頭注也「東齋隨筆」參議佐理太宰扶滿歸路歷ニ伊豫三島ㇾ風浪惡不ㇾ能ニ發船ㇾ夢三島神告曰乞ㇾ書ㇾ額覺乃書應ㇾ時海上穩榜曰日本總鎭守大山積明神 信友云コノ額今存セリトテソノ寫シヲ見タリキ 「十訓鈔」能因入道（俗名承永）（旁注）伊豫守實綱ニ 信友云（金葉集）詞書ニ範國朝臣トス（袋草子）ニハ實國朝臣トス に伴ひて彼國に下りけるに夏初日久しくてりて民のなげきあさからざりけるに神は和歌にめで給ふものなり試によみて三島に奉るべきよしを國司頻にすゝめければ「天河苗代水にせき下せ天くだります神ならば神」とよめるをみてぐらに書き社司をして申上させたりければ炎旱の天俄にくもりて大なる雨ふりて枯たる稻葉をしなべて緑にかへりけり○又曰昔佐理郷大貳任はてゝ上られける道にていよの國三島明神の託宣ありて彼社の額を書したりけるもめでたかりけり又（著聞集）七ニ同出（俊頼髓腦）トモニ實綱トアリ信○精古按（長寛勘文）天慶三年二月一日此社奉ㇾ授ニ正二位ㇾ○信友云能因祈雨ノ歌ヲ（金葉集）ニ收レテソノ詞書ニ國の一の宮トアリマタ伊豫國ノ中古ノ書（豫陽盛衰記）ニ倭國ニ於テ一ノ宮ト云フハ伊豫國大三島ヨリ外ニハナキ也一國ニ一ノ宮ト云フハ其後聖武天皇之御宇六十六ケ國ニ一社ヅヽ撰オキ玉フ云々「永萬記」三島社

井義知辨下神名帳神社失ニ本郡ニ而屬中比郡上伊豫國桑村郡三坐並小佐々久神社布都神社周敷神社右神名帳文義知按周敷神社可レ屬ニ周敷郡ニ而屬ニ之桑村郡ニ者非乎周敷郡據ニ國史ニ始出ニ於天平寶字八年七月己酉同十月己丑紀ニ延喜民部省式所レ載至レ今現存焉而神名帳不レ載ニ此郡ニ何哉其周敷神社在ニ周敷郡周敷郷周敷村ニ周敷神社稱ニ三白カ島神社ニ者非凡餘社比郡例亦然野間神社屬ニ野間郡ニ湯神社屬ニ温泉郡温泉郷温泉岳ニ伊豫神社屬ニ伊豫郡伊豫村ニ而何獨以ニ周敷神社ニ不レ屬ニ周敷郡ニ而屬ニ之桑村郡ニ乎是亦違誤之甚歟周敷郡記ニ國史及民部省ノ式所載文于左ニ爲レ證續日本紀曰天平寶字八年七月己酉伊豫國周敷郡人多治比連眞國等十人賜ニ姓周敷連ニ同十月己丑伊豫國人大初位下周敷連眞國等二十一人賜ニ伊佐世利宿禰ニ延喜民部省ノ式上南海伊豫國上管宇麻新居周敷云々

布都神社（フトノ）

[三實]天安二年十月廿二日授ニ伊豫國正六位上布都神從五位下ニ

周敷神社（スフノ）

[姓氏]丹比須布火明命三世孫天忍人命之後也○又曰丹比連火明命之後也[續紀]天平寶字八年七月己酉伊豫國周敷郡人丹治比連眞國等十人賜ニ姓周敷連ニ○天平寶字八年伊豫國人大初位下周敷連眞國等二十一人賜ニ姓周敷伊佐世利宿禰ニ[和鈔]周敷郡[神名帳辨疑]佐々久神社ノ下ニ記ス

越智郡七座（ヲチノ）大三(二イ)座 小四(五イ)座

○信友按南海道神云々大廿九座伊豫國七大座越智郡大二座ニテ捴數合ヘリ當郡大三座ノ内イヅレカ一社ハ誤ナリナホ按ニ大山積、姫坂、此本ニ名神大ノ三字トシ中ニモ大山積ハ殊ナル大社トキコユレバコハ大ニテ姫坂ハ小社ナルベシ[續紀]神護景雲元年伊豫越智郡大領越智直飛鳥麻呂[三實]貞觀十三年十一月十四日乙酉伊豫國越智郡人外從五位下行直講越智直廣峯改ニ本居貫ニ隷ニ左京職ニ[姓氏]越智直神饒速日命之後也

神名帳考證　五十七

延喜式卷第十之卅六　南海道第五

伊豫國廿四座

大七座

小十七座

宇摩(ウマノ)郡一座大

村山(ムラヤマノ)神社名神大

［三實］貞觀九年二月五日從五位上村山神正五位下○同十二年八月廿八日正五位下村山神正五位上○仁壽三年六月甲戌以二伊豫國村山神一預二官社一［景行紀］天皇妃阿倍氏木事之女高田媛生二武國凝(スクリ)別皇子一是伊豫國御村別之始祖也

新居(ニヒヰノ)郡二座大一座小一座

［續紀］廿七神野郡避二嵯峨諱一爲二新居一

伊曾乃(イソノ)神社名神大

○信友云(名神祭式)ニ元一本ニモ无サレドモ當郡大一座トアレバアル方正シ伊豫郡ニモ同神アリ

［續紀］天平神護二年四月己亥神野郡伊曾乃神授二從四位下一［三實］貞觀八年閏三月七日伊豫國從四位上磯野神授二正四位下一○同十二年八月廿八日正四位下磯野神正四位上○同十七年三月廿九日授二伊豫國正四位上磯野神從三位一○在二中野村一

黑島(クロシマノ)神社

○和久(ニギヒサ)伊豫宇和島領伊方人菊池肥後云今替地村ニ黑島神社二社アリイヅレカ未レ詳

桑村(クハムラノ)郡二座並小

［續紀］天平神護二年九月丙寅伊豫國大直是(足カ)山云々同廿七伊豫國人奏毗登淨足等十一人賜二姓阿倍小殿朝臣一

佐々久(サヽクノ)神社

［古事記］神八井耳命者伊豫國造等之祖也［姓氏］雀部臣多朝臣同祖神八井耳命之後也［神名帳辨疑］螢

大水上神社（オホミツカミノ）
[三實]貞觀七年十月九日大水上神授二正五位下一○同十七年五月廿七日授二正五位下大水上天神正五位上一○元慶元年三月四日讃岐國正五位下大水上神正五位上○石見國近摩郡水上神社[式考]神田ノ別レ村羽方村ト云フ處ニ一ノ宮二ノ宮三ノ宮ナド云社アリソノ二ノ宮也ト云傳フ[目]其處五ヶ村ノ氏神也

式外舊社

梶州天川宇夫志奈神　賀富良津神
[三實]貞觀六年十月十五日讃岐國梶州天川宇夫志奈神賀富良津神（信友云式内加麻良神カ）等並從五位下

松井神
[三實]元慶元年四月七日讃岐國松井神從五位下

天河神　船山神　萬農池神
○吉從云上ナル梶州天川ノ天川ハ郎コノ天河ノコトナリヤ可レ考[三實]元慶五年十一月十四日授二讃岐國從五位下天河神從五位下正六位上船山神萬農池神（信友云那加郡神野神社ノ下考ヘシ）並從五位下一

天津高結槻本地祇
[符宣鈔]一奉レ授二神位記一事ノ條下

> 太政官符神祇官
> 正六位上天津高結槻本地祇座二讃岐國一
> 今奉レ授二從五位下一
> 延喜廿年二月十五日下

補　氏太（スイ）神　苅田神　連岳神　國榮神
[紀略]延喜六年二月七日授二讃岐國氏太神苅田神連岳神國榮神並從五位下一同十年九月五日授二讃岐國氏太神從五位下一上（下恐上訛）

桙柄等事讃岐國所レ濟也隨去春進ニ濟神祇官ニ了而後彼官火事之時已以燒去重可レ召ニ彼國ニ歟但可レ令ニ本宮辨濟ニ歟［小右記］長和二年正月廿九日辛酉右中辨資業申月次祭木工寮申桙文即下給［吉記］壽永二年十二月十二日壬申權辨尋ニ月次祭鉾文ニ事答云行事火尋取木工寮請奏覽ニ行事○今在ニ觀音寺村南三十町許ニ［目］（生駒記）ニ曰此社粟井村ニアリ刈田大明神ト稱ストイヘリ今ノ豐田郡ハ昔ハ刈田郡又神田郡トモ云粟井社ハ天太玉命ヲ祭レリ當郡ヲ以テ此神ノ神供料ニ充行ハレタル田ナルユヱニ神田郡ト云ヒ神稻ヲ刈ユヱニ刈田郡刈田社トモ云フ也［式考］粟井村ニアリ社家宮本造酒ガ傳ニ月讀尊天照大神宮保食神ヲ祭レリト云ヘリ阿波國撫養ノ里ニ粟井大明神ト云フアリテ古キ棟札ニ讃州粟井大明神トアルヲ近世ニ至リテ其文字ヲ阿波井ト改吉田ノ神簿ヲモ阿州侯ヨリ改メシヨシナリ埴安按ルニ戰國ノ時城ヲ爭フ術ニ神名帳ヲ等閑ニ見テカマヘコシラヘシモノト見ユ故ハ其地理決シテ讃岐ノ地ナラズ○信友云讃州ノ粟井神ヲ阿波ニモ移シ祭ルナルベシサル例此（神名帳）ニモ可ニ考合ニ

黑島神社

○伊豫新居郡有ニ同社名ニ［式考］池尻村ノ社也ト社人川崎出雲ガイフ［目］同

大内郡一座小

水主神社

［續後紀］承和三年十一月壬申讃岐國水主神奉レ授ニ從五位下ニ○貞觀八年四月九日授ニ讃岐國從五位下水主神從五位上ニ［姓氏］水主直火明命之後也○山城國久世郡水主神社○精古按長寛年賴業勘文當社昇ニ正五位下ニ△（類史）十六卷見［目］水主ノ三山權現在ニ水主村ニ村上天皇應和二年効驗ニヨリテ宣旨アリテ大水主大社ト唱フ又明德中僧正増牛呼新宮本宮那智ノ神ヲ請テ以テ三山權現トス［式考］社領三十石別當大水寺傳云祭神彦火火出見尊或云漢靈帝皇女又云級戸神也ト

三野郡一座小

高屋神社

[三實]貞觀六年十月十五日讃岐國高屋神従五位下○同九年五月十七日授ニ讃岐國正六位上高家神従五位下ニ[姓氏]高屋連饒速日命十世孫伊己止足尼大連之後也[和鈔]高屋多加屋[式考]高屋村ニアリ高稲津美神ト云ヘリ[目]同大那祇神社ト云フ

山田神社

○蘇我山田石河麻呂[三實]貞觀九年十一月廿日乙卯苅田首安雄賜ニ姓紀朝臣一安雄自言武内宿禰之裔[三實]仁和二年五月廿八日丙午前周防守従五位上紀朝臣安雄卒安雄父本姓苅田讃岐國人至ニ于安雄一賜ニ姓紀朝臣一爲ニ京兆人一○按蘇我山田石河麻呂者武内宿禰子也[式考]觀音寺ノ半里バカリ西ニ山田尻ト云フ處アリソコノ社也ト云フ社家牧加賀守ガ云フ[目]黒淵村ニアリ昔ハ豐ノ社ト云フ

加麻良神社

○信友云(三實)貞觀六年十月十五日正六位上加富良神授ニ従五位下一トアルコレカ[式考]流岡村ニアリ別當ノ傳ニ加麻良神ト云フ[目]植田村ニアリ俗加茂良ト唱フ今加茂ノ宮ト云フ

於神社

○鵜足郡宇閉神社[目]未レ詳寶曆五年春丸龜城主ヨリ巡見アリテ當社ヲアツク尋玉ヘリ粟井村ニ小サキ森ノ内ニ小社アリ上野神社ト申傳ヘタリ依テ鳥居ヲ新ニ再營アリ

粟井神社 名神大

[三實]貞觀六年十月十五日讃岐國粟井神従五位下○承和九年十一月乙卯讃岐國粟井神預ニ之名神一○太玉命○安房國安房坐神社[和鈔]苅田郡紀伊[古語拾遺]手置帆負命讃國忌部祖也彦狹知命紀伊國忌部祖也天富命率ニ手置帆負彦狹二神之孫一其裔今在ニ紀伊國一又手置帆負命之孫造ニ矛竿一其裔今分在ニ讃岐國一毎年調庸之外貢ニ八百竿一是其證也[臨時祭式]桙木千二百四十四竿讃岐國十一月以前差ニ綱丁一進納[中右記]大治二年六月八日丙寅頭中將送レ書云月次祭

トアルハコノ神野神ノ別名ニヤ式外ノ部可レ考

[目]或書ニ眞野村ニアリ是應神天皇神也推古天皇ノ御宇營社也ト記セリト云ヘリ此社ハ空海神野寺及神野神社ヲ此處ニ建シ也其社ヲ式ニハノセラレタル也今彼寺ハ廢亡セリ社人後人池之宮ト唱ヘテ近年迄アリシガ今ハ神木バカリ殘レリ滿野池ハ(大日記)ニ曰治安二年帝命ニ依テ始テ池ヲ築ク廻リ三里餘アリ又説ニ弘仁十二年空海詔ヲ奉テ下リ池成就ストモ云ヘリ○信友按此池ノ事(三實)ニ元慶五年云々萬農池神トアレバ治安二年ノ事ハ合ガタシ治安ハ元慶ノハルカニ後也

多度郡二座並小

[三實]讃岐國多度郡人佐伯直鈴伎麻呂等賜ニ佐伯宿禰姓一又云大伴健日連公景行天皇御世隨ニ倭武命一平ニ安東國一功勳蓋世賜ニ讃岐國一以爲私宅倭故連允恭天皇御世始任ニ讃岐國造一

大麻神社

[三實]貞觀七年十月九日大麻神從五位上[日本紀略]延喜十年八月廿三日授ニ讃岐國大麻天神從四位下一○阿波國板野郡大麻比古神社[式考]弘田村吉原村ノ堺ニアリ氏神也

雲氣神社

[目]金毘羅大權現ハ高松ヨリ七里丸龜ヨリ三里アリ別當象頭山松尾寺金光院社領三百石也白井宗因ハ此社ハ即雲氣神社也ト云ヘリマコトニ象頭山ハ惣名ニテ大麻村ト云フ即大麻神社坐也西面ハ麻村ト云フ即大水上神社坐ス也又(生駒記)ニ寶暦四年秋雲氣ノ社跡ヲタヅヌル處ニ多度郡弘田村ニ正シキ古跡アリヤウ〳〵名ノミ殘ルヲ新ニ榊ヲ植神垣鳥井ヲ建ラレタリ往古ハ大社也トイヘリ[三實]貞觀元年正月七日甲子詔以ニ讃岐國從五位下雲氣神一列ニ官社一○同年三月廿二日授ニ攝津國雪氣神從五位下一（按攝津國當レ作ニ讃岐一雪當レ作レ雲）○同二年五月廿日己巳讃岐國從五位下雲氣神列ニ官社一○周防國熊毛神社

苅田郡六座大一座小五座

○今豐田郡

中數社茲社尤靈是用吉日良辰禱請昭告誠之至矣神其察レ之若八十九郷二十萬口無レ損一口無レ愁敢不レ口蘋藻清明玉幣重疊以賽二應驗一以飾二威稜一若甘澍不レ饒早雲如レ結神之靈無レ所レ見人之望遂不レ徒斯乃俾二神无一レ光俾二人有一レ怨人神共失二禮祭一或疎レ神其裁レ之勿レ惜二冥祐尙饗一○信友云(名神祭式)ニノセズ[式考]今ハ知ガタシ岡田村ノ氏神也ト云ヘド信ジガタシ城山ト云フ山トハ程遠シ[目]生駒記云今社地ヲ失フシカルニ摩尼珠院境内ノ小宮又府中村印鑰大明神又東坂本村ノ內三谷官此三所各勸請ノ處ト云フ醍醐天皇ノ御宇勅ヲ下シ諸國神社ヲ尋玉フ依テ守護國司又ハ在廳人ナドヨリ勅答セシ由古人等申傳タリ[名神祭式]不レ載

鵜足(ウタリノ)郡二座 並小

○信友云今唱ニウタ郡一

飯(イヒノ)神社

○陸奧國飯豐比賣神社出雲國飯石神社陸奧國桃生郡飯野山神社伊勢國河曲郡飯野神社若狹國大野郡大飯神社越後國蒲原郡飯野神社佐渡國雜太郡飯持神社[式考]飯ノ山ノ麓東二村ニアリ飯ノ天神ト云リ飯依彥ノ由也[目]同上今イノ天神ト云フ

宇閉(ウヘノ)神社

○因幡國法美郡宇倍神社[天武紀]十三年吉野郡人宇閉直弓貢二白海榴一○信云苅田郡ニ於(ウヘ)神社[式考]栗熊村宇野井神也ト云フ或ハ岡田村ノ神也トモ云[目]宇倍村栗熊西ノ崇二氏神一

那珂(ナカノ)郡二座 並小

櫛梨(クシナシノ)神社

[舊事紀]神櫛別命 讚岐國造祖[無量壽院由來記]讚岐國中郡櫛無大歲大明神[和鈔]櫛無久之奈之[永萬記]櫛無社[式考]櫛無下村ニアリ武鼓王ヲ祭ルト云ヘリ武鼓王ヲ當國ニテハ讚留靈王ト云フ

神野(カンノノ)神社

[式考]滿濃(マノ)池ノ堤ニ在ト云ヘリ或ハ郡家村ノ氏神也ト云ヘリ○信友按(三實)元慶五年云々萬農池神

「續後紀」承和八年六月香川郡人秦人部永藏等賜ニ姓酒部一

田村神社 名神大

「續後紀」嘉祥二年三月丙戌朔癸丑奉レ授ニ讃岐國田村神從五位下一「三實」貞觀三年二月十三日丁巳讃岐國從五位上田村神列ニ官社一○同七年十月九日讃岐國從五位上田村神田村神授ニ正五位下一○九年十月五日授ニ讃岐國正五位下田村神從四位下一○同十七年五月廿七日授ニ從四位下田村神授四位上一○元慶元年三月四日授ニ正四位下田村神正四位上一○俗云一宮社司傳云猿田彥大神也伊勢國ニ津御祖神社田村比賣命也伊賀國田守神社（古事記）敏達記ニ寶王亦糠代比賣命又曰田村王トアリ「式考」田村神社讃岐ノ一宮也今一宮村ニアリ氏神也此地古ノ大野鄕ニアタレリ○信友云（臨時祭式）名神祭ニ不レ載

阿野郡三座 大一座 小二座

「景行紀」日本武尊生ニ武皷王一是讃岐綾君始祖

鴨神社

「三實」貞觀七年十月九日賀茂神從五位上○同十七年五月廿七日授ニ讃岐國從五位上賀茂天神正五位下一「和鈔」鴨部 加毛 ○在ニ鴨村一（式考）說同

神谷神社

「三實」貞觀七年十月九日神谷神從五位上○同十七年五月廿七日授ニ從五位上神谷天神正五位下一「式考」神谷村ノ氏神也「目」同稱ニ五社大明神一

城山神社 名神大

「三實」貞觀元年十一月七日授ニ讃岐國正六位上城山神從五位下一○同七年十月九日城山神從五位上「景行紀」皇子神櫛命是讃岐國造之初祖也○櫛訓久志反切城也今俗云金毘羅神歟此山有下號ニ城山一之處上云々「菅家文草」祭ニ城山神一文 爲ニ讃岐守一祭レ之 維仁和四年歲次戊五申月癸巳朔六日戊戌守正五位下菅原朝臣某以ニ酒果香幣之奠一「敬祭ニ于城山神一四月以降涉レ旬少レ雨吏民乏困苗種不レ田某忽解ニ三龜一試親ニ五馬一分レ憂在レ任結レ憤惟悲嗟虖命之數奇逢ニ此愆序一政不レ良也感無レ徹乎伏惟境內多レ山茲山獨峻城

布勢神社

[目]ト標シ(讃岐國綱目)ナリ石田村ノ氏神ト云フ[式考]合

神前神社

○精古云伊勢二重郡神前神社同度會郡同社近江伊香郡神前神社和泉日根郡神前神社[式考]神前村ノ氏神也遊良ト云フ山ニアリ[目]神前八幡ト云フ

多和神社

[三實]元慶元年三月四日授ニ從五位下多和神從五位上ニ[和鈔]寒川郡多和信云今本知トアルハ誤[式考]石田村前山ニアリ[目]前山村ニアリ[二上峯]伊勢家隨筆天明三卯年當國高松ノ郡奉行中村氏ニ糺尋タリトテ曰此社四國ノ内ニテ三社ノ御社ト稱ス寒川郡前山村ニアリ祭神ハ手置帆負命也

大蓑彦神社

[儀式]寒川比古命相摸國寒川神社○按寒川之郡名因ニ此神在一歟(儀式)牟彌神社寒河比古命寒河比女命大水上兒按大水上ハ大蓑彦ニ同キカ今寒川郡ノ村民ハ大蓑彦神社ヲ一宮ト稱シ猿田彦ヲ祭ルト云敢テ實記アルニ非ズ宮中ニ靈泉アリ常ニ覆ヒテ見ル事ヲ許サズ往年散齋ト云儒者杖ニテ探リミシニ忽盲目ニナリタリトテ彌人畏レヲ爲ト也[式考]石田村蓑神池ト云フ社ハ池ノ西ノ小山ノ上ニアリ此神ヲ御名ニヨリテ池ヲ蓑神ト申ニヤ[目]古ハ高山ノ上ニアリシカ往還ノ乘馬崇メ玉フニヨリテ今ノ宮池ニ遷ス

三木郡一座小

和爾賀波神社

[式考]云上野文平云伊豫國ニ伊豫郡アリ阿波國ニ阿波郡アリ讃岐國ニ讃岐郡ナシシカラバ三木郡ハ、サヌキ、ト稱セシヲ後ニアヤマリテ、ミキ、ト唱ヘ來レルニヤ

[式考]下高岡村ノ氏神也ト云ヘリ祭神ハ白山權現ナリト云フ[目]同或井戸村八幡宮也ト云リ

香川郡一座大

位(下カ)上葦稻羽神正(從イ)五位上○同十六年三月十四日授ニ
正五位上葦稻葉神從四位下ー○元慶三年六月廿三
日阿波國從四位下葦稻葉神從四位上

白鳥神

[三實]貞觀三年三月六日庚辰阿波國正六位上白鳥
神授ニ從五位下ー○元慶七年十二月二日阿波國從五
位下白馬神從五位上△名西郡白鳥郡ニアリ
○越中國婦負郡白馬神社アリ

伊比良咩神　船盡比咩神

[三實]貞觀十四年十一月廿九日阿波國正六位上伊
比良咩神船比咩神並從五位下

神名帳考證　五十六

延喜式卷第十之卅五　南海道第四

讃岐國廿四座

大三座
小廿一座

寒川(サムカハ)郡五座並小

[續紀]延暦十年九月讃岐國寒川郡人凡直千繼等言
先星直譯語田朝廷御世繼國造之業管ニ所部之堺ー於
レ是因ニ官命氏賜紗拔大押直之姓ー而庚午之年之籍
改ニ大押字ー仍注ニ凡直ー○精古按(和鈔)上總國大羽
郡讃岐蓋有ニ由縁ー歟又云(舊)七卅四五十目彥王命
讃岐君等之祖是倭建命子也大和廣瀨郡讃岐神社

志太張(シタハリノ)神社

○思兼神兒天下春命[式考]ト標シタルハ讃岐國式內神社
考ナリ國人中山埴安麻呂作鴨(カ)部(ベ)和鈔郷名ノ東山村ニアル小社也ト云
フ(讃岐國言目)同説

和那神社トアルモ誤也再按和邪(和鈔)ニ和射トアル地名ナルベシサテ此下ニ和奈佐神社トアル和奈佐モ(和鈔)ニ和射トアル處ナラバ和射モ、ワナサ、ナルベシ然ラバコノ和邪モ、ワナサ、ナルベシ和那邪ノ三字ナルガ一字脱タルニヤ[舊事紀]饒速日命十世孫淡夜別命大海部直等祖弟彦命之子[和鈔]那賀郡海部加伊布[三實]元慶二年二月十九日從五位下山背忌村大海全子以レ奉ニ幣氏神一向ニ阿波國ニ[和鈔]那賀郡 山代地方之呂[皇極紀]阿曇山背連比良夫[續紀]延暦二年阿波國人粟凡直豊穗任ニ國造一[儀式]大嘗會由加物云々已上阿波國麻殖那賀兩郡所レ輸

宇奈爲神社

○按宇奈ハ海也爲ハ坐也河内國田坐神社(源氏物語)歌ニ海ニマス神ノ助云々

和奈佐意富曾神社

室比賣神社

○開化皇子日子坐王御子室毘古王ト云アリ若狹ノ耳別之祖也此皇子ノ后ニヤカヽル例自餘ニモアリ

[當國神社帳]那賀郡相川村ニ御室大明神ト云フアリ

八桙神社

[三實]元慶七年十二月廿八日八桙神授ニ從五位上一

○八千桙神乎[當國神社帳]那賀郡矢鋒八幡宮

賀志波比賣神社

[當國神社帳]那賀郡見能方村賀志波比賣神社アリ

○大和近江鹿鹽神社

建比賣神社

○勝浦郡建島女祖神社武藏國足立郡多氣比賣神社攝津國河邊郡高賣布神社

式外舊社

葦稲葉神社

[續後紀]承和九年冬十月辛酉朔壬戌阿波國无位葦稲葉神從五位下○貞觀九年四月廿三日阿波國從五

從五位下［古事記］大戸惑女神○又云大戸比賣△上八幡村ニ宅宮アリ○信友按上ノ麻能等比古ハ麻等能比古ニノ意富門麻比賣ハ意富麻門比賣ニテカク對ヒタル神名ノ轉例ニヤ

勝浦郡八座並小

勝占神社

○播磨國多可郡加都良乃命神社△西塚村今猶カツラノ神社トイフ○篤云杉尾大明神ト云フト國人云ヘリ

事代主神社

［姓氏］長公大奈牟智神兒積羽八重事代主命之後也［續紀］寶龜四年五月辛巳阿波國勝浦郡領長費人立言庚午之年長直籍皆著ニ費之字一因ニ之前郡ノ領長ノ直救夫披訴改ニ注長ノ直一［三實］貞親十三年節婦阿波國勝浦郡人長ノ直大富賣叙位二階

山方比古神社

○越前國足羽郡山方神社

宇母理比古神社

［古事記］ニウモリノ王アリ○敏達皇子宇母理王母者庶妹豐御食炊屋姫命

阿佐多知比古神社

速雨神社

［世記］速雨二見國

御縣神社

［當國神社帳］勝浦郡中ノ郷村ニアリ

建島女祖命神社

［三實］元慶七年十二月廿八日庚申阿波國從五位下埴生女屋神從五位上○在ニ建島一［當國神社帳］勝浦郡中田村竹島大明神○那賀郡ニ建比賣神社アリ

那賀郡七座並小

和耶神社

○信友按ニ邪ノ字古體那那ヨリ誤レル也（秘釋）ニ

友云八倉棚ノ事可レ考

天石門別豐玉比賣神社

○吉從云(神代紀)上一書天照太神磐戸隱ノ事ヲ傳ヘタルウチニ玉作部遠祖豐玉者造玉トアリ此神ヲ祭レルナルベシ石門アケ玉ヘル時ノ物ヲツクレル神ナレバ石門別ト云ベシ

麻能等比古神社

[三實]ニ天香山大麻等野知神ト云モ見ユ今按ニ武ト國多磨郡ニ大麻止乃豆乃天神社アリ此國ノ(風土記)ニハ大麻止乃智天神ニ作ル

和多都美豐玉比賣神社

[三實]元慶七年十二月二日授ニ從五位下和多都美豐玉比咩神從五位上ー○阿波國名東郡人安曇粟麻呂自言安曇百足宿禰之苗裔也[類聚三代格]阿波國安曇郡[當國神社帳]名東郡庄村ニ海宮アリ○吉從云上ナル豐玉ハコレト同名ニテ異神ナリ

大御和神社

[當國神社帳]名東郡府中村大御和神社アリ

天佐自能和氣神社

[三實]貞觀六年阿波國名方郡人海直豐宗賜ニ姓大和連ニ[舊事紀]彦狹島命海直等祖○隱岐國知夫郡天佐志比古命神社アリ又(孝靈紀)ヲ考フルニ意富夜麻登久邇阿禮比賣命所レ生日子刺肩別命ト云アリ此ニヨラバ能飼二字草ノ字ヨリ誤レルカ○常陸國新治郡佐志能神社

御間都比古神社

[國造本紀]長國造(首書今阿波國那賀郡)志賀高穴穗朝御世觀松彦色止命九世孫韓背足尼定ニ賜國造ー△佐那河内村ニアリ[當國神社帳]名東郡佐那河内村ニアリ

多祁御奈(方歟カ)刀彌神社

○名西郡諏訪村ニアリ

意富門麻比賣神社

[三實]貞觀十八年八月二日阿波國意富門麻比咩神

之年貢ニ木綿麻布及種々物ヲ所以郡名爲ニ麻殖之縁ヲ「仲資王記」建久五年六月十二日辛丑阿波國忌部久家還ニ補氏長者ニ角凝魂之後也「和鈔」忌部伊無倍「當國神社帳」麻殖郡山崎村ニアリ

天村雲神○伊自波夜比賣神社二座

「舊事紀」天香語山命異妹穗屋姫命爲レ妻生ニ一男ヲ孫天村雲命安名天五多底此命阿俾良依姫爲レ妻生ニ二男一女ヲ伊自波夜比賣者葛木出石姫乎卽阿俾良依姫也○今云タナホノ權現歟二座南面岩津渡南ノ川岸山也○伊勢度會氏人祖神之天村雲命者同ニ神名ヲ者異△河田村ノ島ト云所ニ村雲神社アリ

伊加々志社

「姓氏「饒速日命六世孫伊香我色雄命△桑村ニアリイカヾシノ藪ト云有

天水沼間比古神社○天水塞比賣神社〕二座

○諸書不レ見ニ此神名ヲ⊙出雲國美努麻神社

秘羽目神○足濱目門比賣神社二座

○信友按(和鈔)高足名西郡

名方郡九座大一座小八座

○信友云名方郡今名東名西二郡トナル

天石門別八倉比賣神社大月次新嘗

「續後紀」承和八年奉レ授ニ阿波國正八位上天石門和氣八倉比咩神從五位下ヲ○貞觀七年二月廿七日阿波國正五位下天石門別八倉比咩神從四位下○同十三年二月廿六日授ニ阿波國從四位下天石門和氣八倉比咩神從四位上ヲ○同十六年三月十四日授ニ從四位上天石門別八倉比咩神正四位下ヲ○元慶三年六月廿三日授ニ正四位上天石門和氣八倉比咩神正四位上ヲ○精古按長寛勘文天慶三年二月一日爲ニ正三位ヲ「舊事紀」天照大神入ニ于天窟ヲ云々令ニ手力雄神ヲ云々令ミ大宮賣神侍ニ於御前ヲ如ト今世內侍善レ言美レ詞和ニ君臣間ヲ令中震襟悅懌上焉△矢野村ニアリ「當國神社帳」名東郡佐那河內村天磐戸別神社○信

天椅立神社

○今三好郡晝間村ニアリ

天都賀佐毘古神社

「古事記」倭建命之御子等建見兒玉者宮首之別等之祖「三實」貞觀十二年七月十九日己巳阿波國三好郡少領社直淨宗等賜ニ姓佐伯直一○淡路國津名郡築狹神社

八十子神社

△八千矛歟○宣長云前後ノ神社ヲ合セテ思フニ伊邪那伎大神ノ多クノ御子ヲ申スナラン

彌都波能賣神社

○美馬郡名因有ニ彌都波能賣神社一稱レ之乎美ハ美豆之略馬與レ賣通

波爾移麻比禰神社

○宣長云彌ヲ禰ト誤「秘釋」比禰作レ稱非

倭大國玉神大國敷神二座

○大和國城上郡大神大物主神社（神代紀）上大物主神亦大國玉神對馬國敷島神社△池田村ニアリ（文德實錄）ニ池ヲ造ラシ、事アリ其池今ナホ存ス○淡路國ニ大和大國魂神社アリ

麻殖郡八座 大一座 小七座

忌部神社 名神大月次新嘗或號ニ麻殖神一或號ニ天日ノ鷲神一

「續後紀」嘉祥二年四月乙酉奉レ授ニ阿波國天鷲神從五位下一○貞觀元年正月廿七日忌部天日鷲神從五位上○元慶二年四月十四日阿波國從五位上天日鷲神正五位下○同七年十二月廿八日正五位上天日鷲神從四位下「舊事紀」復令下粟忌部祖天日鷲神造中木綿上「古語拾遺」令下天日鷲神以津咋見神穀木種殖レ之以作中白和幣上是木綿也「姓氏」高魂命天日鷲翔天命又天毘和知可氣流夜命云々○按太玉命之子姪乎（古語拾遺）大玉命所レ率神名曰ニ天日鷲命一注阿波國忌部祖也　又云天富命率ニ天日鷲命之孫一求ニ肥饒之地一遣ニ阿波國一殖中穀麻種一其裔今在ニ波國一嘗大嘗會

○土佐國豐岡上天神社△今岡宮村ト云岡上神社ト云○信友云(當國神社帳)ニ板野郡大寺村ニアリ

阿波郡二座 並小

建布都神社

△赤野田村吾田ノ轉語カト云(神功紀)可レ證[當國神社帳]郡村ニアリ

事代主神社

[神功紀]於二尾田吾田節之淡郡一所レ居之有也問亦有耶答曰於レ天事代於レ虛事代玉籤入彥嚴之事代神有之也△伊月村事代大明神ト云[當國神社帳]板野郡下庄村琴代社トアリ

美馬郡十二座

[三實]貞觀二年三月二日割二河内國美馬郡一置二三好郡一○並小依レ例可レ補

鴨神社

[舊事紀]事代主神孫鴨王[當國神社帳]阿波郡中野村ニ加茂別雷皇大神宮アリ又同郡加茂村ニ加茂神社又同郡鴨宮村加茂大明神アリ

田寸神社

[古事記]田寸津比賣命者坐二胸形之邊津宮一○信友云契沖本久老本共ニ田村トアリ[當國神社帳]阿波郡加茂村田寸神社アリ○精古云今本田寸訓多和因按(舊事紀)六建午和爾命身人部連祖云々是饒速毘命六世孫也

横田神社

[當國神社帳]阿波郡加茂村ニ横田神社アリ

伊射奈美神社

[三實]貞觀十一年三月十二日授二阿波國正六位上伊射奈美神從五位下一

建神社

○土佐國安藝郡多氣神社[姓氏]建部公日本尊之後也[舊事紀]日本武尊子息長舊別命阿波君等祖

神名帳考證　五十五

延喜式卷第十之卅四　南海道第三

阿波國五十座

○信友云當國神社多ク神名ヲモテ稱ス

大三座

小四十七座

板野郡四座大一座小三座

[續紀]延暦二年十二月甲辰阿波國正六位上粟凡直豐穗任ニ國造ニ[三實]貞觀四年九月廿三日己丑阿波國板野郡人外從五位下行明法博士粟凡直鱒麻呂中宮舍人少初位下粟凡直貞宗等同族男女十二人賜ニ姓粟宿禰ー

大麻比古神社名神大

○今坂東村アキ田村○石見那加郡大麻山神社○篤云國人ハミナ猿田毘古神ナリト云フトゾ○信友云

[永萬記]大鹿社トアルハ大麻比古神社歟サラバ麻ハ鹿ノ誤[三實]貞觀元年正月廿七日阿波國從五位下大麻比古神從五位上○同九年四月廿三日大麻比古授ニ正五位上ニ○元慶二年四月十四日正五位上大麻比古神從四位下○勝浦郡阿佐多知比古神社伊豆國田方郡大朝神社

鹿江比賣神社

[三實]元慶七年九月五日授ニ阿波國從五位下鹿江比賣神從五位上ニ[古事記]大年神娶ニ香用比賣ニ云々又云鹿屋野比賣神同八河比賣△今長井明神ト云坂東村(古)應神皇妃ニ宮主矢河技比賣ト云名アリ

○信友云此阿波國ノ部ニ△印セシハ本書ニハ朱ニテ書入セシヲシバラク此印モテ分ツノミサテソノ筆書ノサマ久老神主ト見エタリ

宇志比古神社

○百濟宇志(舊)十五世物部大連公[姓氏]蕃別鹽君孫宇志△牛ノ宮ト云坂東村

岡上神社

由良湊神社（ユラノミナトノ）

[儀式]大嘗會淡路國云々當國凡直氏一人著ニ木綿縵ニ執ニ賢木ニ引導○隱岐國知夫郡由良比女神社无名和多須神

志筑神社（シツクノ）

[垂仁紀]出石刀子筑至ニ于淡路島ニ其島人立レ祠[釋紀]淡路國例式曰元日國內諸神奉レ幣（毎月朔准レ此）正六位上出石社○按志筑出石言相通[和鈔]志筑（之都奈）

岸河神社（キシカハノ）

河上神社（カハカミノ）

[姓氏]川上首大明命之後也

三原郡四座（大一座 小三座）

笑原神社（ヤハラノ）

○精古云今現ニ此郡ニ野原村ト云アリ讚岐國香川郡笑原（乃波艮）

湊口神社（ミナトクチノ）

[三實]貞觀元年十二月十四日淡路國正六位上湊口神從五位下○元慶八年九月廿一日授ニ從五位下湊口神從五位上ニ

大和國魂神社（名神大）（大 臨時祭式 三實）

[文實]仁壽二年十二月壬寅詔以ニ淡路國大倭大國魂神ニ列ニ於官社ニ○阿波國倭大國玉神大國敷神社二座

久度神社（クドノ）

[三實]貞觀六年二月五日淡路國久度神從五位下元慶八年九月廿一日從五位下久度神從五位上○今在ニ國衙村中久度村ニ

延喜式卷第十之卅三　南海道第二

淡路國十三座

大二座

小十一座

津名郡九座 大一座 小八座

淡路伊佐奈伎神社 名神大

[三實]貞觀元年正月廿七日奉レ授淡ニ路國无位勳八等伊佐奈岐命一品ニ[舊事紀]伊弉諸尊功既至云々是以搆ニ幽宮於淡路之洲ニ寂然長隱亦坐ニ淡海之多賀ニ者[履中紀]五年秋九月乙酉朔壬酉天皇狩ニ于淡路嶋ニ是日河内飼部等從駕執レ轡先レ是飼部黥皆未レ差時居レ島伊弉諸神託レ祝曰不レ堪ニ血臭ニ矣因以卜レ之北惡ニ飼部等黥之氣ニ故自レ是後頓絕以不レ黥飼部而止レ之○在ニ郡家村ニ二宮ニ也[永萬記]一宮二宮[大同類聚方拔萃]淡路藥ノ下ニ私注云此方傳ニ于淡路國津名神社ニ云々按津名者伊弉諸尊之宮趾也云々津名神司中臣好根之傳文載レ之[同]卅二丁 卅九丁 民支藥淡路國津名神社○○○六津奈之覽○○所レ傳也云々[同拔萃]伊母藥私云淡路多賀社祝等所傳云々信友云淡海ノ多賀ト同名由アリ

伊勢久留麻神社

○伊勢國奄藝郡久留麻神社[和鈔]津名郡來馬 久留萬

[雄略紀]呉所レ獻是伊勢衣縫之先也○今在ニ久留麻村南田中ニ號ニ伊勢森ニ

石屋神社

○今在ニ石屋村ニ稱ニ天地明神ニ二社相並亦海邊石窟中有ニ小祉ニ[永萬記]石屋社

築狹神社

[古事記]倭建命御子建見兒王者官首之祖阿波國天都加佐毗古神社

賀茂神社

[和鈔]加毛

中神從五位上ニ「國帳」従四位上府中神「紀志」府中庄府中村ノ東ニアリ白鳥宮トモ云又聖天宮トモ云又云舊地ハ今ノ八幡村八幡宮ノ社地也トモ云

浦上國津姫神

「三實」仁和元年十二月廿九日紀伊國正六位上浦上國津姫神從五位下〔略〕「國帳」那加郡従五位上浦上國津姫大神

○春村云或云今在ニ神領村一

黒前

「永萬記」

〔補〕丹生明神

「粉河寺縁起」十七段我ハ是粉河寺の鎮守丹生明神なり云々

○春村案ニ粉河寺ハ那加郡風市村ニアリト同書ニミエタリ

玉津島明神

「長明文字鎖」上さゝかにの糸條住よしの社は四社おはします一社は衣通姫也又玉津島と申も衣通姫也むかしかの所をめでおはしける故にあとをたれ給へるとなん申侍き

高野御子神

○伊都郡丹生津比女神社條下ニ見又左一大野社四社ノ内ナリ

「なきのはにみかける露のはや玉をむすふの宮やひかりそふらむ」トヨメル是ナリ書紀通鑑ニ速玉神トヒトツニシタルハ非ナリ

○[盛衰記]四十 山王院大師熊野權現ノ在所ヲ尋テ參詣シタマフ云々東西ヲ失フ八尺ノ靈烏飛來テ木枝ヲ含折其路ヲ示ス云々信友按烏ヲ熊野大神ノ使ト云フ事古キ事ト見エタリ但シ右ノ靈烏ハ八咫烏ノ故事ヲ以テ僞レルナラン

海(アマノ)神社三座

○底海神社○在ニ本宮庄本宮村東八丁七越峯東六七丁山腰ニ[紀志]同上

天手力男(アメタチカラヲノ)神社

[文實]齋衡二年七月壬申以ニ紀伊國天手力男神ー預ニ於官社ー

式外舊社

御船神

[三實]貞觀三年七月二日紀伊國正六位上御船神從五位下補[國帳]那加郡正一位御船大神

○春村按ニ式云今山崎庄赤垣内村市姫大明神末社ニ船度大明神アリ是カ

三前神

[三實]貞觀十七年十月十日紀伊國正六位上三前神從五位下補[國帳]日高郡正三位御崎大神

○春村云或云在ニ日比御崎ー

大位(佐カ)神

[三實]貞觀十七年十二月廿七日紀伊國正六位上大位神從五位下

玉出島神

[三實]元慶五年十月廿二日紀伊國正六位上玉出島神從五位下補[紀略]延喜六年二月七日授ニ玉出島明神從五位上ニ[國帳]海部郡從四位上玉出島大神

府中神

[三實]貞觀十七年冬十月奉レ授ニ紀伊國從五位下府

也云々［廬主］増基熊野詣ノ記也云々神無月の十日ばかり熊野
へまうでけるに云々京より出る云々御山につくほ
どに木のもとごとに手向の神おほかれば云々それ
より三日といふ日十月十八日ニアタレリ御山につきぬ熊野ナリこゝ
かしこめぐりて見ればあんしちども二三百ばかり
おのがおもひ〳〵にしたるさまもいとをかし云々
さてかねうてば御堂へまゐりぬかしら引つゝみて
みのうちきつゝこゝかしこに數しらずまうであつ
まりてれいしはてゝまかり出るに云々かくてさぶ
らふほどに霜月の御八講になりぬそのありさまつ
ねならずあはれにたふとし云々たゞの山のたきの
もとにて云々この濱の人はなのいはやのもとまで
つきぬ見ればやがて岩屋の山なる中をうがちて經
をこめ奉りたるなりけり云々そとばのこけにうつ
もれたるなどありかたはらにわうじのいはやとい
ふありたゞ松のかぎりある山也云々むげに神の山
とみゆナルアリハヤク寛平アタリヨリ御社モカヽルサマニテオハシケリアナユヽシ〳〵作者増基ノ時代ナチ考ベシ
また四十九院のいはやのもとにいたる云々たてが
崎といふ處ありかみのたゝかひしたる處とてたて
をついたるようなるいはほどもあり云々トアリ四十九院ノいは
やモマガ〳〵シキ名所也たてが崎ハヨシアリゲナリ信友［紀志］熊野郡那智山權現宮
飛瀧權現又曰ニ瀧宮一新宮號ニ金開山金開寺一云々
在ニ那智山東北ロ四里半一○式本宮新宮ヲノセテ那
智ヲノセズ又本宮新宮ニ禰宜祝部アリテ那智ハ沙
門優婆塞ノミアリ［書紀通證］三兼良曰（神名帳）紀
伊國牟婁郡熊野早玉神社今熊野權現是也今按（式）
同郡有ニ熊野坐神社一而出雲國意宇郡亦熊野坐神社
速玉神社並存レ之以ニ出雲一例レ之熊野坐神社蓋伊弉
冊尊也一說熊野坐神社卽今ノ本宮熊野早玉神社卽
今ノ新宮（夫木集）云「名木乃葉爾磨計留露乃早玉乎
結布乃宮也光添良牟」此以レ有ニ早玉宮結宮之稱一也
又（熊野垂跡記）（神名帳頭注）等謂本宮則景行天皇
御宇所レ創而那智新宮則後代祭レ之然則稱ニ之三所一
者出ニ於後世一而其所レ祭皆同但本宮主ニ菊理媛一新
宮主ニ速玉男一那智主ニ事解男一是社傳也補［國帳］
牟婁郡　天神　三社　正一位家都御子大神　正一位熊
野夫須美大神　正一位御子遠玉大神
○春村按ニ夫須美ハムスビト讀ベシ夫字ヲムノ
假字ニツカヒタル古書ニ多シカツ（夫木集）雜十
六神祇弘安百首歌むすぶの宮本國　撿挍法親王ノ歌ニ

「三實」貞觀元年正月廿七日從五位下熊野早玉神從五位上○同年五月廿八日從五位上熊野早玉神從二位○同五年三月二日紀伊國從二位熊野早玉神授二正二位一○精古按長寬二年四月廿四日助敎頼業之勘文云天慶三年二月一日爲二正一位一宜レ考二彼勘文一〔補〕「紀略」延喜七年十月二日授二紀伊國正二位熊野早玉神從一位一○「書紀」神代紀上伊弉諾尊追二至伊弉冊尊所レ在處一便語之云々乃所レ唾之神號曰二速玉之男一「夫木」撿挍法親王「なきの葉にみかける露のはや玉をむすふの宮やひかりそふらん」新宮「紀志」熊野村新宮庄ニ上新宮村中新宮村下新宮村アリ今新宮村ト云フモ元ハ熊野村ノ内ナレドモ新宮大神鎭坐以後所ノ名トセルカ諸書ニ熊野村ト云ヘルハ此處ナルベシ據テ牟婁一郡ヲ熊野ト云ヘルハ新宮熊野村ニ因テ云フトミエタリ又有馬村ハ木之本庄木之本村ノ南廿町許ニアリ村ノ中奥ニ有馬ト云フ處ノ西邊ニ產田神社アリ伊弉冊尊ヲ葬タル處ト云ヘリ或曰花窟ニ葬ルト云ヘリイ本ニ花窟ハ世俗大般若窟ト云フト云ヘリコノ窟ハ在二有馬庄有馬村東北一岩高廿六丈有二石表一高一丈三尺自二岩窟一西北一丁山上有レ名二燈籠峯一每年正五九月僧讀經而祭焉○又云熊野本宮府城ノ東卅三里那智山ノ西北七里許ニアリ「長寬勘文」紀伊國牟婁郡熊野早玉神社伊弉諾尊子 熊野坐神社伊弉冊尊

熊野坐神社 名神大

「臨時祭式」名神祭ニ不レ載「三實」貞觀元年正月廿七日從五位下熊野坐神從五位上○同年五月廿八日從五位上熊野坐神從二位○堀河天皇寛治四年二月日以二紀伊國二ヶ郡田畠百餘丁一寄二奉熊野山一〔補〕「紀略」延喜七年十月二日授二紀伊國從二位熊野坐神正二位一○「國造本紀」熊野國造志賀高穴穗朝御世饒速日命五世孫大阿斗足尼定二賜國造一「新古今」「咲にほふ花のけしきをみるからに神の心をそらにしる哉」本宮「江談抄」一熊野三所本緣事又問云熊野三所本緣如何被レ答云熊野三所ハ伊勢太神宮御身云々本宮幷新宮ハ太神宮也那智ハ荒祭又太神宮ハ救世觀音御變身云々此事民部卿俊明所レ被レ談也云々マタ源頼國熊野詣事又被レ談云源頼國者高名逸物也而服者仁天參二詣熊野三所一還向之時能々物凶

[續後紀]承和十一年十一月己酉朔辛亥奉レ授二紀伊國從五位下志摩神正五位下一[文實]嘉祥三年十月乙丑紀伊國志摩神加二從四位下一○貞觀元年正月廿七日甲申奉レ授二紀伊國從四位下志摩神正四位上一○十七年十月十七日丙寅紀伊國正四位上志摩神授二從三位一○在二中島村一[和鈔]名草郡島神戸

靜火神社 名神大

[續後紀]承和十一年十一月己酉朔辛亥奉レ授二紀伊國從五位下靜火神正五位下一[文實]嘉祥三年十月乙丑紀伊國靜火神加二從四位下一○貞觀元年正月廿七日甲申奉レ授二紀伊國從四位下靜火神正四位上一○同十七年十月十七日丙寅紀伊國正四位上靜火神從三位○在二宮鄉和田村北二丁許一[紀志]同

堅眞神社 眞音イ

[三實]貞觀元年五月廿六日辛巳紀伊國正六位上堅眞音神從五位上○同七年五月十七日丁酉詔以二紀伊國從五位上堅眞音神一列二於官社一○同八年閏三月十三日戊午紀伊國從五位上堅眞神從四位下[國帳]有眞音大神[和鈔]有馬鄉[書紀]神代紀有馬村可レ考○今鳴雷村與栗柄之交有二遺跡一

在田郡一座 大

[帝王編年]大同元年七月改二紀伊國安偉郡一爲二在田郡一以二詞涉一天皇諱也

須佐神社 名神大 月次新嘗

[三實]貞觀元年正月廿七日從五位下須佐神從五位上○在二保田庄千田村南中山半腹一[國帳]從一位須佐大神[和鈔]在田郡須佐

頭注 明惠上人傳記上 右十七 紀州保田左中ニ須佐明神ノ使者ト云者ノ夢中ニ來テ住處ノ不淨ヲ歎キ又一尊ノ法傳授ノ志甚深之由ヲ被レ述雖レ然無沙汰ニテ心中計ニ存セラレテ日ヲ送ラレケル程ニ或時人ニ託シテ此趣ヲ託宣アリ先ノ夢ニ不レ異不思議ニ思合セラレケリ

牟婁郡六座 大二座 小四座

熊野早玉神社 大

都合二百石此度紀州領ニ渡リ申候右神社當公方樣氏守神之由ニ御坐候心事期拜顏候以上十一月十四日中村勝左衞門　右狀享保十四年十一月十五日披見則今年也［紀志］國主神社府城南岡山麓ニアリ○イ本ニ國主(クニス)神社ハ土人岡宮大明神ト稱ス元祿年中ヨリ刺田比古神社ト稱ス勘文云紀州名草郡刺田比古神社者云々岡村刺田比古神物箱也字々炳然又自二往古一有二岡神社之黒箱者一蓋古老之所二口傳一也然則此國主大明神者爲二刺田比古神社一也果而符合也云々元祿己卯中春神祇道管領卜部朝臣兼敬

麻爲(マヰ)比賣神社

○和佐高山ノ上ニアリ

竈山(カマヤマノ)神社

［諸陵式］竈山墓彥五瀨命在二紀伊國名草郡一地域東西一丁南北二丁守戶三烟○今在二宮鄕和田村西南三町許一○紀三井寺東北□里許ノ山腹ニアリ［紀志］同

高積比古(タカツミヒコノ)神社

○天道根命六世孫若積命之後也［國造本紀］以二天道根命一爲二紀伊國造一也○若積者高積也高與レ若通在二和佐左高山上一

高積比賣(タカツミヒメノ)神社

○在所同上［紀志］高三所神社ハ和佐山ノ絕頂ニアリ（本國神名帳）ニ從四位上高積比古神從四位上高積比賣神又氣鎭神社ハ和佐庄禰宜村ノ東北三丁許ニアリ或說山上ナルハ高積比古山下ノ氣鎭神ハ高積比賣也ト云ヘリ

伊達(イタチノ)神社 名神大

［和鈔］名草郡伊太［紀志］園部村和名鈔苑部鄕ノ東ニ園部神社トテアリコレナリ［續後紀］承和十一年十一月己酉朔辛亥奉レ授二紀伊國從五位下伊達神正五位下一［文實］嘉祥三年十月乙丑紀伊國伊達神加二從四位下一○貞觀元年正月廿七日甲申奉レ授二紀伊國從四位下伊達神正四位上一○十七年十月十七日丙寅紀伊國正四位上伊達神授二從三位一

志摩(シマノ)神社 名神大

友云(令集解)　紀伊國云々鳴神トアリマタ(本國帳)ニ正一位鳴大明神トアルニヨリテナルノ神ト稱スベシ

香都知神社

○在二忌部鳴雷村田中一[紀志]中ノ郷鳴神村ノ東北二丁許ニアリ今社ナシ碑アリ(國帳)從四位上香都知神

加太神社

○今在二忌部郡加太村一[和鈔]海部郡加太郷[紀志]加太村ノ西南邊ニアリ今海部郡ニアリ社家者云粟島神社往古友ガ島ノ中小島手ト云フ處ニ鎮座ノ由參詣ノ便惡キユヱニ中古今ノ處ニウツストイヘリ

補[國帳]海部郡從四位上粟島大神

伊久比賣神社

[紀志]市小路村ニアリ(本國帳)從四位上

朝椋神社

椋イ

○在二宇治村一今號二鷺森大國玉神一　近世當社之棟札見出之處有二親王森一舊名言二傳親王森一也[和鈔]旦來アサコ[紀志]鷺森神社府城ノ北ニアリ本社國主大明神也所レ謂朝椋神社也トイヘリ國主或ハ國津ト書九頭ト書ハ非ナリ

刺田比古神社

[姓氏]榎本連道臣命十世孫佐氏彥之後也[續紀]天平神護元年十月己卯前名草郡少領榎本連千島獻二稻二萬束一又云神護景雲三年十一月己丑陸奧國牡鹿郡俘囚外正初位上勳七等大伴部押人等言傳聞押人等本是紀伊國名草郡片岡里人也昔者先祖大伴部直征夷之時到二小田郡島田村一而居焉云々又云神龜二年十月壬寅名草郡少領正八位下大伴櫟津連子人[三實]貞觀六年八月十三日節婦紀伊國名草郡人伴連宅子○今號二岡明神一元祿九年探二殿內一得二箱蓋一銘云名草郡岡村刺田比古大明神御書物箱○紀州海士郡若山町ノ端ニテ刺田比古神社ヘ同郡田尻村ニテ高二百石從二公儀一御寄附被レ爲レ遊候仍レ之右爲二替地一度會郡野依村ニテ七十石柏村ニテ百二十石餘

リ其内和銅ハ紛失ス延元ノ奉書ニ當國一宮伊太祁曾ト書リ」トアリ信友按五十猛襲ニテ五十猛神ニヤソハ熊襲ナドノ曾ナルベシオソヒハゲシキノ義ナリ〇イタケリ、オホヤ、ツマツ、三社ノ事通考スベシ

大屋都比賣神社（オホヤツヒメノ） 名神大月次新嘗

「文實」嘉祥三年十月乙巳朔壬子紀伊國大屋津姫神從五位下〇今按此引文誤歟「三實」貞觀元年正月廿七日從五位下大屋都比賣神從四位下「和鈔」名草郡大屋「紀志」平田庄宇田ノ森村ノ東北一町バカリニ大屋大明神アリ「本國神名帳」從一位大屋大神〇延經云在ニ吉禮村一

都麻都比賣神社（ツマツヒメノ） 名神大月次新嘗

「文實」嘉祥三年十月乙巳朔壬子紀伊國都麻都比賣神從四位下「三實」貞觀元年正月廿七日從五位下都麻都比賣神從四位下〇今在ニ吉禮村ニ「紀志」山東庄吉禮村ノ中ニアリ國帳從一位上都麻都比賣大神マタ妻之御前社ハ山東庄平尾村ノ中ニアリ土人相傳言此神イタケソノ神ノ妻也依テ神事等伊太祁曾社ノ社人勤ムトイヘリ或云抓津姫ト云フハ此社也吉禮村ナルハ據ナシト云ヘリ

鳴神社（ナルカミノ） 名神大月次相嘗新嘗

「文實」嘉祥三年十月乙巳朔壬子紀伊國鳴神從四位下「三實」貞觀元年正月廿七日從五位下鳴神從四位下「永享大嘗會記」兵庫寮神楯桙立之件楯桙紀州鳴神社氏人等相ニ論之一經ニ御沙汰之後一被與ニ氏人一相合楯一帖充造進云々〇鳴神社ハ日前宮ノ東五町許秋月村ノ東口ニアリ荒廢シテ社モ無リシヲ享保十八年領主ヨリ之ヲ造營ス田趾ニ隨テ二社ヲタツ社南面七尺許瑞垣門アリ鰹木東ハ外ソギ西ハ内ソギ也社人武川主馬ト云社域ノ内面ノ方ニ舊館アリ神名シレズ按雷神社ナルベシ其社ヨリ南六丁許ニ小山アリ忌部山ト云山下ニ小村アリ忌部村ト號ス社ハ絕タリ是即手置帆負彥狹知所居ナル事終ニナシ其日杉原平馬同道ス杉原氏モ是ニ決セリトシテ近日領主ヨリ沙汰アルベシト云ヘリ「紀志」中ノ鄉鳴神村ノ東邊ニアリ(國帳)正一位鳴大明神〇信

紀後文朝臣「名草山とるや榊のつきもせす神わさしけきひのくまの宮」「通證」今俗稱二比左幾一○清在云享保十九年八月五日余此社ニ詣ル二宮同域ニ在テ共ニ南面也東天掛西國掛也二宮共ニ正面ノ扉ノ西ニ三尺許ノ窓アリ中ヨリ戸ハ閉タリ且二宮共ニ北ニモ扉アリ吾御饌殿ノ制ニ似タリ或ハ如レ此窓アリ後戸アル外國宗廟也ト日前宮ノ祀官紀右京大夫ト云國邊與社域ノ內北方ニ宅アリ○正身按神宮方ノ書ニ渡邊氏ノ事ヲ擧テ其末ニ此根元大ハタ主命ハ河內國澁河ノ明神ト申コレ也暮前國縣ノ禰宜トナル紀國造ト云人是也トアリ不レ知二何謂一「和鈔」名草郡國掛島神戶「紀志」宮ノ鄕秋月村ノ西北半丁許ニアリ代々紀氏國造ニテ社務ヲ兼タリ天道根命ノ裔也社ヲ檜隈宮トモ名草宮トモ云フ「三實」貞觀元年七月十四日丁卯遣二使諸社一奉二幣帛神寶一云云散位從五位下紀朝臣宗守爲二日前國掛兩社使一

頭注「中右記」寬治五年十二月七日今日上卿參陣擇申日前國掛社遷宮日時

國懸神社 名神大月次相嘗新嘗

「書紀」天武紀 朱鳥元年七月癸卯奉二幣於居二紀伊國一國懸神上○在二日前社同地一○日前ノ注ト參考スベシ（令義解）ニ國掛須トカケリ

伊太祁曾神社 名神大月次相嘗新嘗

「文實」嘉祥三年十月乙巳朔壬子紀伊國伊太祁曾神從五位下「三實」貞觀元年正月廿七日從五位下伊太祁曾神從四位下○元慶七年十二月廿八日伊太祁曾神從四位上補「紀略」延喜六年二月七日授二紀伊國伊太祁曾明神正六位上一六恐四訛○「書紀」神代紀素戔烏尊之子號曰二五十猛命妹大屋津姬命次抓津姬命一凡此三神亦能分二布木種一卽奉レ渡二於紀伊國一也○又云稱二五十猛命一爲二有レ功之神一卽紀伊國所坐大神是也「續紀」大寶二年二月戊戌朔己未歌斐國獻二梓弓五百張一以充二太宰府一是日分二遷伊太祁曾大屋都比賣都麻都比賣三神社一○山東庄伊太祁曾村西北一里許○精古云或說曾恐魯誤字也當レ訓二伊太祁魯一又云名草杵曾蓋伊太杵曾之略稱也「當國神名帳」正一位勳八等伊太祁曾太神「紀志」東庄伊太祁曾村ノ西北一里許ニアリ和銅正平承久明應年中ノ綸旨ア

那賀郡三座並小

「三實」二四十那賀郡人菅原朝臣永津

荒田神社二座

○荒田神前神二坐歟「續紀」廿八紀伊國那賀郡大領日置毘登弟弓○按荒田直日奉連共出レ自二高魂命一日置日奉同「本國神名帳」從四位上荒田神從四位上前神云々「古事記」品陀和氣命治二天下一也此天皇娶二品陀眞若王之女中比女命之御子木之荒田郎女一云云○在二廣田庄森村一「紀志」同上古ハ本社モ多ク記錄モ多カリシカド根來亂ニ燒失ス○精古按(和名)那賀郡荒川蓋訓レ津歟田與レ津通音也「和鈔」荒川

海神社

「丹生津姫記」正應六年衆徒奏狀偁當社者乾道七世之胤子爲二八荒鎭將之武神一是以地神第三代天津彥火々瓊々杵尊始祜二丹生廊祠一兮稱二常世宮一人皇十六代應神天皇殊崇二靈威一兮定二山地境一在二池田庄神領村二「紀志」神領村ノ西北松林中ニアリ

名草郡十九座大九座小十座

日前神社名神大月次相嘗新嘗

「書紀」上神代紀天照大神入二于天石窟一云々宜レ圖二造彼神之象一而奉二招禱一也故卽以二石凝姥一爲二治工一云々奉造之神是卽紀伊國日前神也「令義解」日前神「百錬抄」承久元年五月十四日戊申有二軒廊御卜一日前國掛兩社司申云々四月十六日國掛宮御戶不慮外令開御事「大倭本紀」釋紀所引天皇之始天降之時共副二護齋鏡三面子鈴一合一也注曰一鏡者天照大神之御靈名天掛神一鏡者天照大神之前御靈名國掛大神今紀伊國名草宮崇敬解祭大神也「野府記」鏡三面申二伊勢太神一紀伊國日前國掛「紀伊國造傳」七十一代後鏡ノ說也ト通證ニイヘリ日前宮天照大神也國掛宮日矛也○大宮司主典成胤按舊事紀令レ鑄二造日矛一此鏡少不レ如レ意云々上謂二日矛一下謂二此鏡一則知二日矛鏡名一世今梓端造レ鏡爲二日矛圖一者後人之作也明矣日矛爲レ鏡則國掛御體(紀伊國造傳)與二(大倭本紀)(野府記)一符合「百錬抄」長寬元年正月廿八日紀伊國日前國掛社燒亡於二御正體一者奉レ出事○日前訓比乃久麻「風雅集」

代紀)下一書丹舄姫恐是也 備後國ニ爾都賣神社アリ[紀志]天野神社一ノ之宮丹生津姫神二ノ之宮高野大明神三之宮蟻通大明神四ノ宮嚴島大明神(百錬抄)壽永二年十月九日紀伊國丹生高野神奉レ加ニ一階ニ 右天野村ノ中ニアリ○高野山古文書一通附考一卅五左ニ載ス○山家集待賢門院中納言局小倉を捨て天野に住ける頃師局尋きたる事あり 補○有王丸天野別所居住事記盛衰[紀伊國名所圖繪]三編四三十七左云天野 此地は山巒環合して別に一區をなし上下二村にわかれ四所明神の坐すを以て舊跡等も多し八丁坂より下り明神へ詣し二つ鳥居へいづる道あり 一宮正一位勳八等丹生津比賣大神 一の祝惣神主丹生一麻呂當社の神事を司る (延喜式)云丹生都比女(三代實錄)云丹生津比賣(山史)云寛平九年丁巳冬十二月鎭守大明神被レ授ニ從三位ニ(淳方勘狀)云天曆六年五月奉レ增ニ一階ニ又云承曆五年二月又奉レ增ニ一階ニ又云永治元年七月奉レ增ニ一階ニ(百錬抄)云丹生津比賣(寶簡集)云壽永二年十月十六日勅正二位丹生明神今奉レ授ニ從一位ニ ○春村按此事杜史抄ニモミユ首卷諸神增階ノ條ニモ載ス○又壽永二年玉海云紀伊國丹生高野社等各加ニ一階ニ云々 二宮正一位丹生高野御子大神 二の祝子丹生相見某當社の神事を勤む 三宮氣比大神 三の祝子丹羽某當社の御事を勤む 四宮嚴島大神 四の祝子松島某當社の神事を勤む[又]卅二左云二宮高野御子大神ハ 御子は彥と通ず天若彥を天若御子といふが如し此神高野彥にして往昔此地の領主なりしならん 天野祝ノ遠祖ニシテ丹生津比賣大神イマダ此地ニ鎭坐シタマハザリシ以前ハ天野ノ祝專此神ニ奉仕セシニゾアラン故ニ滿山ノ衆僧苟モ此神ヲ崇敬セザル時ハ大ニ祟リヲナストイフ 中略 (出觀集)秋のはじめ天野のやしろにまうで給へりけるに月のあかくて風のはげしかりければ覺性法親王「さもしなき月のひかりもあるものを何かあらしの秋といふらん」これを人の語りけるを聞て奉りける行宴法師「雲はしによはのあらしのあれはこそ秋ゆく月の影も見ゆらめ」○神職惣神主丹生一麻呂 家は社地の坤にあり又別器とて自器に非れば飲食せず旅行にも家僕に器を負するな例とす 小竹祝と合葬の事川北小竹宮の條下に見ゆ 神代より子孫連綿として希代の舊家なり當家は高野明神の末裔にして紀國造豐耳命を以て中興の祖とす豐耳命は高野魂命 五世孫天ノ道根命の末裔なれば國 造家と親姻篤しとなん山上山下の鎭守遷宮の時すべて當家より執行す家に古文の祝詞古系譜等を藏む其文の古雅天下に類するもの多からず又古文書數百編を藏す 有王丸云々以下至レ此春村所レ補

延喜式卷第十之廿二　南海道第一

南海道神一百六十三座

大廿九座 十座月次新嘗 就中四座相嘗

小一百卅四座

紀伊國卅一座

大十三座

小十八座

伊都郡二座 大一座 小一座

小田神社

〔舊事紀〕物部連彥連公小田連等祖〔三實〕三十伊都郡人六人部由貴繼云々○在二官者省府左小田村東北一今社跡存〔記志〕ト標シタルハ(南紀名勝志)ナリ官省府ノ小田村ノ東北ニアリ社ノ跡アリ(本國神名帳)從五位上小田神社或說ニ慈尊院村ノ丹生七社ハ小田神社ナリトモイヘリ

丹生都比女神社 名神大月次新嘗

〔三實〕貞觀元年正月廿七日從五位下勳八等丹生都比賣神從四位下○元慶七年十二月廿八日從四位下勳八等丹生姬神從四位上〔扶桑略記〕紀略同延喜六年二月七日授二紀伊國伊太祁曾明神正六位上玉出島明神從五位上高野御子神從五位下一○安德天皇壽永二年十月九日紀伊國丹生高野神奉レ加二一階一 此條(百錬抄)亦出〔玉海〕壽永二年十月十日辛丑〔本國神名帳〕天神二社正一位高野御子神正一位勳八等丹生津比咩大神〔諸神記〕寺家申狀云丹生明神者伊弉諾伊弉冊之御娘高野權現者日神天照之御甥也 中略 元曆三天下諸神一階之時可レ爲二正一位一〔書紀〕神功紀天野祝〔釋紀〕先師說云丹生都比賣者高野天野明神也○在二天野村一今二尊院〔釋紀〕十一(播磨風土記)云息長帶日女命欲レ平二新羅國一下坐之時禱二於衆神一爾時國堅大神子爾保都比賣命者國造石坂比賣命教曰好治二奉我前一者我爾出二善驗一云々平二伏新羅一已訖還上乃鎭二奉其神於紀伊國管川藤代之峯一○精古按(神

本紀」山田邑在ニ府中西二十八町許一今云ニ一宮村一
「四時祭式」住吉社長門國封租穀者令下封戸徭夫運
送上除運功之遺令進徭分用修社料但豐浦郡封戸徭
文者便留充ニ御蔭社ニ「和鈔」靈美加介又用ニ魂魄二字一
「永昌記」嘉祥二年四月廿八日甲申有政申文之內
長門一宮神司別當僧侶不レ可レ預ニ神祇官移一之由上
郷難レ之○攝津國住吉郡天水分豐浦命神社「今川貞
世道行ぶり」ノ下ニ長門國此國の一宮住吉大明神○一宮ナ
リ山田村ニアリ「永萬記」一宮　二宮

忌宮（イムミヤノ）神社

「三實」貞觀十五年十二月十五日授ニ長門國從五位
下忌宮神從五位上一「書紀」神功紀造ニ齋宮於小山田
邑一皇后選ニ吉田一入ニ齋宮一親神王○長府ニアリ仲
哀天皇トイヘリ

村屋（ムラヤノ）神社

式外舊社

鹿集神　福賀神　磨能峰神　壬生神

「文實」仁壽元年冬十月己亥朔丙午長門國鹿集福賀
磨能峰壬生等四神並授ニ從五位下一

武智石打命神　意久神　土地神

「三實」貞觀十五年十二月十五日授ニ長門國正六位
上武智石打命神意久神土地神並從五位下一

宮城神

「三實」仁和二年十一月十四日長門國從五位下宮城
神從五位上

らんとしければからす數萬とび來りて神田の稻の穗をくひぬきてみな神殿の上に賓けりふしぎの事なり本（古本作レ遠）國の神かゝる事中々おはする物なりとみゆ

鹿集福賀磨能峰壬生

[文實]仁壽元年十月丙午鹿集福賀磨能峰壬生四神並授二從五位下一

補 松崎天神　遠石八幡宮　白崎八幡宮

陰德太平記卷廿六右ニ周防州ニハ國府ノ松ガ崎天神遠石ノ八幡宮此白崎八幡宮大社ニテ渡ラセ給シ也白鷺大明神ト號シケルガ中古ヨリ白崎ト改メ稱ス

神名帳考證　五十二

延喜式卷第十之卅一　山陽道第八

長門國五座

大三座

小二座

豐浦郡（トヨラノ）五座（大三座 小二座）

住吉坐荒御魂（アラミタマノ）神社三座（並名神大）

[三實]貞觀元年正月廿七日長門國從五位下住吉荒魂神正四位上（疑從五位上乎）○同十七年十月八日授二從五位上住吉荒魂神從四位上一○仁和二年十一月十四日授二從四位上住吉神正四位下一[書紀]神功紀表筒男中筒男底筒男三神誨二皇后一曰我荒魂令レ祭二於穴門山田邑一也啓時穴門直之祖踐立津守連之祖田裳見宿禰啓二皇后一曰神欲レ居之地必宜レ奉レ定則以二踐立一爲下祭二荒魂一之主上仍祠立二於穴門山田邑一[八幡

神社考」出雲神社下ニ記ス

津濃(ツノ)郡一座 小

二保(フタマタノ)神社

「文實」天安二年三月甲戌在二周防國一二保神預二官社一「三實」貞觀九年八月十六日周防國二保神正五位下

式外舊社

赤田神

「三實」元慶二年六月廿三日周防國正六位上赤田神授二從五位下一

二宮

「永萬記」

法王宮

「二十二社註式奥入」周防國大島郡島末庄內法王宮事　天平神護二年十月太政大臣道鏡禪師授二法王位一中略寶龜元年八月癸巳高野天皇崩二于西宮寢殿一庚戌皇太子令旨如レ聞道鏡法師竊挾二舐糠之心一爲レ日久矣云々故任二造下野國藥師寺別當一發遣宜レ知レ之云々三年四月下野國言造藥師寺別當道鏡死云云如二注文一者當宮弓削法皇垂跡之由有二故老之說一ト云ヘリ云々中略若其怨靈現二于神一歟然則神明者靈智无方隱顯叵レ測於二彼下野國一隱二其身于此一周防國顯二其名一已相二叶隱顯之之義一乎但防州之鎭坐所見未レ詳若惡二左遷處一影二向于當國一者歟文永六年八月廿八日ノ雜事問答法王事(續日本紀)文等委抄二出之一見二問答一注文云額正三位ト云ヘリ務大明神垂跡年紀不レ知レ之又遷宮以下事祠官不二存知一云々此社其靈威揭焉當庄前海如二往來船一俄漂蕩倂此神之所爲也ト云々以二金久砂利一奉レ繫二縛之一後无二此事一云々

補春村按ニしまの明神と著聞集に見えたるは此神社なるべしそは卷一十四右に云く基隆朝臣周防國をしりけるころ保安三年十月にかたりけるは彼國にしま古本作レ島の明神とておはします神主牢籠の事有て論じけるもの有とて神田をかりとらんとしければ寶前蛇三百ばかり出たる其內につのある二つありけりしばしありて入ぬ其後なをか

若宮八幡宮社傳云元正天皇靈龜元年建立正月六日八月十五日十一月初申日神祭アリ就レ中八月十五日ヲ第一トス當日大宮司緒目太ヲハキ（チメブトハ大口ノゴトキモノ也）社人多ク出デ幣帛ヲサヽゲ青茅ヲ輪ニシテ持出獅子舞誓能競馬ナド恒例ノ祭事也十一月初申ハ新嘗也一鳥居ノ傍ニ長キ石二ツナラビ立リ土ヲ出ル所一丈バカリ横ワヅカニ二尺バカリ也降臨石又影向石ト云又大宮司門前ノ田中ニモ神石アリ」サテ此社ノ前ニ佐波川ト云フ大川アリ府中ノ北ニ流ル此社ヨリ一里下流ニ御坂神社アリ大國主命ヲ祀ル此鳥居ノ前ニ又二ツ長石立リ」此出雲神社延享三寅三九夜囘錄神寶記錄一時ノ灰燼トナルタヾ神鏡二囘灰燼ノ中ニ在リテ損ナク明光灼然タリコレ靈實ナリケルヲ其後神像ヲ作リテ神體トシ二鏡ハ神體ニ副安置スト大宮司談レリ○鐘銘寛永八年佐波郡二宮」明應四年二宮玉祖大明神」明曆三年鳥居銘ニタヾ玉祖大明神トアリ」寛延三年再建ノ時議アリテ國君大江宗廣主上棟文ニ出雲神祠ト記サレタリ○或人云一宮玉祖神社ヨリウツリテ此出雲神社ヲ玉祖二宮ト云ナラヘルナルベシ仁壁神社ヲ三宮ト云ヒ鳥居銘應永ノ鐘銘ニ玉祖三宮トアルモ同ジ例ノウツレル也寛延三年ノ上梁文ヨリ國君正シテ出雲神祠ト記サレタルメデタシ○又大內家寄進狀ニ永正享祿天文ノ度ミナ玉祖二宮トアリ

御坂神社

[續後紀]承和六年閏正月丁亥奉レ授ニ周防國无位三坂神從五位下ニ[三實]貞觀九年三月十日三坂神授ニ從三位ニ[出雲神社考]出雲神社ノ下ニ記ス

劒神社

[三實]貞觀九年八月十六日從五位上劒神正五位下
[出雲風土記]須佐能袁命御子都留支日子命

吉敷郡一座

仁壁神社

[文實]天安二年二月甲子朔己卯在ニ周防國ニ正六位上仁壁神授ニ從五位下ニ[三實]貞觀九年三月十日仁壁神從四位下[古事記]天津日子根命額田部湯坐連○周防國造之祖○按仁與奴音通略ニ田字ニ○[出雲

神名帳考證　五十一

延喜式卷第十之卅　山陽道第七

周防國十座

熊毛郡二座並小

熊毛神社

[書紀]天武紀留守司坂上直熊毛[和鈔]熊毛久萬介

石城神社

[三實]貞觀九年八月十六日周防國正五位上石城神從四位下[國造本紀]三尾君祖石撞別命兒石城別王[書紀]雄略紀吉備上道臣女推媛生二二男一長曰二磐城皇子一少曰二星川皇子一

佐婆郡六座並小

○信友云一本及和鈔作二佐波一

玉祖神社二座

[三實]貞觀九年三月十日周防國從四位下玉祖神從三位[日本紀略]康保元年四月二日丁未授二周防國座正二位玉祖神從一位一[姓氏]玉祖宿禰高御牟須比乃命十三世孫大荒木命之後也[和鈔]佐波郡玉祖多麻乃於也○今在二大崎一俗云二玉ッ一當國一宮也[元亨釋書]十七有二周州玉祖神宮司惟高傳一[今昔物語]十七卅三今ハ昔周防國ノ一ノ宮ニ玉祖ノ大明神ト申ス神在ス其社ノ宮司ニテ玉祖ノ惟高ト云フ者アリケリ云々

出雲神社二座

[三實]貞觀九年八月十六日壬午周防國正五位上出雲神石城神比美神並授二從四位下一比美神三字印本脫[東鑑]文治三年二月周防國在廳官人土師宿禰安利同弘安同助遠同國方同弘正[東寺古文書]維元永二年己亥當國鎭守正一位出雲兩所大明神宇豆廣前ニ國司正四位下行藤原朝臣家保恐美恐毛伸レ申ニ事由一波云々トアリテ神寶ヲ奉レル文アリ零聚六ノ十六丁ウ信友[出雲神社考]長門萩藩靜間三積字幸介所著ナリ此考ナミセニカコセタル中ヨリ抄出佐波郡得地郷二宮村ニ鎭座祭神大穴牟遲命事代主命末社宇佐八幡宮

中ㇾ稱三二宮一

式外舊社

大庥天神　伊都伎島中子天神

水分天神　天社天神

[三實]貞觀元年三月廿六日授二安藝國正六位上大庥天神伊都岐島中子天神水分天神天社天神並從五位下一

天磐門別神　在屋神

[三實]貞觀五年十月廿九日安藝國正六位上天磐門別神在屋神從五位下

安藝津彥神　生石神

伊都島宗形小專神　榾櫃神

[三實]貞觀九年十月十三日授二安藝國從五位下安藝都彥神正五位下正六位上生石神從五位上正六位上伊都島宗形小專神榾櫃神並從五位下一○信友按伊都島ハ伊都伎島ノ伎脫歟

風伯神

[三實]元慶七年十二月廿八日安藝國正六位上風伯神從五位下

神名帳考證　五十

延喜式卷第十之廿九　山陽道第六

安藝國三座並小

佐伯郡二座並大

速谷(ハヤタニノ)神社名神大　月次新嘗

〔三實〕貞觀元年正月廿七日安藝國從五位上速谷神從四位下○同九年十月十三日授ニ安藝國從四位下速谷神從四位上ニ〔書紀〕神代紀速素戔烏尊又云素戔烏尊下到ニ於安藝可愛之川上ニ○今在ニ平良鄕ニ稱ニ二宮速田大明神ト○精古抄長寬ノ賴業勘文云天慶三年二月一日授ニ正四位下ニ蓋依ニ海賊誅伏之御祈ニ也〔安藝風土記〕ニ速谷神社ハ平良村ニアリ今ハ速(ハヤ)田(タ)ト稱ス（國造本紀）ニ阿岐國造ハ云々飽速玉命定ニ賜國造ニトアリ速谷速玉音近シ思フニ速谷神社ハ飽速玉命ヲ祭レルナルベシ

伊都伎島(イツキシマノ)神社名神大

〔三實〕貞觀元年正月廿七日安藝國正五位下伊都岐島神從四位下○同九年十月十三日授ニ安藝國從四位下伊都岐島神從四位上ニ〔山槐記〕天皇我詔旨止掛畏支伊都岐島大神乃廣前爾恐美恐美申給止者久申夫本朝者神國太利振古以降太聖主哲君母皆依神之冥助氏專仰國之緝熙久朕以ニ眇身ニ氏天乃日嗣乎傳給倍利夕惕之思比年序多積禮利爰太神者殊致ニ鎭護於國家ニ志廣垂ニ靈眷於民俗ニ因レ茲氏去年叡情乃中爾有ニ思食事ニ天令ニ祈請ニ給處爾御意乃任爾相叶倍利是偏神德乃所レ及奈利止其由乎報賽世志免給比兼又殊有レ所ニ思食ニ天始レ自ニ今年十一月申日ニ天每年乃二季御祭爾限ニ以永代ニ天幣帛潔妙爾調餝氏可下令ニ發遣ニ給上奈利略レ之治承三年三月廿六日伊都伎祭也○今在ニ嚴島海中ニ一宮也○附錄卷一卌右可ニ併考ニ

安藝(アキノ)郡一座大

多家(オホイヘノ)神社名神大

〔三實〕貞觀元年正月廿七日安藝國從五位下多家神從五位上○同年三月廿七日授ニ安藝國從五位上多家神從四位下ニ○土佐國安藝氣多神社○今在ニ府

大藏神　神田神

［三實］貞觀二年二月廿八日授二備後國正六位上大藏神神田神並從五位下一

大神神

［三實］貞觀三年十月廿日備後國正六位上大神神天照眞良建雄神並授二從五位下一

隱島神

［三實］元慶二年十二月十五日授二備後國無位隱島神從五位下一

吉備津宮

［永萬記］吉備津宮　社二前トアリ

補 疫隅社

［釋紀］七十一右（十三［古裏書］十一右）引（備後（後字裏書无）國風土記）曰（裏作レ云）疫隅國社（四字裏无）昔北海坐志武塔天（天字裏无）神南海神之女子（乎）與波比（爾）出（紀脱從レ裏）坐（爾）日暮彼所蘇民將來二人在（伎）兄蘇民將來貧窮弟將來富饒屋倉一百在（伎）爰塔神借二宿處一惜而不レ借兄蘇民將來借奉卽以二粟柄一爲レ坐以二粟飯等一饗奉々々既畢出坐後（爾）經レ年率二八柱子一還來而詔久我將奉（恐來字訛）之神爲二報答一曰（ウクイセントノリタマヒテ歟）汝子孫其家（爾）在哉止問給蘇民將來答申久己女子與二斯婦一（恐新婦訛）侍止申卽詔久以二茅輪一令レ著二於腰上一隨レ詔令レ着（自二上之兄字一已下百十六字于二裏書一略レ之）卽夜（爾）蘇民與二女人（裏作二女子一）二人一（乎）置天（○裏作レ互）皆悉許呂志保呂保志天卽詔久吾者速須（紀作レ須非レ是今從レ裏）佐能（紀脱從レ裏）雄能神也後世仁（作レ爾○裏）疫氣（裏作二疾氣一）在（者字從レ裏○紀大）汝蘇民將來之子孫止（○紀大字從レ裏）云天（○紀大字從レ裏）以二茅輪一著二腰上一（裏上字无）詔隨レ詔令レ着（裏作レ著）卽家在人者將レ免止（○紀作二止伎者一恐衍今從レ裏）詔支（○紀无今從レ裏）

［書紀纂疏］上（百八十四左）云按（備後風土記）以レ是爲下北海武塔神通二南海神女一時事上武塔神乃進雄神之別號其祠今見二在備後州一曰二疫隅社一［神代口訣］三（卅一右）云（備後國風土記）北海武塔神通二南海龍女一矣在二深津郡一須佐能表能神社也有下宿借二蘇民將來一之事上（已上可レ補二深津郡須佐能表能神條一）

品治郡一座小

多理比理神社

[古事記]息長宿禰王生二息長帶比賣命次息長日子王一此王者吉備品遲君之祖○信友按多理比咩ノ寫歟

葦田郡二座並小

賀武奈備神社

[三實]貞觀九年四月八日備後國從五位上甘南備神正五位下○元慶二年十一月十三日授二正五位下甘南備神正五位上一

國高依彥神社

○伊豆國高倚神社

甲奴郡一座小

意加美神社

三上郡一座小

蘇羅比古神社

[書紀]神代紀虛空彥同雄略紀吉備弓削部虛空

惠蘇郡一座小

多賀意加美神社

[書紀]神代紀高靇

御調郡一座小

賀羅加波神社

世羅郡一座小

和理比賣神社

三谿郡一座小

知波夜比古神社

[舊事紀]十三神乳速日命廣湍神麻績連等祖[國造本紀]物部連祖出雲色大臣五世孫知波夜命

三次郡一座小

知波夜比賣神社

式外舊社

延喜式卷第十之廿八　山陽道第五

備後國十七座並小

安那郡二座並小

多祁伊奈太伎佐耶布都神社

[古事記]尾張連祖建伊奈陀宿禰云々[舊事紀]饒速日尊十二世之孫建稻種命[國造本紀]下道國造兄彥命亦名稻種別[臨時祭式]凡石上社備後國封租穀者收二社家一充二夏冬祭料一

天別豐姬神社

[三實]元慶二年十一月十三日授二從五位下天別豐姬神從五位上一

深津郡一座小

須佐能表能神社

補春村按ニ風土記ニ疫隅社ト號スルヨシ見エタリ式外ノ條考フベシ

奴可郡一座小

爾比都賣神社

[釋紀]播磨風土記國堅大神之子爾保都比賣命云云

沼隈郡三座並小

高諸神社

[三實]貞觀九年四月八日高諸神從五位下

沼名前神社

○今云鞆浦○沼隈郡

比古佐須伎神社

[古事記]孝靈天皇娶二蠅伊呂杼一生二御子日子寤間命一次若日子建吉備津日子命[舊事紀]彥狹島命海直等祖[書紀]雄略紀吉備海部直赤尾

在田神社

［考イ］在二在田村一外濱ヨリ三里

神島神社

［續拾遺］建久九年大嘗會主基方の御屛風に備中國神島の神祠ある處を前中納言資實

神島の波のしらゆふかけまくもかしこき御世のためしとそみる

○信友云今カウノ島トイフアリコレナランド國人云ヘリ　［考イ］在二鴻嶋外一浦川面ヨリ四里

鵜江神社

［考イ］在二川面一妹ヨリ一里十八丁

後月郡一座

○信友云並字依レ例可レ補

足次山神社

○大歳神子阿須波神［和鈔］足次（安須波○信友云波ハ伎ノ誤）［考イ］在二井原村一在田ヨリ三里

英賀郡二座（並小）

比賣坂鐘乳穴神社

［三實］貞觀元年二月七日癸巳詔遣二典藥頭從五位上出雲朝臣峯嗣於二備中國一採二石鐘乳一［和鈔］鐘乳新抄本草石鐘乳出二備中國英賀郡一（和名以之乃知）［典藥式］備中國鐘乳床六十斤［考イ］在二呰部村一高山市ヨリ十里［和鈔］呰部（アダ）

井戸鐘乳穴神社

［和鈔］中井（奈加都井）［考イ］在二井戶尾村之内井戶野一呰部ヨリ一里十八丁此ヨリ吉川村ヘ四里十八丁

式外舊社

宮原神

［三實］貞觀六年二月五日備中國正六位上宮原神從五位下

國吉河保に下向して上洛の間榁生の泊にて心神違亂して如レ亡片髩雪の如く變奇異の思をなして巫女に占ふ所に吉備宮託宣し給て云適に當國に下向其曲をきかざるに由て祟をなす處也忽に押返て彼社に參て皇帝以下の秘曲を吹間白髮忽に本の如し尤道の眉目と云べし又云備中守政長が神拜に下りける時則高正資時資など云時の舞の上手共のいざなひて下りたりけるに吉備津宮の御前にて則高陵王を舞ける時に寶殿大にゆすりひゞきておびたゞしかりけりこゝらに集りたる者共驚きさわぎけるに正資時資おそろしながら思けるやう則高が舞ことにかひ有てめでたし忽に寶殿ひらき給へるいとど忝し但我等は今落蹲を舞んとす若此時しるしなくばいみじき耻なるべしと思ひて寶殿に向ひて泣泣祈申けり陵王入て後各舞けるに始より増りたるに寶殿ゆすりいと恐しかりけり「永萬記」吉備津宮

○信友云同書ニ備前備中備後トモニ吉備津宮アリ

「考イ」在二宮内村一上高田ヨリ三里九丁社領御朱印百五十石一宮吉備武彥命也。

下道郡五座並小

石疊神社

「出雲風土記」久志伊奈太美士與麻奴良比賣命「考イ」今在二上秦村一無二神社一有二石疊一槇谷ヨリ一里

神神社

麻佐伎神社

「古事記」遠津山岬多良斯神「考」今在二秦下村眞佐岐山一「考イ」无二社地一高山也八代ヨリ一里廿丁「和鈔」秦原郷

横田神社

「考イ」在二久代村之内横田一「和鈔」釧代

穴門山神社

「國造本紀」吉備穴國造纒向日代朝御世和邇臣同祖彥國服命孫八千足尼定二賜國造一「和鈔」穴田安奈多「考イ」在二妹村一或說川上郡高山市村穴門是也未レ知二何是一横田ヨリ二里十八丁「和鈔」穴田又吳妹郷

小田郡三座並小

[三實]元慶二年二月七日授二從五位下菅生神從五位上一[姓氏]菅生朝臣天兒屋根命之後也[考]今在二生坂村中西坂一俗天神ト云フ[考イ]笹沖ヨリ一里

賀夜郡四座 大一座 小三座

古郡神社

[考]今在二塡谷村一惣社ヨリ二里

野俣神社

[考イ]在二八田部村之內一惣社也小屋ヨリ一里

皷神社

[書紀]景行紀日本武尊娶二吉備武彥之女吉備穴戸武媛一生二武皷王一[考イ]在二上高田村一吉川ヨリ三里

吉備津彥神社 名神大

[續後紀]承和十四年十月癸巳朔甲寅奉レ授二備中國无位吉備津彥命神從四位下一○同十五年奉レ授二備中國吉備津彥命神從四位上一[文實]仁壽二年二月丁巳授二備中國吉備津彥命神四品一列二於官社一○同年八月乙未朔辛酉四品吉備津彥命奉レ充二封廿戶一[文實]齊衡二年二月癸亥備中國言吉備津彥名明神庫內鈴鏡一夜三鳴四月乙卯遣二使者一向二備中國一奉レ幣二吉備津彥名神一○天安元年六月丙寅朔壬辰在二備中國一四品吉備津彥命神授二三品一○貞觀元年正月廿七日奉レ授二備中國三品吉備都彥命二品一[書紀]大日本根子彥國牽天皇子也亦名彥五十狹芹彥命母倭國香媛[古事記]比古伊佐勢理毗古命亦名大吉備津日子命吉備五道臣之祖也[親長記]文明十七年六月五日吉備津宮神主貞職申二四品一尋二子細一曩祖能清至德之度白レ爵申二四品一了仍奏聞勅許○精古按長寬勘文天慶三年二月一日當社授二一品一[元亨釋書]十七有二吉備津宮祠官藤井久任傳一述二其歸併之事一亦孔之醜[扶桑見聞私記]廿三元曆元年十一月十六日吉備津宮宮社今日鎌倉ニ參着ス供僧行實所レ捧二解狀一也其趣ハ本宮長日法華經ノ免田並ニ二季ノ彼岸ノ佛餉田等依二西海合戰事一沒倒爲二關東御沙汰一如レ元可レ被レ奉レ寄之由也武衞尋二子細一可二成敗一之由御消息ヲ件ノ解狀ニ相副土肥實平ガ許ヘ彼レ遣實平當時在二備前國一[十訓抄]八幡の樂人元正當宮領備中

眞賀神等並從五位下

吉備津宮

「永萬記」社司貞則隨仰

神名帳考證　四十八

延喜式卷第十之廿七　山陽道第四

備中國十八座

大一座

小十七座

窪屋（クボヤノ）郡三座並小

百射山（モイヤマノ）神社

「考」ト標シタルハ「式社考」ナリ今在二三輪村一「考イ」ト標シタルハ(同)書ヲ異本ナリ在二三輪村之内小屋助安ヨリ一里一今此祠ヲ三輪村明現宮ノ社地ニ移ス舊社跡今存

足高（アシタカノ）神社

「古事記」國忍富神娶二葦那陀迦神亦名八河江比賣一

「考」今在二笹沖村一「考イ」宮内ヨリ三里十八丁

菅生（スカフノ）神社

往古伊福村ノ中三門ト云フ處ニアリ［和鈔］伊福

石門別神社

［考］今在ニ大供村一戸隱宮ト稱ス

尾治針名眞若比女神社

［舊事紀］饒速日尊十三世孫尾綱根命妹尾綱眞若刀婢命此命嫁ニ五百城入彦命一生ニ品陁眞若王一云々十四世孫尾張弟彥連次尾治針名根云々［姓氏］若犬養宿禰火明命十六世孫尾綱根命之後也［拾芥抄］延暦十二年備前國造賜ニ明門若犬甘氏一○信友云尾張愛智郡針名神社山田郡ニ尾張神社尾張戸神社上野國群馬郡椿名神社アリ［姓氏］二十檜前舍人連火明命十七世孫波利那乃連公之後也［考］今在ニ四日市村ノ中北花薗一

津高郡二座 並小

［三實］四十八 津高郡人田使首良男

鴨神社

○在ニ賀茂村一［考］今在ニ賀茂村ニ［和鈔］加茂○國人云今上下二社アリ

宗形神社

［考］今在ニ大窪村一

兒島郡二座 並小

鴨神社

［考］今在ニ長尾村一八幡ト稱ス

田土浦坐神社

［考］今在ニ田之浦一國人云小社也［書紀］欽明紀 十七年七月己卯遣ニ蘇我大臣稻目宿禰等於備前兒島郡一置ニ屯倉一以ニ葛城山田直瑞子一爲ニ田令一田令此云佗豆歌毗［三實］仁和元年九月十日辛卯備前國津高郡人正七位上田使首良男貫ニ附山城國愛宕郡一［姓氏］葛城朝臣襲津彥命之後也

式外舊社

見上神　眞賀神

［三實］貞觀七年七月廿六日備前國正六位上見上神

之祖也［考］今在二仁堀西村一

和氣郡一座小

神根神社

［姓氏］和氣朝臣垂仁天皇皇子鐸石別命之後也神功皇后征二伐新羅一凱旋歸明年車駕還レ都于レ時忍熊別皇子等竊構二逆謀一於二明石堺一備レ兵待レ之皇后鑑識遣二弟彦王於針間吉備堺一造レ關防レ之所レ謂和氣關是也大平之後錄二從駕勳一酬以二封地一仍被レ賜二吉備磐梨縣一始家之焉［考］今在二神根本村一

上道郡四座並小

大神神社四座

○大和國狹井坐大神荒魂神社五座［考］在二四之御神村一

御野郡八座並小

石門別神社

［考］今在二田住村一

尾針神社

［舊事紀］品太天皇御世賜二尾張連姓一爲二大臣大連一勅二尾綱連一曰云々　○信友云邑久郡ニモ尾張乎八利アリ

天神社

［秘釋］アマツミハカリ○信友云國神社モアリ［考］今在二奧田村一

伊勢神社

○今云二伊勢宮一在二岡山北二［考］今在二岡山小畑村一

天計神社

［舊事紀］令二手置帆負彦狹知二神一以二天御量一謂大小量雜器類名［考］今在二北方村一

國神社

○信友云天神社モアリ［考］所レ祭弟彦命日本紀云以二三野國一封二弟彦一是三野臣之始祖也即今之三野

神名帳考證　四十七

延喜式卷第十之廿六　山陽道第三

備前國廿六座

大一座

小廿五座

○信友云當國式社ことごとく存ス

邑久郡三座大一座小二座

美和神社

「考」ト標シタルハ「式社考」ナリ今在二福里村一

片山日子神社

「考」今土師村ニアリ

安仁神社名神大

「續後紀」承和八年備前國邑久郡安仁神預二名神一焉

「考」今在二藤井村一

赤坂郡六座並小

鴨神社三座

「國造本紀」笠臣國造輕島豐明朝御世元封二鴨別命一八世孫笠三枚臣定二賜國造一「書紀」神功紀遣二吉備臣祖鴨別一令レ擊二熊襲國一云々「和鈔」葛城カツラキ「考」今在二仁保堀西村一

宗形神社

「姓氏」宗形君大國主命六世孫吾田片隅命之後也○尾張國中島郡布智神社宗形神社「考」今在二是里村一

石上布都之魂神社

「書紀」神代紀素戔烏尊斷レ蛇之劍今在二吉備神部許一云々○在二赤坂郡岡山傍三里許石上一「和鈔」邑久郡石上伊曾乃加美「考」今在二大松山村一新太郎少將ノ時再興

布勢神社

「古事記」若野毛二股王之子意富々抒王者布勢君等

英多郡一座 小

天石門別神社

「三實」貞觀五年五月廿八日庚寅美作國從五位下天石門別神授二從五位上一「姓氏」神魂命兒天石都倭居命「國造本紀」大伯國造備中縣國造並神魂命孫也當國及備前國有二石門別神社一者由二於是一也「文實」嘉祥三年八月丙辰美作國英多郡大領財田祖麻呂○今在二川會庄宮地早瀧一

式外舊社

大佐々神

「三實」貞觀五年五月廿八日美作國從五位下大佐々神授二從五位上一

加佐美神

「三實」貞觀六年八月十五日美作國從五位下加佐美神授二從五位上一

田神

「三實」貞觀六年八月十五日己巳美作國從五位下田神授二從五位上一

御鴨神

「三實」貞觀十七年三月廿九日授二美作國從五位下御鴨神從五位上一○按備前國稱二鴨社一有二三社一追而可レ考

[三實]貞觀六年八月十五日己巳美作國從五位下菟上神前社神授ニ從五位上ニ[古事記]開化天皇皇子菟上王者葛城襲津命四世孫菟上足尼[書紀]神功紀海上五十狹弟

長田神社（ナカタノ）

[三實]貞觀六年八月十五日己巳美作國從五位下長田神授ニ從五位上ニ

苫東郡ニ一座（トマタヒカシノ）大一座 小一座

[三實]貞觀五年五月廿六日分ニ美作國苫田郡ニ爲ニ苫東苫西郡ニ○又曰元慶元年閏二月廿三日乙未美作國進ニ銅大十兩備前國二斤九兩ニ先レ是從七位上伴宿禰吉備麻呂言美作國眞島郡加夫良加利山大庭郡比智奈井山備前國津高郡佐々山有レ銅故吉備麻呂採掘進ニ其撰銅ニ

高野神社（カウヤノ）

[三實]貞觀六年八月十五日己巳美作國從五位下高野神授ニ從五位上ニ○同十七年三月廿九日晦授ニ美作國從五位上高野神正五位下ニ[姓氏]高野大名草命又後也○今在ニ神戸郷御岩村ニ鳥居邊有ニ宇那手森ニ(夫木)大納言隆房卿「神のますうなての森を朝ゆけは聲を手向て千鳥なくなり」[和鈔]高野○信友云[永萬記]中山社高屋社トアリ高屋ハカウヤ歟又(宇治拾遺)ニ美作國ニ中ザンカウヤト申神オハシマスカウヤハクチナハ中ザンハ猿丸ニナンオハスル

中山神社（チウサンノ）名神大　廿松釋

[三實]貞觀二年正月廿七日戊寅授ニ美作國正五位下仲山神從四位下ニ○同六年八月十四日戊辰詔以ニ美作國從四位下仲山大神ニ列ニ官社ニ○同七年七月廿六日進ニ美作國仲山神階ニ加ニ從三位ニ○十七年四月五日丁巳授ニ美作國從三位中山神正三位ニ[一宮記]大己貴命○社司相傳云中山神鏡作命云々美作國仲山金山彦神社古歌眞金吹吉備中山○今田邊保中山莘長良宮○信友云古本書入ニ社記云鏡作天照大神第三御子云々[諸社一覽]國府津山ノ北一里ニ在リ○一宮也

神名帳考證　四十六

延喜式卷第十之廿五　山陽道第二

美作國十一座

大一座
小十座

大庭郡(オホニハノ)八座並小

[續紀]和銅六年四月丁未割ニ備前國六郡一始置ニ美作國一又云神護景雲二年五月丙午美作國大庭郡人外正八位下白猪臣證人等四人賜ニ姓大庭臣一

佐波良(サハラノ)神社

○和氣氏祖佐波良命(大系圖)　垂仁天皇鐸石別命　稚鐸石別命　田守別王　弟彥王一名建結別王　麻己目王一云依國別王　意富己目　伊比遲別王　伊太比別王　萬子一云萬侶　古麻佐難波朝廷立ニ藤原屯倉一　佐波良　佐波豆美作國備前兩國造　宿奈兩國國造　平麻呂兩國國造　清麻呂兩國國造贈正三位

形部(カタヘノ)神社

[三實]貞觀六年八月十五日己巳美作國從五位下形賣神授ニ從五位上一○信友云河內國茨田郡津島部神社ヲ(文實)ニ津島女神トアル例也[續紀]十八女孺形部勝麻呂○伊豆國阿米都加多比咩命神社

壹粟神社二座

[三實]貞觀五年五月廿八日庚寅美作國壹粟神授ニ從五位上一按從五位下歟○同六年八月十五日己巳美作國從五位下壹粟粟イ原神授ニ從五位上一

橫見(ヨコミノ)神社

[三實]貞觀六年八月十五日己巳美作國從五位下橫見神授ニ從五位上一

久刀(クトノ)神社

[三實]貞觀六年八月十五日己巳美作國從五位下久止神授ニ從五位上一○淡路國久度神社

菟上(ウサカミノ)神社

速素盞烏神　速風武雄神

[三實]貞觀八年七月十三日播磨國無位速素戔烏神速風武雄神並授ニ從五位下一○按餝磨郡兵主神二座歟可レ考

射目埼神

[三實]貞觀十年閏十二月廿一日播磨國正六位上射目埼神從五位下

姥女神

[三實]元慶元年四月七日播磨國姥女神從五位下

英賀彥神　英賀姫

[三實]元慶五年五月五日播磨國正六位上英賀彥神英賀姫並授ニ從五位下一

氣比大神宮

[續後紀]八承和六年二月癸丑朔戊寅播磨國印南郡佐突(サド)驛家依レ舊建ニ立越前國氣比大神宮一雜務停レ預ニ國司一隸ニ神祇官一[萬葉]三十六飼飯海乃云々此神

社ニヨレル地名ノアリシ也

相撲社

[永萬記]

加都良乃命神社

○阿波國勝占神社○信及云蔓々アリ（和鈔）今本、〻ヲ々ト誤レリ其〻ヲトカケル事例アリ

大津乃命神社

天目一神社

［姓氏］天都比古禰命子天麻比止都禰命○忌部正通云天目一箇神社在二播磨多可郡一

賀茂郡八座並小

崇健神社

○因幡國中臣崇健神社

石部神社

［姓氏］石邊公久斯比賀多命後也

坂合神社

［姓氏］坂合部火闌降命七世孫夜麻等古命之後也

住吉神社

［姓氏］住吉朝臣上毛野同祖豐城入彦命五世孫多奇波世君之後也［國造本紀］針間鴨國造上毛野同祖［遣唐使奉幣使祝詞］住吉尓辭竟奉留皇神等乃前尓申賜久大唐尓使遣牟佐爲尓依船居無氐播磨國與利船乘止爲氐云々［和鈔］住

菅田神社

［姓氏］菅田首天久斯麻比土都命之後也［和鈔］川内○今在二賀東郡菅田村一○多可郡天目一神社

木梨神社

垣田神社

乎疑原神社

式外舊社

足速手速神

［文實］嘉祥三年九月壬辰播磨國足速手足神從五位下

邇志神社

佐用郡二座並小

佐用都比賣神社

［續後紀］嘉祥二年十一月辛亥播磨國佐用郡佐用津姬神預ニ官社ニ［舊事紀］市杵島姬命亦名佐依姬命［和鈔］佐用與佐○在ニ長谷村ニ

天一神玉神社

［文實］天安元年八月庚辰在ニ播磨國ニ正六位上天一神授ニ從五位下ニ丁亥在ニ播磨國ニ從五位下天一神預ニ官社ニ［姓氏］山背忌寸天都比古禰命天麻比止都禰命之後也○今東新宿村有レ稱ニ阿布良權現社ニ此子○信友云多可郡ニ天目一神社アリ又按（和鈔）天一神宿鬼經云天一神和名奈加加美天女化身也（家榮鈔）永久四年十二月二日縫殿頭依ニ法性寺殿命ニ天一神ノアル方角ヲ注進セル事アリ按ニモシクハ天一神王ニテナカガミト稱セルニヤアラン又文明所レ記（東大寺戒壇神明帳）ニモ天一太白牛頭天王云々ナドアリ

美囊郡一座小

御坂神社

［續紀］四十美囊郡大領韓鍛首廣富

神埼郡二座並小

新次神社

田川神社

多可郡六座並小

荒田神社

［峰相記］二宮荒田大明神［續紀］辰孫王長子大阿良土［姓氏］稻背入彥命男御諸別命成務御世中ニ分針間ニ給レ之仍號ニ針間別阿良都命ニ○今在ニ荒田村ニ［和鈔］荒田

兵主神社

古奈爲神社

○出雲國久奈爲神社

赤穗郡三座 並小

○國人云赤穗ヲ城下邊ニテハ加里屋ト云フ[三實]九赤穗郡大領秦造内麻呂今坂越有ニ大酒明神一

伊和都比賣神社

○今赤穗海濱有ニ岩水御崎明神社一○加里屋領新濱ニアリ三崎大明神ト云フ○明石郡伊和津比賣神社アリ

八保神社

[續後紀]承和七年六月甲子播磨國赤穗郡八保神爲ニ官社一○今苅屋村八幡歟○カリ谷領安室谷岡村ニアリ梵天宮ト云フ

鞍居神社

[舊事紀]鸕鷀草葺不合尊娶ニ玉依姫命一誕ニ生武位居起命一大和國造等祖○カリヤ領岩木谷倉尾村ノ宮ナリ

宍粟郡七座 大一座 小六座

伊和坐大名持御魂神社 名神大

[三實]貞觀元年正月廿七日伊和坐大名持御魂神從四位下○元慶五年六月廿九日乙巳授ニ播磨國從四位下勳八等伊和坐大名持御魂神正四位下一[百錬抄]平治元年八月二日陣定播磨國伊和社燒亡事○今云岩神姫路ノ町中ニアリ[和鈔]伊和

御形神社

[古事記]大物主大神娶ニ活玉依毗賣一生子櫛御方命[和鈔]三方郷

庭田神社

[古事記]大年神娶ニ天知迦流美豆比賣一生ニ庭高津神一

雨祈神社

與比神社

○但馬國養父郡大與比神社

大倭物代主神社

[姓氏]高岳首饒速日命十五世孫物部鹿火大連之後也○姬路之東魚橋之山上餝磨川邊歟

揖保郡七座大三座小四座

揖保坐天照神社名神大

[臨時祭式]粒坐天照神トアリ[三實]貞觀元年正月廿七日播磨國從五位下勳八等粒坐天照神從四位下○同四年播磨國揖保郡人雅樂笛生无位伊福貞復ニ本社五百木部連ニ火明命之後也又云伊福部火明命之後也○今揖東郡井關村稱ニ伊勢宮ニ此乎[和鈔]揖保伊比奉

阿宗神社

○揖東郡阿宗村斑鳩村西也[古事記]息長宿禰王娶ニ葛城之高額比賣ニ生子息長帶比賣命次息長日子王此王者針間阿宗君之祖

祝田神社

○今揖東郡大田村○林田大宮司云今林田社ト云テ山中ニアリ倭建命西ノ國征伐ノ御歸ルサ當國吉美ノ沖ニテ難風ニ逢給ヒシ時御願ニテ御造建アリシト云ヒ傳フ當社口殿奥殿トテアリ口殿ヲ吉船山祝田宮ト申テ(式)ナル祝田神社コレ也祭神三座中猿田彥大神左高龗神右水波女神也奥殿ヲ武旗八幡宮ト申ス祭神五座也中素戔烏尊左大己貴神右事代主神又左應神天皇右日本武尊ナリ

阿波庭神社

○一本阿波遅社○庭ハ鹿歟○綱手歟[新千載]戀五紫式部 かきたえて人も稍のなけきこそはてはあはての杜となりけるトアルハ此處ノ事カ

中臣印達神社名神大

○今龍野歟[和鈔]中臣[同]迎達伊多知

夜比良神社

家島神社名神大

[續後紀]十承和七年六月甲子播磨國揖保郡家島神爲ニ官社ニ○稱ニ家島ニ稱ニ宮島ニ[萬葉]四家乃島又十五伊敝之之庥○今或作ニ繪島神ニ稱ニ宮浦明神

宮ニ

赤羽神社

○今在ニ赤羽村ニ［書紀］允恭紀十四年九月天皇獵ニ于淡路島ニ云々島神祟之曰不レ得レ獸者是我之心也赤石海底有ニ眞珠ニ其珠祠ニ於我ニ則悉當レ得レ獸云々○羽明玉歟

伊和都比賣神社

○今明石中庄海邊有ニ岩屋明神ニ［和鈔］宍粟郡伊和

○赤穗郡ニモ[illegible]

賀古郡一座小

日岡坐天伊佐々比古神社

○今賀古川渡上一里部伊村有ニ伊佐々比古社ニ○信友云（峯相記）ニ少彦命トアリ［書紀］吉備都彦命亦名五十狹芹彦命［續紀］六廿天平神護元年五月吉備都彦之苗裔上道臣息長借鎌於ニ難波高津朝廷ニ家ニ居播磨國賀古郡印南野ニ［古］大吉備津日子命與ニ若建備津日子命ニ二柱相副而於ニ針間氷河之前ニ居忌瓮ニ而針間爲ニ道口ニ以言ニ向和吉備國ニ也［書紀］推古紀赤石檜笠岡［萬葉］印南野者往過奴良之天傳日笠浦立見トアルニ日ノ字ノ下ニ笠ヲ脱セルニヤ、契冲イヘリ

餝磨郡四座並小

射立兵主神社二座

［和鈔］迎達伊多知［三實］九餝磨郡人和爾部臣宅眞○按和爾出レ自ニ素戔烏命ニ今廣峯歟○廣嶺ノ山上ニ坐御朱印百石社司二十四軒アリ社司芝國忠主作［英賀筆記］三木通秋射楯兵主神社ノ事ヲ正應年中當社追號宣命文云大己貴神軍師照八隅頭將也一條院御宇有丹州大江山之賊徒追戮之祈願平均後正曆二年六月勅授ニ正一位ニ

白國神社

［三實］元慶二年六月十七日辛巳授ニ播磨國從五位下白國神正五位下ニ○今姬路北一里廣嶺山ノ東ノ山足白國村ニ社アリ

高岳神社

神名帳考證　四十五

延喜式卷第十之廿四　山陽道第一

山陽道神一百四十座 ○原本神字ナシ今例ニヨリテ補レ之

大十六座 就中四座月次新嘗

小一百廿四座

播磨國五十座

大七座

小四十三座

明石郡（アカシノ）九座 大三座小六座

宇留（ウルノ）神社

［姓氏］佐伯直景行天皇々子稻背入彥命之後也男御諸別命中ニ分針間國ニ給レ之○今大倉谷稻津賣明神歟

物部（モノヽヘノ）神社

［舊事記］物部建部連公葛井連等祖［續紀］四十明石郡大領葛江我孫馬養○今藤江浦

海（タルミノ）神社三座 名神大月次新嘗

［三實］貞觀元年正月廿七日從五位下海神從五位上［續紀］神護景雲三年六月癸卯播磨國明石郡人外從五位下海直溝長等十九人賜ニ姓大和赤石連一○垂見多留美在ニ垂水村一○葛城垂見垂見宿禰○百木云印本海神ヲタルミト訓メリ（和鈔）ニ垂見鄕ミユ且今モ垂水村アリテ神社モアリト云ヘリサレハ海ノ字ノ上ニ垂ノ字脱タルニヤトオモヘド臨時祭式及（三實）ニモ垂ノ字ナケレバサニハアラズ故オモフニ神社ノ在ル地名モテタルミノ神トモ稱セルヲヤガテ訓ニツケタルニヤアラム○名神ノ上ニ例ニヨリテ並ノ字ヲ補フベシ

彌賀多々（ミカタヽノ）神社

［國造本紀］速瓶玉命

林（ハヤシノ）神社

［姓氏］林宿禰大伴宿禰同祖○今在ニ林村一稱ニ上村（ウヘノ）

「三實」元慶八年二月廿七日隱岐國正六位上健須佐雄神從五位下○字受加神歟可レ考

智夫郡由良比女神社

○信友追考(神名帳頭注)(一宮記)ニ隱岐國智夫郡由良姬神社大己貴命嫡后須勢理姬命也トアリ遠佐須良比咩神ハ(大祓後釋)ニ(古事記)ニ須佐之男大神ノ御女ニ須勢理毘賣命ト申ス是ナリトアリ 承和九年九月隱岐國智夫郡由良比賣命神並預ニ官社ニ(本國神名帳)ニ從三位上由良姬大明神トノレリ按ニ由良ハ地名(和名鈔)智父郡良由鄉サテ(式)ノ諸本トモニ此神社ノ下注ニ元名和多須神トアリコハ同郡海神社二座トアル下ニアルベシ(本國神名帳)ニモ由良姬大明神ト從四位上和田酒明神ト二ツアリカノ海神社ハ(土佐日記)ニワタツミノチブリノ神ニ手向スルト云々詠ルコレナルベシ彼和多須神ナド云當帳ノ中ノ注トモ多ハト部ノ後ニ加ヘタル注ナル事別ニ委ク考ヘオケリ又(本國神名帳)海部郡正三位健酒佐雄命ミエテ當國ニ須勢毘理賣命ト素盞烏命ト坐スモ深キ由故アルベシ又須勢理毘賣命ノ傳ハ「古事記傳」十廿四葉ニ見エサテ内山カ(神號解)ニ須勢理比賣命ハ(出雲國風土記)ニ神門郡滑狹鄉須佐能袁命御子和加須世理比賣坐命之爾時所レ造ニ天下ニ大神命娶而通坐時云々マタ神門郡八野鄉須佐能袁命御子八野若日女命坐之爾時所レ造ニ天下ニ大神大穴持命將ニ娶給ニ爲而令レ造レ屋給トアルヲ(古事記)上ニ大國主神亦娶ニ神屋楯比賣命ニ生子事代主神等アリサレバ八野若日女命ト申モ神屋楯比賣神ト申モ須勢理毘賣命ノ亦ノ名ト聞ユトイヘリコハイカヾアラン尙ヨク考フベシ

蘈若酢神從五位下ニ○信友按ニ海部郡玉若酢神社アリ水ハ瑞ノ義ナルベシ[記]當郡ニ一宮村ニ一宮社アリ社ハ田園ノ中ニアリ云々蕭々タル林下宮殿神シ村ハ北ノ山下ニアリテ祠人モ亦コヽニ住リ其言ニ曰此神ハ崇德天皇ヲ崇メ奉ルト左右ノ園圃ハ皆此神領ナリトゾ○信友按右記ニ云ヘル一宮當郡第一ノ舊キ大社トキコユモシクハ當神社ニヤモアラン

和氣能須命神社（ワケノスノ）

隱地郡三座（ヲチノ）大二座 小一座

天健金草神社（アマタケカナクサノ）●命一本幷扶略

[三實]貞觀十三年閏八月廿九日授ニ從五位上天健金草神從四位下ニ○仁和元年閏三月十日授ニ從四位下天健金草明神從四位上ニ 補[紀略]天慶三年九月四日奉ニ贈隱岐國正四位上天建命金草神從三位ニ○●從紀略[扶桑略記]延喜六年丙寅七月十三日隱岐國言●坤方猛風高吹天健金草命託宣新羅賊船數艘浮ニ居北海ニ我爲レ追ニ彼賊ニ令レ吹ニ大風ニ者如ニ帆柱ニ木等流著是新羅賊船帆木者神明所レ告其徵如レ此○今在ニ上西村高山麓ニ號ニ高田明神ニ 記ニコレカトアリ[舊事紀]天香五山命五世孫建筒草命

水若酢命神社（ミツワカスノ）名神大

[續後紀]承和九年乙巳隱岐國隱地郡水若酢命預ニ官社ニ[三實]貞觀十三年閏八月廿九日授ニ正六位上

伊勢命神社（イセノ）名神大

[續後紀]嘉祥元年十一月丁巳朔壬隱岐國伊勢命神預ニ明神例ニ緣ニ屢有ニ靈驗ニ也○今在ニ酌（クミ）村ニ 或作ニ汲村又久見村ニ 之辰巳山麓ニ（紀）ニ川チヘダテヽ號ニ伊勢明神ニ○信友云(記)伊勢神明トモ內宮トモイヘリ又五瀨神ノ事可レ考

式外舊社

日乃賣神

[三實]貞觀十三年閏八月廿九日隱岐國无位日乃賣神從位下○由良比女歟奈伎比女歟可レ考

健須佐雄神

念スレバ忽火起テ東西ヲ辨フト云々○火燒權現ト
モイフ

眞氣命神社

天佐志比古命神社

[續後紀]承和十五年二月己酉奉レ授二隱岐國天佐自比古命神從五位下一

海部郡二座 大一座 小一座

奈伎良比賣命神社

[出雲風土記]奴奈宜波比賣命[記]周吉郡西郷目貫町 古名根拔 ノ西ノ山腹ニ奈伎良明神社アリ又云帳ニ海部郡ニアリ今海部郡ニ此神社ナシ後世コヽニ遷座セルニヤトアリ信友按ニ周吉郡ハ嶋後也海部郡 今ハ海士ト作ル ハ島前ニテ島異也周吉郡ナルハ海部郡ナルヲ更ニ祀リタルモノニテ式ナル社ニハアルベカラズ但故アリテ遷座アルマジキニモアラズ

宇受加命神社 名神大

[續後紀]承和九年九月丁巳隱岐國海部郡宇受加命神預二官社一○今在二宇津賀村後一宇津賀明神[記]宇津賀村ハ小山ノ間人家分レテ住リ後ロニ宇津賀明神ノ社アリ

周吉郡四座 並小

賀茂那備神社

[舊事紀]事代主神坐二倭國高市郡高市社一亦云二甘南備飛鳥社一○今在二鴨村之東一號二鴨明神一(記)同シ但シ鴨村ハ未ノ方ニ向ヒタル入海濱也○信友云近比佛者緣起ヲ作レリ佛事ヲ附會ス○備後 葦田郡 加武奈備神社

水祖神社

玉若酢命神社

[三實]貞觀十三年閏八月廿九日壬申授二隱岐國正六位上蕤若酢神從五位下一○今在二下西村之北一號二總社一○信友云(記)同ジ大社也四方ノ松杉皆大ニシテ靈場他ニ異也社司ヲ隱岐國造ト云フ○隱地郡水若酢神社アリ

てはその神に奉幣してわたりをいのるとす申侍る[記]ト標シタルハ隱州視聽合記ナリ寛文七年藤弗緩撰述浦卿薄子浦ノ山ノ岬ニ由良明神ト稱スル小社アリ極メテ小サク古果テ里人モ知モノナシ又云知夫郡多澤村ヨリ棹シ出レバ左ニモトノナハ渡島アリ長サ六町廿間横三町許ソノ西ノ崎ニ渡明神ト號スル社アリト記セリ按ニ(當國神名帳)ニモ從三位上由良姫大明神ト從四位上和田酒明神ト二ツアレバ此元名和多須神トアル六字ハ下ナル海神社二座トアル下ニアルベキ也貫之朝臣ノ(土佐日記)にわたつみのちふりの神に手向する云々ノ歌モ此神ヲサセルナルベシ以上百木說信云なほ(袖中抄)の說又(土佐日記)によりて考ふるにゆくけふもの歌は土左へ下る時の歌ときこゆ○追考四丁左ニ記ス

大山神社

○今在ニ美田郷ニ此地邊號ニ大山腰ニ此山上燒火之神歟[記]美田郷或美田院トモイフ大山脇ト云フ處ニアリヒカキ處也此山上燒火神歟謂ニ之脇ニ則此山可レ爲ニ大山ニ者可レ知矣脇其麓根之儀歟

海神社二座

○信友云元名和多須神ノ六字可レ補ソノ故ハ由良比女神社ノ下ニイヘリ○追考四丁左ニ記ス

比奈麻治比賣命神社

治一本作レ沼イ本又同シ

○治一本又異本ニ作レ沼○信友云(三實)日乃賣神歟式外ニ記ス[續後紀]承和五年十月甲午奉レ授ニ隱岐國无位奈麻治比賣神從五位下ニ[三實]貞觀十三年閏八月廿九日從五位上比奈麻治比賣神正五位下○元慶二年五月十七日授ニ正五位下比奈麻治比賣神正五位上ニ○在ニ別府島ニ[類史]十延曆十八年五月丙辰前遣ニ渤海使外從五位下內藏宿禰賀茂麻呂等ニ言歸レ鄉之日海中夜暗東西掣曳不レ識レ所レ著于レ時火光ニ尋ニ逐其光ニ忽到ニ嶋濱ニ訪レ之是隱岐國知夫郡遠有ニ其處無ニ人居ニ或云比奈麻呂比賣神常有ニ靈驗ニ商賈之輩漂ニ宕海中ニ必揚ニ火光ニ賴レ之得レ全者不レ可ニ勝數ニ神之依助良可ニ嘉報ニ伏望奉レ預ニ幣例ニ許レ之[諸社一覽]离火社ノ知夫郡嶋前ニ在リ此社ヲ离火ト稱シ奉ル事往還ノ船暗夜ノ比惡風ニ逢テ此社ヲ祈

石塔鬼王帝釋天王國社神

「三實」元慶二年九月十六日石見國石塔鬼王帝釋天王國社神從五位下

榲尾國神　常世國社神

「三實」元慶四年二月八日石見國榲尾國神常世國社神並從五位下

補

靜權現

見二附考卷一二十二右

神名帳考證　四十四

延喜式卷第十之廿三　山陰道第八

隱岐國十六座

大四座

小十二座

知夫郡七座 大一座 小六座

「和鈔」知夫

由良比女神社 名神大元名和多須神

「續後紀」承和九年九月乙巳隱岐國知夫郡由良比女命預二官社一「和鈔」知夫郡由良〇今在二薄子浦山岬一號二由良明澀海一知者稀「袖中抄」貫之ノ歌トテ「ゆくけふもかへらんときも玉ほこのちふりの神をいのれとぞおもふ」「わたつみのちふりの神に手向するぬさのおひ風やます吹なむ」隱岐國にこそちふり崎といふ處にわたすの宮といふ神はおはすなれ舟わたすと

菅野天射若子命神社

[姓氏]菅野朝臣出レ自二百濟國都慕王十世孫貴首王一

佐毗賣山神社

染羽天石勝命神社

○額田部祖神[姓氏]天津彦根命子彦稻勝命又云額田部連天津彦根命三世孫意富伊我都命之後也○[續紀]神護景雲二年二月癸未石見國美濃郡人額田部蘇提賣節義著聞

櫛代賀姫命神社

○代ハ押叉忍歟[書紀]孝靈紀押媛蓋大足彦國押人命之女乎[古事記]大倭帶日子國押人天皇娶二姪忍鹿比賣命一生御子[姓氏]櫛代造大足彦國押人命之後也○信友按ニカクアルニヨリテ忍ノ字ヲ補ヒテ忍賀姫トスベキニヤ但忍トイヘル地名ナラムニハハブキテ鹿ヒメトモ稱スベキ也又賀ハ加具ノ二字カ鹿ヲカグトモヨメバ忍加具姫ヲ忍ヲハブキタルカ忍ハオホシニテタ、ヘ名ナランニハ省キテモマヲスベキ也

小野天大神之多初阿豆委居命神社

○神ハ押カ[古事記]天押帶日子命者小野臣之祖也[和鈔]小野乃○信友按ニ神ハ押ノ誤之ハ轉倒初ハ良ノ誤ナルベシ良ヲ初ト誤ルベシサラバ天大多良志云々ト唱ヘテ小野櫛代ノ姓ニ由アリテキコユ又按ニ良ヲ卽ト書ナシタルヲ部ニアヤマリタルニカシカラバ小野天大押多良之ナリ

式外舊社

府中神

[三實]貞觀十二年四月三日石見國府中神從五位下○同十七年十月十日石見國府中神從五位上○元慶三年九月四日石見國府中神正五位下

石神

[三實]貞觀十六年九月八日石見國上言石神一自二出雲國一來是日並授二從五位下一

名鈔」郷名考ニ云ヘリ

大祭天石門彥神社

○信友云當國ニテ那賀郡ノ内濱田近所ニ三宮ト云フ社アリヤ、大ナル社也祭神ハ諏訪也ト云リ此社即式内大祭天石門彥神社也ト云ヘドモ慥ナラズ

大飯彥命神社

「三實」貞觀十一年十二月朔大飯神授ニ從五位上ニ

櫛色天蘿筒彥命神社

○天足彥國押人命子彥姥津命(古)作ニ比古意祁豆命ニ按古介意祁音通「姓氏」櫛代造天足彥國押人命之後也○今久代村ト云フアリ下ニモ櫛代賀姫命神社アリ信友

大歳神社

「三實」貞觀十三年四月三日授ニ從五位下ニ

山邊神社

「舊事紀」建麻利尼命山邊縣主等祖

夜須神社

邑智郡三座 並小

天津神社

「古事記」今津日子根命額田部湯坐連等之祖也

田立建埋根命神社

「舊事紀」尾張氏建麻利根命石作連桑内連山邊縣主等祖「姓氏」火明命六世孫建眞利根命○田立ハ地名歟可レ考埋ハウヅモリウマリナドモ訓ベシタケマリ子ノ命ナルベシ信友

大原神社

「三實」貞觀十三年四月三日授ニ從五位下大原神從五位上ニ「舊事紀」尾張大原足尼命置部與曾命之子

美濃郡五座 並小

「文實」齊衡元年石見國美濃郡大檜領前淡海麻呂叙ニ正六位上ニ「姓氏」檜前忌寸阿智王之後

國分寺霹靂ノ神社

[三實]貞觀十一年十二月朔國分寺霹靂神從五位上
○元慶三年九月四日授二國分寺霹靂神正五位下一

那賀郡十一座並小

[三實]貞觀九年十月三日戊辰石見國那賀郡权大領外從八位上村部岑雄外少初位上村部福雄復二本姓久米連一

多鳩神社

○尾張國伊多波刀神社[本國帳]作二板鳩一○當國ニテ此社ヲ二宮ト云フ又二宮大明神トモ云御朱印三十石

津門神社

○信友云俗ニ十羅刹ト云フ社傳ニハ天鈿命ト申ス吉田家ニテハ田心姫也ト云ヘリ城下ヨリ三里バカリアリ海邊ノ山上ニアリ[姓氏]津門首櫟井臣同米餅搗大使主命之後也又云天足彦國押人命六世孫米餅搗大使主命

伊甘神社

[三實]貞觀十一年十二月朔石見國從五位下勳七等伊甘神從五位上○同十七年授二從五位上勳七等伊甘神正五位下一○元慶三年九月四日授二正五位下勳七等伊甘神正五位上一[姓氏]猪甘首天足彦國押人命之後也[和鈔]伊甘伊加無

大麻山神社

○國人小篠敏曰今國人ハタイマト云ヘドモ在中處々ニテハオワサ樣ト云ヘリオホアサノ訛ニテ正シキ唱ニ近シト云ヘリ

石見天豐足柄姬命神社

[書紀]孝昭天皇立二世襲足媛一爲二皇后一生二天彦國押人命一[和鈔]石見鄉○信友云俗ニ石神明神ト云フ濱田城下家老岡田求馬ノ屋敷ノ内ニアリ○那賀郡ハ濱田城下近邊ニテ山海モアリテ廣ク且嶮岨ノ地ナリサテ濱田ノ城近邊ハ古ノ石見鄉也此神名ノ石見ハ鄉名ヲ稱スナルベシナホ石見鄉ノ事ハ[和

金原氏也石見國造ト云フ當國ニテ物部神社ヲ一宮ト云ヒ多鳩神社ヲ二宮ト云フ濱田ノ邊ニ三宮ト云フ社モアリトゾ○篤胤云金原トハイハズ金子ト云フトゾ

苅田神社

○若狹國苅田比古苅田賣神社

刺鹿神社

○丹波國何鹿郡佐須我神社「和鈔」刺鹿

朝倉彦命神社

新具蘇姫命神社

邇幣姫神社（幣イ）

「釋紀」播磨風土記國堅大神之子爾保都比賣命

佐比賣山神社

「出雲風土記」飯石郡佐比賣山郡家正西五十一里一百四十歩石見與二出雲一二國堺

野井神社

靜間神社

○但馬國志都美神社

神邊神社

邇摩郡五座 並小

「三實」四十九 邇摩郡大領伊福部直安道

城上神社

○大森ニアリ大森大明神ト云フ

山邊八代姫命神社

○篤胤云今唱ヤマベヤシロ

霹靂神社

○篤胤云今唱ビヤクラク「三實」貞觀十三年四月三日石見國霹靂神從五位下「書紀」推古紀二十六年安藝國霹靂木

水上神社

天穂日命神預ニ官社ニ「神代紀」當レ主ニ汝祭祀ー者天穂日命是也

式外舊社

與都彦命

○久老云(文實)仁壽元年九月乙酉出雲國與都彦命授ニ從五位下ー

阿式神

「三實」貞観七年十月廿八日出雲國阿式神從五位上下カ同十三年出雲國阿式神温沼神從五位上

温沼神

「三實」貞観十年九月廿一日出雲國正六位上温沼神從五位下○同十三年十一月十日出雲國阿式神温沼神從五位上

神名帳考證　四十三

延喜式巻第十之廿二　山陰道第七

石見國卅四座並小

安濃郡十座並小

物部（モノノヘノ）神社

「三實」貞観十一年三月廿二日石見國從五位上物部神正五位下○同十七年十月十日授ニ正五位下物部神正五位上ー○元慶三年九月四日授ニ正五位上物部神從四位下ー「日本紀略」元慶四年十一月十九日奉レ授ニ石見國從四位下物部神從四位上ー「續後紀」承和四年在ニ石見國五ケ郡中ー神惣十五社始預ニ官社ー以下應ニ吏民之禱ー久救中旱疫之災上也其神名具在ニ神祇官帳ー「一宮記」宇麻志間知命○在ニ川合郷ー○精古按和論語第一卷云石見國物部大明神御詠歌モロ人ノ心キヨクハ吾モ亦カゲヲウツシテ常ニアタラン○信友云一宮也河合村ニアリ御朱印三百石余神主ハ河合國造ト云此社ハ銀山領内也河合國造姓ハ物部ニテ

「風」矢口社今斐伊郷中有二八本杉一在二中八口社一

御代神社

○御代村簸川邊也

布須神社

○在二宇谷村一

斐伊神社

「三實」貞觀十年九月廿一日斐伊神從五位下○同十三年十一月十日授二從五位下斐伊神從五位上一「書紀」神代紀素戔烏尊自レ天而降到二於出雲國簸之川上一又素戔烏尊自二左足中一化二生熯之速日命一「風」樋社トアリ又云非伊郷屬二郡家一樋速日命坐二此處一故云レ樋○在二非伊郷二「和鈔」斐甲トアルハ斐伊ノ誤

同社ニ坐ス斐伊波夜比古神社

「風」樋速日子命ノ事上ニ引

來次神社

「風」支須支神社「和鈔」來次

加多神社

○伊豆國阿米加多比咩神社

佐世神社

○在二佐世村一「風」佐世郷郡家正東九里二百歩古老傳云須佐能袁命佐世乃木葉頭刺而踊躍爲時所レ刺佐世木葉墮レ地故云二佐世一

西利太神社

「風」作二世理陀社一

海潮神社

○在二海潮郷一乎「風」得鹽○信友云(和鈔)ニ潮海ト倒置セリ

能義郡一座小

天穗日命神社

「文實」仁壽元年九月乙酉天穗日命神授二從五位下一

「同」天安元年六月丙寅朔甲申在二出雲國一從五位下

〔風〕飯石郡家正東一十二里伊毘志都幣命天降坐處故云二伊鼻志一〔和鈔〕飯石

須佐神社

〔風〕須佐郷郡家正西一十九里神須佐能袁命詔此國者雖二小國一國處在故我御名者非レ著二木石一詔而卽己命之御魂鎭置給之處然卽大須佐田小須佐田定給故云二須佐一〔和抄〕須佐

川邊神社

○川午村河邊也

仁多郡二座並小

伊我多氣神社

〔杵築社記〕五十猛神曰二伊賀多氣大明神一是也

三澤神社

〔三實〕貞觀十三年十一月十日從五位上御澤神正五位下〔小朝熊鏡沙汰文〕小槻廣房勘文永保三年閏六月十五日出雲國司言上云鎭守水澤明神御正體失御坐者同月廿日宣旨云宜下仰二國司一祈請上重經言上

○在二三澤村一〔和鈔〕三澤

大原郡十三座並小

宇能遲神社

〔風〕海潮郷郡家正東一十六里卅三步古老傳云宇能治比古命恨二御祖須義禰命一而北方出雲海潮押上漂二御祖之神一此海潮至故云二得鹽一○在二宇谷村一

同社二坐ス須義彌神社

○按美〔風土記〕作レ義爲レ得禰作レ彌非也○能登國神杉伊豆牟比呼神社

神原神社

○在二神原村一〔書紀〕崇神紀六十年秋七月紀及垂仁紀廿六年八月紀ヲ引ベシ〔風〕神原郷西北九里古老傳云所レ造二天下一大神之御財積置給處也則可レ謂二神財郷一而今人猶誤故云二神原號一耳〔和鈔〕神原

八口神社

富能加(フノカノ)神社 保風

・[古事記]本牟智和氣御子到ニ於出雲ニ一宿婚ニ肥長比賣ニ○比倍原村平

鹽冶比古(エヤヒコノ)神社

[風]鹽冶郷阿遲須枳高彦命御子鹽冶比古能命坐之故云ニ止屋ニ神龜三年改ニ字鹽冶ニ

鹽冶比古麻由彌能(エヤヒコマユミノ)神社

比那(ヒナノ)神社

○肥長姫○隱岐國北奈麻治比賣命神社

阿須利(アスリノ)神社

神彦魂命子午日命(カンヒコタマノコノ)神社 斉イ 邑日女

○信友云一本及[風]ニ神彦魂命子邑日女命トアリ

[風]神魂命御子眞玉著玉之邑日女命

鹽冶日子命御子燒太刀・天穗日子命(エヤヒコノミコヤキタチホヒコノ)神社 ・火守

○信友云一本ニ燒太刀大穗日云々又一本ニ火穗日又一本燒太刀火守天穗日子命トモアリ此社今モ小モリノ神社ト云フ○波伯部百木云一本火守トアルニヨリテヒマモリト稱スベキニヤ今モ出雲國造ハ火也其火ハ天上ノ火ニテ神代ヨリ今ニタキ傳ヘタ別リトゾ此故ニ火守ノ天穗日命ノ兒ト云フ事ナルベシ又燒太刀ハ(萬葉)廿ニ夜伎多知能刀其已呂毛安禮波○大祓詞ニ燒鎌ノ敏鎌云々ナド枕詞ニ用タリ○信友又云(伊呂波字類抄)火炎(ホモリ)神社トアリ[萬葉]四燒大刀乃隔付事者

飯石(イヒシノ)郡五座 並小

三屋(ミトヤノ)神社

[風]御門屋社水門神速秋津日命○在ニ美止也村ニ河邊也[和鈔]三屋

多倍(タヘノ)神社

○多牟部村○信友云(和鈔)ニ田井郷アリ(風)多位社異本ニハ多倍社トアリ(鈔)ニ多倍社ハ須佐郷反部(タンベ)村ニアリト云ヘリナホ考證スベシ

飯石(カヒシノ)神社

孫室屋大連公之後也同佐伯直景行天皇々子稲背入彦命之後也

智伊神社

○今云知伊乃宮村「風」知乃社「三實」貞観十年九月廿一日出雲國智伊神從五位下○同十三年十一月十日出雲國智伊神從五位上

比布智神社

○比女須村○日淵

同社坐神魂子角魂神社

「姓氏」鳥取部連角凝魂命三世孫天湯河桁命之後也

「姓氏」角凝魂命角凝命アリ此神ナルベシ

朝山神社

「風」朝山鄉郡家南東五里五十六歩神魂命子眞玉著玉之邑日女命坐之爾時所レ造二天下一大神大穴持命娶給而毎朝通坐故云二朝山一「和鈔」朝山

阿利神社

「書紀」垂仁紀都怒我阿羅斯等亦名曰二于斯岐阿利叱智于岐一自二北海一廻レ之經二出雲國一

同社ニ坐加利比賣神社

「儀式帳」伊加利比賣命

八野神社

「風」八野鄉須佐能袁命御子八野若日女命坐爾時所レ造二天下一大神大穴持命將レ娶給爲而令レ道レ屋給故云二八野一「萬葉」十妻隱矢野神山露霜爾々寶比始散卷惜「和鈔」八野○屋野村

大山神社

○大山村

久奈爲神社

○播磨國古奈爲神社

鹽沼神社

「風」夜牟夜社「和鈔」鹽沼トアルハ誤　信友

阿吾神社 具風

[書紀]雄略紀十七年詔ニ土師連等一使レ進下應レ盛ニ朝夕御膳一淸器上者於是土師連祖吾笥仍進ニ私民部一○阿久村屬ニ神門郡一

神門郡廿七座 並小

彌久賀神社

阿彌神社

佐志武神社

[舊事紀]孝靈皇子彥狹島命海直等祖○在ニ佐須美村一海濱也

多伎藝神社

[風]多支枳社

多伎神社

[風]多伎鄉所レ造ニ天下一大神之御子阿陀加夜努志多伎吉比賣命坐之故云ニ多伎一 神龜三年改ニ名多伎一 ○奥田儀村

中田儀村已上有ニ三ヶ村一

同社大穴持神社

國村神社

○久武良村海邊田儀東

那賣佐神社

○佐ハ佐[風]滑狹鄉郡家南西八里須佐能袁命御子和加須世理比賣命坐爾時所レ造ニ天下一大神娶而通時彼社之前有ニ磐石一其上甚滑也郎詔滑磐石哉詔故云ニ南佐一[社記]所レ謂磐石者在ニ神西村(郡カ)岩坪山一岩坪村明神高倉明神是則祭ニ大穴持命與ニ須世理比賣命一式內奈賣佐兩社是也

同社坐和加須西利比賣神社

[舊事社]須勢理姬神大三輪大神嫡后也○隱岐國知夫郡由良比女神社可ニ合見一

佐伯神社

○古志村[風]波加佐社[姓氏]佐伯宿禰道臣命七世

鳥屋神社

[書紀]神代紀爲レ汝往來遊レ海之具天鳥船亦將ニ供造一

○鳥屋村

神代神社

曾只能夜神社

[風]神名火山郡家東方曾伎能夜社坐伎比佐加美高日子命社卽在ニ此山嶺一故云ニ神名火山ニ[古事記]出雲國造之祖名岐比佐都美

同社韓國伊太氏奉神社

伊佐賀神社

文武神社

[風]久武神社○一本久父神社○氷室村

加毛利神社

[姓氏]掃守連　振魂命四世孫天忍人命之後也云々

[古語拾遺]天忍人命供奉陪侍作レ帚掃レ蟹仍賞ニ鋪設一

御井神社

[舊事紀]大己貴神娶ニ稲羽八上姫一生兒御井神

伊甚神社

按(國造本紀)出雲國造天穂日命子孫伊許保止命孫伊巳呂止直定ニ賜國造一今伊自見村三社明神此也意宇出雲兩郡境也社司曰稲扶持命[風]伊昆志都幣命

波知神社

○伊豆國波知神社○百木云(風土記)ニ波加トアリ但シ異本ニ波知マタ波加トアリ(風土記抄)ニハ波加社トカケリ今抄ニヨリテ波加トアルニ據ルベシ又按ニ(風土記)ニ波禰社アリ異本ニ波禰トアリ鈔ニ建部郷羽村ニ此社アリト云ヘレバ波禰トアルハ誤也サテ此社神祇官ニ在ト見エタレバ此波知ハ波禰ノ誤トスベケレドモ知ト禰ト字ノ混フベクモアラヌバナホ波加ナルベシ

立虫神社

同社比賣遲神社
縣神社
同社和加布都努志神社
[風]和加布都努志命引レ上
印波神社
[風]伊波社
都武自神社
○速飄別命
宇加神社
[古事記]須佐之命謂ニ大穴牟遲神一曰其我之女須勢理毗賣爲ニ嫡妻一而於ニ宇迦能山之山本一於ニ底津石根一宮柱布刀斯理於ニ高天原一氷椽多迦斯理而居云々○今云宇加山者杵築社坐山名也宇加村奥宇加村
[和鈔]宇賀
美努麻神社

○阿波國天水沼間比古神
布勢神社
意保美神社
出雲神社
[大社志]素鵞社即出雲社也本社七尺間二間四方氏社ニ宇三十八社　釜社　杵那都枝 有レ壇無レ社諸神築ニ大社一時會聚之地 祓社　涼殿 有レ壇無レ社所レ載ニ名所集一出雲森是也 命主社　出雲井社　御歳社　乙見社　大歳社　離宮社　稻佐社　湊社　鷺社　阿式社[國造本紀]國造瑞籬朝以ニ天穂日命十一世孫宇迦都久怒一定ニ賜國造一[和鈔]出雲
同社韓國伊太氏神社
斐代神社
[風]斐提神社○比佐伎村
韓竈神社
[風]韓銍神社説文銍穫レ禾短鎌也○韓川村

御碕神社

○日御崎［風］出雲御崎山所レ造二天下一之大神社坐也［懐橘談］下日御崎ノ條云鐘樓ニ上リテ見レバ羅浮子ノ書レタル銘アリ其銘ニ云天暦帝深崇二此宮一加二賜日字一號二日御崎一云々トアリ

因佐神社

［風］伊奈佐［書紀］神代紀五十田狹之小汀［古事記］伊那佐之小濱［杵築社記］國司藤原家任日記云天仁二年七月四日大木寄二稻佐浦一五十田狹小汀是也

久佐加神社

同社大穴持海代日古神社

同社大穴持海代日女神社

伊努神社

［舊事紀］大歳神先娶二須沼比神女伊努姫一爲レ妻生レ兒［風］伊努郷郡家正北八里七十二歩國引坐意美豆努命御子赤衾伊努意保須美比古佐倭氣能命之祖坐二郷中一故云二伊努一［和鈔］伊努○信友云伊勢トアルハ誤○今云伊乃女村海邊ナリ

同社神魂伊豆乃賣神社

同社神魂神社

同社比古佐和氣神社

意布伎神社

［古事記］大宜都比賣

都我利神社

［出雲臣譜］伊佐我命子津狹命狹當レ作レ狩

伊佐波神社

○伊佐波登美命○今在二東林木村北山之下平地一其後山前野小社向レ南此地今云二栖縫一

美談神社

［風］美談郷所レ造二天下一太神郎子和加布都努志命天地初判之後天御領田之長供奉坐レ之郎彼神坐二郷中一故云二三太三一○今云ミタミ村東林木村之東也

居顛倒材木上ニ仍禰宜等爲レ奉レ移ニ假殿ニ奉禮件宮五寸許不レ及仍搆レ路立雖レ奉レ取常五寸許不レ及仍禰宜等度々忽沐浴禊齋深致レ愼奉レ取奉レ移ニ假殿ニ了閏十月十五日己未依ニ出雲杵築社顛倒ニ於レ陣被レ定ニ御祈使ニ云々先レ是仰ニ神祇官ニ令レ差ニ可レ使祐一人卜部一人ニ爲レ使云々剋限召ニ使於膝突ニ給宣命使於ニ左衛門陣外ニ請ニ御幣等ニ進發云々杵築社幷具社十八社幣也

同社神韓國伊太氐神社

同社天若日子神社

同社須佐表神社

［書紀］神代紀天國玉之子天稚彥

同社神魂意保刀目神社

○一本目作レ自(秘釋)作レ目非○伊勢國田水代大刀自神社

同社神阿須伎神社

○越前國須波阿須疑神社

同社神伊佐那伎神社

同社神阿麻能比奈等理神社

○天日名鳥命者天穗日命子也［書紀］崇神紀六十年秋七月丙申朔己酉詔ニ群臣ニ曰武日照命一云武夷鳥又云天夷鳥從レ天將ニ來神寶ニ藏ニ于出雲大神宮ニ是欲レ見焉則遣ニ矢田部造遠祖武諸隅命ニ而使レ獻

同社神伊佐我神社

○伊佐我命者天日名鳥命之子而出雲國造之祖神也

同社阿庭須伎神社

○庭者遲［文實］仁壽元年九月乙酉殊擢ニ出雲國阿遲須伎高彥根命ニ授ニ從五位下ニ［書紀］神代紀天稚彥在ニ葦原中國ニ也與ニ味耜高彥根神ニ友善

禰案ルニ阿庭須伎ノ庭ハチノ假字ニツカヒシナリ遲ノ誤字ト思フコトナカレ帝薙ナドヲチトヨムト同格ナリ(漢靈音圖)ニテイノ漢次音チトアルヲモミルベシ

同天若日子神社

千家ノ說大社ハ云々ノ五神ヲモトヨリ大國主ノ祭祀ラレタルヲ大國主コノ國ヲ皇孫ヘ避給ヘル時大國主ニ代リテ天保比命ニ祭ルベシトアリシニ祭レル也故ニ天神五座ハ正面ニテ大國主ハ西面ニ脇座ナリ（神代紀）一書ニ下ノ十三丁オ當レ主ニ汝祭祀一者天穗日命是也トアルハ大國主ニカハリテ主ニ祭祀一者天穗日命ナリト云フ事ナリトイヘリ

同社大神大后神社

〔書紀〕神代紀一書所レ出高皇產靈尊女三穗津姬也

同社坐伊能知比賣神社

同社神魂御子神社

〔古事記〕神產巢日神之御子少名毗古那神大穴牟遲與ニ少名毗古那ニ二柱神相並作ニ堅此國一

同社神魂伊能知奴志神社

〔舊事紀〕大己貴神於レ石所ニ燒著一而死矣爾其御祖命哭患而參ニ上于天一請ニ神皇產靈尊一

同社神大穴持御子神社

〔書紀〕事代主神遊云々事代主神謂ニ使者一曰今天神有ニ此借問之勅一我父宜當レ奉レ避吾亦不レ可レ違

同社大穴持伊那西波伎神社

〔書紀〕故以ニ熊野諸手船一載ニ使者稻背脛一遣レ之〔後撰〕いなせともいひはなたれそうきものは身を心ともせぬ世なりけり

同社大穴持御子玉江ノ神社

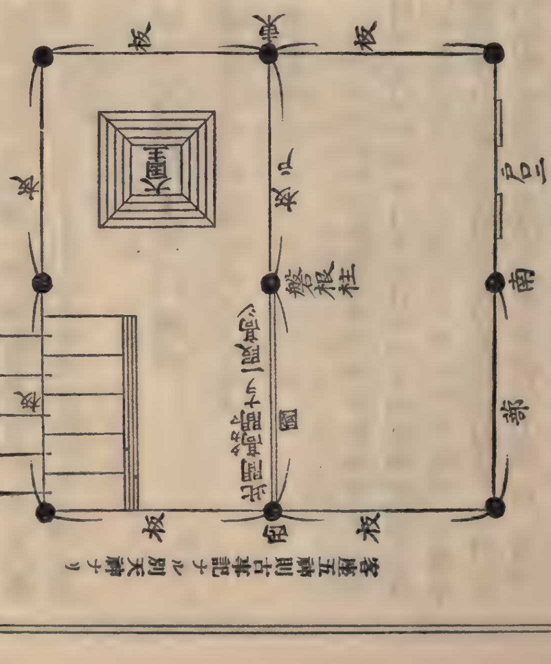
〔國造神賀詞〕靑玉能水江玉乃行相留

阿須伎神社

○按阿須伎社阿吾也復伎素鵝也在ニ杵築社東一〔左經記〕長元四年十月十七日辛卯今朝頭辨於ニ殿上一被レ示云出雲國杵築社無レ風顚倒之由奉ニ國解一守俊孝朝臣語云兼兩三度有レ光次震動顚倒材木一向自レ中倒臥唯乾角柱一本不レ倒此社中以ニ七寶一作ニ寶殿一安ニ置七寶宮於寶殿中一是稱ニ御正體一云而其宮露ニ

産巣日御祖命之登陁流天之新巢之凝烟八拳垂摩弖燒擧地下者於ニ底津石根ニ燒凝而云々トアル古事ニ由アリテ神魂神社ニ如ク此新嘗ノ時鑽レル火ヲ國造ニ授クルナルベシシカレバ其神ハカナラズ櫛八玉命ノ裔ナルベキ也猶尋ヌベキ事也又云此事(紀傳)十四ノ逐考ニアリ考合スベシ○大社志造營事實齋明五年七月云々長元九年云々治暦三年云々永久三年云々康治元年云々久安元年云々安元元年云々建久元年云々嘉祿三年云々寶治二年云々弘安五年云々此後至ニ慶長ニ以ニ假殿式ニ造營十余度寛文七年三月晦遷宮家綱公賜ニ鈞旨ニ造營制依ニ正殿式ニ（正殿式ノ本殿ハ下ニ記）假殿式本殿高六丈六尺方五間云々齋明以前從ニ天神之制法ニ齋明之時定正殿式後世以不ニ則ニ其制ニ謂ニ假殿ニ（○印ハ假殿式ナリ）大永天文ノ比國主尼子經久兩部習合ノ說ヲ信シ佛堂ヲ建寛文七年ヨリコトゴトク廢ス康永二癸未年國造清孝（自ニ穗日命ニ至レ是四十九代系圖別記）其子有ニ二子ニ（孝宗貞孝）貞孝從レ此爲ニ兩國造ニ孝宗者千家之祖至ニ直治ニ十六代貞孝者北島之祖至ニ兼孝ニ十二代從ニ康永二年ニ至ニ今天和二年ニ三百四十年

柱九本六間四面　國造千家清主話



客座五神則古事記ナル別天神ナリ

此御千家ノ說ニテハ大國主ノ神ト云フ

レ造二天下一大神之宮將奉與二諸皇神等一參二集宮處一杵築故云二寸付（キツキ）一神龜元年改二字杵築一「神祇令義解」地祇者出雲大汝神等之類也「古事記」坐二出雲之石硐之曾宮一葦原色許男大神以伊都久之税大廷云々「行成記」長德元年十月六日出雲國言上云――兩神致齊廢務之間不レ能レ糺二定犯人等一云々○後一條天皇長元四年八月十三日出雲國杵築社顚倒十月十七日出雲國言上去八月十三日子刻杵築社無レ故顚倒之由或曰閏十月三日有二御卜一兵革疫疾者寶殿中奉二納御正體宮一頗出レ自二寶殿御座一顚二倒大殿上一云々「扶桑見聞私記」四十四文治二年五月三日出雲國杵築大社惣撿校職之事停二止出雲則房一以二同資忠一令二計補一給同十五文治五年六月十五日出雲國杵築大社神主資忠ト云者此程參二向鎌倉一而モ御立願ノ事有ニ依テ本社ニ令二歸參一可レ抽二丹誠一之由被二仰含一之間今日上道ス被レ付二神馬一匹一號二澤井黑一御厩ノ馬也ト云

○信友云（和鈔）許筑トアルハ杵築ノ誤リ「大社志」本社高八丈濶六間四方檐四方各一間半天井畫レ雲

○客座五神　御向社　筑紫社　天前社　門神社二字

○井厨宇事實　御手洗井六月朔同月廿八日有レ祭御饌井用二調御供一眞名井神爲二國造飲食常用之水一供祭所在二本社左右一玉垣東西十九間南北二十三間○神厩舍銅馬大與二常馬一略同京師釜屋彌七作レ之會二其妻方娠一彌七以レ遇二產火忌一鑄冶後期深爲レ憂旣就レ功畢妻尋誕レ子時經二十三月一人異焉云々○祭禮年中行事信友今略書ス○正月元日大御供引二進神馬一二日飛馬神事自二晦夜一至二此夜一國造及上官齋二宿廳舍一○二月朔日千度詣○七月四日身逃（ミニグ）兩國造出二舍于外一所レ謂身逃神事者此夜忌火職上官行二深秘神事一五日爪剝（ツマムキ）是日國造捧二今年稻穗爪茄子等七種供二神事一○十月朔日祭二杵那都岐一十七日夜　神等去出（カラサデノ）神事自二十一日一至二十七日一爲二神在（カミアリ）齋一國造及上官齋二宿廳舍一例不レ設二歌舞一不レ張二樂器一宮庭不レ掃第宅不レ營不二春杵相一不二巷歌一務事靜密齋日之間錦紋之小蛇出二杵築之海汀一號二之龍蛇一長尺餘具二大社之紋龜甲一廿六日夜　神等去出神事○十一月中卯日新嘗會兩國造詣二神魂社一行レ之國造自レ是始食二新穀一○信友云宇津宮神司中里詮篤（ヨシノリ）話此時神魂社稱二大庭社一神主檜木ヲモミテ清火ヲトリ國造ヘワタス式アリ其式ノ時ケイ〳〵ゴロモニケイゴロモト唱アル事アリト彼神主ノ家ノ人ニ慥ニ聞タリコレ古例也ト云ヘリト語レリ信友按ニ（古事記）大國主神國避ノ章ナル櫛八玉神ノ祝詞ニ是ノ我所レ燧火者於二高天原一者神

〔風〕玖潭郷所﹅造二天下一大神命波夜佐雨久多美乃山詔故云二忽美一○在二久多美村一○意宇郡久多彌神社

佐香神社

〔風〕佐香郷佐香河内百八十神等集坐御厨立給與今釀酒給之故云二佐香一

宇美神社

○鹽津村

多久神社

○在二多久村一

御津神社

〔書紀〕神代紀事代王射﹅鳥遨遊在二三津之崎一○御津村

能呂志神社

〔風〕乃利斯社○島根郡法吉神社同歟

許豆神社

〔風〕許豆島許豆濱出雲與二楯縫一二郡之堺○古豆村

許豆神社

水神社

出雲郡五十八座大一座小五十七座

大穴持神社

杵築大社名神大

〔文實〕仁壽元年九月庚午朔乙酉特擢二出雲國杵築熊野兩大神一並加二從三位一〔三實〕貞觀元年正月廿七日出雲國勳八等杵築神正三位○同年五月廿八日正三位勳八等杵築神從二位○同九年四月八日從二位勳八等杵築神正二位○信友云鎭座ノ事(古事記)(神代紀)等ニアリ〔釋紀〕杵築大社者鎭素戔烏尊大己貴神父子之鎭坐也又云其社之制作高大也世號二之出雲大社一〔舊事紀〕洗二御鼻一之時所﹅成之神名建速素戔烏尊坐二出雲國熊野杵築神宮一矣〔風〕杵築郡家西北廿八里六十歩八束水臣津命之國引給之後所

步又周四里所ㇾ謂佐太大神社卽彼山下之足日山云云无ニ樹林ㇾ但上頭有ニ樹林ㇾ此則神社也又云加賀神崎卽有ㇾ窟所ㇾ謂佐太大神之所ニ產生ㇾ處也產生臨ㇾ時弓箭亡坐爾ㇾ時御祖神魂命御子枳佐加地賣命願吾御子麻須羅神御子坐者所ㇾ亡弓箭出來願坐社司勝部氏說云秋鹿郡佐田大社和伊舍那美尊也神代乃昔功既遂成給氐後無上月十日阿麻利六日神避ニ賜布宮地諸此國能足日山乃麓似ㇾ

宇多紀神社

○加多久村乎

大井神社

○井之浦歟

日田神社

［風］比多社

御井神社

［舊事紀］大己貴神娶ニ稻村八上姬ㇾ生兒御井神

內神社

○大和國宇智神社

垂水神社

惠曇神社

［風］惠曇鄉郡家東北九里四十步須佐能乎命御子磐坂日子命國巡行坐時至ニ坐此處ㇾ而詔此處者國稚美好有ニ國形ㇾ如ニ畫鞆ㇾ哉吾之宮者是處造事者詔故云ニ惠伴ㇾ○信友云（同書）ニ惠杼毛トモアリ［風］畫鞆神龜三年改ニ惠曇ㇾ

許曾志神社

○古曾志村

大野津神社

［姓氏］大野朝臣○大野村

玖潭神社

楯縫郡九座並小

○東河津村西河津村

長見神社

○長海村［風］長見川

門江神社

○今云加多倍村歟北海邊也

横田神社

加賀神社

○今云加賀潛戸［風］加賀神崎窟［和鈔］賀知○信友按［和鈔］賀知トアルハ此加賀ヲ誤レルナラン

爾佐神社

［續後紀］十七 近江國俘囚爾散南公延多孝［風］美佐島是乎

爾佐能加志能爲神社

法吉神社

［風］法吉郷郡家正西二百卅歩神魂命御子宇武賀比賣命法吉鳥化而飛來靜二坐此處一故云二法吉一○今ホツキ村

生馬神社

○左馬寮生馬神○在二生馬村一［和鈔］生馬

美保神社

［書紀］神代紀 高皇産靈尊云々今以二吾汝三穗津姫一配レ汝爲レ妻［風］美保郡家正東廿七里一百六十四歩所レ造二天下一大神命娶二高志國坐神意支都久辰均命子奴奈宜置波比賣命一而令レ産神御穗須々美命是神坐故云二三保一

頭注當社一年神主事載二附考一十一右

秋鹿郡十座並小

佐陀神社

［三實］貞觀元年七月十一日出雲國從五位下佐陀神授二正五位下一○同九年四月八日正五位下佐陀神正五位上○同十三年十一月十日佐陀神從四位下［風］佐太御子社又云神名大山郡家正東北九里卅歩高卅

阿陀加倍村ニ

同社ニ坐ス御譯神社

「文實」仁壽元年九月丁酉御譯命授ニ從五位下ニ「三實」貞觀七年十月廿八日御譯神授ニ從五位上ニ

市原神社

○能義郡石原村此乎古意宇郡歟

由貴神社

「舊事紀」彦湯支命

勝日神社

○阿陀比倍村歟郡東也

勝日高守神社

「風」加豆比

田面神社

○植田村今屬ニ能義郡ニ「風」多乃毛

久米神社

「出雲國神名帳」久末

島根郡十四座並小

布自伎美神社

「風」布自枳美高山郡家正南七里二百一十歩○和久美村乎（和名）千酌「續紀」神護景雲二年八月出雲國島根郡人外從六位上神掃石 公文麻呂等賜ニ姓大神掃石朝臣ニ

多氣神社

○仁多郡伊我多氣神社○新校云多久鄕（和名）拷島（風土）久與レ氣通是乎（三實）作ニ埴生女屋神ニ○阿波國建島女祖命神社○多古村歟

久良彌神社

「風」椋見社「舊事紀」大御氣持命出雲鞍山祇姫爲レ妻按大氣持命火田々彌古命子也○小倉村

同社ニ坐ス波夜都武自神社

河上神社

津醜女也共以二黄泉之神一筑陽神社列二揖夜神社之後一[風]調屋社同社以上卅八所置[和鈔]筑陽

同社ニ坐ス波夜都武自和氣神社

[文實]仁壽元年九月乙酉速飄別命授二従五位下一

[舊事紀]饒速日尊既神損去坐矣不レ復二上天一之時高皇產靈詔二速飄神一曰云々于レ時速日命奉レ勅降來當見二神損去坐一即反上復命云々高皇產靈以為二哀泣一即使二速一命一命以將レ上二於天上一

山狹神社

〇今云山佐村屬二能美郡一而熊野村東南也〇以二長寛勘文初天地本義一而考下證於二熊野一坐神社之下上

同社坐久志美氣濃神社

[國造神賀詞]出雲國乃青垣山内云々坐須伊射那伎乃日眞名子加夫呂伎熊野大神櫛御氣野命云々

布辨神社

〇今云布部村屬二能義郡一

都辨志呂野神社

野城神社

[風]能義郡野城驛郡家正東廿里八十歩依野城大神坐故云二野城一〇今云野木村海邊也〇能義郡天穂日命神社

同社ニ坐大穴持ノ神社

同社ニ坐大穴持ノ御子神社

佐久多神社

同社ニ坐韓國伊太氏神社

志保美神社

[書紀]熊野忍踏命按志保美神忍踏歟志忍之略保美與レ踏言通

意多伎神社

[風]所レ造二天下一大神之御子阿陀加夜努志多伎比賣命坐之故云二多吉一云々〇神門郡多伎神社〇在二

俗人曰二神湯一也[臨時祭式]凡出雲國所レ進御富岐玉六十連令下二意宇郡神戶玉作氏一造備上[和鈔]意宇郡忌部○今俗云玉作町湯町

同社坐韓國伊太氏神社

[書紀]五十猛神降到二於新羅國一

賣布神社

東持神社 一本持作佐

[風土記]支麻知社[和鈔]來待○來待村ニアリ

佐爲神社

[風]作二狹井一○佐々布村千宍道村之南也[書紀]天智紀狹井連檳榔

佐爲高守神社

○備後國高諸神社

宍道神社

○今云志牟知村[和鈔]宍道

宇留布神社

[風]守留布○私和名宇流之禰○伊賀宇留富之禰神

須多神社

○今云津多村在二筑陽村西一

揖夜神社

[三實]貞觀九年五月二日揖夜神授二從五位上一○同三年十一月十日授二從五位上揖夜神正五位下一[古事記]其所謂黃泉比良坂者今謂二出雲國之伊賦夜坂一也[書紀]齊明紀言屋社 言屋此云二伊浮耶一○按揖夜神社湯屋明神在二湯屋村一而與二玉作湯一土地遙隔[風]伊布夜

同社坐韓國伊太氏神社

筑陽神社

[三實]貞觀元年七月十一日出雲國无位湯坐志去日女命授二正五位下一○按神名帳中无二此神一疑陽上脫二筑字一筑陽地名志去筑陽神名乎按志去筑陽者泉

「和訓栞」「さくさめの書入アリ

眞名井神社

「書紀」八坂瓊濯ニ於天眞名井ニ生ニ天津彦根命ニ是山代直祖

鷹日神社

「風土記」多加比又云意宇郡賀茂神戸所レ造ニ天下ニ大神命之御子阿遅須枳高日子命坐ニ高城賀茂神社ニ此神之御子○在ニ賀茂村ニ今屬ニ大原郡ニ有明神社

山代神社

「國造本紀」阿多根命爲ニ山代國造ニ阿多郡久志尼命「風土記」山代鄕所レ造ニ天下ニ大神命大穴持御子山代日子命坐故云々也「和抄」山代○信友云山伐トアルハ誤

賣豆伎神社

「三實」貞觀七年十月九日出雲國從六位上女月神從五位下○同十三年十一月十日出雲國從五位上女月神正五位下「舊事紀」彦坐皇子命山代大兒山代大筒城眞若王兒迦爾米雷王按女月米雷通

野白神社

「風土記」作ニ野代ニ○伊勢國野志里神社○今云野白大明神在ニ野志良村ニ

布自奈大穴持神社

○大穴持神社也以ニ其在ニ藤名村ニ冠ニ村名ニ

布自布神社

「風土記」布自布祭

久多彌神社

○林村「和抄」樹神和名古太萬 古與レ久音通彌風作レ彌爲レ是彌万通「和鈔」拜志

玉作湯神社

「三實」貞觀十三年十一月十日授ニ出雲國正五位上玉作湯神從四位下ニ「古語拾遺」櫛明玉命注出雲國忌部玉作祖也「風土記」忌部神戸郡家正南廿一里二百六十歩國造神吉詞云望參ニ向朝廷ニ御沐之忌玉故云ニ忌部ニ即川邊出湯云々万病悉除無レ不レ得レ驗故

熊野與ニ杵築ノ兩社神宮ヒ也［長寛勘文］初天地本紀云伊謝那支尊娶ニ惠乃女命ノ生ニ兒大夜乃女命ノ次足夜乃女命次若夜女命三神云是此大夜乃女命熊野大御神后座時身躰左肩忍奈豆流時成出來神名加己川比古命又右肩忍奈豆流時成出來神名熊野大御神加夫里支名久々彌居怒命自ニ髻中ノ成出來神名須佐乃乎命三柱大王等是也此時金國之八熊野波比降來伊豆國致ニ熊野村ノ宮柱太知奉而加夫里支熊野大御神地祇神皇又御兒后名大夜女命山狹村宮柱太知奉而靜坐大御神云是也○正身按（出雲國造神賀詞）云伊射那伎乃日眞名子加夫呂伎熊野大神櫛御氣野命國作坐志大穴持命二柱神乎始

前神社

熊利刀神社

○久老抄對馬嶋上縣郡有ニ能理刀神社ノ熊疑能誤寫歟（出雲風土記）有ニ詔門社ノ是歟

田中神社

○在ニ田中村ノ今屬ニ大原郷ノ

楯井神社

［風土記］意宇郡楯縫郷郡家東北布都怒志命之天名楯縫給故云ニ楯縫ノ

速玉神社

○紀伊國熊野早玉神社

布吾彌神社

磐坂神社

［風土記］須佐能乎命御子磐坂日子命云々○在ニ熊野村東岩坂村ノ

佐久佐神社

［文實］仁壽元年九年乙酉靑幡佐草壯丁命授ニ從五位下ニ［三實］貞觀七年十月廿八日出雲國左草神授ニ從五位上ノ○元慶二年三月三日出雲國正五位下靑幡佐草壯丁神正五位下［風土記］大草郷須佐乃乎命御子靑幡佐久佐日子命坐故云ニ大草ニ［和抄］大草

[三實]貞觀十二年四月三日伯耆國勝宿禰神從五位下[和鈔]久米郡勝部

國廳裏神

[三實]貞觀十五年四月五日伯耆國无位國廳裏神從五位下

三輪神

[三實]貞觀十五年十二月廿日伯耆國正六位上三輪神從五位下○按此三輪神大神山神歟

天乃佐奈咩神

[三實]貞觀十六年七月二日伯耆國天乃佐奈咩神從五位下

天照高日女神　天乃神　奈斐神

天高神

[三實]元慶七年十二月廿八日伯耆國正六位上天照高日女神天乃神奈斐神天高神並從五位下○信友云モシクハ天照大御神ノ御魂カ

神名帳考證　四十二

延喜式卷第十之廿一　山陰道第六

出雲國一百八十七座

大二座

小百八十五座

意宇郡四十八座 大一座 小四十七座

熊野坐神社 名神大

[文實]仁壽元年九月庚午朔擢出雲國熊野杵築兩大神並加從三位[三實]貞觀元年正月廿七日出雲國從三位熊野神正三位○同年五月廿八日授出雲國正三位勳七等熊野神從二位○同九年四月八日出雲國從二位勳七等熊野神正二位[出雲風土記]伊弉奈枳乃麻奈子坐熊野加武呂乃命又云熊野郡家正南一十八里有檜檍檀也所謂熊野大神之社坐[舊事紀]洗御鼻之時所成之神名建速素戔烏尊坐出雲國熊野杵築神宮矣今在熊野村按言分祀下

［太神宮年中行事］矢乃波々木神御在所御所巽方

久米郡二座並小

倭文神社

補［紀略］天慶三年九月四日奉レ贈ニ伯耆國從三位倭文神正三位一

補案ズルニ文德實錄當國ノ神六社ニ加階ノコトミエレド倭文神ハ一社ニテ此帳ノ六社ニアハズサレバ此倭文ハ川村郡ナルガ錯レタルニテ實ハ大帶孫神ニアラタムベキコ、チス［文德實錄］八十一右齊衡三年八月丁亥伯耆國云々大帶孫神並從五位上トアルヲミルベシ

國坂神社

［續後紀］承和四年二月甲子朔戊戌伯耆國川村郡无位國坂神奉レ授ニ從五位下一［文實］齊衡三年八月辛未朔丁亥伯耆國坂神加ニ正五位下一［三實］貞觀九年四月八日丁丑伯耆國正五位下訓坂神正五位上［姓氏］日下部彦坐命之後也［和鈔］河村郡日下苦佐加倍會見郡日下○國坂村ニアリ

會見郡二座並小

胸形神社

［文實］齊衡三年八月辛未朔丁亥伯耆國宗形神大帶孫神從五位上［姓氏］宗形朝臣吾田片隅命之後也○胸形村ニアリ

大神山神社

［續後紀］承和四年二月甲午朔戊戌伯耆國川村郡无位大山神奉レ授ニ從五位下一［文實］齊衡三年八月辛未朔丁亥伯耆國大山神加ニ正五位下一［三實］貞觀九年四月八日伯耆國正五位下大山神授ニ正五位上一○同十五年十二月廿日伯耆國正六位上三輪山神從五位下トアルハ此神歟信友（記傳）十一五十七丁オ

式外舊社

湊神　賀茂神

［三實］貞觀九年四月八日伯耆國湊神賀茂神從五位下［和鈔］久米郡大鴨小鴨會見郡鴨部

勝宿禰神

社ニ距テ八町羊腸五十四曲ヲ踰テ上ル又是ヨリ六七町山上ニ廣キ平地アリ夷住壇ト云フ今土俗曰ニキスミノ壇ト俚民相傳テ云上古三神夷住壇ニ降臨スト按ニ當國一宮宇倍神社ノ宮司伊福部氏系圖ニ大己貴命ヨリ十四代武牟口命ト云アリ其時ニ當テ曰陪ニ從纏向日代宮御宇大足彥忍代別天皇之皇子日本武尊ニ與ニ吉備彥命橘入來宿禰等ニ相共奉ニ西征之勅ニ去行爾時或人自ニ針磨國ニ言曰住ニ稻葉夷住山ニ荒海乖ニ違朝命ニ當レ爲ニ征討ニ于レ時日本武尊詔曰汝武牟口宿禰退行伏平耳吾平ニ筑紫ニ自ニ背方ニ將ニ迴會ニ于レ時奉レ勅者行荒海里人郗々良麻參迎獻ニ槻弓八枝ニ云々此文ヲ以テ考フルニ夷住山ト云ハ土俗ノ夷住壇ト云是ナルベシ一社荒海大明神ハ系圖ニ所レ謂荒海ヲ祀レルナラン二社モ亦里人郗々良麻ノ二靈ヲ齋ヘルニヤ當社ノ祭神折居大明神ト號スルハカノ三社ノ母神ト云傳フレバ兄弟三人ノ垂跡ナランカ云々近傍蟲谷ト號スルヲ以テ蟲井神ノ據トス他ニ求ル神趾ナシ故ニ擧テ互見ニ便リトス

神名帳考證　四十一

延喜式卷第十之廿　山陰道第五

伯耆國六座並小

川村郡二座並小

○信友云（永萬記）一宮二宮アリ何レニヤ

倭文神社

［文實］齊衡三年八月辛未朔丁亥伯耆國倭文神從五位上［日本紀略］天慶三年九月四日奉レ授ニ伯耆國從三位倭文神正三位ニ［一宮記］下照姬也○信友云一宮ナリ

波々伎神社

［續後紀］承和四年二月甲午朔戊戌伯耆國川村郡无位伯耆神奉レ授ニ從五位下ニ［文實］齊衡三年八月辛未朔丁亥伯耆國伯耆神加ニ正五位下ニ［三實］貞觀九年四月八日丁丑伯耆國正五位下伯耆神正五位上

預二官社一［和鈔］巨濃郡宇治

多神

［三實］貞觀十五年七月廿八日因幡國從五位上多神正五位下○按巨濃郡大神社歟

神前神

［三實］貞觀十七年三月廿九日因幡國正六位上神前神從五位下［志］氣多郡勝部郷神前村今作二神崎一非　神前大明神社傳曰猿田彥神

相屋神

［三實］元慶元年十二月廿九日因幡國正六位上相屋神從五位下［志］氣多郡勝部郷西青屋村青屋大明神是也（三代實錄）元慶元年因幡相尾神授二從五位下一按ニ尾ハ屋ノ誤ニテ此時ノ宣命ヲ納メ玉ハリシ宮ノ蓋今ニ傳ヘテ當社ニアリ○安歎云青屋驛鳥取城下ヨリ五里半西ノ方伯州ヘ往還路也此驛ノ西ノ方ニアフヤノ社ト申有之候式外ニ相屋神社トアル此社ト申傳ヘ候青ノ訓アヲトアフトロニトナヘ候テハ紛ルベケレバ青屋ハモトアフヤナルベク候右相屋神社ハ（三代實錄）ニ有之カト存候猶重テ申ベク

ノ屋字尾トアルカト存候

犬山神

［三實］元慶三年二月八日因幡國犬山神從五位下

［志］智頭郡用瀨郷宮原村葦アシヲ男大明神コレ也ト云フ古來其山ヲ犬山ト號ス郡中一二ノ大社ニテ近郷九村ノ氏神トス

虫井神

［三實］元慶三年十二月廿八日因幡國正六位上蟲井神從五位下［志］智頭郡山形郷大呂村ニ妙見社アリ在二大呂村奥四十八町一其地以二葦津谷一曰二葦津妙見一其所レ祭三社中殿妙見大菩薩左荒海大明神右三瀧大明神也山形郷十六ケ村ノ氏神トス郡中ノ大社也側深谷アリ蟲谷ト號ス社壇ノ右ノ谷陰也八上郡大江郷ニ通ズ蟲谷越コレ也疑ラクハコレ上世ノ蟲井谷ノ略語ニテ神號其地名ヲ稱スルモノ是カ其神居ノ地山深ク谷幽ニ樹木陰森タリ華表ヨリ本

〔志〕母木保奥澤見村ニアリ板屋神社ト稱ス神躰方六尺餘ノ青石ヲ齊フト云ヘリ俚言板葺大明神ト云フ社領四石五斗八升八合

志加奴神社

〔因〕志加奴ハ鹿野ナルベシ此處ノ社ヲ今ハツカシマ大明神ト云フ（鹿野山幸盛寺同郡ニアリ）〔志〕坂本郷宿村（在ニ鹿奴北九町）ニ鎭座アル勝島大明神コレ也ト云傳フ云々今勝島ヲ以テ志加奴神社ト云フハ此神舊鹿奴村ニアリシ故也其古地今鍛冶町ト云フコレ也天正年中龜井氏鹿奴在城ノトキ其社地山下ノ街心ニ在ルヲ以テ神祠ヲ比志也久目ト云フ處（芦カ谷ノ邊今田土ノ字トナル）ニ移シ後今ノ宿村ニ遷セリ故ニ於テ今鹿奴ノ土人半ハ勝島ヲモテ氏神トス（東方勝島西方勝宿）コレ其證明ケク往々土俗ノ傳フル處紛亂ナシ

式外舊社

鷲岑神社

〔三實〕貞觀四年九月八日甲戌授ニ因幡國正六位上鷲岑神從五位下〇同十六年五月十一日授ニ因幡國從五位下須賀神鷲峯神從五位上ニ〔志〕氣多郡殿村郷鷲峯村ニアリ鷲峯大明神ト稱ス古來其山ヲ鷲峯ト號ス國中ノ靈山也此神社往古山上ニアリ桓武天皇御宇神廟ヲ御冠ガ嶽ニ移ス今謂ニ古宮是也後火ノ爲ニ燼滅シテ其麓ニ再興スト云社傳云所レ祭三座中大己貴命右素戔烏尊左稻田姬末社四十神郡中一二ノ大社也社領十六石一斗八升

須賀神

〔三實〕貞觀三年十月十六日因幡國正六位上酒賀神云々授ニ從五位下〇同十六年五月十一日授ニ因幡國從五位下須賀神鷲峯神從五上ニ〔志〕酒賀神社（又須賀）法美郡大草郷（今作ニ萱大萱）萱野村萱野大明神是也社傳曰祭神二座左大己貴命右木花開耶姬命也社ノ後ニ聳タル高山ヲ萱山ト號ス其土地大草（大俣小俣）兩谷ノ間ニ有テ雲霧窈冥タル深山也神廟ノ側ニ社司一人住家ヲ設テ神事ヲ執行スコレヲ萱野村ト號ス

宇治神

〔三實〕貞觀六年三月以ニ因幡國從四位下宇治神

武三熊之大人天穂日命子也「志」末常保御熊村ノ山上ニアリ其地僻岨ノ處ニ建ツ側ニ奇石アリ細長クシテ大キサ屋宇ノ柱梁ヲ劉リナセルガ如シ其數幾千ト云フ事ヲシラズ積テ山岳ヲナス因テ柱大明神ト號ス實ニ奇異ノ絶境ナリ

大和佐美命神社

「三實」貞觀七年六月八日丁己因幡國无位大和佐美神從五位下「志」砂見庄上砂見川旗指大明神コレ也ト云傳フ

大野見宿禰命神社

「三實」貞觀八年十月八日授ニ因幡國无位大野見宿禰神從五位下ニ「姓氏」野見宿禰天穂日命十四世孫也「和抄」能美「志」野見ノ保徳ノ尾村田野ノ一丘深林ノ中ニアリ大野見大明神ト云社地ヲ丸山ト稱ス

　土俗徳ノ尾ノ森ト云フ古來此郷ヲ野見保ト云野見宿禰ノ領知歟宿禰ノ祖ハ天穂日命也ソノ居モ當郡ニアリ

氣多郡五座並小

利川神社

○信友云舊訓ハヤカハ一本トシカハ「因」外神神社アリ邑美郡鳥取ノ本城山頂少シヲリ下テ山ノ旁ニ少サキ祠ニテ坐ストイヘリ「志」利川神社日置郷早手村ノ氏神大森大明神コレ也ト云傳フ社前ノ川ヲ利川ト云フ然バ其神跡疑ナキ歟社傳云瀬織津姫命木花開耶姫命佐須良姙命三座也神社ノ後ノ險山ヲ船山ト云フ相對スルヲ鎌山ト云フ

幡井神社

「志」絹見保絹見村幡屋大明神ト稱スルコレ也

加知彌神社

「因」氣多郡勝宿村勝宿大明神コレカ「志」勝宿郷寺内村勝宿大明神コレ也古來此地ヲ勝見谷ト云近温泉アリ勝見之湯ト云フ此社州中一二ノ大社也社領三十九石六斗九升三合社傳云中殿彦火々出見尊左ウカヤ葺不合尊右玉依姫合三座「和鈔」勝見

板井神社

之ニ因テ社無シト云々和語祟建ノ義ニ通ズ云々

高草郡（タカクサノ）七座 並小

［類史］高草郡人曾禰連廣刀自女産ニ一男二女一［續紀］寶龜二年二月丙申因幡國高草采女從五位下國造淨成女等七人賜ニ姓因幡造一［姓氏］國造天津彦根命男天戸間見命之後也

伊和（イハノ）神社

［志］安長保吉山村ノ境内廣キ田野ノ中ニ一ツノ岩山アリ石室（イハムロ）ト云フ傍ノ小林ノ中ニ神祠ヲ設石堂大明神ト號ス是ソノ神趾ト云傳ヘタリ又或説ニ味野郷下味野村ニ岩崎ト云處ニ往古神廟アリ中頽廢シテ村内願行寺ヘ移シテ鎭守トスコレ也ト云ヘリサレドモ州民編ク石室ヲ拜シテ正迹トス（式）ニ伊和トカケルハ誤ナラム

倭文（シトリノ）神社

［和抄］委文（之止利）［姓氏］倭文宿禰出レ自ニ神魂命之後大味宿禰一也［和抄］味野（安知乃）［志］倭文郷倭文村ノ山上ニアリ七躰大明神ト稱スルコレ也社傳云祭神大己貴命按此神七名ヲ稱ス（一大國主神ニ云々）神號ノ七體ハ此故ナラム社領一石三斗一升七合［因］郡中倭文村アリ此處ノ神社ナラム

天穗日命（アマノホヒノ）神社

［三實］貞觀九年五月廿一日己未詔又以ニ因幡國正三位天穗日命神一列ニ於官社一（志）大谷保福井村氏華表額曰天穗日命六王神社

天日名鳥命（アマヒナトリノ）神社

［姓氏］天夷鳥命者天穗日命子而出雲宿禰之祖神也（志）郡内正シク其名ヲ稱スル神廟ナシ相傳大谷保大畠村ノ神主八天鷲宮ト云是也ト社傳曰本社祭神天日名鳥命別社二神ハ天穗日命天日鷲命也

阿大賀（太祝穉）・都（太同）健御熊命（ミクマノ）神社

［三實］貞觀七年六月八日丁己因幡國无位阿大賀都建御熊神授ニ從五位下一○大背飯三熊之大人亦名

日天王ト稱ス云々八上姫之神跡コレ也○信友云此文キコエガタシ曳田村ニ比賣沼神社ト云フガアリトイヘルニカ

和多理神社

[和抄]日理[志]八東郡四分保殿村ニアリ社傳云祭ニ猿田彦命ノ神功皇后自ニ筑前國大渡嶋ニ遷ニ神主于此ニ因稱ニ和多理神ニ云々)和名抄)當郡ノ下ニ日理郷出タリ今近縣ニヒツチト云村アリ文字ニハ日字ト書リ是此地上世ノ日理郷ト見タリ今日理ト訓ハ後世文字ニ據ルノ誤ナラン

久多美神社

[志]岩田庄谷一ツ木谷村ニ在リ今九田伊大明神ト呼ブハ俚民ノ訛也古跡紛亂ナシ(景行十二年記)留ニ來田見邑權ノ輿ニ宮室ノ居レ之トミエタル古地疑ブベカラズ

布留多知神社

○信友云ニ一本無ニ知字ニ本ニモ布留多知神社トアリ(秘釋)ニハ知ノ字衍トアリ[志]八東郡丹治比郷日理村多知々々大明神コレ也ト云フ今田野ノ中叢祉ニ坐ス土人相傳曰上古諸鹿村ノ山中廣留野ニ凶徒アリ不々岐ツヽト稱ス州民コレガ爲ニ苦ミケルヲ此神コレヲ斬テ州民ヲ安撫シ玉フ因テ其功ヲ崇祭シガ古振ヲ納テ躰體トスト云ヘリシカレバ神號ハ古大刀ノ義ナランカ

美幣沼神社

○信友云(秘釋)美幣奴トアリ又(志)ニミテクラヌトヨメリ(志)八東郡私部郷篠波村忌部大明神是也ト云傳フ社傳云祭神天太玉命也

邑美郡一座小

中臣崇健神社

[因]郡中久米ト云フ村ニアリ今崇建天王社ト云ヘリ[志]三戸古保久米村ニアリ岡森天王ト稱スル是也神廟無シ林木鬱茂ノ地ヲサシテ神居トス郷民傳テ云此神ノ形甚高大也神託曰我形林梢ト等シ尋常ノ小祠ニ居ル事ヲ得ズ社宇ヲ造ルベカラズ

伊蘇乃佐只神社二座

[文實]仁壽元年冬十月戊申因幡國大江志保濃都波奈彌伊蘇乃佐伎都波伎知等五神並授ニ從五位下ー○信友云神號一本イ本一イ本(類史)等四本ニテ訂ス 按此文伊蘇乃佐伎己上四社隷ニ大江神社ー○鄕名散伎言ニ稻羽素兎ー乎[古事記]須勢理毘賣歌云加岐微流伊蘇能佐岐淤知受和加久佐能都麻母多勢良米[舊事記]謂ニ稻羽素兎ー神是也[志]今郡中ニ此神社ナシ八東郡四分保安井村淺崎大明神是也ト云傳フ八上八東舊一郡也中古分裂シ二郡トナル故ニ八上郡十九座ノ內八東郡ニアルモノ亦多シ且今神號淺崎ハ此神上古此地ノ淺崎今爲ニ田上字ー磧曰佐古川脉ロノ瀨ヨリ現ジ玉フ故ノ名也トイヘリ按ニ伊蘇乃佐只ハ磯之崎也淺崎ト同シ

多加牟久神社二座

[古事記]蘇我石河宿禰者高向臣之祖也[姓氏]高向朝臣石川同氏武內六世孫猪子臣之後也[因]法美郡山根村ハ高柞明神ノ氏子也ト云リ[志]曳田鄕本角村ノ山上ニアル氏神岡大明神コレ也ト云傳タリ土人云當社ノ轉遷往古ヨリ三度也其初ハ在ニ高尾山ー本角鹿野兩村境之山也其華表ノ跡ヲ牟久呂女田ト云フ在ニ本角下十四五町ー爲ニ鹿野中井兩村境ー中頃遷座ノ地ヲ古宮ト云フ今社地ハ近世元祿ノ頃鎭ニ祭之ー云々州民神社巡リト稱スルモノ本角ノ神ヲ拜シテ多知牟久神社トス

意非神社

○伊勢國意悲神社○今云ニ大宮ー北村[志]今八東郡若櫻鄕屋堂羅村大炊宮是也土俗老宮ト云フ近縣ニ大炊村アリ社傳云形代ハ白羽矢也里諺曰當初隣邑長砂一宮谷ニアリ武內宿禰來代ノ時其地ヨリ矢ヲ放テ曰此矢ノ落ル處ニ神殿ヲ遷ズベシト因テ其矢ノ著ク處ニ神祠ヲ建ル今矢落谷ト云在ニ屋堂羅之北ー是也其地ニ遷座セリトコレ上世純朴ノ一說屋堂羅ハ矢通ルノ由ナルベシ

賣沼神社

○信友云[秘釋]賣奴トアリ○但馬國二方郡面沼神社同躰也[志]按ニ賣ノ字ノ上ニ比ノ字アリシヲ(延喜式)ニオトセリトミユ曳田鄕曳田村ニアリ西

エタリ此系圖ハ延暦中ニ作リタル由序ニ見ユ當社ノ衰微ノ後池田備中守殿當郡ヲ領シ玉ヒ始テ五石ヲ神領ニ寄附セラレ其後松平新太郎殿當國御幷領三十石ヲ加ヘ附ラルト云々○信友云(因幡風土記)見合ベシ[志]宇倍山ニアリ(因)ト説同ジ今誤テ上野山ト云フ又ノ名稲葉山山下ノ川ヲ稲葉川ト云フ稲葉郷ニアレバナリ

八上郡十九座並小

大江神社三座

[文實]仁壽元年十月戊申因幡國大江云々○云ニ大宮ニ在ニ北村ニ[和抄]大江[志]中殿大己貴命右天穂日命左三穂津姫命大江郷財原村財原大明神コレ也攝社三十餘神[民談記]寛文年中記錄ニ其社柱ノ彫刻曰貞治七年再興ト云々

都波只知上神社二座

[文實]仁壽元年十月戊申因幡國都波只知神授ニ從五位下ニ[志]散岐郷散岐村ニアリ俗呼テ市大明神ト稱スルコレ也景行天皇日本武尊ヲ祭テ二座トスト云按ニ(景行記)十二年冬十月到ニ碩田國一(説者以ニ碩田國一爲ニ豐後國一恐非也據ニ其文理一而考レ之乃謂ニ當國一也別卷往レ之)其略曰採ニ海石榴樹一作レ椎爲レ兵因簡ニ猛卒一授ニ兵椎一以穿レ山排レ草襲ニ石室土蜘蛛一而破ニ于稲葉川上一悉殺ニ其黨一血流至レ踝故時人其作ニ海石榴椎一之處曰ニ海石榴市一亦血流之處曰ニ血田一(下略○血田在ニ法美郡稲葉川邊一上俗曰ニ計天牟須原一)都波只知ハ海石榴市ノ假字書卽地名ヲ稱スル也○信友云市大明神ハ卽チ椿市歟

鹽野上神社二座

[文實]仁壽元年冬十月戊申因幡國志保濃神授ニ從五位下ニ志大江郷鹽上村ニアリ卽鹽上大明神ト稱ス其遺蹤紛亂ナシ社傳云彦火火出見尊鹽土老翁命ナリ

都波奈彌神社二座

[文實]仁壽元年冬十月戊申因幡國都波奈彌神授ニ從五位下ニ[志]散岐郷和奈見村午頭天王社是也ト云傳ヘタリ按ニ今此地ヲ和奈見ト云フハ都波奈彌ノ上略卽地名ヲ呼モノナラン社傳ニ祭神素戔鳥尊稲田姫也ト

レ風飛至ニ府舍一將レ燔國司祈請登時風輟火滅靈驗明白也[三實]貞觀四年五月十三日授ニ因幡國從五位下宇倍神正五位上一○同年十二月廿二日因幡國正五位上宇倍神授ニ從四位下一○同六年三月丁亥朔詔以ニ因幡國從四位宇倍神一爲ニ之官社一一本○同十年閏十二月廿一日授ニ因幡國從四位下宇倍神從四位上一○同十三年二月廿六日授ニ因幡國從四位上宇倍大神正四位下一○同十五年七月廿八日授ニ因幡國正四位下宇倍神正四位上一○同十六年三月十四日授ニ因幡國正四位上宇倍神從三位一○元慶二年十一月十三日甲辰授ニ因幡國從三位宇倍神正三位一○宇倍埴安姬神稱波布比賣之略語也（一宮記）爲ニ武內宿禰一非也中右記元永二年七月十四日曉因幡守宗成令ニ下向一是九ヶ年未ニ下向一也於ニ神拜一者先日以ニ目代一令レ遂了然而一度未レ參ニ一宮一是有レ恐也仍俄令ニ下向一也今度可レ令レ行ニ臨時祭一也[歷名土代]大永七年正月廿日因幡一宮神主伊福部宗世叙ニ從五位下一今此社司伊福部氏云々[因幡風土記]難波高津宮五十五年春三月大臣武內宿禰御歲三百六十餘歲當國御下向於ニ龜金一雙履殘御隱所不レ知蓋聞因幡國法美山宇倍山麓有ニ神社一也曰ニ宇倍神社一武內宿禰之靈也○

信友云（永萬記）上宮トアルハコレ歟[因]郡中稻葉鄕宮下村ノ山上ニアリ此社當國ノ一宮ニテ武內大臣ヲ祭レリ云々日本武尊ノ征西ニ隨ヒテ山陰道ヲ平グンタメ當國ニ下リ國ノ□敵荒海ト云フ者ヲ亡シ當國ヲ鎭メ國中ニ子孫ヲ殘シ玉ヒシヨリ中古以前武內宿禰子孫當國ノ住人トナリ武內ノ神靈ヲ當社ニ祝ヒ其子孫祠官トナリテ以來相續シテ今ノ國造マデ傳來セリサテ當社ハ中古マデ當郡コトゴトク此社ノ領也ト云ヒ傳ヘタリ社宇ハ八棟ノ宮ニテ神官爵位ニ進ミ子孫家々ニ分レ云々其サマ尤豐ナリ國中ノ貴賤恭敬渴仰不レ斜シカルニ天正九年秀吉公毛利家ト當國ヲ爭ヒ攻入云々秀吉公ノ先陣山中鹿之助當社ヲ燒掃ヒ其ヨリ軍終リ國守政ヲ行ヘドモ昔ノ神領ヲバ少シモ不レ付コレヨリ當社零落シテ跡形ナキ亡所トナリタリ今社中ニ殘レル處ノ書記三卷アリ一卷ハ神代ヨリ相續ノ國造一家ノ系圖也云々一卷ハ八幡宮ノ緣起也云々一卷ハ先代ノ國造宗世任官ノ綸旨ナリ此外別ニ傳來ノモノナシ中古ニ朝廷ヨリ伊福部ノ姓ヲ玉ハル此事系圖ニ見

村ニアリ荒坂山上ト稱スル是也服部ハ（和名鈔）載レ之モト法美ノ管內也中古兵亂郡縣ヲ爭奪ヒ封疆ヲ分裂シテ終ニ今巨濃郡ニ屬スル也（三代實錄）貞觀五年十一月十七日因幡國言新羅國人五十七人來二著荒坂濱頭一略似二商人一是日云々トアルモ此地ノ故事也今船ヲ會スル地ニアラザレドモ往昔海水內ニ通ジテ湊ヲナセリ時世ノ久遠ナル砂漠堆積シテ水門ヲ壅塞ス今湯山池ト號スルモノ其裏海ノ跡ト土人相傳ヘテイヘリ凡州內山川江海ノサマ其變易今ヲ以テ推測ベカラズ此社ノサマ云々近傍幣殿神樂殿燈明殿油代ナド云フ田土ノ名アリ上古ノ靈社タリシ事察スベシ神號モ亦紛亂ナシコレ地名ヲ稱スル荒坂ノ神祉疑ヒナキモノカ

手見神社（テミノ）

［國造本紀］稻羽國造彥坐王三世孫大陀牟夜別命定賜按手見陀牟也［和鈔］稻羽伊奈波［志］登儀（トギ）鄉松尾村ノ山ノ麓ニアリ松尾大明神ト稱スル是也當社往古ハ山上ニアリ其地以二嶮僻一邑人行拜スルニ便ナリ近世相議シテ社ヲ山下ニ移ス鄉村ヲ吉野ト云吉野松尾舊一邑ニシテ古名ヲ手見村ト云ヒ神社ノ舊地ヲ古手見山ト云フコレ上世其地名ヲ呼ノ神號疑フべキ事ナシ

服部神社（ハトリ）

［三實］貞觀十六年五月十一日授二從五位下服織神從五位上一［舊事紀］建田背命神服連祖［和鈔］服部波止利［志］今郡中此神社ナシ巨濃郡服部庄海士（アマノ）村ニ祭ル處二處八幡宮コレ也荒坂神社ノ條下ニ註スルゴトク服部庄ハ舊法美郡ニ屬スル事分明ナリ

美歎神社（ミタノ）

［三實］貞觀十六年五月十一日授二從五位下美歎神從五位上一○但馬國水谷神社出雲國美談神社志廣（ヒロ）西鄉三谷村西○山下ニ在リ武王大明神ト稱ス小社ナレドモ嚴然ト存ス

宇倍神社（ウベノ）名神大

［類史］嘉祥元年七月甲申因幡國法美郡無位宇倍神奉レ授二從五位下一郎預二官社一以ト國府西有二失火一隨

スル事ニナリタルトゾ同ジキオモムキ也［志］廣西郷廣西村田野ノ傍ニアル田胡明神コレ也此氏子章魚ヲ不レ食モシクヘハタヽルト云傳フ［類聚國史］貞觀十五年七月廿八日庚寅因幡國宇倍神進階次曰從五位上多神正五位下ヲ授卷十六神祇部トアリ當社ノ事ナルベシ多ノ字以下脱スルナラム○信友按ニ（三實）ニモ多神トアレバ脱字ニハアラズ多神ハ式外ニテ下ニ擧

意上奴神社

［古事記］建豐波豆羅和氣王稻羽忍海部之祖也［三實］廿二因幡國法美郡人凡部臣百世按凡與レ忍同訓又按上疑士之誤意士忍也奴海也○信友按意士奴美神社ト改ベキ歟（永萬記）上宮トアルハコレ歟再按字倍神社ナルベシ志津野井郷香取村意上山ニアリ相傳テ號ニ意上神社ト其社地谷深クシテ路羊腸ヲ蹈テ入事十餘町林木四時蓊欝タリ上古ノ勝地疑ベカラズ○按ニ當社神號（延喜式神名帳）脇假字意上ニ作ルハ後人ノ訛謬也音ハ漢音也本朝上古神名等漢音ヲ用ル例來レ聞レ之和音ハ於也意保止命意富伊我都命之類也卽祭神靇也猶八東郡屋堂羅村意非神社條下ニ詳也○安歆云此社地谷深ク木茂リテ物スゴシイカミノ森トテ人ノ恐レテ一人ハ行ガテニスル處ナリ此社ハ香取村ノ山ナレドモ紙子谷村トイフモ立並ビテ今兩村ノ產土神トセリ又社山ノ下ニアタリテネギ谷村ト云アリ根木谷ハ禰宜谷ニテ神官ノ居シヨリ呼ビ紙子ハ神戸ニテ戸ヲ戸ト呼シニハアラヌカ意上ノ意ハ憶ノ扁ヲ省ケルカ古ヘ意美麻呂ナドモ然ルカオト訓ムハモトヨリ論フニタラズ宇倍神社ヲノゾキテハ國中ニテノ大社トオモハルル地ノサマナリ

槻折神社

［志］中郷生山村ニアリ其神趾紛亂ナク槻折大明神ト稱ス

荒坂神社

［志］普ク郡中ヲ撿考スルニ其處不レ可レ知於レ是後人邑美郡濱坂村ヲサシテ是法美郡荒坂ノ古地也ト云テ其村ニ祭ル大多羅大明神ヲサシテ荒砂神トス是鹵莽ト謂ツベシ荒坂神社ハ今巨濃郡服部庄號ニ鹽見谷ニ天谷

[和鈔]日野　[因]郡中ノ日比屋ト云フ處ニ社アリコレナラム[志]大谷保大谷村ノ海濱日比屋ト云フ處ニ八幡宮アリ日野八幡ト稱スル是ナリ此神往古日野郷日野谷ト云處ニアリ（浦住保吉田牧谷之舊名也其神跡今在藏王權現花表北山麓）中古洪水ノ時神廟流レテ海中ニ入リ日比屋ノ濱頭ニ漂著ス因テ其儘其處ニ祭之ト云傳タリ於今吉田牧谷ノ土人三月十五日ヲ祭テ日野谷休ト云モ往古ヨリノ土俗此神ノ祭日ノ緣トキコエタリ或說ニとヾヤハ卽チ日野也ト云ハ推量ノ臆說ナリ

甘露神社

[三實]貞觀三年十月十六日丙辰因幡國正六位上酒賀神賀露神並授從五位下○同十六年五月十一日戊戌授因幡國從五位下賀露神從五位上○元慶元年六月廿八日丁酉授因幡國從五位上賀露神正五位下○同年十二月十四日庚辰授因幡國正五位下賀露神從四位下○同二年十一月十三日甲辰授因幡國從四位下賀露神從四位上[姓氏]衣縫出自百濟國神露命也又云任那國賀室王[因幡堂緣起]

賀露津海○信友云(因)ニ加路社トアリテ高草郡加路海濱砂山ノ上ニアリト記セリ契冲本ニハ加留明神コレ也トアリ[志]浦住保西陸上村海濱ノ山下松林ノ中ニ在リ但シ二神同社ニ鎭座セリ山ノ方藏王權現海ノ方甘露神社是也社傳曰祭神嘀澤女命也甘露神ト號スル事神廟當初甘露谷（在東陸上仁壽二年甘露降此谷故事別卷ニ詳也）ニアリ故ニ其地ヲ呼ブノ神號也中古亂逆海賊來侵シテ民家ヲ放火ス村民離散シテ神事執行スルニ便ナク神主此里ニ遷座セリ陸上ハ東西モト一邑ナル故也今其舊地ニイマサズト雖モ神源明ケク神號猶存不可疑乎（東陸上ノ本名ヲ呼テ中島大明神トモ號ス）藏王社祭神大山祇命也二神爲兩村氏神

法美郡九座（大一座 小八座）

多居乃上神社二座

[和鈔]高野[因]郡中廣瀨村ニアリ此氏子章魚ヲ不食モシ食ヘバ祟リヲナストイヘリ○信友按ニ章魚ヲ忌ムハ神名ノ多居云々ト云フニヨリテノナラハシナルベシ京ノ蛸藥師モモトハ多久藥師ナルヲイツノホドニカタコ藥師ト云ヒテツヒニ蛸ヲ云々

［姓氏］高野大名草命之後也［和鈔］法美郡高野［因］郡中ノ岩常村ニ八幡宮アリコレヲ高野社ト云フ［志］所在高野郷延興寺村鐘撞（カネツキ）大明神ト稱スル是也此神祠往昔ハ二上山南ノ尾高野坂ニアリ中古此地ニ遷スト云フ（氏談記）高野神社ハ岩常村ノ八幡宮トアルハ謬ナルベシ

許野乃兵主神社（コヤノ）

［因］郡中ノ新村ト云フ處ニアリ［志］本郷新井（ニヰ）村ノ上ノ山上ニアリ卽兵主大明神ト稱ス許野ハ上古此地ノ名也

二上神社（フタカミノ）

○大和國葛木二上神社○越中國射水郡有二上神［因］郡中ノ岩常村ニ天神社アリコレ也［志］高野郷岩常村鼓（ツヾミ）山（二上山之西五町餘）ノ麓ニアリ鼓大明神ト號スルコレ也或ハ當村大神社ヲ二上神社ト云說アレドモ非ナラム土人口碑ニ往古二上山祭神數社アリ山巓ニ鼓明神アリ東ニ天神社（在高住村旁）南ニ鐘撞明神（在高野坂）（後遷延興寺村高野神社コレ也見前）北ニ八幡宮（在半腹今猶在）以上ハ昔ヨリ二上山鎮座ノ神也然ルニ中古山名時氏二上ノ城草創ノ時諸社ヲ皆鼓山ニ移サル其年歴今ニ至テ五百年ニナン〳〵トス故ニ異說アリトイヘドモ此地昔ヨリ鼓宮ヲ拜シテ二上神社トス今此山ヲ鼓山ト云ヒ社前ノ路ヲ鼓繩手ト云フモ此神遷座以來其神號ノ因テ生ズル處ナリト里諺ノ傳フル處尤疑ナキモノカ［大成舊事本紀］曰介鼓之神大狗狸神弟云々是兩神者此飯井宮末社兩鼓社之神也云々此文岩戶ノ段ニ見ユ想フニ二上神社ヲ鼓神ト號スルハ兩鼓神ヲ祭レルニヤ若然ラバ山ノ名二上ハ二神山ノ誤ナラムカ雖不分明互見ノタメ一說トス

御湯神社（ミユノ）

［因］今郡中溫湯ノアル處ヲ岩井ト云フ此處ノ神社ヲ伊勢宮ト云フ此社歟［志］社傳曰祭神少名彥命○蒲生郷湯村ノ東ノ山下ニアリ伊勢宮ト稱スル是ナリ此神廟モト大野村（在湯村東長谷口今無民家）ノ山麓ニアリシヲ近世此地ニ轉遷ス因テ大野宮トモ云フ今ノ社地ハ彌勒寺ト號スル古寺ノ廢跡ニテ花表ノ傍大塔ノ礎ト云傳ヘシ大石アリ

日野神社（ヒノノ）

十一月依ニ小野篁之私願ニ自ニ宇佐郷ニ遷坐也云々篁ハ淳和仁明兩朝ノ人也寛治ハ堀河御宇也年號不レ合不審

大神社

[文實]仁壽元年十月戊申因幡國大神授ニ從五位下ニ[三實]貞觀十五年七月從五位上多神授ニ正五位下ニ[因]ト標シタルハ(因幡氏談)ナリ　郡中ニ本浦住村ト云フニ荒砂大明神ト云フ神ヲ大神社ト云フ土人云此神昔龍宮ヨリ鯛ノ腹ニ宿リ玉ヒ上リ玉フ故ニ其氏子鯛ヲ不レ食トイヘリ[志]本庄郷大田村ニ祭ル緣大明神是也ト云傳フ或ハ浦住保浦住村海濱ニアル荒砂大明神是也此神昔鯛ノ腹ニヤドリテ上リ給フ故ニ其氏子鯛ヲ不レ食ト云ニ神決セザル事日久シ按ニ(書紀)崇神天皇夏四月云々以ニ高橋邑活日ニ爲ニ大神之掌酒ニ冬十二月丙申朔乙卯天皇以ニ大田田根子ニ令レ祭ニ大神ニ云々(神社考)云三輪一云大和一云大神ト然バ大神ノ本地ハ三輪神ニテ祭祀之人ハ大田田根子也(舊事本紀)ニ大田田根子者大己貴命九世孫而賓三輪大神子也　凡諸國郷村ノ名義ヲ考ルニ(姓氏錄)ニ載ル所ノ人ノ姓氏ニテ凡四百三十二姓ヲ洩タル地名ナシコレ上古各其地ヲ領セシ人ノ姓氏ヲ呼來レルナラン歟此里ヲ大田ト云ヒ其神ヲ大神ト云ヲ以テミレバ大田田根子ノ故事ニヨリテ大神ヲ祭レルモ知ベカラズ郷中コレヲ一宮ト稱ス荒砂ノ神躰云々三輪ニモ其緣ナシ下略安歎(因幡藩鷲見氏)按に此説によりていはゞ大田田根子の子孫の領る地にて地名はそれより呼び神も祖の因にて祭るならむか

佐彌乃兵主神社

[古事記]速須佐之男命於勝佐備○按彌與レ備音通[因]郡中ノ岩常村ニ八幡宮アリコレヲ高野社ト云フ[志]本郷河崎村田土ノ中ニアリ社宇叢中ニ眇然タリトイヘドモ郷里ノ云傳フル所疑ナキモノカ佐美ハ人ノ姓是亦上古ノ地名ヲ呼ナラム(姓氏錄)曰佐美朝臣者云々(因幡國民部省圖帳)佐彌乃兵主大神宮神貢九十八束有余天仁二年己丑三月鳥羽新帝宸筆奉ニ神貢神靈天照大神宮ニ也云々

高野神社

[三實]貞觀十年閏十二月廿一日但馬國正六位上大岡神左長神菅神並從五位下○信友云養父郡盈岡神社ノ下可レ考

左長神

[三實]貞觀十年云々大岡神ノ下ニ記ス○信友云朝來郡佐嚢神社ノ下可レ考

菅神

[三實]云々大岡神ノ下ニ記ス○按菅神者二方郡須賀神社歟○信友云出石郡須義神社二方郡須賀神社ノ下可レ考

神名帳考證　四十

延喜式卷第十之十九　山陰道第四

因幡國五十座

大一座

小四十九座

巨濃郡九座並小

恩志呂神社

[志]ト標シタルハ因幡志也因府侍醫安陪惟親恭蕃撰(因幡民談)ヨリ後ニ記セルモノニテ民談ノ說ナ論ゼルコトアリ恩志呂神社蒲生郡恩智今作ニ恩地ハ非ナリ村ニアリ武王大明神ト稱スルコレ也按ズルニ凡所レ載ニ神名帳ニ當國神社ノ名其地名ヲ呼モノ多シ又人名或ハ人ノ姓氏ヲ呼モノ次レ之今此地ヲ恩智ト云是モト人ノ姓氏也(姓氏錄)曰恩智神主高魂命兒伊久魂命之後也神號恩志呂ハ恩智ノ轉語歟是亦地名ヲ稱スルニヤ按ニ(大日本山陰道因幡國民部省圖帳)曰恩志呂大明神寛治二年戊辰

大家（オホイヘノ）神社
大歳（オホトシノ）神社
面沼（メヌノ）神社
「國造本紀」二方國造出雲國造同祖美尼（ノヌ）布命定賜按面沼美尼布言通○因幡國八上郡賣沼神社
須加（スカノ）神社
○能登國菅忍比咩神社○信友云貞觀十年閏十二月菅神云々コレ歟式外ニ記ス

七美（シツミノ）郡十座 並小

多他（タノ）神社
小代（ヲシロノ）神社二座
「出雲風土記」須佐能乎命御子衝杵等乎而留比古命○今云小代庄○信友云（和鈔）小代 乎之呂
志都美（シツミノ）神社二座
「三實」貞觀十年閏十二月廿一日正六位上七美神從五位下○近江國高島郡阿志都彌神社○信友云（和抄）七美 志都美
伊曾布（イソフノ）神社
「姓氏」角凝魂命男伊佐布命「和鈔」射添 伊曾布
等余（トヨノ）神社
高坂（タカサカノ）神社
「古事記」大多牟坂王多遲國造也按彥坐命孫也
黑野（クロノ）神社
春木（ハルキノ）神社

式外舊社

絹卷神
「三實」仁和元年二月十日但馬國正六位上絹卷神從五位下○信友云海神社ノ下可レ考
大岡神

神とあるは此神社なるべしト云ヘリ（姓氏）ニ但馬海直火明命之後也トアルニ由アリテキコユ○式外ニ記ス

補春村曰神階齟齬シタレバ同祠トハ決ガタシ

美含郡十一座並小

佐受神社

「和鈔」佐須

鷹野神社

「古事記」懿德天皇皇子當藝志比古命者多遲摩之竹別之祖「和鈔」竹野多加乃

伊伎佐神社三座

「舊事紀」饒速日命亦名膽杵磯丹杵穗命按佐磯音通「三實」元慶二年但馬國美含郡人從七位上若倭部氏也「姓氏」若倭部神饒速日命十八世孫子由知之後也

法庭神社

○因幡國法美郡アリ法ノ字可レ考信友

美伊神社

椋橋神社

○椋橋部連伊香邑平命之後也

阿故谷神社

○出雲國阿吾神社「書紀」雄略紀 土師連祖吾笥進ニ但馬私部ニ名曰ニ贄土師部一

桑原神社

「姓氏」桑原臣豐城入彥五世孫多奇波世君之後也

色來神社

丹生神社

○信友按色ハ邑歟備前國邑久郡大伯大來同

二方郡五座並小

二方神社

「和鈔」二方布多加多

布久比神社

[姓氏]羽咋公

小江神社

久々比神社

○伊勢國久々津比賣神社

耳井神社

桃島神社

兵主神社

深坂神社

兵主神社二座

氣比神社

○豐宇氣比賣命之略語乎

久流比神社

重浪神社

○重浪訓ニ志幾奈美一〇信友云舊訓オモナミ一本シキナミ

縣神社

[姓氏]縣使首宇摩志摩遲命之後也

酒垂神社

[續後紀]十九作酒垂神社[同]續後紀十九作馬垂天照神作酒著神垂豐宮本

西刀神社

○能登國羽咋郡瀨戸比古神社　今瀨戸村ニ坐

海神社名神大

[續後紀]承和九年十月乙亥但馬國城埼郡海神預ニ官社ニ[三實]貞觀十年十二月廿七日從五位下海神從五位上[姓氏]但馬海直火明命之後也[舊事紀]天香山命六世孫建田背命但馬國造等祖也○信友按この神社は絹巻山にあり船人難風に逢ひて祈れば即驗ありと云ふ(三實)仁和元年二月十日の下に絹巻

戸神社 名神大

[續後紀]承和九年十月乙亥但馬國氣多郡戸神預ニ官社ニ[三實]貞觀十年十二月廿七日從五位下戸神從五位上[古事記]戸山津見神○國人云今十戸村ニアリトノ神ト云フ又コノ神トモイヘリ

雷神社 名神大

[續後紀]承和九年十月乙亥但馬國氣多郡雷神預ニ官社ニ[三實]貞觀十年十二月廿七日從五位上[續紀]慶雲二年七月乙丑丹波但馬ニ國山災遣レ使奉ニ幣帛于神祇ー卽雷聲忽應不レ撲自滅

獨椒神社 名神大

一本作ニ獨杵ー

○信友云(名神祭式)獨椒トアリ又一本ニ獨椒神アリ又異本ニ獨行トモアリ[續後紀]承和九年十月乙亥但馬國蜀椒神預ニ官社ー[三實]貞觀十年十二月廿七日從五位下蜀椒神從五位上[和鈔]蜀椒 奈流波之加美 一云不佐波之加美又曰蔓椒 以多知波之加美一云保曾木[典藥式]云但馬國蜀椒栢子仁各二斗[齋宮式]椶椒油ホソキノアブラ[書紀]舒明紀蔓椒此云ニ褒曾紀ー[令義解]蔓椒ナチキト假字アリ[本草和名]蜀椒云々和名布佐波之加美マタ蔓枡云々和名保曾岐一名以多知波之加美[字鏡]蔓枡保曾伎マタ枡保曾木[但馬國ノ大田文]八幡領椒別宮八町三反トアリ(但馬考)ニ今椒村ノ八幡宮也(典藥寮式)但馬國廿一種云々蜀椒云々各一斗蜀椒ハ養父郡朝倉村ニ産スル物天下ノ名品也江戸往來ニ朝倉山椒トアリ (齋宮式)以下信友

城崎郡廿一座 大一座 小廿座

物部神社

[舊事]紀物部多知麻連公

久麻神社

[國造本紀]久忠伊麻命孫久麻直[和名]糂米 久萬之禰

穴目杵神社

女代神社

[和鈔]糠漢語抄云美之呂乃以禰

與佐伎祠社

「國造本紀」三野前國造彥坐王子八瓜命定賜

賣布（ヒメフノ）神社

○舊訓メフリ

鷹貫（タカヌキノ）神社

「古事記」多遲摩比多訶娶二其姪由良度美一生子葛城之高額比女命

久刀寸（クトワ）兵主神社

○國人衣川長秋云今久斗村鳴瀧大明神ト云也寸ハ村ト可レ訓ト云ヘリ

日置（ヒテキノ）神社

「和鈔」日置比於岐

楯縫（タテヌヒノ）神社

井田（井タノ）神社

○伊豆國有二同名一

思往（オモヒヤリ）神社

御井（ミモノエクノ／ミ井ノ）神社

高負（タカフノ）神社

「姓氏」武生宿禰文宿禰同祖○武藏國有二同名一「和鈔」高負多加布

佐久（サクノ）神社

神門（カントノ）神社

「姓氏」神門臣天穗日命十二世孫鵜濡渟命之後二方國造出雲同祖

伊智（イチノ）神社

須谷（スタニノ）神社

山（ヤマノ）神社名神大

「續後紀」承和九年十月乙亥但馬國氣多郡山神並預二官社一「三實」貞觀十年十二月廿七日從五位下山神從五位上

○諸杉同神○衣川長秋ノ國云菅谷荒木村八幡宮也ト云ヘリ(三實)ニ菅ノ神アリ須義ヲ誤レルナルベシ又同人ノ再考ニ二方郡ニ須加神社アレバ(三實)ナル菅ノ神ハコレ歟然レバコノ須義神社トハ別也○義ヲグノカナニ用キタルハ○以下缺文

小野神社

「古事記」天押帶日子命者小野臣之祖也

手谷神社

○養父郡手谷神社

中嶋神社

大生部兵主神社

「續紀」九大生部直三穗麻呂「書紀」皇極紀大生部

多

阿牟加神社

「姓氏」奄我天穗日命之後也○丹波國天田郡ニ奄我神社アリ

比遲神社

石部神社

「姓氏」石邊公

小坂神社

○養父郡男坂神社可レ考「和鈔」出石郡小坂予佐加○刑部首彥坐命之後也見ニ(三實)一

氣多郡廿一座 大四座 小十七座

多麻良伎神社

○多遲摩比那良伎

氣多神社

○大己貴命「續紀」卅八氣多郡人川人部廣井改ニ本姓一賜ニ高田臣一

葦田神社

「姓氏」葦多首天麻比止津乃命之後也

三野神社

蘒登比爾ニ遣ニ山邊之大鶙ニ令レ取ニ其鳥ニ追到ニ但馬國ニ而於ニ和奈美之水門ニ張レ網取ニ其鳥ニ而持上献故號ニ其水門ニ謂ニ和奈美之水門ニ也

夜伎村坐山神社

[和鈔]養耆也木

出石郡廿三座大九座小十四座

伊豆志坐神社八座並名神大

[續後紀]承和十二年七月丙午朔辛酉但馬國出石郡无位出石神奉レ授ニ從五位下ニ[三實]貞觀十年十二月廿七日授ニ但馬國從五位上出石神正五位下ニ○同十六年三月十四日授ニ正五位下出石神正五位上ニ[古事記]天日矛持來物者八種此者伊豆志八前大神也故玆神之女伊豆志遠登賣神坐也[日本紀略]貞元元年二月廿五日但馬國言上出石大社内烏鵲集會古老云國内第一靈社也鳥雀蚊虻不レ入云仍有ニ占卜ニ今俗云一宮大明神○神印云出石太神宮印[和鈔]出石以都志

御出石神社名神大

[古語拾遺]卷向玉城朝云々此御世新羅王子海檜槍來歸今在ニ但馬國出石郡ニ爲ニ大社ニトアリ此社日矛ヲマツレルナルベシ信云○今水石村神社有レ之一宮大明神祭之時御輿一日一夜逗留[名神祭式]ニ不レ載

桐野神社

諸杉神社

[古事記]天日矛娶ニ多遲摩俣尼之女名前津見ニ生子多遲摩母呂須玖之子多遲摩非泥○今出石城近邊ニ在本丸ノ内イ○一説母呂杉村ニアリト云フ

須流神社

佐々伎神社

日出神社

[古事記]多遲摩母呂須玖之子多遲摩斐泥○信友按泥ハ子ノカナニノミ用タリ(書紀)ニハヂニ用ヒタリ又按日向ニ日出アリ當郡比遲神社モアリ

須義神社

「書紀」天日槍留ニ于但馬一娶ニ其國前津耳女麻拖能烏一生ニ但馬諸助一「古事記」多遲摩之俱尼之女名前津見

井上神社二座（ヰノヘノ）

手谷神社（テタニノ）

○出石郡手谷神社

坂蓋神社（サカヰ　サカカイ）

○信友云舊訓サカヰサカカキ又或訓ニサカフタトアルハイカゞ一本ニヨリテ板ニ改メイタフキナルベシ

保奈麻神社（ホナマノ）

葛神社（クツノ）

○今カツラ大明神○阿波國勝占神社播磨國加都良命神社○按（古事記）久々紀若室葛根命

大與比神社（オホヨヒノ）

○播磨國宍粟郡與比神社「和鈔」養父郡大屋（オホヤ）

桐原神社（キリハラノ）

盈岡神社（ミツヲカノ）

○隱岐國水若酢命神社「三實」ノ大岡神歟式外可レ考信友

更杵村大兵主神社（サラキ）

「大同類聚方」十七志口樂又養父藥但馬國養父郡更科村大兵主神社兄主鰓劑麻呂傳方云々

御井神社（ミヰノ）

「舊事紀」大己貴神娶ニ稻葉八上姫一生ニ御井神一

名草神社（ナクサノ）

「舊事紀」建斗米命子建田背命母中名草姫但馬國造等祖「姓氏」大名草命

杜内神社（モリウチノ　社イ）

和奈美神社（ワナミノ）

「古事記」本牟智和氣御子聞ニ高往鵠之音一始爲ニ阿

佐嚢神社
○伊勢國桑名郡佐乃富神社○信友按（三實）十五十七丁左長神アリ式外ニ記ス美嚢ノ例ニテサナ歟鐸カ

養父郡卅座大三座小廿七座
［和鈔］養父

夜夫坐神社五座名神大二座小三座
［續後紀］承和十二年七月奉レ授二従五位下一［三實］貞觀十一年三月廿二日但馬國従五位上養父神正五位下○同十六年三月十四日授二正五位下養父神正五位上一○播磨國八保神社伊勢國夜夫多神社○今云二養父大明神一在二難波村一○信友云帳古寫本書入ニ夜夫ハ行基菩薩垂跡云々

宇留波神社

水谷神社名神大
○信友云（名神祭式）ニミエズ○今ミタニ明神ト云フ衣川長秋云此神社ノ邊ノ地形ヲ考フルニ谷深クシテ一里餘アリサレバ水ハ御ノ意ニテ眞谷ノ義ナレバ土人ノ唱フルゴトクミタニト訓ベシトイヘリ

淺間神社
［和鈔］淺間安佐末

屋岡神社

伊久刀神社

楯縫神社

兵主神社

男坂神社
［三實］丹波國何鹿郡人刑部首夏繼自言先出レ自二彥坐命一［和鈔］遠佐○信友按（和鈔）ニ遠佐アレドモ出石郡ニモ小坂神社アレバコノ男坂モ遠佐トハ別ナルベシ但坂ヲサトノミ訓例アレバカクハ論フナリ百木說

佐伎都比古阿流知命神社二座

延喜式卷第十之十八　山陰道第三

但馬國一百卌一座

大十八座

小一百十三座

朝來郡九座 大一座 小八座

粟鹿神社 名神大

[續後紀]承和十二年出石郡无位出石神養父郡養父神朝來郡朝來神奉レ授二從五位下一依二國司等解狀一也[三實]貞觀十年十二月廿七日粟鹿神正五位下○同十六年三月十四日但馬國木鹿神正五位上[永萬記]阿波鹿社トアリ[和鈔]粟鹿 安波加 ○信友云帳古本書入ニ曰一番室尾八幡大菩薩二番衣摺大明神三番本森大明神已上此二神者粟鹿神御子云々粟鹿上社彥火々出見中社籠神女躰也下社豐玉姬勸進如レ此又云伊弉諾伊弉冊並相生之子大日靈神月讀神素戔嗚命合三神和銅元年歲次戊申八月十三日筆取神部八島勘注言上正六位上新羅將軍神力直根開○一宮[諸社根元記]但馬國一宮也

朝來石部神社

○伊勢國朝來郡石部神社[和鈔]礒部 以曾倍 朝來 阿佐古

刀我石部神社

[和鈔]東河 止加 ○參河國砥鹿神社[一宮記]大己貴命

兵主神社

赤淵神社

伊由神社

○由田誤歟[和鈔]伊田 イタ ○信友云伊田トアルハ誤也今モ伊由村アリ

倭文神社

足鹿神社

○出雲國阿須伎神社

「本草和名」枳實一名枳穀名投實一名時枳和名加良
多知

賣布神社

○大賣布命

熊野郡十一座 小並

熊野神社

「三實」貞觀十二年九月廿一日授二丹後國正六位上熊野神從五位下一「姓氏」熊野連饒速日命孫味饒田命之後也「田志」齋大明神ト云フハ市場村ノ中ニ神ニ事ル家アリ女子ヲ生ル時神箭飛來リテ彼家ノ棟ニ立テリ四五歲ノ時宮ニオクリ奉ル山中ニアレドモ獸モヤブル事ナシ成長シテ交接ノ心生ル時大蛇出テ眼ヲイカラス其時郷ニ歸ルコレヲ齋女ト云フ此齋女アル宮ヱヱニ世人齋明神ト云フ

意布伎神社

伊豆志彌神社

「舊事紀」物部氏三世孫出石心大臣命

矢田神社

丸田神社

賣布神社

衆良神社

三嶋田神社

「舊事紀」天神玉命三嶋縣主等祖

神谷神社

村岳神社

○岳丘平「三實」元慶元年十二月十四日授二正六位上村岡神從五位下一

聞部神社

云フ密宗也「諸寺一覧」阿佐茂川東網野村ニアリ○信友云「和鈔」納野トアルハ網ノ誤ニテ則網野ナルベシ「和鈔」竹野郡網野鳥取「鴨長明抄」ニ丹後國よさの郡にあさも川の明神と申神います國の守の神拝とかやいふことにもみてぐらえ給ひてかずまへらるゝほどの神にてぞおはすなるこれは昔浦嶋の翁の神になれりとなんいひ傳へたる云々○信友云コノ考ハ「逸國内神名帳」ニイヘリ

依遅神社

「姓氏」越智直

大野神社

「姓氏」大野朝臣豊城入彦命四世孫大荒田命之後也
「和鈔」丹波郡ニ大野アリ

竹野神社大

○今在ニ竹野村一稱ニ大齋明神一諸社一覧同レ之「古事記」開化天皇娶ニ葛城之垂見宿禰之女鸇比賣一生御子建豊波豆羅和氣云々丹波之竹野別等之祖

生王部神社

○百木説ニ古本ニ生玉部トアリテニソベト訓リサレバ壬生部ノ誤歟又印本ニイクワウベト訓ルハイヅレニマレ宜シカラズ又或訓ニイクタマベト訓リコレニ據トキハ生玉部也天慶七年四月廿二日(筑前國高良社古文書)ニ下妻郡少領前○玉モ部玉照神ト申モ見エタリコハ誤字ニモアルベケレドモ考ニ備フベシト云ヘリ○信友按玉壬部壬生部ノ中可レ考又(姓氏)ニ壬王部○生王壬生誤乎「姓氏」三富部火明命之後也

志布比神社

「古事記」日子坐王之子志天美宿禰王者佐々君之祖也○按比美通

深田部神社

床尾神社

發枳神社

[姓氏]矢田部縣鴨主同祖

比沼麻奈爲神社

[和鈔]丹波郡新沼[神名秘書]酒殿神伴神者伊弉冊尊子和久産巣日神子豐宇賀能賣神丹波國與謝郡比沼山頂有レ井其名號ニ直名井一此處居神也同竹野郡奈具社亦同神也

竹野郡十四座 大一座 小十三座

大宇加神社

○宇加御玉命

奈具神社

[丹後風土記]豐宇賀能賣命也[諸社一覽]今稱天避社丹波郷ニアリ(丹後風土記)云々後到ニ竹野郡船木里ニ云々吾心奈具志久云々竟留ニ居此處一因建レ社祭レ之所レ謂竹野郡奈具社坐豐宇氣姫神也○信友云加佐郡奈具社條下可ニ見合一(田志)ノ奈具神社ノコトソコニ記セリ(田志)ナルハイヅレノヲイヘル歟田邊領ヲ以テ考ベジ彌延長年中勅撰ノ丹後風土記曰丹後國丹波郡々家西北隅方有ニ比沼里一此里比沼山頂有レ井其名曰ニ麻奈井一今既成レ沼此井天女八人降來浴レ水于レ時有ニ老夫婦一其名曰ニ和奈佐老夫和奈佐老婦一此老等至ニ此井一而竊取ニ藏天女一人衣裳一卽有ニ衣裳一者皆天飛上但無ニ衣裳一女娘一人留レ身隱レ身而獨懐レ愧居爰老夫謂ニ天女一曰吾無レ兒卽相住十餘歳爰天女善爲ニ釀酒一飮ニ一杯一吉萬病除云々其一杯之財積レ車送于レ時其家豐形富云々天女至ニ竹野郡船木里奈具村一云此處我心成ニ奈具志一(右事平善者曰ニ奈具一)乃留ニ此村一斯所レ謂竹野郡奈具社坐豐宇加能賣命也(五部書說辨所引)

溝谷神社

○但馬國水谷神社○在ニ溝谷村一

久爾原神社

○尾張國訓原神社○在ニ國原村一

網野神社

[田志]網野神社ハ阿佐茂川ノ東ニアリ浦嶋大明神ト云ヘリ別號ハ吉野社トモ云ヘリ社僧來迎寺ト

社橋立ヨリ半里アマリ男山村ニアリ板列ヲハンナミト唱フト云ヘリ

杉末神社（スギスエノ）桜古本

○按末當レ作レ米出雲國須義禰神社米與レ稱通

吾野神社（ワカノノ）

大虫神社（オホムシノ）名神大

[文實]齊衡二年正月壬午朔丙午丹波國大蟲神加ニ從四位下一○今云ニ山王社一在ニ宮津山上一○越前國大虫神社[伊勢儀式帳]朝熊社答虫神○越前國佐々牟志神社

小虫神社（コムシノ）名神大

丹波郡九座 大二座 小七座

[續紀]延暦二年三月庚寅丹後國丹波郡人正六位上丹波直眞養任ニ國造一

大宮賣神社（オホミヤメノ）二座 名神大

[三實]貞觀元年正月廿七日丹後國從五位下大宮賣神從五位上

補 春村云神像二軀載ニ附考一十一右

咋岡神社（クヒオカノ）

波彌神社（ハミノ）

[三實]阿當護山破无神墳安姫○按波彌波爾通○河内國澁川郡波牟許曾神社

多久神社（タクノ）

[姓氏]神魂命男多久豆玉命按賀茂建玉依彦命歟

[年中行事秘抄]多久須玉依姫

稻代神社（イナシロノ）

○大和國稻代坐神社

名木神社（ナキノ）

[姓氏]多久都玉命三世天仁木命又云天佞命子天爾支命

矢田神社（ヤダノ）

祖也

彌刀神社

○尾張國見努神社出雲國三屋神社

須代神社

［大同本紀］素戔烏尊所ㇾ生三女神奉ㇾ助二天孫一而爲二天祖一所ㇾ祭止詔之神也今丹波國與佐乃比沼ノ直名井坐須勢理姬

布甲神社

○今云布甲峠有二岩窟内一有二風穴一出

宇豆貴神社

阿知江神社

［和鈔］謁叡

久理陀神社

○久牟田村

多由神社

○若狹國多由比神社

宇良神社

［書紀］丹波國浦掛水門

矢田部神社

［舊事紀］矢田部造遠祖武諸隅命［姓氏］矢田部

阿知江岩部神社

○丹波國船井郡出石鹿㚋部神社アリナホ其條ニ云ヘリ信友

倭文神社

三重神社

○三重谷［和鈔］丹波郡三重

木積神社

○越前國己乃須美神社

板列神社

［元亨釋書］丹州與謝縣板浪里○信友云宮津人云此

從五位上大川神正五位下

阿良須(アラスノ)神社

笶原(ヤハラノ)神社

○讚岐國香川郡笶原乃波頁[玉篇]笶式氏俗矢字

麻良多(ラタノ)神社

[秘釋]作二圓田一○熊野郡丸田神社又越後國頸城郡圓田神社

三宅(ミヤケノ)神社

日原(ヒバラノ)神社

[古事記]天日腹大科度美神[姓氏]檜原宿禰○信友云舊印本日原ト書テヒバラト訓ヲ付タリ

與謝(ヨサノ)郡廿座 大三座 小十七座

籠(コノ)神社 名神大 月次新嘗

[續後紀]嘉祥二年奉レ授二丹後國籠神從五位下一○貞觀六年十二月廿一日授二從五位上籠神正五位下一○同十三年六月八日授二丹後國正五位下籠神從四位下一○元慶元年十二月十四日授二從四位下籠神從四位上一[一宮記]住吉同躰也 一名籠守○攝津國住吉郡大依羅神社○一宮ナリ○帳古本書入一名籠守權現[永萬記]籠宮 主基トアリ [稚狹考]板屋氏 丹後國河佐郡ノ方ヘ開キテ海中ニ周廻三里ニ及ブ島アリ小島ト云フ云々社アリテ老人島大明神ト云フヲジマト云ヘルハ老人島ノ轉ゼルニヤ同國河守里大神宮ノ社人此社ヲ預レリ河守ハ昔故アリテノ社也(式)籠ノ神社コレ也[田志]籠宮大明神ハ與謝郡府中村ニアリ一名ハ籠守大明神ト云フ里人ハ籠(カゴ)大明神ト云フ也縁起ニハ國常立尊也ト云ヘリ今在記ニハ天水分神也ト云ヘリ(前太平記)其外ノ書ニハ住吉同躰ト云ヘリ毎年四月午日ヲ以テ祭ル正一位籠之大明神ト額ヲウチタリ勅額ナリト云フ

物部(モノベノ)神社

○宇麻志麻治命[舊事紀]物部呉足尼連公依羅連祖[續紀]寶龜七年閏八月丹後國與謝郡人釆女部刀自女一産二三男一○按釆女朝臣大水口宿禰之後物部同

神名帳考證　卅八

延喜式卷第十之十七　山陰道第二

丹後國六十五座

〔續紀〕和銅六年夏四月乙未割ニ丹波國五郡一始置ニ丹後國一

大七座
小五十八座

加佐郡十一座 大一座 小十座

奈具神社

◉竹野郡ニモアリ可レ考〔田志〕ト標セルハ丹後奈具 田邊府志ナリ 神社天避社トモ天酒社トモ云ヘリ宇賀乃咩命也豊宇氣比女神也ト云リ

伊知布西神社

○越前國市振神社

彌加宜神社

〔古事記〕日子坐王娶ニ天之御影神之女息長水依比賣一生子丹波比古多々須美知能宇斯王

倭文神社

○天羽槌雄命

高田神社

○在ニ高田村ニ〔舊事紀〕建田背命丹波國造等祖〔姓氏〕竹田臣阿部朝臣同祖大彦命男武渟川別命後也

大川神社 名神大

○在ニ大川村水邊ニ○信友云今大河原大明神トイフ若狹國人猪鹿の田を傷ふを愁ひて此神に祈て猨を借るといふ事あり其祈願に詣でゝ歸らぬほどに旣に其村へ猨來りゐるゆゑ猪鹿出ずかくて其定めて借たる日限をすぐれば一つも居らずと云ふこの事慥なる事なり〔三實〕貞觀元年正月廿七日丹後國從五位下大川神從五位上○同十三年十一月十一日

「千載集」長元九年後朱雀院の御時大嘗會主基の神遊の歌丹波の神なび山を藤原義忠「常磐なる神なひ山のさかき葉をさしてそいのる萬代のため」長元主基氷川郡千載壽永元年大嘗會主基方のうた丹波國神なび山をよめる權中納言兼光「みしまゆふかたにとりかけ神なひの山のさかきをかさしにそとる」

伊也神社（イヤノ）

○越後國伊夜比古神社

赤國神社（アカクニノ）

高藏神社（タカクラノ）

○高倉下命歟「和鈔」物部（モノベ）　又高殿

佐須我神社（サスカノ）

「古事記」日子刺肩別命

嶋萬神社（シマヽノ）

「和鈔」志麻（シマ）　○今島間村アリ

福太神社（フクタノ　田イ）

○出雲國佐久多神美作國佐久太神社

式外舊社

荒井神　城埼神

「三實」元慶六年十月九日丹波國正六位上荒井神城埼神並從五位下

［續紀］卅八天田郡大領丹波眞廣麻呂

生野神社

奄我神社

［三實］貞觀十四年十一月廿九日正六位上奄我神從五位下［和鈔］奄我　［姓氏］奄我天穗日命之後也［和鈔］天田郡土師奄我［續紀］寶龜四年九月壬辰丹波國天田郡奄我社有盜喫供祭物斃社中去十許丈更立社焉

天照玉命神社

○天照饒速日尊也按（國造本紀）丹波國造尾張同祖出自饒速日尊天田郡名起自天照號乎［台記］久安三年十月十三日癸卯先日典藥頭重基朝臣申曰來十七日爲拜氏神下向丹波國按丹波氏以天照社爲氏神歟丹波國アマテルノ社ニテ丹波忠茂朝臣「大江山むかしの跡の絶せぬはあまてる神もあはれとやみん」（丹波系圖）康賴始而賜丹波宿禰丹波天田郡人醫術通神靈云々又按（姓氏）丹波史後漢靈帝八世孫孝日王之後也

荒木神社

［三實］貞觀元年五月四日己未丹波國荒木神列於官社［姓氏］天高御魂乃命十三世建荒木命

何鹿郡十二座並小

須波伎部神社

［三實］貞觀十一年十二月八日辛卯授丹波國正六位上物部簀掃神從五位下

阿比地神社

阿須々伎神社

○阿遲須伎高彥根命乎［三實］元慶二年丹波國言慶雲見管何鹿郡阿須々伎神社［和鈔］吾雀

御手槻神社

佐陀神社

［姓氏］佐太宿禰坂上宿禰同祖

河牟奈備神社（何イ阿イ珂イ）

伊尼神社

○今伊禰ト云浦里アリ海邊ナリ

佐地神社

[姓氏]佐代公豐城入彥命之後也○信友云[和鈔]佐沼トアルハ佐治ノ誤也今猶佐治村存

阿陀岡神社

○大和國宇智郡阿陀比賣神社

楯縫神社

[大嘗會式]楯丹波國楯縫氏造レ之[舊事紀]以ニ彥狹知命一爲ニ作盾者一○多紀郡ニ川内多々奴比神社アリ

芹田神社

○出雲國西利大神社

兵主神社

新井神社

[姓氏]氷上眞人出レ自ニ天武皇子新田部王一也

奴々伎神社

廬井神社

○廬訓伊保

加和良神社

伊都伎神社

○鴨縣主譜鴨建玉依彥十一世大伊乃伎命

神野神社

○桑田郡神野神社同社歟[和鈔]賀茂[中右記]元永二年十二月五日右中辨惟兼來云鴨社今度遷宮件御服裝束事被レ問ニ本社司一之所申云以ニ丹波御厨年一度所調供米一也而自ニ故禰宜惟季時一被レ立ニ加美乃御厨一之後ニ二季調ニ進之一

天田郡四座並小

し承歸候事に御座候爭ひがたき事に奉レ存候　文
政八年

神田神社

[和鈔]神田[兵家茶話]酒井庄波賀野村ノ近邊ニ今田ト云フ處アリ神田神社アリ地名神田ヲ今田ト訛レルニヤ歌ニ詠ル神田里モコヽナルベシ

川內多々奴比神社二座

[和鈔]河內　[舊事紀]以ニ彥狹知神一爲ニ作盾者一[兵庫寮式]踐祚大嘗會新造盾神四枚丹波國楯縫氏造云々○氷上郡ニ楯縫神社アリ

大賣神社

○淸王按在ニ寺內村一

佐々婆神社

[兵家茶話]多紀郡曾我部庄宮村ニ坐ス八幡宮ト云フ

二村神社

[兵家茶話]酒井庄鎭守二村神社ハ同郷波賀野古市ト云フ處ニアリ[續後紀]十四丹波國多紀郡人常澄宿禰成主改ニ本居一貫ニ附左京一條二坊一

熊按神社

○一本熊鞍[拾遺集]七くまのくらと云フ山寺此乎

氷上郡十七座 並小

高座神社

○高倉下命平[和鈔]　[姓氏]氷連饒速日命之後也[舊事紀]丹波國造尾張同祖

狹宮神社

苅野神社

㠉部神社

[姓氏]石邊公久斯比賀多命之後也[和鈔]石生イソフ
○船井郡ニ出石鹿㠉部神社アリ

知乃神社 鍬

[書紀]崇神紀武茅渟祇於美豆奴神

賜姓紀宿禰焉武内宿禰之後別也

志波加神社

○伊勢國志婆加支神社

辨奈貴神社

[和鈔]氷上郡船城布奈木

麻氣神社名神大

[三實]貞觀元年正月廿七日丹波國從五位下小川月神麻氣神並從五位上[文實]仁壽二年十一月甲辰遣使者丹波國麻氣神社奉幣

酒治志神社

[和鈔]須知

多沼神社

多紀郡九座大二座小七座

櫛石窓神社二座並名神大

[舊事紀]令豐磐間戸命櫛磐間戸命二神守衞殿門並天太玉命之子也[顯廣王記]本宮西院北舍坐四面御門神大内建禮建春門等令坐之神也本社在但波國令坐宮城門之上云々當官北舍也非八神社本官四面門神也○信友云古本書入大芋社ト云風神トモ號ス[廿二社注式奥入]多紀郡櫛石窓神二座本記曰神代尊號級長戸邊命級長津彦命是風神陰陽兩神也大和國龍田坐須龍田彦龍田姫神代與利垂跡風神乃本社奈利豐受皇太神宮仁供奉丹波國仁坐須人皇廿代雄略天皇十七年癸丑豐受皇太神丹後國與佐郡眞名井原與利伊勢國山田原仁御遷座乃時御供奉此兩神陽神級長津彦命波伊勢山田原仁垂跡阿利今大神宮攝社内風宮是奈利陰神級長戸邊命波丹波國多紀郡仁留坐大芋大明神是奈利當社社官者大和國三輪大明神子孫也故大和宿禰氏人奉仕之○橋村正兌書狀云當八月丹波多紀郡櫛岩窓神社參拜仕候甚御衰微にて御倉も經藏と變じて天台僧一人奉仕候て其邊之氏神とおはしまし候處此神死穢を忌給へること甚しく氏子の村々死人を暫もさし置事のならぬのみならず墓地をも今に構申事叶ひ不申風雨の日といへども早々他領までも送り出し候よ

與能神社

[三實]仁和二年十一月十四日丹波國正六位上爲ニ與熊神從五位下一○今云餘野尻村[魚]與能大明神ト云ヒテ今モヨノト云フトアリ信云サレバ(三實)ノ熊トアルハ誤ナリ

多吉神社

[古事記]天押帶日子命者多紀臣祖

村山神社

鍬山神社

[魚]鍬山大明神ハ龜山城ヨリ十七八町南矢田村ニ御座龜山ノ生土神ナリ

稗田野神社

○今云稗田[魚]稗田大明神ハ下佐伯村ノ産神也村ヲ稗田ト云フ

船井神十座大一座小九座

船井神社

[和鈔]船井布奈井

志多非神社

○一本志多氷トアリ[古事記]秋山之下氷壯夫

出石鹿岩部神社

[和鈔]出鹿イツシカ[秘釋]出石鮠岩部作レ鹿非トアルハイカヾ信友○多紀郡ニ岾部神社アリ又丹後國與謝郡ニ阿知江岾部神社アリ

嶋物部神社

[和鈔]志麻

幡日佐神社

○信友按幡ハ地名歟小幡神社上ニアリ○古本書入ニ氷大明神神吉氷室又曰氷大明神件解云和銅年中御影向當時齊衡年中被レ授ニ追從三位宣命一云貢レ氷晉暑月貢追知ニ天下之泰平庶民之豐稔之嘉瑞一也[姓氏]曰佐武内宿禰之後也[諸神記]氷大明神[續後紀]承和二年十月乙亥丹波國人大村直福吉及同族

のすみかと成にけりトアリ此記書シ頃モアタゴヲ北京ト云ヘレバ早ク山城ニツキタリケリサテ今山城ノ愛宕郡ハ舊阿多古ノ神ノ坐ス地名ヨリ出タルナルベシアタゴトハカグツチノ神ノタメニ母命ノ火ニ焦レテ崩リ玉ヘレバ仇子ノ義ノ御名ナルベシ記傳ニ說アリサレバ郡名ノ愛宕モモトハアタゴト唱ヘケンヲ仇子ト云フ詞ノイマ〳〵シキヲイミテ後ニオタギト唱ヘカヘタルモノニテ神名ハ古ノマヽニ稱スナルベシ又按ニ當社產火ヲ忌キラヒ玉フト云傳ヘタリソハ神ノ忌玉フハナベテノ例ニテ素ハコノ神ノ御火ニテ妣命ノ御陰ヤカレテ崩リ玉ヒツルサガナキ御事ヲ忌ミテ產火ノ當社ニフルヽヲサケタルガコトノ因緣ナルベシ［拾芥抄］爲二葛野郡一

小幡神社（ヲバタノ）

［古事記］彥坐王子小股王［魚］未レ考穴太村ニ社アリ社人云コレ小幡神社也ト云ヘリ

走田神社（ハシリタノ）

○一本ニ走達トアリ［魚］走田ハセタ大明神ハ龜山ノ城ヨリ廿餘町西ニアリ［和鈔］早稻○山城乙訓郡ニ同名アリ［三實］貞觀十五年信濃國和世田神社○ハセタノ宮ト云フ

松尾神社（マツノヲノ）

○在二保津村一號二浮田大明神一傳曰此神者卽是松尾大明神○大山咋神

伊達神社（イタテノ）

［魚］龜山ノ城ヨリ廿町許北西宇津根村寶藏寺中ニアリ

大井神社（オホ井ノ）

○古本書入ニ月讀命　建治元年四月神輿依二大井川大水一而流此故國民祭レ之云々○今云老坂［魚］龜山城ヨリ一里許西北方大井村並川村ノ產神也大井大明神○山城國乙訓郡大井神社

石穗神社（イハホノ）

［土佐風土記］天石帆別命天石門別神子也

「三實」貞觀元年正月廿七日丹波國從五位下小川月神麻氣神並從五位上「和鈔」小川平加波「魚」ト標シタルハたらひの魚ト云國志也池尻村ニ在ト云ヘドモ未レ考

三縣神社

○大己貴命櫛御方命「和鈔」何鹿郡三方郷

神野神社

「山城風土記」賀茂建角身命娶ニ丹波國神野伊可古夜日女ニ生子名玉依日子次曰ニ玉依比賣ニ「神社啓蒙」輕野社在ニ丹波國桑田郡宮傍村ニ按神野轉乎

山國神社

「和鈔」山國　「魚」北丹波山國ト云フ處ニアリ

阿多古神社

「三實」貞觀六年五月十日乙未授ニ丹波國正六位上愛當護神從五位下ニ○同十四年十一月廿九日乙未授ニ從五位下阿當護神從五位上ニ○元慶三年閏十月廿四日庚戌授ニ從五位上阿當護神從四位下ニ○同四年四月廿日癸丑授ニ丹波國阿當護山无位雷神破无神並從五位下ニ○按伊弉冊尊從祀雷神破无神二座　正身按井澤氏「俗說辨」曰愛宕ノ神ハ伊弉並尊ト火皇產靈命ヲマツリ奉ル神社ハジメ山城國愛宕郡ニアル故ニ愛宕社ト號ス後ニ同國葛野郡ニウツス以下注此山丹波國桑田郡ト牟ス此故ニ（延喜式）ニハ丹波國桑田郡阿多古神社トアリ今按火皇產靈トスルハ（三實）ニ不レ合本書ノ說ニ從フベシ○信友按延喜ノ頃ハ丹波ニ屬ラレタルナルベシ「魚」今ノ山城ノアタゴ也或書ニ光仁天皇ノ天應元年釋慶俊今ノ處ニウツス當社始ハ山城國愛宕郡鷹峯ノ北ニアリ今ニ石門存ス上加茂大門村ハ又ソノ社ノ大門ノアリシ處ト云リ今ノ社ノ坐ス山ハ今ハ葛野郡山城ニ屬スシカレドモ舊名ヲ唱ヘテ愛宕ト云ヒ山ヲモアタゴト云ヘリ慶俊勝軍地藏ヲ併セ祭ル素尊ト軻遇突知神ハ奧院ト號シテ祭レ之今ハ奧院ハ太郎坊ト稱シ地藏ヲ本宮トス是ヨリ社人跡絶タリ

○信友按（源平盛衰記）山門堂塔ノ事ノ段ニ北京にはあたご高雄の山も昔は堂塔の軒をきしり行學功をつもりけれども一夜の中にあれしかば今は天狗

神名帳考證　卅七

延喜式卷第十之十六　山陰道第一

山陰道神五百六十座

大卅七座 就中一座月次新嘗

小五百廿三座

丹波國七十一座

大五座

小六十六座

桑田郡十九座 大二座小十七座

出雲（イヅモノ）神社 名神大

「續後紀」承和十二年无位出雲神奉レ授二從五位下一依二國司等解狀一也「三實」貞觀十四年十一月廿九日授二丹波國從四位下出雲神從四位上一〇元慶四年六月廿一日授二從四位上出雲神正四位下一「日本紀略」延喜十年八月廿三日授二丹波國出雲大神正四位上一

「書紀」崇神紀六十年遣二吉備津彦與二武渟河別一以誅二出雲振根一故出雲臣等畏二是事一不レ祭二大神一而有レ間時丹波氷上人名氷香戸邊啓二皇太子一曰己子有二小兒一而自然言之玉萋鎮石出雲人祭云々是非二小兒之言一若有二託言一乎於レ是皇太子奏二勅之一使レ祭〇出雲社者元明天皇御宇和銅元年被レ立二社壇一神領所所御影山一條入道太政大臣被二下知一畢天福二年三月廿三日御教書有レ之「令義解」地祇者出雲大汝神等類是也「一宮記」出雲神大己貴命妻三穗津姫也「徒然草」下百一段 丹波に出雲と云云々〇山城國愛宕郡出雲井於神社〇信友云出雲ノ雲字一本又拾芥抄ニ芋トアリ芋ハウモト云フガ古言也芋ニヨリタル地名ニヤアラン多紀郡櫛石窓神社ヲ古本ノ書入ニ大芋社ト云トアリ芋ニ由アルニヤ考ベシ

桑田（クハタノ）神社

「和鈔」久波多

三宅（ミヤケノ）神社

小川月（ヲガハノツキノ）神社 名神大

［略風］猿八村ニアリ

賀茂郡二座

大幡神社

［略風］大倉村ニアリ［三實］元慶七年二月二日授二佐渡國正六位上大庭神從五位下一トアル可レ考

阿都久志比古神社

［略風］長江村ニ熱串彥神社アリ［舊事紀］天日方奇日方命亦名阿田都久志尼命　按天日方奇日方孫大鴨積命磯城瑞籬朝御世賜二賀茂姓一

式外舊社

花村神

［三實］貞觀十六年十二月廿九日授二佐渡國正六位上花村神從五位下一

佐志羽神

［三實］元慶二年十一月十三日授二佐渡國正六位上佐志羽神從五位上一

大庭神

［三實］元慶七年二月二日授二佐渡國正六位上大庭神從五位下一

一宮

［永萬記］

神名帳考證　卅六

延喜式卷第十之十五　北陸道第七

佐渡國九座並小

○信友云當國ノ神社式內コトゞゝク現存シ玉ヘル事イトメデタキ事ナリ

羽茂ハモノ郡二座並小

度津ワタツノ神社

○古一本書入ニ五十猛神也ト注セリ○隱岐國知夫郡和多須神同乎［書紀］欽明紀五年出ニ瀨河神ニ釋紀以爲ニ此社ニ○今在ニ飯岡村ニ［畧風］佐渡國略風土記也說上ニ同ジ

大目オホメノ神社

○丹波國大賣神社［和鈔］羽茂郡大目於保女［畧風］椿尾村ニアリ

雜太サハタノ郡名抄釋五座並小

○雜粟也［和鈔］播磨國宍粟志佐波○志摩國伊雜同レ之

引田部ヒキタベノ神社

○大和國城上郡𣏐田ヒケ神社［三實］十五大神ノ引田ノ朝臣大神ノ楮田ノ朝臣大神ノ掃石朝臣大神ノ眞神田朝臣等遠祖雖ニ同流別ノ各異［畧風］金丸本鄕ニアリ

物部モノノベノ神社

［續紀］延曆十年九月甲子敘ニ佐渡國物部天神從五位下ニ［畧風］小倉村ニアリ

御食ミケノ神社

［畧風］後山村ニアリ

飯持イモチノ神社

［舊事紀］神魂尊兒天御食持命紀伊直等祖［大忌祭祝詞］御膳持須留若宇加能賣命［畧風］河內村ニアリ［秘釋］ミケモチト訓ス

越敷ヲシキノ神社

ノ向ヘワタリ鹽屋驛ノ傍ニテ海ニ入ル又荒川神社桃崎驛ニ坐スト近代イヘリ予是非ヲシラズ

多伎（タキノ）神社

漆山（ウルシヤマノ）神社

「延喜式」主計式越後國漆「案内」葡萄村當號矢武計明神俗語云源義家奥州征伐ノ心願ニ矢ヲ以テ宮殿ヲフキ玉フニ依テ矢武喜ト云フト也葡萄峠ヲ内一坂越テ數十丈見上ル巖ノ上ニ社アリ凡巖ノ高サ三十五尋横七十五間云々寔ニ神久タル靈地ナリ

桃川（モヽカハノ）神社

「案内」村上ヨリ辰巳二里計桃川村當號八幡宮社頭巳ノ方ニ向（名寄）神社巻云桃川神社桃川村ニアリ上杉景勝卿時代マデハ大社美麗ナリシニ會津所變以後社頭衰微ス○村上城藩當號八幡宮社頭東向社司ノ云式内桃川神社ト云フ不審ナリ

湊（ミナトノ）神社

「案内」七湊村七高山ト云當號湊大明神社頭南向村老云往古信濃川加治川阿賀川其外小川ニ至マデ此處ニ落來岩舟ニ流レ下ル客船アマタ集リ七所ニツナグユヱニ七湊ト云フトナリ

[案内]沼垂驛當號白山權現社頭東向後ニ沼垂川アリ[枕草紙]ヌヤシロハト云下ミクリノ社アリ

川合神社

[案内]黒川村ヨリ辰巳二里餘鷄田坂村今蒲原郡ニ屬ス當號熊野權現石井神社ノ舊記ニモ此事有社頭巳ノ方向社地ハ往來ヨリ十丁計低ク胎内川鹿ノマタ川ノ會スル所ノ川岸ニアリ

磐船郡八座並小

石船神社

[案内]磐船驛ニアリ祭神木舟大明神往古明神御舟ニテ降臨シ玉フ則御舟ハ海中ニ沈ミシト云リヲリフシ旅行人御舟今ニ見ル事アリト也水主ノ子孫今ニ神輿ノ御供スト云ヘリ

蒲原神社

[案内]郡ノ五里餘庄内堺勝木村當號八幡宮社頭南向也一山諸木シゲリテ廣々タル境地也蒲ハ水草也三島郡ニテカツオト云磐船郡ニテガツボト云海府庄内ニテガツギト云フ村名勝木訓ハ上古ノ遺辭歟

西奈彌神社

[案内]葡萄村ヨリ西程二里行福寺支配御西御南ト云靈山アリ或云西奈彌ハ西南ノ言也ト云ヘリ村上城下ニ羽黒權現社頭東向持統朱鳥年中鎭座元龜年中相殿勸請ニテ西奈彌神社也ト社司云ヘリ衆口ト異也不審[古事記]日子刺肩別命者高志之利波臣之祖[和鈔]磐船郡利波

荒川神社

[案内]桃川ノ上飼附ノ渡ヨリ川北一丁計小磐内村社頭居村ヨリ一町計ニテ往來ノ涯ニアリ此ワタリヨリ上荒川ト云ヘリ社地モ荒果テ草芒々トシテ方二間計也古老ノ欅一本アリ内空トナリ非人乞食住居セリ神代ノ大神カクオトロヘ玉フ事イカニゾヤ偏ニ産子日蓮宗ニテ尊敬スルモノナシ社地ハ川欠ケテ川原トナリ恐ルベキ悲ベキノ至極也云々荒川水上ハ羽州米澤ヨリ五里コナタ靭峠ヨリ云々桃崎

長岡領ノ内島原村六百石ノ地所ヲ出ス云々地所成就ノ後井ヲ堀土ヲ上ゲ屋敷ヲ構ヘ民家ヲ建最初ヨリ民家アル所ヲ今古町ト云汰江村ノ百姓大半引越ス依テ産神ヲ遷シ神明宮ト崇奉ル今汰江村ハ田地ニ荒レ人民ヤウヤク三四軒アリ(名寄)神社卷ニ新潟古町神明宮トアリ又同所白山權現アリ社司船江神社ト云リ不審也云々

土生田(ツチフタノ)神社

「姓氏」高志壬生連日　臣命七世　孫室屋大連之後也

「案内」郡ノ北方一里餘羽生田村當號山王八幡兩社ノ内式社分ラズ社頭兩社共ニ東向也往古ハ土生田ト書近代ハ羽ト書リ別當修驗五大院「永萬記」ニ上生田社トアリ

沼垂(ヌタリノ)郡五座 並小

大形(オホカタノ)神社

「案内」郡ノ一里計北大佛村今河渡村トテ蒲原郡ニ屬ス當號白山權現社頭南向阿賀川新潟湊ヘ流シ出ルニ付往還渡場ユヱニ河渡村ト改ム也今ハ阿賀川松ケ崎ヨリ海ニ入

市川(イチカハノ)神社

「案内」郡ノ戌亥ノ方四里餘乙村大日堂境内ニアリ當號八所權現カ當時蒲原郡ニ屬ス社頭巳ノ方ニ向古翁云往古ハ信濃川加治川阿賀川其外小川迄殘ラズ磐舟七湊ニ流レ下ル古ル川筋辻驛ヨリ一丁計西ノ方所ニアリ多クハ砂山トナルソレヨリ乙村ヘ流レ出此所舟市アリ諸人集ル事常ニ市場ノ如シ故ニ市川神社ト云フ也

石井(イシヰノ)神社

「案内」郡ノ五里計東中條驛當時蒲原郡ニ屬ス當號若一王子聖武神龜三年鎮座元祿年中此地ニ遷シ奉ル八丁餘戌ノ方ニ舊跡アリ水田トナル清水湧出ル事井ノゴトシ社地ノワタリ石間河原ト云フ往古荒川飼附渡ヨリ此所ニ流レ落ル故ニ亥子ノ方ニ井上村アリ云々舊跡タル事疑フベクモナシ

美久理(ミクリ)神社

山命ノ妃ハ熱穗屋姫命也子　天玉田根命陵武暮山ニ在　天忍人命陵福井村ニ在　大戸國命陵草薙山ニ在　建筒草命陵樋曾村ニ在　建田背命陵勝谷ニ在　建諸隅命陵瑞籬ノ内ニ在　以上案内ニ云

長瀨（ナガセノ）神社

［案内］村松ヨリ東一里計矢津村當號正八幡宮社頭東向畠中山ノ尾先ニアリ予式社ナルベキト拜スイカントナレバ社頭ヨリ巳午ノ方ヘ畑中ニ土居ノ如ク高サ丈餘計ノ長瀨十丁餘モアリ是萬代不易ノ瀨也ユヱニ爾云

中山（ナカヤマノ）神社

［案内］村松ヨリ西北一里半計橋田村當號山王權現社頭南向四五丁計山上ニアリ境地八丁四方松竹多シ古ヘ護摩堂山城主盛ナリシ時マデハ村上ヨリ往還アリテ中山通リト云ヘリ社號吉田家ヨリ免許

且飯野（イヒノノ）神社

［案内］東山涯五頭山ノ麓宮ノ下村當號山裏八幡宮後ニ記ス飯出山ナラン歟　相殿神明宮春日明神攝社母衣尾明神　風神也社司鈴木氏系圖五十二代也社頭西向山林八丁四方大老ノ杉松麻ノゴトシ本殿山上ニテ許殿中段ニ在リ其間一丁計アリ大道ヨリ左右幷本拜殿マデ一丁餘アリ予蒲原郡長瀨且飯野兩社共ニ尋ネケルニ知人ナシ疲レテ小杉村ノ渡リ場ニ晝寐セリ日モ夕陽ニ傾キ川瀨ヲ詠テ長瀨神社ヲ思ヒ矢津ノ宮ヲ愚按ス少間有テ又且飯野神社ヲ思ヒ且ノ置文字アルウヘハ山深クシテ日蔭ナラント東方二ノ王子ノ峰ノ南五頭山ノ麓ニ至リ山裏八幡宮ヲ拜セリ管見スルニ巳ノ剋ニ及マデ山蔭ニシテ日光ヲ拜セズ且ノ置字ノ意味ニ叶ヘリヤ云々社司云式内ナリト前々云傳フレド社號ヲシラズ云々

船江（フナエノ）神社

伊夜比古記有二六王子之號一二王子船山此初神泛レ海時所レ司レ舟者也［案内］郡ノ西十里餘新潟ノ内汰江村祭神神明宮往古ハ善道寺ノワタリニテ田地民家アリ客船出入ス寛永八年ノ比トカヤ今新潟ノ地ハ新發田領地萱野ナリシガ長岡ヨリ替地ヲ願ヒ

[姓氏]布勢朝臣大彦命之後也[案内]郡ノ辰巳二十丁計リ布勢村當號八幡宮社頭南向山涯ニアリ式社ナルニヤ虚實ヲ知ラズ村中ニ橋アリ布勢川ト云フ西ノ方ハ大槻ノ庄東ノ方ハ青海ノ庄也

伊加良志神社

[古事記]五十日帶日子王者高志池君之祖[案内]郡ノ巳ノ方一里計飯田村五十嵐神社當號若一王子社頭南向古ハ西向五十嵐ノ涯ニアリ云々飯田村往古五十嵐村ト云リ打續惡作未レ進レ積百姓逃散ス領主アハレミテ貢納ヲユルシ呼返シ村名ヲ改メ飯田村ト云ヘリト此事記錄アルノ由村名ヲ以テ川ノ名トス五十嵐川ハ水上栗ガ嶽ノ麓下田ノ中ヨリ出末ハ五十嵐村ヲ經テ三條ノ里ノ南傍ヲ流テ信濃川ニ入ル

伊夜比古神社 名神大

[續後紀]天長十年秋七月丙戌朔戊子越後國蒲原郡伊夜比古神預ニ之名神ニ以下彼郡國イ毎レ有ニ旱疫ニ致雨救ヲ病也承和九年十月奉レ授ニ越後國无位伊夜比古神從五位下ニ[三實]貞觀三年八月三日越後國彌彦神授ニ從四位下ニ[萬葉]十六越中國歌 伊夜彦乃於能禮神佐備青雲乃田名引日須良霖曾保零 又伊夜彦乃神乃布本云々○在ニ櫻井村ニ[羅山文集]十五有ニ越後國伊夜比古神廟記ニ甚詳[案内]社記ニ曰孝安天皇元年二月二日崩シ玉フ陵神劔ノ峰南加止畱在六世孫建諸隅命礒城瑞籬宮御宇大御代大臣成時祖神ノ功奏爰天皇勅請ニ櫻井郷宮柱ニ云々○天香語山命ハ天神ニテ天孫降臨ノ時供奉三十二神ノ御神也又社司云上古紀伊國新宮神倉大明神此國ヘ臨幸也伊夜比古ノ大明神ノ御前名也神事ニ神歌トテ唱フ二首也(萬葉)中十六ニ見エタリ伊夜彦乃於能禮神佐備云々今一首ハ伊夜彦乃神乃布本今日良毛加鹿乃伏良武皮服著而角附奈我良○神事正月廿六日ヨリ二月三日マデ三月廿六日ヨリ四月三日マデ十月廿六日ヨリ十一月三日マデ也云々奉錢ヲ投ル鐵鉢ノ銘嘉曆元年九月五日云々伊夜彦御鉢ト云々神主高橋氏彌彦一邑ノ庄司也○又云伊夜彦神社按櫻井鄕彌彦驛御朱印五百石祭神天香語山命

器系　饒速日尊ノ子ニテ妃ハ天道日姫命也天香語

スルト云ヘリ○押附村ニ鞋八幡宮ト云フ也源義家勸請有テ鞋ヲ寄附セラル故ニ社號トナル云々右兩村トモニ彌彦驛ヨリ東北ノ方ニシテ其間近シ愚按川口驛ハ云々俗言ニ岩聳ヘ水渦キ潭淵タルヲあをりト云リ兩川出合毎ニ水岸ヲ打故謂歟○信友云コノあをりト云方言ニツキテ考ヨロシ川合ト云フト同言ナルベシ[案内]又明口大明神川井村郡ノ一里許□川合神社ト社司云川口村ヨリ未申ノ方但シ川口村ニ川アリ舟渡シ也予是非ヲシラズ

蒲原郡十三座大一座小十二座

青海神社二座

[和鈔]青海安平美[案内]郡ノ丑寅一里餘青海庄加茂町祭神二坐同殿當號山王權現社頭西向加茂大明神境内東中段ニアリテ攝社ノ如シ加茂大明神ハ加茂次郎義綱ノ草創也云々加茂川ハ加茂ノ奥七谷ト云村里ヨリ流レ出テ三條ヨリ三里下ニテ信濃川ニ入ナリ

宇都良波志神社

[案内]村松ヨリ東南三里計リ瀧谷村當號白山權現古翁ノ云古ノ社地ハ當時慈光寺ノ境内ト成トカヤ深山幽谷ニテ十四五丁ノ内ニ一川ヲ渡リ越ル事橋六ケ所アルユヱ社號トナル也シカルニ三百年前楠正成ノ三男楠庄五郎入道シテ一宇ヲ造立ス時ニ社頭ヲ辰巳ノ方山上ニ遷シ奉ル凡遠見十丁計モアリ

伊久禮神社

[案内]三條ヨリ北二里計リ井栗村ニアリ當號八幡宮社頭辰ノ方ニ向境内ニ石碑アリ妹我家爾伊久里能森乃藤乃華今來牟春毛常加久志見牟大原高安眞人古ヨリ藤ノ名高シ庭前南ノ方ニアリ[和鈔]勇禮以久禮

槻田神社

○武藏國調神社[案内]郡ノ卯辰ノ方五里大槻ノ庄三條驛ニアリ當號裏ノ八幡ト云リ社頭東向或云攝州三田ヨリ勸請ト云天明四年吉田家ヨリ槻田大明神掛物申受虚實愚意不レ及

小布勢神社

印四十石南向社地田ノ中ニテ杉木多クアリ老大ノ樫一本アリ空木トナル社司云魚沼神社也ト云フ或人云堀丹後守直寄勸請歟ト云ヘリ不審キ事歟

大前神社（オホサキノ）

○近江國高島郡大前神社[案内]郡ノ丑寅ノ方三里計上田川ノ東大崎村當號正一位稻荷大明神社頭申ノ方ニ向八海山正面ノ麓也故ニ大前ト云カ境内ヨリ十丁計リ登リテ大老ノ杉木アリ里人ワラダカケノ杉ト云フ往古神饌ヲ炊キ八海山ニ運ビ登リシト也

坂本神社（サカモトノ）

[姓氏]上毛野坂本朝臣豐城入彥命十世孫佐太公之後也[案内]郡ノ東南ノ間三十丁計リ川東坂戸山ノ麓ニアリ山王權現ト唱フ江州比叡山ヨリ遷シ奉ル歟

伊米神社（イメノ）

[案内]郡ノ戌亥ノ方二里計リ蟲野村アタリヲ世俗ユメガ崎ト云フ諏訪大明神アリ社頭辰巳ノ方ヘ向大野川ノ岸ニアリ川欠ニテ諸本ナシ社頭モ危キ體也大野川ハ水上湯澤ヨリ二里傍ノ土樽村ヨリ出サテ小川トモ落合ヒ六日町驛ヨリ船ニ乘ル浦佐和小出島堀ノ内ヲ歷川口驛ニテ信濃川ト會テ小千谷長岡ヲ過ギ新潟ノ港ニ到リ其間船路凡三十八里諏訪大明神一里計リユメガ崎ヨリ亥ノ方四日町兩社アリ社頭イヅレモ南向同境同號神主兩家社司云伊米ノ神社ナリト云フ予是非ヲシラズ

川合神社（カハアヒノ）

[姓氏]川合公上毛野同祖豐城入彥命五世孫多奇波世君之後也[案内]郡ノ□二里半計リ川口村當號あをり明神ト里民ノ社頭辰ノ方ニ向フ境内最神久タル靈地也大老ノ杉木多クアリ上田川信濃川會スル所ニテ岩ノ出崎川岸ニ社アリ泥障（アフリ）宮ト云源義家奥州歸陳ノ時馬具ヲ納玉フ故ニ障泥ノ宮ト云フ也ト云々此村ハ土地低ク洪水ノ日ハ村民擧リ集ルイカヤウナル大水ニモ水ノ入ル事ナシ亦ナニホド人多ク入テモ居アマル事ナシ居者地ノウカミ上ル心持

テ繁茂セリ暖氣ノ内ハ近郷ノ鳥群泊リテ夜モ安ク寐ラレズ此ワタリ鵜川ノ庄ト云フ亦川ノ北岸ニ社アリ同號是非愚意ニ及ズ

多岐（タキノ）神社

「書紀」神代紀湍津姫命在ニ北海道中一「出雲風土記」阿遲須岐高日子命生ニ多岐都比古命一「案内」多太神社郡ノ子方二里計リ別山村社頭南向左右ニ大老ノ樫二本アリ云々委ハ社記ニアリト云ヘリ世ニ一ノ宮ト云フイカナル事ニヤ亦六社トモ云フ」信友云多太ハ多支ノ誤字ナルニヤ異本アラバ按スベシ「和鈔」多岐

三島（ミシマノ）神社

「舊事紀」天神玉命三島縣主等祖「和鈔」三島「案内」郡ノ西五丁計リ劔野村社頭南向左ノ方ニ老大ノ女松一本アリ貞享三年稻葉丹後守正道侯高田入部ノ砌社頭造營社領三十石新田開發寄附水帳幷黑印アリ云々

石井（イハヰノ）神社

「案内」郡ノ西ノ方二里計リ石地驛石井十二神社社頭山上ニシテ未申ノ方ヘ向云々社地海邊ニ兀トシテ五丁餘登ル古昔海中石ノ上ニ影向坐ス人民疊ヲ敷テ尊敬奉ル此處今ニ疊石ト云フアル夜山上ニ靈ナル光アリ依テ嶽上山ト云フ此處ニ御舍ヲ建石上ニ顯レ坐ス故ニ石居ト云フ中古井ニ改ム委ハ傳記ニアリト云ヘリ長尾爲景佐州ヨリ渡海ノ砌感應アルニヨリテ太刀一腰馬具奉納

魚沼（イヲヌノ）郡五座並小

魚沼（イヲヌノ）神社

「案内」郡ノ寅卯ノ方一里計リ大倉村當號八海山大明神ト唱フ山上迄行程凡四里山内數多ノ舊跡神慮ヲ恐レ是ヲ略ス村ヨリ辰巳ノ方四五丁行テ小川ヲ渡リ山足ニ杉木二三本アリ此所ニ石鳥居アリ八尺計參詣ノ男女願立ニ劔ヲ納奉ル祭禮毎年八月朔日前日ヨリ諸人參籠ス終夜灯ノ光魚沼ノ郡中村々ニ見ユル大小ノ光ハ願主ノ信心ニヨルトカヤ上古ヨリ今ニ至ル迄奇異ナル事諸人最尊敬ヲナス又云當郡上田六日市町ヨリ十計丁リ北八幡村八幡宮御朱

リ八石山ハ北條村ノ東也此山ノ草木色別シテ青ク外トハ格別美シキ由風土記ニアリ云々上古此山ニ大豆ヲ植シニ繁茂シ大樹ノ如クナリテ實多ク結ビシニ或日大風枝ヲ吹折テ遙ニ飛行シニ大豆ヲ落シ見ル處實ハ八石有シユヱ山ノ名トセシトカヤ麓ニ遊行派ノ專秋寺ト云ル寺ノ虹梁ニ大豆稭(カラ)ヲセシ(本ノマヽ)由申傳ヘタリ定テ彼稭ナルベシ近比寺燒失シ建替レリ但古彼寺天台宗ナランカ又郡ノ西ノ方二里計リ石地驛ニ二田大明神アリ天明二年吉田家ヨリ免許御島石部大明神掛物申請タル同號是非ヲシラズ

物部(モノノベノ)神社

[案内]椎谷驛ヨリ東山二里餘二田村社頭南向邑中ニシテ大老ノ諸木多シ往古ノ社ハ二十丁計リ東山ノ奥瀧澤ト云フ處ニアリ奥ノ院ト稱ス古ハ大社美麗也山ノ中壇ニ神陵ノ保古良アリ中古宮平ト云處ニシバラク御鎭座其後今ノ社地ニ遷シ奉ル云々天明三年吉田家免許掛物申ウクルト云々御朱印五十石神主吉野氏和漢三才圖會ニ二田村明神神主畑氏トアリ云々イカニモ神久タル靈地ナリ

鵜川(ウガハノ)神社

[姓氏]鵜甘部首武內宿禰男己西男柄男宿禰之後也

[案内]米山ノ東黒姫山當號黒姫大明神山上迄凡二里許社頭辰ノ方ヘ向古ノ社地ハ未申ノ方二丁計リ登舊趾アリソレヨリ南西ノ方十四五丁行テ鵜川瀧ト云フ是ヨリ流レ出ルユヱニ鵜川ト云フカ上條谷ヲ歷柏崎驛ノ後納屋町ニテ海ニ入此水久ク貯テ變ゼズ御鎭坐ノ窟ハ四五丁行テ東ノ方ニアリ輙ク登リ難シ山上ヨリ戌亥ノ方山ノ中腹ニ舟入ノ窟アリソレヨリ戌亥ノ方遙ノ山ノ尾サキ田涯ヨリ峰マデ舟道ト云アリ芝山ノ草色一入青ク道ノ如シ近キ處ニテ見エズ是ハ往古明神御舟ニテ臨幸ノ時鵜川ノ鳥御舟ヲ引登リシ道ナリト云フ常ニ見エズ晴天夕湯ニ見ル山ノ中腹丑寅ノ方ニ帆柱石ト云フアリ其餘略ス天明三年吉田家鵜川神社ト掛物申請ル由也又柏崎驛ヨリ十丁計リ辰巳ノ方ニ枇杷島村正八幡宮天明二寅年吉田家免許鵜川神社ト掛物申請(マヽ)タル由社頭南向平地大老ノ樫一本アリ鳥居ノ前ニ

「案内」予古志郡百三十餘村ノ内拜セズ出口延佳神主家記ノ尊號ヲ以テ愚按ズルニ三島郡西越庄島埼村出田大明神ナランカ此ワタリ古ヘ古志郡ナリケルニヤ桐原石部神社其間近シ明神影向ハ何レノ時ト云フ事ヲシラズ此神臨幸ノ節麴ヲ盛ル室蓋ト云ヘル器ニ乘テ田ノ中ニ坐トテ麴室ヲ作ルニ社境ノ土ヲ塗加ヘケレバ麴ヨシトテ緣ヲ求テ土ヲ用ユ毎正月十四日社頭ニテ白粥ヲ煮釜中ヘ蘆ノ筒ヲ伐テ稻ヲ始メ萬ノタナツモノヲ名目ヲ書シ札ヲ付テ粥ト共ニ煮也サテ煮終テ筒ヲ取上ゲ中ニ粥ノ入滿タルヲ穩好ト定メ過不及ヲ以テ耕作ノ吉凶ヲ占ニ大ヤウタガハズ是ニヨリテ近邊村里ノ農家集ル事夥シ右神供ノ粥ニ調ル米ヲ作ルニハ別ニ水田ヲ定置畔ノ外ニテタガヘシ植ルニ足抔入レズ不淨ノコヤシヲ入レズ是ハソノカミ明神臨幸ノ舊趾ト云ヘリ

宇奈具志神社(ウナクシノ)

「姓氏」大彥命男彥背立大稻輿命按稻輿宇奈具志音相通「書紀」大彥命越國造祖也「舊事紀」國造本紀高志國造阿閇臣祖屋主田心命三世孫市入命「姓氏」大稻輿命男彥屋主田心命「案内」予未詳ニセズ寺泊驛ナランカ國上寺泊邊古志郡ナリケルニヤ(元亨釋書)ニ古志郡國上山寺トアリ(越後國風土記)ニ(三代實錄)曰神國編曰越後國國分寺ノ尼法光同國古志郡渡リ戸濱ニ布施屋ヲ建ッ是鰥寡孤獨ノ者或ハ便ナキ旅人ヲ救ハンガ爲也愚按當時古志郡ノ內濱ナシ渡リ戸濱ハ渡部ナランカ利ノテニヲハ誤リカ戸ハヘノ音也「和鈔」越後國古志郡餘戸(アマリベ)郷アリ同書ニ百戸ヲ爲レ里五里爲レ郷予ツラ〳〵思フニ餘戸郷袖石カ浦ト云フ事古兩部習合ニ諸神勸請祭文ト云フニアリシカル上ハ居家繁多ナル海邊ナランカ

三島(シマ)郡六座 並小

御島石部神社(ミシマノイソベノ)

「和鈔」三島(美之萬)「案内」柏崎驛ヨリ東三里計八石山ノ麓北條村當號鹿島大明神社頭未申向境地ハ山ノ尾先也云々天明三吉田家免許御島石部大明神掛物申ウクル(名寄)神社卷ニモ八石山ノ麓ニアリトア

ノ寛ナリ

古志郡六座 並小

三宅神社二座

[姓氏]三宅人大彦命男波多武彦命之後也[續紀]卅八越後國蒲原郡人三宅連笠麻呂[和鈔]大宅[案内]信野川ヨリ東長岡ヨリ三里巳ノ方妙見村當號宇都宮大明神三宅神社ト棟札アリ居村ヨリ東北平地也同境八幡宮前南ノ方社老木アリ山上辰巳ノ方ニ妙見大明神社地礎ノミナリ又云郡ノ北十四五丁ニ六日市村ニモ宇都宮大明神三宅神社ト額アリ吉田家免許ノ由社頭南向古ハ山奥二丁行テ有レ之由同號是非ヲシラズ伊須留岐權現長岡ヨリ丑寅ノ方一里餘宮地村社頭申酉ノ間ニ向云々中古マデ神領五百石ニテ神宮寺等アリ亂世ニ沒收ス社頭哀微世俗瘡權現ト稱ス瘡疾ノ者立願スルニ神德アル事古今ニ貫タリト願ホドキニ大豆ヲ煎テ捧ゲ奉ル社中煎大豆山ノゴトシ

桐原石部神社

○桐ヲ一本相ニ作ルハ誤[案内]當時三島郡島崎邑ヨリ寅ノ方十五六町計上桐村ニアリ社頭子ノ方ニ向フ里民云古ハ神領五百石アリ鳥居ハ村下十四五丁スギテアリ西口鳥居ハ島崎村城ニアリ今ハ兩方トモニナシ往古ハ此ワタリ古志郡ナリケルニヤ當神託我を賴まん輩人の僞まがれる事をいはんに必其僞をあたゐ(本ノマヽ)んもの也たとへば僞りまがれる事といへども人をたすけ物をすくふの僞りは吾是をたすけてまことゝせんたとへば正しき道なりとも人を失ひ物を亡す事をいはんは吾又かれが爲にてきたらん當國ノ神託外ニ見エズ

都野神社

[姓氏]建内宿禰男都野宿禰命[和鈔]古志郡大家
[姓氏]大家臣紀角宿禰之後也依レ居ニ大家一負レ姓
[案内]當時蒲原郡月岡村五十嵐川ヨリ南一里計也社頭南面右ノ方ニ大老ノ樫一本アリ古ハ大道右ノ方ニアリ水田トナル由緒シレズ

小丹生神社

靈夢ニヨリ讃州ニ至リ御重ヲ頂戴奉リ當所歸錫權現ト崇メ奉ル社地ヲ道林ト號ル事社司老後剃髮シ林道ト云ヒ此所ニ隱居ス本社ハ往古ノ鎭座飯繩ノ社ハ山里松ノ山三郷ニ分レザル以前山上ニマツリ奉ル

江野神社（エノノ）

○今妙高山麓有ニ社川ニ[案内]高田直江町當號八幡宮吉田家社號免許社頭東向荒川ノ邊ニ在荒川ノ上ハ關川ト云水上ハ飛驒城ヨリ出云々カヽル大河ノ邊ニアルユヱニ江野神社ト云カ

青海神社（アヲウミノ）

○久比岐國造大和直同祖大倭國造青海共椎根津彥命之後也彼是符合今青柳村池上ニ在[案内](名寄)神社卷ニ青海驛ニアリト云フ青海驛ハ姫川ヨリ南西一里計田海濱青海濱アリ云々驛ヨリ辰巳ニ黑姫山アリ行程廿丁計山上ニ多賀大明神今ハ石ノ觀音ノ像アリテ他ノ支配トナル云々今鎭守羽黑權現驛ヨリ北ニアリ黑姫山此地ニ遷シ奉ルトアリ青柳村卯ノ方二里餘峠ヲ登里民星月宮ト云フ青柳池ノ傍辰ノ中不平（本ノマヽ）ナル處ニ石ノホコラアリ俗萬年堂ト云リ青海濱ト是非ヲシラズ

圓田神社（エンダノ）

○今在二丸田村一去二高田一南四里也[案内]名立谷ノ内丸田村○丹後國熊野郡丸田神社又加佐郡ニ麻良多神社アリ

斐田神社（ヒダノ）

[姓氏]巨勢槭田朝臣雄柄宿禰四世孫稻茂臣之後云云○今在二上斐太村一[案内]高田ヨリ南二里餘西山ニ附宮内村相殿矢代大明神諏訪大明神ト云々予斐田村ニテ尋ルニ一向宗ニテ產神ナシト云フソレヨリ十四五丁南西ノ方ヘ行テ宮内村ト云フアリ社頭卯ノ方ニ向古ハ斐田村宮内村同鄕ナリケルニヤソレヨリ一里餘行テ東南ノ方ニ針村ト云アリソレヨリ三十丁計行テ長峯村ト云フ下關村間ニ福田新田ニ掛樋アリ關川ヨリ流レ下ル水筋也關田川ノ上ヲ渡ル筧長サ六十間餘幅内法二間杭立五間計頸城一

甲辰從五位上大神居多神授ニ從四位下ヲ○今在ニ居田村ニ「案内」居田村神主花咲氏御朱印百石

佐多神社

○大和國高天山佐太雄神社「案内」當號祇園日吉諏訪合坐

物部神社

「和鈔」物部○今在ニ物部村ニ稱ニ物部明神ニ「案内」武士郷武士村長峯ヨリ北廿丁計當號山王權現社地ハ一反計ニテ田ノ中ニアリ老木倒レケルニヤ四五尺亦八九尺計ノ杉木四五本アリ四方ハ田地ニ開發シ社ハ平地ニテ石ノ祠アリ東向當時田中村ノ產神トナル先年ハ宮殿アリシニ非人乞食等止宿シ汚シケルニ付社地殘ラズ田地ニ開發スベシト武士村ノ產子ドモ申ス其節田中村新田ニテ產神ナシ百姓懇望シ產神トナストカヤ今田中村ニテ支配ストナリ

水島礒部神社

○今在ニ里五十君ニ「案内」名寄神社卷ニ梨平村ノ丑寅方一里計當號鹿島大明神云々社頭申酉ノ間ニ向本殿ノ内影向石アリ亘リ八寸計竪四寸計

菅原神社

○今在ニ菅原村ニ稱ニ菅原天神ニ「案内」菅原村辰ノ方十丁計社頭南向境內廣ク適ノ社地也イヅレノ比ヨリカ天神ト唱ヘ天滿宮ト額アリ今ハ菅原社ト額アリ社司云中古菅原ノ像ヲ納ルニヨリ世俗天神ト唱フト也

五十君神社

「舊事紀」十市根命子物部印岐美連公「和鈔」五公以木美○今山五十君里五十君ト云處アリイソキミトハ不レ讀今在ニ山五十君ニ「書紀」欽明紀印岐彌注在ニ任那ニ日本臣名也「案内」高志八岐戊亥ノ方二里計里五十君鄉所山田村相殿二坐飯繩大明神劔權現社頭南向云々飯繩古社辰巳ノ山上ニアリ劔社卯辰ノ方山ノ中段ニアリ云々古五十七貫五十四文ノ御墨付アリ社司池松繩氏村上氏ニテ讃州松繩ヨリ落來リ池氏ヲ相續スコレ迄七十二代血脈相續スト也先祖

望　越後國三島郡石井十二社前神主藤原氏重　奥書云寛政五癸丑年正月　美久理神社神主藤原弘松寫信友云右越後國式社案内ト云フ書吾徒平田篤胤不慮ニ書肆ヨリ治得テモテルヲ借リテ其要ヲ摘テ書入タル也［案内］ト標シタル則件ノ書也氏重ノツトメタル功イトメデタシ〳〵文化四年四月十三日記

頸城郡十三座並小

奴奈川神社

［舊事紀］大己貴命將レ娶ニ高志國之沼河姬ニ行幸之時到ニ其沼河姬家ニ歌曰云々［和鈔］沼川奴乃加波　今西濱當海村奴奈川上在レ社是乎［案内］（越後名寄）神社卷ニ一ノ宮村當號柳枝權現ト唱フ糸魚川町ノ產神驛ヨリ東十丁計アリ天津社ノ境内ニテ地主神ト云此近邊沼河ノ庄ト云フ亦沼川ノ池巳ノ方ニアリ行程一里計アリ天津社ニ頭南向社地田ノ中ニテ方三丁計アリ糸魚川町ノ本社ニテ御朱印百石糸魚川ノ並ニ上刈村ニアリ五百年來寄附ノ地也地主神ハ西ノ傍ニアリ云々祭禮每ニ三月十日前夕ヨリ糸魚川ノ若者樂ヲ奏ス稚子ノ舞ト云

大神社

［三實］貞觀三年八月三日大神授ニ從四位下ニ［出雲風土記］國引坐意美豆奴命○頸城（國造本紀）作ニ久比伎ニ起レ自ニ國引之稱ニ乎○今三島大三輪村［案内］（名寄）神社卷ニ追野神社今井谷内森本村予不レ參或云太ノ神社ハ妙高山麓矢代村川ニ有ト也予矢代川邊巡拜スルニ社ナシ又云關山寶藏寺支配ノ關山權現歟ト云フ

阿比多神社

［書紀］繼體紀十年百濟遣ニ灼莫古將軍日本斯那奴阿比多ニ○攝津國島下郡阿比太神社案内長濱村社頭ハ驛ヲハナレテ南ノ方小川ヲ越ニ丁計階ヲ登リ社頭アリ

居多神社

○舊訓ケタ○國人云コタ［三實］貞觀三年八月三日

［三實］元慶七年十二月廿八日越中國正六位上新治神從五位下

神名帳考證　卅五

延喜式卷第十之十四　北陸道第六

越後國五十六座

大一座

小五十五座

［越後國式內神社案內］自序云々大耶麻騰國ハ地祇ノ神社ハ延喜ノ聖主勅有テ三千一百三十二座式ニノセサセ玉フト雖世々ヲヘテ邊鄙ノ國ハ分明ナラズ云々予巡拜セン事ヲ壯年ヨリ志願スト雖餘力无フシテ閑隙ナシ漸寸隙ヲ得ト云ヘドモ老衰シテ遠境行路カタシ吾越後國ノ五十六座神社ヲ拜セント思ヒ八八ノ年ニ及卯月ノ初ノ比杖ヲ力ニ立出同門ノ助ニ預リ或ハ鄕里ニ入テハ百姓ノ諺ヲ聞預ヲ書記シ三歲ノ間一夏九巡ノ中巡拜スト云ヘドモ未其虛實ヲシラズ臆兆ノ君子是ヲ贅セバ予ガ年來ノ幸甚ナラン　天明七丁未龍集季秋

[續後紀]承和十二年九月乙巳朔奉レ授ニ越中國新川郡无位日置神從五位下一[三實]貞觀二年五月廿九日日置神授ニ從五位上一同九年二月廿七日授ニ從四位下日置神從四位上一[姓氏]佐伯日奉造高魂命六世孫天押日命之後也　按高志連同祖○今在ニ日置村一

布勢神社

雄山神社

[三實]貞觀五年九月廿五日授ニ越中國正五位下雄山神正五位上一[萬葉]十七須賣加未能宇之波伎伊麻須爾比可波能曾能多知夜麻爾云々[新按]立山在ニ新川郡一

式外舊社

楯桙神

[三實]貞觀六年三月廿三日越中國正六位上楯桙神從五位下同十三年十一月十日越中國從五位下楯桙神從五位上元慶六年十月九日越中國楯桙神從五位上

新川神

[三實]貞觀九年二月廿七日越中國正五位上新川神從四位下同十八年七月十一日越中國新川神從四位上

御田神

[三實]貞觀九年十月五日越中國從五位下御田神從五位上元慶三年二月八日越中國從五位上御田神正五位下

賀積神

[三實]貞觀十五年十二月十五日越中國賀積神授ニ從五位下一

手向神

[三實]元慶二年五月八日越中國正六位上手向神從五位下

新治神

日越中國正六位上鵜坂婦比咩神鵜坂妻比咩神授ニ從五位下ニ可レ考 此位階追 同九年二月廿七日授ニ越中國從四位上鵜坂神從三位ニ［萬葉］婦負郡渡ニ鵜坂河邊一時歌作宇佐可河伯云々○今在ニ鵜坂村一

新川郡七座 並小

白鳥神社

○今在ニ寺町內一［書紀］仲哀紀元年詔云朕父王神靈化ニ白鳥一上レ天仰望レ之情一日勿レ息聞十一月越國貢ニ白鳥四隻一

速星神社

神度神社

［古事記］大刀名謂ニ大量一亦謂ニ神度劍一［書紀］大葉刈亦名神戶劍［和鈔］新川郡布留今疑森尻歟

多久比禮志神社

［書紀］大彥命膳臣祖也按膳者婦負也［同］天武紀膳夫釆女等之手繦肩巾レ探膳夫部大彥命之後也

建石勝神社

熊野神社

櫟原神社

○今疑柳原社乎ナメス入川邊也

杉原ノ神社

［三實］貞觀五年八月十五日越中國正六位上杉原神授ニ從五位下一○今在ニ田屋村一

八心大市比古神社

［姓氏］大市首出レ自ニ任那國人都怒賀阿羅斯止一也○按八心者枕詞也八意思兼云々今在ニ三日市村一疑

鵜坂神社

［續後紀］承和十二年九月乙巳朔奉レ授ニ越中國婦負郡從五位下鵜坂神從五位上一［三實］貞觀二年五月廿九日進ニ越中國鵜坂神階從四位下一同四年十月九

院山平

日置神社

紀」大彥命越國造祖也「姓氏」道公大彥命孫

物部神社

○宇麻志麻治命「萬葉」十九射水郡大領安努君廣嶋

加久彌神社二座

○物部竹古連垣見君祖○在二加久彌村一

久目神社

○今在二速加之村近邊一

布勢神社

「姓氏」布勢朝臣大彥命後也「古事記」若野毛二股王之子意富々杼王者布勢君等之祖也○今在二氷見郡內一「和鈔」布西

速川神社

○在二速加之村一

櫛神社

○恐櫛田乎「三實」貞觀十八年七月十一日櫛田神從五位下「和鈔」射水郡櫛田久之多今在二櫛田新村一

礒部神社

「姓氏」石邊公久斯比賀多命之後也○今在二磯部村一

箭代神社

○波多八代宿禰「姓氏」布師首武內宿禰之後也○今在二北箭代村一

草岡神社

氣多神社

○今在二國府一宮村一「神祠」「諸社根元記」云越中國射水郡氣多神社 名神大 延喜八十乙卯越中氣多大神預二官幣列一國史云延喜三三丁亥氣多神正三位

婦負郡七座並小

姉倉比賣神社

○今在二舟倉村一○信友云子ヒクラ歟子ヒトハ(和名鈔)ニ考オケリ

「和鈔」長岡奈加乎加

林神社ハヤシノ

「姓氏」林宿禰大伴宿禰同祖「和鈔」拜志波也之 ○今舊跡在二林村一

荆波神社ウハラノ

「古事記」孝靈天皇皇子日子刺肩別命者高志之利波臣之祖也「續紀」十七越中國礪波臣志留志「和鈔」新川郡大荆於保也布「精古考」(萬葉)十八卅八 夜夫奈美能トアリ

比賣神社ヒメノ

雄神神社ヲカミノ

「日本紀略」延暦十四年八月壬午越中國雄神叙二從五位上一「三實」貞觀十二年五月廿九日詔越中國正五位上雄神從四位下元慶三年十月 廿九日授二從四位下雄神從四位上一○今在二庄川村東一也「萬葉」十七 礪波郡雄神河邊作歌

淺井神社アサヰノ

射水郡十三座 大一座 小十二座

射水神社イミヅノ 名神大

「舊事紀」國造本紀伊彌頭造志賀高穴穗朝御世宗我同祖建内足禰孫大河音足尼定二賜國造一「三實」仁和二年十二月十八日壬戌越中國擬大領正七位上伊彌頭臣貞益云々授二借外從五位下一「新校」(萬葉)二 二上山在二射水郡一二上神若射水神社乎此郡大一座當社歟不二分明一可レ考今二上神之位階記レ之「續紀」寶龜十一年十二月甲辰越前國射水郡二上神叙二從五位下一「日本紀略」延暦十四年八月壬午越中國二上神授二從五位上一「續後紀」承和七年九月辛丑奉レ授二越中國射水郡二上神從四位上一「文實」齊衡元年三月辛卯越中國二上神加二從三位一同十二月戊寅越中國二上神禰宜祝並預二把笏一「二十二社注式奥入」射水神社今二上宮寶龜三年十二月二日二上神從五位上其以後度々正一位也「神祇祭式」古本名神大又一本在二補フベシ

道神社ミチノ

「古事記」崇神此之御世大毘古命者遣二高志道一「書

珠洲郡三座 並小

須須神社

○今在二珠洲御埼一「萬葉」十八 珠洲乃安麻能於伎都美可末爾伊和多利氐

古麻志比古神社

加志波良比古神社

式外舊社

高倉彦神

「三實」貞觀十五年八月四日能登國從五位下高倉彦神授二從五位上一

由須義社

「永萬記」○信友按ニ伊須流支比古神社可レ考

神名帳考證 卅四

延喜式卷第十之十三 北陸道第五

越中國卅四座

大一座

小卅三座

礪波郡七座 並小

高瀬神社

「續紀」寶龜十一年十二月甲辰越中國礪波郡高瀬神叙二從五位下一「日本紀略」延曆十四年八月壬午越中國高瀬神叙二從五位上一「續後紀」承和七年九月奉レ授二越中國礪波郡從四位下高瀬神從四位上一「文實」齊衡元年三月辛卯越中國高瀬神加二從三位一同十二月戊寅越中國高瀬神禰宜祝並預二把笏一「三實」貞觀元年正月廿七日越中國從三位高瀬神正三位

長岡神社

「三實」「貞觀二年六月九日戊子能登國大穴持神宿那彦神像石神二前並列㆓於官社㆒○今アブヤ村ニアリ

赤衾アブスマ産神

鳳至（フゲシ）郡九座 並小

鳳至（フゲシ）比古神社

○今モフゲシヒコト云リ○卽今輪島重藏社是也「文明八年重藏社記」氣多分身鳳至一郡總社也「和鈔」鳳至 不布志 ○信友云不布志トアルハ誤ナリ「養和元年長谷部信連寄附銅瓶銘」奉㆑獻十藏權現御寶前㆒緣㆑在㆓輪島㆒而爲㆓地主神㆒世人摘㆓輪島㆒與㆓地主神之字㆒習㆓合十輪地藏㆒稱㆓十藏㆒永仁四年棟札已下改㆑十作㆑重然而察㆓此名之所㆒㆑據則爲㆓一郡㆒地主鳳至比古神社也自明矣

石瀬（イハセ）比古神社

○出雲國大穴持伊那西波伎神社

神杉（カムスギノ）伊豆牟（イツム）比咩神社 枌イ

〔〕出雲國大原郡須義禰神社」信友按武藏國都筑郡杉山神社アリ杉ヲ枌ト作ルハ古ノ例也又按神杉ハ嚴（イツ）ニカヽル枕詞也イツカシイツサカキノ類也イツイヅ通ハセタル例正ト考ニ云

石倉（イハクラ）比古神社

○今在㆓石倉村㆒○若狹國遠敷郡石鞍神社

美麻奈（ミマナ）比古神社

「姓氏」任道首伊弉諾尊男素戔嗚尊之後也 任道訓㆓美麻奈㆒

美麻奈（ミマナノ）比咩神社

神目（カムメ）伊豆伎（イツキ）比古神社 白イ

○信友按神ノ目ノイツ〳〵シキト云フ枕詞歟○國人云當郡七尾ト云フ處ニ坐セリ神目伊豆伎彦神社ト云フ上古ヨリノ傳來ニテ古製ノ體ヲ失ハザル土器ヲ作リテ神供ニ用フル也

奧津（オクツ）比咩神社

邊津（ヘツ）比咩神社

よめる「心からうきすまひにもなれぬらんやちたひなにをくゐの里人」トアルヲ見レバ彌久氐ハ久延ノ誤カトヲボエタトヒ氐ニテモ延ト同韻也トアリ氐ト延ト似タリ此說正シ

能登生國玉比古神社

○攝津國難波坐生國魂神社○島山乎○能登生ノトナリト訓正身按社家所傳

白比古神社

[古事記]大年神生白日神

伊須流支比古神社

[古事記]崇神天皇皇子大入杵尊能登臣祖也[萬葉]十八羽咋郡擬主帳能登臣乙美○按伊須流支者入杵也(羅山文集)十五有二石動山記一此神社之事詳也○信友按能登郡二宮村ヨリ上リ一里半石動山天平寺本社權現ト云フ能登越中界山也(義經記)七能登國ゆするきの嶽より西風吹て云々イスルギハ石ユルギ也又轉ジテユスルギト云ヘル也永萬記由須義社コレカ

餘喜比古神社

[和鈔]能登郡與木(與岐)○崇神皇子豐城入彥命大入杵命兄也

阿良加志比古神社

久志伊奈太伎比咩神社

○奇稻田媛

伊夜比咩神社

○越後國伊夜比古神社

御門主比古神社

○越前足羽郡御門神社[出雲神賀詞]大穴持命己命和魂乎倭大物主櫛𤭖玉命登名乎稱天○按甕與二御門一語近此帳與二宿那彥神社一並載考レ之大己貴之和魂也明矣[古事記]甕主日子神

宿那彥神像石神社

銜別命ニ按藤輿レ淵同訓

大穴持像石神社（オホアナモチノカタノ）
神三寶

[三寶]貞觀二年六月九日戊子能登國大穴持神宿那彥神像石神二前並列ニ於官社一○信友按能登郡ニ宿那彥神像石神社トアル例ニテ大穴持神像石宿那彥神ノ字アルベシ

能登郡十七座（ノトノ）並小

能登比咩神社（ノトノ）

○今在ニ能登部村一

藤原比古神社（フヂハラノ）

○按藤當レ作レ勝播磨國加都良乃命神社阿波勝占神社[和鈔]能登郡加島加之萬

菅忍比咩神社（スガオシノ）

○下總國蘇賀比咩神社

加夫刀比古神社（カブトノ）

○今在ニ甲村一

天日陰比咩神社（アメヒカゲノ）
古イ

○信濃國更級郡清水神社氷鉇斗賣神社[姓氏]清水首出レ自ニ阿羅斯等一氷鉇日陰言通

鳥屋比古神社（トリヤノ）
イ无

[萬葉]十七 能登郡從ニ香島津一發レ船行ニ於射熊來村一往時作レ歌登夫佐多底船木伎流等伊布能登乃島山（トブサタテフナギキルトイフノトノシマヤマ）

荒石比古神社（アライソノ）

○都怒我阿羅斯等○信友按羽咋郡久麻加夫都阿良加志比古神社ト同神歟又當郡阿良加志比古神

久氐比古神社（クテノ）
延イ

○久延毘古神百濟國人久氐爲來朝詳ニ[神功紀]ニ[記傳]十二ウ六十久延毘古ノ條ニコノ久氐比古神社ハ久延比古ヲ誤ニハアラザルカ宗祇廻國雜記ト云フモノニ能登國に至り侍りてくゐのやつと云ふ處にて

の春能登守になりて下るに云々おなじころ左衛門佐誠信餞するに日の歌「神のます氣多のみやま木しけくともわきていのらん君か千年を」［文實］七齊衡二年五月辛亥詔ニ能登國大神宮寺ニ置ニ常住僧聽度三人ニ永々不レ絶［元亨釋書便蒙］或記云氣多社在ニ羽咋郡ニ祭神有ニ二說ニ或曰大己貴命或天活目命

［補］［諸社根元記］崇神天皇御宇勸請云々大己貴尊也則三輪明神御事也

神代(カンシロノ)神社

羽咋神社

［姓氏］羽咋君垂仁天皇皇子磐衝別命之後也亦名神櫛別命［舊事紀］國造本紀羽咋國造泊瀨朝倉朝御世ニ尾君祖石撞別命石城別王定ニ賜國造ニ［和鈔］羽咋波久比

瀨戸比古(セトヒコノ)神社

○信友按當國某ヒコ某ヒメト云フ御名オホシ

手速比咩(タハヤヒメノ)咩神社

椎葉圓(シヰシバノ)比咩神社

○信友按椎葉ハ枕詞ト聞ユ○椎當レ作レ檣［古事記］美知能宇斯王之女圓野比賣命○檣葉賀志波比賣也［出雲風土記］久志伊奈大美土與麻奴良比賣命按圓訓麻奴○武藏國虎柏神社阿波國加波志比賣神社

奈豆美(ナヅミ)比咩神社

○按奈與レ安音通安曇氏祖豊玉姫命歟アツミ村

諸岡(モロヲカ)比古ノ神社

［古事記］垂仁天皇皇子大中津日子命高巣鹿鹿之別祖

百沼(モヽヌ)（治イ）比古神社

久麻加夫都阿良加志(クマカフツアラカシ)比古ノ神社

［和鈔］能來［書紀］額有レ角人名都怒我阿羅斯等○在ニ熊來村ニ○能登郡ニ荒石(アラカシ)比古神社アリ

藤津(フヂツ)比古ノ神社

○按大國淵山代大國之淵女苅田刀辨生ニ羽咋祖磐

神名帳考證　卅三

延喜式卷第十之十二　北陸道第四

能登國四十三座

大一座

小四十二座

○信友按當國ノ神社多ク神名ヲ以テ稱セリ此國天平十三年越前國ヲ割テ置レタリシカルニ越前ノ神社ハ並ベテノゴトクナルニ當國ノシカ異ナルハ國ニ建テラレタル後國守ナドノ祭神ヲ正シテ神名ヲ擧テ社號ヲ改メラレタルナルベシサテ伊豆國モ當國ト同ジク神名ヲ社號トセリコレモ同ジサマナリケンイトヨロシキ事ナルベシ

羽咋郡十四座 大一座 小十三座

[續紀]養老二年五月甲午朔乙未割ニ越前之羽咋能登鳳至珠洲四郡一始置ニ能登國一

相見神社

[和鈔]大海於保美 ○伊勢國相鹿通作ニ大鹿一今在ニ相見村一

志乎神社

[萬葉]十七之乎路可良多太古要久禮婆波久比能海云々○今志乎村

氣多神社

[神祇祭式]名神大コノ三字通本ニナキハ誤ナリ○當國一宮也[續後紀]承和元年九月坐ニ能登國一正三位勳一等氣多大神宮禰宜祝二人始令レ把レ笏云々[文實]嘉祥三年六月戊申能登國氣多大神授ニ從二位ニ禰[文實]仁壽三年八月癸酉加ニ正二位勳一等氣多大神 封戸十烟位田二町一 ○[三實]貞觀元年正月廿七日能登國正二位勳一等氣多神從一位[一宮記]大巳貴命也[續紀]天平十五年十月外從五位上氣太千代等八人賜ニ氣大君姓一[源順家集]天德三年

須岐神社

○伊勢國須岐神社

野蛟神社

[書紀]神代卷草祖草野姫亦名野槌

波自加彌神社

[主計式]越前國薑

大野湊神社

○在ニ寺中村ニ[和鈔]石川郡大野於保乃

野蚊神社（蛟イ）

○當郡野蚊二社アリ

笠野神社

○神素戔嗚尊○笠野訓ニ加佐乃ト加ハ神也佐乃ハ須佐乃上略ニ須ノ字ヲ

式外舊社

白鳥神　山代大堰神

[三實]貞觀十八年七月廿一日授ニ加賀國白鳥神山代大堰神並從五位下ト

畔分堰神　垂比咩神

[三實]元慶三年六月廿三日授ニ加賀國正六位上畔分堰神垂比咩神並從五位下ト

「古事記」平群都久宿禰者馬御織連等祖也「和鈔」三萬美萬○マカイ村

佐奇神社

○若狹國佐伎治神社佐伎神社

楢本神社

「左經記」難良刀自之神

笠間神社

「和鈔」笠間加佐萬越前國坂井郡ニ同社アリ又「實方集」七右ニあめにますノ按ニさす誤字かさまの神トアリ

味知神社

「和鈔」味知美知「姓氏」道公大彦命孫彦屋主田心命之後也「和鈔」石川郡味知美知「續紀」卅三越前國加賀郡少領道公勝石「古事記」大彦命者道ニ高志道一

神田神社

加賀郡十三座並小

小濱神社

○在ニ黒津村一

野間神社

三輪神社

賀茂神社

神田神社

「三實」貞觀三年三月己巳朔右京人左大史正六位上眞神田朝臣全雄賜ニ姓大神朝臣一大三輪大田々根子命之後也

下野間神社

○中條村

郡家神社

「和鈔」江沼郡郡家アリ「三實」貞觀十八年七月廿一日授ニ郡家神從五位下一「舊事紀」國造本紀加茂國造三尾君祖石撞別命四世孫大兄彦君定賜

罷行取平天返事白

兎橋神社

[和鈔]得橋宇波之

多伎奈彌神社

[三實]元慶二年七月八日授二從五位上瀧浪神正五位下一[日本紀略]延喜十一年三月廿八日授二加賀國瀧浪神從四位下一

熊田神社

○在二熊田村一

石川郡十座並小

白山比咩神社

○一宮也[文實]仁壽二年十月己卯授二加賀國白山比咩神從三位一[三實]貞觀九年正月廿七日加賀國白山比女神正三位[舊事紀]大年神娶二須沼比神女一生二白日神一[大鏡]伊弉冊尊也[歷名土代]加州白山神主上道氏榮[平戸記]仁治三年四月六日今日加賀國白山社御祭也仍予幷國司今朝早旦行水修二解除一爲二神事一月水者出レ之重輕服事不レ入二門内一於二魚喰一者不レ憚加二去年十一月一但至二鳥莵之類一者深以禁斷之社例云々[百錬抄]延久三年六月廿七日加賀國白山御體燒損以二舊體殘一奉レ籠二新像一哉之由令レ勘二先例一[書紀]神代紀一書ノ故事ニ由テ祭レ之中菊理媛神東伊弉諾尊西伊弉冊尊[太平記]廿黑丸足羽云々事ノ條下延元三年越後勢云々加賀國ニ暫逗留シテ行末ノ兵粮ヲ用意スベシトテ今湊ノ宿ニ金勝院本安宅チ載ス十餘日迄逗留ス其間ニ軍勢劒白山以下所所ノ神社佛閣ニ打入テ佛物神物ヲ侵シ取リ云々トアリ此劒宮ハ(諸神記)ニ金劒宮トアリ見合ベシ

本村井神社

○オトマル村

額東神社 額イ

○ヌカノ新保村

額西神社

御馬神社

［三實］元慶七年十二月廿八日加賀國菅生神正五位下［日本紀略］天慶三年正月十五日奉レ授ニ加賀國從四位上菅生神正四位下ニ［和鈔］菅浪 須加奈美 信友按ニコレニヨレバ菅生ハ菅並ノ誤カ次ニ忌波神社モアリ 由アル事ニヤト思ヒシガ非ナリ ○能登國菅比賣神社［東寺所藏加賀國人富樫昌家ガ至德二年ノ執行狀］加賀國云々菅生社造營云々

忌浪神社

［續後紀］嘉祥二年十月奉レ授ニ加賀國治浪神從五位下ニ［大嘗會式］酒浪女○今在ニ忌浪村ニ

日置神社

○今在ニ小松那谷傍ニ

出水神社

○今在ニ大杉村ニ

氣多御子神社

○能登國羽咋郡氣多神社アリ［文實］天安元年九月乙未朔壬寅在ニ加賀國ニ正六位上治田若御子神授ニ從五位下ニ 版本云治田當レ作ニ氣多ニ

能美郡八座 並小

潮津神社

狹野神社

多太神社

石部神社

滓上神社

［古事記］垂仁皇子五十帶日子王高志池君春日部君之祖○滓ハ萬葉十ニ滓鹿山［和鈔］上野國新田郡滓野 加須乃

幡生神社

○舊訓ハタサカ ハタサヤ ハタナリ、ハタフ、生ヲサカト訓ルハ生ハ榮ユル義ニテ生木トモカケル例歟［舊事紀］伊勢旛主賀貝呂姫按加貝者加賀歟［豐受大神宮禰宜補任］大若子命一名大旛主命越ノ國荒振凶賊阿彥有天不レ從ニ皇化ニ取平仁罷止詔天標劔賜遣久郎旛上ヶ

大(天イ)瓜(爪イ)神　楊田神

[紀略]延喜十年三月廿三日授二越前國大瓜神楊田神並從五位下一

日野名神

[紀略]延喜十年九月某日(國史後抄作二五日一)授二越前國日野名神從五位下一

神名帳考證　卅二

延喜式卷第十之十一　北陸道第三

加賀國四十二座(並小)

江沼(エヌマノ)郡十一座(並小)

篠原(シノハラノ)神社

刀何理(トカリノ)神社

○河内國古市郡利雁神社

御木(ミキノ)神社

宮村(ミヤムラ)鮖部(イソベノ)神社

服部(ハトリノ)神社

○伊勢國服部伊刀麻神社

菅生(スガフノ)石部(ノ)神社

○信友按今江沼郡菅生天神社アリ敷地天神トモ云

〔姓氏〕三國眞人謚繼體皇子椀子王之後也依二〔日本紀〕一附〔舊事紀〕國造本紀三國國造宗我臣祖彦太忍信命四世孫若足尼定賜

石田（イハタノ）神社

〔書紀〕垂仁紀　五十日足彦命石田君之祖〔古事記〕高志池之君祖

味坂（ミサカノ）神社

○大和國味坂比賣神社

高向（タカムクノ）神社

〔和鈔〕高向多加無古○因幡國八上郡多加牟久神社〔古事記〕蘇我石河宿禰者高向臣之祖也〔上宮記〕繼體外祖三國命坐二多加牟久村一也

笠間（カサマノ）神社

○大和國宇陀郡笠間櫻寶神社補加賀國石川郡ニ同社アリ又〔實方集〕七右あめにます按ニさすノ誤字かさまの神トミユ

家津（イヘツノ）神社

大湊（オホミナトノ）神社

絲前（イトサキノ）神社

式外舊社

廣湍雄推神

〔三實〕貞觀二年八月二日越前國正六位上廣湍雄推神並授二從五位下一

氣多神

〔三實〕元慶七年十二月二日越前國正六位上氣多神從五位下

飽和社

〔太平記〕三考本十七十八丁

補金山彦神

〔文實〕嘉祥三年十一月乙未進二越前國金山彦神階一加二從四位下一○按ルニ越前ハモシ美乃ノ訛謬ニハアラヌ歟

○今柳瀨ト云フ處可レ考［舊事紀］國造本紀高志國造阿閉臣祖屋主田心命楊瀨與ニ屋主ニ語相涉

己乃須美神社

○丹後國木積神社

片岸神社

［舊事紀］物部大新川命子片堅石連公

大溝神社

比古奈神社

○少名彥命

弊多神社

［姓氏］巨勢斐太臣勢楲田同氏巨勢雄柄四世孫稻茂臣之後男荒人之後也

紀倍神社

［姓氏］紀部建內宿禰男都野宿禰命後也

枚岡神社

［姓氏］平岡連津速魂十四世孫鯛身臣之後也

毛谷神社

［和鈔］大野郡ニ毛屋鄕アリ但馬國出石郡手谷ヲ毛谷ト一本ニアリ此地名ノ氏人ノ稱號毛屋トモ毛谷トモイフ

柴神社

○陸奧國志波彥神社志波姬神社

英多神社

鵜屎神社

伊伎神社

保曾呂伎神社

［舊事紀］饒速日命亦名膽杵磯丹杵穗命

［太平記］加賀越前ノ境細呂木

橫山神社

三國神社

大槻磐座神社
坂門一事神社
「舊事紀」素戔烏尊子一言主神
風速神社
○伊豫國風早直祖神歟○伊勢國壹志郡有二風早社一
國生大野神社
高於磐座神社
荒島神社
「姓氏」大野朝臣豐城入彦命四世孫大荒田別命之後
也

坂井郡卅三座並小

布久漏神社
「姓氏」伊香我色雄命孫物部布部久呂大連「和鈔」
福留布久呂

坂名井神社
「舊事紀」國造本紀池田坂井君祖吉備武彦命
御前神社
都那高志神社
○都那ハ地名高志ハ國名ノ義越歟○陸奥國氣仙
郡登奈孝志神社アリ此都ヲ登トヨミテ同神ナラ
ン歟
多禰神社
久米多神社
「姓氏」粂朝臣武内宿禰孫稻日宿禰之後也
意加美神社
阿知波世神社
國神神社
井口神社
楊瀨神社

推與レ大語通忍坂日本紀作ニ大坂一○下野國大前神社

與須奈神社（ヨスナノ）

[姓氏]豐城入彦命男倭日向建日向八綱田命[和鈔]安味美安[姓氏]大綱公豐城入彦命之後也[續紀]廿六越前國足羽郡人吉彌侯根麻呂賜ニ姓下毛野公一按豐城入彦命裔也

山方神社（ヤマカタノ）

○阿波國山方比古神社

御門神社（ミカドノ）

○能登國御門主比古神社

分神社（ワケノ）

[姓氏]別公日本武尊之後也又云別公彦坐命之後也

神傍神社（カムソヒノ）

[舊事紀]天忍日命亦曰ニ神狹日命一大伴連祖[姓氏]高志連天押日命後也

於神社（ウヘノ）

○於訓ニ宇倍一

足羽神社（アスハノ）

[續紀]延暦十年四月乙巳叙ニ越前國足羽神從五位下一[文實]仁壽元年正月癸卯加ニ越前國足羽神從四位下一[紀畧]天慶三年正月十五日奉レ授ニ越前國正五位上足羽神□□位一[和鈔]足羽安須波○大歲神子素戔烏尊孫阿須波神也[續紀]卅一足羽臣眞橋云々○今曰ニ繼體天皇祠一然國史延暦仁壽天慶越前國足羽神奉レ授レ位疑非ニ天皇祠一乎[足羽社記]古者男大迹天皇居ニ於坂井郡三國之地一焉於レ是鎭ニ祭大宮地之靈一故呼ニ足羽一以爲ニ地名一

大野郡（オホノノ）九座並小

磐座神社（イハクラノ）

○今磐座村

篠座神社（シノクラノ）

椛神社（カムハノ）

岡太神社
[和鈔]丹生郡足羽郡ニ岡本本イ郷アリ

須波阿須疑神社三座
○出雲國阿須伎神社○按須波地名曾博曾波久疑是乎

丹津神社
○作レ丹非○古ニ丹ヲ舟トモ書ル例也[和鈔]船津布奈都
補舟津ハ府中ノ北一里ニテ東鯖江ノ境内ナリ大社ト云々國人説

刀那神社
[古事記]鳥鳴海神與ニ坂井郡都奈高志神社ニ同

小山田神社

鵜甘神社
[姓氏]鵜甘部首武内宿禰男己西男柄宿禰之後也與ニ生江ニ同種[三實]三十越前國今立郡大領外正六位上生江臣氏緒

加多志波神社

敷山神社
[古事記]敷山主神

足羽郡十三座並小

杉杜神社イ社
○能登國神杉伊豆牟比咩神社[續紀]天平神護元年三月越前國足羽郡人從五位下益田連[三實]越前國足羽郡人生江恒

土輪神社

直野神社

麻氣神社

登知爲神社

推前神社
○敦賀郡ニ志比前神社アリ[三實]貞觀元年正月廿七日從四位上勳六等推前神正四位下○豐城入彥命

ナリ

斗布神社

[和鈔]丹生按斗當レ作レ丹○斗布神社今南條郡松森村ニ十府明神ト云フアリ又同郡白埼村ニモ同名ノ神社アリイヅレ式社ナルニヤ知リガタシ松森村ナルハ古ハ常久村ノ山上ニアリシヲ後ニ今ノ處ニ遷シタルナリト云ヘリ土人ハ飛火ノ宮ト云ヘリトゾ

長岡神社

○今苗鹿

麻氣神社

枚井手神社

[和鈔]泉○尾張國井出神社

補國人云府中平出村ニ加茂神社アリ是歟

大山御板神社

佐佐牟志神社四座

○大野篠座磐座大槻高於以上四座歟

小虫神社

[續紀]寶龜十一年十二月甲午越前國丹生郡小虫神爲ニ幣社ニ焉[伊勢儀式帳]朝熊社苔虫神○信友按ニ小虫ノ上ニ佐々牟志アリコレト同神ニテナホ佐々牟志ト唱フナルベシ當郡大虫神社モアリ

雷神社

今立郡十四座並小

炗山神社

炗ハ光本字俗作レ光

○近江國山津照神社○炗ハ光ノ古字也

補國人云今帆山ト云府中ノ東五町日野川ノ畔ニアリ

國中神社二座

[舊事紀]國中之天柱○山城國國中神社

石部神社

[姓氏]石邊公

天國比咩神社（アメクニヒメノ）

[文實]齊衡三年九月丁巳越前國天國津比咩神預ニ官社ニ同月戊辰授ニ越前國天國津比咩神從五位下ニ

天鈴神社（アメスズノ）

[文實]齊衡三年九月丁巳越前國天鈴神預ニ官社ニイ大鈴神同月戊辰授ニ越前國天鈴神從五位下ニ[出雲風土記]大神命娶ニ高志坐奴奈宜置波波比賣ニ產神御穗須々美命

玉佐々良彥神社（タマササラヒコノ）

[文實]齊衡三年九月丁巳越前國玉佐々良彥神預ニ官社ニ同月戊辰授ニ越前國玉佐々良彥神從五位下ニ

[萬葉]六月別名曰ニ佐散良衣壯士ニ也

信露貴彥神社（シロキヒコノ）

[文實]齊衡三年九月丁巳越前國信露貴彥神預ニ官社ニ同月戊辰授ニ越前國信露貴彥神從五位下ニ○按同ニ白城神ニ

丹生郡（ニフノ）十四座 大一座 小十三座

兄子神社（エアコノ）

[姓氏]和仁古大國主六世孫阿大賀田須命之後也○按兄和仁音訓通備前國安仁神社

雨夜神社（アマヨノ）

[續紀]寶龜五年三月戊申叙ニ越前國丹生郡雨夜神從五位下（上カ）ニ延曆十年四月庚子叙ニ越前國雨夜神從五位下ニ○雨師神也按夜者祖也伊勢國美濃夜神社隱岐國水祖神社可ニ併按ニ

大虫神社（オホムシノ） 名神大

[續紀]寶龜十一年十二月甲辰越前國丹生郡大虫神叙ニ從五位下ニ延曆十年四月庚子大虫神從五位下（上カ）同四月乙巳叙ニ從五位下大虫神從四位下ニ○丹後國大虫神社[太平記]十九義貞攻ニ落越前府城ニ段伊與守ノ勢千餘騎ハ若狹ヲサシテ引ケレバ尾張守ノ兵二千餘騎織田大虫ヲ打過テ足羽城ヘゾ引レケル都テ此日一時ノ戰ニ府ノ城スデニ攻落サレヌト聞及テ云々

[補]國人云白ニ府中ニ西方一里餘大虫村ニアリ大社

天八百萬比咩神社

[文實]齊衡三年九月丁巳越前國天八百萬比咩神云云預ニ官社ー同月戊辰授ニ越前國天八百萬比咩神從四位下ー

天利劍神社

[續後紀]承和七年九月乙酉奉レ授ニ越前國從二位勳一等氣比大神之御子無位天利劒神從五位下ニ[劒社記]名金宮在ニ靑野村ニ○信友云手浦田尾横濱ノ三村ニ在ト云ヘリ當郡劒神社ノ下可ニ考合ー按ニ夫木集ニ行遍ノ歌ニ「山をきる劒を峰に殘しおきて神さひにける氣比の古宮」トアリ氣比大明神御子云々トアルヲオモヒ合スベシ古傳説ヲヨミタル歌ナルベシナホ可レ考事也又云天利劒已下ノ三神兄弟也後ニ聞越中立山ノ麓ノ僧房ノアルアタリニ氣比宮アリサテ立山ノ峰ヲ劒ノ峰ト云フトゾ此山ヲ今タテ山トイヘド(萬葉)十七丁廿九ニ立山賦一首并短歌此山者有ニ新川郡ー也「すめかみのうしはきいますにひかはのそのたちやまに云々右家持和ニ立山賦ー云々あまそそりたかきたちやまにふりおけるゆきの云々右池主今劒ノ峰ハタチノ字音ヲモテヨベルニテ劒ノ峰也立山モタチ山トイフベキ也行遍ノ歌ニ考合スベシ

天比女若御子神社

[續後紀]承和七年九月乙酉奉レ授ニ越前國從二位勳一等氣比大神之御子無位天比女若御子神從五位下ー

伊佐奈彦神社

[續後紀]承和七年九月乙酉奉レ授ニ越前國從二位勳一等氣比大神之御子無位天伊佐奈彦神從五位下ー

[舊事紀]角鹿國造志賀高穴穗朝御代吉備臣祖若武彥命孫建功狹日命定ニ賜國造ー

天國津彥神社

[文實]齊衡三年九月丁巳越前國天國津彥神預ニ官社ー同月戊辰授ニ越前國天國津彥神從五位下ー○按孝靈皇子若武命也吉備津彥命弟也黑龍明神乎

信友云今當郡白木村ニ白木大明神アリ信露貴彦トアルモ同神ナルベシ白木村ノ内白木崎ニ門ガ崎トテ石屏三十丈バカリノ門ノ形アリ此外怪石多キトゾ［美濃國堀口氏ノ氏文］三郎行義曆應二年己卯八月於ニ越前國敦賀郡白鬼ニ討死［廻國雜記］しらきの橋越前也

横椋（ヨコクラノ）神社

伊多伎夜（イタキヤノ）神社

○伊多伎ハ飯高也夜ハ祖也［三實］廿四越前國敦賀郡人右大史正六位上伊部造豊持賜ニ姓飯高朝臣ニ其先出レ自ニ天足彦國押人命ニ也

横山（ヨコヤマノ）神社

［日本紀略］安和元年七月十三日越前國正四位下横山神授ニ從三位ニ

伊部磐座（イヘイハクラノ）神社

［和鈔］伊部○伊豆國石倉神社

質覇村（チハムラノ）峯神社

鹿蒜（カヒルノ）神社

［和鈔］鹿蒜加倍留神蛾也事見ニ加比留神社下ニ

高岡（タカヲカノ）神社

大神下前（オホムワノ）神社

鹿蒜田口（カヒルタノクチノ）神社

［姓氏］田口朝臣武内宿禰大臣之後也○信友云今駄（ダ）口（グチ）村アリ可レ考

三前（ミサキノ）神社

織田（オリタノ）神社

［常陸國風土記］難波長柄豊前大宮臨軒天皇之世高向臣中臣播織田連等

補國人云丹生郡織田神主上坂氏別當神前院

石田（イハタノ）神社

［書紀］垂仁紀五十日足彦命是石田君之祖也［古事記］高志池君之祖

○信友云今野坂村ニアリト云フ

志比前(シヒサキノ)神社

「姓氏」高志連天押日命之後也

角鹿(ツルガノ)神社

「社記」氣比大神宮坐ニ大玉垣之外西面ニ舊記ニ云都怒我阿羅斯等ヲ祭ル今政所(マンドコロ)神社ト云フ「姓氏」崇神天皇御世額有レ角人乘レ船泊ニ于越國笥飯浦ニ曰意富加羅國皇子名都努我阿羅斯等「太平記」蕪木(カブラギ)浦

大椋(オホクラノ)神社

「三實」元慶四年九月十七日授ニ從四位上大椋神社正四位下ニ○大和國大倉比賣神社

和志前(シサキノ)神社

市振(イチフリノ)神社

○隱岐國知夫郡由良比賣神社元名和多須神「土佐日記」海童ノチフリノ神

金前(カナサキノ)神社

「古事記」綿津見神之子宇都志日金拆命○金崎○信友云金前神社今金ガ崎泉(シミヅ)村ニアリテ金前(コンゼン)大明神ト云フト云ヘリ(太平記)十七ニ恒良親王春宮ナリヲ奉ジテ新田氏金崎ノ城ニ籠リテ足利氏ト戰ヒツヒニ落城ノ事アリ

五幡(イツハタノ)神社

「萬葉」伊都波多野「新古今」「わすれなん世にもこし路の歸る山いつはた人に逢はむとすらん」○信友云今五幡村ニアリト云

阿蘇村利椋(アソムラノトノ)神社

○信友云今麻生村アリ莇生野(アゾノ)トモ書ケリ可レ考又按ニ阿曾(アソ)村アリ

白城(シラキノ)神社

「書紀」神代紀五十猛神降到ニ新羅ニ○吉從按白城宿禰ヲ祭ルナルベシ武内宿禰ノ孫也(姓氏錄)ニ坂本朝臣紀角宿禰男白城宿禰ノ後也トアリ下ナル信露貴彦神社モ同神ニヤサテ坂井郡ニ紀倍神社アリ○

〔青蓮院御門主系帳〕慈源大僧正法性寺撿挍氣比宮社務極樂寺天王寺等ノ別當建長七年七月十九日遷化關白道家公男〔續紀〕寶龜七年九月庚午始置ニ越前國氣比神宮司一准ニ從八位官一○今社ノ傍ニ土用松トモ云フ古松アリ其故シラズ尾張熱田ニ土用社アリ又名和伯耆守長年ノ兒ニ土用松ト云フガアルヨシ伯耆卷ニアリト（參考太平記）ニアリ〔書紀〕持統六年ノ下ニ越前國獻ニ白蛾一戊午詔曰獲ニ白蛾於角鹿郡浦上之濱ニ故增ニ封笥飯神二十戶一通レ前今按ニ（和名鈔）敦賀郡神戶鄕アリコレナルベシ〔符宣抄〕太政官符式部省應レ補ニ任氣比大神宮司正六位上中臣丸朝臣良用一事左右大臣宣件人宜レ補ニ彼大神宮司中臣良用秩滿之替一者省宜承知依レ宣行レ之符到奉行　天曆四年六月十四日

加比留神社

〔書紀〕持統紀六年九月癸丑越前國司獻ニ白蛾一戊午詔曰獲ニ白蛾於角鹿郡浦上之濱一故增ニ封笥飯神二十戶一通レ前○按加神也比留蛾和名比々留蠶種也其色白者最美王道以ニ衣食一爲レ重建レ祠祀レ之此國到レ今養レ蠶○淸在按景行紀鹿蒜之事此社之緣起也可レ考（日本紀）

劒神社

〔續紀〕寶龜二年十月戊辰詔充ニ越前國從四位下勳六等劒神食封廿戶田二町一〔三實〕貞觀元年正月廿七日勳六等劒神正四位下〔出雲風土記〕須佐能烏命御子都留伎日子命〔永萬記〕劒宮○信友云劒大明神今午浦田尾橫濱ノ三村ニアリ當郡天利劒神社ノ下可レ考〔太平記〕十八北國軍ノ文ニ劒白山ノ衆徒ト云ヒテ勢盛ナリシ趣也白山ハ加賀ノナルベシ

丹生神社

田結神社

〔萬葉〕越海乃田結之浦

久豆彌神社

○信友云今沓見村ニアリ○丹後國木積神社○今曰ニ木目峠一

野坂神社

吉備津彥命亦名五十狹芹彥命又曰號ニ笥比大神ト曰
去來紗別神五十狹芹與ニ去來紗ト語通「國造本紀」曰
角鹿國造吉備臣祖若武彥命孫云々鎭ニ此地ニ疑本ニ於
此ニ乎若武彥命者吉備津彥命之弟也奉レ授レ之以ニ臣
位ニ非ニ仲哀天皇ニ也明矣「神名帳」氣比神社七座祠
官說出ニ于八幡本記ニ曰保食神自ニ上古ニ在ニ此地ニ後奉レ鎭ニ仲
哀天皇於保食同殿ニ是今本宮也「伊勢鎭座傳記」曰
大宜都比賣神亦名保食神今祠官因稱ニ保食神ニ乎其
後建ニ四社ニ東殿日本武尊西殿武內宿禰總社神功皇
后八幡大神平殿豐玉姬都七神五座東殿日本武尊疑
若武彥命歟又播磨國賀古郡日岡坐天伊佐々比古神
社「古事記」曰大吉備津日子命與ニ若日子建吉備津
日子命ニ二柱ニ相副而於ニ針間氷河之前ニ居ニ忌瓮ニ而針
間爲ニ道口ニ以言ニ向和吉備國ニ也是等伊佐々比古神
爲ニ吉備津日子命ニ之證也功字訓伊佐傑字訓伊佐々
今氣比社在ニ敦賀津ニ西南有ニ小川宮造向南ニ鳥居在
レ西「文實」七齊衡二年五月壬子詔ニ越前國氣比大神
宮寺御子神宮寺ニ置ニ常住僧聽レ度五人心願住者亦五
人凡一十僧ニ永々不レ絕○信友云今在ニ本郡ニ「續後紀」
承和六年二月「三實」元慶二年二月廿七日「萬葉」十
七大伴家持ノ歌ノ詞書以上三書氣比大神宮トアリ

額「正一位勳一等 氣比太神宮」裏ニ元文庚申冬十月十有三日社務
ニ一品親王尊祐書以揭ニ北陸道大社氣
比宮中門ニトアリ「續後紀」承和六二朔播磨國印南郡
佐突サド驛家依レ舊建ニ立越前國氣比大神宮ニ云々「元慶
ノ格」延曆十二年云々氣比神宮司從五位下大中臣
魚取ガ解ニ偁云々「類史」八一大同四年閏二月丁酉云
云「文實」仁壽二年八月云々「三實」貞觀元年正月云
云「延喜式」十八五十(萬葉)十七大伴家持赴ニ參氣比
大神宮ニ行ニ海邊ニ之時作歌一首「記傳」古事記傳卅一卅二丁ウ
ヨリ「板屋氏云」氣比宮ノ社記數本アリト云ヘリ青蓮
院御社務也氣比宮社人古ハ勢ヒ有シ事(太平記)
(淺井軍記)(織田軍記)ニアリ社人笏ヲ取事國史ニ
アリ「延喜式」雜式凡越前國松原客館令ニ氣比神宮司
撿挍コノ松原客館ハ(扶桑略記)延喜十九年ノ下ニ
モ見エテ(和名鈔)ニ覊景樓トアルト同處ニテ今敦賀
郡櫛川松原ナルベシコノ考委別ニ記ス「風土記」仲
哀天皇將レ攻ニ三韓ニ到ニ筑紫ニ而崩今氣比大明神者
此帝也「平家物語」第三越前氣比の宮と安藝のいつ
く島は兩界の垂跡にてさむらふが氣比の宮は榮え
たれどもいつく島はなきがごとくにあれはて丶候

神名帳考證　卅一

延喜式卷第十之十　北陸道第二

越前國一百廿六座

大八座

小百十八座

【類史】延暦廿年四月己亥越前國禁斷屠牛祭神

敦賀郡四十三座 大七座 小卅六座

氣比神社七座 並名神大

【續後紀】承和二年二月丙子朔戊戌坐越前國正三位勳一等氣比大神祝禰宜准鹿島能登兩大神祝禰宜令以把笏同六年十二月丁巳奉授越前國正三位勳一等氣比神從二位餘如故 按正從二三字轉倒歟【文實】嘉祥三年十月乙巳朔越前國氣比神正二位【三實】貞觀元年正月廿七日越前國正二位勳一等氣比神從一位【舊事紀】仲哀元年二月幸角鹿即興行宮而

居之是謂笥飯宮【古事記】建内宿禰命率其太子為將禊而經歷淡海及若狹國之時於古志前之角鹿造假宮而坐爾坐其地伊奢沙和氣大神之命見於夜夢云以吾名欲易御子之御名爾言禱白之恐隨命奉易亦其神詔明日之旦應幸於濱獻易名之幣故其旦幸行濱之時毀鼻入鹿魚既依一浦於是御子令白于神云於我給御食之魚故亦稱其御名號御食津大神故於今謂氣比大神也【書紀】神功紀十三年春二月甲子命武內宿禰從太子令拜角鹿笥比大神【同】應神紀一云勅天皇為太子行于越國拜祭角鹿笥飯大神時大神與太子名相易故號大神曰去來紗別神太子名譽田別尊然則可謂大神本名譽田別神太子元名去來紗別尊然無所見也未詳【玉葉】建久二年十二月十二日越前國氣比宮燒亡云々【吉續紀】文永五年六月五日氣比社造當諸庄園散狀等以左大辨奏聞院御方正應二年九月十三日氣比社造營事被付國司之間神官等嗷々訴申【類聚三代格】寛平五年太政官符坐越前國正位勳一等氣比大神宮司中臣清員云々○或人曰氣比大神是仲哀帝廟也贈之以臣位恐朝廷之過乎答曰【日本紀】曰

宇波西神社 名神大月次新嘗

○伊牟移同神日子坐王也攝津國伊和志豆神社美濃國伊波乃西神社○宇波西神社(臨時祭式)ニ不レ載

高那彌神社

○加賀國多伎奈彌神社

仁布神社

須部神社

○遠江國引佐郡須倍神社「古事記」大物主大神娶ニ陶津耳命之女ニ生子名櫛御方

木野神社

「舊事紀」事代主神兒奇日方命亦名阿田都久志尼命

按久志反切木也尼與レ野音通越後國且飯野神社

彌美神社

「古事記」室毗古王者若狹之耳別之祖按宇波西神之子也「和鈔」三方郡彌美

於世神社

○大背飯三熊命

常神社

能登神社

「古事記」崇神皇子大入杵命能登臣之祖也「和鈔」三方郡能登

闇見神社

「古事記」日子坐王娶ニ春日建國勝戸賣之女名沙本大闇見戸賣ニ生ニ室毗古王ニ室毗古王者若狹之耳別之祖

山都田神社

「姓氏」山都多祁流比女命大和國大和坐大國魂神社

伊射奈伎神社

香山神社

靜志神社

[書紀]垂仁紀天日槍自ニ近江一經ニ若狹國一到ニ但馬國一

按靜志ハ出石

日置神社

大飯神社

[姓氏]佐伯日奉造高魂命六世孫天押日命之後也

○石見國大飯彥命神社○佐渡國飯持神社

佐伎治神社

三方郡十九座 大一座 小十八座

須可麻神社

御方神社

[古事記]大物主大神娶ニ活玉依毗賣一生子名櫛御方ノ命

伊牟移神社

○彥坐命也伊牟移ハ坐也○信友按伊牟移ヲイムシト訓テ坐ト同言也ト云ヘル意ト見ユキハメテ僻說ナリ予ガ考ハ別ニ云

多由比神社

○隱岐國由良比賣神社元名和多須神社水分神歟

丹生神社

[姓氏]息長丹生眞人應神皇子稚渟毛二俣親王之後也

織田神社

和爾部神社

[舊事紀]阿由賀田須命和爾君等祖

佐支神社

○佐伎治同神

神ト
○今曰ニ寶筺山下岩神ト

石按比賣神社（イハアンヒメノ）

「古事記」石衝毗賣命亦名布多遲能伊理毗賣命

椎村神社（シヒムラノ）

「姓氏」青海首椎根津彦命之後也「和鈔」阿桑（阿乎）

波古神社（ハコノ）

久須夜神社（クスヤノ）

彌和神社（イワノ）

丹生神社（ニフノ）

「和鈔」丹生（爾布）「三實」貞觀十二年十二月若狹國言遠敷郡人丹生弘吉云々孝敬周備云々勅叙ニ位二階ト

阿奈志神社（アナシノ）

○伊賀國穴石神社「若狹志」山王祠云々土人云天應年創建舊稱ニ阿奈志山王ニ云々此祠奈胡村ニアリ

曾尾神社（ソビノ）

許波伎神社（コハキノ）

苅田比古神社（カムタヒコノ）

○陸奥國苅田嶺神社按農功以ニ收穫ヲ爲シ要故穀靈以ニ苅田ヲ爲ニ神名ヲ伊勢取ニ鍬柄ヲ祭稱ニ鍬山伊賀利神ト事有ニ伊賀理神社ニ「精古考」（古事記）開化段云日子坐王娶ニ山代荏名々津比賣亦名苅幡戸辨比賣ト戸辨ハ同ジ筋ノ語ナレバ此神ナルベク覺ユソハ此國ハ日子坐王ニヨシアル也其裔ノ社多ケレバ也又（垂仁紀）ニ苅羽田刀辨ト云モ見ユコレモ石鞍神社石衝姫命ナラバヨシアリ彼姫命ハ此弟ノ生レバ也

苅田比賣神社（カンタヒメノ）

「儀式帳」伊賀利比賣命

大飯郡（オホイタノ）七座（並小）

青海神社（アヲウミノ）

「姓氏」青海首椎根津彦命之後也

神名帳考證　三十

延喜式卷第十之九　北陸道第一

北陸道神三百五十二座

大十四座（就中月次一座 新嘗イ）

〇信友云例ニ據ニ就中一座預月次新嘗等祭ニトアルベキ也

小三百卅八座

若狹國四十二座

大三座

小卅九座

遠敷（ヲニフノ）郡十六座（大三座 小十四座）

〇遠敷（不爾 平）敷丹生也丹生神坐

多太（タタノ）神社

若狹比古（ワカサヒコノ）神社二座（名神大）

〔三實〕貞觀元年正月廿七日若狹國從二位勳八等若狹彦神正二位正三位若狹比咩神從二位續紀廿若狹遠敷朝臣長女云々　類史天長六年若狹國比古神以和朝臣宅繼爲神主元亨釋書釋實忠傳曰初忠修二月懺初夜時請衆神讀名簿供之若州有遠敷明神威靈甚豫此會聞忠懺生渴仰託云願獻閼伽水忽黒白鵜穿石地而出飛上旁樹其二迹湧甘泉忠甃石爲閼伽井旱歲井涸二月修中缺閼伽其衆集井邊遙向若州持念須臾其水盈滿二月十二日夜也其若之神祠前有河此時絕流無音州民大怪蓋神送河流通閼伽井也爾後州人聞此事名其河曰無音河有病者飲閼伽井多愈焉〇一記云若狹國遠敷大明神在遠敷郡祭神上社彦火々出見尊下社豐玉姫人皇四十五代元正帝御宇靈龜元年降迹焉

小浴（ヲアミノ）神社

石按比古（イハアンヒコノ）神社

〇按石按石鞍也參河國石座神社〔三實〕四十作石鞍

式外舊社

城輪高泉神社

［三實］貞觀七年二月廿七日出羽國正六位上城輪高泉神並從五位下元慶四年二月二十七日授二出羽國城輪神從五位上一

白磐神　須波神

［三實］貞觀十二年八月廿八日出羽國白磐神須波神從五位下［聞老志］白磐神蓋今稱二白岩地一乎

酢川温泉神

［三實］貞觀十五年六月廿六日授二出羽國正六位上酢川温泉神從五位下一○按山本郡副川神社乎［聞老志］酢川岳跨二奥羽兩境一西北大岳也有二温泉一

天向神

［三實］貞觀十六年五月十一日授二出羽國天向神從五位下一

利神

［三實］貞觀十三年四月三日授二出羽國利神從五位下一○按利副川之誤乎

由豆佐賣神社

［三實］仁和元年十一月廿一日辛丑去六月二十一日出羽國秋田城中及飽海郡神宮寺西濱雨二石鏃一陰陽寮曰當レ有二凶狄陰謀兵亂之事一神祇官言彼國飽海郡大物忌神月山神田川郡由豆佐乃賣神倶成二此恠一祟在二不敬一勅令二國宰一恭祀二諸神一兼愼警

伊氐波神社

［姓氏］出庭臣孝元天皇皇子太忍信命之後也［兵家茶話］鶴岡山王社司富樫氏云羽黒山權現ハ伊氐波神社ナルベシ後考此考誤ナランシ羽黒ハ大物忌神ナリトゾ

平鹿郡二座並小

鹽湯彥神社

○國人大友直枝曰鳴見澤俗ナメリ澤トモ云フノ御嶽山ニ在コノ御嶽山ハ横手郡ヨリ二里餘攀テ此山上ヲ萱森ト云フ高原ノ地也ソコヨリ十丁バカリ上リテ巓アリコヽヲ御嶽山ト云フ當社ヲ土人熊野堂トモ御嶽權現トモ云フ古昔此山麓ニ温泉多カリシニ今ハ絶々ニナリタリ弘安年中一遍上人再興ス紀伊熊野早玉神ヲ徙シ祭ルト云ヘリ

波宇志別神社

○大友直枝曰八澤木村保呂羽山ニ在ス傳云大和國吉野郡金峯神ヲ徙シ祭ラルヽト云フ直枝ハ此社ノ神官也○秋田人云保呂羽山ハ頗高山也神社モ大社ニテ秋田龜田生駒ノ三家ヨリ是ヲ祭ル三郡ノ堺ニアリ

補當社ノ祭禮ニ三郡ノ氏子數萬人群集シ赤裸ニテ押アフ事アリ三郡ノウチ勝タル方翌年豐饒ナリト云ツタヘタリ○除夜ノコトヽ歟伊賀國阿拜郡陽夫多神社ニモタヾオシトテ同ヤウノコトアリ

山本郡一座小

副川神社

［三實］元慶二年出羽國添川［和鈔］秋田郡ニ添川アリ○大友直枝曰三鞍鼻ノ高岳山ニ在此山ヲ又尾保呂長根トモ云播摩廣峯神ヲ徙シ祀ルト云フ土俗牛頭天王ト稱ス

リ海水ト同ク潮氣アリ海魚及鮑アリ古ハ此魚貝ヲトリテ神供トセシニヤ今ハ餅ニテ其形ヲ表シタルモノヲ作リテ權現ニ備フサテ山路嶮難ナル處ノ傍ニ三町隔テ八形ヲホノ〴〵見ユルヤウニ出入シテ幽靈也トテ愚俗ヲ迷ハス事ヲスルモノモアリト彼權現奉仕ノ僧密ニ語レリト中里詮篤語レリ祭神ハ大山祇神也一説ニ倉稻魂神也トモ云フ此權現大物忌神也ト云ヘル説モ未ダ慥ナラズナホ考ベシ［兵家茶話］日夏氏飽海郡吹浦村ニ大物忌神社アリコレ出羽國一宮也今一宮兩所權現ト云フ三代實錄貞觀十三年大物忌神社在ニ飽海郡山上ニ云々一説鳥海山上ノ社トモ云ヘリ當時ハ藥師ヲ山上ニ安置十二神像ニ通リアリ此説區々ニシテ分明ナラズ社家記ニハ大同元年奉レ遷ニ吹浦村ニトアリ福浦社內ニ所藏

奉寄進出羽國一宮兩所大菩薩　由利郡小石鄕乙度村事　右爲ニ天下興復別而陸奥出羽兩國靜謐ニ所ニ寄進ニ之狀如レ件

正平十三年八月廿日從一位行前內大臣源朝臣在判

小物忌神社

○今在ニ飛鳥ニ〇位階事載ニ于大物忌神條下ニ［三實］袁物忌神

月山神社 名神大

○位階事載ニ于大物忌神社條下ニ［三實］貞觀六年二月五日授ニ出羽國正四位上勳六等月山神從三位ニ同十八年八月二日授ニ從三位勳六等月山神正三位ニ［聞老］月山神社湯殿山羽黑山共同所今屬ニ櫛引郡ニ瀧池在ニ東南ニ皆高山大岳役徒愚民每歲所下以費ニ家產ニ盡ニ財用ニ而致中登山上之地也

補［奥細道］右廿二六月三日羽黑山に登る中略延喜式に羽州里山の神社と有書寫黑の字を里山となせるにや羽州黑山を中略して羽黑山と云にや

田川郡三座 並小

遠賀神社

○在ニ遠賀村ニ今曰ニ稻荷村ニ執ニ社中道ニ曰ニ遠賀道ニ自ニ鶴岡ニ十町許東也［聞老］（書紀）齊明紀四年ニ出タル齶田蝦夷恩荷ガ祭ナルベシ

神為崇賜倍利加以遣唐第二船人等廻來申久去年八月
留南賊境留漂落氐相戰時彼衆我寡氐力甚不敵奈利儻
而克敵留波似有神助止申今依此事臆量留去年
出羽國言上太留大神乃於雲裏十日間作戰聲後留
兵石零利止申之世利月日與南海戰間正是符契世利大神乃
威稜令遠被太留事乎且奉歡喜政以從四位爵乎奉
授兩戶之封奉充良久申賜波久申「三實」貞觀四年十
一月乙丑朔詔以出羽國正四位上勳五等大物忌神
預之官社同六年二月五日授出羽國正四位上勳
六等月山神從三位正四位下勳五等大物忌神正四
位上同年十一月五日授出羽國正四位上勳五等
大物忌神從三位同十三年五月十六日辛酉先是
出羽國司言從三位勳五等大物忌神社在飽海郡
山上巖石壁立人跡稀到夏冬載雪禿無草木去
四月八日山上有火燒土石又有聲如雷自山所
出之河泥水溢其色青黑臭氣充滿人不堪聞死魚
多浮擁塞不流有兩大蛇長十許丈相流出入于海
口小蛇隨者不知其數緣河苗稼流損者多或染
濁水臭氣朽而不生聞于古老未嘗有如此之
異但弘仁年中見火其後不幾有事兵仗決之
蓍龜並云彼國名神因所禱未賽又冢墓骸骨汚其
山水由是發怒燒山致此災異若不鎭謝可
有兵役是日下知國宰賽宿禱去舊骸行鎭謝
之法焉同十五年四月五日授從三位勳五等大物忌
神正三位元慶二年八月四日丁卯正三位勳五等大
物忌神進勳三等正三位勳六等月山神四等從五位
下勳九等小物忌神七等先是右中辨兼權守藤原朝
臣保則奏言此三神自上古時方有征戰標奇
驗去五月賊徒襲來挑戰官軍當此之時雲霧晦
合對坐不相見營中擾亂官軍敗績求之蓍龜神氣
歸賊我祈無感增其爵級必有靈應國宰齋戒祈
請慇懃望請加進位階將答神望仍增此等級云
云元慶四年二月廿七日正三位勳四等月山神正三
位勳三等大物忌神並授從二位從五位下勳七等袁
物忌神城輪神並從五位上「本朝世記」天慶二年四
月十九日庚寅云々官符三通皆給出羽國云々一通
鎭守正二位勳三等大物忌明神山燃有御占事怪
以下欠「一宮記」倉稻魂神「延喜式」月山大物忌神祭料
二千束〇一宮也飽海社ト云フ今羽黑山權現ト云フ
コレナリ祭神倉稻魂也ト云リ〇羽黑山頂上ニ池ア

安達嶺禰宜大刀自神安達嶺飯津賣神並正五位上陽日温泉神正五位下ニ○知雄云小湯日温泉神歟春村案此説佳但當レ作二從五位下小湯日温泉神一
○佐藤方定云安達嶺大刀自神は式にはみえねど名だゝる安多々良山にて萬葉にも見えて安達郡の大山なり今安多々良大明神と稱して宮道本宮といふ驛に祭るは其麓宮なり即此大御神なるべし安達嶺飯津賀神詳ならずもしくは安達嶺の三字は上をうけたる重複にてもと只飯津賀神とのみありしか今も信夫郡に飯塚村とてあるをそこにまします神を式なる東屋沼神とすこは近古その神主吉田氏の説なり此社いと舊社なれば實にしかるにや但し飯津賀一本飯津賣とあり小結温泉神上件に云へり

蜂社

○附考一九右ニミユ以上春村所補

神名帳考證　廿九

延喜式卷第十之八　東山道第八

出羽國九座

大二座

小七座

［續紀］和銅元年九月丙戌越後國言新建二出羽國一許レ之
和銅五年九月己丑始置二出羽國一

飽海郡(アクミノ)三座大二座小一座

大物忌(オホモノイミノ)神社名神大

［續後紀］承和五年五月丁卯奉レ授二出羽國從五位上勳五等大物忌神正五位下一餘如レ故又曰同七年七月己亥奉レ授二出羽國飽海郡正五位下勳五等大物忌神從四位下一餘如レ故兼宛二神封二戸一詔曰天皇我詔旨爾坐大物忌大神申賜波久頃皇朝爾緣レ有二物怪一天卜詢爾大

〔三實〕貞觀五年十月廿九日陸奥國无位八牡姬小結温泉神等並授㆓従五位下㆒

補佐藤方定云信夫郡飯坂村に小結温泉あり其靈著く中風疝氣血證等諸病を愈して許多の人を救ふ

鹽竈神

〔延喜〕主税式陸奥云々祭㆓鹽竈神㆒料一萬束〔閒老〕（類聚國史）十六神階部 弘仁三年壬辰七月十日陸奥宮城郡鹽釜神社授㆓従三位㆒○又三十七畿外奉勅宮社部 舒明天皇四年七月陸奥國宮城郡鹽竈神社奉勅使本ノマヽ損臈頁隅奉㆓錦綿布蠶繭等㆒本ノマヽ 信友云右（逸史）ニモ不㆑見可㆑訂 又云神竈凡四口在㆓南方㆒者二口東竈徑四尺八寸 西竈徑四尺在㆓北方㆒者二口東者四尺八寸西者四尺八寸有㆓國殃㆒則釜中水色各爲㆑變或紫或黄或赤或青其色不㆑同於㆑是恐㆓故孼之兆㆒而祈㆑之注 此水以㆓七月十日昧爽㆒以㆓新水㆒面易㆓舊水㆒以㆑此爲㆑例〔宗久紀行〕都のつと云 釋宗久丹州人崇光朝觀應年中 日くるゝ程にしほがまの浦に行つきぬ神體はやがて鹽竈にてわたらせ給ふ御前に通夜し侍りぬ

多允都神

〔續後紀〕承和十年奉㆑授㆓陸奥國從五位下多允都神正五位下㆒

關明神

〔東鑑〕文治五年七月廿九日丁亥越㆓白河關㆒給關明神御奉幣 此奉衡征伐之時也

川田神社二座　御上神社一座

○百木云印本臨時祭式陸奥國川田神社二座御上神社一座アリ古本ニナキハヨロシ川田モ御上モ共ニ近江ノ神名ナル事既ニ見エタリ○信友按ニ式内當國中ノ神社ノ別名ナルベシ

補 安達嶺禰宜大刀自神　安達嶺飯津賣神

陽日温泉神

〔三實〕貞觀五年十月廿九日戊子陸奥國中略无位八牡姬小結温泉神等並授㆓從五位下㆒〔日本紀略〕寛平九年九月七日己卯授㆓陸奥國坐正六位上飯豊別神

世孫奈良君之後也[續紀]天平寶字元年三月乙亥勅自レ今以後改二君子部一爲二吉美侯部一○神護景雲三年三月辛巳陸奥宇多郡人外正六位下吉彌侯部文知賜二姓上毛野陸奥公一○子眉與二子部一通[聞老]在二菅谷鄕一鄕說號二勝善神社駒岳一古老說曰古昔有二異産者一馬首獸身父母恐而棄二諸壑一時飛猿沐猴嚼二葛葉一而食レ之遂得二生育一矣此人死後鄕人建レ祠而祀レ之如今呼二其地一而稱二葛嶺一其神乃子眉嶺神也

伊具郡二座 並小

熱日高彦神社

[聞老]鄕說在二島田村一日高明神

鳥屋嶺神社

[聞老]鄕說佐々又作二笹字一鳥屋館有二鳥屋明神一○又云鳥屋城在二丸森村大條一薩摩居館也

磐井郡二座 並小

配志和神社

○出羽國平鹿郡波宇志別神社アリ[文實]仁壽二年八月辛未配志和神授二從五位下一

儛草神社

[文實]仁壽二年八月辛未儛草神授二從五位下一[聞老]磐井郡舞草社在二舞草村一山稱二白山嶽一有レ寺號二吉祥山東城寺一平城帝大同年中田村麻呂東征之時所レ建是亦置二馬頭觀音一土人仍曰二觀音堂一按舞草乃所レ載二(神名帳)一而聊不レ可レ混二雜之官社也云云

江刺郡一座

鎭岡神社

○値岡(一本並秘說)○信友云(東鑑)文治五年九月ノ下ニ志波郡陣岡蜂社アリ蜂ハ峰歟可レ考

式外舊社

三神

[日本紀略]延曆二十一年正月陸奥國三神加レ階緣ニ征夷將軍奏ニ靈驗一也

八柱姫　小結溫泉神

[續後紀]承和元年五月甲午朔奉レ授二陸奧國柴田郡無位大高山神從五位下一[三實]貞觀十一年三月十二日大高山神從五位下[同]貞觀十一年陸奧國柴田郡权大領阿倍陸奧臣永宗云々[聞老]大高宮(或作二大鷹一)在二平村一韮神西南有レ岑欝地松杉翠深村落路遠是其神祠之在處也(延喜式)所レ謂大高山神社是也緣起說曰芝田村平村大高宮廼人王三十三代欽明天皇第四皇子橘豐日尊(乃用明天皇也)云々出二皇都一久在二東藩一而寓二居于斯山中一云々皇子有レ妃號二玉倚姬一歲餘而孕焉皇子曰今於二懷胎一無乃(ムシロ)其有レ所レ感與曰妾前霄夢白鳥東方來入二懷抱一然後有レ身皇子曰俞我在二東藩一來禱二白鳥神一久矣想夫神之所レ化乎后妃產レ兒容貌端正有二異相一皇子相喜寵異尤深後皇子依レ命將レ還二于京師一云々夫人日夜相思云々終發レ疾將レ死乳母看二疾之革一不レ耐二悲痛之情一懷二抱幼兒一而臨二河畔一云々君若神明之所レ化則須レ令下身代二哥后死一而遂中雙親再會之志上矣言訖投二之水中一時幼兒化二白鳥一飛揚去后妃亦未レ幾而甍乳母不レ堪二悶絕之至一輾轉而死鄉人葬二之近村山丘一植レ樹而去云々皇子聞レ計(是カ)哀痛慘憺不レ可レ仰焉悲嘆之餘使下侍臣遺中天旗雄劍龍蹄戎具樂器等于此地上官使至二於墓陵一而述二天意一言未レ終有二白鷹一揚二於陵上一云々官使歸奏二于皇子一仍命建二白鷹社一云々號曰二大鷹宮一後皇子云々謂二之用明天皇一云々按世稱用明帝少時欲レ得二豐後國眞野長一女玉世姬一仍變二姓名一號二山路一爲二彼家牧奴一常好弄レ笛我州人以爲二東奧刈田大高故事一用明本紀兩無二所見一矣且治世纔二年無二德行善政之可一レ稱也疑後人云々牽合附會傳レ之乎云云神社說曰敏達天皇元年壬辰勸二請大鷹宮於平村一又曰崇峻天皇二年己酉聖德太子分二侍臣於四道一贈二一級於諸國神社一時合二祭用明帝后妃于一宮一今大高宮是也山稱二大鷹山一寺曰二大林寺一爲二之新宮一村田白鳥神社乃所レ祭二日本武尊一而爲二之本宮一也

○又云修禊湖去レ社西二町餘有二一舊湖一往昔大高神與修禊地也鄉人曰二之御洗沼一

宇(ウ)多(ダノ)郡一座 大

子(コ)眉(ヒ)嶺(ミネノ)神社 名神大

○舊訓コヒコマユ○子負(フ)嶺神社(臨時祭式)(秘釋)同ジ[姓氏]吉彌侯部上毛野朝臣同祖豐城入彥命六

史曰此地昔時西界ニ白河關一東限ニ外濱一行程十餘日於ニ其中間一立ニ關門一名曰ニ衣關一一說曰衣關在ニ伊澤郡白鳥村一曰ニ鵜本一其傍有ニ關山明神一今曰ニ之關門宅一乃往時通行之道路而今廢ニ其地一高關ニ關門一左則隣ニ高峻一右則通ニ長途一南北層巒相峙嶮之地也○又云古今著聞集武勇部云伊豫守源賴義朝臣貞任宗任等ヲ攻ラル、間陸奥ニ十二年ノ春秋ヲ送リケリ鎭守府ヲ立テ秋田城ニ移リケルニ雪ハダレニ降テ軍ノヲノコドモノ鎧ミナ白妙ニ成ニケリ九月六日衣河ノ館峰高ク川アリケレバ楯ヲ頂キ冑ニ重ネイカダヲ組テ攻戰フニ貞任等堪ズシテツヒニ城ノ後ヨリノガレ落ケルヲ一男八幡太郎義家衣河ニ追立攻フセ丈クキタナクモ背ヲ見スル物カナシバシ引カヘセ物イハント云ハレタレバ貞任見カヘリタリケルニ、コロモノタテハホコロビニケリト云ヘリケリ貞任クツバミヲヤスラヘシコロヲフリ向テ、トシヲヘシ糸ノ亂レノ苦シサニト付ニケリ其時義家ハゲタル箭ヲサシハヅシテ歸リニケリ○又思フニ衣手關アリ奥州ト云ヘリ衣太手神社カ又コロモノタテニテ衣之館カ館ヲ楯ト云ヘリ東言ナラム○篤胤云東國ニテ館ヲタテト云フ秋田ニテ大館角館ヲオホタテカクノタテト云

安積郡三座 大一座 小二座

宇奈己呂和氣神社 名神大

[續後紀]承和十四年奉レ授ニ宇奈己呂別神從五位下一[三實]貞觀十一年三月十二日授ニ陸奥國從五位上宇奈己呂別神正五位下一○今曰ニ八幡山一當郡惣社也

飯豐和氣神社

[日本紀略]寬平九年九月七日己卯授ニ陸奥坐正六位上飯豐別神正五位上一○今曰ニ飯森山妙見一[和鈔]宇多郡ニ飯富アリ

隱津島神社

○隱今沖トモカク○吾田太良大明神ト云フコレ也ト云ヘリ

柴田郡一座 大

大高山神社 名神大

「文實」仁壽二年八月乙未朔辛未陸奥國志賀理和氣神加二正五位下一「姓氏」輕部倭日向建日向八綱多命之後也雄略天皇御世獻二加里乃郷一仍賜二姓輕部君一云々○按志賀理鹿獵也續紀入彦命子孫東國六腹朝臣各因二居地一賜レ姓命レ氏○信友云(東鑑)文治五年九月下ニ志波郡陣岡蜂社アリ可レ考

補「遺聞」二四右今志波郡郡山の邊に赤石明神といへるありこの御社なりといへりこははやく志賀理和氣神社と定められたれど其後火にあひて古き縁起神寶やうの物焼たれば今しるべきよしなし○春村云蜂の社の事は附考一九左にしるす

氣仙郡三座並小

理訓許段神社

「文實」仁壽二年八月辛未理計段神授二從五位下一○信友云理訓許段ハ東ノ鄙言ナルベシ(日本後紀)八廿六丁卯陸奥俘囚吉彌侯部黒田妻吉彌侯部田苅女吉彌侯部都保呂妻吉彌侯部留志女アリ之モ東夷ノ語也

登奈孝志神社

「文實」仁壽二年八月乙未朔辛未陸奥國登奈考志神加二正五位下一○越前國坂井郡都那高志神社「聞老」雷神社以北三町餘稱二赤越明神一トアリ○百木按ニ登奈孝志ト赤越ト言近シ可レ考

衣太手神社

「文實」仁壽二年八月乙未朔陸奥國衣太宗神加二從五位下一○(聞老)ニ引證(文德實錄)衣太家トアリサレバ宗ハ家ノ誤字衣太手ハ毛ノ誤字ナルベシ「聞老」盤井郡衣川一作二衣河一今從(續紀)衣川及衣瀑布及濯衣潭下又見二膽澤郡一今隷二之膽澤郡一然衣河館等在二當郡一故依レ舊收レ之水源有レ二一則出二膽澤郡須川岳麓一一則出二同郡下風山下一經二檜澤大平石納等數村一渾曰二之衣川一其末又合二盤井川一也○又云衣郷未レ詳二其地一或曰參河國也以レ歌考レ之則或然矣但據二(六帖)中書王詠吟一而收二于茲一○又云盤井郡衣川館在二平泉村東一阿倍賴時所レ築曰二之衣河館一文治中民部少輔基成居二此館一義經自二殺茲一世稱二高館一是也云々○又云延暦八年六月紀曰衣川營東史曰衣河館○又云衣關去二高館一一町餘山下有二小關路一是古關門之址也東

磐椅神社

[文實]齊衡二年正月壬午朔己酉加ニ陸奥國石椅神従四位下ニ[會津山水記]會津城山鎮號ニ磐梯ニ矣高五百十弓廻麓九十餘里在ニ城東北十五里ニ頂上建レ祠焉(延喜式)磐椅神社是也[聞老]在ニ磐梯見禰山ニ神像男體長一尺六寸女體長一尺五寸八月廿五日祭禮云々會津風土記○信友云此國人藤原政文翁ノ説ニ此山ハ耶麿郡稲城郷會津山ノ南麓也會津山ノ一名磐梯山ト云フ此山ノ頂ニ磐梯神社有シヲ中古今ノ猪苗代ノ地ニ遷宮坐シ也峯ヨリ遷セシ神ナルユヱ土人峯ノ明神ト云リソレヨリ其村落ヲ峯村ト云ヒ其山ヲモ峯山ト云フ其後領主松平保科正之卿字ヲ見禰ト替ヘ玉ヒ又後ニ正之卿ヲ此地ニマツリテ土津靈社ヲモ建玉ヘリト云ヘリ又或書ニ今猪苗代ト云フ處ニアリイハキト唱フ又峯ノ明神トモ云ヘリ又國人云モト磐梯ノ峯ナルユヱニ峯ノ明神トモ云フサテ磐梯山ハ(萬葉集)ニアヒヅ山トヨメル是也ト云ヘリ

斯波郡一座小

○信友云當郡ノ事(和名鈔)國郡考ニ云フ補[遺聞]ニ一右志波郡今志和と書は後に改し物ならん(日本逸史)延暦八年六月庚辰の條子波和賀僻在深奥また従ニ衣川ニ至ニ子波地ニまた弘仁二年正月丙午置ニ和我薭縫斯波三郡ニまた(續紀)寶字八年十二月辛卯志波村(東鑑)文治五年九月廿三日奥六郡とて伊澤和賀江利稗抜志波岩手とあり考ふるにもとより志波といふ所のありしを弘仁二年に郡とは定られしならんされどはやくよりその郡名すたれたりしにや延喜民部式に陸奥の郡名をあげし所にみえずたゞ神祇式に志波郡みえたりこは延喜の頃にはすたれたれば民部式には載られずしておほよそに伊澤郡などの中にこめて載られたるにやしかれども神祇式にみえたるは神祇の事は古きつたへの殘れるものにしあればならんか又文治の頃見えたるは武衡など古き郡名を起してよべるにや又(逸史)延暦廿二年二月癸巳志波城みゆ已上採要

志賀理和氣神社

交以レ手相抱長四寸八分三月廿五日祭禮社額曰奥州二宮正二位伊佐須美大明神勅ニ中山大納言ニ書レ之御正躰銘曰奥州二宮正一位伊佐須美大明神大同四年所レ禱今見在焉

蠶養國神社

[書紀]神代紀保食神云々自レ此始有ニ養蠶之道ニ[同]成務紀武養蠶命波多臣等祖○在ニ郭北ニ[聞老]社南有レ川曰ニ綿掛澤ニ○養蠶社在ニ城下市店ニ毎歳蠶事既畢分繭稱レ效レ功以獻レ神(延喜式)所レ謂蠶養國神社是也○正一位蠶養國大明神ト書タル額ヲウチタリ

小田郡一座 小

[聞老]按小田郡地乃牡鹿遠島是也後從ニ之牡鹿郡ニ其證見ニ于光俊陸奥山歌詞ニ皆是古之小田地也

黄金山神社

○金華山是也[本草和名]黄金キガネ[續紀]天平二十一年二月丁巳陸奥國始貢ニ黄金ニ四月庚午朔宣命曰云々東方陸奥國守從五位上百濟王敬福伊部内少田郡仁黄金在奏天獻此遠聞食驚伎悅備貴備念久波云々天平勝寶元年閏五月甲辰陸奥國出レ金山神主小田郡日下部深淵授ニ外少初位下ニ[聞老]牡鹿郡陸奥山今曰ニ之金華山ニ此地古小田郡稱ニ陸奥山ニ今屬ニ牡鹿郡ニ號ニ金華山ニ去ニ鮎川ニ東十餘町其山高峻突兀高八十丈島廻三十二里山形五峯繼山六十八區溪澗亦四十八谷山頂立ニ天女堂ニ有レ寺號曰ニ金華山大金寺ニ云々按云々(延喜式)所レ載黄金山神社是也然後世云々安ニ佛像ニ立ニ淫祠ニ永沒ニ古往神社社號ニ是皆浮圖役徒之輩所ニ以逞ニ其術ニ固其誕而惑レ世誣レ民之久臻レ此者也○又云天女堂在ニ山頂ニ云々不レ詳ニ何人建立ニ之也置ニ多門及不動像ニ釋文覺所藏也○又云神明神社在ニ天女堂南ニ云々藏ニ大般若一部ニ秀衡所ニ寄附ニ也堂以東峯頭有ニ愛宕村祠カニ○又云水晶輪塔白石英之所レ化高十有餘丈在ニ山半腹ニ往昔有レ雷擊而折ニ其半ニ沈ニ海底ニ去其形質六稜珍觀之奇物也舊說曰開闢之始三輪明神以ニ四椿ニ築レ之鍊ニ黄金ニ造ニ此巨島ニ天照大神正魂留主姫鎮座今所レ謂天女堂是也

耶麻郡一座 小イ

膽澤川神社（イサハガハノ）

［續後紀］承和八年江刺郡擬火領上毛野膽澤公毛人借授ニ外從五位下一

止止井神社（トトヰノ）

於呂閉志神社（オロヘシノ）

［姓氏］下家連彥八井耳命之後也［古事記］神八井耳命道奥石城國造之祖也

頭注 牡鹿郡拜幣志神社（オカヘシノ）

新田郡一座（ニヒタ）小

［聞老］按新田郡不レ詳ニ其地一賀美郡有下稱ニ新田一者三區上是古之新田地而分レ之爲ニ上中下三區一者也

子松神社（コマツノ）

○土佐國小松神社［聞老］（□□）云康平五年八月云々攻ニ小松柵一小松柵コレカ又遠田郡小松寺在ニ小松村一有レ寺號ニ秀島山小松寺一寺前湖水涵レ青松陰落レ翠水上浮ニ島嶼一曲隈疊ニ細鱗一絶景可レ玩トアリコレカ又云膽澤郡小松館在ニ衣川村一有ニ古壘趾一永承之役貞任叔父官照者所レ守也

磐瀬郡一座（イハセ）小

［三實］貞觀五年十二月十六日甲戌陸奥國磐瀬郡人正六位上勳九等古彌侯部豐野賜ニ姓陸奥磐瀬臣一其先天津彥根命之後也

桙衝神社（ホコツキノ）

［出雲風土記］須佐能男命衝桙等乎而留比古命○出雲國杵築神社［聞老］桙衝社正保五年白河城主從四位下松平式部大輔忠次再考［鷲峰文集］九十三但不レ云ニ神名一

會津郡二座（アヒヅ）大一座 小一座

伊佐須美神社（イサスミノ）（酒イ）名神大

○今在ニ高田村一［聞老］（會津風土記）伊佐須美大明神社在ニ高田村一今在ニ大沼郡一云々明神嶽一此神初現之地也欽明御宇移ニ于此一古來神殿有ニ伊弉諾伊弉冊尊立像ニ一木刻ニ二尊一人身鳥首長觜大耳兩頭相

駒（コマ）形（ガタ）神社

[文實]三十二左 仁壽元年九月庚午朔辛未進二陸奥國駒形神階一加二正五位下一[三實]貞觀四年六月十八日授二陸奥國正五位下駒形神從四位下一[聞老]栗駒山駒形神社土人曰二之神駒山一嶽岳峻嶮西跨二仙北一東蟠二奥州栗原磐井之高山一而根長澤桃園永德寺數村遠二山麓一也絶頂曰二大日嶽一其亞者曰二駒形一半腹有二叢祠一曰二神馬社一往古有二神馬一而常遊二山岳一死後瘞レ之峰頂立レ祠祭故稱二神馬嶽一（神名帳）所レ謂駒形神社是也其山極峻至二晩夏一宿雪猶不レ消其殘雪之狀自然爲二奔馬之勢一而如レ具二首尾一云々

和（ワ）我（ガ）叡（エ）登（ト）擧（コノ）神社

○若飯豐別命○安積郡飯豐和氣神社

補[舊蹟遺聞]二十一右 和我叡登擧神社はかならず和我郡によしある神なるべくおほゆれど延喜式和名鈔の比はこの郡名廢れたれば膽澤郡に屬したるにや又云和我郡は今花牧といふ所に和我川といふ有そのわたりをしかいへり續紀天平九四戊午逸史弘仁二正丙午同延暦八六庚辰東鑑文治五九廿三又同年十月八日等

石（イハ）手（テ）堰（ヰノ）神社

イハケテ

[三實]貞觀四年六月十五日壬子陸奥國鎭守府正六位上石手堰神預二官社一[聞老]磐手郡アリ同郡ニ磐手峰（名寄）（歌枕）作二磐提一在二寺田村一是乃和歌所レ詠磐手峯者是也岡丘關隘原野等古趾皆其邊之地也又云磐手山磐手岡盤手里盤手關盤手野又玉造郡盤手城此城舊名曰二岩手澤一大崎家臣氏家彈正者居館也云々後人稱二盤手山一號二岩手關一尿前關山擬二岩手岡一城上高山而爲二歌林名趾一然古歌所レ詠地在二南部領盤手郡一好事之徒所下以聊擬二其地一而稱上レ之也[拾芥抄]盤手郡補[大和物語]同帝平城狩いとかしこく好み給ひけりみちの國岩手の郡より奉れるみたか世になくかしこかりければになくおぼして御手鷹にし給ひけり[吾妻鏡]九 文治五九廿三 傳領奥六郡 伊澤江刺 和賀稗枝 志波岩手 [新古今集]雜下右大將賴朝「陸奥のいはてしのふはえそしらぬかきつくしてよつほのいしふみ[舊蹟遺聞]一ノ一右今岩鷲（ガンジユ）山といへるは岩手山なり云々 ○春村曰岩手郡ノ事ナホ同書ニクワシ往見 ○以上補

○近江國麻蘇多神社

多珂神社 名神大

［舊事紀］高木神［續紀］神護景雲三年陸奥國行方郡人大伴部三田等賜ニ姓大伴行方連一按大伴出レ自ニ高魂尊ニ［和鈔］多珂

押雄神社

栗原郡七座 大一座 小六座

［伊勢物語］栗原ノアネハノ松

表刀神社

○御刀表刀神下ニ云

志波姫神社 名神大

［三實］貞觀元年正月廿七日從五位上勳四等志波姫神從四位下○宮城郡志波彥神社［聞老］志波姫神社去ニ高泉驛一北三町餘有ニ一泓泉一傍有ニ叢祠一是古之志波姫神社也有ニ旱魃一則鄉俗禱レ雨而有レ應仍稱ニ之淸泉神社一○信友按ニ標葉郡ニ由アル歟

雄鋭神社

○信友云桃生郡ニ小鋭雄鋭行方郡御刀雄鋭ノ下ニ云

駒形根神社

和我神社

香取御兒神社

遠流志別石神社

○按石當レ作レ君［續紀］靈龜元年十月丁丑陸奥蝦夷第三等邑良志別君宇蘇彌奈等言親族死亡子孫數人常恐レ被ニ狄徒抄略一乎請於ニ香河村一造ニ建郡家一○信友按ニ邑ト遠ト音違ヘレドモ夷人ノ稱當時ノマヽニ記サレタリケン彼邑良志別君姓ノ祖神ナルベシ

膽澤郡七座 並小

磐神社

稱一者多其西南之氣仙沼驛是乃古商舶輻輳之津也云々又云本吉郡大島神社在ニ氣仙沼海上一周迴五六里白銀盤上一青螺也嗚洞東北二里餘上有ニ叢祠一土人謂ニ島明神一是古之大島明神也(延喜式)載ニ之牡鹿郡一今屬ニ之本吉一其山曰ニ龜峰一○牡鹿ハ桃生ノ誤カ又牡鹿郡ニモ大島ト計仙麻アリ[和鈔]氣仙郡ニ氣仙大島二郷アリ

小鋭神社（ヲトノ）

○栗原郡ニ雄鋭神社アリ

行方郡八座（ナメガタノ） 大一座 小七座

[聞老]按行方郡不レ詳ニ其地一或説以ニ小鶴地一爲ニ行方名趾一(和漢三才圖會)書亦載ニ于此郡中一然則此地乃古之行方郡今廢從ニ之宮城郡一者歟

高座神社（タカクラ）

○高倉下命

日祭神社（ヒマツリノ）

[書紀]敏達紀六年二月詔置ニ日祀部一

冠嶺神社（サカミネノ）

[姓氏]秦冠秦始皇帝四世孫法成王之後也[信達歌]鳥取越ハ古所レ謂冠小坂嶺也嶺下爲ニ鳥取村一在ニ桑折驛北里餘一亦見ニ東鑑一コレカ[　　]冠ハ冠小坂アレバ加牟利ト訓カ又今ノ小坂嶺也トアレバ佐加ト訓カ嶺ノ下ヲ爲ニ鳥取村一トアレバ鳥ニヨシアリテ冠嶺トハ云ナラムカ

補春村按ニ冠ヲサカト可レ訓コトハ治定ナリ[類聚名義抄]ウ部冐冠 上俗下正 音官 カウフリトサカ云々サカモ毛冠サカ[和名鈔]鳥冠菜ナド見エタリ

御刀神社（ミトノ）

○信友按(書紀)御刀ノ訓ミハカシ又按ニ當國御刀神社表刀御刀雄鋭御刀小鋭御刀アルヲオモヘバ刀トト云フ稱ナルニヤ考ベシ

鹿島御子神社（カシマミコノ）

益多嶺神社（マスタミネノ）

本）矢集久集比奈トアリテヤハズト假名ヲツケタリ（和名鈔）ニ天集郷アリヤツメトヨムベキニヤ

計仙麻神社

[三實]貞觀元年正月廿七日陸奥國正五位上勳四等計仙麻神從四位下[聞老]計仙麻今屬ニ本吉郡ニ誤ニ文字ヲ爲ニ氣仙沼ニ[同書]桃生郡氣仙麻大島神社ノ條見ルベシ

桃生郡六座 大一座 小五座

○信友云當郡社數ノ事白河郡ツヽコワケ社下續紀ノ文ヲ見ルベシ

飯野山神社

○今曰ニ飯野村ニ[聞老]飯野山神社在ニ飯野村ニ今其地未ㇾ詳

日高見神社

[三實]貞觀元年五月十八日授ニ陸奥國正五位上勳五等日高見神從四位下ニ[書紀]景行紀二十七年武内宿禰自ニ東國ニ還之奏言東夷之中有ニ日高見國ニ[聞老]日高見神社在ニ同村ニ相傳後冷泉帝治暦中義家朝臣東征之時所ㇾ建也按右神社（延喜式）所ㇾ載先ニ治暦ニ幾有五六十年蓋義家東行修覆後人不ㇾ察者乎

二俣神社

石神社

○近江國奥石神社[聞老]鹿石神祠在ニ牛網村ニ高一尺六寸長三尺其形勢如ニ伏鹿ニ郷人爲ㇾ神建ニ叢祠ニ祀ㇾ之徃昔有ニ神鹿牡牝ニ常相馴他日爲ニ獵師所ㇾ駆牡鹿沒衘得牝悲慕而死按（神名帳）所ㇾ載石神社蓋是乎（文實）仁壽二年八月辛未陸奥國石神授ニ從五位下ニ疑是指ニ此石神ニ歟

計仙麻大島神社 名神大

[三實]貞觀元年正月廿七日從五位下計仙麻大島神從五位上○今曰ニ大島村ニ[聞老]本吉郡氣仙計仙麻乃今氣仙沼地又云本吉郡釜前灣以ニ此地ニ稱ニ氣仙沼ニ焉（延喜式）（文德實錄）所ㇾ稱氣仙府是也後來移ㇾ郡失ㇾ地剰誤ニ其訓ニ易ニ其字ニ是以彌違故地謬ニ舊

香取伊豆乃御子神社

伊去波夜和氣命神社

[聞老]垂仁皇子池速別命アリ[精古考]古事記垂仁紀ニ伊許波夜和氣命アリ

曾波神社

○今在ニ南境村ニ[聞老]在ニ福田村ニ青山臨ニ深潭ニ來神河流遶レ山下嶺上有ニ蒼松千株ニ連ニ南北ニ是古曾波社趾也郷人徒傳ニ其名ニ而稱レ之

拜幣志神社 名神大

[三實]貞觀元年正月廿七日動五等拜幣志神從四位下[姓氏]林宿禰大伴宿禰同祖室屋大連公男御物宿禰後也又云日臣命七世孫室屋大連[續紀]天平勝寶五年六月丁丑陸奧國牡鹿郡人外正六位下丸子牛麻呂正七位上丸子豐島等二十四人賜ニ牡鹿連姓ニ又曰神護景雲二年十一月己丑陸奧國牡鹿郡人俘囚外少初位上勳七等大伴部押人言傳聞押人等本是紀伊國名草郡片岡里人也 昔者先祖大伴部直征レ夷之時到ニ小田郡高田村ニ而居焉云々[姓氏]仲丸子日臣命孫○百木云契冲ノ書入ニ拜ノ字ニオロト假名ツケタリ按ニ膽澤郡ニ於呂閉志神社アルニヨリテカク訓ルナルベシ舊訓ニヲカミヘシトアルハ論ナシ

鳥屋神社

○能登國能登郡鳥屋比古神社

鹿嶋御兒神社

[聞老]鹿島神社有ニ門脇日和山麓ニ(神名張)所レ載鹿嶋御兒神社是也郷人不レ知ニ舊社ニ

大嶋神社

[三實]貞觀五年十月廿九日陸奧國勳九等飯大島神授ニ從五位下ニ[聞老]桃生郡計仙麻大島神社ノ條ヲ見ルベシ○大島神社今属ニ之本吉郡ニ[和鈔]氣仙郡會津郡ニ大島アリ

久集比奈神社

[和鈔]矢集郷アリコノ久集モ矢集ナルニヤ(契冲

臣各因二居地一賜レ姓命レ氏斯乃古今所レ同百王不易也伏望因二居地名一蒙二賜住吉朝臣一勅綱主兄弟二人依レ請賜レ之［聞老］住吉舘岩城判官居城是也建二住吉神祠一是亦（延喜式）所レ記住吉神社也［磐名］在二城南二里半住吉村一祭神攝州住吉同例祭六月十三日今九月十三日有二流鏑馬神事一鐘樓懸二天文庚子鑄鐘一近歲冶容而新レ之

補［風土記］在二平城南二十里住吉村一相傳納二八幡大神所レ執鶴丸劍幷旗一爲二神體一以來稱二劍宮大明神一勤二二季祭禮一トアリ是レモ里程タガヘリ

鹿島（カシマノ）神社

［磐名］在二城南一里廿四丁上矢田村一祭神（三代實錄）所レ載常陸鹿島大神之苗裔神磐城郡十一社之一郎是也其餘鹿島小社雖レ在二諸村一今而難レ辨矣

補［風土記］稱德天皇景雲二年建立社北有二千本松樹一鹿島香取坂戶三神降二奥州鹽竈村一秣レ馬處故稱二草飼之千本松一

子鍬倉（コクハクラノ）神社

○尾張國海部郡諸鍬神社今在二諸桑村一○遠江國長上郡子倉神社［磐名］岩城城郭中平揚土稱二子鍬倉稲荷明神一

標葉（シハノ）郡一座 小

苕野（クサノノ）神社

○草野姫命［說文］苕草也

牡鹿（ヲジカノ）郡十座 大二座 小八座

零羊埼（ヒツジサキノ）神社 名神大

○零羊ヲジカト訓カ牡鹿郡ナレバ也［三實］貞觀元年正月廿七日勳六等零羊埼神從四位下［聞老］（延喜式）民部下云陸奥國零羊角四具零羊埼神社牧山乃古零羊埼地也後世佛氏熾昌所下以竊二社號一易二地名一失中舊蹤上者往々兪此地亦其一處也每年四九之月八之日爲レ祭時鄉黨大群集奉二神輿于海門水汀一其行神鉾二白幣二神職者各白衣騎馬云々修二祭禮于海濱一云々然土俗以爲二觀音祭祀一也佛而奚竣（疑カ）二神輿一備二幣帛一哉不レ知二往時祭祀之儀式一自然遺二其地一有二此設一

白和瀨神社

志太郡一座 小

[續紀]信太郡生玉五百匹

敷玉早御玉神社

[舊事紀]國造本紀敷桁彦命　志貴多奈彦命河内國志紀郡志貴縣主祖○仙臺領藩士松根氏知行所楡木村ニ在

磐城郡七座 並小

大國魂神社

[磐名]磐城名勝略記 磐城藩士鍋田舍人 在ニ城東一里六町菅波村ー祭神大物主神例祭二月初午

二俣神社

○桃生郡ニモアリ[磐名]在ニ城北一里五町下小川村ー祭神八幡宮同躰例祭四月八日(磐城志云)元祿十一年内藤藤原義孝寄附棟札今稱ニ川上八幡宮ー其地所生之松杉凡兩岐則社之名其豈徒哉

温泉神社

[磐名]在ニ城南一里廿八町湯本村ー例祭四月八日

補[岩城風土記]ニハ在ニ平城西南二十里湯本村ートアリサテハ三里二町ナリ

[聞老]佐波古御湯相馬領曰之湯本驛西南有ニ大嶽ー曰三箱山古之佐波古山是也云々其山下有ニ温泉ー是乃佐波古御湯也(延喜式)温泉神社是也[信達歌]熊坂磐谷當國人　鯖湖温泉在ニ信夫郡上飯坂村ー

佐麻久嶺神社

[磐名]在ニ城巽二十餘町中山村ー祭神五十猛命例祭四月八日○百木按ニ佐波古ハ佐麻久ノ誤也佐波古山アレバ佐麻久嶺神社ハ其山ノ嶺ニアルベシ

住吉神社

[姓氏]住吉朝臣上毛野同祖豐城入彦命五世孫多奇波世君之後也[續紀]延暦十年四月乙未近衞將監從五位下兼常陸大掾池原公綱主等言池原上毛野二氏之先出レ自ニ豐城入彦命ー其入彦命子孫東國六腹朝

逢隈以南小山小堤兩村曰ニ鹿島村一宮社南面（神名帳）稱ニ鹿島一者三社未レ知ニ何神一也社東有ニ大悲閣一郷人曰ニ關觀音一往時得ニ之白河關山一而安ニ于關山一神都々古和氣也豈夫然邪

安福河伯神社（アフカハノ）

［三實］貞觀五年十月廿九日陸奧國勳十等阿福麻水（カハノ）神從五位下［開老］阿武隈河此河源出ニ于野州奈須嶽一濫ニ觴于嶽麓瀑布一稱中有ニ老熊一年々産レ子必飲ニ瀑布一而安故稱レ之曰ニ生態理村一落尾山田澤岩取南長谷數所遇ニ同郡荒濱一而入ニ于海一云々又云阿福麻水神社（延喜式）作ニ安福河伯一（歌枕名寄）（類字）（松葉）（藻鹽草）等作ニ阿武隈河一（八雲御抄）作ニ合曲川一他書或作ニ逢隈川一今從ニ（三實）一在ニ阿武隈川渡一南田澤村中有ニ小社一曰ニ之阿武隈明神一是（神名帳）所謂安福阿伯神社也云々○信友云阿伯ハ（和鈔）ニ河伯一名曰ニ水伯一河之神也和名加波乃加美萬葉十七ニ乎賀美河伯トモ書リコハ河伯ノ音ノ河トタマ〳〵同ジキヲ戯レ書ニセル也今ノ唱アブクマ（蜻蛉日記）追加はらからのみちのくにのかみにてくだるを長雨しける比そのくだる日はれたりければ」かのくにゝかはくといふ神ありへコレハ加筆ナリ）「わかくにの神のまもりやそへりけんかはく河伯ニ乾ヲ兼け有しあまつそら哉」兄長能かへし「けふそしるかはくときけは君かためあまてる神の名にこそはあれ」ニハアラズ大御神ノ事

鹿島天足和氣神社（カシマアマタリワケノ）

信夫郡五座（シノブノ）大一座小四座

鹿島神社（カシマ）

［續紀］延暦元年五月壬寅陸奧國言祈ニ禱鹿島神一討ニ撥凶賊一神驗非レ虚望賽ニ位封一勅奉レ授ニ勳五等封二戸一

黑沼神社（クロヌマノ）

東屋沼神社（アヅマヤノヌマノ）名神大

○臨時祭式ニモ沼トアリ補下條安達嶺飯津賣神ノ補書併見ルベシ。

東屋國神社（アヅマヤクニノ）

○信友云東屋固（アツマヤコノ）神社（色葉字類抄）モ如レ此

森村ニ(神名帳)賀美石神社是也

色麻郡一座大

[聞老]按色麻郡不レ詳ニ其地ー加美郡有下稱ニ四竈ー者上是古之色麻地而云々

伊達神社名神大

○播磨國餝磨郡射楯兵主神社[聞老]伊達郡下紐關在ニ貝田驛西南國見山下ー往古有ニ關門ー鄉人曰ニ之伊達大木戸ーコレカ○伊達郡(和名鈔)及拾芥抄ニナシ(環翠軒節用集)ニ見エ

玉造郡三座並小

温泉神社

[續後紀]承和十年奉レ授ニ无位玉造温泉神社從五位下ー○出雲國意宇郡玉作湯神社[聞老]啼兒温泉鄉俗作ニ鳴子ー非也須レ考ニ之事實ー在ニ啼子村ー自ニ岩畔ー出克治レ疾某下亦有ニ温泉ー此地也相傳往昔義經北行夫人開ニ胎于龜毀坂ー仍辨慶養ニ之笈中ー來ニ於此地ー始出ニ呱々聲ー故後人號ニ啼兒温泉ー在ニ其地ー神名帳所レ謂温泉神社是也

荒雄河神社

[聞老]荒雄神社稱ニ荒雄嶽ー山中有ニ温泉ー

温泉石神社

○今在ニ鳴子村ー有ニ靈石ニ[續後紀]承和四年四月陸奧國言玉造塞温泉石神雷響振晝夜不レ止温泉流河其色如レ漿加以ニ燒石ー各塞石崩折更作ニ新沼ー沸聲如レ雷如レ此奇怪不レ可ニ勝計ー仍仰ニ國司ー鎮ニ謝災異ー教ニ誘夷狄ー[三實]貞觀五年十月廿九日温泉神從五位下[聞老]石神山在ニ大日村ー其地川度訓カハタヒ有ニ温泉ー所レ謂温泉石神社是也

亘理郡四座並小

鹿島伊都乃比氣神社

[聞老]鄉說北山村

鹿島緒名太神社

[聞老]鄉說在ニ鹿島村ー號ニ鹿島明神ー○鹿島神社近

東宮兩社ニ共鹽釜末社也云々

多賀神社

[和鈔]多賀[聞老]多賀神祠舊在ニ多賀城址中ニ○又云多賀城在ニ市川村南ニ在ニ往昔城壘古址ニ上有ニ多賀神祠ニ云々○又云(延喜式)所謂多賀神社無ニ所見ニ今鹽釜社在ニ多賀國府ニ是三社神大降ニ于此國祠之國府ニ故號ニ多賀神社ニ按此說不レ曉云々

黒川郡四座 並小

須伎神社

○信友云由支須支ノ事行神社ノ下ニ云

石神山精神社

[續紀]延曆九年十一月丁亥陸奥國黒川郡石神山精神並爲ニ官社ニ[文實]仁壽二年八月辛未陸奥國石神授ニ從五位下ニ○[中庸]山ノ卷石之多[大戴禮]云陽氣爲レ精補山精ノ訓筑後國御原郡御勢云々下可ニ併考ニ

鹿島天足別神社

○亘理郡ニモアリ○信友云(三實)十二六丁鹿島大神苗裔神三十八社在ニ陸奥國ニ云々コノ下ニ鹿島云々ノ神社トアルモ多ク其餘ニモ由緣アル神ニ見エタリ 全文初丁ノ右ニアリ

行神社

○百木按ニ行ハ伴ノ誤寫カ神護景雲三年三月陸奥國黒川郡人云々靫大伴部弟融等八人賜ニ姓靫大伴連ニ又承和十一年十一月陸奥國黒川郡云々靫大伴連黒成云々トアリ又思フニ行ハ由支ニテ靫ノ借字ニヤアラム又須伎神社アレバ行ハ由支須支ノ義カ

加美郡二座 並小

飯豐神社

[和鈔]宇多郡飯豐[聞老]石神社在ニ小野田本郷ニ有ニ巨石ニ長五尺濶四尺方三間神名帳所レ謂飯豐神社是也鄕人誤爲ニ飯鳥屋神社ニ

賀美石神社

○神石歟○今在ニ谷地森村ニ[聞老]石神社在ニ谷地

［聞老］白山神祠在二善逝堂東林中一云々或曰此所非レ祭二白山一焉往時祭二志波彥神一之地也後人不レ察令三鄕俗失二神號一焉夫志波彥神者宮城之大社所二以國主重一レ之州人崇レ之也考二之古書一源重之奥州刺史有下三月赴二任國一之祭祀上而遇レ雪之歌見二于本集小鶴詠一想夫刺史當三必關二其大社之祭禮一職也因レ茲以冒レ雪而往是乃祭二其神一之證也矧又如今鄕老傳二神號一稱焉白山乃波多彥神社也是誤二其文字一併失二其神名一者是亦其證也云々（又云）冠川神社址在二岩切川北一鄕俗曰二之志波道上一宮社說曰（延喜式）所レ謂志波彥神社者乃指二鹽釜一焉志波志保訓相通云云冠川者今呼二岩切川一者是也云々緣起說曰社家及里俗相傳岐神（乃鹽釜神也）先降二于冠川上一因先立レ祠曰二神降明神一而爲二鹽釜末社一依後曰二冠川明神一冠者首也擬二其元初之義一且夫神降冠其訓亦相同或曰志波彥乃所レ祭二于木下一者也鄕俗是亦誤レ傳曰二白山一詳二于前條一也（又云）冠川神社當二多賀國府城乾一去レ城四十町許今此所曰二岩切邑一川曰二岩切川一社傍有二志波道上社一（又云）鹽釜末社多一曰青木云々凡九區又曰一曰只洲云々五曰冠川（岩切村）云々十二曰鼻節（花淵）云々凡十五區倶末社也（又云）鹽竈神社去二多賀址一十八町餘在二鹽竈村一云々或曰（延喜式）所レ謂志波彥神社是也志波志保訓相通云々又云（類聚國史）十六（神階部）嵯峨天皇弘仁三年壬辰七月十日陸奥宮城郡鹽釜神社授二從二位一又百卅七（畿内奉勅宮社部）舒明天皇四年七月陸奥國宮城郡鹽釜神社奉二勅使一（損膽頁隅）奉二錦綿布蠶繭等一（又云）鹽竈社去二本社一南二町餘在二市店後一（宗久紀行）云日暮ル程ニ鹽釜ノ浦ニ行ツキタリ神體ハヤガテ鹽竈ニテ渡ラセ玉フ云々○百木按ニ鹽釜神社ト鹽釜社トハ別也又（殘編風土記）ニ志波彥神社ト鹽釜神社ト別ニ擧タリ可レ考

鼻節（ハナフシノ）神社（名神大）

［續後紀］承和十一年奉レ授二陸奥國无位鼻節神從五位下一緣レ有二靈驗一也○今鼻節濱沖三十里許有二島禰大根明神一無二神殿一是乎［聞老］鄕老說鹽釜末社者多一曰青木云々四曰鼻節（去二本社東一五六里在二花淵濱一）五曰石根（去二花淵一五里在レ海云）云々凡九區○又云鼻節神社離島以東阻二海上一二里餘嶺上有二神祠一鄕俗曰二花潭神社一其山下曰二花潭濱一當本社東南樹林森々祠西則有二吉田

帝時建レ之（神名帳）所謂苅田嶺神社者非ニ不忌山神ニ實此宮社也云々吉川氏所レ記宮社縁起曰所レ祭白鳥明神乃日本武尊也云々卿黨相傳此神乃用明帝之后妃薨化ニ白鳥ニ土人建レ祠祀レ之水旱疾疫必祈而有レ驗神道家說曰刈田宮乃所レ祭ニ用明帝之后妃ニ也（又云）古將堂破鐙坂東有ニ一堂ニ置ニ二女像ニ身著ニ戎衣服ニ頭戴ニ烏帽子ニ右方執ニ弓矢ニ左方撫ニ刀劍ニ相傳所レ祭田村麻呂鈴鹿神女也云々鄉俗曰山頭有ニ叢祠ニ乃所レ祭ニ刈田麻呂ニ也刈田麻呂乃稱德帝寶龜元年九月乙亥任ニ陸奧鎭守將軍ニ仍慕ニ其勇壯ニ建レ祠以祀レ之如今所レ祭二女佐藤次信忠信之婦也俱孝ニ順于舅姑ニ云々後人云々建ニ二女廳ニ以爲ニ刈田丸脇護神ニ迺其影也［和鈔］那田〇信友按ニ那田トアルハ刈田ノ誤也苅ノ字ハ漢籍ニ見當ラズ刈ハアリ

名取（ナトリノ）郡二座 並小

多加（タカノ）神社

佐具叡（サクエノ）神社

［三實］八刑部首夏繼出レ自ニ彥坐命ニ［又］廿六陸奧國名取郡大領刑坂宿禰本繼［閑老］多加又佐具叡按兩社今失ニ其地ニ焉元祿元年戊辰依レ命巡ニ行于名取郡ニ而問ニ勝迹ニ笠島村中有ニ民家ニ曰ニ之北野ニ宅有ニ小祠ニ曰ニ實方墓ニ或曰作衞臣是乃誤往時佐具叡神址也鄉人誤ニ其音ニ且以爲ニ昔人墓ニ也今荒廢州人渾無ニ知レ之者ニ

宮城（ミヤギノ）郡四座 大二座 小二座

伊豆佐賣（イヅサヒメノ）神社

［文實］仁壽二年八月乙未朔辛未陸奧國伊豆佐咩神加ニ正五位下ニ〇信友云出羽國田川郡ニ由豆佐賣神社コレヲ（三實）ニハ由豆佐乃賣ト乃ノ字アリ同神ト聞ユレバコヽモ乃ノ字ヲソヘテ稱フベキニヤ

志波彥（シハヒコノ）神社 名神大

［三實］貞觀元年正月廿七日正五位下動四等志波彥神從四位下〇栗原郡有ニ志波姬神社ニ今曰ニ松島明神ニ或曰ニ紫明神ニ此乎［　］松島明神在ニ高城驛西樹林中ニ鄉黨曰ニ之紫明神ニ云々此神祠爲ニ松島地主ニ

石都都古和氣神社(イハツツコワケノ)

○當郡ツ、コワケ神社アリ

苅田郡(カリタノ)一座大

[和鈔]那田トアルハ苅田ノ誤也苅ノ字ハ漢籍ニ見當ラズ刈ハアリ

苅田嶺(カムタミネノ)神社名神大

[續後紀]承和十一年奉レ授ニ陸奥國无位勳九等苅田嶺神從五位下一縁レ有ニ靈驗一同十五年五月奉レ授ニ陸奥國從五位下勳九等苅田嶺名神正五位下一餘如レ故[三實]貞觀十一年十二月八日授ニ陸奥國正六位上勳九等苅田嶺神從四(正五カ)位下(上カ)一同年同月廿五日授ニ陸奥國正五位上勳九等苅田嶺神從四位下ニ[續紀]寶龜元年九月乙亥正四位下坂上大忌寸苅田麻呂爲ニ陸奥鎭守將軍ニ[聞老]苅田郡(續日本紀)作ニ苅字一蓋字之誤也當レ作レ刈(東史)或作ニ葛田一(又云)不忘(ワスレズノ)山土人呼曰ニ藏王嶽一以ニ山上有ニ藏王權現神祠一也迺(神名帳)所レ謂苅田嶺神社是也山下有レ寺曰ニ金峯山藏王寺一云々是乃邦内大嶽云々寛永元年晝夜鳴動而不レ熄燄赫殊甚云々又寛文九年復焦炎尤甚降灰及ニ刈田柴田名取數郡一而頗害レ稼妨レ農云云峻岳以ニ東萱峠山路一謂ニ之一鳥居一又荒澤山前有ニ二喬松一謂ニ之鳥井松一土人稱ニ夏四月八日一謂ニ之開扉(トビラキ)一以ニ山頂雪解道路始開不レ妨ニ登山之行客一而喜レ之冬十月八日謂ニ之鎖扉(トヂ)一以ニ岳麓雪稍深道路頗難登山之行客鮮少ニ而憂レ之斯日也鄕黨設ニ蒸飯一置ニ濁酒ニ而賀ニ其時一修ニ其祭事一云(六帖)に「みちのくのあふくま川のあなたにそ人忘れすの山はさかしき」(宗久紀行)に白河の關を過て廿日餘に成しに廣き河のほとりに至ぬ是なむあぶくま川也けり云々水上遠く見渡せば重なる山のうちに煙の立上る處ありしを舟子どもに問侍りしかば元弘の世の亂に鎌倉の亡びしより此煙立そめて今に絕ぬ也と語りしより甚不思議なりし(又云)湯刈田(山北有ニ温泉一)山岳尤峻巇荒栗大森大刈田甘塚諸山相並其北有ニ温泉一能治ニ瘡毒癩病等一仍謂ニ之湯刈田一(又云)刈田神社鄕人謂ニ之刈田宮社一去ニ宮驛一北巳(ヒカ)二町餘宮社乃南面有レ寺曰ニ寶地山蓮藏寺一相傳五十一代平城

之彊ニ建ニ兩社ニ以爲ニ關山神ニ焉關ハ白河關也○當郡石ツツコワケ神社アリ○白川郡棚倉ノ南一里ニ八槻村ニ此神社アリ味鉏高彥根神ニ日本武尊ヲ相殿トス社預修驗大善院舊記ニ(當國風土記)八槻鄉ノ文ヲ載テ八槻ト稱フ由緣又日本武尊土蜘蛛退治ノ事アリ以上棚倉藩士岡部東平説也(風土記)ノ文ハ(逸風土記)ニ收ム

伊波止和氣神社

[續後紀]承和十年奉レ授ニ陸奥國從五位下多允都神正五位下勳四等石波止和氣神從五位下ニ[姓氏]大伴宿禰云々雄略天皇御世以ニ天靱負ニ賜ニ大連公ニ奏曰衞ニ開闔ニ之務於レ職已重若ニ一身ニ難レ堪云々是大伴佐伯二氏掌ニ左右開闔ニ之緣也[續紀]神護景雲三年陸奥國白河郡人外正七位下靱大伴部繼人等八人靱大伴連[東鑑]文治五年七月廿九日丁亥越ニ白河關ニ給關明神御奉幣(此泰衡征伐之時也)

白河神社

[舊事紀]白河國造天由都彥命十一世鹽伊乃已自直定給[和鈔]白河

八溝嶺神社

[續後紀]承和三年正月乙丑詔奉レ充ニ陸奥國白河郡從五位下勳十等八溝黃金神封戸二烟ニ以下應ニ國司之禱ニ令レ採ニ得砂金ニ其數倍レ常能助中遣唐之資上也○今爲ニ常陸國ニ○今八溝山ニヤミゾ明神アリト佐藤忠滿云ヘリ

飯豐比賣神社

[聞老]顯宗姉有ニ飯豐皇女ニ然是時皇化未レ及ニ東奥ニ○忠滿云白河郡イヒトヨ村アリ又會津ニ飯豐山アリ國中ノ大山ニテ出羽越後カケテ三國ニマタガレリ四時雪タエズ山上ニ社アリ飯豐權現ト云フ飯豐國俗イヒデト呼白河郡ナルハ此社ヲ後ニ此處ニモマツレルナルベシ

永倉神社

[文實]齊衡二年二月癸丑以ニ陸奥國永倉神ニ列ニ於官社ニ○信濃國長倉神社

神名帳考證　廿八

延喜式卷第十之七　東山道第七

陸奥國一百座

大十五座
小八十五座

○當國ニ常陸國鹿島大神苗裔神三十八社アリ[三實]貞觀八年正月廿日丁酉常陸國鹿島神宮司言大神之苗裔神三十八社在ニ陸奥國ニ菊多郡一磐城郡十一標葉郡二行方郡一宇多郡七伊具郡一亘理郡二宮城郡三黒河郡一色麻郡三志太郡一小田郡四牡鹿郡一聞ニ之古老ニ云延暦以往割ニ大神封物ニ奉ニ幣彼諸神社ニ弘仁而還絶而不レ奉由レ是諸神爲レ祟物恠寔繁嘉祥元年請ニ當國ニ移レ牒奉レ幣向レ彼而陸奥國稱レ無ニ舊例ニ不レ聽レ入レ關宮司等於ニ關外河邊ニ祓ニ弃幣物ニ而歸自後神祟不レ止境内旱疫望請下ニ知彼國ニ聽レ出ニ入關ニ奉ニ幣諸社ニ以解ニ神怒ニ其幣斷用ニ大神封物ニ○信友按ニ件ノ三十八社ハ式外モアリト見ユ考合スベシ延暦元年五月陸奥國鹿島社ニ勳五等封二戸授ラレタル事(續紀)ニ見ユ又(曾丹集)ニ鹿島ナル會隅川(アフクマ)トヨメル歌アリ(常陸風土記)行方郡ニモ香島神子之社アリ

白河郡(シラカハノ)七座 大一座 小六座

都都古和氣神社(ツツコワケノ) 名神大

[續紀]廿六 寶龜十一年十二月丁巳陸奥鎮守副將軍從五位上百濟王俊哲等言己等爲レ賊被レ圍兵疲矢盡而祈ニ桃生白河・(郡イ)等神一十一社(ニイ)ニ(信友按ニ式二郡合十三社アリ合ハズ此後兩郡ノ内二社幣社トナサレタルナリ)乃得レ潰レ圍自レ非ニ神力ニ何存ニ軍士ニ請預ニ幣社ニ許レ之[續後紀]承和八年正月癸巳奉レ授下坐ニ陸奥國ニ白河郡勳十等都都古和氣神從五位下上餘如レ故同三月癸巳奉レ授ニ(イ无)陸奥國白河郡勳十等都都古和氣神從五位下ニ餘如レ故(按三月之三正之誤位下之下上之誤乎)[聞老](奧羽觀迹聞老志 享保四年仙臺藩士佐久間氏源義和號ニ洞巖ニ全廿卷)關山明神乃都都古和氣神社是也往時關山去ニ今新宮ニ東可ニ三里ニ松杉欝々峙ニ于白河城外驛口ニ今社地在ニ白坂奥野

下○中里氏云都賀郡賀園村アリ猶可レ考

補守弘曰尾鑿權現ノ山麓ナル久賀村ノ隣ニ加園村アリト久賀村ノ御師湯澤眞龍云ヘリ尾サク權現ハ都賀郡ナリ山ノ半腹ニ岩窟二ケ所アリテ共ニ神祠アリ南麓粟野村ニ神主齋藤壹岐ト云フアリ東麓久賀村ニ御師湯澤豐後同藤大夫同新大夫同權大夫荒井靱負等五人アリ粟野村ニテハ尾鑿山トカキ久賀口ニテハ石裂山トカキテ何レモヲザクトヨメリ又曰都賀郡大橋村ニ綾津日八幡宮アリ祭神大綾 日神 相殿八幡宮祭禮十一月十五日

綾都比神

［三實］元慶三年三月九日授ニ下野國正六位上綾都北神從五位下一

宇豆社

［永萬記］

香取社

［永萬記］

補野木宮

附考卷一五十九右載レ之

餘一資隆寄附ス

三和神社

［式社考］三輪村ニアリ中里氏説同大己貴命［和鈔］三和［續後紀］承和五年九月辛酉下野國那須郡三和神預ニ之官社ニ［三實］元慶四年八月廿九日授ニ從五位下三和神正五位上ニ仁和元年二月十日授ニ正五位上三和神從四位下ニ

補守弘曰別當明寶寺ハ當山修驗小森氏ナリ

寒川郡二座並小

［萬葉］寒川郡上丁川上臣老○川上首火明命後也

阿房神社

［式社考］粟野宮村ニ在中里氏説同天太玉命

補守弘曰此地ハ小山朝政ノ時ヨリ都賀郡ニ屬ケリ當社南面ニテ向拜柱ニ二巴ノ紋ツケタルハ小山家再建ナレバナリ神主小野寺伊勢除地八反歩アリテ位田ト稱ス祭禮九月九日十一月亥日ト巳日ナリ

胷形神社

胸イ

［式社考］寒川村ニ在市杵島姫命田心姫命湍津姫命○中里氏云當郡網戸村ニモ胷形神社アリテ思川ト云フ川傍ニ坐リ思川ハモト田心川ニテ田心姫ノ御名ニ由リテ胷形三女神ノ御社モ此地ニ坐セル也サテ田心ノ二字ヲ一字トシテイツノ程ヨリ歟思川ト云ヒナラヘル也此地ノ社式内ニテ寒川村ナルハ式内ナル社ニアラズトゾ

補守弘曰胷形社別當醫王寺眞言宗祭禮六月十九日九月十九日

式外舊社

伊門神

［三實］貞觀十七年十二月廿七日下野國從五位下伊門神從五位上

賀蘇山神

［三實］元慶二年九月十六日下野國賀蘇山神從五位

トコロモアリサテ祭神ハ日本武尊ナルベシ建部ハ同尊ノ御名代ニテ諸國ニアリ其所由ハ書紀出雲風土記等ニミエタリ

温泉神社

[式社考]湯本村ニアリ中里氏説同シ大己貴命 少名彦命也[三實]貞観五年十月七日授ニ下野國從 五位上勳五等温泉神從四位下ニ○同十一年二月廿八日授ニ從四位下勳五等温泉神從四位上ニ[平家物語]那須宗隆曰那須温泉大明神○當社神寶那須資隆所レ納琵琶一面アリ裏面ノ鐫銘曰

高尾温泉□社寶我先君遺愛
琵琶一面納以□祈武運名誉
元暦□歳七月ロ　資隆

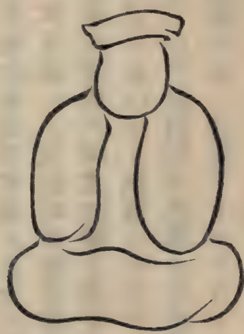
トアリ此神社ノ在地ヲ高尾ト云ヘリシニヤ今宇都宮大明神ノ末社ニ高雄明神アリ[下野國黒羽温泉大宮神鏡銘]下毛野國那須郡温泉大神命長尾市修祭之後凡九百六十餘年治ニ百病ー成ニ五穀ー古祠也悳及ニ四海ー名達ニ九天ー故貞観十一年己丑春二月廿八日丙辰進ニ從四下（本ノマヽ）下勳五等ー加ニ從四位上ー以祈レ弭ニ災病ー使ニ國司郡領等ー奉レ鑄ニ鏡三圓ー於大宮上右社司小泉甲斐守斐ガ寫シタルヲ文政十三年秋衣關内膳黒羽遊歴ノ時寫シ來レル也此社モト那須郡温泉神社ヨリ勧請ス那須郡ハ邊境ナルガ故也故ニ神寶モ多ク黒羽ナル社ヘウツシ藏メタリト斐ガ語レリトゾ○信友按右鏡銘貞観ノ比ノ文ニ非ズ甚拙劣也後世鑄造ノ物ナル事決シ那須郡ナル本社ヨリ尊カラント巧メルワザナルベシ

[補]守弘曰社領廿石領主ヨリ寄附アリ神主室井近江ト云フ神寶九股大鹿角アリ心越禪師詩云曩時麋鹿沐ニ斯湯ー故爾明神姓字揚雖レ奈頓遭ニ獵人手ー、今存ニ兩角ー廟中藏曾我物語巻三ナスノ御狩條云建久四年四月二日右大將頼朝卿那須野ヲ狩ラセテ上覧アリケルニ抜群ノ大鹿一頭出ケルヲ下河邊六郎行秀ニ仰セテ射サセケルニ射ハヅシケレバ小山左衛門尉朝政追カケテ射トメタリトアリサレバ此ツノハソレナルベシ又鏑矢一雙那須

ル時忍ビニヨク拜見タリトテ語リ圖ヲモ書テ見セタル也文政五年七月記也○國人云茂木ハ眞岡ノ東北五里許ナリ

補守弘曰荒樫神社鎭座祭神詳ナラズ今大前神社ノ相殿ニ祀リテ大名持命男事代主命ナリト云又同郡茂木鄉小井戸村ノ高藤權現ヲ近來荒樫神社ト稱シテ茂木牛頭天王ノ神主小松某兼帶ス祭神ハ國之常立尊國狹槌尊豐斟渟尊ノ三神ト云ヘド其證ヲシラズサテ大前神主忠寛曰小井戸村ノ神社ハ三代實錄ノ伊門神ニハアラザル歟又同郡八木岡村ニモ今荒樫明神ト云フ小祠アリサレド是ハ康永二年八木岡伊織宇都宮ヲ遷ストアレバ論ナシ○春村曰小井戸村ナルハ則伊門神ニテソレスナハチ荒樫神社ナルベク思ハル大前相殿ノ說ハトルニタラズ

芳賀郡茂木小井戸邑荒樫神社木像居丈壹尺五寸ホド



文政五年七月宇津宮上野宮住寫之

那須郡三座小並

健武山神社

[式社考]武部村ニアリスサノチノ尊○中里氏云タケフ山ニ坐タケフ明神○信友按[和鈔]茂武トアルハ字ヲ乙セル也[續後紀]承和二年二月戊戌下野國武茂神奉レ授二從五位下一此神坐下採二沙金一之山上○對馬國上縣郡那須加美乃金子神[萬葉]廿那須郡上丁大伴部廣成

補守弘曰近鄉ヲ武茂庄ト稱ス神主ハ芳賀右兵衛佐ト云沙金ヲ堀シ趾今モアリ近邊ニ金洗澤ト云

子午日ヨリ九月上子午日マデ魚鳥其外百味ノ供物ヲサヽゲ祝部等格番ニ物忌シテ祀ル是ヲ大頭ト云マタ八月下子午日ヨリ十月十五日マデ同ク物忌シテ供物ヲサヽゲ紅白ノ御衣ヲ奉ル是ヲ小頭ト云フ又正月二日十二月二日兩度ノ神事アリ是ヲ足屋(ダリヤ)ト云フ其日ハ國中スベテ男女トモ家業ヲヤスミテ愼ミマツルモトモ社參群集ハ云フモサラナリ○春村曰ナホ守弘ガ妄説ナリ事ナガケレバ附考巻一ニ載ス

芳賀(ハガノ)郡二座 並小

大前(オホサキ)神社

[式社考]大前村ニアリ 中里氏説同 大己貴○國人云眞岡ノ東北八町許ニアリ

補守弘曰芳賀郡眞岡東八町許東郷大前ニアリ主田八石別當神宮寺神主風野筑前守但神宮寺ハ天台宗眞岡大前山般若寺末般若寺ハ大別當ト號シテ主神ノ上席ナリ祭禮九月十九日廿日ニテ頭ト稱ス古クハ猪鹿ノ頭ヲ供シケンヲ中頃ヨリ般若寺進退シテ大般若經ヲ轉讀スレバ芋頭ヲモテ頭ニカフ祭神ハ大名持命ニテ今ハ大前權現ト稱シテ大内庄三十郷ノ鎭守ナリ宋版大般若經六百巻アリ毎巻末ニ明德三年壬申十一月六日下野州大内庄大前權現社頭奉寄置願主集人佐大江宣村トアリ又平家物語古寫本十二巻毎巻末ニ天正十六年戊子八月奉納芳賀伊賀守清原高繼トアリ又太刀一口アリ高繼ガ先祖左兵衛入道禪可ノ奉納ト云フ長三尺許无銘ナリ又古キ大黑天ノ木像アリ

○春村曰コノ木像ハ附考巻一ニ載ス

荒樫(アラカシ)神社

[式社考]茂木(モテギ)小井戸村ニアリ 中里氏説同 國サッチ國常立豊クムヌ○宮住 國人上野氏字久左衛門 云神躰一軀一尺バカリナル座像也木ニテ坐ス面目又衣服ノサマナドモイタク古ビテ見エズト云ヘリ又云此神社ノ同村ニ牛頭天王社アリテ荒樫神社ノ神主相兼テ司ドリケルガ荒樫神社ハイタク衰ヘ玉ヒ祇園ハサハアリ衰ヘザリツルヲ領主ニ申テ祇園社ヲ再興シ此荒樫神社ノ神躰ヲモ祇園社ノ方ヘ持行テウツシオケリ宮住サキニ彼本社ノイタク荒レ玉ヒテ正殿ノ破レ居タ

一等「神社考」日光山神崇神天皇之子豐城入彥命也天皇以二豐城入彥命一令レ治二東國一是上毛野君下毛野君之祖也「羅山集」卅七有二二荒山神傳一甚詳悉「性靈集便豪」コレハ今ノ日光ノ事ナイヘルニテコヽニ用ナシ　補陀落山本名二二荒山一祭三大己貴與二健御名方一爲二本宮新宮一皆荒神故名一說春秋二時有二大風雨一故名二二荒一後改二日光一者吳音相近也亦名二補陀落一者倭語相近也「式社考」河内郡宇津宮ニアリ大己貴命ニ八重事代主健御名方命ヲ合セ祭ル則奥州道ノ宇津宮大明神也日光大明神トモ云此社舊日光山ノ内白峯山ニ在上野國界ナリ豐城入彥命勸請也神護景雲年中今ノ地ヘ遷座也攝社下ノ宮ハアヂスキタカヒコネノ神ヲ祭ルサテ此本社ノ祭事古風ナル事多シ正一位勳一等日光山大明神ト額アリ○明神ノ祝中里屋ヤ祝ハフリ藤原詮篤ヨシノリ話文政四年三月廿九日來リ訪○慶長十年乙丑七月家康公御建立内陣ノ葱ホウシニ下野國河内郡宇津宮大明神御建立　征夷大將軍源家康慶長十年乙巳七月吉日奥平大膳大夫伊奈備前守大膳代山崎半兵衛備前代石川吉兵衛御大工長谷川源兵衛吉久トリア　家康公會津御發向ノ路次石田反逆ノ告ヲ聞召タル時秀忠公宇津宮ニテ當社ヘ調伏ノ御祈願アリ御勝利後千五百石ノ御墨印ヲ奉ラレ今ニ相傳コレハ神君神社ヘ社領ヲ上ラレタル最第一也ト奥御右筆某モイヘリ以上同中里氏ノ話也

補守弘曰社領千五百石ノウチ神主中里市正百石社家中里兵庫八十石同中里主水四十石同飯田祝師六十石同飯田白祝三十石同古島内藏三十石供僧本宮寺神樂寺天台宗並二十五石同大日院不動院淨心院金照院等十五石ヅヽ是ハミナ眞言宗ナリ其餘神人十八人神子六人伶人六人神樂男四人大工棟梁雜仕檜物師土器師田樂時守小役人等ミナ配當アリ神寶人麻呂朝臣ノ畫像土佐光信筆一說宅間榮賀ト云但シ安永二年三月七日社頭炎上ノ時寶物殘ラズ燒亡シテ今ハ秀衡朝臣寄附ノ甲ノ鉢ノミ存在ス祭禮九月十日流鏑馬同十一日神輿渡御諸町ヨリ練物マタ舞狂言等イヅ又正月元日眞鴫三ツガヒ小鴨廿一羽雉子廿一羽熨斗鮑廿一把餅九結其外鹽鮭串鮑神酒等ヲ供ス神主以下祝詞ヲヨミ樂ヲ奏ス供僧ハ廻廊ニ列座シテ讀經ス二月朔日マタ同ジ三月十五日兒舜アリ供僧等執行ス是ヲ花ノ會ト稱ス春村曰コレハ兒延年ト云テ諸社ニアル舞ナリ　七月下

一說ニハ同郡太平山ノ神ト云ヘリ（附卷一五十九右見アハスベシ）

大前(オホサキノ)神社

［式社考］大前村ニアリ（中里氏說同）大穴持神○芳賀郡ニモアリ

補守弘曰大崎村ニアリ藤岡驛ノ西北十餘町ナリ上野下總武藏等ノ境ニ近シ別當勝光院眞言宗ナリ祭禮ハ八月廿九日ナリ

村檜(ムラヒノ)神社

［式社考］小野寺村ニ在（中里氏說同但シ又小寺村トモ云）應神天皇［出雲風土記］神魂命子邑日女命大穴持命娶給而每朝通坐

補守弘曰小野寺村ノ神社慥ナラズサレド舊社ナリ社司寺內式部曰當社ハ秀鄉朝臣佐野唐澤山ニ居城ヲ構ヘシ時此地鬼門ニアタリテ一里許ニアレバ承平二年城中鎭護ノタメ再建ス其ノチ佐野家ニイタリテ代々修覆ヲ加フルヨシ棟札アリマタ文治年中當地ノ住人小野寺太郎通綱再建ト云フ棟札モアリト云ヘリ又一說ニハ同郡鹿沼チカキ村井村ナル女躰權現トモ云ヘリ村長關口某曰當地モトハ村檜ト云ヒシヲ境內ニ井六ツアル故ニ後世村井ト改メタリト云ヘリ

河內(カウチノ)郡一座大

二荒(フタアラ)山神社名神大

［續後紀］承和三年十二月丁巳奉レ授二下野國從五位上勳四等二荒神正五位下一同八年四月乙卯奉レ授二下野國正五位下勳七等二荒神正五位下一（按勳七者勳四而位下者位上乎）

補［續後紀］承和十五年八月廿八日授二下野國正五位上勳四等二荒神從四位下一［文實］嘉祥元年八月丁亥朔甲寅奉レ授二下野國正五位上勳四等二荒神從四位下一天安元年十一月甲午朔庚戌在下野國從三位勳四等二荒神充二封戶一烟一［三實］貞觀元年正月廿七日下野國從三位勳四等二荒神正三位同二年九月十九日丙寅詔下野國正三位勳四等二荒神始置二神主一同七年十二月廿一日授二下野國正三位勳四等二荒神從二位一同十一年二月廿八日進二下野國從二位勳四等二荒神階一加二正二位一○緣起幷頟正一位勳

ヘり」「堯惠北國紀行」白雲山ナラビニアラフネノ御社北ニ淺間ト云ヘリ「拾遺」物名藤輔相（贈太政大臣長良公弟延□ノ比ノ人ナルベシ）あらふねのみやしろ上畧あらふねのみやしろくみゆらん○信友按稲裏神ノ下ノ「山吹日記」ノ一宮社説ニテハ貫前ノ舊社ナランカトキコユ

神名帳考證　廿七

延喜式卷第十之六　東山道第六

下野國十一座

大一座

小十座

都賀(ツカノ)郡三座（並小）

大神(オホムワノ)社

「式社考」都賀郡在ニ惣社村ニ大己貴神○舊訓オホムワシカラバ大神神社ト有シガ神ノ字一ツオチタル也亦本ノマヽナラバオホノカミヤシロト訓例也○又舊訓オホムワト稱スヨリ大己貴神ト云ヘル歟モシリガタシカヽル訓ソコヲ守リテ強テ稱ス事後世ニ多シ實ハオホノ社ナランモ知ベカラズ百木說

○中里氏（宇津宮二荒神社神主中里屋祝(ヤバフリ)藤原詮篤(ヨシノリ)）云惣社村大神神社オホンガミト唱フ

○國人河野守弘曰國府ノ惣社明神ノ相殿ニ祀レリ

大國神社（オホクニノ）

○大國神者大巳貴命之名也令釋曰狹井者大神之荒御靈也郡名佐位與ニ狹井一通[國帳]從一位大國玉大明神○道別云今淵名村ニ在（清與說同）

式外舊社

波己曾神　若伊賀神　稻裹地神（祇イ）

[三實]貞觀元年三月廿六日授ニ上野國正六位上波己曾神從五位下元慶三年閏十月四日上野國從五位下波己曾神若伊賀神並從五位上（按波己曾神ハ榛名神若伊賀神伊賀保神乎）同四年五月廿五日上野國正五位下波己曾神正五位上勳十二等正六位上稻裹地神從五位下勳十二等ニ[國帳]碓氷郡從二位波己曾明神[西撮]波己曾明神所レ祭日本武尊云々白雲山神社ト云ハコレ也今ハ妙義權現ノ末社ノ如シ白雲山今ハ妙義山ト云フ甘樂郡也波己曾神社ヲ武尊權現ト稱ス白雲山ト金鷄山トノ間ニ中ノ嶽（金洞山トモ云フ）ト云フニアリ白雲山ヨリ三十丁計未申ノ方ニ當レリ怪岩奇峯絕景也武尊東征シ玉ヒ歸路ニ越玉ヒシ處ト云フ○國人云神社ノ邊ニ御蒜畠（オヒルハタケ）トテ蒜ノミ生タル處アリイタク神ノ愛シミ給フユヱ手フル、モノアレバ忽御祟アリ旱ノ時此蒜ヲ神ニ乞ヒ他郷ヘ借リ行テ祈ル時ハ必雨フルナリサテ賽シテ彼蒜ヲ返シ上ル但シコハイト重キ事ユヱタヤスクセズトゾ[山吹日記]一宮ノアタリヨリ南ノ方二里バカリニ稻含（イナフクミ）山高ク見ユ山頂稻含山神社アリ稻裹神ナルベシ一宮社家說貫前神社古ハ荒舟山ニアリ（此山今ハ博風山ト云）後稻含山ニ徙シ其後今ノ磯邊谷ニウツシマツレリト云（以上取意）

小高神

[三實]貞觀五年五月九日授ニ上野國正六位上小高神從五位下一

丹生神

[三實]貞觀十七年十二月五日上野國正六位上丹生神從五位下

荒船社

[能因歌枕]荒フネノ御社「上野國にましますとい

[續後紀]承和六年六月甲申奉レ授ニ上野國无位赤城神從五位下ニ[三實]貞觀九年六月廿日授ニ上野國從五位上赤城神正五位下同十一年十二月廿五日上野國正五位下赤城神正五位上ニ同十六年三月十四日授ニ正五位上赤城神從四位下ニ元慶四年五月廿五日授ニ勳七等從四位下赤城沼神從四位上ニ[姓氏]上毛朝臣祖豐城入彥命三世孫赤麻呂云々[夫木集]鎌倉右大臣「上野のせたの赤城のから社やまとにいりて跡を垂なむ」[諸神本懷]赤城山三所明神大沼小沼山頂覺滿[西撮]允恭天皇御宇建立號ニ覺滿大菩薩ニ社領五十石[　　]「萬代に赤城の山の白椿君かさか行卯杖にそきる」橘感永[東鑑]四十建長三年四月十九日上野國赤城嶽燒云々[國帳]正一位赤城大明神○清輿云三夜澤村ニアリ

山田郡二座並小

加茂神社（カモノ）

[三實]元慶四年五月廿五日授ニ勳十二等從五位上加茂神正五位下ニ[姓氏]鴨部御間城入彥五十瓊殖天皇之後也[舊事紀]國造本記針間國造上毛野同祖

○今日桐生吾妻山加良社乎○道別國人薗田氏云廣澤村與說同[國帳]從一位加茂大明神

美和神社（ミワノ）

[三實]元慶四年五月廿五日授ニ勳十二等從五位上美和神正五位下ニ○桐生村ニ在清輿說同[國帳]從一位美和大明神

那波郡二座並小

火雷神社（ホノイカヅチノ）

[國帳]從一位火雷大明神○道別云
○清輿云下宮村ニアリ

倭文神社（シトリノ　委イ）

[三實]貞觀元年八月十七日庚子上野國正六位上倭文神列ニ官社ニ同年同月廿日上野國正六位上倭文神從五位下[書紀]神代紀下倭文神建葉槌命[和鈔]委文之止利[國帳]從一位倭文大明神○清輿云片岡郡倭文大明神

佐井郡一座小

野國正六位上若伊賀保神從五位下同十一年十二月廿五日伊賀保神正五位上同十八年四月十日授二正五位上伊賀保神從四位下二元慶四年五月廿五日授二伊賀保神從四位上二同年十月十四日授二正五位下伊賀保神正五位上二不審「舊事紀」國造本紀伊甚國造伊許保止命孫伊己侶止直定賜又云安房國造祖伊許保止命〇按伊賀保神者伊許保止命歟「古今」長歌いかほの沼のいかにして思ふ心を云々仙覺萬葉抄いかほの沼は請雨の使たつ處なり「西撮」而野撮上一册國人桑園深堀仲盧草松原越智正珠刊補トアリ此松原氏ヨリ借タル也所レ祭少名彦名命今湯前大明神ト云フ榛名山巖殿寺緣起元由彦友命云々「國帳」正五位上伊香保明神「西撮」沼ハ里ヨリ二里半バカリ山ヲヘテハンナノ方ニアリ今アヤメ多シ今ハンナノミタラシト云リ

椿名（ツバキナノ）神社

〇椿榛之誤也今椿名（ハルナ）山ト云「西撮」今滿行宮大權現ト云「先代本紀」云双（ニ）槻（ツキ）宮上毛國秦名山峯權現元湯彦友命也云々「萬葉」上野防人ノ歌「いかほろのそひのはりはら我きぬにつきよらしもよたへとおもへは」〇信友按コノはり原ト榛原ノハリト地名ヨシアリ「國帳」正一位榛名大明神〇榛名山滿行大權現ト云フ社說一曰元湯彦命一曰中イサナギノ尊イサナミノ尊左右國常立尊大己貴命〇信友按尾張愛知郡針名神社アリ「姓氏」十二檜前舍人連大明命十四世孫波利那乃連公之後也

甲波宿禰（カハスクネノ）神社

「續後紀」承和十三年八月奉レ授二上野國群馬郡無位甲波宿禰神從五位下二「文實」嘉祥三年十二月甲戌詔以二上野國甲波宿禰神一列二於官社一「三實」貞觀九年六月廿日從五位下甲波宿禰神從五位上同十一年十二月廿五日從五位上甲波宿禰神正五位下同十八年四月十日授二正五位下甲波宿禰神正五位上二元慶四年五月廿五日授二正五位上甲波宿禰神從四位下一「姓氏」豐城入彦命四世孫賀袁眞稚命　可保夜沼上野〇按賀表甲波相通國帳正一位甲波宿禰大明神國人清與云川島村ニ在

勢多郡一座大　田イ

赤城（アカギ）神社名神大

一番ニ貫前大明神ト記セリ〔續後紀〕承和六年六月甲辰奉レ授ニ上野國無位拔鉾神從五位下ニ〔三實〕貞觀元年正月廿七日上野國正五位下勳八等貫前神從四位下同九年六月廿日授ニ上野國從四位下勳八等貫前神從四位上ニ同十八年四月十日授ニ從四位上貫前神正四位下ニ元慶三年閏十月四日授ニ正四位下勳八等貫前神正四位上ニ同四年五月廿五日授ニ正四位上勳八等貫前神從三位ニ〔和鈔〕貫前奴木乃佐郷○拔鉾郷〔一宮記〕經津主命〔續文粹〕七奉獻御劍壹腰加ニ平緒一右去秋以來宰史不例卽有レ願下千獻ニ御劍於拔鉾社一得中平全上矣爰冥感忽至宿痾適愈今爲レ賽ニ彼素願一謹獻ニ此寶劍一又頃者雨澤不レ降民烟成レ愁而所レ治者三尺之氷矣已淬ニ銑鋒於龍泉一所レ祈者十旬之雨焉宜レ仰ニ甘膏於牛漢ニ神靈如レ鏡請照ニ赤誠一仍奉上如レ件康和二年四月十三日目代散位平朝臣周眞上野介敦基敦基ハ新田義重外祖父也〔羅山集〕四十四上野國一宮鐘銘序說此事詳悉其略上毛一宮鐘銘上野國甘羅郡正一位勳五等拔鉾大明神者延喜式所レ謂貫前神社是也磯部氏世掌ニ祭祀一稱德帝天平神護二年賜ニ物部公姓ニ云々俗傳稱ニ菖蒲谷ニ垂荒船稻含之迹云々康和之年納ニ敦基之劍一而其無レ恙云々寬永十一乙亥年九月吉日奉行云々神主一宮志摩守磯部朝臣氏貞○信友云別ニ物部牛麻呂傳考ニ說アリ○此社ノ事正ト考ニ云フ

宇藝(ウケノ)神社

〔和鈔〕宗伎アリ宇伎ヲ誤レルナルベシ又有只(ウキノ)郷アリ只ハ枳ノ省也○今曾木村アリ曾木明神アリ近年高垣明神ト改タルハ誤也ト〔山吹日記〕□□ノ比某氏東行ノ紀行ナリ○今按山吹日記ハ日下部高秀ノ紀行也高秀寶曆元年八月八日發ニ辨タリ〔國帳〕從一位宇藝大明神○源淸輿云甘樂郡神成村ニ在リ社司山田氏〔山吹日記〕神成村ノ內中澤ト云フ處ノ北方ナル中山ノ麓ニウケノ神小社ニテアリ傍ニ赤城大神ヲモウツシマツレリ○今群馬郡

群馬(クルマノ)郡三座大一座 小二座

伊加保(イカホノ)神社名神大

〔續後紀〕承和元年九月辛未以ニ上野國群馬郡伊賀保社一預ニ之名神ニ同六年奉レ授ニ上野國无位赤城神伊賀保神並從五位下一〔三實〕貞觀五年十月七日上

延喜式卷第十之五　東山道第五

上野國十二座

大三座

小九座

[中右記]天仁元年九月五日壬子左中辨長忠於陣頭談曰近日上野國司進解狀曰國中有高山稱麻間峯而從治暦間峯中細烟出來其後微々也從今年七月廿一日猛火燒山嶺其烟屬天沙礫滿國煨燼積庭國內畠依之已以滅亡一國之災未有如此事依希有之怪所記置信友云上野國トアルハ信濃ノ聞違ヘナルベシ合運ニ八十七空有聲如皷數日不斷トアルハ此時ノ事也天明三淺間ヤケノ時上方ワタリマデマタク同ジサマナリキ又按ニ吾妻郡鎌原ト云フ處信濃ノ淺間山ノ麓ニテ淺間神社アリトゾ○上野國神名帳ノ初ニ鎮守十二社トテ擧タルハ此式社十二座ナリ此十二座等ヲバミナ大明神トアリサテ此書名ハ[國帳]ト標シテ引載ス

片岡郡一座

小祝神社

[和鈔]新田郡祝人波布利鄕アリ[國帳]從一位小祝大明神清與國人石原村ニ在トイヘリ[三實]元慶四年五月廿五日授正五位下小祝神正五位上

甘樂郡二座 大一座 小一座

[續紀]廿七天平神護二年五月甲戌甘樂郡人磯部牛麻呂等四人賜姓物部公[同]廿九神護景雲三年四月甲子甘樂郡人竹田部荒當絲井部袁胡等賜姓大伴部

貫前神社 名神大

[國帳]正一位拔鉾大明神トアリ鎮守十二社ノ中第

比賣神從四位下

梓水神　須々岐神

[三實]貞觀九年三月十一日信濃國正六位上梓水神須岐々神並從五位下

八縣宿禰神

[三實]貞觀十年三月九日從五位下八縣宿禰神正五位下

和世田神

[三實]貞觀十六年四月五日信濃國正六位上和世田神從五位下○宮澤氏云小縣郡鹽野神社ノ社內勅使殿ニ祭レリ地主ノ神也ト云傳フ

蓼科神

[三實]元慶二年九月十六日信濃國正六位上蓼科神從五位下

池生神御厩中央御玉神

[三實]元慶五年十月九日信濃國正六位上池生神御厩中央御玉神並從五位下

槻井泉神

[三實]元慶五年十二月廿八日信濃國正六位上槻井泉神從五位下

子トモ稱

佐久郡三座 並小

英多神社

[和鈔]埴科郡英多衣太[信地]今英多郷廢テアガタノ庄殘レリ[義經記]信濃國住人江田源三

長倉神社

大伴神社

○宮澤氏云[三實]十二十丁神部神トアルハ大伴神社也

式外舊社

出速神

[三實]貞觀二年二月五日信濃國正六位上出速神從五位下同十五年四月五日信濃國從五位下出早雄神從五位上元慶二年二月七日信濃國從五位上出早雄神正五位下

國業比賣神

[三實]貞觀三年二月七日授信濃國正六位上國業比賣神從五位下

八櫛

[三實]貞觀五年二月十四日信濃國從五位下安達神妻科神八櫛等並授從五位上 ○此八櫛可レ考安達ハ守田ノ下云

馬背神

[三實]貞觀七年三月廿三日授信濃國從五位下馬背神從四位下同九年三月十一日信濃國從四位上馬背神從三位

名立神

[三實]貞觀七年七月信濃國正六位名立神從五位下

補[紀略]延喜九年十一月廿七日授信濃國立名神從五位下 下字訛歟

會津比賣神　草奈井比賣神

[三實]貞觀八年六月無位信濃國會津比賣神草奈井

「信地」貞觀八年六月授二無位會津比賣神從四位下一按此神社ヲ云フカ海津ニ在セバ也「三實」貞觀七年三月廿三日甲辰授二信濃國從五位下馬背神從四位下一（清在按今川本頭書馬背玉依比賣命神之誤歟）○鈴木敬貞（國人）云今松代ノ内東條（ヒガシデウ）村ニアリ○玉依比賣社今池田宮トモ云フ神體明玉也又神寶ニ靑紅白三種ノ明珠數百顆アリ其形ヲハジメクサ〲有テ子ヲ生ム也其子ニナルベキモノツブツブト付タルガ分レテ小玉トナリヤ、ヤ、ニ大キクナレリイヅレモスキ通リテイト〲美ハシキ玉也勾玉モ自然ニ出來タルモノトミエテカツテ人作トハミエズトゾサマ〲奇靈キ事アリ以上松代人何某氏語也トテ平田氏語レリ

祝神社（ハフリノ）

「姓氏」鴨部祝大國主神之後也生魂命祝部宿禰氏遠祖○今在二屋代村一曰二日吉社一「和鈔」屋代（也之呂）○信友云シカルヲ後松代ノ城下ノ社ニ祝神社號ヲウケ日吉ヲバス、キミヅノ神社トスト云式外梓水神須須岐神アリコレカ

小縣郡（チイサガタノ）五座（大二座 小三座）

「萬葉」國造小縣郡他田舍人大島「三實」小縣郡少領他田舍人藤雄

生嶋足嶋神社（イクシマタルシマノ）二座（名神大）

「舊事紀」生島是大八洲之靈事見二攝津國東生郡下一○松下氏曰攝津信濃東西祭二八洲靈一者乎○宮澤氏云此社ヲモ諏訪ト云フ鹽田庄下之鄉ニアリ

山家神社（ヤマイヘノ）

「和鈔」山家（也末加）○宮澤氏云今ハ東嶽（アヅマタケ）權現ト云リ

鹽野神社（シホノノ）

「三實」貞觀十五年四月五日授二正六位上鹽野神從五位下一「姓氏」彥國葺命孫鹽乘津命○因幡國鹽野上神社○宮澤氏云鹽田庄前（マヘ）山村ニアリ○鹽野社ハ上田近在ニ在テ俗ニ大宮ト云フ神主宮澤大膳進

子檀嶺神社（コマユミノミネノ）

「三實」貞觀二年二月五日授二無位駒弓神從五位下一○宮澤氏云武石（タケシ）村ニアリコマガタト唱フ又コマミ

ニアリテスメタリホンノ命ト云リ小社ナリ

健御名方富命彦神別神社 名神大

[文實]仁壽元年十月乙丑進ニ信濃國健御名方富命前八坂刀賣命兩大神階ニ加ニ從三位ニ○當社神階載ニ于諏訪神社下ニ而混矣可ニ重考ニ今外様五東村諏方社稱ニ大宮ニ是乎○信友按更級郡武水別神社コノ健御名方富命彦神別同御名ニ似タリ可レ考

高井郡六座 並小

墨坂神社

[書紀]雄略紀大物主神或曰菟田墨坂神也

越智神社

[姓氏]越智直神饒速日命之後也

小内神社

[和鈔]小内 乎宇奈

笠原神社

[姓氏]笠原眞人天武皇子磯城親王之後也

小坂神社

[書紀]神武紀男坂置ニ男軍ニ○今曰ニ小坂村ニ善光寺東四里

高杜神社

○備後國高諸神社○今曰ニ大森村ニ在ニ中野南三里ニ

埴科郡五座 並小

粟狹神社

[三實]埴科郡大領金刺舍人正長[萬葉]埴科郡神人部子忍男○宇津宮氏云在ニ粟狹村ニ

坂城神社

[和名]坂城 佐加木 ○今在ニ中村ニ

中村神社

[姓氏]中村連天乃古矢根命之後也○在ニ中村ニ

玉依比賣命神社

妻科神社（ツマシナノ）

○今曰ニ津奈志麻（麻カ 奈カ）村ニ在ニ善光寺南一里半ニ「信地」妻科村ニ社アリ土人ツマナシ社ト云フ「三實」貞觀二年二月五日妻科神從五位下同五年二月十四日信濃國從五位下妻科神從五位上

小川神社（ヲガハノ）

○陸奥國荒雄河神社

守田神社（モリタノ）

「三實」貞觀元年二月十一日信濃國從五位下守宅（モリタ）神從五位上同年十二月十四日授ニ信濃國無位守達（モリタ）神從五位下ニ五年二月十四日信濃國從五位下安達神從五位上○按安達者守達歟 同七年三月十二日癸巳授ニ信濃國從五位上宇達神從四位下ニ宇當レ作レ守 ○百木按此考ノ如ク安達宇達幷守達ノ誤ナルベシ「姓氏」宇公牟義公同祖大碓命之後也

粟野神社（アハノノ）

風間神社（カザマノ）

「信地」按風間村ノ社今八幡ト稱スニ「夫木集」ニ「信濃路や風のはふりも心せよ白ゆの花のにほふ神垣」家長朝臣一說此歌風間神社ノ事トス或風寒強キ國ナレバ風神ヲ祭ルトモ云ヘリ「十訓抄」「信濃國は極めて風早き所なり是に由て風の祝と云者を置て深く籠するゑて祝置て百日の間尊重する事也しかれば其年風靜にて農業の爲にめでたし自らすき間もあり日の光りも見せつれば風をさまらずしてあしと云事を能登大夫資基と云人聞て如レ此承る是を歌に讀んと思ふと俊賴に語ければ俊賴答云無下に俗に近し加樣の事更に思よるべからず不便不便と云ければ其旨を存る所に俊賴後に此事をよみける「信濃なる木曾路の櫻さきにけり風の祝よすきまあらすな」尤腹黒き事也五品後に悔けり

皇足穗命神社（スメタリホ　皇・玉イ）

○本書頭注にト兼永本曰白玉足穗命○今曰ニ飯綱社ニ在ニ戸隱山中名柏原ニ ○宮澤氏云今善光寺ノ邊

[姓氏]治田連開化天皇々子彦坐命之後○今山島村北二里有ニ治田村ニ[信地]訓ハルタ國人云ハタ○稲荷山村ニ近年治田神社號ヲ請タル社アリ

武水別神社 名神大

[三實]貞觀二年二月五日信濃國正六位上武水別神授ニ從五位下ニ ○今按武水別不レ知レ可レ充ニ何神ニ似レ可レ除 同八年六月朔授ニ信濃國無位武水別神從二位ニ同九年三月廿六日丙丑詔以ニ信濃國從二位武水別神ニ列ニ官社ニ[信地]今御贄川アリ祭ノミニヘノ地ナルベシ又云八幡村ニ建社領二百石　八幡北十五里ニ御平川ト云アリ此神ノ御贄ニ出タル名ナルベシ此水犀川ヲ引神事ノ御贄川ナリケン[續紀]神護景雲三年奉ニ神服天下諸社ニトアルヨリ今小縣郡生島足島神社ニモ神畠ノ地名アリ名稱ノ外ニハ此地名モ見エズ○宮澤氏當國小縣郡鹽野神社ノ神主宮澤大膳進云今ハ八幡ト云リ姨捨山近キ處ナリ又宇津宮氏云八幡ヨリ北一里半餘ニ御幣川アリ御幣川村ト云フモアリ○信友按水内郡健御名方富命彦神別神ト同名ニ似タリ可レ考

水内郡九座 大一座 小八座

美和神社

[信地]按大三輪ヲ齋キ奉ルニヤ古ヘ相殿ノ神オハシケム貞觀三年二月授ニ國業比賣神從五位下ニ同八年六月授ニ草奈井比賣神從四位下ニ草奈井ノ三字恐ハ具奈利ノ誤ナルベシ國生ノ神ハ大己貴命ノ父ノ神名トス伊勢攝社ニ大士御祖社三座イマセリ大國玉命同兒水佐々良比古命女佐々良比賣命ヲ祭ル大國玉命ハ大己貴命ノ別名[皇大神宮儀式帳]ニ國生神ノミコ也云々又云當郡ノ中ニ三和村アリ

伊豆毛神社

[倭姫世記]出雲神子建子命一名伊勢津彦神近介レ住ニ信濃國ニ○信友云伊勢津彦ニ付テ考アリ別ニ云[信地]今按出雲國出雲郷ニイマス日御崎神社ト同神ニヤ亦貞觀二年授ニ出速神從五位下ニ此神名恐クハ脱字アルベシ同十五年四月授ニ出早雄神從五位上ニ元慶二年二月授ニ出速雄神正五位下ニ今按以上ノ神名當社ニアタレリ大和國式社出雲建雄神ナド見エタリ同號ニテ健速須佐之雄命ナルベシ

訓テト、訓シ事ナシカクテ神武第一皇子多藝志美美命カ又孝昭ノ御弟多藝志比古命ナルベシ和名ニトシト訓シハイカヾ字ノ誤ナルベシ次ナル長谷神社モヨシアリゲニ見ユ（精古ガ考カ）「和鈔」當信（年也）○吉從按和名今本當郡當信トノ有テトシト訓タル註ナシ「信地」當信（タキシナ）

長谷神社

「舊事紀」科野國造神八井耳命孫「古事記」神八井耳命小長谷造等之祖也○川中島在ニ長谷村一○宇津宮氏說同「信地」今按貞觀二年二月授ニ馬背神從五位下同七年三月授ニ馬背神從四位下同九年三月授從四位上馬背神從三位一以上神名疑ラクハ長谷ヲ傳寫誤タルカ或野馬背ノ脫字ナル歟下卷高井郡ニモ出セリ「式社」ノ長谷「萬葉」ノ小長谷部笠麻呂「和鈔」鄉名共ニ其地ナルベシ「和名鈔」ノ例ニ二字ヲ省キ小ノ字ニ小長谷部ヲワカテリト見エタリ今鹽崎ニ屬シテ長谷觀音アル邊ニヤ又云按高井郡夜間瀨ハ大鄉也屬邑十二アリ也世平年トヨブ山アリ方言山ヲネトイフハ畝ニテ古ヘ小谷ヲ乎宇奈ト訓スルニ通ス「三代實錄」ニ馬背神見エタリ馬背ハ夜馬背ト云ニ似タリ

白置神社

○今ヒキト云ヘリ

清水神社

「姓氏」清水首出レ自ニ任那國都怒賀阿羅斯等一也「和鈔」清水（之美都）

氷鉇斗賣神社

「和鈔」氷鉇（比加奈）「信地」或人云「古事記」ニ阿曇連等者其綿津見神之子宇都志日金拆命之子孫也「姓氏錄」ニ安曇連子都斯奈賀命之後也氷鉇斗賣神號爰ニ出ルカ

頤氣神社

「三實」貞觀二年二月五日頤氣神從五位下「姓氏」伊氣豐城入彥命四世孫荒田別命之後也「和鈔」池鄉（以介）

治田神社

筑摩郡三座 並小

岡田神社

○大和國宇陀郡岡田小秦命神社

沙田神社

［舊事紀］景行天皇々子五十狹城入彦命○按沙田阿禮共景行皇子也○今松本三十町許西南島立組三宮村ニ在［和鈔］安藝國沙田萬須多郡

阿禮神社

［姓氏］阿禮首守公同祖大碓命之後也○鹽尻組ノ内柿澤東山ノ下有ニ古社一也今遷ニ柿澤村地一俗あれい明神

安曇郡二座 大一座 小一座

穗高神社 名神大

［姓氏］安曇宿禰海神綿積豐玉彥神子穗高見命之後也○今在ニ穗高村一松永ノ北五里○神主二家穗高氏也

川會神社

［姓氏］川合公上毛野同氏多奇波世君之後

更級郡十一座 大一座 小十座

布制神社

［姓氏］布勢朝臣大彥命之後也○川中島山崎村一里北在ニ布瀬村一布制トモカケリ○宇津宮氏國人云今布施郷トテ數村アリ其村名ヲ布施十二村ト云フノ内布施五明村ト云フニアル生土神社ニ近來布制神社號ヲ吉田家ヘ請受タリ諏訪ヲ祀レリト云ヘリ

波閇科神社

佐良志奈神社

○今在ニ郡村南山中一若宮八幡ト稱ス［和鈔］更科 左良之奈

當信神社

○タギシノ神社ト訓ベシ當ノ字［紀］［萬葉］ミナタギト

ハ相殿ノ稱也所レ引ノ國史ノ文ニテ明也
「舊事紀」大己貴神娶ニ沼河姫一生ニ建御名方神一坐ニ
信濃國諏訪神社一又云經津主武甕槌二神降云々
到ニ於科野國洲羽海一之時建御名方神自レ我除ニ此
地一者不レ行ニ他所一亦不レ違ニ我父大國主神命一不
レ違ニ兄八重事代主之言一「熱田社記」高志沼河姫信
濃國下諏訪神社也近代下諏訪千尋池ヨリ出タル銅
政印ニ賣神祝印トアリ「　　」神祇伯顯仲「すはの
海の氷の上のかよひぢは神の渡りてとくるなりけ
り「元亨釋書便蒙」信州諏訪南宮或云上社建御名
方命也下社建御名方姉下照姫也○淸在按以ニ下照
姫一爲ニ御名一方姉不レ知ニ何據一也○今按南方者御名
方也刀美者富或刀賣皆同音乎蓋以ニ二神之名一併
號ニ一社一乎○信友云南をみなに用たる例「用明紀」
「推古紀」に南淵(ミナフチ)この處を姓にせるとみえて「姓氏錄」
に蜷(ニナ)淵眞人あり「和鈔」土武(土無)鄕あり刀美歟可レ考
○或ものに上の諏訪は建御名方富命下の諏訪は八
坂入姫命也といへり又水内郡にも建御名富云々社
あり「源平盛衰記」四十三(六丁より)住吉のかぶら幷新羅
をせむる事云々ノ條「神功皇后新羅御征伐ノ中舟

中天照大御神ヨリ二人ノアラミサキヲサシソヘ玉
ヘリソノ一人ハ住吉大明神今一人ハ諏訪ノ明神也
(以上意チ採テ記ス)又攝津國勝尾寺ノ事ヲ記シテ「ソレハ信濃
國諏訪ノ南宮也八マン大ボサツノ嚴命ヲ玉ハッテ
西天ハクロチノ水ヲクミ一夜ガホドニ往還來レリ
ト申(以上本文ノマヽ)云々「カヽルアラ人神タチナレバ新羅
征伐ノ時ハ天照大神モサシソヘラレケルニコソ
(以上本文ノマヽ)今云此一說一ワタリトルニモタラザレド
聊オモフ處アリテ抄ス追考今川了俊ノ「道行ぶり」
ニ周防ニテ天ノ川ト云フワタリノアル事ヲキヽタ
ル條ニ「秋にしもかぎらざらなん天の川あまの小舟
は今もかよふを今一首(アリ)諏訪明神とたなばたは同體
とかや申めれば殊にこの諏訪住吉の二の御神は
(此周防ナル住吉神社ニ詣リタルコト上ニアリ故ニコノ諏訪住吉トイヘルニテ實ハ此ノ字住吉ヘカヽレリ當國ニ諏訪神社アリシヨシニハアラズ)軍の船のまほりにてわたらせ給ふぞかし
とおぼすとよみ侍る也」トアリコハ「盛衰記」ニイ
ハユル說トキコユ「東鑑」廿八(オ丁)建暦二八月十九日
下下可レ禁ニ斷鷹狩一事上被レ仰ニ守護地頭等一但於ニ信
濃國諏訪大明神御贄鷹一者被レ兇之由ト云々「定家
鷹百首」

延喜式卷第十之四　東山道第四

信濃國四十八座

大七座

小四十一座

伊那郡二座 並小

大山田神社（オホヤマダノ）

阿智神社（アチノ）

[舊事紀]八意思兼神兒表春命信乃阿智祝等祖又云天思兼命　天降信乃國　阿智祝部等祖[信地]信濃地名考ニ云孝元天皇五年天八意命神兒將ニ手力雄命ニ天ニ降信乃國ニ吾道　宮鎭座　手力雄命戸　陰山遷座　云々[栞]和訓栞阿智神社ソノ原ト云フ處ノ東北晝神邑ひろかみむらニ坐ス阿智川アリ式ニ阿智驛子免ニ課役ニ

諏方郡（スハノ）二座 並大

南方刀美神社（ミナカタトミノ） 名神大

[續後紀]承和九年五月奉レ授ニ信濃國諏訪郡無位勳八等南方刀美神從五位下ニ同年十月辛酉朔壬戌奉レ授ニ信濃國無位健御名方富命前八坂刀賣神從五位 印本アヤマリアリ 下ニ[文實]嘉祥三年十月己未信濃國建御名方富命神前八坂刀賣神並加ニ從五位上ニ又曰仁壽元年十月乙丑進ニ信濃國建御名方富命前八坂刀賣命等兩大神階ニ加ニ從三位ニ又曰仁壽三年八月庚辰從三位建御名方富命前八坂刀賣命神祝預ニ於把笏ニ[三實]貞觀元年正月廿七日奉レ授ニ信濃國正三位勳八等建御名方富命神從二位從三位建御名方富命神前八坂刀賣神正三位ニ同年二月十一日信濃國從二位勳八等建御名方富國神正二位正三位建御名方富命前八坂刀賣命神從二位同九年三月十一日信濃國正二位勳八等建御名方富神進ニ階從一位ニ從二位建御名方富命前八坂刀目命神正二位補諸社根元記位記天曆諸神ニ一階正一位

信友云此二座ハ南方刀美神ト八坂刀賣神也前ト

阿多由太神社（アタユダノ）

[三實]貞觀九年十月五日阿多由太神從五位上[古事記]大中津彦命阿太之別三野別祖也○紀文云高原郷淺井（アサヰタ）田村ナル社コレ歟アタユタトアサヰタト言近シ此社イマハ白山ト云フ

栗原神社（クリハラノ）

[三實]貞觀九年十月五日栗原神從五位上

式外舊社

大歳神　走淵神　四天王神　遊幡石神
度瀨神　道後神

[三實]貞觀九年十月五日飛驒國正六位上大歳神走淵神四天王神遊幡石神度瀨神道後神並從五位下

氣多若宮神　賀茂若宮神

[三實]貞觀十五年八月四日飛驒國氣多若宮神從五位下元慶五年十月九日授二飛驒國從五位下氣多若宮神從五位上正六位上賀茂若宮神從五位下一

木母國津神　劒緒神

[三實]貞觀十七年十二月五日飛驒國正六位上木母國津神劒緒神並從五位下元慶元年閏二月廿六日飛彈國木母國津神劒緒神從五位下同八年二月廿七日飛驒國從五位下劒緒神從五位上

事紀」國造本紀斐陀國大八椅命定賜「續紀」天平感寶元年閏五月癸丑飛驒國大野郡大領外正七位下飛驒國造高市麻呂授ニ外從五位下一○紀文云國人田中氏位山ノ麓ナル宮村ニアリ今宮川ト云リ水無瀨川アリテ川邊ニ社アリ俗ニ水無大明神ト云フコレ也當國一宮也「　」久々野郷宮村ニアリ位山ニ向ヘリ一宮ト云フ祭神御年神

補社地圖幷祭祀鳥毛打ノ事附考一

槻本神社

「三實」貞觀九年十月五日槻本神從五位上○丹波國御手槻神社○紀文云小八賀郷山口村ニアリ

荏名神社

「三實」貞觀九年十月五日飛驒國荏神從五位上○美濃國惠奈神社○紀文云灘郷江名子村ノ下ニ今俗ニ稻置ノ森ト云フニ小社アリコレ也又森中ニ大石アリ

荒城郡五座 小並

「書紀」持統紀荒城郡弟國部弟日

大津神社

「三實」貞觀九年十月五日大津神從五位上

荒城神社

「三實」貞觀九年十月五日荒木神從五位「姓氏」高御牟須比乃命十三世大荒木命又云荒城朝臣天兒屋根命之後也「和鈔」荒城○紀文云古ノ荒木郷宮地村ニ河伯ノ森ト云フニ大社アリコレナルベシ今ハ吉城郡吉城郷宮地村河伯神ト云

高田神社

「三實」貞觀九年十月五日高田神從五位上「姓氏」日奉連高魂命之後也「三實」六飛驒國荒城郡人日奉部若喜○紀文云高原郷寺林村ニアリ古クヨリタカタト唱來レリサレドモ「古事記」ニ高田ヲアゲタト訓メレバアゲタト稱フベキカ今寺林村ニアガタアリコレアゲタナラバ社號モアゲタト云ハンゾ古カルベキ

〔紀略〕延喜十一年二月十日授二美乃國東天神從五位下一

神名帳考證　廿四

延喜式卷第十之三　東山道第三

飛驒國八座 並小

大野郡三座 並小

〔三實〕貞觀十二年十二月八日乙酉勅分二飛驒國大野郡一爲二兩郡一

水無神社

〔三實〕貞觀九年十月五日飛驒國從五位下水無神從五位上同十年七月廿七日飛驒國從五位上水無神正五位下同十三年十一月十日授二正五位下水無神正五位上一同十五年四月五日授二正五位上水無神從四位下一元慶五年十月九日授二飛驒國從四位下水無神從四位上一〔一宮記〕大己貴命兒御歳神也〔姓氏〕水主直火明命之後也○山城國水主或作二水無瀬一〔舊

波大神或曰正一位因幡社ノ額自ニ寶殿ニ尋出裏書云文永二年丁卯沽洗二日從三位藤原朝臣經朝書同所峯權現祭ニ日葉酢姫命ニ后垂仁伊奈波神御母ナリ

補次ニ載タル否間神ハコレト同神ナル事位階ノツイデニ依テタシカニシラレタリ可ニ併考ー

長孫神

[三實]貞觀十一年十二月五日正六位上長孫神從五位下

金神

[三實]貞觀十一年十二月五日授ニ美濃國正六位上金神從五位下ー○按伊奈波神授位同日也「和鈔」武藝郡白金鄉[百莖根]厚見郡上加納村金神明神祭ニ淳熨斗姫命ー伊奈波神妃也[神名記]正三位金大神

兒安神

[三實]貞觀十八年七月十一日授ニ美濃國正六位上兒安神從五位下ー[百莖根]不破郡赤坂山麓子安明神神功皇后奉レ祭若宮社アリ應神天皇奉レ祭俗ニ御孕御前ト云此社昔ハ赤坂南町ニ鎭坐ト云々家綱公御誕生ノ時戸田左門氏鐵此社內ノ竹ヲ以御產刀ニ獻ゼラル安產ヲ祈レバ靈驗アリ[神名記]不破郡正二位兒安大明神此社歟亦南宮山ニ兒安神鎭座イヅレカ不ニ分明ー[熊坂]謠ニ曰青墓兒安ノ森シグレバト云々此謠作レル前ヨリ在シ社ナルベシ

否間神

[三實]元慶二年九月十六日美濃國正五位下否間神正五位上○信友按否間伊奈麻ト訓テ伊奈波神ト同神ナルベシ波ト麻ハコトニ親シク通フ音ナリ

補伊奈波神ト同神ナル事實ニシカリ位階ノツイデヲモ可ニ併考ー

長友神

[三實]元慶六年十月九日美濃國長友神從五位下

[和鈔]安八郡長友鄉

補遺

東天神

阿夫志奈神社

神田神社

「三實」貞觀六年八月十五日神田神社授二從五位上一

「和鈔」神田鄕

佐久太神社

○福田

多爲神社

○河內國田坐神社「百莖根」西田原ニ佐多井宮ト稱ス

中山神社

「國帳」仲山明神

惠奈郡三座並小

坂本神社

「姓氏」上毛野坂本朝臣豐城入彥命十世孫佐太公之後也「和鈔」坂本鄕

中川神社

○今曰ニ奈川ニ○一說中津川ノ宿ニ此社アリ「百莖根」中津川宿八マン宮也「神名記」從五位上中津川明神

惠奈神社

○今在二惠奈嶽一「和鈔」繪上繪下ノ二鄕アリ「式社考」在二惠奈山上一去二落合驛一南三里許今稱二惠奈權現一「百莖根」說同「神名記」從五位下惠奈明神

式外舊社

伊奈波神

「續紀」承和十五年七月辛酉美濃國原見郡無位伊奈波神奉レ授二從五位下一依二國司等解狀一也○按原見者厚見之誤「三實」貞觀十一年十二月五日授二美濃國從五位上伊奈波神正五位下一又曰元慶四年十一月九日美濃國正五位上伊奈波神從四位下○加茂郡三井神社ノ祭ニ稻羽山明神トアル是歟「百莖根」厚見郡岐阜稻葉山正一位因幡社「神名記」正一位伊奈

友按［續紀］式外伊奈波神トアルソレナルベシ［百莖根］三井大明神［神名記］正四位下御井明神

賀茂郡九座 並小

縣主神社

［姓氏］鴨縣主彦坐命之後也○河内國若江郡御野縣主神社二座［百莖根］賀茂縣主大明神太田宿ニ在［神名記］從三位縣主明神

坂祝神社

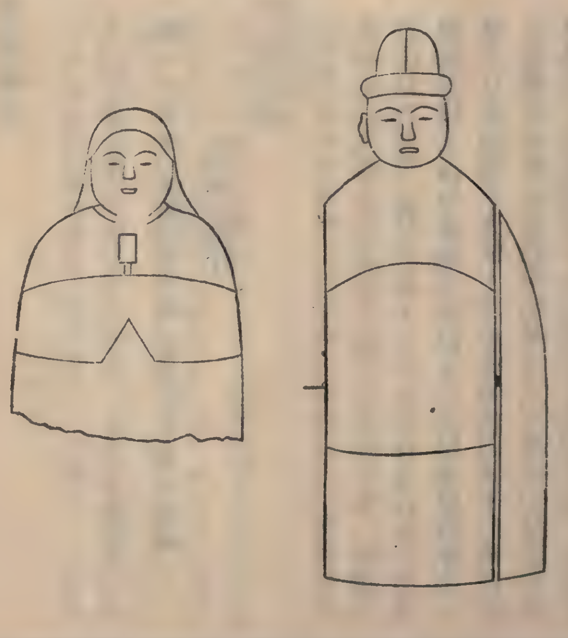
大山神社

［式社考］在二大山村北山上一去二大田驛一北二里許今稱二白山宮一［和鈔］小山アリ又武藝郡ニ大山アリ○神像三軀アリ



大部神社

［姓氏］大部首膽杵磯丹杵穗命之後也［和鈔］生部アリ此地名ニヤ［秘釋］犬部作レ大非トアルハイカヾアラン



物部神社

［三實］貞觀四年五月十三日美濃國厚見郡人外從五位下助教六人部永貞云々等三人賜ニ姓善淵朝臣ー天孫火明命後武處目命之裔孫云々

各務郡七座並小

伊波乃西神社

［式社考］在ニ岩田村ー去ニ岐阜邑ー東北二里許今稱ニ岩西宮ー［百莖根］說同［神名記］正四位下伊波野西明神

村國神社二座

［書紀］天武紀村國連男依往ニ美濃ー［續紀］慶雲四年五月癸丑美濃國言村國連等志賣一産ニ三女ー○村國眞墨田神社下ニアリ［和鈔］村國鄕

飛鳥田神社

［古事記］垂仁皇子大中津日子命三野之別飛鳥君等祖○今曰ニ飛鳥村ー［永萬記］阿須賀社［式社考］在ニ飛鳥村ー去ニ各務野ー北一里許今稱ニ飛鳥宮ー［百莖根］古市場ノ枝鄕飛鳥村ニ在［神名記］正三位飛鳥田明神

村國眞墨田神社

［國帳］眞墨田明神○尾張中島郡眞墨國田歟神社○郡名各務ハ鏡也眞墨此緣歟○村國神社上ニアリ

加佐美神社

［三實］貞觀六年八月十五日美濃國賀佐美神授ニ從五位下ー［和鈔］芥見○今曰ニ芥見村ー河邊也○田中紀文云芥見村ハ川向也當社ハ今笠神村ト云ニ在今ハ武儀郡也武儀ハ［和鈔］武藝トアリ○信友按カサガミカサミ通用ノ詞也［色葉字類抄］加佐美神社トアリ［百莖根］東島村加佐美大明神［神名記］正四位下笠見明神

御井神社

［式社考］今在ニ三井村ー去ニ加納驛ー東二里計御井大明神○今曰ニ三井村ー北一里餘有ニ稻羽山明神社ー信

花長神社

〔尾張風土記〕日置部等祖建岡君到ニ美濃國花鹿山ニ攀ニ賢樹枝ニ〔百茎根〕名禮村七社大明神花長神社也祭ニ猿田彦大神ニ〔神名記〕正一位花長大神

花長下神社

〔百茎根〕同村花長明神〔神名記〕

來振神社

〔式社考〕今在ニ木振村ニ去ニ江渡驛ニ北三里許○上野國小祝神社〔百茎根〕神名記正二位來振大神神領御朱印三石五斗別當來振寺祭ニイザナギ尊ニ六月十八日祭日稱ニ來振白山權現ニ

方縣郡二座 並小

方縣津神社

〔舊事紀〕大新川命兒片堅石命〔式社考〕在ニ八代村ニ去ニ岐阜邑ニ北一里許今稱ニ縣大明神ニトアリ〔和鈔〕方縣郡方縣○信友云美濃國ノ〔本國神名帳〕ニモ方縣津トアレバ津ノ字ナキハ誤ナリ〔百茎根〕福光郷八代邑方縣明神〔神名記〕從三位方縣明神

若江神社

○河内若江郡若江鏡神社陸奥國膽澤郡和我叡登擧神社〔姓氏〕若江造出ㇾ自ニ後漢靈帝苗裔奈卒張安刀ニ也〔書紀〕齊明紀六年獻ニ唐俘一百餘人ニ今美濃不破片縣二郡唐人等也〔和鈔〕方縣郡大唐コレラ考合スルニ由アリテ聞ユ

厚見郡三座 並小

比奈守神社

〔書紀〕仁德紀六十二年額田大中彦皇子獵ニ于闘鷄ニ云々氷室也云々〔同〕　紀夷守〔百茎根〕上茜部村飛田守明神〔神名記〕從五位下比奈守明神

茜部神社

○今加納南ニ茜部村〔和鈔〕尾張中島郡茜部阿加奈倍〔式社考〕在ニ下茜部村ニ去ニ加納驛ニ南一里許今稱ニ八幡宮ニ〔百茎根〕下茜部村八幡宮

村東ノ方大森ニ在天武天皇行幸ノ時功臣不破大領荒木田臣勝好靈神後合ニ熊野權現ニ三坐祭「神名記」從一位大領大神

伊富伎（イブキノ）神社

「續後」仁壽二年十二月癸亥以ニ美濃國伊富岐神ヲ列ニ於官社ニ「三實」貞觀七年五月八日授ニ美濃國從五位下伊富岐神從四位下ヲ同十一年十二月五日授ニ美濃國從五位上伊布岐神正五位下ヲ〇南按伊布岐者伊奈波之誤也此一條當削歟元慶元年閏二月廿一日授ニ從四位下伊富岐神從四位上ヲ〇今曰ニ伊吹ニ「式社考」在ニ伊吹村ニ去ニ垂井驛ヲ北一里許今稱ニ伊吹大明神ト「百茎根」野上村五六丁北也野上伊吹兩邑ノ社也古代大社也祭神ウガヤフキアヘズ尊「神名記」伊富岐大明神

池田郡一座小

養基（ヤキ）神社

「續後紀」嘉祥二年養基神預ニ官社ニ縁レ有ニ靈驗ニ「國帳」八岐明神〇今八木（ヤギ）村ニ在「百茎根」田中村八木大明神古代之社地有ニ田中ニ貞享之比廣野遷座

安八（アハチ）郡四座並小

「續紀」和銅元年美濃國安八郡國造千代女

宇波刀（ウハト）神社

加毛（カモ）神社

「姓氏」鴨君彦坐命之後也「古事記」日子坐王子神大根王三野國本巣國造之祖

墨俣（スマタ）神社

〇洲俣川〇今墨俣（スノマタ）村墨俣川モアリ「玉葉」養和元年三月十三日癸丑傳聞去十日官兵欲レ渡ニ墨俣ニ之間遮尾張賊徒等越來「百茎根」墨俣村正一位墨俣大明神船渡場ノ西也「神名記」　〇或曰墨俣ハ新地也上宿下宿古代ノ洲俣宿也此村中ノ社歟未レ詳

荒方（アラカタノ）神社

〇在ニ赤坂宿ニ

大野郡三座並小

○在二玉村一稱二三輪明神一

御井神社

[續紀]靈龜三年十一月天皇到二美濃國一覽二當耆郡多度山美泉一自盥二手面一改二元養老一

久久美雄彥神社

[續後紀]承和五年奉レ授二美濃國多紀郡無位久々美彥神從五位下一[百莖根]在二澤田村一今屬二石津郡一多藝ノ界ナリ久々美子神

不破郡三座 大一座 小二座

仲山金山彥神社 名神大

[續後紀]承和三年十月己巳美濃國不破郡仲山金山彥大神奉レ授二從五位下一即預二名神一同十三年五月奉レ授二美濃國不破郡從五位下仲山金山彥神正五位下一[三實]貞觀元年正月廿七日美濃國從三位仲山金山彥神正三位同六年五月廿三日授二美濃國正三位仲山金山彥神從二位一同十五年四月五日授二從二位仲山金山彥神正二位一○今南宮鳥居額曰二正一位勳一等金山彥大神一[永萬記]南宮社[式社考]在二宮代村中山下一去二垂井驛一南八町許今稱二南宮一[百莖根]神領御朱印四百五石本社今祭神五座金山彥命見野尊彥火々出見尊秘神二座攝社本社南高山大明神[神明記]正一位高山大神 同北十禪師社同南南大神同北隼人神[神名記]正三位隼人大明神 其外攝社末社多祭日二ノ三　五五　六廿一　十二初申　本社間口二丈三尺六十奧二丈八尺二寸[補]古本今昔物語廿卅九段國人美乃世ノ皆心ヲ一ニシテ南宮ト申社ノ前ニシテ百座ノ仁王講ヲ可レ行事ヲ始ム

[補]春村案ニ[文實]嘉祥三年十一月乙未進二越前國金山彥神階一加二從四位下一トアル越前不審ナリモシ常社ニハアラヌカ

大領神社

[續紀]大寶二年十一月庚辰行至二美濃國一授二不破郡大領宮勝ノ木實二外從五位下一同曰不破ノ郡大領宮勝ノ木實○今曰二大龍一○南宮山麓ニ宮勝靈神社アリ氏神ト云[式社考]在二宮代村南林中一去二垂井驛一南九町許今稱二大領大神一[百莖根]不破郡宮代

宣胤鄕記永正十七十一十二秀房來條ニ問レ之近江國神崎郡小幡社可レ奉レ號ニ惣社大明神ト之由被ニ聞食ト訖者依ニ天氣ト執達如レ件　永正十七年十一月十二日　左中辨判　小幡山神宮中　右書樣加ニ指南ト入道前內府執申此案彼手跡也

神名帳考證　廿三

延喜式卷第十之二　東山道第二

美濃國卅九座

大一座

小卅八座

［書紀］孝德紀大化元年七月遣ミ忌部首子麻呂於ニ美濃國ト課ニ供レ神之幣ト

多藝郡四座並小

多伎神社

［古事記］中倭建命到ニ當藝野上ト之時詔今吾足不ニ得步ト成ニ當藝斯形ト故號ニ其地ト謂ニ當藝ト［百莖根］一名美濃明細記元文三戊午年伊藤實臣著在ニ大墳村ト此村古稱ニ安久村ト今正一位三宮護法大菩薩ト稱ス三宮三座也天正ノ比迄神領三百五十石今神領無［神名記］多岐明神

大神神社

山ニ之處種々有ニ奇瑞ー而遂殺畢彼山之頂如ニ油火ー顯レ光赫々仍件大山之麓始而建ニ立社壇ー奉レ號ニ正一位油日大明神ー

物部布津神（モノヘフツ）

「三實」元慶六年十月九日近江國正六位上物部布津神海北神海南神並從五位下「和鈔」栗本郡物部（毛乃倍）郷アリ

海北神（ウミノキタ）

「三實」元慶六年見レ上○今湖ノ南北ヲ江南江北ト云

海南神

「三實」元慶六年見レ上

牛豆明神

「兵範記」保元三年三ノ三除目云々日吉明神眷屬牛豆依ニ御邪氣靈驗ー授ニ敍爵ー云々正六位上牛豆明神今奉レ授ニ從五位下ー保元三年二月二日

勢田宮

「園大曆」觀應二年十二月條ニ建武二年十二月七日勢田宮元弘一統之始被ニ官社ー了不レ可ニ違例ー之由申ニ南方ー○國史神祇集引可レ訂

柏板神

「三實」元慶六年十月九日近江國柏板神從五位上
「和鈔」伊香郡柏原郷

補遺

赤山神

山城式外ノ部ニモ出ヅ「今昔」十一（廿七段）亦唐ニ赤山ト申ス神在マシケリ大師慈覺ヲ守ラムト誓テ大師ニ共ナヒテ此朝ニ來レリ然ルニ此ノ山ニ留テ于レ今楞嚴院ノ中堂ノ傍ニ在マス山ノ佛法ヲ守ラムト誓ヲ發テ永ク此ノ山ニ留ル

八幡明神

八幡町（蒲生郡）ニアリ附考一（廿五左）ニ委シ

小幡社

「三實」貞觀十七年十二月五日近江國從五位下小丈神從五位上「又曰」元慶六年十月九日近江國從五位下小杖神從五位上○小丈小杖同神也大槻神社ノ條又「□」卷小杖神合考ベシ小丈杖神小枝神トアル丈杖ト枝トイヅレカ誤ニテ同神ナランカトオモフニサテハ位階合ス又小日枝ノ省字ニテ小比叡神ト同神カトオモフニソレモ位階合ス別神ト聞エタリナホ可レ考又按ニ栗太郡大槻神社歟杖ヲツキトモヨムベシ補「三實」貞觀五年十二月三日辛酉云々近江國少杖神云々授二從五位下一

小杖神 枝

「日本紀略」延喜十一年二月二日詔授二近江國小杖神從四位下一○上ニ引タル小丈小杖同神ナリ

○春村按枝字信友本紀略ニ小枝神トアレド宮本塙本掖齋本尾州本新見本盧廼屋本等小枝神ト有ニ從フベシ又桂園本其外ニ三本ニ按トアレドコレモ又寫誤トオボユ

坂神

○上坂神歟「三實」貞觀十七年十二月五日近江國正六位上坂神從五位下○信友按「和鈔」坂田郡上坂加無佐加下坂之無佐加トアリ則コノ上坂ニ坐ス神ナルベシ「三實」正六位上上坂神トアリケンヲ上字衍ナリトシテ削レルカ又寫誤リテ脫セルニテモアルベシナホ異本ニテ考按ベシ

天高結神

「三實」貞觀十八年八月二日近江國正六位上天高結神從五位下

油日神

「三實」元慶元年十二月三日授二近江國正六位上油日神從五位下一○淸在云「伊水溫故」油日大明神油日村云々「風土記」ニハ伊賀也今近江國甲賀郡ニ入テ現存ス大社也卽油日村淸在家檀越也「廿二社注式奥入」正一位油日大明社江州甲賀郡圓融院御宇當所有二大蛇一惱二人民一依レ之橘敏保朝臣爲二勅使一令レ參二向之一退二治彼大蛇一然處自レ口吹レ炎昇レ天飜ニ虛空一射レ矢不レ立頗無下可二退治一之術計上仍祈ニ當

式外舊社

筑摩神

［文實］仁壽二年三月丁卯朔甲戌授二近江國筑摩神從五位下一［拾遺］雜戀いつしかも筑摩の祭はやせなん難面人の鍋の數見ん［類字名所和歌］近江國筑摩

小比叡神

［三實］貞觀元年正月廿七日近江國從五位下小比叡神從五位上［又曰］元慶四年五月十九日奉レ授二從五位上小比叡神從四位上一

比良神

［三實］貞觀七年正月十八日授二近江國無位比良神從四位下一

麻布神

［三實］貞觀七年十一月廿六日授二近江國麻布神從五位下一

河内神

［三實］貞觀十二年五月廿九日近江國正六位上河内神從五位下

天若御子神

［三實］貞觀十三年二月十六日近江國正六位上天若御子神從五位下

牟佐上神

［三實］貞觀十七年五月廿九日近江國正六位上牟佐上神牟佐下神並授二從五位下一［又曰］元慶六年十月九日近江國牟佐上神牟佐下神從五位上○牟佐宿アリ［永萬記］六座社トアリコノ兩社ヲ云ヘルナルベシサラバムザト唱フベシ

牟佐下神

［三實］貞觀十七年見レ上

小丈神

「三實」貞觀九年九月十四日近江國正六位上麻氣神從五位下「書紀」應神紀百濟王貢ニ縫衣工女ー曰ニ眞毛津ー是今來目衣縫之始祖也○越前國麻氣神社○當國淺井郡馬上村アリ馬上神社アリ郡タガヘリ

弓削神社

「姓氏」弓削宿禰神饒速日命之後也

志呂志神社

○在ニ鴨村ー當ニ永田村北東ー也

波尓布神社

「三實」作ニ埴生女屋神ー○阿波國建島女祖命神社

大水別神社

大野神社

○伊香郡ニモアリ

「姓氏」大野朝臣豐城入彦命四世孫大荒田別命之後也○大荒比古神社當郡○在ニ大野村ー

小海神社

大寸神社

○美濃國多伎神社○蒲生郡ニ長寸神社アリ○信友按大寸舊訓ニオホ子　オホエ　オホ爾　オホ禾ナドアリエ爾禾トモニ子ノカタカナノ誤レルナルベシ舊印本ニ大寸イニ大元トアルモ訓ノ子ヲ一本ノ字ト心エタル也其ヲ「秘釋」ニ大元非作レ寸トアリ

荒椋神社

三重生神社二座

○國圖三重生村アリ○丹後國三重神社

槻神社

○武藏國調神社○伊香郡神高槻神社

長田神社

宇伎多神社

○國人云仁和寺村邊ニオキダ村アリト云ヘリコレナルベシ○ウトオト通フ例

[姓氏]熊野連饒速日命孫味饒田命之後也

箕嶋神社

大川神社

小野神社

○今曰ニ小野村ト俗曰ニヲナバ村ト○滋賀郡小野神社

麻知神社

櫟原神社

○伊香郡甘櫟前神社

大田神社

○在ニ大田村ー大田天神　[姓氏]大伴大田宿禰天押日命之後也

鞆結神社

[和鈔]鞆結止毛由比　○信友按楯ヲ製ルヲ縫フト云ゴトク鞆ヲ製ルヲ結フト云カ又手結足結ノ例ニテ鞆ヲ手ニ巻事ヲ結フト云歟

日置神社

津野神社

[和鈔]角野都乃郷[姓氏]建内宿禰郡野宿禰命○南按建内宿禰下蓋脱男郡當作都[續紀]廿五高島郡前少領角家足

大荒比古神社二座

[姓氏]豊城入彦命四世孫大荒田別命

大前神社

○越後魚沼郡大前神社下野都賀郡大前神社今宇津宮○[國圖]大嶋觀音ナリ又國人云大崎山ト云フアリ

坂本神社

大處神社

[和鈔]大處郷○　若狭國遠敷郡□□村大處明神式内ニハアラズ古キ社ナリ

麻希神社

毛野君奈良弟直若君之後也［書紀］稚古紀近江脚身(アミ)臣飯蓋

太水別神社(オホミヅワケノ)

○信濃國武水別神社○高島郡ニ大水別神社アリ

天川命神社(アマツカハ)

○今アマス川アリ

高島郡(タカシマノ)卅四座 大二座 小卅二座

水尾神社(ミヲノ)二座 並名神大 月次新嘗

［續紀］延暦三年八月壬寅叙ニ近江國高島郡三尾神従五位下一 按遷都之年也［三實］貞觀五年閏六月廿七日授ニ近江國正五位下三尾神從四位下ニ［古事記］袁本杼命自ニ近淡海國一令ニ上坐一而授ニ奉天下一也云云娶ニ三尾君等祖名若比賣一生ニ御子大郎子次出雲郎女ニ［書紀］垂仁紀喚ニ綺戸邊一生ニ磐衝別命一是三尾君之始祖也［拾遺集］「高島や水尾の中山そまたててつくりかさねよ千世のなみくら［元亨釋書］十八新羅明神條出ニ水尾明神一然者三尾本ノマヽ［神名帳］

頭注 高島郡内有ニ大河一件河南水尾猿田命名ニ河内社ニ河北天鈿女命也兩社分ニ三尾川一勸請也○繼體天皇有ニ近江國高島郡三尾之別業一按是別業之迹而祭ニ繼體一乎［和鈔］三尾 美乎 ○水尾村水尾大明神

阿志都彌神社(アシツミノ)

［和鈔］善積郷○信友按今モ善積庄(ヨシヅミ)アリ葦(アシ)ヲヨシト云カヘタル例ニテ惡(アシ)ニ通フ言ヲ忌テ唱カヘタルナルベシ［書紀］天武紀近江脚身臣飯蓋

與呂伎神社(ヨロギノ)

○今在ニ萬木(ユルギ)(ヨロ)村一［六帖］高島や萬木(ユルギ)の森の鷺

田部神社(タベノ)

［書紀］欽明紀三十年遣ニ膽津 壬辰爾之甥也 撿ニ定白猪ノ田部ノ丁ノ籍ニ［同］天武紀近江別將田邊小隅［姓氏］田邊史豐城入彦命四世孫大荒田別命之後也［同曰］上毛野臣同祖○伊香郡大浴神社下見合○當郡大荒比古神社

熊野神社(クマノノ)

石作神社
「三實」貞觀七年伊香郡人石作部廣繼女
玉作神社
意富布良神社
「姓氏」大村直大名草彦命男枳彌命之後也
伊波多岐神社
高野神社
「姓氏」高野ハ大名草命之後也
鉛練日古神社
○舊印本鈴練○秘釋ニ鈴鋁日古鋁作練非トアリ○日野本鈴練「書紀」繼體紀夫智奈麻禮奚奈麻禮○按奈麻禮ハ新羅官名也鉛練日古ハ天日矛歟○在ニ余吳湖一白木明神歟
大椋神社
○大和國大倉比賣神社「長秋詠藻」曰ニ大藏山一是乎

黑田神社
○在ニ黑田村一
丹生神社二座
「姓氏」息長丹生眞人稚渟毛二俣王之後也○按坂田郡息長○丹生谷村「和鈔」上丹加無都爾布郷坂田郡ニアリ
神高槻神社
天石門別命神社
「古事記」上天石別神亦名謂ニ櫛石窓神一亦名謂ニ豐石窓神一此神者御門之神也
天比比岐命神社
草岡神社
意太神社
大浴神社
「姓氏」大網臣上毛野朝臣同祖豐城入彦命六世孫下

○栗太郡佐久奈度神社

甘櫟前神社

「姓氏」櫟井臣○高島郡櫟原神社

補大和高市郡甘樫座神社アリコヽモアマカシノサキト訓ベキ歟記傳廿五廿右モ說アリ

佐味神社

「姓氏」佐味朝臣上毛野朝臣同祖豐城入彥命之後也「續紀」近江國人志賀忌寸田舍麻呂賜二姓下毛野朝臣一豐城入彥命之苗裔也「書紀」繼體紀近江毛野臣

椿神社

佐波加刀神社

「三實」貞觀五年九月廿五日授二近江國正六位上葛野神從五位下一「古事記」日子坐之子袁邪本王者葛野別近淡海蚊野之別祖也應神御製知婆能伽豆怒「釋堯孝富士紀行」かとのと申所云々○信友按ニ加ヲ知トアル本ニヨレバモトハ佐ノ字一本ニ知トアル挍合セル本ニヨリテ誤テ加ヲ字ノ傍ニカケルニテ實ハ舊本知波加刀神社ナルベシ「三實」ニ云々上ニ引「古事記」云々上ニ引堯孝ガ「富士紀行」ニ云々上ニ引コレラヲ思フニ知波ハ千葉ニテ葛トイハン枕詞也應神御製ニチバノカツヌト詠セ玉ヘルモ枕詞也紀傳ニクハシサレバ加刀ハ地名也ナホ可レ尋

伊香具坂神社

○今曰ニコサガミ社ト在二山上一去二與古一半里許○當郡ノ地名伊香

與志漏神社

「和鈔」余領鄉ナリヨシロト唱フナルベシ

布勢立石神社

「古事記」若野毛二股王之子意富々杼王者布勢君等之祖也○在二布施村一「書紀」孝德紀天智紀持統紀富勢臣布施臣布師首

乃伎多神社

「姓氏」饒速日命孫味饒田命○石作神社可二併按一

○巨知人命
走落神社
足前神社
○犬上郡阿自岐神社
久留彌多神社
比賣多神社
[古事記]日子坐王之子菟上王比賣陀君之祖也[舊事紀]國造本紀淡海國造者彥坐王之後也○賣比多ハ比賣多ノ倒置歟古本ニハ比賣多トアリ
意波閇神社
○河內若江郡意伎部神社○波ハ若シクハ岐ノ誤ニテ意岐閇カ可レ考
阿加穗神社
[祝詞]長御膳乃遠御膳乃赤丹能穗爾聞食云々○在ニ赤尾村一
櫻市神社

○栗太郡佐久奈度神社
等波神社
○在ニ止羽村一
橫山神社
○橫山村
多太神社
兵主神社
赤見神社
[書紀]安閑紀山田赤見皇女[和鈔]野洲郡明見安加美在ニ南北一郷
波彌神社
[古事記]波多八代宿禰波美臣之祖也[書紀]天武紀十二年波彌臣
櫻椅神社

其頭乎○今曰二竹生島一【補】［帝王編年記］十一右廿二天平神護元年竹生島明神近江國淺井郡授二從五位上一誅二惠美大臣一之時合レ力之故也

伊香郡四十六座大一座小四十五座

伊香具神社名神大

［三實］貞觀元年正月廿七日從五位上勳八等伊香神從四位下［又曰］同八年閏三月七日近江國從四位下勳八等伊香神從四位上［姓氏］伊香連大中臣同祖天兒屋根命十世孫臣知人命之後也○今在二大濱伊香村一湖邊［帝王編年記］古老傳曰近江國伊香郡與胡鄉伊香小江在二鄉南一也天之八女俱二白鳥一自レ天而降浴二於江之南津一于レ時伊香刀美在二於西山一遙見二白鳥一其形奇異因疑若是神人乎往見レ之實是神人也於レ是伊香刀美卽生二感愛一不レ得二還去一竊遣二白犬一盜二取天衣一得レ隱二弟衣一天女乃知其兄七人飛昇二天上一其弟一人不レ得二飛去一天路永塞卽爲二地民一天女浴浦今謂二神浦一是也伊香刀美與二天女弟女一共爲二室家一居二於此處一遂生二男女一男二女二兄名意美志留弟名那志等美女名伊是理比咩次名奈是理比賣此伊香連等之先祖是也［和鈔］伊香伊加古［搜神記］十四豫章新喩縣男子見二田中有一六七女一皆衣二毛衣一不レ知二是鳥一匍匐往得二其一女一所レ解毛衣取藏レ之卽往就二諸鳥一諸鳥各飛去一鳥獨不レ得レ去男子取以爲レ婦生二三女一其母後使レ女問レ父知三衣在二積稻下一得レ之衣而飛去後復以迎二三女一女復得二飛去一。コノ事編年記ノ古老傳ト似タル事也又丹後風土記奈具社ノ古事モ相似タリ○正ト考ニ伊香ノ事ヲ云ヘリ

乃彌神社

○按中臣伊香津臣命子梨迹臣命編年記作二那志等美一乃彌等美語通○信友云此說諸ガタシサレド姑ク此說ニツキテイハヾ乃ハ刀ノ誤トスベシ又編年記ニハ伊香刀美トアリ

神前神社

大澤神社

天八百列神社

乎彌神社

矢合神社

○在二八相郡一○尾張中島郡ニ矢合ト書テヤワセト唱村アリ

岡本神社

○北郷有二高岡天神一［和鈔］岡本平加毛止［捻風土記］

片山神社二座

○在二片山村一○備前國片山日子神社

比伎多理神社

麻蘇多神社

［姓氏］彥坐命四世孫彥命征レ夷有レ功割二近江國淺井郡一賜レ之［和鈔］益田末須太

上許曾神社

大羽神社

○大濱村ト云フアリ

都久夫須麻神社

［類史］元慶三年三月二日壬辰近江國言ス木連理生二筑夫島神前一［伊呂波字類抄］竹生島在二近江國一此島ニ坐神依二中臣ノ奏上一件ノ神ニ奉レ授二從五位上勳八等一昔淺井姬ノ命與二氣吹雄ノ命一競レ勢爭レ力更去二丸邊一下ニ坐海中一其下レ海音稱云二都布々々一故云二都布夫島一卽件神凝二水沫一而爲レ磐積二風塵一而作（進イ）レ島又召二諸魚一令レ運二重石一字今云二魚崎一魚集之處也召二諸鳥一令レ落二殖木種一今猶衆鳥來集之峰也如レ此歷レ功長成レ林最初竹篠出坐故云二竹生島一爰海龍感來廻レ島七匝蟠繞鎮レ島首尾相咋每二其一匝一一神顯生住二於八方一今之大神及七所神子是也又此島有二大鮀一長千丈也纏レ島數廻首尾相咋又有二一蛇一長數丈也從二宇治川一登到二居此島之上一云々招提寺ノ僧行基爲二聖朝安穩國家鎮護一奉レ造二長二尺四天王像一卽稱二十堂一安二置四王一［帝王編年記］霜速（大イ）比古命之男多々美比古命是謂二夷服岳神一也女比佐志比女命是夷服岳神之姉在二於久惠峰一也次淺井比咩命是夷服神之姪在二淺井ノ岡一也是夷服岳ト與二淺井ノ岳一相二競長高一淺井岡一夜增レ高夷服怒拔二刀劔一殺二淺井比賣之頸一墮二江中一而成二江島一名二竹生島一

伊夫伎神社

「文實」嘉祥三年十月乙巳朔壬子近江國伊富岐神從五位下「三實」貞觀元年正月廿七日從五位下伊富岐神從五位上「又曰」元慶元年十二月廿五日授ニ正四位下伊富岐神從三位一○信友按貞觀元元慶元ノ間ノ追階史ニ漏タル也「古事記」天之吹男神「伊呂波字類抄」氣吹雄命「書紀」景行紀日本武尊聞ニ近江膽吹山有ニ荒神一云々山神化ニ大蛇一云々「帝王編年」霜速比古命之男多々美比古命是謂ニ夷服岳神一「三實」貞觀九年四月二日辛未遣ニ神祇大祐正六位上大中臣朝臣常道一向ニ近江國伊福伎神社一奉ニ弓箭鈴鏡一○美濃不破郡有ニ膽吹山一亘ニ兩國一乎

岡神社

○今在ニ彦根五三條町田中一俗曰ニ田中社一亦小原村中伊志岐村有ニ字賀野一「和鈔」長岡奈加郷平加郷同異不レ詳
○岡天皇社亦曰ニ若宮一

山津照神社

「三實」貞觀八年閏三月七日近江國從四位上山津照神授ニ從四位下一「扶略」延長六年五月日丙午近江國坂田郡山津照子乃明神位記請レ印○越前國杌山神社今立郡

淺井郡一十四座並小

鹽津神社

「和鈔」鹽津之保津郷

湯次神社

「和鈔」湯次由須木郷○今曰ニ湯次嶽一今ノ世嗣村明神乎「捻風土記」湯須支呪サ神社

波久奴神社

○今曰ニ波幾乃明神一

小江神社

「捻風土記」

下鹽津神社

〔姓氏〕石邊公云々見レ上○蒲生郡石部神社ノ處可レ勘

犬上郡七座 並小

阿自岐神社二座

○在二阿自岐村一〔和鈔〕安食鄕○出雲國阿須岐神社

多何神社二座

〔書紀〕伊弉諾尊搆二幽宮于淡海之洲一寂然長隱〔和鈔〕田可鄕〔元亨釋書〕釋慧勝云々寶龜之間游方至二近州御上嶺一陀我神祠側宿一舍云々可惜妄説ナリ〔永萬記〕田呵社

日向神社

○淸在按垂仁紀所レ出之倭日向武日向彥八綱田歟大和城上郡日向神社則彥八綱田也〔三實〕仁和元年近江國犬上郡少初位下神人氏岳〔姓氏〕神人大國主命五世孫大田々根子命之後也〔內藏寮式〕大神祭日向王子幣大和城上郡坐日向神社○按幣下脫料以下猶有脫字

都惠神社

〔舊事紀〕景行天皇々子大稻背別命ハ御杖ノ君ノ祖〔姓氏〕杖部造孝元天皇々子大彥命之後也○今曰二千代社一在二彥根ノ東四五町許ノ山腰一

山田神社

坂田郡五座 並小

〔姓氏〕坂田宿禰息長眞人同祖應神皇子稚渟氣二派王之後也天渟中原瀛眞人天皇天武御世出家入道法名信正娶二近江國人槻本公轉戶女一生二男石村一附二母氏姓一曰二槻本公一

山田神社

〔姓氏〕山田宿禰魏司空相之後也〔書紀〕皇極紀息長山田公奉レ誄二日嗣一〔姓氏〕息長丹生眞人稚渟毛二俣王之後也

日撫神社

〔姓氏〕火撫直ハ後漢靈帝四世孫阿知使主之後也○がうとう村ニアリ

命蒲生ノ稲寸之祖○在ニ桐原村ニ「和鈔」桐原郷○當國犬上郡彦根ノ地ヨシアリ

馬見岡神社二座

「姓氏」天津彦根命男天戸間見命「和鈔」筑前嘉摩郡馬見美牟萬「閑田耕筆」日野大宮ト云ヘルニ紀貫之主ノ梁簡銘アリ云々大嵩社者天穂日命神世之古趾也於レ是欽明天皇御宇六年覲レ場以創ニ祠於錦嶽ニ云々天慶八年乙巳八月二日從四位下行木工頭紀朝臣貫之謹誌神主出雲宿禰貞主云々右銘中ニ錦嶽トアルハ錦面山トモ綿向ガ嶽トモ云也云々或ハ奇日ノ峰又朝日山トモ云又大嵩トモ稱スルハ彦神山ヲ小嵩ト云フニ對ヘル名也トゾ祭神三座天穂日命天夷鳥命右二坐ハ式内也又武熊大人命一坐ハ式外也云々今ノ社地ヲ馬見ガ丘ト云フハ牧ノ馬ヲ撿スル處ナリシ故ナリ

奥津嶋神社 名神大

「三實」貞觀元年正月廿七日奥津嶋神從五位上「舊事紀」田心姫命亦名奥津嶋姫命「萬葉」十一淡海奥ッ嶋山今云ニ沖島ニ「紫式部家集」水うみにおいつしまといふすさきにむかひてわらはべのうらといふうみのをかしきをくちずさびに「おいつしままもりの神やいますらん波もさわがぬわらはべのうら

神埼郡二座 並小

乎加神社

○出羽國遠賀神社

川桁神社

「姓氏」鳥取角疑魂神三世孫天湯河桁命

愛智郡三座

輕野神社

「古事記」日子坐王子袁邪本王者近淡海蚊野之別祖也「和鈔」蚊野郷「姓氏」輕ノ我孫公治田連同祖彦今簀命之後也○伊豆國田方郡輕野神社

石部神社二座

「和鈔」必佐郷

長寸神社

○村ヲ寸ト書ハ古書ニ多シ下ニ長村神社モアリ又高島郡ニ大寸神社アリ補續後拾遺賀源兼澄「君かみよ長村山のさつき葉をやそうち人のかさしにはせん
○今愛智郡ニ長村ト書テヲサムラト云アリ可レ考

沙沙貴神社

「姓氏」沙々貴山ノ君ハ阿部朝臣同祖大彦命之後也「書紀」孝元紀立ニ欝色謎命一爲ニ皇后一生ニ大彦命是狹々城山ノ君等凡七族之始祖也「續紀」延暦四正近江國蒲生郡云々佐々貴山公由氣比「三實」元慶元十二ノ二蒲生郡云々佐々貴山公是野○在ニ菩提寺村ニ「鵞峰文集」江州佐々貴神社記曰沙々貴神社傳稱此社祀ニ少彦名命一且奉レ崇ニ仁徳天皇一今不レ得ニ其緣起一則未レ詳ニ其所ニ由來一云々宇多天皇五代孫從五位下左近將監源成頼初住ニ近江國佐々木莊一嗜ニ弓馬一其孫源次大夫經方初爲ニ此社神主一其嫡男兵庫助季定爲ニ武士一續ニ其家業一次男行定爲ニ神主一掌ニ社事一二流祖分其枝葉連ニ蔓於本州一而延及ニ他邦一者不レ可ニ勝計一也云々逮ニ鎌倉右大將領ニ闔國一而佐々木兄弟有ニ武功一其氏族世爲ニ江州守護一其後足利家之爲ニ武將一時佐々木氏族又有ニ舊勳一襲ニ領江州一故世世皆崇ニ此社一也永祿天正以來佐々木氏不レ能レ居ニ江州一故此社荒廢矣本社□者之言曰本社之外有ニ若宮聖宮一凡神輿三座云々今唯存ニ其三輿一而已云々貞和五年六月十九日位記云勅今奉レ授ニ正一位沙々貴神一其位記今猶有レ之又云昔有ニ神領八百石一蓋夫佐々木氏之所ニ寄附一歟既而減損及ニ東照大神君之治世ニ云々聞ニ其所一レ由新賜ニ封戸一百石一云々「和鈔」篠笥郷又□紀モ同ジ補「傳宣草」上廿八右神位記事　元應元年七月二日　宣旨　近江國沙々貴社　宜奉授正二位々記　藏人頭宮內卿藤原成隆奉　口宣一枚　沙沙貴社位記事　右奉入如件　七月二日　春宮大夫判奉大內記局

菅田神社

「姓氏」菅田首ハ天久斯麻比止都命之後也「又曰」天都比古禰命子天麻比止都禰命「古事記」天津日子根

「三實」貞觀十一年十二月廿五日近江國從五位上新川神正五位下「又曰」仁和元年九月廿二日正五位下新川上ノ神授ニ正五位上ニ○在ニ生福寺村ニ今屬ニ甲賀郡ニ○當郡下新川神社アリ

馬路石邊神社

「姓氏」石邊公久斯比賀多命後也「和鈔」驛家有南北○按馬路ハ驛家郷名也○石部鹿鹽神社ノ下說ニヨリテ考アルベシ古ヘ驛家ノアリシ處ナルベシ蒲生郡ニモ石部神社アリ

巳尓乃神社一座

蒲生郡一十一座大一座小十座

○淺井郡ニモ一十四座トアレドモ一本ニハナシ帳ニコノ外例ナシ但百ニハ一百トアリ

大嶋神社

「和鈔」大島○在ニ大島村ニ○陸奥國大嶋神社

奥石神社

「東關紀行」源親行笠原の野原打通る程に老曾杜といふ杉村あり」今老曾森「新拾遺」「くりかへしなほうき物は數ならてわか身老曾の杜のしめなは○當郡興津島神社興津ヲモおいつト歌ニヨメリ可レ見ニ合考ニ補「名所方角抄」老曾杜は鏡の宿より丑寅なり「木曾路名所」一廿九右老蘇杜は西往來のひがしに西老蘇東老蘇の二ケ村あり南老蘇は街道の南にありと云々「後拾遺」夏大江公資「あづまぢの思ひ出にせん郭公老その杜のよはのひと聲「西遊行囊抄」九上云老蘇村東西二村あり森は東老蘇右の方にあり

石部神社

「姓氏」石邊公云々○愛知甲賀野洲ノ郷ニモ石部アリ

大屋神社

「舊事紀」五十猛神亦名大屋彥神次大屋姬神○在ニ十禪寺村ニ大社也自力野ノ南方半里許今日野神社社家社氏兼帶國人說

比都佐神社

社注式奥入」曰社家緣起曰江州野洲郡三上大明神者養老元年天ニ降此所ニ就ニ三上ニ有ニ古今之文字ニ於ニ系圖ニ有ニ自他之兩流ニ凡尋ニ其本源ニ者於ニ堂館ニ有ニ圓頓八講ニ毎日異人來而聽聞其出所兜率天之化來也卽可レ居ニ此所ニ云々（中略佛説云ニタラズ）秋津洲內ニ火一水ノ明神其一也「東海道名所圖會」古ハ三上山ノ峰ニ坐ス後世麓ニ移ス

頭注 一說「萬葉」に「さゝなみの國つ御神のうらさびて」云々此山をみかみと云は國つ御神の坐せる處なればしか云ひ里をみかみと云なるべししかればみかみは御神の義なり○信友云ふこの山の頂三つに分れたるやうに見ゆ故に三上と云ふ歟大和の二上山も頂二つに分れたるやう也考合べし

小津（ヲツノ）神社

「舊事紀」日本武尊兒稚武彥命　尾津君等祖「諸社一覽」玉津正一位小津社宇賀魂也「社家註進」大宮本緣同上ニ宮素戔烏三宮大市姬○在ニ小津村ニ

下新川（シモニツカハノ）神社

「舊事紀」大水口宿禰母新川小楯姬○此社元在ニ立入村ニ今在ニ野洲村ニ當郡上新川神社アリ

兵主神社（名神大）

「三實」貞觀四年正月廿日授ニ近江國從五位上勳八等兵主神正五位下ニ「又曰」同七年六月十四日授ニ近江國正五位下勳八等兵主神從四位上ニ「又曰」同八年十二月廿六日授ニ近江國從四位上勳八等兵主神正四位下ニ「又曰」同九年二月廿七日授ニ近江國正四位下勳八等兵主神正四位上ニ「又曰」同十六年八月四日授ニ正四位上兵主神從三位ニ［補］「諸社根元記」兵主建仁之度正一位神也八千戈神云々○「日本紀略」天延二年五月七日云々（此文御上神社ノ下ニ引）○今俗訛ニ兵主ニ曰ニ閇（ヘイ）曾村天皇ノ社ニ世以ニ素戔烏ニ稱ニ牛頭天皇ニ○淸在云此案非也閇曾村ハ屬ニ栗太郡ニ今綣村大寶天皇社僧云素戔烏尊也「名神祭式」ニ載ラレズ

比利多（ヒリタノ）神社

○在ニ比留多村ニ

上新川（カミニフガハノ）神社

邊マデヲ石部ノ河原ト云シヨリ宿ヲ建ラレタル時石部ト號ラレタリ石部宿中ノ西ノ方ヲ平野町ト云フモトハ石野村トテ石部宿ノモト也此邊ヲ甲賀郡ヒモノ、庄ト云フ

川田神社二座 並名神大 月次新嘗

[三實]貞觀元年正月廿七日川田神從五位上[又曰]同五年十二月三日辛酉近江國阿渡河川田神授ニ從五位下ニ[姓氏]阿刀宿禰饒速日命孫味饒田命之後也

飯道神社

[三實]元慶八年三月廿七日授ニ從五位上飯道神從四位下ニ○今水口驛ヨリ西南一里ニアリ三大寺村ヨリ上ル事五十丁山上ニ飯道寺ト云フ寺アリ其處ノ本社ヲ飯道權現ト稱ス寺記和銅七年勸ニ請熊野三所ニ也近衞院久安年中飯道權現ノ勅額ヲ玉ヒ今寶藏ニアリ此時甲賀郡ノ惣社トナル

川枯神社二座

[三實]貞觀三年四月四日授ニ近江國從五位下川枯神正五位下ニ[舊事紀]彦湯支命亦名木開足尼此命淡海川枯姫爲レ妾生ニ一男ニ按出石心大臣命母ハ川枯姫也其子大水口宿禰

野州郡九座 大二座 小七座

御上神社 名神大 月次新嘗

○大御影命也此命天津彥根命之子也見ニ[姓氏錄]ニ饒速日尊天降之時卅二神供奉之內凡河內直等祖[古事記]日子坐王娶ニ近淡海之御上祝以伊都玖天之御影神之女息長永依比賣ニ生ニ子丹波比古多々須美知能宇斯王ニ[日本紀略]天延二年五月七日近江國解曰兵主三上神社自ニ去三月ニ打ニ大鼓幷鉦ニ之音經レ日不レ絕仍有ニ御卜ニ[三實]貞觀元年正月廿七日三上神從五位上[又曰]同七年八月廿八日授ニ近江國從五位上三上神正四位下ニ[又曰]同十七年三月廿九日授ニ正四位下三上神從三位ニ○在ニ三上嶽南西隅ニ社家相承所レ謂伊弉諾尊與天照大神之兩坐也仍稱ニ天御影日御影社ニ按上ニ引タル古事記ノ說トコノ御影ト云ヘル叶ヘリ[和鈔]三上 美加無 [二十二

橋ノ東ニアリ「永萬記」建部社神祇官葛蒲進「明應七年九月伯家所傳古文書」江州勢田鄉建部明神「和鈔」美作國眞島郡ノ健部備前國津高郡ノ健部

補神事再興事　載附考一十六左

甲賀郡八座大二座小六座

矢川神社

○今在二矢川村一「古事記」葦那陀迦神亦名八河江比賣○國人云深川村ノ氏神矢川大明神ト云フコレ也

水口神社

「三實」貞觀元年　正月廿七日　水口神　從五位上○今在二水口宿內一「舊事紀」大水口宿禰命出石心命子按水口川田川枯拈本非歟三社共物部氏社歟　出石心命ノ母川枯姬也

石部鹿鹽上神社

○柏木村○國人云今ハ此村ナシ水口宿ノ入口ノ馬場前ヨリ横田川マデ北ハ大道ヲ限リ南ハ川ヲ限リテ加志波木ト云フ即馬場前ニ今八幡ノ社アリ柏木ノ内ノ惣社產神也○大和國鹿鹽神社阿波國加志波比賣比賣神社補「東遊行嚢抄」三云横田川ヨリ水口マデヲ柏木ノ庄ト云此庄内十六箇村アリ柏木村ハ是ヨリ右ノ方半里ニアリ北脇ヲ其中ノ本鄉ト云フ然レバ柏木トハ此村ヲ云歟柏木ハ古ヘ飛鳥井家ノ知行ニテ應仁年中ヨリ文明年中マデ大納言雅親卿ノ閑居所ナリ○「勅使部類」石部驛館「關東海道記」藤原雅康明應八年五月江州柏木ノ鄉ニ社頭ヲフシヲガミテ「柏木に跡たゝより森の中にさこそ葉守の神もますらめ「新勅撰」夏部家隆卿歌に「夏衣行ても涼し梓弓いそへの山の松の下風「吐懷編」上十四丁ウ　石邊山ハ近江國ノ名所ナルヨシ云ヘリ又首書ニ「神名帳」近江國甲賀郡石部鹿鹽神社蒲生郡石部神社愛知郡石部神社野洲郡馬路石部神社四所同名見エタリ云々ナホ委シクハ此書ヲ披キテ見ルベシ「東海道名所圖會」石部驛中田間ニ鎭坐ス今兩社トシテ下ノ社ヲ吉彦明神上ノ社ヲ吉姬明神ト云ヘリ土人虚空藏ト稱ス祭神「倭姬世記」ニ見エタリ驛中兩側ニ分テ兩社ヲ產土神トス例祭四月上巳日○石部宿ハ元和年中後宿トナサレタリ古ハ横田川ヨリ此

「園太暦」ニ小杖（ツキ）社トアルコレ歟□巻ニ□記ス又當國式外ノ部小丈神可レ考
補園大暦小杖社云々春ノ巻表紙ウラニ記

高野（タカノノ）神社

「姓氏」高野ハ大名草命之後也○按記ノ直高野川瀬造並同祖○川瀬舍人祖「姓氏」川瀬神魂命五世孫天道根命之後也「書紀」天武紀河瀬舍人造賜レ姓曰レ連「書紀」雄略紀十一年可レ考

伊岐志呂（イキシロノ）神社

「舊事紀」饒速日命亦膽杵磯穂（サキシホ）命「梅松論」江州伊岐代ノ宮野路ノ宿ヨリ西湖ノ端云々○今曰ニ由岐志呂ニ

佐久奈度（サクナドノ）神社 名神大

「文實」仁壽元年六月壬寅朔甲寅詔以ニ近江國散久難度神ニ列ニ於明神ニ「三實」貞觀元年正月廿七日佐久奈度神從五位上○今曰ニ櫻谷社ニ勢田南二里川下鹿飛（シノトビ）ト云フ處ノ落口ニ大瀧アリ其東岸ニ坐社也櫻谷社ト云ヮ又俗ニ櫻田社共ミタラシノ社共云フ毎年六月晦日茅ノ輪ノ秡祭アリ近郷ヨリ人集リテ甚賑ハシ川向ノ森ニ御旅所アリ○在ニ男山郷中村櫻谷ニ祭神瀬織津姫命也「拾芥抄」大七瀬佐久那谷辛崎近江「大祓詞」

建部（タケベノ）神社 名神大

「三實」貞觀二年三月辛亥朔近江國建部神列ニ官社ニ「又曰」同五年六月八日近江國正六位上建部神從五位下「又曰」同十年七月十一日授ニ近江國建部神從四位上ニ「日本紀略」應和二年六月九日乙未授ニ近江國坐建部神正三位ニ「書紀」景行紀日本武尊娶ニ兩道入姫皇女ニ爲レ妃生ニ稻依別王ニ是犬上ノ君武部君凡二族之始祖也云々日本武尊薨欲レ錄ニ功名ニ卽定ニ武部ニ也「古事記」景行段稻依別王ハ犬上君建部君等之祖トアリ御母近淡海ノ安ノ國造之祖意富多牟和氣之女布多遲比賣ト云フモ由アリ「續紀」神護二年七月己卯近江國志賀ノ團大毅少初位上建部公伊賀麻呂賜ニ姓朝臣ニ「姓氏」建部公犬上朝臣同祖日本武尊之後「扶桑見聞私記」十八壽永二年七月廿三日ノ祭當國ノ一ノ宮建部社ノ森中ニ陳シタリ○一宮也勢田

中將平朝臣貸盛判從三位越前守平朝臣通盛判從三位行右近衞權中將平朝臣惟盛判云々前內大臣從一位右大將平朝臣宗盛從二位知盛所存依レ有レ之不レ加ニ判形一之由脇書有レ之（補）[吉記]壽永二年七月傳聞平家公卿連署以ニ日吉社一爲ニ氏社一云々（山城國葛野郡平野神社條可ニ併考一）[杜史抄]下（廿四ウ）神事部（中略）近則壽永二年日吉諸神并丹生高野明神等被レ奉ニ階級一云々[諸社根元記]日吉御位記大宮（元慶四正一位）二宮（壽永二正一位）聖眞子（建長二正一位）八王子（建長二正一位）客人（建長正一位）十禪師（建長二正一位）三宮（建長二正一位）[玉海]（壽永二十十）傳聞去夜日吉諸社被レ加ニ一階一云々二宮八王寺客人宮十禪子大行事牛御子下八王寺早尾

小椋神社（ヲクラノ）

[三實]貞觀五年十二月三日近江國小椋神授ニ從五位下一○遠江國子倉神社

栗太郡八座（大二座小六座）（クリモトノ）

○書紀ニモ栗太トアリ

蘆井神社（イホノ井ノ）

○丹波氷上郡ニ同名アリ○當國大津人村井薰古云五百井神社ト彫タル石ノ手洗鉢ヲ掘出セリ神名式バカリ別ニシタル印本ニ當社ヲ廬井ト作ルガ是ニテ此社ナルベシト云ヘリ（補）[夫木]雜六（讀人不知）「あふみなるいほの井川の水すみてちとせのかげのみえわたるかな

意布伎神社（イフキノ）

小槻大社（ヲツキノオホヤシロ）

[三實]貞觀十七年十二月廿七日丙子近江國栗本郡人前ノ伊豆權目正六位上小槻ノ山ノ公良眞等並賜ニ姓阿保朝臣一息速別命之後也○垂仁皇子息速別命[權記]長德元年十月十日下ニ給田上御網代司小槻重兼苑ニ朔甲可千秋可補○信友按ニ小槻大[神]社歟伊勢度會郡川原大社ヲ一本ニ川原大神社トアリ但[齋宮式]ニハ神ノ字ナシサテ大社トアルハコノ小槻ト出雲ノ杵築大社ト上ニ引ル川原大社ト三ツアルノミナリ

小槻神社（ヲツキノ）

三輪大田々根子命之後也

小野神社二座 名神大

[續紀]寶龜三年四月己卯震ニ西大寺西塔ニト之採ニ近江國滋賀郡小野社木ニ構レ塔爲レ祟充ニ當郡戸二烟ニ [類史]弘仁四年十月丁未 小野朝臣野主等言猿女之興國史詳猨女養田在ニ 近江國和爾村ニ[續後紀]承和元年 二月辛丑 小野氏神社在ニ 近江國滋賀郡ニ勅聽下彼氏五位以上毎レ至ニ春秋之祭ニ不レ待ニ官符ニ永以往還上[又曰]承和三年五月庚子授ニ無位小野神從五位下ニ依ニ遣唐副使小野朝臣篁申ニ也[又曰]承和四年二月癸卯勅聽下大春日布瑠粟田 三氏五位以上准ニ小野氏ニ春秋二祠ノ日不レ待ニ官符ニ而在中 近江國滋賀郡氏神社上[三實]貞觀四年十二月廿二日近江國正五位上小野神授ニ從四位下ニ[姓氏]在京皇別小野朝臣大春日朝臣同祖彦姥津命五世孫米餅搗大使命之後也 大德小野朝臣妹子家ニ于近江國滋賀郡小野村ニ因以爲レ氏日本紀合[古事記]天押帶日子命者小野臣之祖也○姓氏錄ニ小野朝臣云々上ニ引レ之 小野臣妹子雄略十五年唐國へ御使ニ遣ハサレタル時カノ國人蘇因高ト稱ヘル事ミエタリサヌノイモコト名告タルヲシカ聞ナシタルモノ也シカレバ此神社モ地名モ舊ハサヌト呼タリシモノナルベシ○山城愛宕郡小野神社小野氏ニ由アリ 上註コヽニ見合ベシ 又近江高島郡ニモアリ

日吉神社 名神大

[三實]貞觀元年正月廿七日近江國從二位勳一等比叡神正二位從五位下小比叡神從五位上[又曰]元慶四年五月十九日奉レ授ニ正二位勳一等大比叡神正一位從五位上小比叡神從四位上ニ[古事記]大山咋神亦名山末之大主神此神者坐ニ近淡海國之日枝山ニ亦坐ニ葛野之松尾ニ[懷風藻]作ニ禪叡ニ○釋最澄入唐歸朝創建ニ延暦寺於比叡山ニ擬ニ異邦之天台山ニ亦以三天台有ニ山王祠ニ因日吉神社稱ニ山王ニ[臨時祭式]比叡[廿二社註式]當社鎭座年紀不ニ分明ニ云々[釋書便蒙]或云小比叡者謂ニ 西塔横川 之中間ニ也[神社考]日吉事詳也[扶桑見聞私記]十七敬白可下以ニ延暦歸依ニ准ニ氏寺ニ以ニ日吉社ニ尊崇如ニ氏社ニ一向仰中天台佛法上事云々壽永二年六月日 從三位行右近衞權

神名帳考證　廿二

延喜式卷第十之一　東山道第一

神名下　東山　北陸　山陰　山陽　南海　西海

東山道神三百八十二座

大四十二座就レ中五座預二月次新嘗祭案上一

小三百四十座

近江國一百五十五座

大十三座

小一百四十二座

滋賀郡八座大三座小五座

那波加(ナハカノ)神社

○那波加神社配二雄琴神社一爲二小槻氏神一相傳那波加者宇賀御玉ノ神雄琴者今雄ノ宿禰也在二坂本苗鹿(ナウカ)村一苗鹿大明神或曰天太玉命［山門堂社記］首楞嚴院俗曰二横川一在二大寺北一相去八九里安置云々不動毘沙門像各一體此不動ハ佛師明定所レ造也苗鹿柏木造レ之云々仁安四年二月五日亥時燒亡云云大師最初建立之時内陣柱一本苗鹿明神所レ令レ奉レ加給一也以二其本例一今度云々於二内陣柱一者苗鹿樹林之中撰出可レ取レ之而神慮難レ測先法施以後申請可レ切也云々十六日横川學徒五十人參二詣苗鹿社一百座仁王講修レ之伐二料木一行二法施一有二饗膳一云々杣工等相共杜二本撰出切レ之柏木也重又一本撰足合三本也今一本不レ足而飯室氣燒(ケヤキ)一本切レ之合四本也云々［補］［眞加堂緣起］上十五右天長年中志賀郡苗鹿明神覺大師ニ對面アリテ如法堂番神入二衆望一請アリケル時柏木柱一本彼明神ヨリ助成アリ云々

倭(ヤマト)(シトリノ)神社

○信友按倭トノミアリテシトリト訓ヲツケタルハモト倭文トアリタルニヤ

石坐(イハヰノ)神社

神田(カンダノ)神社

○今在二堅田一○亦曰二伊豆大社一神田大明神伊豆大明神［三實］貞元四年眞神田全雄賜二姓大神朝臣一大

槌命毗那良珠命大己貴命建御名方命事代主命五神ヲ祭ナドイフ神庫ニ八田知家小田持家等ガ寄タリトイフ物モアレバ其前ヨリ世ノ崇奉有シ事シラル

三枝祇神

「三實」貞觀十七年十二月廿七日丁丑授二常陸國正六位上三枝祇神從五位下一「常誌」今不レ知二所在一「郡鄉考」三枝神ハ加渡山ノ中宮ニテ其棟札ニ三枝神社ト識セリト云フ

高來神

「風土記」從レ此（雄栗）以西高來里古老曰天地權輿草木言語之時自レ天降來神名二普都一大神巡二行葦原中津之國一和二平山河荒梗之類一大神化道已畢心存二歸天一隨レ身器仗（俗曰二伊門一（門惠））甲戈楯劒及所レ執玉珪悉皆脫屣留二置此地一即乘二白雲一還上昇二蒼天一レ之（已下略）「郡鄉考」今信太郡竹來村ニアリ按ニ其村中ニ楯ヌキ山ト云フモアリ祠ハ相殿三神ニテ竹來三社ト稱ス又雷トイフ所アリテ一年其他ノ荒榛ヲ開墾セントシケルニ宮居ノ趾ニテ礎石現存ス因テ開墾ヲ廢セリト云フ雷ノ名ニ據レバ武甕槌天兒屋根ヲモ配祭セシニヤ圓密院永和元年信太庄上條下條寺社供僧等言上狀ニ就中木原竹來兩社者庄內第一之宗廟也トミユレバ其頃モ崇奉ハ怠ラザリシナリ

神ニテ風土記ニ郡東國社此號ニ縣祇ートアルゾ此神ナルベキ

於岐都說神

[三實]仁和元年三月十日授ニ常陸國正六位上於岐都説神從五位下ニ[常誌]今不レ知ニ所在ー[和鈔]茨城郡大津郷行方郡藝都郷[郡鄕考]今息栖村息栖明神ナリ按香取社文永中文書於岐栖社一宇トアル是ー證ナリコレハ香取攝社ニモ此社アル也中略此地ハ幡麻郷ノ内流海ニ臨メルノ最ナレバ此名アリ今イキストイフハ何ノ比ヨリ誤リケン新和歌集笠間長門守時朝「鹿しまがたおきすの杜のほとゝぎす船をとめてぞ初音きゝつる

村上神

[三實]仁和元年九月七日戊子常陸國從五位下村上神從五位上[常誌]今不レ知ニ所在ー○同書々入云筑波山東有ニ村上山ー疑是其舊跡歟[郡鄕考]今新治郡染谷村龍神山ノ神也山ハ染谷村上二村ノ上ニ跨レルヲ以テ又村上ノ龍神山トモイフ按ニ山上ニ二大石アリ君門龍門ト唱フ其下ニ洞穴アリテ深サ測ルベカラズトイフ是ヲ以テ龍神山トハ稱スルナルベシ

菅田神

[三實]仁和三年五月十六日己丑常陸國正六位上菅田神從五位下[和鈔]河内郡菅田郷○土浦人色川三中曰今新治郡上境村ニスガタミ明神アリ境内ノサマイカニモ古キ地トミユレバ是菅田神社ナル事疑ヒナシ此地ハ土浦ヨリ西方ニアリテ往古ハ河内郡ニ屬ル地ナル事アキラケシ又社頭ニ近代何人歟詠テ奉レル歌三首額ニ書テ掛タリ此ウタ三首トモニスガタノ神トヨメリサレバスガタミト訛レルハ此頃ノ事トミエタリ但社家ナシ近隣ノ寺院ニテ進退スト云ヘリ

郷造神

[三實]仁和三年六月廿八日授ニ常陸國正六位上郷造神從五位下ー[常誌]今不レ知ニ所在ー[郡鄕考]郷造神ハ眞壁郡倉持村ノ神祠是ナリトイフ社記武甕

佐波波地祇神社

[三實]作ニ佐波神ー　[社考]大津村ニ在[三實]貞觀元年四月廿六日辛亥正六位上佐波神授ニ從五位下ー[古事]速甕之多氣佐波夜遲奴美神按佐波々與ニ佐波夜ニ橫音通地祇遲奴美也[三實]貞觀十七年十二月廿七日授ニ常陸國三枝（信友云國誌枝下有ニ祇字ー）神從四位下ニ（又云同書四作レ五）云々此神　也按三枝祭卽率川祭也大和國率川阿波神社同神[年中行事秘抄]三枝名神卽大神御子神

式外舊社

河江神

[三實]貞觀元年六月廿八日丁酉常陸國正六位上河江神從五位下[常誌]今不レ知ニ所在ー　[郡鄉考][廿八社考]云今久慈郡川合村神祠曰ニ河井明神ー蓋江井國音相近疑是也」川合ハ山田川ト久慈川ト合流ノ地ナルヲ以テ名ヅク神名井ニ作ルハ此地ヲ河井ト云シ事モアリシカ佐竹系圖ニ佐竹義重河井六三郎忠遠ガ女ヲ娶ルトアルハ此地ノ人ニヤ果シテ然ラバ中世ハ地名河井ナリ久慈川ノ濱ナル故ニ河江ニ作ル事モアリシカ鹿島郡ニ井河ト云ヒシ所ハ今江河村ト云フ

飛護念神

[三實]貞觀十六年五月十一日戊戌正六位上常陸國立野神飛護念神國都神幷從五位下[類史]ニモ[郡鄉考廿八社考]按ニ飛護念ハ彦根ナルベシ古事記姓氏錄トモニ茨城國造ハ天津彦根命ノ後トアレバ國造其管內ニ奉祀セル神ニヤ或云陸奧一宮白河郡都々古和氣神社ハ一宮記神名帳頭註共ニ味耜託彦根命ヲ祭レルニテ今近津大明神ト云フ今眞壁郡坂井村近津明神モ同ジ稱號ナレバ同神ナルベシ此神ハ故古新治郡川曲ヲ堀開ケル時ニ今地ニ移セリト云傳テ續紀ニ川ヲ堀開ケル地ニ神社アルヲ紀スレバ舊社ナル事疑ナシモシ此祠ニハアラザルカ證ナケレバ何レトモ定メガタシ

國津神

[三實]見ニ于上ニ[類史]亦同[郡鄉考]今行方村國

造ノ棟札ニ佐白三所大明神トアリ其後天文永祿ノ棟札モ佐白也三白ハ近世改メシガ三所トハ阿武權現黒袴權現小聖權現也阿武ハ舊阿武山ニアリシノ稱也其餘ハ神像ノ樣ヨリヤ唱ヘケン其由知ルベカラン祭神モシリガタシ

茨城郡三座（並小）

夷針神社（ヒナバリノ）

○在二大戸村一［社考］同［廿八社］今廢不レ知二其所一或大戸村不レ詳祭神澳津彦命澳津姫命也（忌部氏神名考）［和鈔］夷針郷今國人ヒナハリト唱フ○中山信名云イシミ歟今和泉村ニ愛宕社アリ俗和泉ノアタゴト云大戸村ニアルハ後世ノ所爲也［郡鄕考］按今新治郡（古茨城郡）泉村ニ御朱印二石ノ牛頭天王祠御朱印三石ノ愛宕祠アリ二祠ノウチ何レカ此社ナルベシト云フ又上曾鯨岡等井白郷ナリシト傳フルハ夷針郷ノ訛ト見ユレバ葦穗山モ其郷中ニテ今足尾權現是ナルベシト云フ何レモ確證ナケレバ一定シガタシ

羽梨山神社（ハナシノヤマノ）

［三實］貞觀十二年八月廿八日戊申授二從五位下羽梨神從五位上一仁和元年九月七日戊子授二從五位上羽梨神正五位下一○在二岩間村一［和鈔］石間鄕［社考］岩村ニ在（○知雄云間字脱歟）［廿八社］在二宍戸鄕岩間村南臺山麓羽梨山一土人傳云昔此山也櫻樹爲レ林每春花盛開之時連乎如レ雲因名曰二花白山一後世謂二之花志山一訛也亦改爲二葉梨一俗謬耳祭神木花開耶姫命（社記）

主石神社（ヌシシノ）

［常誌］ニ式ヲ引テ主玉神社トス國史モマタ主玉ニ作ル主玉ハ新治郡鴨大神ノ御子神玉ノ神社ノ下見合ベシ［文實］嘉祥三年六月詔以二常陸國主玉神一列二於官社一［三實］貞觀三年九月廿三日授二常陸國從五位下主玉神從五位上一○信友云從五位下ノコト史ニミエズ［社考］大和田村ニアリ［廿八社］今屬二鹿嶋郡一在二大和田村一蓋縣邑流移今古不レ同故耳祭神大山祇命（社記）土人傳云昔有二一小石一宿夕而大高四五尺許皆以爲レ神因加二祠其上一號曰二主石大明神一今尙是爲二神靈一

多珂郡一座（小）

［三實］貞觀元年四月廿六日辛亥常陸國正六位上石船神授ニ從五位下ニ［社考］いはふね村ニ在［廿八社］今屬ニ茨城郡ニ在ニ石船山上ニ祠傍有ニ一大石ニ其形如レ船長一丈八尺餘幅一丈許其傍有ニ小石四十有八ニ悉作ニ小船形ニ所レ祭鳥石楠船神也

新治郡三座 大一座 小二座

稻田神社 名神 大

［常誌］在ニ稻田鄕ニ○衣關貫云在ニ上稻田村ニ［廿八社］今屬ニ茨城郡ニ在ニ稻田村ニ所レ祭奇稻田姬命［社考］同今祠ニ許町上是謂ニ奧宮舊址ニ○春村曰越前國坂井郡笠間神可レ考［西山遺事］卷五西山公御隱居後一年江戶へ御登候節笠間へ御懸リ御上リ被成候トテ新治郡稻田社ヲ御拜見有之此社ハ神名牒ニモノリテ尊社ナルヲカヤウニ零落致候段痛マシキ御事トテ神主善大夫ヲメシ何カト御尋問御懇意ナル仰事有テ神道學可レ申ヨシニテ則善大夫ヲ御家士津田兵藏信貞ガ弟子ニナサレ其後日月ノ幢ヲ御寄進祝詞ヲ納サセ給ヒ天下泰平將軍家御壽命ヲ御祈アソバサレ候

鴨大神御子神主神社 玉 文實三實

○主下［文實］［三實］有ニ玉字ニ［文實］嘉祥三年六月己酉詔常陸國鴨大神ノ御子神主玉ノ神列ニ於官社ニ［三實］貞觀三年九月廿三日甲午授ニ常陸國從五位下主玉神從五位上ニ○在ニ鴨村ニ［社考］ナシ［廿八社］在ニ中郡莊鵜毛邊村ニ今賀茂村也所レ祭大田々根子命○信友按此傳イトミダリ也［和鈔］新治郡巨神今國人ハオガミト云［仙覺萬葉抄］ニハ大神トアリ茨城郡主石神社トアル石ハ玉ノ誤ニテ此ト同神カ其處ノ下考合スベシ○衣關貫云在ニ羽黑村ニ鴨大神御子神社ト云フ［郡鄕考］云在ニ加茂部村ニ

佐志能神社

［續後紀］承和四年三月戊子常陸國佐志能神預ニ官社ニ以ニ此之中特有ニ靈驗ニ也［姓氏］佐白努公豐城入彥命孫大荒田別命之後也［社考］染谷村ニ在［廿八社］在ニ中原丸山麓高友村ニ呼ニ佐志能宮ニ祭神佐志能祖神也故祠取レ名焉［郡鄕考］今笠間城中ニアリ三白權現トイフ 按舊井田鄕ナルベシ 笠間綱久ガ文明九年三社再

故祠在ニ阿波山上之稱ニ矣所レ祭少彦名命高皇産靈尊子也

酒烈礒前藥師菩薩神社 名神大

○烈當レ作レ列乎○信友云列ヲ烈ト書ハ古書ニ例多シ礒前今イノマヘト唱フ「郡郷考」六段田六藏寺瑜祇經口傳奥書ニ貞和五年吉田郡逆頬神官書寫トアリ是酒列サカツラト可レ訓一證ナリ「文實」天安元年八月乙丑朔辛未在ニ常陸國ニ大洗礒前酒烈礒前神等預ニ官社ニ同十月乙丑朔己卯在ニ常陸國ニ大洗礒前酒烈礒前兩神號ニ藥師菩薩ニ名神「常誌」今亡云々寛文三年秋平礒邑人發ニ古塚ニ得ニ石棺ニ々内有ニ種々品物ニ云々塚外四面數百歩頃皆埋ニ陶器ニ狀如ニ牆址ニ老父相傳礒前明神墟云「社考」ひらいそ村ニ在少彦名命ヲ祭ル「廿八社」在ニ平礒村ニ酒列礒前所レ祭之神大洗礒前神與同ジ大己貴命少彦名命二神也通謂ニ之酒列大明神ニ「鹿志」光圀卿再興御社ヲ建玉ヘリ平礒村也大己貴少彦名兩神ヲ祀レリ○信友云上ノ大洗礒前ノ處ニ云ヘルト考合ベシ決テ少名彦神ヲ祀レル也サテ按ズルニコヽニ引ル常誌ニ云ル寛文三年ニ發キタル平礒村ナル云々ハ古塚ニハアラデ神寶ヲ藏タル石櫃ナルベシ有ニ種々品物ニト云ヘル中ニ石像モ坐ケンヲ心付カデヤ取放ラレケン神威ノ衰ヘ玉ヒケンコトカシコシ〳〵サテ其ハ酒烈礒前ノ舊社地ナリシヲ亂世ニ止事エズテシカ爲シコトノアリケンサテ陶器ヲ埋タル狀牆址ノ如シト云ヘルハ酒瓶ヲ列子タルニテ舊神社ノ巡ニアリタルナルベシ少名彦神ハ酒ヲ釀シ玉ヘル古實云々ノゴトクナレバコトサラ當社ニ由緒アリ酒列ト云ヘルモカノ酒瓶ヲ列子云々祀レルニヨレル地名ナルベシサラバコヽモ同ジ大洗ノ礒前ナルヲ鎭坐シテ後酒列ノ礒前ト唱ヘ分チタル也大洗礒前ト酒列礒前トハ其間凡一里計アリテ同ジ海邊ノ礒ノ前ナリトゾ

藤内神社

「常誌」今不レ知ニ所在ニ「社考」フヂキ村ニ在「廿八社」今屬ニ茨城郡ニ在ニ那珂庄藤井村ニ所レ祭經津主命又藤下有レ井清冷可レ愛

石船神社

那賀郡七座 大二座 小五座

○信友云當郡大社ノコト當國ノ社數總計ノ處ニ考ヲ記セリ

大井(オホヰ)神社

[古事]神八井耳命者意富臣常道仲國造等之祖也○按意富ト與レ大字通用[和鈔]大井鄕[社考]おほぶち村[鹿志]在ニ大井鄕ニ[廿八社]在ニ大井鄕ニ蓋今飯富村也乎崇德帝天治中改ニ大井ニ曰ニ横曾根又大部ニ近世改爲ニ飯富ニ屬ニ茨城郡ニ蓋縣邑流移今古不レ同故耳所レ祭之神健借馬命是仲國造之祖也按[常陸風土記]行方郡之東有ニ國社ニ是謂ニ縣祇ニ村中有ニ寒泉ニ呼爲ニ大井ニ之緣也

青山(アヲヤマ)神社

○今在ニ青山村ニ[常誌]今屬ニ茨城郡ニ[廿八社]今屬ニ茨城郡ニ在ニ青山村ニ同[社考]祭神五十猛命亦名大居彦命素盞嗚尊子也

吉田(ヨシダ)神社 名神大

○信友云細註一本無[文實]天安元年五月丁酉朔壬戌在ニ常陸國ニ從五位上勳八等吉田神授ニ從四位下ニ[三實]貞觀五年八月二日壬戌授ニ常陸國從四位下勳八等吉田神從四位上ニ元慶二年八月八日辛未授ニ從四位上勳八等吉田神正四位下ニ○傳曰日本武尊今在ニ藤柄村ニ[常誌]今屬ニ茨城郡ニ在ニ吉田鄕ニ[西山遺事]云々上ノ靜神社ノ下ニ引[廿八社]在ニ吉田村ニ祭神日本武尊云々二所別宮笠原神社在下距ニ吉田社ニ二十許町笠原村上祭神二座弟橘媛木花開耶姫命也世謂ニ之子安大明神ニ謂門神社 ○知雄云缺字如レ本恐坂歟 在下距ニ本社ニ十許町坂戸村上祭神木花開耶姫命堀河帝寛治四年宣旨坂戸祭料三斛云々後小松帝應永三年五月廿五日散位氏義寄ニ吉田鄕小沼田一段於笠原ニ[文書]

阿波山上(アハヤマノウヘノ)神社

[三實]仁和二年十二月九日癸丑授ニ從五位下阿波神從五位上ニ[和鈔]阿波鄕[廿八社]今屬ニ茨城郡ニ在ニ大山村ニ同[社考]隣ニ于粟山村ニ古老傳言昔者大山村呼爲ニ上粟山ニ粟野村呼爲ニ下粟山ニ祠卽在ニ二村之上ニ

立野神社 埜イ

「三實」貞觀十六年五月十一日戊戌授ニ正六位上立野神從五位下ニ「舊事」物部建彥連公立野連祖「國造」久自國造物部連祖伊香色雄命孫「社考」やつ村ニ在「廿八社」今屬ニ那珂郡ニ在ニ上小瀨村ニ在下去ニ今祠ニ可ニ五町ニ立野山上所レ祭級長戸邊命又曰級長津彥命與ニ大和國平群郡龍田立野祠伊勢風宮ニ同近世移在ニ白幢山ニ爲ニ鹿島祠相殿ニ通謂ニ之立野鹿島大明神ニ

筑波郡二座 大一座 小一座

筑波山ノ神社二座 一名神大 一小

細註今印本作ニ名神一大一小ニ非小板本與レ此同「續後紀」承和九年十月壬戌奉レ授ニ常陸國無位筑波女大神從五位下ニ「類史」神社部弘仁十四年正月廿一日丁丑從五位下筑波山神爲ニ官社ニ以ニ靈驗頻著ニ「文實」天安二年五月辛酉朔壬戌常陸國筑波山神二柱授ニ四位ニ「三實」貞觀十二年八月廿八日戊申授ニ常陸國從四位上筑波男神正四位下從四位下筑波女神從四位上ニ同十三年二月廿六日授ニ正四位下筑波男神從三位ニ同十六年十一月廿六日授ニ從四位下筑波女神從四位上ニ○陽峯埴山彥神陰峯埴山姬神「萬葉」九登筑波山歌「衣手ノ常陸國ノ二並ノ筑波乃山」云云「男神毛許賜女神毛千羽日給而」○按筑齊也古事記ノ歌都久夜多麻加岐「常誌」神社在ニ筑波郡山上ニ有ニ兩峯ニ南曰ニ陽峯ニ俗號ニ男體ニ北曰ニ陰峯ニ俗號ニ女體ニ萬葉集有ニ乎筑波之說ニ者以ニ乎與レ小俗訓相通ニ小筑波卽陰峯也○今稱ニ筑波權現ニ「釋書」釋德一闢ニ常州筑波山寺ニ「社考」筑波村ニアリ神社二座一ハ名神大一ハ小二座ノ中如レ此大小ヲ分タルコト帳中例ナシ「廿八社」所レ祭二座伊弉諾尊在ニ陽峯ニ伊弉册尊在ニ陰峯ニ通謂ニ之筑波大明神ニ攝社四座珠嶽祀ニ素盞嗚尊ニ其一小原本社在ニ吉野嶺ニ祀ニ蛭兒命ニ其一和多利社在ニ國割嶺ニ祀ニ月讀命ニ其一稻村社在ニ鷲峯ニ祀ニ天照皇大神ニ「風土記」所謂筑波飯名神乃此也世謂ニ之筑波六所大神ニ末社蠶影祠在ニ蠶養山ニ祀ニ稚產靈命ニ常陸命宮祀ニ長道磐神ニ連歌嶽祠俗謂ニ小男體嶺ニ祀ニ日本武尊ニ諏訪祠祀ニ健御名ニ方今淡嶋祠祀ニ少名彥命ニ稻田姬及大己貴命祠相並在ニ安座常祠側ニ凡六十六在與委難誌

〔三實〕仁和元年五月廿二日丙午從五位下靜神社授二從五位上一〔和鈔〕倭文郷〔書紀〕倭文此云二之頭於利一〔釋紀〕倭文神坐二常陸國一依レ之倭文常陸國之所レ濟也〔主計式〕常陸國倭文三十一端〔萬葉〕十七神ノ社爾底流鏡之都爾等 里蘇信友曰常陸國 防人倭文部可良麻呂〔又〕十九倭文幣乎手取持〔又〕三 倭施乃帶〔書紀〕瀰於寐能之都波拖○倭文施帶爾常陸帶疑同物〔常誌〕今屬二那珂郡一傳云手力雄命〔社考〕靜村ニアリ日本武尊國中ノ二ノ宮也〔廿八社〕今屬二那珂郡一在二靜村一舊名靜織里在二久慈郡以西一上古之時初織二綾於此里一因名焉北有レ水丹石多在其色似二璘碧一因目二其所一爲二玉川一〔風土記〕今呼爲レ靜者逸二織字一耳祠山上祀二手力雄命一也云々高房神社在二社院一所レ祭建葉槌命（鹿島神宮所レ具）〔西山遺事〕寛文七年丁未十月吉田（日本武尊常州茨城郡吉田郷）靜（手力雄命同那珂郡靜村）ノ社ヲ修造仰付ラレ唯一宗源ノ神道ニ改メ乙女八人神樂男五人ヅツ指置レ云々社僧ヲ廢シ別寺ニ住セシメ其田ヲ以修葺ノ料ニ致シ申樣ニト神職ノ者ニ仰付ラレ候且靜ノ明神ノ瑞籬ノ邊ニ檜ノ大木アリ其本ヨリ銅ノオシテ一枚堀出シ候方二寸斗也印文靜神宮トアリ諸人奇ナル事ニオモヒ則言上申ケレバ西山公銘ヲ遊バシ是ヲ祠中ヘ御納メナサレ候

稻村（イナムラノ）神社

〔續後〕嘉祥二年四月常陸國久慈郡稻村神預二之官社一縁二水旱之時祈必致レ感〔三實〕元慶二年八月廿三日授二正六位上稻村神從五位下一仁和元年五月朔稻村神授二從五位上一○傳曰筑波山神之女也〔社考〕磯部村ニアリ〔常誌〕在二久慈郡一〔廿八社〕在二保内郷下野宮村一初在二上稻村一今ノ上野宮村也所レ祭面足尊惶根尊級長戸邊命三神也今尙有二小祠一世謂レ之爲二稻村本宮一文武帝慶雲四年所二經建一之舊趾也〔郡郷考〕今天神林村ニアリ按ニ此地ノ隣ヲ稻木村トイフ地勢天神林ト一村ノ如シ蓋シ其昔ハ一村ニテ稻木ト稱シ佐竹ハ御名ニノミ呼タルハ三村郷小田ト同ジキ所ナルベシ因テ神號モ稻木ト稱セシヲ神名式及國史トモニ稻村ニハ誤タルカ或云村ハ樹ノ省文ニテ誤ニハアラズト穩ナル説ナレドイマダ樹ヲ村ニ作リシ古寫本ノ例ヲミザレバ遽ニ從ヒガタシ

絁七匹「類史」弘仁八年閏四月常陸國人長幡部福良女授二少初位上一「國造本紀」三野前國造春日率川朝開化彥坐王子八瓜命定二賜國造一帳武藏國賀美郡長幡部神社

薩都神社

「續後紀」承和十三年九月丙午奉レ授二常陸國勳十等薩都神從五位下尋從五位上一「三實」貞觀八年五月廿七日庚午授二常陸國從五位上勳七等薩都神正五位上一同十六年十二月廿九日授二正五位上勳七等薩都神從四位下一「姓氏」佐代公 上毛野朝臣同祖 豐城入彥命之後也「常誌」今佐都宮明神也在二薩都鄕一或本云今作二都宮一ト云フト云ヘリ「社考」さとの宮ニアリ立定男命一名速布別命「廿八社」在二薩都鄕一今佐都宮也 祭神立速男命一名速經和氣命號二田薩都大明神一佐都東謂二之賀毘禮之高峰一○信友云「和鈔」今印本薩ノ字ヲ脱シ都ノ一字ニ作リ一本薩都トアリヨロシ「東鑑」佐都トアリサツト唱ベシ

天之志良波神社

「三實」貞觀八年五月廿七日庚午授二常陸國正六位上天白羽神從五位下一同十六年十二月廿九日授二從五位下天白羽神從五位上一「類史」同「古語」令二長白羽神一種レ麻以爲二青和幣一「舊事紀」同「常誌」今白羽村明神「廿八社」在二大田鄕白羽村一祭神天志良波神一名長白羽命金鵄命之裔也鎭座本記中世以二佐竹永義一或作二長義一爲二別當職一是謂二今宮大納言一○按佐竹家譜云 永義佐竹昌義十六代右京大夫義舜之次子也爲二眞壁大先達垂連院一住二小野邑一當二此之時一爲二志良波祠別當一稱二今宮大納言一蓋不二官位一也所謂大納言今猶二修驗者流宰相少將少納言之類一可二以知一

天速玉姬命神社

「三實」貞觀八年五月廿七日庚午授二常陸國正六位上天之速玉神從五位下一同十六年十二月廿九日癸未授二從五位下大速玉神從五位上一「常誌」今不レ知二所在一「社考」みづき村ニアリ「廿八社」今屬二多珂郡一在二水木村泉山一謂二之泉大明神一所レ祭天速玉命也以レ玉爲二神靈一矣「社記」○知雄按靈恐體

靜神社 名神大

ヨレバ石像二軀アリテ我是云々ト告玉ヘレバ大汝少彦名ノ二神ナルヲ帳ニ大洗磯云々ノ神社トアリテ一社トセリコハ大汝ノ石像ヲ當社ニ祀ラセ玉ヒ少彦名ノ石像ヲバ酒列ノ磯前ニ祀ラセ玉ヘルナルベシサテコソ二社共ニ天安元年八月官社ニ預シメ十月藥師菩薩明神ノ號ヲ授玉ヒタルナルベシナホ酒列磯前ノ處ニ證シイヘルト考合スベシ又按藥師ノ訓佛足石ノ歌ニクスリシトアルヲモ考ベシサテ本書兼永本朱書入ニ大己貴命トアリ

眞壁郡一座 小

大國玉神社（オホクニダマ）

「續後紀」承和四年三月戊子常陸國大國玉神預ニ官社ニ以ニ此神特有ニ靈驗ニ也同十二年七月辛未奉レ授ニ常陸國無位大國玉神從五位下ニ「常誌」在ニ大國玉村ニ（オクダマムラ）「永萬」國玉社「廿八社」在ニ笠間城之南五許里ニ大國玉村祭神二座東爲ニ男體宮ニ祀ニ大國玉命ニ西爲ニ女體宮ニ祀ニ活玉依媛命ニ「社考」大國玉命

信太郡二座 並小

楯縫神社（タテヌヒノ）

「常誌」今不レ知ニ其所在ニ「社考」今木原村ニアリ「廿八社」在ニ木原村ニ祭神彦狹知命 是爲ニ作盾ニ者見ニ于日本紀ニ 相傳信田郡第一宮也社側有ニ大杉樹ニ周員四丈五尺餘爲ニ神木ニ見者皆以爲レ奇

阿彌神社（アミノ）

「常誌」今不レ知ニ所在ニ「社考」今阿彌村ニアリ「廿八社」在ニ高來郷ニ今竹來村也祭神豐城入彦命「姓氏」大網（アミ）公豐城入彦命六世孫下毛野君奈良弟眞若君之後也「和鈔」阿爾郷トアル爾ハ彌ノ誤也○信友云舊緣起アリ別ニ寫アリ

久慈郡七座 大一座 小六座

長幡部神社（ナガハタベノ）

「常誌」今不レ知ニ所在ニ「社考」幡村ニアリ大幡主命多弖命ヲ祭ル「廿八社」在ニ大田郷ニ幡村舊曰ニ長幡村ニ祭神多弖命是爲ニ長幡部始祖ニ「古事」日子坐王子神大根王者長幡部連之祖「主計式」常陸國長幡部

本宮傍ニ又四座在ニ樓門ニ二座相向在ニ町左右ニ祭ニ高靇ニ謂ニ之龍神ニ云々［風土記］自ニ高天原ニ降來大神名稱ニ香島天之大神ニ下略又崇神天皇ノ御世大坂山ノ頂ニ白細大御服坐白桙ノ御杖取ラレテ顯レ玉ヒ御託言アリテ云々ノコトアリ［鹿志］相殿神右ハ經津主命左ハ天兒屋根命也神宮造營ノコトハ［風土記］淡海大津朝天智云々トアリ［續本朝文粹］藤原敦光望ニ式部大輔闕略ニ云々

大洗磯前藥師菩薩神社（オホアライソザキヤクシボサツノ　サツ印本）名神大

一本神上有ニ明字ニ［常誌］今按屬ニ茨城郡ニ蓋後人所レ爲也云々二神者本朝始敎ニ醫術ニ神故浮屠氏以ニ其名近似ニ附託欺ニ愚民ニ延及ニ朝廷ニ者矣［文實］齊衡三年十二月戊戌常陸國上言鹿島郡大洗磯前有レ神新降初郡民有ニ煮レ海爲レ鹽者ニ夜半望レ海光耀屬レ天明日有ニ兩怪石ニ見レ在ニ水次ニ高各尺許體ニ於神造ニ非ニ人間石ニ鹽翁私異レ之去後一日亦有ニ廿餘小石ニ在ニ向ノ石ノ左右ニ似レ若ニ侍坐ニ彩色非レ常或形ニ像沙門ニ唯無ニ耳目ニ時神憑レ人云我是大奈母知少比古奈命也昔造ニ此國ニ訖去往ニ東海ニ今爲レ降レ民更亦來歸

天安元年八月乙丑朔辛未在ニ常陸國ニ大洗磯前神預ニ官社ニ冬十月己卯在ニ常陸國ニ大洗磯前酒列磯前兩神號ニ藥師菩薩名神ニ［吐懷編］上九丁オ首書 按或人菩薩ヲ神社ニイハヘルヲ不審ス予ガ云是古風也親シク知ル處近江蒲生郡ニ二箇所俱ニ虛空藏菩薩ヲ神社ニ齋テ其處ノ土産神トス鳥居モアリ又山城ニテハ西岡ニ妙見菩薩ノ社アリ朱雀ノ權現ト云フモ地藏尊也此類所々ニアルベシト云ヘリ［和鈔］鹿島郡新居鄕那珂郡洗井鄕［社考］磯濱村云々［郡鄕考］今磯濱村大洗ニアリ［廿八社］在ニ水戸城之東三許里宮田鄕ニ村今磯所レ祭大己貴少彥名命○鹿島ヨリ十里餘北磯濱村也社アリ今モ此崎十里許ガ間ニ石ナキ國也然ルニ今モ毎年正月十六日ニ石ヲ取テ民用トスコレ一夜ノ間ニ此二神ノ多クノ石ヲ此崎ニヨセテ民ニ與ヘ玉フ也サテ十七日ニ見レバ又モトノゴトク石アリテ盡ルコトナシトゾ○知雄按モトノ如ク石アリテ盡ルコトナシトアリテハ聞エガタシ○信友按齊衡三年十二月ノ上言ニ或形像沙門トアルハ其石ノ形ニヨリテ云ヘルモノナルガカク見立タルニヨリテ菩薩號ヲ付テ申セル因緣ナルベシ穴賢　又按齊衡三年有レ神新降云々コレニ

國鹿島神宮司言大神之苗裔神三十八社在ニ陸奥國ニ菊多郡一磐城郡十一標葉郡二行方郡一宇多郡七伊具郡一亘理郡二宮城郡三黒河郡一邑廝郡三志多郡一小田郡四牡鹿郡一云々鹿嶋大神宮惣六箇院廿年間一加ニ修造ニ所レ用材木五萬餘枝工夫十六萬九千餘人新稲十八萬二千餘束云々又同條ニ造宮材木多ク栗木ヲ用フトテ宮邊ノ間地ニ五千七百株栽ラレシコトミユ「鹿志」今栗林村ニアリ同書云宮ハ北向ナレド御神體ハ東ニ向ヒオハシマセリ深キユヱアルコトナルベシ「撰集抄」西行治承ノ比鹿島明神ニ參リ侍レバ御社ハ南向ニ侍リ前ハ海ウシロハ山ニ侍リ云々ト云ヘルハ今ノ御社ノ有サマニタガヒオハシマセリ「諸國俚人談」ニ撰集抄ニイヘル鹿島ノコトハ同郷息栖社ノ風景也ト云ヘリ西行ガ暗記ノタガヒナルベシ「風土記」ニ神宮ノ地理ヲイヘル文地體高敞東西臨レ海云々トアルハ今ノ社地ニカナヘリ「神祇式」二十年一度改造云々「内藏寮式」云々「主税式」云々「紀略」ニ弘仁三年六月ノ條ニ正殿ノ外ハ破ニ隨テ修理セラレタルコト見ユ「東鑑」治承五年三月十二日云々養和元年十月十二日云々壽永三年正月廿三日云々文治三年十月廿九日云々建久二年十二月二十二日同四年五月朔日仁治二年二月十三日ノ下等ニ當社ノ事アリ「廿八社」昔置ニ神官六員於鹿島ニ其一曰ニ大宮司ニ其二曰ニ總大行事ニ其三曰ニ大禰宜ニ其四曰ニ火祝ニ其五曰ニ小祝ニ其六曰ニ和田祝ニ是謂ニ六官ニ自餘至ニ社家小禰宜ニ凡八十餘人云又云二鳥居有レ額正一位勳一等鹿島神宮十字也物忌宮在ニ神野村ニ自レ古置ニ女官一人ニ毎年正月七日夜丑刻物忌至ニ神宮ニ自開ニ郷鑰ニ入ニ内陣ニ修レ祭又云攝社「高房神社在ニ本宮前ニ是謂ニ倭文祠ニ又謂ニ之奏者神ニ祭神建葉槌命又名ニ天羽槌雄命ニ是爲ニ倭文遠祖ニ舊事紀「板神社亦潮宮在下神宮以東可ニ十五町ニ見目浦上今高天原也世謂ニ之膽目大明神ニ祀ニ高倉下命ニ亦手栗彦命云々「年神社在ニ本宮以北宮下村ニ祭神住吉三神也後加ニ神功皇后ニ謂ニ之四座大神ニ社記「阿須波神社在ニ潮宮以南ニ祭神阿須波神云々社記「沖洲神社在ニ本社之南息洲村ニ故亦謂ニ之息洲祠ニ亦謂ニ之遙宮ニ入ニ海中ニ有ニ鳥居ニ其傍有ニ二瓮ニ世人呼爲ニ息洲筒井ニ或謂ニ之男瓮女瓮ニ潮水至加ニ于其上ニ不レ得レ見去時人有ニ見レ之者ニ「八龍神社八座二座相向在ニ

頭注 「常陸國二十八社考」青山延彝 〇「常陸國郡郷考」十二卷宮本元球

鹿島郡二座 並大

鹿島ノ神宮 名神大月次新嘗

「續紀」寶龜八年七月乙丑叙二鹿島神正三位一「續後紀」承和三年五月丁未奉レ授二常陸國鹿島郡從二位勳一等建御賀豆智命正二位一同六年十月丁丑奉レ授二從一位一「文實」嘉祥三年九月朔奉レ叙二建御賀豆智命正一位一「續紀」天平十八年常陸國鹿島郡中臣部二十烟占部五烟賜二中臣鹿島連之姓一「扶見」十ノ養和元年三年十二日條諸國未靜謐セズ武衞御怖畏ナキニ非ズ仍テ諸社ニ御立願今日先以常陸國鹽濱大窪世谷ヨカヤ等也所々鹿島社寄奉云々同書十二武衞寄進奉寄鹿島社御領在二常陸國橘郷一云々養和元年十月日同書廿六元暦元年正月廿三日條鹿島社禰宜等鎌倉ヘ使者ヲ進テ申云去十九日社僧ノ夢相ニ云當處ノ明神義仲並平家追討ノ爲ニ京都ニ赴キ玉フト而ルニ同廿日戊刻黑雲寶殿ニオホヒ四方悉ク暗ニ向フガ如シ御殿大ニ震動シ鹿雞等多ク群集ス同書三十三元暦元年十一月廿五日云々同書五十六建久二年十二月廿六日云々同書五十八同四年鹿島社八廿年一度有二造替遷宮一云々同書六十四建久七年五月廿日云々同書六十六同九年七月廿一日云々「社考」國中ノ一宮ト云「常誌」在二鹿島郡一「續紀」天平寶字二年九月丁丑常陸國鹿島神奴二百十八人使レ爲二神戸一神護景雲元年四月庚子放二鹿島神賤男八十八女七十五人一從レ良云々寶龜四年六月丙午常陸國鹿島神一百五人自二神護景雲元年一立レ制置セシメ二一處一不レ許二與レ良婚姻一至レ是依レ舊居住更不二移動一其同類相婚一依二前例一同八年七月乙丑内大臣從三位藤原良經病叙二其氏神鹿島社正三位香取神正四位上一同十一年冬十月丁酉授二常陸國鹿島神社祝正六位上中臣鹿島連大宗外從五位下一十二月壬子常陸國言脱漏ノ神賤（鹿島神奴也）七百七十四人請編二神戸一ハ許之但神司」妄認二良民一規爲二神賤一云々「　　」弘仁十一（天叢歟）年八月甲子令二常陸國鹿島神社祝禰宜把レ笏同十二（弘仁十一年）年（疑可レ考）七月丁卯常陸國云々天長十年四月丁丑云々冬十月下總國言香取神禰宜推二常陸國鹿島一宜二遷代相續同令レ把レ笏「三實」貞觀八年正月二十日丁酉常陸

式外舊社

子松神

[三實]元慶三年三月九日下總國正六位上子松神從五位下

神名帳考證　廿一

延喜式卷第九之廿一　東海道第十五

常陸國廿八座

大七座

小廿一座

○信友按大八座トアルベキ也七座ナラバ那賀郡ノ吉田神社大トアル誤ニヤコノ大ナル本モアリサラバ那賀郡大二座トアルハ一座ノ誤ナルベシ

當國式社ノ註ニ[社考]ト標シタルハ鹿島郡樅山宿名主菅谷左衛門安永年中國中順拜記レ之小橋吉郎右衛門再正セル常陸式社考ナリ（補幹文云樅山宿モミ山ト土人唱ル地ナリ）[常誌]ト標シタルハ常陸誌ナリ[廿八社]トアルハ作者不レ詳常陸國廿八社鎭座ト云フ書也[鹿志]トアルハ鹿島神宮小傔仗北條時鄰撰文政六年ニ上木セル鹿島志也

岡田郡（ヲカダノ）一座小

○信友按此郡名[和鈔]ニナシ豐田郡ニ岡田郷アリ[民部式]首書云延喜四年十二月十日改ニ岡田郡ヲ爲ニ豐田郡ト アリ[拾芥]ニハ延喜四年又[秘釋]ニハ延喜四年三月十日改トアリト本書人モ同ジ共ニ誤レリ

桑原（クハバラノ）神社

[姓氏]桑原臣上毛野同氏豐城入彦命五世孫多奇波世君之後也○多奇波世[書紀]作ニ竹葉瀨ヲ大荒田別命之子也[和鈔]葛飾郡桑原郡

葛飾郡（カトシカノ）一座並小

茂侶（モロノ）神社

[三實]貞觀十三年十一月十一日授ニ下總國從五位下茂侶神從五位上ヲ元慶三年九月廿五日授ニ正五位下茂侶神正五位上ヲ○信友按[和鈔]結城郡茂治郷トアル治ハ若シクハ侶ノ誤ニテ茂侶ナラムカサラバコノ神社ノ號ニヨシアリ可レ考○春村云結城郡ニテハ地理協ハズ國人云今松戸ノ東北三里許ニ茂侶大明神アリ是歟又船橋大神宮ナリトモ又船橋ノ南一里半御山村ノ茂侶明神社家ハ御山氏ナリトモ云ト

意富比（オホヒノ　イフ印本訓）神社

[三實]貞觀五年五月廿六日授ニ下總國從五位下意富比神正五位下ヲ同十三年四月三日授ニ下總國正五位下意富比神正五位上ヲ同十六年三月十四日授ニ正五位上意富比神從四位下ヲ[國造]茨城國造祖建許侶命兒天布日意彌命○上總望陀郡飯富神社

相馬郡一座小

蛟蝄（ミツチノ）神社

蝄印本作レ蛧[和鈔]魍魎水神也日本紀私記云美豆波又云蛟和名美豆知[古事]闇淤加美神闇御津羽神[神代紀]上靇此云ニ於箇美ト○百木云魍魎又蝄ナド皆水神ニ坐テミツラミツハオカミナド訓ベキ中ニオカミト訓ベキニヤ[帳]ニ意加美神社マタ憶感神社ナドカキテ處々ニ見エタリ[常陸風土記]云々

深クナルトキハ治スルコトナシ丹羽誠軒寒川ニ久シク客居シテ見聞セル趣ナリトテ語レリ誠軒ハ吾藩臣也其病者初發傷寒ノ如クニテアレド發表シテ汗ヲ發セズ又戰栗アリ脈ハ狐ツキニ似タリ客居ノ中サル病人三人ヲ療シテ二人ハ歿シ一人ハ治セリト語レリ又云寒川ノ本村ニモ神明宮アレドソハ新田ナルヲ後ニ勧請シ祭レルナリトゾ文政十一五ノ廿記ス

蘇我比咩神社

我印本作レ賀○能登國官忍比咩神社○信友云「和鈔」匝瑳郡須加郷

匝瑳郡一座小

老尾神社

「和鈔」長尾郷○信友云老ト長ト字ノ草書似タリイヅレカ誤レルナラン歟○大和國長尾神社近江國與石神社今曰ニ老曽社一○國人向後盈正云八日市隣邑老尾村ニアリ神主四十二代連綿スト云リ

印播郡一座小

「和鈔」播作レ幡

麻賀多神社

「姓氏」豐城入彦命六世孫下毛君奈良弟眞名君按麻賀多者眞若田歟○國人云佐倉ニアリ非ナリ

結城郡二座並小

高椅神社

椅ト本作レ椅「姓氏」高橋朝臣大稻輿命之後也「和鈔」高橋郷

頭注下野人河野守弘曰高橋郷ハ小山朝政ノ時ヨリ下野國小山庄内ニアリテ都賀郡ニ屬リサテ小山家沒落ノ後ハ舊ノ結城郡ニ復シケルガ又元祿年中高橋禰良築中島中河原等ノ五箇村ヲ都賀郡ニ屬ラル圭田卌石ノウチ廿石神主持田美濃十石禰宜持田市正配當ス

健田神社

「姓氏」竹田臣阿倍朝臣同祖大彦命之男武停川別命之後也「和鈔」香取郡健田

神名帳考證　二十

延喜式卷第九之廿　東海道第十四

下總國十一座

大一座

小十座

香取郡一座大

香取神宮ノ名神大月次新嘗

[神代紀]今在二東國揖取之地一也[續紀]寶龜八年七月乙丑敘二香取神正四位上一[續後紀]承和三年五月奉レ授二下總國香取郡從三位伊波比主命正二位一同年十月丙辰下總國言香取神禰宜准二常陸國鹿嶋禰宜一遷代相續同令レ把レ笏許レ之[玉葉]寬喜元年五月一日二條中納言來申香取神主問レ事當時神主本流中臣也助道者大中臣也鹿嶋神主餘流也而康治之比中臣氏無二其仁一之時掠二申子細一拜任後三代雖レ似二相續一中臣氏互相交二補之一也就レ中助道三度補レ之其治纔六箇年也稱二家彌不吉一加之長者之始近例多改二補之一尤可レ被二改仰一歟當流之習以二嫡子一補二大禰宜一以二二男一被レ補二神主一仍二男無二其仁一[群載]七奉幣使差文　勸學院學堂差二進鹿島香取兩社奉幣使一事　學生正六位上藤原朝臣信頼　右依二宣旨一廣任辭退所二差進一如レ件　長治二年三月廿四日　學頭正六位上藤原朝臣宗行　[和鈔]香取

千葉チバノ郡二座並小

寒川サムカハ神社

[儀式帳]寒川比女命○信友云千葉郡寒川サムカハ村ノ鷹邑寒川新田サンカハシンデントイフ處ニ古社アリテ今ハ神明ト稱スレドモ式內寒川神社也村人ノ中ニテ鬮取ト云フテ撰定テ神事ニ預ル神體ハ所謂御幣ニテ祭日ニ新ニ調ヘテ田物ハ海ノ沖ヘ持出テ流ス也此神靈驗著キコト常ニテ無禮ヲナスコトアレバ其祟ヲ受テ病ミ出テ死ニ至ルモノ多シ其祟ヲ受タルモノ、眷屬ノ目ニハ龍トモ云ベキ狀ノモノ其家ヲ遶ル如クホノボノミユルコトアリ其祟ヲ受タル事ヲ早ク悟リテ患テ祈謝スレバ病治ルコトアレド其ヲ悟ル事遲ク病

シバ〳〵官使往來ノ便ニ隨ヒテ大社トナルト云リ今御朱印地ナリ○春村按ニ武藏國橘樹郡鶴見村杉山神社神事（正月十六日）唱歌ニ上總の（へ歟）八幡はおもしろやはんばにらちゆつてこまくらて云々ト唄フ此ハ望陀ノ方歟又市原郡ノ籾磨歌ニ「江戸ガミタクバ八幡ミコヤハタ八幡コケラブキ」ト謠フハ市原ノ方ナリ○市原郡市東庄八幡鄕御宮略緣起當社八幡大神は人皇十六代應神天皇を稱し奉る（中略）當宮は一國一社の八幡宮中興治承四年源賴朝公當社へ御願文速に御開運當社嚴重之御建立あり其後源義滿公今の神輿四社御寄進當御聖代に至りて　神君樣深く御信仰あらせられ百五十石の御朱印難有も　御代々樣今に於て御寄附の御宮美麗を盡し誠に神威の尊き事あげてかぞへがたく年々八十餘度之御祭事天下泰平御武運長久の祈願所なり（下略）天保六乙未年三月神主市川伊賀別當若宮寺「房玄法印記」觀應二年五月廿二日尾仙僧正申云去年十月地藏院僧正等同時當職被ニ恩補一畢而地藏院僧正既以ニ上總市原八幡別當職事一今度被レ成ニ安堵一之上者久遠壽量院同可レ被レ成ニ安堵一之由雖レ申レ之彼市原別當職者非ニ相論職一仍被レ成ニ安堵一了

［三實］貞觀十年之文引ニ子上ニ○天保十四年三月市原郡賀茂村賀茂大神宮御朱印地禰宜小幡山城云當社則高瀧神社也

頭注 木更津ヨリ六里ト云リ○良道云高瀧神社ハ五井驛ヨリ養老川ノ川上五里餘上賀茂村ニアリ神主平田市正ト云下賀茂村ハ五井ノ隣村ナリ又瀧ハ五井ノ川上栗又村ニアリ此邊スベテ高瀧庄ナリ

常世神

［三實］元慶元年之文引ニ子上ニ

氏神

［三實］元慶元年四月十七日上總國從五位下氏神從五位上

建市神

［三實］元慶八年七月十五日正六位上建市神田原神從五位下

頭注 ○良道云市原郡五井驛ヨリ一里半川上ノ東武士（タケシ）村ニアリ

田原神

［三實］元慶八年之文引ニ子上ニ

頭注 ○良道云望陀郡久留里邊俵田村ニアリ

八幡宮

○國人云當國八幡ノ舊社兩社アリ一ハ望陀郡木更津ノ近處ナリ是レ殊ニ古社ナリト云社ハ海ニ臨メリ社門石柱對文ス（文字ナシ）毎年競馬トテ村民馬ニ騎テ社前ノ路上ヲ奔走ス（一トセ馬上ノ村民シラズシテ撿見ノ役人ニ行アヒ大キニ叱セラレシ事アリト云ヘバコノ競馬ノ神事ハ九月比ノ事ナルベシ）一ハ市原郡八幡ニアリ往古隣村五所村ノ人都ニ至リテアル神祠ニテ神像ヲ奪ヒ立退キケルガ追手ノ者ニ窘ラレテセンカタナキマヽニ五所ノ浦ニ着玉ヘト祈念シテ像ヲ海中ニ投入ケリサテ其人國ニ歸ラヌサキニ五所ノ海中ニ毎夜光リ物アリ歸國ノ後其ヨシヲ聞テ網ヲオロスニハタシテ像ヲ得タリ卽其地ニ祭ル（此地ヲ今ハ元八幡ト稱ス）其後（白鳳二年ト云フ）今ノ地ニ移ス今ニ至ルマデ五所ノ人イタラザレバ神輿ヲ出ス事アタハズ此地國分寺ニ近キユヱニ

アリ
○信友云[延喜式]廿八嶋穴驛アリ[和鈔]鳴穴郷トアル鳴ハ嶋ノ誤也匝瑳郡ニ山名郷ト云モアリ[賦役令]鳴蒜トアルハ嶋蒜(アキツキ)ノ誤也コレ嶋ト鳴ト誤レル例也

姉埼(アネザキノ)神社

[三實]元慶元年四月十七日授二上總國從五位上勳五等姉前神正五位下一同八年七月十五日授二正五位下勳五等姉前神正五位上一○今在二姉崎村一

頭注國人云今屬二市原郡一

望陀(マワタノ)郡一座 小

飫富(オフノ)神社

印本作二飽富(アキトミ)一非也[和鈔]飯富於布飯亦飫之誤也[三實]元慶元年四月十七日上總國從五位上勳五等飯富神正五位下　同八年七月十五日授二正五位下飯富神正五位上一○今在二飫富村一[古語]天富命更求二沃壤一分二阿波齋部一率二往東土一播二殖麻穀一好麻所レ生故謂二之總一國古語麻謂二之總一今上總下總二箇國是也○按此郡輸レ市所レ謂望陀布是也飫富神社者麻殖神而天富命之社乎○信友按下總葛飾郡ニ意富比神社アリ飫富神社ノ神主ハ望田國造深川意美命ノ後也[國造]須惠國造深河意美命ハ建許呂命子也同書馬來田造云々天津彦根命後建許呂命子

式外舊社

前廣神代神

[三實]貞觀十年九月十七日上總國正六位上前廣神代神高瀧神並從五位下元慶元年閏二月廿六日上總國正六位上神代神常世神從五位下○信友云神代神ハ此前廣神代神ト同神トキコユルニ位階從五位下トアリテ貞觀十年ノ位ト同ジキハイカヾナホ可レ考

頭注○良道云前廣神代一社ニハ非ズ前廣ハ市原郡土井驛南方一里養老川ノ東西廣(サイヒロ)村ニアリ神代ハ今富村ノ東南五町許神代(カミシロ)村ニアリ但望陀郡ニ神代(ジンダイ)村アリ混ズベカラズ

高瀧神

神名帳考證　十九

延喜式卷第九之十九　東海道第十三

上總國五座

大一座

小四座

埴生郡一座大

玉前神社 名神大

〔三實〕貞觀十年七月廿七日上總國從五位上勳五等玉埼神從四位下元慶元年四月十七日授從四位上勳五等玉埼神正四位下同八年七月十五日上總國正四位下勳五等玉埼神正四位上〔姓氏〕忌玉作高魂命孫天明玉命之後也〔古語〕太玉命所率神名櫛明玉命〔著聞〕延久二年八月二日上總國一ノ宮ノ御託宣ニ懷妊ノ後既ニ三年ニ及ブ今明王國ヲ治ムル時ニノゾミテ若宮ヲ誕生スト仰ラレケリコレニヨリテ海濱ヲ見ケレバ明珠一顆アリケリ御正體ニ違フコトナカリケル○今在二一宮村一〔扶見〕廿五元曆元年正月條云八日上總國一宮ノ神主等申云云々願書云敬白上總國一宮寶前云々治承六年七月日上總權介平朝臣廣常〔永萬〕玉崎社○國人云今屬二長柄郡一

長柄郡一座小

橘神社

〔三實〕元慶元年四月十七日上總國從五位上勳五等橘樹神正五位下同八年七月十五日上總國稲神正五位下按福當レ作レ橘○知雄按元年同階可レ疑〔景行紀〕日本武尊進二相模一欲レ往二上總一海中暴風忽起王船漂蕩時有二從レ王之妾橘姫一云々言訖乃披二波瀾一入レ之云々號二其海一曰二馳水一

海上郡二座並小

嶋穴神社 アナ印本訓

〔三實〕元慶元年四月十七日上總國從五位上勳五等島名神正五位下

頭注 國人云今屬二市原郡一○良道 市原郡引田村長立野太郎兵衛 云五井驛姉崎驛ノ間嶋野村ニアリ社ノ後ニ古キ穴

天神社

○天押日命也國造阿波國造天穗日命穗日當レ作二押日一孫大伴直大瀧定賜○按景行天皇狩二此國一六鴈命賜二氏膳大伴部一以二大伴押日命裔一爲二國造一仍其故爲二大伴部一乎［續後紀］承和三年十二月辛丑安房國言安房郡人伴直家主云々［萬葉］朝夷郡上下丸子連大歲云々按丸子與レ伴同祖○信友云姓氏錄大伴宿禰條可レ考

莫越山神社

［姓氏］大彥命男彥背立大稻輿命○按莫越稻輿歟

下立松原神社

［姓氏］松原臣阿倍朝臣同祖大彥命後也

高家神社

○高魂命亦名高木神按太玉命當郡天神社天忍日命共高魂命子也

式外舊社

火神

［續後紀］承和十四年七月壬申加二安房國火神幷從祭神正稅穀一百斛一○信友云火一本作レ大尾張殿本作レ火印本火トカケルハ筆者ノ書風也他ニモアリ

從祭神

○續後紀ノ文上ニ見ユ從祭神一本ニ從神祭ニ作ル

神名帳考證　十八

延喜式卷第九之十八　東海道第十二

安房國六座

大二座

小四座

［續紀］養老二年五月甲午朔乙未割㆓上總國之平群安房朝夷長狹四郡㆒置㆓安房國㆒

安房郡二座並大

安房坐神社名神大月次新嘗

［續後紀］承和三年七月安房國無位安房大神奉㆑授㆓従五位下㆒同九年十月奉㆑授㆓安房國従五位下安房大神正五位下㆒［文實］仁壽二年八月乙未朔丙辰安房國安房神特加㆓従三位㆒［三實］貞觀元年正月廿七日安房國従三位勳八等安房神正三位［古語］阿波忌部所㆑居便名㆓安房郡㆒今安房國也天富命則於㆓其處㆒立㆓太玉命社㆒今謂㆓之安房社㆒故其神戸有㆓齋部氏㆒○今在㆓大井村㆒［和鈔］大井於保井 麻原乎波良 神戸加無乃安萬里 ○下野國寒川郡安房神社

后神天比理乃咩命神社大元名洲ノ神

［續後紀］承和九年十月奉㆑授㆓安房國無位第一后神天比理刀咩命神従五位下㆒［文實］仁壽二年八月乙未朔丙辰安房國大比理刀咩命神加㆓従三位㆒［三實］貞觀元年正月廿七日安房國従三位勳八等大比乃理刀咩命正三位○元名洲神○信友云一本作㆓洲崎神㆒○今在㆓洲崎村㆒與㆓安房社㆒三許里相隔海邊也［扶見］五治承四年八月廿九日條云武衛令㆑着㆓安房國平群郡獵島㆒云々其夜當國洲崎明神ノ御寶前ニテ御念誦有テ「源ハ同ジナカレゾ石清水セキアゲテタベ雲ノ上マデ」此明神ハ八幡大菩薩ヲ奉㆑祝同書十下㆓須宮神宮等㆒可㆕早令㆔安房國須宮免㆓除萬雜公事㆒云々可㆑令㆓免除㆒之狀如㆑件仍在廳等宜承知勿㆓違失㆒治承五年二月日○信友云一宮也今洲崎スサキ大明神ト云フ［永享記］太田道灌江戸城ヲ築キタルトキ安房ノ洲崎明神ヲ勸請シテ神田明神ト齋ヒタル由見エタリ

朝夷アサヒナ郡四座並小

式外舊社

倭文一神

〔文實〕天安元年九月乙未朔庚戌在二武藏國一正六位上倭文一神授二從五位下一

若雷神

〔三實〕貞觀六年七月廿七日授二武藏國一從五位下若雷神從五位上一

伊多之神

〔三實〕貞觀七年十二月廿六日武藏國從五位下伊多之神從五位上

河輪神

〔三實〕貞觀十七年十二月五日武藏國正六位上河輪神稻取神從五位下

稻取神

〔三實〕見二于河輪神下一

江戸神社

〔搖風〕豐島郡江戸神社大寶二年壬寅所レ祭素戔嗚尊也神貢百束三字田〔地考追加〕松原正珠云今江戸湯島ニアル神田明神ノ社地ニ地主ノ神トテ牛頭天王社三社アリ神輿渡御例祭六月也コレ古ニ所レ謂江戸神社歟○信友云永享記ニ太田道灌江戸城ヲ築キタルトキ安房ノ洲崎明神ヲ勸請シテ神田明神ト齋ヒタル由見エタリ

湯島神社

〔搖風〕豐島郡湯島神社雄略天皇御宇二年癸丑八月自レ官所レ祭天手力雄神也神貢百束三毛四字田〔地考追加〕松原氏云今湯島天滿宮社地ニ戸隱明神トテイト小サキ石ノ祠アリコレナラム歟

大龍村ト云フ處也當郷六十六村アリコレ土人ノ説也

椋神社（ムク印本訓）

[三實]貞觀十三年十一月十日授ニ從五位下椋神從五位上ニ○在ニ下吉田郷ニ[式考]蘆田村井椋大明神ト云フ祭神天ノコヤネノ命

兒玉郡一座大

金佐奈神社名神大

[三實]貞觀四年六月四日辛丑武藏國正六位上金佐奈神列ニ於官社ニ同八月丁酉朔六日壬寅授ニ武藏國正六位金佐奈神從五位下ニ[續紀]和銅元年正月乙巳武藏國秩父郡獻ニ和銅ニ○按佐奈者實也今在ニ金佐奈村ニ○又金鑽トモ書御朱印廿五石スサノヲノ命○正身云神社ノ後ノ山ヲ金華山ト稱ス大ナル岩ニ銅ヲ堀タル穴今現ニ存ス○信友云今金鑽大明神ト額ヲ打タリ里人カナサナト云フ鑽ヲサテト訓ハ古ヘ也

大里郡一座小

高城神社

[舊事]高皇產靈尊亦名高魂尊亦名高木命此國秩父國造高皇產靈尊之息思兼命之孫也[式考]熊谷驛高城大明神タカミムスビ尊神領除地七段

比企郡一座小

伊古乃速御玉比賣神社

○伊豆國賀茂郡伊古奈比咩神社[式考]伊古村阿波洲大明神○信友云當國ノ郡名ニ多磨兒玉埼玉アリ社ニ埼玉郡ニ前玉神社那珂郡ニ瓱𤭖神社アリ玉ニ由アルコトアルニヤ可レ考

那珂郡一座小

瓱𤭖神社

[出雲國造神賀詞]大穴持命和魂乎倭大物主櫛瓱玉命登名乎稱天[式考]廣木村正一位瓱𤭖大明神祭神甕速日神○信友云𤭖ハ甕ノ俗歟天武紀大甕娘田事紀天甕槍

上奈良下奈良ニ［式考］中奈良村奈良大明神豐城入彦命四世孫奈良別彦命也御朱印廿石或云諏訪宮又云熊野宮

賀美郡四座並小

長幡部神社

［古事］日子坐王子神大根王者長幡部連之祖［式考］下鄕長濱村ニアリ

今城青八坂稻實神社

［大嘗會式］秡穗田稻實ト部［舊事］奉レ獻ニ天瑞立今木ニ又云五十櫛亦曰今木刺繞於布都主劔［萬葉］五十串立神酒座奉［式考］本長濱村今城云々ノ三社ヲ合祭テ榛名大明神ト稱ス太田氏式社細見錄ニ見エタリ

今城青坂稻實荒御魂神社 太仰本

○信友云青下脫八字

今城青坂稻實池上神社

○信友云青下脫八字

秩父郡二座並小

秩父神社

［三實］貞觀四年七月廿一日授ニ武藏國正五位下勳七等秩父神正五位上ニ同十三年十一月十日授ニ正五位上勳七等秩父神從四位下ニ元慶二年十二月八日授ニ從四位上勳七等秩父神正四位下ニ［國造］知々父國造瑞籬朝御世八意思金命十世孫知々父彦命定賜ニ國造ニ○今稱ニ大宮妙見宮ニ御朱印五十七石［式考］棟札ニ神官秩父彦命トアリ［武話］秩父郡大宮町ノ北端ニ妙見宮アリ御朱印五十七石也神職代々薗田氏也コノ堺內ニ神宮司樣ト云フ祠アリコレ延喜式ナル秩父神社也祭神知々父彦命也ト云フ國造本紀ニ見エタリ本地主ニテ妙見ハ地カリナルベシサテ此神社上世ヨリ二月三日田植ノ神事アリ古雅也云々又六月十五日秩父神妙見二社ノ神輿洗ヒアリ云々［兵家茶話］日夏氏三峯社ハ秩父神社也日本武尊ヲ祭リ奉ル社ハナクテ石七ツアリユヱニ七石大明神ト云コレ奧ノ社也甲信武三國ノ界ニテ白鳥鄉

男衾郡三座 並小

小被神社

［式考］富田村ニアリ

出雲乃伊波比神社

［式考］伊多井村ニアリ○信友云兼永本朱書入云大己貴命也

稲乃賣神社

［書紀］粮名爲嚴稲魂女［和鈔］稲魂 宇介乃美太萬 ［式考］塚田神三島宮或云ハカク御木持村○信友云兼永本朱書入云稲田姫也

播羅郡四座 並小

白髪神社

［姓氏］彥坐命四世孫白髪王［式考］女沼村白髪大明神祭神清寧天皇社記曰繼體天皇勅ニ大伴室屋大連ー而毎州祭ニ白髪神社ー皇后者吉備稚姫命也 ○南按吉備稚姫者雄畧帝之妃此文蓋有脫誤歟 祭日九月朔日

田中神社

［式考］三箇尻鄉宮島村天神宮大ナムチ命五代孫建甕尻命

楡山神社

［字鏡］楡 爾禮 ［式考］女沼村聖天宮サルダヒコ御朱印五十石或云幡羅村

奈良神社

［續後紀］嘉祥二年十一月壬子武藏國播羅郡奈良神預ニ官社ー ○信友云此翌年又爲ニ官社ートアリコヽナルハ誤カサレド史異ナレバサラニヨク考ベシ

［文實］嘉祥三年五月丙申詔以ニ武藏國奈良神ー列爲ニ官社ー先レ是彼國奏請撿ニ古記ー慶雲二年此神放レ光如レ火熾然其後陸奥夷虜反亂國發ニ控絃ー赴又陸奥軍士載ニ此神靈ー奉以擊レ之所レ向無レ前老弱在レ行免ニ於死傷ー和銅四年神社之中忽有ニ湧泉ー自然卉出激ニ田六百餘町ー民有ニ疫癘ー禱而癒人命所レ繫不レ可レ不レ崇從レ之［國造］豐城命四世孫奈良別［姓氏］豐城入彥六世孫下毛野君 奈良○今熊谷驛乾二里有ニ

物部天神社

「續紀」神護景雲二年武藏國入間郡人物部直廣成等賜ニ姓入間宿禰ニ「新安手簡」當郡北野ト云フ處ニ七百石餘ノ地ニテ古ノ小手差原也太平記ニモ見ユ其處ニ物部天神社アリ祠官ヲ栗原氏ト云ヘリ公義ヨリ社領ヲ附ラル當國神社百餘社ノ管領也但公義ヘハ高麗郡武士天神ト題シタル札ヲ上ル也入間郡ナルニカク書來レルハ誤ナルベシ○今北野天神ト云フ天滿宮ヲ合祭ル毎年二月廿一日物部祭禮同廿五日天滿宮祭禮也「式考」或云的場村ニアリウマシマチノ命「武話」縁起云出雲伊波比神國渭地祇天滿天神小手差原明神四神ヲ合殿ニ祭ルト云ヘリ出雲伊波比國渭地祇ハ既ニ廢シタルヲ此社ニ合祭レル歟ト云ヘリ又云此社ノ西北河越近所入間川邊マデヲ籠手差原ト云フ舊地也豐島郡下練馬村ニモ小手差原アレド舊地ニアラズ又應永ノ文書ニ北野天神天文ノ文書ニ北野宮トアリ此文書神主栗原氏ニ藏ス以上撮要

國渭地祇神社

「式考」北野村ニアリオホナムチ

埼玉郡四座並小

「萬葉」十四佐吉多萬能津ニヲルフネノ云々

前玉神社二座

「神代紀」幸魂奇魂「舊事」大己貴命乘ニ天羽車大鷲ニ而覓レ妻云聚ニ大陶祇女子活玉依姫ニ○鷲宮乎「扶見」五十九建久四年十一月十八日武藏國飛脚參申云昨夕當國大田庄鷲宮之御寶前血流爲ニ凶怪ニ之由ト筮之處兵革兆云々十九日被レ奉ニ神馬於鷲宮ニ云々「和鈔」佐以多萬「式考」埼玉村今淺間宮祭神前立命忍立命

玉敷神社

○阿波國倭大國玉神大國敷神社二座「式考」騎西鄉騎西宿久伊豆大明神オホナムチ

宮目神社

○大宮賣神太玉命子也「式考」柏間村神明宮也

○阿波國建比賣神社又建島女祖命神社[三實]埴生女屋神是乎[式考]篠津村姫宮大明神タクハタチ、ヒメ或云樋川近邊神野村

横見郡三座並小

横見神社

[式考]黒岩村飯玉大明神倉稻魂命

高負比古神社

[和鈔]横見郡高生多介布[姓氏]武生宿禰文宿禰同祖王仁孫阿浪古ノ首之後也[式考]田中村瓊矛大明神オホナムチ

伊波比神社

頭注續後紀嘉祥二年二月今本作三月非五日庚寅奉レ授ニ武藏國伊波比今本作院神從五位下

[式考]黒岩村岩崎大明神○信友云次ニ出雲伊波比神社アリ同神ナルベシ

入間郡五座並小

出雲伊波比神社

[書紀]天穗日命此出雲臣武藏國造等遠祖也[姓氏]入間宿禰天穗日ノ命十世孫天日古曾乃日命之後也[式考]北野村祭神スサノヲノミコト○信友云上ノ伊波比神同神歟

中氷川神社

[姓氏]氷ノ連ハ饒速日命十世孫伊己灯宿禰之後也[諸社一覽]氷川社在ニ江戸四谷一此所入間郡也[式考]三箇島村長宮大明神ノオホナムチ御朱印十石或云氷川村ニアリ○信友云兼永本朱書云日本武尊東征之時勸ニ請稻田姫一也トアリ又前ノ氷川神社ノ下見合ベシ

廣瀨神社

[文實]嘉祥三年六月己酉詔以ニ武藏國廣瀨神一列ニ於官社一[姓氏]他田廣瀨朝臣大稻輿命男彥屋主田心命之後也[和鈔]廣瀨比呂世[式考]今高麗郡廣瀨大明神倉稻魂命

也有ニ神戸巫家等ニ[式考]三室郷宮木村ニアリ宮木大明神サルダ彦御朱印十五石或云殖田谷村ニアリ

氷川神社 名神大 月次新嘗

[三實]貞觀元年正月廿七日武藏國從五位下氷川神從五位上同五年六月八日授ニ武藏國從五位上氷川神正五位下同七年十二月廿一日武藏國氷川神從四位下同十一年十一月十九日授ニ武藏國從四位下氷川神正四位下ニ元慶二年十二月二日授ニ正四位下氷川神正四位上ニ[搖風]氷川神社神田百束十字田四圍觀松彥香殖稻天皇孝昭御宇三年戊辰所レ祭素戔烏尊大己貴命奇稻田比咩合三座也○信友云今モ此三神ナリト云傳フ[扶見]六十五建久八年四月一日淺草觀音堂ニ御參リ其ヨリ直ニ板橋ニ掛リ中仙道ヲ御通申刻大宮ニ御著神主御旅館ニ伺公シ御祈禱ノ卷數ヲ獻ズ御前ニ召神ノ由緒緣起ヲ御尋アリ神主申云此神大己貴命也云々大社ヲ勸請シ奉ル故ニ號ニ大宮ト或奉レ申ニ氷川明神ト此神昔出雲國氷川上ニ宮居シ給故ニ云々則神馬一匹奉納シ玉フ[續紀]神護景雲元年武藏國足立郡人大部直不破麻呂賜ニ姓武藏國造ニ[姓氏]大部首膽杵磯丹穗命後也又曰氷連饒速日命後也[讀耕集]大宮驛此地有ニ氷川神ト足立郡氷川社卽是到レ今祠官物部姓也○社家ヨリ出ス處ノ氷川大明神社解除符岩井大祝[式考]祭神スサノヲ　大ナムヂ　カグツチ云々○信友云兼永本朱書入云一宮日本武尊東征之時勸ニ請素戔嗚尊ト也

調神社

[搖風]調神社神田六十家二字田稚日本根子彥大日日天皇清寧○開化之誤歟乙酉三年所レ祭瀨織津比咩也有ニ神部戸歟巫戸ニ[式考]今浦和ノ宿ハヅレニ在テ調神社ト額ウチタリシラベノ神社ト云ヘリ又月讀尊ト棟札打テ月ノ神也トテ廿三夜ノ祭ナド行フ別當玉藏院御朱印ノ社領アリト云ヘリ○信友按ツキト稱フニ依テ月讀尊ト誣タル也サテ調ノ字ノ俗訓ニヨリテシラベトヨメル也○春村云社地一圓ニ槻ノ古木ニテ頗喬木アリ是ニヨリテ思フニ調ハ槻ノ借字ナリ

多氣比賣神社

神社ナラント云ヘリ[式考]御岳山御岳大明神也少彦名命

阿豆佐味天神社

[地考]當郡山口領ノ内殿ガ谷ト云フ里ノ邊也[式考]村上郷岸村ニアリ御朱印十五石神主宮崎氏

穴澤天神社

[捻風]穴澤天神圭田三十六束三毛田孝安天皇四年壬辰三月所レ祭□少彦名神也[地考]當郡向ガ岡ノホトリ小澤ノ原ニ洞ノ如ナル深潤アリ長一里ニ近シ潤水瀉キ出シテ玉川ニ落ルコヽニ谷口天神ト云ヘル古祠アリ古木多シ父老ニ問フニコヽヲ穴澤ト云フヨシ云ヘリ洞口ニ臨メバ深邃イフベカラズコレ穴澤神社疑ベカラズ○土人云菅村ニ此社アリ故アリテ隣村□村氏神トス當村今橘樹郡ニ屬スト云ヘリ

虎柏神社

[捻風]虎柏神社圭田七十三束所レ祭大歳御祖神也崇峻天皇二月己酉八月始祭事有レ之○阿波國賀志波比賣神社[地考]佐津村ノ内ニアリ此アタリヲ柏ノ里ト云フ古木多シ[式考]根筒布村ニアリ村山ヨリ三里酉ノ方

青渭神社 井印本

[和鈔]比企郡渭後沼乃之利[古事]敷山主神之女青沼馬治押比賣[地考]當郡柏ノ里深大寺鏡内ニ青渭ノ堤ト云フ所アリ青波天神ノ社アリ七八十年前マデ數十圍ノ古木アリシト也コレ古ノ青渭神社ナルベシ[式考]澤井村ニアリ神主宮崎氏

足立郡四座 大一座 小三座

[類史]十二延暦十四年十一月戊寅武藏國足立郡大領外從五位下武藏國衍歟宿禰弟總爲二國造一

足立神社

○在二鴻巣一曰二久伊豆社一乎[古事]大山津見神之女名神阿多都比賣[神代紀]天杵瀬命娶二吾田津姫一生二兒火明命一[捻風]足立神社神田六十束四圍田大日本根子彦太瓊天皇御宇二年戊子所レ祭猿田彦命

フニタラチド當時サル人ハアリシ也考ノ一助ト云ベシ[式考]府中一宮村ニアリ五日市村ヨリ辰巳ノ方也御朱印十五石今一宮大明神祭神武藏國造兄武日命祖神神主新田氏[武話]當郡本宿村ニ小野宮ト云フ處アリ則小野神祠アリ[地考]總社府中六所明神也縁起云本殿ハ大己貴尊相殿ハイザナギスサノヲニニギ大宮賣命布留大神也社領五百石神主猿渡氏祭禮五月五日也[東鑑]治承六年八月十一日武藏六所宮ヘ葛西三郎ヲ連タルコトアリ此アタリヲ小野里ト云フコレ多磨郡小野神社ナルベシ○信友云惣國風土記府中或稱ニ小野ニ或小川

布多天神社

[地考]布多村ト云フアリ布田トモカケリ府中ヨリ卯方一里半[式考]祭神少彥名命○邑人大八木範竝云今布田村ニ布田ノ天神ト云フアリ土人フダテンノ社トモ云ヘリ近事天滿宮ノ扁額ニ揚ゲタリコレ式社ナルコト決シト云ヘリ

大麻止乃豆乃天神社

○大和國櫛眞命神社元ノ名大麻呂井天和神[三實]作ニ大麻等野知神ニ

補擁書漫筆卷四冊二右云大丸村の丸宮大明神は大麻止乃豆乃天神社にその名かよひてきこゆ春村曰この說よろしく聞ゆ大丸村は玉川の南岸にあり按に大麻止乃豆は大眞門の津にて玉川の渡り津によしある歟大和の櫛眞命神社の元ノ名大麻呂井天和神とあるを古本には大麻等乃知神とあるも同義にて埴安池邊にます神かとおぼしさて知の字はツの音によむべしその例は古事記上卷に哭伊佐知流儀式卷三に知岐黑綿一屯知岐は調也など此外にも證おほし別にいふ漢呉音徵にも日本紀を引てツの音ある事をあかしたり

[搖風]大麻止乃智天神圭田六十七束六毛田所レ祭大己貴命也安閑天皇乙卯年始奠ニ官社ニ花時以レ花祭レ之新稻之時以ニ新稻ニ祭レ之○當郡布田村人大八木範竝云當郡府中六所大明神三殿ノ中央大己貴命景行天皇ノ世祭リ始ムト云フ當社春時花ヲ以テ祭リ秋時新稻ヲ以テ祭ル式アリコレコノ大麻止乃知天

〔地考〕古呂玖宮江府赤坂ニアリ氷川明神ト稱ス或曰都筑郡ノ内小机庄ノ内ト机村ニアリ杉山明神ト稱ス或云吉田村ニアリ〇信友云對馬嶋上縣郡胡祿神社マタ胡祿御子神社アリ古呂玖宮ト同神歟又云枌ハ杉ノ古書ノ例也能登國鳳至郡神枌神社アリ〇春村云古呂玖天神ヲコヽニ牽ツケタルハ小六ト小机ト稱チカキ故歟イミジキ強ゴトナリ杉山イマ橘樹郡鶴見村ニアリ往古ハ此地都筑郡ナリシ成ベシコノ神社ノ考ナラビニ枌ノ字ノ事ナド附考卷一ニタハシク云フヲミルベシ

多磨郡八座 並小

阿伎留神社

〔三實〕元慶八年授ニ武藏國畔切神從四位ニ〔地考〕當郡伊奈鄕五日市村御岳山ヨリ三里辰巳ノ邊あきるノ里ニ春日明神ノ社アリコレ則阿伎留神社ニテ祭神天コヤネノ命也ト云ツタヘタリ御朱印十五石〇信友云寺社奉行ヲ勤玉ヘル松平周防守康定主ノ臣齋藤恒怜彥麻呂ノ話ニ阿伎留社ト云フガ同ジアタリニ二社アリテ先年爭論ノ事アリ一社神鏡ノ背面ニ天平十一年ト鑄テイト〳〵古キモノ也一社ハ天平十一年ノ棟札アレドモアタラシク見エタリキト語レリ又云當社ニ建武五年二月十日源尊氏ノ奉レル由鑄ツケタル神鏡ノ銘ニ武藏國小蠶村關東鎭護從□位勳六畔切大明神トアリ從位ノ間字見エズ又位ノ上下ノ字勳六ノ下ニ等ノ字ナシ又圓鏡ノ如キ古銅物アリ面ニ畔切明神裏ニ天平十一年二月四日ト鑄付タリ以上神主阿留多伎長門中臣貞樹ウツシテオクレルガアリ社地多磨郡ニテ今ハモハラ五日市松原村ト云フ

小野神社

〔三實〕元慶八年七月十五日授ニ從五位上小野神正五位上ニ〔搖風〕小野神社圭田五十六束三字田所レ祭瀨織津比咩也垂仁天皇三年甲午始行ニ祭禮ニ有ニ神戶巫戶等ニ〔古事〕天押帶日子命者小野臣之祖也〔和鈔〕小野乎乃〔拾芥〕年中行事八月廿日牽ニ武藏小野御馬ニ〔一遍上人繪詞〕乾元々年秋ノ比武州淺堤ト云フ處ニオハシケルニ又小野社神主實信于レ時出家法名願阿進狀云云禰宜安重云々トアリ事ハ佛ニ淫タルコトニテ云

神名帳考證　十七

延喜式卷第九之十七　東海道第十一

武藏國四十四座

大二座

小四十二座

荏原郡二座（並小）

薭田神社

[三實]貞觀六年八月十四日戊辰詔以武藏國薭田神列官社（薭田一本作蒲田）○佐藤忠滿云此蒲田トアルハ今モ當郡大森ノアタリナル蒲田ノ神社ニテ式ノ薭田モ蒲田ノ誤ナルベシト云ヘリナホ考ベシ[搖風]荏原郡薭田八幡圭田五十八束三字田所祭應神天皇也武内宿禰荒木田襲津彦等也和銅二年己酉八月十五日始行神禮有神戸□戸等○淸在按荒木田ハ葛木ノ誤也[式考]（コヽニ式考ト標シタルハ衣關貫自ラ巡行シ又先輩ノ考等チ集テ武藏式社考ト云ル書ノ草稿ナリ）今江戸三田小山有馬家邸ノ後西本神明ノ下ノ寺院ノ間ニ小社ニテ綱八幡トテアルコレ也大社ノ方ニハアラズ

磐井神社

[式考]品川鈴森八幡宮也ト云リ[地考]（コヽニ地考ト標シタルハ江戸人田澤義章著常陸國淨林寺僧了觀按上毛野尻城士松原正珠補トアル武藏野地名考ト云フ書也）同説也不入斗（イリヤマズ）村ノ内也云々[搖風]荏原郡磐井神社圭田三十六束三字田敏達天皇二年癸巳八月所祭大己貴命也社邊有磐井祈事土俗有妄願則御手洗井水變鹽味事正直則如淸水近國奇之祈病者取之服之其功驗如神土俗曰藥水

都筑郡一座（小）

杉山神社（杉伴イ本）

[續後紀]承和五年二月庚戌武藏國都筑郡杉山神社預之官幣以靈驗也同十五年五月己未朔庚辰奉授武藏國无位杉山神從五位下[搖風]荏原郡赤坂庄小六天神（或古呂故）圭田三十五束三毛田天武天皇三年甲戌十一月始行神禮有神戸巫戸所祭大己貴（汝イ）與少彥名韓神也號小六者以古呂故同名之故也

[文實]天安元年五月丁酉朔丙辰在ニ相模國ニ授ニ五位下ニ石楯尾神預ニ官社ニ○國人云海老名(エビナ)ゴウチト唱ル田アリヨコ一里タテ二里餘ノ田也祭禮五月五日也其田ノ中ニ塚アリテ穴アリ其穴ニ丸キ石アリテ祭禮ノ日穴ノ口ニ現レ出ルヲ輿ニ移シ氏子中ヲマハリ祭禮竟テ其穴ノ口ニ神輿ヲ居レハ其石オノヅカラニ彼穴ニ入ル毎年カクノ如シトゾ其石ノ大サ七八寸計リノ丸石ナリトゾ其石ヲ神輿ニ移シテ後重キコト甚シトゾ○カミゴウ村ト云所ニ坐スト云

按ルニ石楯尾ノ尾字ハ上ナル有鹿ノ上ニアリシガマギレテ下ニ入タルニヤ餘國ニ石楯神社ト云フガアルヲ思フベシサレド三實ニ有鹿神トミユ文實ニ石楯尾神トアレバ元ヨリカクアリシカヨク考フベシ○鈴木氏云此穴カツサカ村ニアリ或説ニ此穴ガ石楯尾神社ナルベシト云トイヘリ上ニ云ヘル海老名コウチ今川内マタ耕地ナド書ク東鏡ニ海老名トアリ

式外舊社

箱根權現

[東鑑]安貞二年十月筥根山ノ神ノ社壇佛閣燒亡當社垂跡滿月上人草創以後五百餘歲未レ有ニ回祿之例ニ

[扶桑見聞私記]七奉レ寄ニ進箱根權現神領ニ事相模國早川ノ本庄爲ニ箱根別當沙汰ニ早可レ被ニ知行ニ也右件於ニ御庄ニ者前兵衞佐頼朝爲ニ沙汰ニ所ニ寄進ニ也全以不レ可レ有ニ其妨ニ仍爲ニ後日之沙汰ニ注ニ文書ニ以申治承四年庚子十月十六日 又見ニ于東鏡ニ

直下社

[同書]五十五建久二年四月廿七日相模國生澤直下社ノ神主清包ト地頭土屋三郎兵衞尉宗清ト於ニ御前ニ遂ニ對決ニ清包云爲ニ地頭ニ社内ノ桑ヲ被ニ切取ニ之由所ニ訴申ニ也仰云土屋ガ申ス所一旦有ニ其理ニカ但神社ノ事ハ不レ輙理ヲ曲テ神主方ヘ可レ付ト仰ケレバ不レ能ニ左右ニ云々

補遺

江尻大明神

○春村按今ノ江島ナリ附考一六左

ゾオハスラメ雨降山ト云フヲ思ベシマタ右大臣ノ歌ニ八大龍王雨止メ玉ヘ云々ト詠シシモ此山ニ由アリゲナリ

愛甲(アユカハノ)郡一座 小

小野(ヲノノ)神社

「古事」天押帶日子命者小野臣之祖也

高座(タカクラノ)郡六座 大一座 小五座

大庭(オホバノ)神社

「和鈔」大庭 於保无波「神鳳」大庭御厨○國人大貫氏云今大庭村ニアリテ大庭天神ト稱フ即大庭三郎ガ出所ナリト云ヘリサテ此神ハ櫛眞智命ナルベシ大庭ハ清庭ノコトナルベシ 以上篤胤說

深見(フカミノ)神社

「和名」深見 布加美○篤胤云國人云深見村ニアリ鹿嶋大明神ト稱ス

宇都母知(ウツモチノ)神社

○鈴木氏云今打戾(ウチモドリ)村ニアリ綟子ヲモヂトヨムコト可レ考

寒川(サムカハノ)神社 名神大

「續後紀」承和十三年九月奉レ授ニ相模國无位寒川神從五位下ニ「文實」齊衡元年三月戊戌加ニ相模國寒川神從四位下ニ「三實」貞觀十一年十一月十九日授ニ相模國從四位下寒川 河イ 神從四位上ニ元慶八年九月廿一日授ニ從四位上寒河神正四位下ニ「儀式帳」寒川比古命寒川比女命「和鈔」寒川 佐無加波「捻風」足輕郡東限ニ寒川西岸ニ云々○鈴木氏云寒川神社ハ一宮也宮山村ニアリ御朱印百石「東鏡」一宮佐河大明神云々同書建久八年七月廿八日相州一宮百姓云々

有鹿(アリカノ)神社

「三實」貞觀十一年十一月九日授ニ相模國從四位 五歟 下有鹿神從五位上ニ「和鈔」有麻トアルハ有鹿ノ誤歟○篤胤云國人云今オアルカサマト云フ又石杙アリテソレニ尾有鹿神社トアリ○鈴木氏云□□村馬入川ノ川バタニアリ

石楯尾(イハタテヲノ)神社

土記ニ比々多伊ノ外ニ日田ヲモ擧タレバソレトハ別處ナリケリ又同書駿河國伊穗原郡ニ酒瓶神社大酒解小酒解命也云々トアルト神體ノ瓶ニ坐スト打合テキコユルハ決テ風土記ニ記セル如ク大酒解小酒解神ヲ祭ル所ナルベシ

頭注篤胤云三實貞觀十七年梅宮正四位上大若子神小若子神酒解子神マタ造酒司ニマス大宮賣神社四座ノウチ酒彌豆男酒彌豆女神ト同神ナルベシサテコレハ姓氏錄ノ廿七丁寸酒部公ノ處ナル酒看都子酒看都女ニテ名義ハ酒醸之男女ナルベシサテ解子ノ解ハ都久理ノ轉歟神祇式ナル酒ツコモ此緣ナルベシサテ相模ハ酒醸ナルベシ

社司大貫氏云今社地四千五百坪バカリアリテ除地也コハ古ヘ神主ノ屋敷地ナリ古ノ社地ハ今ノ社ノ上ノ方ニテ今ハ畠トナル其處ヨリ一町餘リ下ニ御門ノ神トテ門ノ兩腋ノ如ク小社一宇アリ古例ニテ今モ五月五日ノ祭禮ニ神輿其御門ノ神社ノ中間ヲ渡リ玉フ也サテ其御門神ノ眞向三四町バカリ下ニ神戸村アリ當社ノ神戸ナリシ處也五月五日ノ大祭ニハ當國一宮二宮三宮四宮等ノ神輿三里バカリ神幸ノ式アリ時ニヨリ翌日歸座ノコトモアリサテ先年同郡子安村ニ子易明神ト云フ淫祠ノアリケルヲ同郡上糟谷村ヘ遷シ安産ヲ守ル神也ト云フラシ助大夫ト云ヘルモノ、子神主ト稱シケルガ三宮神主ニ內談シ比々多神主ノ稱ヲカリ吉田家ノ許狀ヲウケ來リ鵜川氏ヲ名ノリ近年トナリテ比々多神社子易大明神ト二行ニ書タル額ヲウチ守札ニハ相模國十三座之內比々多神社トシルセル由ナリトテ訴ヘ歎キタリキ○或人云相模ハ酒醸ナルベシ上ニ云神體瓶ニ坐スト云フ說ト總風土記ノ文可ニ合考

阿夫利神社

○今世ニ稱スル大山コレナリ○篤胤云門人守屋某云大山ヲ其所人ハ雨降山ト云フ不動ノ額阿夫利神社トアリサテ峯ヨリ廿八町下リテ不動アリ此地ニアリシ八大龍王ノ社ヲ別當八大坊ノ門ノ前ナル高キ所ニ移シテ額ニ大山地主ト記シアリト云ヘリコレニ依テ按ニ當山ノ神ハモト山上ニ坐シケムヲ所謂石尊ヲ祭ルトキニ地主神ヲバ山下ニオロシ奉リケンサテ八大龍王トハ例ノ佛者言ニテ實ハ雨神ニ

〔東鏡〕二宮河勾大明神

大住郡四座並小

前鳥神社

〔和鈔〕前鳥○篤胤云今前取ト書ク〔東鏡〕四宮前取大明神

高部屋神社

〔和鈔〕足上郡高家

比々多神社

〔古事〕天菩比命之子建比良鳥命無邪志國造之祖也〔國造〕相武國造武刺國造祖〔和鈔〕日田○白根郷三ノ宮村ニ坐ス三宮大明神御朱印十石神領〔東鏡〕三宮冠大明神トアルハ當社也ト云ヘリ後世三宮大明神ト稱ス〔東鏡〕十ノ五十オ三宮次郎アリ〔三宮舊記〕相州大住郡比々多神社三宮ハ豐國主尊亦號ニ豐國野尊ニ並天明玉尊亦號ニ櫛明玉尊ニ亦御名者號ニ玉屋命ニ並稚日女尊亦號ニ稚日姫尊ニ是三大神宮中古冠大明神奉ニ祭祀ニ云々成ニ崇神天皇勅願ニ己丑六年作ニ御鏡寶劔ニ號ニ神戸劔ニ是依ニ奉納是所神所ニ神戸令レ祭並垂仁天皇御宇猨田彦之子孫大田命奏ニ于皇帝ニ叡慮叶勅許不レ滯神社令ニ造興ニ云々與ニ礒上神宮ニ同奉ニ納神戸寶劔ニ賜ニ於莊園ニ賞レ之號ニ狹名田ニ云々大平五年良辨與ニ玉垂命武内宿禰末孫武内石代ニ奉ニ幣是神社ニ達ニ叡聞ニ御感大深而賜ニ於神宮寺ニ自ニ性王院天鏡院大豐院金剛院武内齋記宿禰等ニ以上就ニ當社ニ云々〔社傳〕崇神天皇ノ御代當社ニ勅願アリテ出雲ノ日御前紀伊ノ日前當國日田神社ヘ石古里止女命鏡ヲ鑄作形ヲ此所ニ埋ムト云フ祭神ハ天明玉命豐國主命若日靈命也〔和鈔〕伊豆國田方郡ニ鏡作郷アリ○社司大貫氏云神躰ハイト舊キ瓶二ツナリ〔捴風〕當國大墨郡ノ下ニ比々他伊公穀云々次ニ比比多伊神社天萬豐日天皇乙巳十月所レ祭大酒解神小酒解神也神貢三十束トアリ按比々他伊ト伊ノ字ヲ添テ云ヘル也同風土記駿河伊穗原郡ニ阿蘇宇伊ト云フ地名ヲ記シ次ニ阿蘇宇伊神社モアリ今由井驛ノ西ニ阿蘇宇ト云フ處コレナリト國人云ヘリ東國ニテ同例也地名ニ某里ト里ヲソヘテ呼ルガアルゴトクタヾ何トナクソヘテ呼ナラヘルナルベシ風

[三實]元慶八年十二月十六日甲斐國正六位上比志神從五位下

建岡神

[三實]仁和元年閏三月廿七日甲斐國建岡神藤武神並從五位下

藤武神

[三實]見二于建岡神下一

廣神

[紀略]寛平九年九月七日授二甲斐國正六位上廣神從五位下一

神名帳考證 十六

延喜式卷第九之十六 東海道第十

相模國十三座

大一座

小十二座

[東鏡]十二建久三年八月九日早旦以後御臺所御產氣云々 相模國神社佛寺奉二神馬一云々・大箱根 惣社柳田 一宮佐河大明神 二宮河勾大明神 三宮冠大明神 四宮前取大明神 八幡宮 天滿宮 五頭宮 黑部宮平塚 賀茂柳下 新日吉柳田

足上(アシガラノカミノ)郡一座小

寒田(サムダノ)神社

○豐後國西寒多神社○波多野ノ内ロ村ニアリ

餘綾(ヨロギノ)郡一座小

川匂(カハワノ)神社

領二百三十石餘「風土記」云々「社傳」云風土記所レ載神社ハ今ノ山宮也木花開耶姫命相殿ニ瓊々杵尊大山祇神ヲ祀レリ貞觀年中今ノ社地ニ遷シ奉ル山宮ノ棟札ニ永祿元年戊午中冬吉日神主伴重盛トアリ又云神主重盛マテ五十八代トアリ今ニ至テ伴氏代々祠職ヲ司ル鎭座ヨリ今天明二年壬寅マテ凡千八百十六年也建久五年社預修ニ造破壞ノ事東鑑ニ見エタリ○信友云神祇式第三名神祭ニ此神社ミエズ

中尾(ナカテノ)神社

「甲名」中尾村ニアリ飛永(トビナガ)明神ト稱ス祭神大己貴神

桙衝(ホコツキノ)神社

「神代記」大己貴神以ニ平レ國時所レ杖之廣矛一授ニ二神ニ云々「雲風」須佐能乎命御子衝桙等乎而留比古「甲名」美和神社ハ二ノ宮村ニアリ二宮ト稱ス祭神大己貴命也「風土記」ニハ三輪ト書テ天鈿女命ヲ祭ルト云ヘリ社領百七十石餘「風土記」ニ圭田三十五束三字田云々雄略天皇十二年九月始祭レ之云々社記云雄略天皇御宇國造鷺王之子坂名井公爲ニ社司一云々屬祠ニ鷺王祠アリ太郎子ト稱ス又日御子祠アリ日本武尊也又尾山村ニ山宮ト云フ社アリ相傳フ景行天皇御宇當社鎭座ノ地也同御宇ニ今ノ社地ニ遷シ奉ル此邊竹居村ノ北ニ鉾ノ木ト云フ地名アリ又尾山村ノ南ニ槻(ツキ)ノ木ト云フ地名アレハ鉾衝神社也ト云フベキ據ナキニシモアラズ○百木云桙衝ハ大己貴命ノツキ玉ヒシ廣矛ヨリ出タル名ナラバ即カノ命ニテ美和ト申モイト由アリ風土記ノウスメノ命又名勝志ノ鉾ノ木槻ノ木ノ考ハイカヾト云ヘリ○信友按コノ考宜也但シ鉾ノ木ト云フ地名フルク由アラバ桙衝ハ桙樹ノ誤ニモヤアラン衝ト樹トハ寫シ誤リモスベキナリ

式外舊社

比志神

「三實」貞觀五年十月六日甲斐國正六位上比志神授ニ從五位下一

船形神

神部神社

○同名ノ神社山梨郡ニモアリ

穗見神社

［和鈔］逸見倍見

宇波刀神社

［三實］貞觀八年三月廿八日從五位下宇波刀神從五位上［和鈔］山梨郡表門宇波止トアリテマタ本書八代郡表門神社アリ

倭文神社

笠屋神社

［國造］出雲笠夜命［捻風］笠屋神社圭田四十五束三毛田雄略天皇四年庚子十一月所レ祭事代主命也有ニ神家巫戸等ニ［甲名］山梨郡等力村ニアリ諏訪明神ト云祭神事代主命也云々當社ハ往昔巨麻郡ニアリシヲ今山梨郡ニ遷シ奉ル今神體ハ事代主命ノ像ナリ

八代郡六座 大一座 小五座

佐久神社

［古事］大山津見神之女名神阿多津比賣亦名木花之佐久夜毘賣

弓削神社

［姓氏］弓削宿禰神饒速日命之後也［四時祭式］祈年祭料歌斐國槻弓八十張［續紀］大寶二年歌斐國獻ニ梓弓五百張一

表門神社

○宇波刀同神［和鈔］山梨郡表門

淺間神社 名神大

［三實］貞觀七年十二月九日丙辰勅甲斐國八代郡立ニ淺間明神祠一列ニ於官社一即置ニ祝禰宜一隨レ時致レ祭中略以ニ八代郡擬ニ大領一無位伴直眞貞爲レ祝同郡人伴秋吉爲ニ禰宜一郡家以南作ニ神宮一且令ニ鎭謝一云々

○郡家ハ郡司ノ官廨也［甲名］當國一ノ宮也祭神木花開耶姫命也社

色黒シト云フ眞ノ水精ノ大ナルハ此社ノ水精ヨリ大ナルハ無シト云傳フ○水晶ノ圖アリ左ニウツス

御祈願所甲斐國式内玉諸神社玉大明神

天明玉命御神影

高七尺五寸三分

圖七尺餘大岩ヨリ生ズ

山梨郡竹森村

神主網藏日向正



古歌

神垣に輝く國の光なそ

身の行末にかけて頼まん

大井俣神社（オホヰマタノ）

[三實]貞觀五年十二月九日丁卯以ニ甲斐國從五位下大井俣神ニ列ニ於官社ニ同七年三月廿六日授ニ甲斐國從五位下大井俣神正五位下ニ[古事]木俣神亦名謂ニ御井神ニ[和鈔]巨麻郡大井（於保井）[甲名]窪八幡宮ト云フ祭神三座應神天皇仲哀天皇神功皇后也云々社領二百七十石餘神人社僧餘多アリ[社記]云貞觀元年二月廿二日和氣朝臣彝範自ニ豐前國宇佐宮ニ奉ニ勸請ニ云々本社南方有ニ天神祠ニ當社鎮座已前所レ祀地主神也祭神少彦名命也云々大井俣ノ地名ハ東南ノ方ニアリ此邊マデ往昔ノ社領也ト云フ

頭注 淸水濱臣甲斐日記云八幡村にいつかれをはする窪八幡にまうづみたらしのさまそり橋のかかり拜殿本社いとめでたしこゝぞ式内天井俣の神社におはしける此ちかき水宮といふ所におはする神社をも大井俣におはするよしいふ人あれど八幡村なるぞ所のさま古くめでたくみゆればうたがひなき大井俣におはするなるべし

山梨岡神社（ヤマナシノヲカノ）

○在甲斐根[和鈔]山梨（也萬奈之）[甲名]祭神大山祇命ナリ神前ニ夔ト云フ一足ノ獸ノ像アリ實ニ古物ナリ社中ニコホリ石ト云フアリ○國人云コレハ謂ユル獅子ノクヅレタルヲトリツクロヘル也ト云ヘリ

巨麻郡五座（並小）

甲斐國造之祖「甲名」今倉科村ニアリ祭神素戔烏尊也黒戸奈ハ黒戸奈(クロシナ)ヲ誤リタルナリトゾ一説ニ御嶽ノ奥黒平ト云フ處ニ黒戸(クロヘ)明神ト唱ル社アリ黒平ヲ今クロベラト云フヘラハヘナヲ誤レルニテ黒戸奈神社也ト云フイヅレカ是ナラン○信友云ラトナト通音也クロヘラ明神當神社ナラン歟

金櫻(カナザクラノ)神社

○木花開耶姫命「三實」貞觀七年十二月令下甲斐國於ニ山梨郡一敬中祭淺間明神上○在ニ金峯山一○信友云金峯山ミカネト訓ベシ別ニ考アリ「甲名」歌田村ニ今橋立明神アリ祭神伊弉諾伊弉冊尊也コレ金櫻神社也此邊ニ金櫻田ト云フ地名アリ此地往昔ノ神社ノ跡也御供田別當免田並木大神原ナド云舊地ノ字アリ又此東ノ方ニ小祠アリ天文ノ頃今ノ社地ニ遷シ祀ルト云ヒ傳フ今御嶽山ノ神社ヲ金櫻神社也ト云フイヅレナラン巨麻郡御嶽權現ハ祭神三座少彦名命大己貴尊素戔烏尊也金性大明神ハ日本武尊也相傳式ナル金櫻神社也社領千石餘山林凡七里許社家アマタアリ文祿年中淺野侯造營アリ又櫻大門トテ古木ノ櫻アマタアリ降辨僧正ノ歌ニ「いにしへの吉野をうつす御嶽やまさこそこがねの花もさくらめ」マタ金峯山ハ今山梨郡ニ屬ス絶頂ニ祠アリ藏王權現ヲ祭ル御嶽ノ社ノ本宮ナリトゾ

松尾(マツノヲノ)神社

「甲名」小屋敷村ニアリ祭神東ハ大山咋神若山咋神若年神大己貴神素戔烏神蛭兒命凡テ六座稱ニ松尾六所明神一此邊ヲ松尾郷ト云フ社領十三石餘

玉諸(タマモロノ)神社

○今曰竹森村玉室大明神○一説國玉村ニアリ三ノ宮ト云祭神大國魂神也神祇伯家ノ記錄ニ永萬元年當社ヨリ神馬ヲ獻リシコトアリ相傳フ玉諸神社也社領六十三石往昔酒折ノ御室山ニ鎭座アリシヲイツノコロカ此地ニ遷シ祀ル今其御諸山ニ玉諸明神ノ小祠アリ「甲名」竹森村玉室大明神ト云祭神玉屋命也社壇ノ中ニ大ナル水精アリ周リ五尺許高七尺許地中ヨリ出タリ社中ニ水精アマタアリ傳聞陸奥國金華山ニ大ナル水精アリ高サ十餘丈モアレドモ

神名帳考證　十五

延喜式卷第九之十五　東海道第九

甲斐國廿座

大一座

小一座

山梨郡九座並小

神部（カムヘノ）神社（カミ印本）

［三實］貞觀五年六月八日甲斐國從五位下勳十二等美和神從五位上同八年三月廿八日甲斐國從五位上勳十二等美和神授二正五位下一同十八年七月十一日甲斐國正五位下美和神正五位上元慶四年正月八日甲斐國正五位上美和神從四位下［甲名］今加茂村加茂明神ト云フ祭神別雷神也相殿ニ春日明神ヲ祀レリ○コヽニ甲名ト標セルハ甲斐名勝志ノ説ナリ○百木云神部ハミワベト訓ベキニヤ［三實］ニ美和神トアルコレナラン巨麻郡ニモ同名神社アリ

物部（モノヽベノ）神社

［三實］貞觀五年六月八日甲斐國從五位下勳十二等物部神從五位上同八年三月廿八日甲斐國從五位上勳十二等物部神授二正五位下一同年閏八月十八日授二甲斐國正五位下勳十二等物部神從四位下一同十八年七月十一日授二甲斐國從四位下勳十二等物部神從四位上一元慶四年正月八日甲斐國從四位上勳十二等物部神正四位下［甲名］松本村ニアリ物部十社明神ト云フ物部氏ノ祖十神ヲ祀ルト云フ

甲斐奈（カヒナノ）神社

○今在二甲斐根嶺一［甲名］府中淺間明神相殿ニ白山權現ヲ祭レリ當社甲斐名神社也又加賀美氏云八代郡橋立明神ナルベシ此邊和名鈔ニ所レ載山梨郡林戸郷也今ハ八代郡ニ屬スサテ其社ニ七圍半許ナル杉ノ大木アリ希代ノモノ也

黑戸奈（クロトナノ）神社

［古事］日子坐王娶二沙本大闇見戸賣一生二沙本毘古王一

豐御玉命神社

青玉比賣命神社

阿氣大神

[文實]十廿九左天安二年六月己酉山田連春城傳仁壽二年正月遙爲ニ駿河介一三年春三月自請之レ任傍吏百姓嫌ニ其清察ニ時部下駿河郡有下自ニ伊豆一新移神上名ニ阿氣大神一國司申レ官建ニ新社一以祭祀而禰宜祝等增以ニ奇異之事一註ニ誤國司庶人一春城到レ任登時考訊糺ニ其詭僞一自レ此以後妖言永絶歳時祭祀而已○[補注]春村案ルニ此文ニ據ルトキハ恐ラクハ官社ナルベキコ、チセラル、ヲ當帳ノ内當國ニモ駿河ニモ見エ給ハヌコソ不審ナレ仍ナホ考ルニ當帳當國加茂郡ニ阿波神社大名神アリ阿氣ハ此字誤ニハアラヌ歟カク思フモ故アル事ナリ文德實錄仁壽二年十二月丙子駿河國阿波咩命神加ニ正五位下一マタ齊衡元年六月己卯加ニ伊豆國阿波咩命正五位下一承和七年九月從五位下嘉祥三年十月從五位上等ノコト前史ニミエタリナド見エタルフト思ヘバ同事ノ錯亂シタルニ似タレド伊豆ヨリ駿河ニ移ストアル時代ニモ協ヘバ安波モ阿波咩モ阿氣モミナ同神ニヤトハ云ヘルナリ

［志］君澤郡戸田村三嶋明神ト云

佐波神社二座

［古事］日子坐王之子沙本毘古者日下部連甲斐國造之祖［姓氏］作ニ澤道彦ニ［和鈔］田方郡佐婆［志］一座ハ當郡濱村澤田ニアリ神功后韓國ヲ征シ玉フトキ始テ此ニ祀ルト云大永七年ノ棟札ニ仁科庄本郷總社八幡トアリ今ニ仁科五村ノ總鎭守也五百年前マデハ海岸ニアリシヲ津波ニテ今ノ地ニ止ル一座ハ當郡大澤里ノ白川ニ坐ス山王ト子ノ神也寛正二年文明六年大永元年ノ棟札ニ子ノ神ヲ宇波明神山王ヲ山神トアリ上古高見山野ノ段ト云處ニアリシト云フ

布刀主若玉命神社

○陸奥國香取伊豆御子神社　按布刀主ハ經津主ナリ［志］濱村ノ富洞ト云フ處ニアリ小祠ナレドモキハメテ古キ社也ト云フ○信友云フツヌシヲフトヌシト云ヘル也當國ニ松ヲマトト云ヘル地名二所アリツトトトカヨハセタル當國ノ例也ナホ予ガ正ト考ニ云ヘリ

國柱命神社

稻宮命神社

［書紀］稻田宮主簀狹之八箇耳［古事］大山津見神子名足名椎［志］君澤郡土肥村古社ニシテ末社多シ社邊ノ稻六月ノ初ニ熟ス故ニ稻宮ト云フカ今ハ神明ト云フ

石倉命神社

○賀茂郡伊波久良和氣命神社

國玉命神社

［志］君澤郡小土肥村稱ニ大社ー今主ナシ只古キ木鉾ニツヲ藏ム出雲ノ梓築大社ト同ク祭日十月十日也

聰玉命神社

［神名記］國玉姫明神トアリ

國玉命神社

玉一本作レ主

○仲郡名歟［志］當郡那賀郷中村ノ那賀ト云フ處ニ坐高峯明神ト云フ

井田神社

○河内國田坐神社［三實］作ニ田井神ー井田亦同神乎［和鈔］井田［志］君澤郡井田村ニ坐ス池明神ト云フ

伊那下神社

［志］今賀茂郡松埼村ニ坐相傳神功皇后新羅ヲ征シ玉ヒシトキ彼國人御船ヲ守護シ奉リテ長州豐浦ニ留リ後此ニ鎭坐ス故ニ額ニ唐大明神ト書來レリ神主森氏

仲大歳神社

○仲ハ郡名ノ那賀歟［志］當郡中村海名野ニアリ又神明トモ申○信友按仲ハ地名也大歳神大山祇神ノ外孫也廣瀨神社ノ下可レ考

多爾夜神社

［國造］彦坐王三世孫大陀牟夜別［續紀］伊豆直出レ自ニ彦坐王ー［志］當郡安良里村ニ坐ス多爾夜ハ谷屋ニテ此村兩山海ニソビヘ出タル奧ニ人家出來シトキノ名トオモハル山ニ大谷小谷ノ名アリ村尤古クシテ在廳家ノ小官錢帳ニモ出タリ慶長十年ノ札ニ此祠久シク大破セシ由ヲ記シ又居仁如レ市作 作ニ祝言ニノ數字僅ニ辨ズベシ［伊豆納符］ニモアリ

哆胡神社

哆一本作レ多［志］當郡田子村兩扉右ハ八幡左ハ若宮文龜癸亥ノ棟札云太郎右工門尉津波以後成ニ就當社大多胡鎭守神社ートアリテ裏ニ「八能谷、流久、以爾之衞、今毛安末爾久、屋取月陰」好次トアリ○知雄按此歌脫字アリトミエテヨミガタシ

宇久須神社

［神代紀］素戔烏尊稱曰欅樟可ニ以浮寶ニ［志］宇久須村大楠ト云處ニアリ社域ヲ別所ト云フ永祿五年ノ棟札ニ井田莊宇久須郷熊野三所大權現云々トアリ

部多神社

ルベシトコレ田方郡ノ式社ニ比咩ト稱スル只二座アルユヱ也一座ハ仁田村初姫トス[武烈紀]「コトガミニキキル影媛珠ナラバアガホルタマノアハビシラタマ」コレ影姫ヲマツル歟○信友云[志]ニ當郡佐野村ノ土神雲金村ノ屬里北村ト云フ處ニ鮫明神アリ鮫字式作レ鰒ハ誤也應永十年造替ノ棟札アル由ヲ記セリ按ニ鰒ハアハビト訓ナレタル字也モシクハコノ鮑玉云々神ニヤ坐ベキ

・　那賀郡廿二座並小

箕勾神社

○田方郡白波之彌奈阿和命神社[志]峯輪村ノ野本ニ神明トテ一祠ニシテ兩扉元和二年ノ棟札ニ大神宮大六天魔王野本村鎮守也トアリ享保ノ初火災今小祠トナル舊記皆焚タリ又西繩ノ天神原ノ天神延慶元年應永卅二年ノ棟札アレドモ字ヨメガタシ熊野權現ノ神像トテ十二アリ尤古シ古鏡六大小ノ鐸ニ磬一アリ祭式古風ナリ又箕勾石二ツアリ上古ノ神體也コノ二祠イヅレニヤ未レ定

伊志夫神社

[和鈔]那賀郡石火[志]今賀茂郡石部村ニ坐ス神體ハ上古石ヲ祭ル此神ノ古キ牛王松埼村ニ存ス石火宮寶印ト刻ス祠中ニ古鏡一古鈴二ヲ藏ム

伊那上神社

[志]今賀茂郡宮内村ニ坐ス神主金差氏四十八世祖河野氏與州ヨリ奉遷ト云フ昔ハ大社ナリシガ天正慶長ノ兩度ノ火災ニ舊記等迄多ク燒失ス今所レ存古文書八通ノ中ニ伊豆國仁科庄那賀郷三島宮納ニ御劒一之事右彼御劒者薩他山御合戰之依ニ御祈禱申一當社之御寶殿江被ニ納置一者也爲ニ後見一記錄畢如レ件文治元年三月日駿州目代判マタ一通ハ伊豆國那賀郡三島大明神御本社大禰宜野地之事畠一段云々右金指孫四郎義長所ニ宛行一也云々正中二年三月上旬石田藤平六平高宗判マタ那賀郡三島大明神大禰宜職等之事云々天正十四年丙戌七月六日氏光判神主金指大炊助殿トアリ今社領十五石也下ノ社五石也合二十石

仲神社

波一本及秘釋作レ浪○今伊豆權現下宮去ニ上宮ー五町許在ニ海濱ー故曰ニ濱宮ー「神代記」沫蕩尊

金村五百君和氣命神社

「舊事」五百木部天香語山命九世孫若都保命五百木部遠祖云々

引手力命神社

○今錦浦錦窟々中五彩如ニ織錦ー「志」賀茂郡十足村手刀雄山アリテ社ナシヲドリ場ト云フ處アリ今ハハナシ坂ト云フヲドリヲ爲テ祭リシ處カ云々

金村五百材咩命神社

○材印本作レ村　上ニ金村五百君和氣命アリ和氣ト咩ト對ス又按材ハ比ノ誤歟「志」仁田村ニ初姫明神坐ス昔ヨリ式社也ト云傳フ或云金村五百村比咩命ニシテ「神名記」ノナツ姫明神歟ナトハト假字似タリ

阿米都瀨氣多知命神社

「世記」天船者天之曾己立○遠江國曾許乃御立神社「志」君澤郡中島村ニアリ今阿米都知明神或左內明神トモ云豐磐窓命ニシテ伊波氏別命ト三島大社ノ御門ノ左右ノ神也

劍刀石床別命神社

○今曰ニ巖谷村ー山多出レ石村人皆石工也「書紀」劔鋒垂血激越爲レ神號曰ニ磐筒男神ー　大和國平群郡石床神社○陸奥國石都々古和氣神社「志」君澤郡谷田村ニ坐ス傳テ云ク日本武尊也今御嶽權現又下宮トモ申ス

鮑玉白珠比咩命神社

「武烈紀」婀我哀屢拖摩能婀波寐之羅陀魔「日本紀私記」眞珠之良太麻○今曰ニ和田村ー海浦石決明多有下稱ニ八幡ー社上「志」當郡赤埼村ニ赤埼明神アリ「神明記」ニ載タリ「伊豆峯紀」木負村赤埼ニ坐ト云ヘリ棟札ニ三島明神之妹也トアリ今ハ直ニ三島明神ト稱ス此地古村ニシテ在廳ノ祝祠簿ニモノセタレバ式社タルコト必セリ或云コレ鮑玉白珠比咩ナ

○按阿波國大麻比古阿佐多知比古並阿四賀田須命朝與ニ阿田ト横音通又疑取ニ田賀田之神名ヲ號ニ田方郡ト[志]大日靈貴ヲ祀ル今ハ山宮又ハ潮留明神ト云今駿河香貫村ニアリ此地中古ヨリ駿河ニ入タリ

玉作水神社

[姓氏]忌玉作高魂命孫天明玉命之後也玉祖連亦號ニ玉作連ト○出雲國玉作湯神社陸奥國玉造温泉神社[志]祭神未レ詳今駿河香貫村ニアリ

楊原神社 名神大

ヤナギ印本

[三實]貞觀元年正月廿七日奉レ授ニ伊豆國從五位下楊原神從五位上ニ同十二年五月廿九日授ニ伊豆國從五位上楊原神正五位下ニ仁和二年十一月廿五日授ニ正五位下楊原神正五位上ニ○今曰ニ伊豆權現ト在ニ走湯山傍ニ有ニ大椰樹二ニ[志]祀ニ大山祇命ヲ配ニ木花開耶姫磐長姫ヲ今ハ大宮又松彦明神ト稱ス相近キニ楊原ノ地名アリ今訛テ八重原ト云フ[神名記]從一位楊原明神[伊豆峯記]三島大明神ト云リ中古マデ社人三十八人別當坊等アリ今香貫兩村ノ總鎭守也古簿ニ豆州田賀方郡楊原明神并ニ神名ヲ記ス今君澤郡三嶋驛楊原ニ楊原神社アリコハ元和九年香貫村ナルヲ移シ祀レルナリ

加理波夜須多祁比波預命神社

○按加理莉也波夜須聶也多祁比波預武熯速日也[舊事]伊弉諾尊遂拔ニ所レ帶十握劔ヲ斬ニ軻遇突智頸ヲ云々復劔鐔垂血激越爲レ神亦走ニ就湯津石村ヲ所レ成之神名曰ニ天尾羽張神ト亦名稜威雄走神亦曰ニ熯速日神ト○今曰ニ赤澤村ト土地赤如ニ朱砂ノ有レ社伊豆權現之社僧到レ此修法

劍刀乎夜爾命神社

[志]君澤郡戸澤村今劔刀明神又訛テタチヲヨギト云フ

火牟須比命神社

○今曰ニ雷電宮ト在ニ伊豆權現上宮傍ニ[舊事]火之産靈迦具突

白波之彌奈阿和命神社

狩野[古事]日子坐王子衣邪本王者蚊野之別祖也

倭文神社

高倚神社

倚一本作レ椅○備後國高依彥神社

長濱神社

[姓氏]長ノ公ハ事代主命之後也○當郡大朝神社此神裔也[志]君澤郡長濱村ニ坐ス今神明ト稱ス此處ヲ麻坂ト云海涯ヲ麻ノ谷ト云古コノ所麻自ラ生ジテ一夜ニ樹ヲ爲ス故ニ名トス相傳ル俚歌「麻ノ坂ニ麻マキソメテウミソメテ磯ニヘサセテ浪ニオラセン」

久豆彌神社

○今曰ニ木ノ宮明神ト在ニ熱海大湯之西ニ[和鈔]直見多々見今ノ熱海乎○越前國久豆彌神社丹後國木積神社[志]元祿十年ノ棟札ニ葛見大社岡村ノ稻荷云々賀茂郡岡村ニアリ○信友云和名鈔田方郡久寢ノ書入ト見合ベシ

石德高神社

○按德高言ニ泉躋佛ト今熱海溫泉艮隅ナル湯前權現是乎釋書桓舜傳曰舜甚寠浪遊ニ豆州ト說ニ法溫泉神祠ト云云○下ニ劔刀石床別命神社アリ

伊加麻志神社

○伊與國伊加奈志神社

廣瀨神社

○在ニ小濱ニ三島之攝社也[姓氏]他田一作レ日廣瀨朝臣大稻輿命男彥屋主田心命之後也[志]小濱ニ坐ス廣瀨ハ小濱池旁ノ地名也今小祠ニテ辨天ト云第四ノ宮ト云倉稻魂命ヲ祀ル(舊事)素戔烏尊娶ニ大山祇神女名神大市姬ト生ニ二神ト兒大年神次稻倉魂命コレ大山祇神ノ外孫也[神名記]從一位廣瀨明神

小河泉水神社

[和鈔]小河今曰ニ門河ト乎今古々井社在ニ伊豆權現西北ニ[志]熊野權現ト稱ス今駿河國駿東郡湯川村ニアリ此地古ハ伊豆ノ地也○一本無ニ水字ト

大朝神社

○在ニ河津村一去ニ三島南十九里一○[中臣祓詞]速佐須良比咩[志]當郡篠原村ニ坐ス今姫ノ宮ト稱ス

竹麻（ツクマ）（タカ印本）神社三座

[和鈔]月間（ツクマ）[志]一座ハ當郡本郷村高馬ニ坐今八幡ト申一座ハ本郷土濱ノ一岩山ノ上ニ坐元祿六年ノ文ニ御牟漏竹彦明神ト此山富士ニ似タリ因テ又富士山トヨビ遂ニ其神ヲ淺間トス一座ハ柹崎村武峯山ノ半腹ニ坐ス今武峯權現トス古キ棟札ニ伊豆國賀茂郡武山大權現當初役行者勸請熊野山三所大權現永正十八年ノ札ニ稻澤本郷崩之山爰第ニ社檀一號ニ熊野權現ニ云々再興

加茂（カモ）神社一座

○茂印本作レ毛在ニ下上一曰三島南十七里[姓氏]鴨君日下部宿禰同祖彦坐命之後也[續紀]天平十四年四月甲申賜ニ從五位下日下部直益久伊豆國造伊豆直姓一[志]一座當郡下賀茂村賀茂磯明神賀茂磯ト云フ處ニ坐ス大山祇命ヲ祀ルトミユ一座ハ社邊加畑ノ地ニ加畑明神アリコレ也ト云

田方（タカタ）郡廿四座 大一座 小廿三座

荒木（アラキ）神社

[姓氏]玉祖宿禰天高御魂乃命十三世建荒木命之後也○按玉作水神社可ニ併考一○今在ニ北條村一[志]當郡原木村ニアリ（和鈔）茨木郷（東鑑）穢木（イバラキ）村アリ荒木原木皆轉語ナリ且神田ニ荒眞木（アラマキ）ノ名アリ正德五年マデハ棟札ニ茨木神社トアリ近キコロ鞍掛明神ト云フ

文梨（フナシ）神社

[和鈔]久寢（クスミ）郷アリモシコノ地名ナラバモト久禰トアリシヲ文梨トアヤマレルニヤ[志]君澤郡江梨村ニアリ[神名記]文ヲ攵ニ作共ニ衣ノ草書ヲ誤リシナルベシ

輕野（カルヌ）神社

[應神紀]五年十月科ニ伊豆國一令レ造レ船長十丈云々輕泛疾行如レ馳故名ニ其船一曰ニ枯野（カラノ）一由ニ船輕疾一名ニ枯野一是義違焉若謂ニ輕野一後人訛歟[和鈔]田方郡

異ヲ將レ預ニ冠位ニ云々十月丙辰奉レ授ニ無位阿波神物奈忌乃命並從五位下ヲ以ニ伊豆國造島靈驗ヲ也「文實」嘉祥三年十月壬子伊豆國阿波神授ニ從五位上ヲ（眞雅本）十一月甲戌朔詔以ニ伊豆國安房神ヲ列ニ於官社ニ「同書」仁壽二年十二月丙子駿河國阿波咩命神加ニ正五位下ヲ（駿河當レ作ニ伊豆ニ）齊衡元年六月己卯加ニ伊豆國阿波咩命正五位下ヲ（仁壽齊衡同階可ニ重考ス）○「臨時祭式」作ニ阿波命神社ニ春村云下文阿氣神ノ條考フベシ

志理太乎宜神社（シリタヲキ）（ケ伴イ）

太一本作レ大平一本无、「秘釋」平衍文志理太下田也○下ニ布佐乎宜神社トモアレバ乎ハ衍トモ云ベカラズ「志」賀茂郡白田村ニ坐ス素戔嗚尊ヲ祀リ後八幡ヲ配ス貞和三年ノ棟札ニ白田來濱神社新羅擁護神也野州岩船山ト同神也云々志理太宜（シリタキ）ハ白田來也○信友按素戔嗚尊新羅ヘ渡リ坐シ古事ニヨシアリ

南子神社（ミナコ）（ミナミ印本）

○今曰ニ御笏明神ト在ニ三宅嶋ニ

伊波氏別命神社（イハテワケ）

「姓氏」神魂命兒天石都倭居命「志」君澤郡梅名村ニ坐慶長九年ノ棟札ニ天石戸別又名櫛石窓亦神石窓此御門之神也トアリ今石内明神ト號上梁文ニモ又賀茂郡田方莊梅名村トアリ三島大社内ヨリ遷スヲ以テ祠地ノミ賀茂郡トスルコト大社ノ例ノ如キ歟

穗都佐氣命神社（ホツサケ）（和脱乎）

「姓氏」國栖出レ自ニ石穗押別命ヲ也「土佐風土記」天石帆別命今天石門別神子也○氣上恐脱ニ和字ヲ

大津往命神社（オホツチ）（往一本作チ伴訓）

「姓氏」市往公「志」當郡手石村ニ坐ス大津往（ヲ）ハ古昔此邊ノト地名ナルベシ亦王子ノ宮トモ云三島ノ森ト相對ス三島神ノ御子ナラン

波知神社（ハチ）（治イ）

○知印本作レ地○今曰ニ初島ニ

布佐乎宜神社（フサヲ）

佐々原比咩命神社（サヽハラヒメノ）

上古ノ神ニシテ本宮也本宮ハ〇今ハ二ノ宮ト云古老相傳テ伊波久良和氣命ト云古代著岸ノ時海濱ノ岩窟ニ登ルト祭ノトキ酒ヲ竹筒ニ盛リ伊古奈明神社ヘオクル禮アリ又相傳フ往昔海濱ニ神酒ヲ甕ニ滿テ十一月九日ノ夜廳舍ニ神官會シケルニ一人ノ老翁來リ其酒ヲ呑ミ神官ニモ傳ヘ受ケシメテ東雲ニ翁ハ歸リケリ其甕今ニ存ス又其翁ノ傳ヘシトテ祭祀ノトキ詠ズル歌ニ「ミ引フチオハマ返イホリ引ノ引ヤマノシガハ引ヲ引レンケシハヲ引ハレンケシイカリイ（ムキヨス一本）スルヨミルメノイテオヲレシキスマレンゲシヤレキ引スマレンケシ」

意波與命神社（イ印本）

阿米都加多比咩命神社

印本无二比字一〇田方郡ニ阿米都瀨氣多知命神社アリ

阿治古神社（比作イ）

伊波比咩命神社

〇伊波乃比咩同神載レ上「志」賀茂郡白岩村ノ内小河ノ土神ニ子安明神アリ寛文五年ノ文ニ姫ノ御前大見庄上下小川ノ鎭守トアリ村老傳テ云岩姫ト云神也ト海貝コヤスガヒノ如キ小貝ノ土中ニ聚リ凝テ石ニ化シタルモノヲ神體トス婦人安產ヲ祈ルモノ水杓ノ底ヲ拔トリテコレヲ奉ルトアリテ式社ナルコトヲイハズ〇信友按ルニコレ正シク伊波比咩命神社ナルベシ

阿波神社（名神大）

〇今在二神津嶋一（志同）曰二御瀧明神一或曰二長濱御前一神津嶋在二大嶋之南三宅嶋之西南一自二下田一渡海十六里「續後紀」承和七年九月乙未伊豆國言賀茂郡有二造作嶋一大名二上津嶋一此嶋坐阿波神是三嶋大社本后也又坐二物忌奈乃命一卽前社御子神也新作二神宮四院石室二間屋二間闇室十三基一上津島本體草木繁茂東南北方巖峻嶮絕人船不レ到纔西面有二泊宿之濱一今咸燒崩與レ海共成二陸地一云々召二集諸刀禰等一卜二求其祟一云阿波神者三島大社本后五子相生而後后授二賜冠位一我本后未レ預二其色一因レ茲我殊示二怪

木花開耶姫鎮座スニヨリテ彼上古ノ御姤ノ御意ノ今ニ坐ス故ナルベシ豆州志ニ當村四方峯巒周遭テ唯仰テ雲ヲ見ル故ニ雲見ト云○國人藤井昌幸云志ニカクハイヘレドコヽヨリ富士山ヲ見ルコト手ニトルガ如シ又此社ノ山ツヾキ山ノ川上ニ藤生ズトイヘドモ山ノスソニハ藤アリ　サテ伊波乃比咩命神社則コノ雲見ノ社ニテ石長姫ノ御事ナルベシサラバ伊波奈比咩ト申スヲ伊波乃ヒメトモ申セル也長ヲ奈ト云ヘルハ科長津彦ノ類ニテ例アリサテソノ奈ト乃ト通ハセテ云フハイト例多キコト也此説正シカラバ石長姫ヲイハナヒメト稱シタル證トモスベシナホ考ベシ下ニ伊波比咩命神社トアルモ同神ノ社ナガラ既ニイハノノ乃ヲテニヲハノ之ノ義トシテ字ヲ省ケル歟又乃ノ脫タル歟ユヱアルベシ當郡長鶴村いろを權現ハ石長姫ヲ祭ルト云ヘリト國人藤井昌幸イヘリ

杉桙別命神社

杉古本作レ枌○[出雲風土記]須佐能乎命ノ御子衝桙等乎而留比古命[志]當郡田中村ニ來宮明神アリ五十猛命ヲ祀ル或云杉桙別命也ト川津十七村ノ總鎮守也慶長ノ札ニ木野大明神トアリ祠傍ノ古樟樹十三抱許又膽八ノ大樹二株アリ末社ニ小鳥ト云フアリ當社ノ名[伊豆納符]ニモ出タリ又當郡佐々原比咩神社ノ坐ス篠原村ニ蔭山明神アリ衣冠ノ古神像アリ慶安ノ札ニ當所鎮守木宮大明神部類眷屬百廿社內也トアリ今蔭山勘解由ヲ祀ルト云後世配祀スルニヤトアリ今參考ノ爲ニアツメテ記ス又同郡八幡村ニ木宮明神アリ大見十六村ノ總鎮守也相傳テ式內杉桙別命也ト正保二年ノ札ニ云貞和中藤原朝臣祐義公新ニ宮殿造立○信友按ニ此札ノ文ニヨレバ貞和年中ノ新建ニテ田中村ノ來宮ヲ遷セルナルベシ又那賀郡熱海村ニモ木宮明神アリ或云五十猛命ト稱ス政文ノ記ニ弘仁元年白道明神ヲ祀ルト云フ

多祁富許都久和氣命神社

[姓氏]阿曇犬養海神大和多羅神三世孫穗己都久命之後也

伊波久良和氣命神社

[志]當郡八幡野村八幡宮ハ木ノ宮ヲ配祀ス八幡ハ

云ニ清信士ニ云々優婆夷郎女　聲字也又云　郎波斯迦

名義同前

片菅命神社

「姓氏」大國主命六世孫吾田片隅命「志」當郡片瀬村スゲノ反セ也今八幡ト云德治二年ノ棟札ニ康簾(歟)地頭勝也トアリ寛文ノ札ニ元藤原康簾遷宮シテ後代德治二年ニ若宮八幡ヲ合スト云ヘリ

久良惠命神社

夜須命神社

奈疑知命神社

知一本作レ智「神代紀」投帯是謂ニ長道盤神一

加彌命神社

氐良命神社

「志」二條村手良山神アリ古社トモ見エズ寺ガ谷ニアルニヨリテ寺ノ山ノ神ト呼シトモオハル〇信友云志ニカクアレドモ神名ハ正シク式社也イカニモ當社ナルベシ〇筑前國麻氐良布神社

許志伎命神社

〇篤胤云藤井昌幸云許志伎バト云所ニ此社アリコシキノ神社ト云

多祁伊志豆伎命神社

久爾都比咩命神社

伊波乃比咩命神社

「文實」嘉祥二年十月壬子伊豆國石奈(伊古イ)比咩命神授ニ從五位上ニ〇仁德ノ大后ニ石ノ姫アリ「志」當郡雲見村ニ淺間ノ祠アリ御嶽山ノ巔ニ在ス式社也ト云傳フ磐長姫ヲ祀ル故ニ此山ニテ駿州淺間ノ事ヲ言コトヲ諱ム磐長姫ソノ妹開耶姫ト隙アルガユヱ也又六月朔日ヨリ齋戒シテ山ヘ上リ拜ス伊豆納符ニモ出禰宜高橋氏ナリ〇信友按國人云當國雲見村ニ雲見神社アリ石長姫ヲ祭ル古社ニテ神威甚荒ク坐セリ此地ニシテ富士山ノコトヲ言ヘバ神ノイタク怒リテアラビ玉フトテ其言ヲ愼メル也ト云ヘリコハ富士山ニ

位下一以二伊豆國造島靈驗一也［文實］嘉祥三年十月壬子伊豆國物忌奈乃神授二從五位上一［同］嘉祥三年十一月甲戌朔詔以二伊豆國物忌奈神一列二於官社一仁壽二年十二月丙子駿河國物忌寸奈命神加二正五位下一（駿河當レ作二伊豆一）齊衡元年六月己卯加二伊豆國物忌奈命神正五位下一（仁壽齊衡同階可二重考一）○在二神津島一今曰二定明神二三島御子也［志］同○下文阿波神社條可レ考

波夜多麻和氣命神社（ハヤタマワケ）

伊波例命神社（イハレ）

○神武天皇神日本磐余彦命○常陸國茨針神社

伊豆奈比咩命神社（イヅナヒメ）

○今在二田中村一○出雲國神魂伊豆乃賣神社○信友按飯綱權現同神歟狐ヲ使フ人ヲイヅナツカヒト云フ

阿米都（印本无）和氣命神社（アメツワケ）

［文實］嘉祥三年六月庚戌伊豆國阿（何貞並本）米都和氣命云々授二從五位下一仁壽二年十二月丙子駿河國阿米都和氣命神加二從五位上一（駿河當レ作二伊豆一）齊衡元年六月己卯加二伊豆國阿米津和氣命神從五位上一（仁壽齊衡同階可二重考一）○同郡阿米都加多咩命神社田方郡ニ阿米都瀨氣多知命神社アリ

波夜志命神社（ハヤシ）

［志］大賀茂村ノ上條ニ走湯權現アリ近所ニハヤシト云フ地名アリ當社ナラン歟○信友按溫泉ヲハシノユトイヘバハヤシノ言由アリ考ベシ［鎌倉右大臣家集］「走湯の神とは宜もいひけらしはやきしるしのあればなりけり」

優波夷命神社（ウバイノ）

○河内國宇婆神社近江國意波閉神社［志］八丈島ニ坐ス又田方郡門野原村ニ姥神ノ社アリ正德貞享ノ札ニ優婆大明神トアリト云ヘリ當神ヲ遷シタル證トスベシ又賀茂郡川奈村優婆子（ウバコ）山ノ下岩窟ニ優婆子ノ祠アリ可レ考［要覽］（上卷十七左）優婆塞秦言二善宿男一謂レ離二破戒宿一故又梵云二鄔波索迦一唐言二近事男一謂親近承二事諸佛法一故天竺受二五八戒一俗人稱レ之亦

ミタラトモ云コレ舊社ニシテ土神也王子原田ニアリ三島大社ノ御子也ト云フ(以上、伊豆納符)○辨天ニ内尾崎ノ窟ニアルモノ古シ又(納符)ニ載ス○毘沙門祠コノ外鎰明明神(カギアケ) 愛宕權現 御手洗水明神八幡淺間等ノ神(伊豆峰記)ニミユ

佐伎多麻比咩命神社

[文實] 嘉祥三年六月庚戌伊豆國佐岐多麻比咩命授二從五位下一[古事]比々羅木之其花麻豆美神女活玉前玉比賣又曰天之甕主神之女前玉比賣

伊太氏和氣命神社

[文實]嘉祥三年六月庚戌伊豆國伊太豆和氣命授二從五位下一[文實]仁壽二年十二月丙子駿河國伊太豆和氣命加二從五位上一(駿河當作二伊豆一)齊衡元年六月己卯加二伊豆國伊太豆和氣命神從五位上一(仁壽齊衡同階可二重考一)[神代紀]五十猛神

阿豆佐和氣命神社

[文實] 嘉祥三年六月庚戌伊豆國阿豆佐和氣命授二從五位下一[文實]仁壽二年十二月丙子駿河國阿豆佐和氣命神加二從五位上一(駿河當レ作二伊豆一)齊衡元年六月己卯加二伊豆國阿豆佐和氣命神從五位上一(仁壽齊衡同階可二重考一)

[志]利島ニ坐

多祁美加々命神社

[三實]仁和二年十一月廿五日授二伊豆國正六位上多都美賀々神正五位下一[舊事]天忍男命子建額赤命[志]吉佐美村ニ三島明神坐ス白鬚ヲ配祀ス源三位頼政ノ記アリ其略ニ曰豆州十七番ノ御神神尾山御倉山ノ麓多田美河ノ河上ニ坐マスハ當郷朝日ノ里月吉村ノウブスナ大明神人皇六代ニ當テ興津彦興津姫ト云々此神必式社ナルベケレドモ祠典何レノ命ナルカ或曰コレ多祁美加々命神社多田美河ト語相類シテ訛誤アル歟又三島明神トスルハ昔祠域ニ若宮祠アリコレ三島神ニ從ヒシ若宮ナルユヱ三島ト稱セシナラム(伊豆峰記)

物忌奈命神社(名神大)

[續後紀]承和七年十月丙辰奉レ授二物忌奈乃命從五

淺間ハ舊第三宮也第二宮八幡三島大社ノ中ニ引シヨリ淺間ヲ第二ニ上ゲ進タリ「神名記」正一位千、眼大菩薩コレ也千眼淺間國音同ジキヲ以テ遂ニ佛名トナレリ

伊古奈比咩命神社（名神大）

「後記纂」天長九年五月云々伊古奈比咩神云々預ニ名神ニ（三島神社ノ下ニ可ニ見合ー）「文實」嘉祥三年十月壬子伊豆國古（伊イ）奈比咩神授ニ從五位上ニ（從本史脱）同年十一月甲戌朔詔以ニ（伊古奈）（眞雄本）伊豆國伊古奈比女神ニ列ニ於官社ニ仁壽二年十二月丙子駿河（駿河當レ作ニ伊豆ー）國伊古奈比賣命加ニ正五位下ー齊衡元年六月己卯加ニ伊豆國伊古奈比咩神正五位下ー（仁壽齊衡同階可ニ重考ー）「三實」貞觀十五年九月廿七日遠江國伊古奈神云々「志」賀茂郡白濱村ニ坐白濱明神トモ申「文實」嘉祥三年條古奈比咩ハ伊古奈比咩ノ脱誤也齊衡元年ノ正五位下ハ上ニ作ベシ「神名記」一品當后宮トアルハ蓋是神也齊衡ノ後シバ〱授位アリトミユ明暦中ノ棟札ニ諸島大明神ノ本后也ト傳曰孝安天皇六年ニ建立ス三島明神伊豆ヘ渡リ此ニ御坐マシソレヨリ三島ヘ遷ラセ玉フ因テ是ヲ古宮ト云又五社明神トモ云三島ト同ク其三神ハ未レ詳古ハ神領七十餘町祠宇大社家三十六戸祭祀年ニ七十五度諸式皆三島ト異ナルコトナシ慶長十二年三月大久保長安所納ノ金皷ニ伊古那比咩命ト刻ス同十八年長安亡テ後此社大ニ衰頽セリ今ハ祠田ナク禰宜原氏一人ソノ他ハ百姓ノ内三十六人ヲ定メ置テ祭ノ形ヲツトム祠前ノ池モ亦既ニウヅモレタリ東方ノ陵ヲ御釜ト云恰モ端釜ノ形也域内ノ古栢樹タダニ千年ノミナラズ舊記云伊豆ノハジカミハ名物也白濱明神ノ御神草也三島明神ハ菅也伊豆ノハヅレニ白濱明神御立ナサレ候ユヱハシカミ（端神ノ意トキコエ）ト云フ義ニテ生芽ヲ御神草ト云フ也伊勢早雲寺殿豆州ヘ御打入ノトキ白濱ノ神主ハハシカミヲ進上ノトキニシキ殿狂歌ノ由也「草ノ名モ所ニヨリテ替リケリ伊セノ生芽ハ伊豆ノハシカミ」又東浦御手ニ入テ早雲寺殿御歌「神風ヤイセノ濱荻アフキ來テ今ソ手ユトル伊豆ノハシカミ」末社二所アリ見目稲荷○信友云當社禰宜藤井昌幸云合殿見目神若宮劒宮也神主原氏禰宜三十六戸アリト云フ當社ノ事オノレ別ニ考證アリ「志」末社ニ御館坂戸ニアリ

體ノ神ト云ヘリ以上卷六十三[同書]六十六 建久五年七月十九日三島ノ神主ヨリ飛脚ヲ以テ申云去十七日朝神前ノ御供ノ飯以レ血染タリ又拜殿ノ天井板ニ七八歲ノ童ノ足跡一アリ[和鈔]三島[神代紀一書]イザナギ尊投レ劍斬ニカグツチ一爲ニ三段一其一段是爲ニ雷神一一段是爲ニ大山祇神一一段是爲ニ高龗一[纂疏]三島明神大山祇命也コレ伊豆ノ一宮也四神ヲ配シ祭ル其一ハ伊古奈比咩其三ハ神名未詳近世或五山祇トスルハ誤也[改曆雜事記]崇峻天皇庚午年伊豫國三島大明神出現[會物]異本朱鳥元年始顯ニ伊豆國鎭守ニ[神名記]正一位三島大明神[豫陽盛衰記]從一位諸山積大明神○信友按天武紀三年伊豆島西北二面自然增益三百餘丈更爲ニ一島一則如ニ鼓音一者神造ニ此島一音響也トアリ後紀天長九年ノ古事トオモヒアハスベシ又按伊與國越智郡大山積神社ヲ御島神社ト古クヨリ云ヘリ同神歟可ニ考合一○烏丸光廣卿伊豆ノ三島神ニ止雨ノ歌ヲ奉ラレケルニ驗アリシコトカノ卿ノ東ノ道記ニアリソノ歌「いのるより水せきとめよ天の川これも三島の神の惠みに」コレハ伊與ノ三島ノ神ニ能因ガ詠テ上リタル祈雨ノ歌「あまの川苗代水にせきくたせ天くたります神ならは神」トヨミタルヲ緣ニヨセ玉ヘルナランヲモ考合ベキ也當社ノ考ナホ別ニ詳ナリ當社今君澤郡三島驛ニアリ社域バカリヲ賀茂郡ト云フ本郡ノ賀茂郡トハ遙ヘダタレリ

波布比賣命神社（ハフヒメノミコト）

[文實]仁壽二年十二月丙子加ニ駿河國波布比咩命從五位上ニ按駿河當レ作ニ伊豆ニ又曰齊衡元年六月己卯加ニ伊豆國波布比賣命從五位上ニ仁壽齊衡同位也可ニ重考一[和鈔]駿河國埴生布反郷○近江國波爾布神社○在ニ下田本鄕村一[志]波布比賣命神社大島ニ坐ス波富ノ池上ニ祀ル波富大后ト申當郡本鄕村土濱ニ彼布比賣命神社アリ惣鎭守也貞享元年ノ棟札云稻生澤鄕川津庄本鄕村波富明神トアリ式內大島祀ル波布ヒメト同神也

伊賀牟比賣命神社（イカムヒメノミコト）

[志]淺間神社ト云フ或曰伊賀牟ハ井上之小濱ノ池ノ上ニ坐セバ也神官云大花開ヤヒメヲ祭ルト今姬ノ宮ト申小濱ニアリ第二宮ト稱ス東鑑ニモ出タリ

賀茂郡四十六座 大四座 小四十二座

伊豆三島神社 名神大 月次新嘗

「後紀纂」天長九年五月庚戌令レトニ筮炎旱一 日本逸史引釋日本紀且炎旱二字作二八九旱一 於内裏一 伊豆國神爲レ祟癸丑伊豆國言上三島神伊古奈比咩神二前預二名神一 此神塞二深谷一摧二高巖一平造之地二千町許作二神宮二院池三處一神異之事不レ可二勝計一 ○按神作レ池今箱根湖乎 「文實」嘉祥三年十月辛亥授二伊豆國三島神從五位上一「文實」仁壽二年十二月丙子加二駿河國 古本作二伊豆一宜レ從 三島大神從四位下一齊衡元年六月甲寅朔己卯加二伊豆國三島神從四位下一 ○仁壽齊衡同位也可二重考一 「三實」貞觀元年正月廿七日甲申奉レ授二伊豆國從四位下三島神從四位上一 同六年二月五日壬戌授二伊豆國從四位上三島神正四位下一同十年七月廿七日戊午授二伊豆國正四位下三島神從三位一

「扶桑見聞私記」 七巻 伊豆國御園、河原谷、長崎、可レ早奉レ免二敷地三島大明神一 右件御園者爲二御祈禱安堵一公平所二寄進一如レ件治承四年十月廿一日源朝臣 頼朝也

「同書」 廿八 元暦二年四月廿日今日迎二伊豆國三島社祭日一武衛御願ヲ爲レ果當國糠田郷ヲ彼社ニ被二寄附一而從レ是嚮ニ御奉寄之地三箇處有レ之今既爲二四箇所一也相二分之河原谷三園一以二六月廿日一臨時之祭也領所ニ募リ被レ付二神主東大夫盛方一糠田長崎ヲ以テ八月二ノ宮八幡宮放生會料所トシテ被レ付二神主西大夫盛成一是皆北條殿御奉リニテ令二施行一給「同書」 四十七 文治三年七月十八日仁田四郎忠常ガ妻豆州三島社參詣而ルニ洪水之間掉二扁舟一浮二江尻一渡之處逆浪舟ヲ覆シ同船ノ男女皆以入二水底一然ドモ各希有ニシテ存命ス忠常ガ妻沒シ畢ヌ是信力強盛ノ者也幼稚ノ昔ヨリ長大ノ今ニ至迄毎月不レ缺當社ニ詣ケル處ニ去正月此夫忠常重病危急ノ時此女願書ヲ彼社壇ニ捧テ云縮二妾之命一忠常ヲ令レ救給ヘト云々若明神其誓願有二納受一令レ轉歟忠常十死ノ命ハ助リ彼女今日不慮ニ死亡ス志ノ所レ之貞女タル由時人有二口遊一「同書」 六十一 建久五年十一月一日北條殿爲二三島神事經營一伊豆國下向給同月十八日江馬殿爲二奉幣使一被レ參二伊豆國三島社一是姬君御不例本復ノ爲也同六年十一月十三日北條殿伊豆國被二下向一是三島社神事會セン爲也此神ノ事神書ニ奉レ號二久伊豆明神一名溝喰姬一ト云々女

蒲[illegible]村云此大神ハ仁壽ノ初メ伊豆國ヨリ當國駿河郡ニ移ス事國史ニミエタリコレニヨリテ又不審ノ事アレバ伊豆國ノ末ニ論ジオケリ

神名帳考證　十四

延喜式卷第九之十四　東海道第八

伊豆國九十二座

大　五座

小八十七座

○信友按當國ニカギリテ神名ヲ正シク稱スル社イト多シユヱアルコトニヤ○當國式社ノ注ニ志ト標シテ書ルハ寛政十二年ニ秋山章ノ著セル伊豆志ノ説也「志」在廳ノ家ニ康正中ノ式社神名記ヲ藏ム延喜式ト少ク異同アリ又稅祠（ユミャ）帳ニ依テ村里粗可レ知「伊豆峯記」ニ所レ載濱海ノ諸神ハ大略古祠也考ノ一助也又其村及社地ノ新古且棟札等ヲ考ヘテ定ム諸島ニ坐ス式社十五神イマダ親ク其地ニ至リ詢訪セザルヲ以テ知ガタシ今其知ルベキモノ數社ヲ出ス又當國ノ神社大祇三島神ヲ遷シ祭ル又多クハ其親戚マタ親臣ノ神トミユ

さえぬれはみたらし川もにこらさりけり」「吾嬬路記」貝原益軒當社ハ富士淺間ノ新宮也延喜年中富士ノ本宮ヲコヽニ勸請ス○府中賤機山ノ麓ニアリ○高島ノ山際久爾庄ニ大宮淺間社アリ初ハ富士山ニアリ後世コヽニ移ス○新宮ニ對シテ本宮ト云フ大宮司富士ヲ稱號トス姓ハ和邇部也

富知（フチ）神社

「捻風」富士郡不二神社大山祇之命也深持彦天皇二年丁卯六月上旬始祭レ之馬養部祝部掌祭レ之爲ニ一宮ニ○淺間本宮ナリ大宮司富士氏云今淺間ノ攝社ニ福知社アリ富士ノ地主神也ト云ヘリ本宮造營ノトキ淺間ノ神體ヲコノ社ヘ遷シ奉ルト云ヘリ「東鑑」文治二年七月十九日條駿河國富士領上政所福地社奉レ寄ニ神田ニ云々

駿河郡二座並小

丸子（マリコ）神社

「姓氏」仲丸子日臣命九世孫金村大連之後也○按大伴健日連隨ニ倭武命ニ平ニ東國ニ今日鞠子驛百木云此説ヨシ今鞠子宿ニアル社ハ別ナリ駿東郡東間門（ヒガシマカド）村去ニ沼津北ニ十町許

桃澤（モモサハ）神社

○備中國百射山神社按毛與レ美音通水神澤女命也出雲國三澤神永保三年解作ニ水澤ニ

式外舊社

大井神

「三實」貞觀七年十二月廿一日駿河國正六位上大井神從五位下○今大井大明神ト云テ大井川ノ邊ナル島田ノ驛ノ上ノ入口ニアリ

岐都宇命神

「三實」元慶二年四月十四日駿河國正六位上岐都宇命神火雷神並從五位下

火雷神

見レ上

阿氣大神

海中観其靈基所盤連亘數千里間行旅之人經歷數日乃過其下去之顧望猶在山下蓋神仙之所遊萃也承和年中從山峯落來珠玉玉有小孔蓋是仙簾之貫珠也又貞觀十七年十一月五日吏民仍舊致祭日加午天甚美晴仰觀山峯有白衣美女二人雙舞山巓上去巓一尺餘土人共見古老傳云山名富士取郡名也山有神名淺間大神此山高極雲表不知幾丈頂上有平地廣一許里其頂中央窪下體如炊甑甑底有神池池中有大石石體驚奇宛如蹲虎亦其甑中常有氣蒸出其色純青窺其甑底如湯沸騰其在遠望者常見煙火亦其頂上匝池生竹青紺柔愞宿雪春夏不消山腰以下生小松腹以上無復生木白沙成山其攀登者止腹下不得達上以白沙流下也相傳昔有役居士得登其頂後攀登者皆點額於腹下有大泉出自腹下遂成大河其流寒暑水旱無有盈縮山東脚下有小山土俗謂之新山本平地也延曆廿一年三月雲霧晦冥十日而後成山蓋神造也以上全文「扶桑略記」推古天皇六年秋九月太子(厩戸)試馭甲斐烏駒浮雲東去云々躡雲凌霧直至附神(フジ)岳上云々マタ役小角ガ事同書十六ウ文武三年ニ見ユ同十九オウニ見ユ同十四オ十七「常陸風土記」筑波郡云云古老曰昔祖神尊巡行諸神之處到駿河國福慈岳卒遇日暮請欲寓宿此時福慈神答曰云々冀許不堪於是祖神尊恨泣云々更登筑波岳云々筑波神答曰云々設飲食敬拜祇承云々「東鑑」十七建仁三年六月三日將軍家渡御于駿河國富士狩倉彼山麓又有大谷號之人穴爲令究見其所被入仁田四郎忠常主從六人云々四日巳尅仁田四郎忠常出人穴歸參云々蝙蝠遮飛于顏云々見奇特之間郎從四人忽死亡而忠常依彼靈之訓投入恩賜御劔於件河全命歸參云々古老云是淺間大菩薩御在所往昔以降敢不得見其所云々今次第尤可恐乎「伊呂波字類抄」淺間大神坐富士山或名富士明神云々「神社考詳篇」三島淺間二神爲父子是稱世也據日本紀三島爲大山祇神則淺間爲木花開耶姫乎「續後撰」四月廿日ふしの社にて櫻のさかりを見て法印隆辨「ふしのねは開ける花の習にて猶時しらぬ山櫻かな」「新勅撰」するがのふじの宮にてよみ侍る平泰時「千はやふる神代の月の

豐積神社

○今曰ニ羽衣社ト乎[神社啓蒙]三穂社與ニ羽衣社ニ不レ同今現社有焉三穂社在ニ平林中ニ羽衣社去ニ平林ニ數十步在ニ沙陵之下ニ○今町屋原村ニアリ

富士郡三座 大一座 小二座

倭文神社

[八雲]志豆機山駿河[主計式]駿河國倭文三十一端[書紀]倭文神建葉槌命○今星山ト云所ノ星山觀音ノ地內ニアリトゾ祭神カハセヲ也ト云傳フ

淺間神社 名神大

[文實]仁壽三年七月甲午以ニ駿河國淺間神ニ預ニ於名神ニ壬寅特加ニ駿河國淺間天神從三位ニ[三實]貞觀元年正月廿七日駿河國從三位淺間神正三位同六年五月廿五日庚戌駿河國言富士郡正三位淺間大神大山火其勢甚熾燒レ山方一二許里光炎高二十許丈有レ雷地震三度歷ニ十餘日ニ火猶不レ滅焦レ巖崩レ嶺沙石如レ雨烟雲鬱蒸人不レ得レ近大山西北有ニ本栖水海ニ所レ燒巖石流埋海中ニ遠三十許里廣三四許里高二三許丈火焰遂屬ニ甲斐國界ニ同年六月十七日辛丑甲斐國言駿河國富士大山忽有ニ暴火ニ燒ニ碎崗巒ニ草木焦熱土礫石流埋ニ八代郡本栖并剗兩水海ニ云々兩海以東亦有ニ水海ニ名曰ニ河口海ニ火焰赴向ニ河口海ニ本栖剗等海未ニ燒埋ニ之前地大震動云々然後有ニ此災異ニ焉同年八月五日己未下ニ知甲斐國司ニ曰駿河國富士山火彼國言上決ニ之蓍龜ニ云淺間名神禰宜祝等不レ勤ニ齋敬ニ之所レ致也仍應ニ鎭謝ニ之狀告ニ知國ニ訖宜ニ亦奉幣解謝ニ[紀略]延曆十九年六月癸酉駿河國言自ニ去三月十四日ニ迄ニ四月十八日ニ富士山嶺自燒晝則烟氣暗暝夜則火光照レ天其聲如レ雷云々同二十一年正月乙丑是日勅ニ駿河相模國ニ言駿河國富士山晝夜恒燎砂礫如レ霰者求ニ之卜筮ニ占曰干疫云々承平七年十一月某日甲斐國言駿河國富士山神火埋ニ水海ニ長元六年二月十日丙午云々 駿河國言上去年十二月十六日富士山火起レ自レ峯至ニ山脚ニ[文粹]卷十二十五丁 都良香富士山記曰富士山者在ニ駿河國ニ峯如ニ削成ニ直聳屬レ天其高不レ可レ測歷ニ覽史籍所レ記未レ有下高ニ於此山ニ者上也其聳峯鬱起見在ニ天際ニ臨ニ瞰

爲坏爵云々○信友云コハ坏ヲヘノ假字ニ用ヒタル例ヲ擧テ足坏ヲアベト訓ナラムト云ヘル也「捴風」足坏郷ニ足都幾神社アリ

神部神社

「舊事」素戔烏尊十世孫田々彦命瑞籬朝賜ニ神部直姓ニ「和鈔」安倍郡美和

建穗神社

「姓氏」建部公日本武尊之後也○安部川ノ上藁科川ノ丘山木枯森ノ邊ニアリ今馬鳴明神ト稱シテ建穗寺ノ鎭守トナル「東鑑」建穗寺建穗ト云處也「捴風」建保神社

中津神社

「捴風」云々

小梳神社

梳當レ作レ抓丹後國木積神社「捴風」云々

白澤神社

白當レ作レ百備中國百射山神社詳見ニ于駿河郡桃澤神社下ー「捴風」云々

大歳御祖神社

「捴風」云々○府中ノ西ノ方ニアリ別雷社ト云フ一說ニコノ大歳御祖神社也ト云フ

廬原郡三座並小

御穗神社

「三實」貞觀七年十二月廿一日駿河國御廬神社從五位上元慶三年四月五日授ニ從五位上御廬神正五位下ー「姓氏」廬原公吉備建彦命景行天皇御世被レ遣ニ東方ー伐ニ毛人及鬼神ー到ニ于阿倍廬原國ー復命之日以ニ廬原國ー給レ之「天智紀」廬原君「萬葉」風早之三穗ノ浦ワヲコクラチノ云々○府中ノ東二里バカリ三保ノ松原ノ中ニアリ三保村ノ生土神トス「捴風」云々

久佐奈岐神社

「捴風」云々

那閇神社

[駿風]益頭郡那閉崎那閉神社黒大迹天皇三年己丑四月所祭事代主神也神貢三十五束三字田○當目村ニアリ岡部宿ヨリ一里計南也土人虚空藏ト云フ

燒津神社

[景行紀]四十年日本武尊至ニ駿河ニ其處賊放レ火燒レ野王則以レ燧出レ火之向燒而得レ免云々故號ニ其處ニ曰ニ燒津[萬葉]三ノ燒津邊吾去鹿齒駿河奈流阿倍乃市道爾相之兒等羽裳[駿風]益頭郡燒津神社瑞齒別天皇四年己酉所祭市杵島比咩也神貢三十束三畝毛田○今屬ニ伊豆國田方郡ニ○府中ノ南三里海濱燒津村ニアリ入江大明神ト云フ○有度郡草薙神社ノ下見合ベシ[和鈔]益頭萬之都トアルハ後ノ字ニヨリテ唱ヘ訛タル也

有度郡三座並小

伊河麻神社

[兵部式]駿河國岡野牧蘇彌奈馬牧○出雲國島根郡生馬神社[捴風]伊軻麻神社○河ノ字ヲ假字ニ用タルコト此外ニナシ珂ノ字ヲ誤レルニヤ丹波國何鹿郡河牟奈備神社トアレドソレモ一本珂トアリ

池田神社

[捴風]池田云々池田神社

草薙神社

[捴風]有度郡草奈岐神社○府中ヨリ二里許東ニ谷田村ノ東ニ草薙村アリ尊ノ野火ヲ薙玉ヒシ舊地ナリソコニアリ祭神倭武命也社ノ側右ノ方ニ數圍ノ楠アリ其脇ニウロアリ內方一丈四方計アリ內ヘ入テ見ルニ屋室ノ如シ其根ノ方ハ石ニ化シタル處アリ又朽タル處アリ其上ヨリ尋常ノ大木ト云フベキホドノ楠ヲ生ジ枝葉シグレリ實ニ稀有ノ木ナリ[香具山日記]云々又草薙山或矢田山云々

安倍郡七座並小

足坏神社

[續紀]廿二盧原阿倍朝臣雄田麻呂[齊明紀]平武例我

アリ蒲冠者範頼ユヱアリテ此地ニ長リ玉フヨシ記セリ

白伊大刀自神

「三實」貞觀十六年五月十一日遠江國此六位上蒲田下田一作レ太白伊大刀自神從五位下

眞蘇原神

「三實」元慶二年九月十六日遠江國正六位上眞蘇原神赤尾神澁垂神從五位下

赤尾神

見レ上

澁垂神

見レ上

神名帳考證　十三

延喜式卷第九之十三　東海道第七

駿河國廿二座

大一座

小廿一座

益頭(マシツ)郡(ヤイツ伴本)四座並小

神神社(ミワ)

「三實」貞觀十五年八月四日駿河國從五位下美和天神從五位上元慶二年五月十七日授ニ從五位上美和天神正五位下ニ「駿風」三輪神社○今曰ニ三輪社ニ在ニ三輪村ー

飽波(アクナミ)(ハ印本)神社

「駿風」益頭郡飽波神社大鷦鷯天皇六年戊寅十月所祭少彦神名神也貢八十二九三字田「和鈔」飽波阿久奈美

モナシ○伊豆國賀茂郡伊古奈比咩神社アリ

鑄錢司

○信友按[三實]貞觀十四年九月廿五日新鑄貞觀錢文字破滅輪郭無レ全凡在ニ賣買ニ嫌ニ棄太半一譴ニ責鑄錢司ニ令ニ分明鑄作ートアリ此トキ鑄錢司ニテ祭リタル神ニ翌十五年從五位下ヲ授ラレタルナルベシ

黑山神

見レ上○信友按三實異本ニ黑ヲ里トアリ

火山神

見レ上

岐氣保神（キケノホノ）

[三實]貞觀十六年五月十日遠江國正六位上岐氣保神從五位下○國八内山眞龍云和名鈔山香郡ニ岐階（キケ）鄕アリ卽コノ岐氣也岐氣ノ火（ホ）ノ神ト申テコレ今ノ秋葉權現ナルベシ○秋葉ハ今周智郡犬居村ニ屬テ山峯ニ社アリ寺ヲ大登山秋葉寺ト云フ禪宗曹洞派ナリ本堂聖觀音行基作秋葉山權現社當山鎭守祭神大己貴命或曰式内小國神社三尺坊秋葉同社ニ祭ル當山ノ護神也當山ノ寺說舊記享祿天文ノ間ノ兵火ニ燒亡ス諺ニ云養老二年僧行基當山ニ上リ觀音地藏十一面大悲ノ像三軀ヲ作リ佛說ヲ草創ス鎭守ノ神ハ小國神社ニシテ大己貴命ナリ秋葉權現ト云フ一山ノ護神ニ三尺坊ヲ同社トス此靈人身ノ時信州ノ產ニテ佛ノ加護アリテ越後國藏王堂十二坊ノ中三尺坊ニ住職ス飛行自在ヲ得テ當山ニ來住ス大同四年也其後弘仁二年ヨリ諸國ヲ遊化シテ四百六十餘年ヲ經テ永仁二年八月中旬歸峯ス云々當山ノ神助弓箭刀杖ノ難火災燒亡ノ危急洪水沉沒ノ難ヲ免ル右秋葉事記ノ大略也○按コヽニ小國神社ナリトアルハ非ナルベシ上ノ小國神社ノ條考ベシ

蒲田神（カマダ）

○信友云[曳馬拾遺]ニ今長上郡植松村ノ北二町ヲヘテ神立（カウタチ）一作レ館ノ御室ニ内外ノ太神ヲ祭レリコノ邊ノ村々スベテ蒲ト云ソ東鑑十ノ卷ニ遠江國蒲厨ト

ト云ヘリ○一說秋葉山ノ奧ニ京丸村アリ此ナラン敬滿モキヤウマロト唱フベシト云ヘリ○又或說蓁原郡千頭村ニ今世美都乃瀧ト云フガアリ古其處ニ社アリシト云ヒ傳ヘタリサレバ敬滿ハウヤミツナルベシト云ヘリ○鈴屋大人云遠江國ノ古圖ニ蓁原郡初倉大日西島ニ鏡滿大菩薩ノ領地ト記セリ此處ニ敬滿神社ハアルベシトイハレタリ○神名帳古本傍注ニ敬滿神社一名事任大明神トアルハ據リガタシコヽニ引タル文實三實ノ文見合セ辨フベシ

式外舊社

筑紫對馬神

[三實]貞觀六年三月廿三日遠江國正六位上筑紫對島神從五位下

淡海石井神

[三實]貞觀七年五月八日遠江國正六位上淡海石井神從五位下○此神ハ式內淡海國玉神社コレナルベシ今モ見付驛ノ內ニ惣社大明神ト云フハ卽式內ノ淡海國玉神社ナリサテ此社ノ近邊ノ字ヲ北井ト云フ北井神ノ小路ナド云フ處モアリテ凡テ此邊水甚ヨロシキ所也サレバ此石井神ハ國玉神ト同ジキナラン石井ハ此邊ノ水ヨキユヱニ云フナルベシ國玉ハ祭神ノ御名ナルベシ

鳥飼神

[三實]貞觀八年十二月廿六日授ニ遠江國正六位上鳥飼神從五位下

鴨神

[三實]貞觀九年十月五日遠江國正六位上鴨神從五位下

伊古奈神社

[三實]貞觀十五年九月廿七日遠江國正六位上伊古奈神鑄錢司正六位上黑○信友云一作レ里山神火山神並從五位下○信友按遠江國正六位上伊古奈神鑄錢司正六位上黑山神云々ト同階ヲカク二所ニ書タルハ例ニタガヘリ此二所ニアル正六位上イヅレカ本史ニ誤字アルベシ又按鑄錢司ノ下ニ神字脫歟但本史異本ニ

布奈木郷アリ［捴風］云々○國人栗田氏云谷口村ニアリ今ソコヲ楠ノダイト云テ小社アリコレナルベシ一說大井川ノ下切山村（キレヤマ）ノ内ニアリト云ヘリ

服織田（ハトリタ）神社

○今曰二白羽神一此平在二相良庄御崎一去二横須賀一五里俗云此神來レ自二新羅國一［萬葉］廿［等倍多保美、志留波乃伊宗（トヘタホミシルハノイソ）云々［捴風］神名同ジマタ服織田村ト云フモ見ユ［式考］海邊ニアル白羽村ノ白羽大明神也ト云未詳

片岡（カタヲカ）神社

［式考］谷口村ニアル住吉也ト云フ未詳［捴風］神名同孝靈天皇六年五月初所レ祭住吉神也

飯津佐和乃（イヒツサワノ）神社

○按飯津佐者融通（王歟）也［式考］波津村ニアル牛頭天王也ト云フ未詳［捴風］大江郷飯津澤神社云々○此社蓁原郡大井川ノ上金谷驛ヨリ八九里奥上長尾村ニ有ツルガ社破レタエテ今ハ其蹟計アリ其處ニ八幡アリ先年神鏡ヲ土中ヨリ堀出シタリ徑リ八寸許銘曰遠江國榛原郡五社之内飯津澤神社圭田二十五束所祭高皇産靈尊也欽明御願也日本風土記出所如レ斯ト鑄付テ八ノ像モアリ此鏡今ソノ八幡宮ニ納アリ風土記ノ文今存スルモノト符合セリ

敬滿（キヤウマ）神社（名神大）

［文實］仁壽三年十一月癸丑以二遠江國敬滿神靈預一於名神一［三實］貞觀二年正月廿七日授二遠江國敬滿神正四位下一［續後紀］承和十四年八月己酉、遠江國蓁原郡人秦黒成女産二二男一女一云々（○按敬滿者功滿王秦氏祖神也）［姓氏］孝武王男功滿王［三實］元慶九年秦宿禰永原等自言秦始皇十二世孫功滿王子融通王之苗裔也（○信友按文實ニ敬滿神靈トアルモ故アルコトナルベシ）○谷口村ニアリ大中川ノ渡口ヨリ一里餘川下ナリ今川中島辨財天ト云フ○右地在二大井川邊一有二水難一漂沒今移二于新地一［捴風］敬滿神社圭田六十二束三字田有餘垂仁天皇二十六年所祭少彦名命也［式考］金谷驛ヨリ南十六七町經テ大井川ノ流レニ谷口村ト云フ處アリ其處ニ敬滿（キヤウマン）ノ森（モリ）ト云ガアリ其中ニ小社アリコレナルベシ

子權現ノ祠アリコレ卽當社ナラン○一説アハヽ山ノ峯ニ小社アリ今俗ニ觀音ノ奥ノ院ト云ヘリコレ阿波々神社ナルベシ此山ハ佐夜ノ中山ノ北ニ高ク見ユル山ナリ[煙霞綺談]明和中三州吉田ノ人林自見作同説觀音寺ノ堂ヨリ一町餘上リテ此社アリ式内アハヽノ社也ト古老語レリト云ヘリ俗ニ云無間ノ鐘ヲ埋タリト云フ處也俗アワガタケトモ云フ

利（トカミ）神社

[式考]掛川驛ノ西ニ十九首（ツフクシユ）ト云フ處アリソコニ戸神（トカミ）大明神アリコレナラム

城飼（キカフ）郡二座並小

奈良（ナラ）神社

[續紀]天平五年九月丁亥遠江國蓁原郡人君子部眞鹽女一産三男一[姓氏]吉彌候部豐城入彦命六世孫奈良君之後也[式考]掛川ノ東南三里計奈良野村アリ其村ノ南ニ藤屋大明神トテ森ノ中ニ祠アリ此也○國人栗田土麻呂云奈良野村ト云フニアリ隣村ニ平川村ト云フアリ氏神二社アリトモニ春日明神ト云フ平川村ノ平ノ字ハ奈良トモ訓ナレバ合セ考ベシ○信友云奈良ト號スルニヨリテ春日ト唱ヘカヘタランモ由アリ又素ヨリ春日神ヲ遷シタルニテモアルベシ

比奈多乃（ヒナタノ）神社

[古事]天菩比命之子建比良鳥命遠江國造等之祖也○出雲國比奈等理神社[式考]掛川驛ノ正南三里餘越テ高天神ト云フ高山アリ山上ニ祠アリコレナルベシイカントニ云フニ此山ノ麓ニ日向谷（ヒナタガヤ）ト云フ山里アルヲモテ知ル也○國人栗田氏云土方郷ノ內日向谷（ヒナタガヤ）ト云フ處ニ寺アリ鎭守ノ小社アリコレニヤ

蓁原（ハリハラ）郡五座大一座小四座

大楠（オホクス）神社

[仁德紀]六十二年五月遠江國司表上言有二大樹一自二大井河一流之停二于河曲一其大十圍本一以末兩遣二倭直五子籠一令レ造レ船而自二南海一運レ之云々[神代紀]杉及櫲樟此兩樹者可三以爲二浮寶一[和鈔]船木

○今直萱村ニ直草様ト云フ處アリ「式考」掛川驛南下西ノ郷村ニアル牛頭天王コレナリ「和鈔」因幡國法美郡大草於保加也

己等乃麻知神社

「文實」嘉祥三年七月丙子朔丙戌遠江國任事神授ニ従五位下ニ「三實」貞觀二年正月廿七日従五位上眞知神正五位上「藤原系圖」十四巻本大系圖本系帳曰天兒屋根命父神興登魂神娶ニ玉主命之女許登能麻遲媛命ニ所レ生也「諸社根源記」任事「十六夜日記」廿四日小夜の中山を越ゆ己登乃麻知とかや云ふ社のほど道いと面白し「名寄」佐夜の中山の口なる任事と云社にて鴨長明「又も見む吾ねぎ言のまゝならばしばし散らすな木々のもみぢ葉」「枕草紙」「東關記行」源親行本ノコトノマヽトアリ「東關記行」長明海記トアル本十四左ことのまゝいさと聞ゆるやしろおはします其御まへをすぐとていさゝか思ひつゞけられし「ゆふたすきかけてそたのむいま思ふことのまゝなる神のしるしを」「源光行海道記」類従本廿右野原を跡にしさと村をさきにして打かへ／＼過ゆけば事のまゝと申社に參詣す云々「思ふ事のまゝにかへなば松たてる神のちかひのしるしとそみん」社のうしろに小川をわたれば佐夜中山にかゝる云々 ○今俗曰ニ新坂山口八幡ニ乎「式考」日坂驛ニアル八幡也ト云フ昔ハ事任社ト云ヘリ日坂驛ハ佐夜ノ中山ノ道ノ口也○或説ニ「文實」ニ任事神トアルハ別ナルベシ小國神社ヲ小國任事神社ト申事當將軍家後ノ書モノニアリト云ヘリシカレバ文實ナル任事ハ小國社ヲ云ベシ己等乃麻知ト事任ト名ノ似タルニツキテマガヒタルナルベシ○信友按ニ此説イカヾ續後紀三實ニモ小國ハ小國トアリ三實ニ當社ハ眞知神トアルコレナルベシ按ニ小田村モモシクハ己等乃麻知神ナルユヱ小國任事神トモ云ヘルニテモアルベシナホ此神ノコトハ己ガ正ト考ニ云ヘリ

阿波々神社

西山村ノ山上ニ在日坂宿ヨリ東北ヘ入コト凡二里計也又此山上ヨリ金谷坂ヘ一里半也此社ノ下段ニ無間山観音寺アリ「式考」日坂驛ノ東北ニアハガ嶽ト云フ高山アリ山上ニ観音堂アリ其堂ノ北ニ八王

炭上之外非ニ素懐一歟故不レ置ニ心於一日片時泰山安ニ
造次於レ是顚沛亦レ之焉爾今于レ玆武田晴信記ニ甲州
國內一振ニ威於隣國一犯ニ近里遠境一破ニ却神社一燒ニ散
民屋一任ニ吾意一而不レ敬ニ叡慮一不レ用ニ武命一妖孼居
諸盛也葛藟相連無ニ奈レ之何一者也兩葉不レ去却用ニ
斧柯一今既及ニ强大一畢彼多勢而將ニ駿甲信上之兵一
予無勢而司ニ遠三二國之士一寔以レ寡對レ衆以レ弱向
レ强敢非レ憑ニ當社之神力一爭得レ勝レ之乎仰冀神力
垂ニ納受於駿甲之間一速戮ニ誅凶徒於目擊之裏一矣故
捧ニ一腰之吹毛一以類ニ漢皇之利劒一者也今此擧ニ義
兵一全非レ所レ致ニ私用一繼ニ絕世一爲レ與ニ慶民一也於ニ
子玆一玄鑑莫レ誤仍願書如レ件元龜三壬申稔九月二
十二日源家康敬白トアリ當時ノ神主鈴木豐前守重
勝神君ニ忠節アリテ御鎧ヲ賜リ子孫傳領ス今神封
七百石御朱印ヲ以テ御寄附也文政十一年六月神主
鈴木彈正ノ談ヲ傳聞テ寫レ之

馬主(ウマヌシ)神社

[式考]小國神社ヨリ二里餘西北ニ大久保村ト云フ
アリソコニ八幡アリ此鳥居前ニテ近村ノモノ馬ヲ
引來リ灸ヲスヱ爪ヲ切毛ヲ切ナドス其ハ此神深ク
馬ヲ愛玉フヱニ昔ヨリ此神前ヘ來リテカクハスル
トゾコヲオモヘバ馬主神社ハコレナルベシ○一
說山住村ノ西天龍河ノ西神妻(カンツマ)社ナルベシ

山名郡四座並小

山名(ヤマナ)神社

[和鈔]山名也萬奈[式考]山梨村ナル天王ナリト云フ
未詳

許禰(コネ)神社

島名(シマナ)神社

郡邊(コホリベ)神社(カホベ伴本乙)

[或考]高部(カウヘ)村ニアル六所大明神コレナラムト未
詳○土佐國土佐郡郡頭神社上野國片岡郡小祝神社

佐野郡四座並小

野伴本作レ埜[續紀]遠江國佐益郡

眞草(マカヤ)神社(クサ伴本)

奈比賣天神トアリテ既クヨリ天神ト稱シ玉ヘリ天神ト云フハ素ヨリ也中ゴロヨリ某ノ天神ト云フコト多クキコエタリ故ソレニモアレテ天神トイヒソレヲ菅公ノ神祠トセル例處々ニ多シ心ヲツクベキ也

須波若御子神社（スハノワカミコ）

［式考］見付驛ヨリ中泉村ヘ行大道ノ邊ニ諏訪明神ノ小社アリコレナラム○今曰ニ知田子ー

周智郡三座（スチ）並小

芽原川内神社（ハギハラカハウチ）苅三實

［三實］貞觀二年正月壬子授ニ正五位下苅原河内神從四位下ー同十六年二月廿三日授ニ從四位下苅原河内神從四位上ー○國人云今萩原山ノ下ナル川内村ニ今山仕權現ト云フ大社アリコレ也ト云ヘリシカレバ芽原ト帳ニアルガ是ナルベシサレド三實ニ二處マデ苅原トアレバ多キニツキテ苅改ベキニヤ○當國蓁原郡ナリ蓁ヲハギト訓ル例アリ

小國神社（ヲクニ）

［續後紀］承和七年六月戊辰奉レ授ニ遠江國周智郡無位小國天神從五位下ー［三實］貞觀二年正月廿七日授ニ正五位下小國神從四位下ー同十六年二月廿三日授ニ從四位下小國神從四位上ー［群載］六神祇官移遠江國應レ令下以ニ清原則房ー補ニ任小國社神主ー執中行社務上事右人任ニ相傳理ー充ニ補任神主職ー依レ例移送如レ件云々永保二年十月十七日［一宮記］大己貴命
［式考］袋井驛ヨリ三里北ニ當國一宮ト云フ大社アリコレナルベシ三四百年已前ノ古夯文神宮家ニ傳ヘ小國大明神トアル由傳聞セリ○國人栗田土麻呂云今一宮村ニアリ○當社ニ東照神君ノ御願書アリ其文曰夫以當社小國大明神者欽明天皇十六年春二月出ニ現于這所ー以來累代聖主寶祚朝廷鎮護靈神也爲レ守ニ國家永久ー垂ニ跡於東海之邊域ー也然則今當ニ於　人皇百有七代（正親）御宇ー世既罩ニ澆漓ー瑞鳳不レ到祥麟不レ出人心不レ淳姦邪並起四夷擧ニ兵革ー八荒動ニ干戈ー更不レ聽ニ理世安民之政ー矣家康苟爲ニ八幡太郎義家瓜瓞ー受下生ニ於弓馬家ー僅（知雖按僅下恐脱繼字）箕裘之業上以來遠悔ニ先祖斷絕ー近憂ニ近世擾亂ー願欲下與ニ帝都之衰微ー重治ニ國家擾亂ー致ニ君於堯舜ー救中民於塗

モ訓メバコレ也此社今ハ中泉村ノ八幡ノ末社トナレリ

豐雷命神社（トヨイカヅチノミコト）

[式考]豐雷命豐雷賣命生雷命此三社未詳見付驛人家近キ南方ニ雷神ノ小社アリ又同所大神社中ニ雷塚ト云フアリ背ヨリ社ノ趾トオボシキ塚ナリシカレドモ豐雷賣命生雷命イヅレ共其別ヲシラズ[捻風]豐雷神社云々トアリ命ノ字ナシ[和鈔]豐國（止與久爾）

豐雷賣命神社（トヨ）（靈比咩考）

○國人云雷御前ト云フ地アリソコニヤ○信友云後ノ風土記ニ豐玉比咩神社トアルコレナルベシ故ニカシコクモ如レ此改ムベシ

生雷命神社（イクイカヅチ）

[天武紀]大和牟狹社坐生雷神○上ノ豐雷命神社ト併セテナホ考ベシ

天御子神社二座（アメノミコ）

[式考]見付驛ノ北ノ原野ニ若宮ノ森ト云フアリコレ歟未詳一説見付ノ驛某寺ノ鎭守ニ御子ノ神ト云フアリ○信友云コハ下ノ御子神神社ノ下ニ云ヘル式社考ノ說ト考合スベシ

御祖神社（ミオヤ）

[式考]中泉村ノ八幡也ト云フ未詳

御子神社二座（ミコカミ）

印本作二御子神神社一[式考]見付驛ニ大見寺ト云フ淨土宗ノ寺アリ其寺ノ鎭守ニ御子大明神ト云フ祠アリコレナルベシ神祠ハ古ヨリ在リシヲ後ニ寺ヲ建テ直ニ鎭守トセシナルベシ

矢奈比賣神社（ヤナヒメ）

[續後紀]承和七年六月乙巳朔戊辰奉レ授二磐田郡无位矢奈比賣天神從五位下一[三實]貞觀二年正月廿七日從五位上矢奈比賣神正五位上[雲風]スサノヲノ命御子八野若日女命[式考]見付驛ノ天神コレ也世俗菅公ノ天神ト思フハ誤也○信友按續後紀ニ矢

「主計式」遠江國呉服綾白二十四赤十五匹「式考」羽鳥村ナル若一王子也或云王子權現然ルニ此村ハ豐田郡也當郡ハ式ノ後ニオカレタル郡ナレバ古ハ長上郡ナリシ也

朝日波多加神社

○國人石塚龍丸云飯田村ナル稻荷社ナリト云ヘリ

子倉神社

○近江國滋賀郡小椋神社

磐田郡十四座並小

入見神社

「國造本記」遠淡海國造物部連祖伊香色雄命兒印岐美命定賜○按印岐美與ニ入見ニ語渉「和鈔」入見「式考」見付驛ヨリ十三四町西北加茂村豐田郡也ニ大澗寺ト云フ寺アリ山號ヲ入目山ト云フ是ハ入見ヲ入目ト訛リテ其地名ヲ山號トセルナルベシ「捴風」云々

鹿苑神社

「文實」嘉祥三年七月丙子朔丙戌遠江國任事鹿苑兩神並授ニ從五位下ニ「三實」貞觀二年正月廿七日從五位下鹿苑神授ニ從四位下ニ「捴風」香園神社「和鈔」曾能○宮内省坐園神社「式考」泉村鹿苑大菩薩ト云フ社コレ也○二ノ宮村鹿苑大明神

淡海國玉神社

「式考」見付驛ノ惣社大明神ナルベシ見付ノ南ニ今浦ト云フ湖アリ今ハ皆田園トナリタレドモ古ハ大湖ナリシト云フ見付ハ當國府ナリシカバ後世惣社ト號セシナルベシ○一説豐田郡鹿島村椎ガ脇ノ社コレ歟古ハ此邊マデ入海也○椎ガ脇ノコト猪家神社長下郡ノ下ニモ云ヘリ○信友按則當國國魂ノ神也式外淡海石井神見合ベシ

田中神社

「式考」中泉村ノ田園ノ中ニ森アリコレヲ手長ノ森ト云フ此森ニ古神祠アリシガ慶長ノ頃東照神君中泉村ノ御殿ニ坐テ神祠ノ近キヲ憚玉ヒ中泉村ノ西ノ原野ニ遷シ玉ヘリ今手長大明神ト稱ス手ヲタト

[祭主家公文抄]小長谷行光補任遠江國濱名神戸刀禰[古事]神八井耳命小長谷造之祖也

若倭(ワカヤマト)神社

[萬葉]天平勝寶七年防人遠江國主帳丁麁玉郡若倭部身麻呂[舊事]天香吾山命五世孫建筒草命若倭部祖

長下(ナガノシモ)郡四座 並小

長野(ナガヌ)神社

[式考]永島村ナル牛頭天王也ト云未詳[雄略紀]膳臣長野[和鈔]長野 奈加乃

大甕(オホミカ)神社

[式考]美岡村ナル八幡宮也ト云フ未詳 [出雲國造神賀詞]大穴持命和魂大物主櫛𤭖玉命

登勒(トロク)神社

○對馬嶋胡祿神社

猪家(シシガ 伴本／井シケ 印本)神社

ヰノヘ印本左訓

[式考]鹿鳥村ナル椎川脇(シヒガワキ)大明神也椎河(シヒガ)ハ猪川(シシガ)ナルベシ脇ハ川ノ脇ナルユヱ歟未詳○川ヲ加トノミ云ヘルハ駿河又近江國伊賀郡鮎川(アユカ) 伊勢國員辨郡石川以之加 内宮儀式帳ニ伊久良賀波宮ヲ伊久良賀宮ナホ例アリ此社ハ猪川ノ義ニテシヽガテフ川ノ名ニヨレル歟又若狹國遠敷郡熊川ヲクマガ西小河ヲニシヲゴト里人ハ云ヘリ河ヲカトモコトモイヘル也家號ニ石河トカキテイシコト唱フルモアリ

長上郡五座 並小

大歳(オホトシ)神社

[式考]神立村ナル牛頭天王也ト云ヘリ未詳

邑勢(オホセ)神社

[式考]大瀬村ナル神明也ト云フ未詳○今大瀬村天龍河ノ西也○大背飯三熊之大人天穂日命子也按邑勢大背音訓通[古事]大菩日命之子建比良鳥命遠江國造之祖也

服織(ハトリ)神社

渭伊神社

[三實]貞觀八年十二月廿六日遠江國蟾謂神從五位下[和鈔]渭伊以井○今日ニ伊野屋社ニ[太平記]當國ノ人ニ井彈正アリ○今モ井ト云[式考]井伊谷村ナル正八幡宮ナルベシ○國人内山眞龍云渭伊神社ノ近キアタリニ古井アリ其井ノ水ト橘トヲ毎年ノ春近江國彦根ノ井伊殿ヘ奉ル例也

乎豆神社

[式考]刑部村ニアル神明ナリトイヘド疑ハシ[和鈔]刑部

三宅神社

[和鈔]麁玉郡三宅美也介

蜂前神社 サキ印本

[式考]祝田村ノ明神也ト云ヘド疑ハシ或人云祝田村羽鳥大明神也ト云ヘリ

須倍神社

○石塚龍萬呂云都田村ニアル神明ノ社也ト云フ其村ノ内ニ今モ須倍ト云フ地アリ○若狹國三方郡須部神社

大敍神社 セキ印本

敍一本歟或穀ナドアリ按穀ハ字書ニ除也ソグノ訓アリ大敍ハオホソギニテ地名ニテハアラヌ歟

麁玉郡四座並小

於侶神社

[式考]柴本村ニ於呂大明神ト云フアリコレ也然ルニ柴本村ハ今豐田郡也此郡ハ延喜以後ニ置レシ新郡ナリ[姓氏]下家連彦八井耳命之後也○陸奧國膽澤郡於呂閉志神社

多賀神社

[式考]多賀長谷若倭以上三社ハ宮口村ナル六所大明神ニ攝スト云フサレドモ其證ヲ得ズ

長谷神社

之祖也野見宿禰之先出レ自ニ建比良鳥命一［東海名］今橋本村ニアリテ上下諏訪大明神或ハ湊大明神ト云フ水門ノ開塞ヲシロシヌス神トテ人呼テ湊大明神ト云フ今モ江水ニ臨ヌル社也

敷智郡六座 並小

岐佐神社

［舊事］饒速日命亦名膽杵磯丹稲穂命〇按佐與レ磯通當國國造出レ自ニ此命一［和鈔］象島［式考］前坂驛八王子明神也ト云フ［捴風］岐佐岡神社（俗號ニ岡糟垣一）トアルハコレ歟又［同書］象島鄕アリ〇但馬國伊岐佐神社

許部神社

［姓氏］子部火明命三世孫建刀米命之後也［捴風］許邊神社［式考］字布見村ノ米大明神ナルベシ部ト兎ト音通ヘバコベハ郎コメ也今日子ト云フハ米ノ字ニヨリテ訛リタルナルベシ〇荒木田末壽云和名鈔ニ小文鄕アリコハ小女ノ誤ニテコノ許部ニヤ

津毛利神社

［殘風土記］毛作レ氣［姓氏］津守宿禰云々火明命八世孫大御日足尼之後也〇信友按津毛利ノ津息ノ沖曾許乃云々ノ底ノ立加久留ノ隱ミナ言葉相對シテ由アリゲナリ

息神社

［文實］仁壽二年閏八月戊辰授ニ遠江國息神從五位下一丙子以ニ遠江國息神一列ニ於官社一

曾許乃御立神社

［三實］貞觀四年五月朔遠江國正六位上曾許乃美立神從五位下〇國人石塚龍丸云吳松村ノ鹿島大明神也ト云ヘリ未詳〇信友按國常立尊一名國底立尊トイヘルニカヨヒテキコユ伊豆國田方郡ニ阿米津瀨氣多知命神社ト云フモアリ

加久留神社

加印本作レ賀［三實］貞觀四年五月朔遠江國正六位上加久留神從五位下

引佐郡六座 並小

多〇國人內山眞龍云英多鄕英多神社〇今縣氏アリト云ヘリ「捻風」云々「古事」羽山戸神云々生ニ子云々次秋毘賣神ニ云々今日秋葉山「玉篇」英草木英華

猪鼻湖神社（ヰノハナノミヅウミノ）

「續後紀」承和十年十月癸酉遠江國濱名郡猪鼻驛家廢以來稍久今依ニ國司言ニ遣レ使撿ニ其利害ニ更令ニ興復ニ「兵部式」遠江國驛馬猪鼻十匹「捻風」云々「眞淵記行」永正七年八月廿日地震シテ松原ヲフリタフシケレバ湖大海ヒトツニナリ又ソレヨリ處ノモノ今切ノ渡ト呼來ケル由老タル人ノ物語ニノコレリ「東海名」遠江ノ湖ヲ濱名ノ湖又猪鼻ノ湖トモ云ヘリ明應八年六月十日ノ洪水ニ湖ト海トノ間切レテ湖ハナクナリタリ故ニ今切ト云フ今ノ荒井驛ノ北方ノ坂路猪鼻ナルベシ云々「振裾記」稱號ニ依テ考ルニ此神ハ湖ノ岸上ニ坐シトミエタリ今八王子社モト荒井ノ濱邊ノ岡ノ上ニ有シヲ寶永四年所移リノトキ諏訪ノ社中ノ今ノ所ニ移スト云ヘリ然レバ八王子モシ猪鼻湖ノ神ニアラズヤ〇今ノ荒井驛ノ舊名猪鼻ト云ヘリ〇信友按荒井ハ舊荒猪歟可レ尋ナリ「式考」新井驛ヨリ三四里東北瀨口村ノ江水ノ中ニ岩山アリ此社其處ニアリト云フ今民俗コノ處ヲ猪鼻湖チヨピコト字昔ニイフトゾ

大神神社（オホミワ）

「式考」新井ヨリ北十七八町隔テ中鄕（ナカノガウ）ト云フ村ニ大（オホ）和（ワ）大明神ト云フアリ「和鈔」大神「捻風」云々

角避比古神社（ツヌサクヒコ） 名神大

「文實」嘉祥三年八月戊申詔以ニ遠江國角避比古神ニ列ニ官社ニ先レ是彼國奏言此神叢社瞰ニ臨大湖ニ湖水所レ漑擧レ土頼レ利湖有ニ一口ニ閉塞無レ常湖口塞則民被ニ水害ニ湖口開則民致ニ豐穰ニ或開或塞神實爲レ之請加ニ崇與ニ爲レ民祈レ利從レ之「捻風」角避比古神社浦無ニ圭田ニ有ニ百五十束三字田ニ宣化天皇元年丙辰所祭素戔嗚尊也角避比古者尊之異名也「式考」新井驛ノ中ニ湊大明神ト云フコレ也〇野見宿禰命也「垂仁紀」當麻蹶速强力毀レ角云々野見宿禰踏ニ折其腰ニ而殺レ之「古事」天菩比命之子建比良鳥命遠江國造

「文實」仁壽元年十月乙巳阿志神授二從五位下一○在二阿志村一去二吉田驛一六里半祭神木花開耶姫也ト云フ今號二諏訪明神一神主大場氏「式社考」在二蘆村一今號二諏訪明神一或記云阿志大明神○國人鈴木重名云此社中古廢タリシニヤ近古田原ノ城主夢ノ告ニヨリテ舊地ヲ察シテ神社ヲ再興スト云ヒ傳フ「和鈔」高蘆多加之

神名帳考證　十二

延喜式卷第九之十二　東海道第六

遠江國六十二座

大二座

小六十座

濱名郡五座大一座 小四座

「式考」濱名郡五座今ハ皆敷知郡ニ坐セリ濱名ノ湖云々ノ變アリシ後古トハ郡界モ革リ又神社ノ地モ轉リ變タルベシ

彌和山（ミワヤマ）神社

「式考」新井驛ノ西橋本村ニアリト云フ此村今ハ敷智郡也古ハ濱名郡ナリシニヤ「揔風」云々

英多（アガタ）神社

「式考」新井驛ノ諏訪神此社也ト云フ未詳「和鈔」英

赤孫神從五位上同十八年六月八日從ニ授五位上赤孫神正五位下ニ［搖風土］赤日子神社圭田三十九束三毛田所祭海神綿積豐玉彦神也安曇氏祝祭之天智天皇甲戌九月始奉ニ圭田ニ加ニ神禮ニ有ニ神家幽戶等ニ［和鈔］赤孫安加比古［令義解］神服部等齋戒潔淸以ニ參河赤引神調絲ニ織ニ作御衣ニ［持統紀］赤引孫［內外宮儀式］赤引明曳［大神宮年中行事］赤良曳荷前御調糸ナドアリ赤比古モ赤曳ノ糸ニヨリタル社號ナルベシ○當國吉田人植田氏云額田ノ西郡三好氏今モ麻ヲ調進ス赤曳明神ソコニ坐リト云ヘリ○在ニ上鄉村ニ○今曰赤坂驛今在ニ上西郡村西北ニ祭禮九月十六日淸田上鄉西村ノ氏神也

石座神社

［文實］仁壽元年十月乙巳石鞍神授ニ從五位下ニ［三實］元慶七年十二月廿八日從五位下石鞍神從五位上［式社考］或記云磐倉大明神［搖風土］石座神社云云所祭天雅彦也○設樂郡大宮村ニアリ岩倉大明神ト稱ス新城ノ北也○信友云民部式首書ニ延喜三年八月十三日割ニ寶飫郡ニ置ニ設樂郡ニトアリ延喜式ハ延長五年ノ奏進ニテカノ延喜三年ヨリ後ノモノナレドモ草稿ノトキハイマダ設樂郡ヲオカレザル時ナルベシ故ニ此式ニ設樂郡ヲ載ラレズトミエタリ再考ルニ搖國風土記ニモ寶飫郡笨塚鄉ニ石座神社云々トアリ次ニ石座河ト云フモ載タリ

八名郡一座小

石卷神社

卷異本作ニ麻木ニ［文實］仁壽元年十月乙巳石纏神授ニ從五位下ニ○在ニ金田村ニ云ニ吉田驛ニ一里半今曰ニ石卷山ニ［東海名］八名郡神鄉村ニアリ吉田驛ヨリ一里餘東北二川驛ノ北ナリ例祭正月十五日九月十六日祭神大己貴命也風土記云八名郡美和神社圭田五十束所祭大己貴命也齊明天皇元年乙卯始奉ニ圭田ニ加ニ神禮ニ○國人羽田野敬雄云今神鄉村ニアリ石卷大明神ト云フ神主大木氏古田氏正月十五日管粥穀占アリ五月六日九月十六日ニモ祭禮アリ

渥美郡一座小

阿志神社

菟足（ウタリ）神社

[三實]貞觀六年二月十九日正六位上菟足神從五位下[國造]穗國造寶飫郡ナルベシ泊瀨朝倉朝以二葛城襲津彥命四世孫菟上足尼一定二賜國造一[古事]開化下菟上王○今曰二止雷久社一御油驛路小坂井村ニアリ菟足八幡ト云社領九十五石神主川出氏例祭四月十一日ナリ風ノ祭ト云社說云祭神開化天皇孫大股王第二子兎上王白鳳年中依二神告一併二祀八幡宮一祭式射二取雀十二羽一爲二祭牲一○鐘銘曰參河國寶飫郡渡津鄉菟足大明神云々應安三年庚戌十一月云々トアリ此鐘土中ヨリホリ出セリト云フ又安元二年二月廿六日寄附ノ大般若經アリ○國人羽田野敬雄云菟足神社ノ祭禮ヲ風祭ト云雀十二羽ヲ射取テ供ス此コト[宇治拾遺]三河入道いまだ俗にてありけるをり云々三河國に風祭といふ事をしけるにいけにゑといふ事に猪をいけながらおろしけるをみて此國のきなんと思ふ心付てけり云々やがてその日國府を出で京にのぼりて法師になりにけりトアルモ此祭ノ事トキコエタリ後猪ニヲ雀ニカヘタルナルベ

シ

砥鹿（トカ）神社（砺伴イ）

[文實]嘉祥三年七月丙子朔授二三河國砥鹿（伊勢貞丈本）神從五位下一仁壽元年十月己亥朔乙巳進二參河國砥鹿神階一加二從五位上一[三實]貞觀六年二月十九日授二砥鹿神正五位下一同十二年八月廿八日授二正五位下砥鹿神正五位上一同十八年六月八日從四位下砥鹿神從四位上[一宮記]大己貴命○但馬國刀我石部神社[搖風土]所祭大物主神云々寶飫郡一宮村ニアリ山ヲ本茂（ホンモ）山ト云フ峯ノ社ヲ本宮ト稱ス吉田ヨリ麓マデ三里山路五十町峯ニ社頭アリ本宮ガ嶽トモ云フ○社說云祭神大己貴命神主草鹿砥氏也社領百二十石文武天皇御脳ノトキ大寶年中草鹿砥（クサカト）公宣（キムノリ）ヲ以テ當社ヲ祭ラシム神主ハ公宣ノ裔也ト云ヘリ例祭五月四日ナリ[和鈔]豐川（止與加波）

赤日子（アカヒコ）神社

[文實]仁壽元年十月己亥朔乙巳赤孫神授二從五位下一[三實]貞觀七年十二月廿六日參河國從五位下

目神授ニ従五位下一

播豆郡三座並小

久麻久神社二座

[國帳]熊來明神[式社考]在ニ熊子村一今號ニ稲荷大明神ニ西尾ノ東也城下ニ近シ社領二十石神主牧氏

[和鈔]糈和名久萬之稱

羽豆神社

[文實]仁壽元年十月己亥朔乙巳播豆神授ニ從五位下ニ[國帳]羽州明神○今ノ唱ナリ[式社考]在ニ宮崎村一今號ニ羽利大明神一○羽豆郡ニアレバ地名歟尾張知多郡ニ羽豆神社アリ當國ノ國帳日長知立羽豆ノ三社尾張ニアルコト由アルベシ

寶飫郡六座 飯印本

形原神社

[和鈔]形原加多乃波良[古事]美知能宇志王云々生ニ子云云次朝廷別王ニ四柱此朝廷別王三川之穗別ニ之祖○在ニ形原村ニ[捴國風土記]形原神社圭田五十五束所祭垣安神也皇極天皇元年寅十二月奉ニ圭田神禮一

御津神社

[文實]仁壽元年十月己亥朔乙巳御津神授ニ從五位下ニ[和鈔]御津美都[捴風土]御津神社云々所レ祭下照比咩云々今御油宿ノ東南國府ノ南三津村ニアリ今ミト村ト唱フ和名鈔郷名御津(美都)トアル都ヲ(ト)ト訓アヤマリタル唱ニヤアラン舟洲明神ト云フ舟津ナルベシ鐘銘ニ大日本國三河州御津庄大明神云々享德元年壬申十月十五日當庄刺史細川兵部少輔源朝臣トアリマタ鰐口ノ銘ニ萬治三庚子暦三月十五日三州御津庄船主大明神トアリ○本州吉田ノ人羽田野敬雄云當社今御津庄廣石村ニアリテ御津大明神ト云フ今御津ト云フハ其ワタリ廣石茂松森下西方泙野大草赤根七ケ村ノ庄號ニテコレヲ御津七郷ト稱スサレド他ヨリハ廣石ヲサシテ御津ト稱ビ馴來レリ[三川國ニ葉松]ト云フ書ニ御津湊始孝元天皇行ニ幸當國ニ之日奉レ寄ニ鷁首於此津ニ因レ此號ニ御津湊一トアリコレ古老ノ傳説トキコエタリ今ソノ近キ海邊ニ御馬村ト云フガアリテ當國五ケ所ノ湊ノ一也ナホ考ベシ

公之先也〔姓氏〕坂田酒人眞人又酒人眞人中臣酒人宿禰酒人小川眞人〔書紀〕酒人公〔續紀〕酒人宿禰中臣酒人朝臣トモアリ〔式社考〕國圖ヲ按ズルニ矢矧ノ川下西方橋ヨリ一里半バカリニ坂戸村ニアリ或記云酒人天神

日長神社

〔式社考〕或記云日長明神〔文實〕仁壽元年十月乙巳日長神授ニ從五位下ニ〔古事〕肥長比賣〔長張神名帳〕知多郡從三位日長天神愛知郡ニモアリマタ從一位智里府名神モアリ又同郡羽豆神社式ニモ國帳ニモアリ此三神三河ト尾張ニアルコト由アルベシ今當社ノ鰐口ノ銘ニ尾張國知多郡知立神社トアリト岡田氏ノ秉穗錄ニアリ尾張ヨリ常社ヲ本社ノシテ後代納メタルモノナルベシ

知立神社

〔文實〕仁壽元年十月乙巳進ニ三河國知立神階ニ加ニ從五位上ニ〔三實〕貞觀六年二月十九日授ニ三河國從五位上知立神正五位下ニ同十二年八月廿八日授ニ三河國正五位下知立神社正五位上同十八年六月八日授ニ從四位下ニ○按前階史脫智立神從四位上〔和鈔〕知立○當社古額ニ正式位智鯉鮒大明神正安辛丑八月神□法印トアリ神殿ニ藏ム○今作ニ池鯉鮒ニ驛ノ西ノ入口ニアリ祭神詳不合尊ト云フ例祭四月三日〔熱田社鎭座記〕三河國碧海郡知立神社祭ニ武彥命ニ〔寬平緣起〕〔倭武尊奉レ命東征云々天皇勅ニ吉備武彥與ニ建稻種公ニ服ニ從倭武尊ニ〔書紀〕天皇則命ニ吉備武彥與ニ大伴武日連ニ令レ從ニ日本武尊ニ武彥命ハ孝靈天皇ノ御子也今熱田龍神社ハ武彥命ヲ祀レリト云フ○信友按ニ永萬記ニ鯉白白一本作レ付社トアルハ池鯉付ノ池ノ字缺タル也

比蘇神社

〔式社考〕或記云比蘇天神一說上和田宮地村犬頭大明神也ト云フ

糟目神社

〔式社考〕或記云糟目天神○國人守山氏云上ノ今村ノ川ノ岸ニアリ〔文實〕仁壽元年十月己亥朔乙巳糟

稻前(イナサキ)神社

[舊事]景行皇子五十狹城入彥命三河長谷部直祖

[式社考]或記云稻猿天神之號○當郡前木(マヘキ)村八幡宮神主竹尾但馬云此八幡宮稻前神社也ト云ヒ傳フ御朱印百五十石玉ハル東照宮ヲモ合セ祀レリ古ハ大社ニテ神田モ多カリシ事古文書ニ見ユ又田ノ字ニ神事田三月田ナド其外神事等ニ須テ納タリトオモハル、名目アリ又當社ノ神宮寺モアリタリシヲ今ハ廢タリ正月三日稻前ノ神事ト云フ事アリ或說ニ同郡岡崎ニ近ク稻熊村アリテ伊賀八幡宮トテアリコノ稻熊稻前ニテ此社ナラン歟ト云フ人モアリト云ヘリ○信友按ニ前木ナル八幡モト稻前神社ナルヲ後ニ八幡ヲ合セ祭リ其方ヲノミ世ニ唱ヘ武家モ信仰セルナルベシサテ本社ニツキタル祭事ヲ稻前ノ神事ト辭別テ云ヒ傳ヘタルナルベシ必シカアルベキイキホヒ也竹尾氏此說ヲ聞テ諾ヒキ文政七申年二月十三日記

謁播神社 アチハ 印本伴本左訓 アヘハ 伴本右訓

[文實]仁壽元年冬十月己亥朔乙巳進二參河國謁磐神一授二從五位下一○或作二謁磐一[神鳳]饗庭御厨[式社考]在二阿知和村一今號二春日明神一或記云謁盤大明神岡崎ノ北東ニ西阿知和村東阿知和村アリ

碧海(アヲミ)郡六座 並小

和志取(ワシトリ)神社

[和鈔]鷲取和之止利[姓氏]御立史御史同氏氣入彥命之後也持統天皇御代依レ居二參河國靑海郡御立地一賜二御立史姓一日本紀漏同書云御使朝臣出レ自二諡景行皇子氣入彥命一之後也譽田天皇御世御室雜使大王生等逋逃不レ仕二天皇一遣レ使尋求並不二復命一於レ是氣入彥奉レ詔括進於二參河國一捕獲參來天皇嘉令二使者一賜二姓御使連一○按氣入彥命捕二逆臣於此地一故號二鷲取一乎[式社考]或說云鷲取明神一作二天神一○守山氏云本鄕村ニアリ鷲塚村ニ天滿天神ト云フ社アリ又鷲塚新田ト云フ處モアリ

酒人(サカヒト)神社

[姓氏]酒人造彥坐命之後也[繼體紀]莵皇子是酒人

○兵主神素戔嗚尊也至ニ此神裔大鴨積命ニ賜ニ姓賀茂君ニ郎郡名也［式社考］一說松平村六所明神云々兵主神社蓋此社乎○上伊保村ニ藏王社アリコレカ

射穗（イホ）神社

［和鈔］伊保［舊事］景行皇子五十功彥命三川三保君祖云々按伊保三保語通［式社考］伊保村或記云伊保天神也○今曰伊保藏王社乎狹投末社也

狹投（サナゲ）神社

賀茂郡猿投村ニアリ（サナギ山又サナゲトモ云）知立ヨリ北ノ方四里計モ海道ヨリ見ユル高山ニ坐ス猿投大明神例祭九月九日當國幷美乃尾張ヨリ馬ヲ獻ズ○熱田緣起一本ノ首書ニ［三河本國帳］曰座ニ加茂郡ニ正一位猿股大明神トアル股ハ投ノ誤也［文實］仁壽元年十月乙巳狹投神授ニ從五位下ニ［三實］貞觀六年二月十九日從五位下狹投神從五位上同十二年八月廿八日從五位上狹投神授ニ正五位下ニ同十八年六月八日授ニ從五位上狹投神正五位下ニ（可考）元慶元年閏二月廿六日授ニ正五位上狹投神從四位下ニ○社記曰狹投神忍代別天皇子大碓皇子也五十二年登ニ狹投山中ニ蛇毒薨（四十二歲）在ニ峯之宮ニ號ニ西宮東宮ニ［景行記］四十年夏六月東夷多叛云々時大碓皇子愕然而逃ニ隱草中ニ云々爰天皇責曰云々因レ此遂封ニ美濃國ニ仍如ニ封地ニ是身毛津君守君二族之始祖也トアリコノ社地美濃ノ國堺ナリ○國人鈴木重名云社三社アリ本社ハ下ニアリ東峯上（山上ニアリ）西ノ小山上ニ社アリ御陵モアリ

廣澤（ヒロサハ）神社

［式社考］或人云猿投之末社在ニ廣澤天神ニ○鈴木重名云サナゲノ社ヨリ西廿五町山下ニアリ甚小社也又サナゲ村ニ廣澤ト云フ處アリテ甚シキ小祠アリ今ハホト〳〵廢ナントス

灰寶（ハヒホ）神社

伊豆國波布比賣命神社近江國波爾布神社古波邇夜須比賣神按依ニ此郡有ニ土師氏ニ殊祀レ之歟［式社考］或記云灰寶天神

額田（ヌカタ）郡二座（並小）

神從五位下○信友云國帳正四位下栗栖地神トアルコレナルベシ(姓氏錄)栗栖連饒速日命子宇麻志麻治命之後也トアリ宇麻志麻治命ノ族ニ由緣アル神社當國ニオホシ削栗神社ノ下其外トモニ見合セテ考ベシ

神名帳考證　十一

延喜式卷第九之十一　東海道第五

參河國廿六座並小

賀茂郡七座並七

野見神社

土師氏祖野見宿禰命也[文實]仁壽元年冬十月乙巳參河國野見神授ニ從五位下ニ[大嘗會式]參河國所造等呂須技已下土器七種○今曰ニ能見山天皇ニ[式社考]當ニ足助之北ニ在ニ能見村ニ白山社アリコレ歟或記云野見天神○國人鈴木重名云或人云野見山ト云フ二ノ社アリ同棟ニテ兵主樣ト云フアリ百姓持ナリ

野神社

[式社考]野社明神○或云足助ノ西野口村ナリ

兵主神社

越智與ニ愛智一同「推古紀」本居訓ニ宇夫須那一字與レ青音便通當社愛智本居而祭ニ天照櫛玉饒速日尊一古記曰日魂蓋以ニ天照櫛玉之號一謂レ之歟又此神祀ニ海藏門外一號ニ東青衾一或書ニ白衾一然式及國帳但一祠而已本州葉栗郡宇夫須那神社武藏國男衾郡小被神社美濃國加茂郡阿夫志奈神社等共本居之神而所レ祭神不レ同不レ可ニ以レ此混一レ彼者歟

知多郡三座 並小

阿久比神社

「和鈔」英比○今曰ニ稗宮村八幡一歟「國帳」從二位阿久比天神一作ニ英此一「式社考」今英比トカキテアクシト云フ誤也「集說」英比庄桿宮村稱ニ八幡社一歟私曰英比庄土俗自レ古奉レ號ニ英比殿一男女二軀小像上庄内十六村民家每戶以ニ一日一夜一交轉祀レ之蓋昔日有レ社亡者歟抑（扶桑略記）所レ謂岐神（明月記）所レ記御靈辻祭之類歟

入見神社

「集說」內海庄中鄉村稱ニ八王子一「國帳」從二位入見天神一作ニ入海一

羽豆神社

○今曰ニ播頭崎明神一「集說」但馬庄幡頭村但馬一作ニ田嶋一今稱ニ八幡一「國帳」從一位羽豆名神一作ニ波豆一「古事」天押帶日子命者知多臣之祖也「姓氏」羽東首天足彥々國押人命子彥姥津命之後也云々幡頭崎本州南極海岸之地而式奉幣終ニ此社一三州播豆郡羽豆神社同神也

式外舊社

多天神

「文實」仁壽三年六月庚午以ニ尾張國多天神一預ニ於名神一同年七月辛丑加ニ尾張國多大神從五社上一延賢按中島郡三十座之中大神社乎大與レ多同（臨時祭式）曰多坐神社或稱ニ大社一「三實」元慶元年閏二月廿六日尾張國正五位下多名神正五位上○信友云多ノ名神ト唱フベシコレ大神社ナルコト明也

栗栖社

「三實」貞觀十六年二月廿三日尾張國正六位上栗栖

大名神

八劍神社（ヤツルギ）

○今在二熱田社南一所攝有三八子神社一○劍懸松溝野村ノ西ニアリ是景行四十年日本武尊東征ノトキニ劍ヲ忘置玉フ處也俗八劍宮ト云是也「熱田尊命記」祈年新嘗ノ祭ノ外ノ諸祭ハ皆此社ヲ先トシ後ニ大宮諸神ヲ祭ル「國帳」正一位八劍大名神「集說」熱田大宮南或稱二下宮一和銅元年九月鎭座素戔烏尊和魂也按「書紀」蛇頭尾各有二八岐一云々斬至レ尾有二一劍一名二草薙八劍一「神名式」出雲國大原郡八口神社風土記八作レ矢「杵築社記」大原郡斐伊鄕中須川邊有二杉八本一祭二蛇頭一仁田郡田當レ作レ多尾原村祭二蛇尾一乃石壺火明神是也風土記未宮（官イ）知社石壺云々由レ是見レ之則八口稱三頭有二八岐一也八劍稱二尾有二八岐一也神劍出二於出雲國一奉二尾張國一謂二此熱田上宮一和銅帝建二別宮一稱二下宮一者蓋有レ故歟又當社所レ攝有二八子神社一子與レ口倭訓通疑移二祭出雲國八口神一以爲二頭尾配合一乎其實共崇二素戔烏尊靈德一者也凡素戔烏尊斬レ蛇之說者非二事蹟一乎「出雲風土記」悉記二一國故事舊蹟一而無二斬レ蛇之事一是非二闕文一實有二秘說一而存矣

火上姉子神社（ヒカミアネコ）

「百錬」寛治八年五月八日諸卿定二申尾張國火上社臥木起立事一○今在二大高位一去二熱田社一巽一里半○村人云宮村古ハ火高村ト云ヒタレド火ノ字チ忌テ大ノ字ニカヘタリト云ヘリ「國帳」正二村火上姉子名神「集說」大高庄大高村舊愛智郡今攝二智多郡一「尾張守村椙寛平記」宮酢媛下世之後建レ祠崇二祭之一號二氷上姉子天神一其祠有二愛智郡氷上邑一以二海部氏一爲二神主一海部尾張氏別姓也云々按「天孫本紀」饒速日尊十世孫淡夜別大海部直祖云々凡高座八劍日割火上稱二熱田四所別宮一延久元年記合二大宮一稱二五所大神一「好忠集」「神祭る冬はなかはになりにけりあねこか閨ミヤに榊をりしく」○信友云寛平緣記日本武尊ノ御歌ニ阿由知何多比加彌阿禰古トアリ其外此神ノ事アリ可二見合一

靑衾神社（アヲブスマ）

○今在二白鳥村字脫歟一稱二天日魂命一「國帳」正二位靑衾名神「集說」按姓氏錄曰越智直神饒速日命之後也云々

成海（ナルミ）神社

「和鈔」成海奈流美○今在ニ鳴海驛ニ稱ニ東宮明神ト相傳日本武尊也「集説」鳴海庄驛中東宮明神社記曰日本武尊東征之日留止之地也仍祭ニ日本武尊ヲ云々社傳云正一位「國帳」正二位成海天神一作ニ鳴海名神ニ

物部神社

「集説」古井（コヰ）村俗曰ニ石神社堂ト「和鈔」物部「集説」在ニ高牟神社西北ニ崇ニ一巨石ヲ爲レ神蓋古有レ祠荒蕪者歟元祿中故權中納言綱誠卿新建レ祠按「姓氏」物部氏有ニ神別皇別ニ種ニ物部首天足國忍人命之後也物部連饒速日命之後而與ニ尾張氏ニ同祖也「文實」齋衡三年九月癸卯大僧都傳燈大法師位實敏卒實敏俗姓物部氏尾張國愛智郡人也云々當　知當郡昔日有ニ物部氏人ニ當社蓋其氏神祠歟○春日郡又式外中島郡ニモ物部社アリ「國帳」從三位物部天神

日割御子（ヒワリノミ）神社 名神大

○在ニ八劔社巽ニ「集説」八劔宮東門外「帝王系圖」稻依別王犬上君武部君等祖「國帳」日割御子大名神今作ニ火破ニ○信友云日割御子神孫若御子神高座結御子神惣三前奉レ預ニ名神ニ並熱田大神御兒神也ト續後紀承和二年ノコヽニ引タル文ニ見エタリ「續後紀」承和二年十二月壬午日割御子神奉レ預ニ名神ニ熱田天神御子神也

孫若御子（ヒコワカミコ）神社 名神大

○今在ニ熱田宮西南ニ「集説」推武彦王云々熱田大宮鎭皇門外（内イ）「國帳」從三位彦若御子大名神「續後紀」承和二年十二月壬午彦若御子神奉レ預ニ名神ニ熱田大神御子神也「熱田尊命記」俗彦若宮トアリ

高座結御子神社 名神大

「續後紀」承和二年十二月壬午高座結御子神奉レ預ニ名神ニ熱田大神御子神也「舊事」高倉下夢師靈當レ置ニ汝庫裏ニ視レ之果有レ劔取而獻焉云々按高倉下命尾張氏祖也○今在ニ熱田宮北十町餘機綾（ハタヤ）村ニ「集説」今作ニ高藏ニ千竈庄機綾村云々社説云高藏神社足仲彦命 諡仲哀 也云々「國帳」正二位高座結御子神

(宇治拾遺)等ニ出テ承久亂ノ時里民等社頭ニコモリケル事ハ(沙石)ニミユ又後世信長公桶狹間ノ軍事ニ神助ヲ得シ事(安土制業記)(信長記)(總見記)等ニミユ

御田(ミタ)神社

社記曰保食神也毎年二月祈年十一月新嘗翌日向ニ於此祠前ニ有ニ直會之儀ニ尾張氏爲ニ倭舞ニ今在ニ熱田宮西北ニ稱ニ實田殿社ニ「集說」熱田宮內祭神保食神俗云實田社「國帳」從三位御田天神一作ニ三田ニ

高牟(タカムク)神社

ム印本

「集說」古井庄古井村稱ニ八幡ニ「姓氏」高向朝臣武內宿禰六世孫猪子臣之後也「國帳」從三高位牟天神一作ニ高牟久ニ

川原(カハラ)神社

「集說」川名村或書ニ川桒ニ稱ニ神明ニ有司簿爲ニ鳴海庄ニ今按古井庄歟村東有ニ小川ニ故得ニ其名ニ乎「祝詞式」水神匏川桒埴山姫云々「國帳」從三位川原天神一作レ河

針名(ハリナ)神社

○今在ニ平針村ニ「天孫本紀」天香語山命十三世尾綱根命男尾治針名根連一作レ命連「集說」鳴海庄平針村稱ニ天神社ニ「國帳」從三位針名天神○信友按上野群馬郡榛名神社今榛名村ニ在リ「姓氏」檜前舍人連火明命十七世孫波利郡乃連公之後也○備前御野郡尾治針名眞若比女神社同郡尾針神社アリ

伊副(イフト)神社

フ印本

「姓氏」伊福部宿禰尾張連同祖火明命之後也「集說」鳴海庄驛中熱田鄕有ニ曾布久女村ニ村一作レ祠松炬神社座焉俗稱ニ十握劔社ニ或呼ニ御塚ニ社說曰祭ニ建稻種命ニ伊福部與曾布久女語近乎「國帳」從三位伊副天神一作ニ伊福村ニ或作ニ伊富利ニ又作ニ伊福部ニ○信友云姓氏錄伊福部云々トアルニヨリテソノ氏人ノ祖神ナルベクオボユ國幔異本ニ伊福利伊富利ナドアルハ葉栗郡ニ伊富利部神社トアルニヨリテサカシラニ書カヘタルナルベシ

（原本書名缺續後紀ナリ）天長十年六月壬午詔奉レ授下坐二尾張國一從三位熱田天神正三位上並納二封十五戸一［日本紀略］弘仁十三年六月庚辰尾張國熱田神奉レ授二從四位下一［文實］嘉祥三年十月乙巳朔辛亥尾張國熱田神正三位

頭注 或人云天長十年正三位ヲ授タマヒシ時イマダ位記ヲ奉ラズシテ嘉祥三年ニ奉タマヘルナラン歟

［三實］貞觀元年正月廿七日甲申授二尾張國正三位熱田神從二位一同年二月十七日癸卯授二尾張國從二位熱田神正二位一同年同月十九日乙巳遣二正五位下守右中辨兼行式部少補大枝朝臣音人一向二伊勢國多度神社尾張國熱田大縣等神社一奉二神位記財寶一［正應四年託宣紀］正一位熱田大神宮［永正六年八月熱田講式］日本大棟梁熱田天眞清田大縣云々［平家物語］當國第三宮云々（盛衰記同）［神道集］（安居院快睿）或人云熱田大明神我朝尾張國第三宮惣閻浮提內第三宮ナリ［天智紀］七年沙門道行盜二草薙劒一逃二向新羅一而中路風雨芒迷歸［釋紀］日本武尊留二其形影天叢雲劒一爲二此神體一今正殿二字相二並東西一東殿曰二土用御殿一奉レ安二草薙劒一爲二日本武尊和魂表一也西殿曰二正御殿一配二享五神一中座日本武尊西二座素戔嗚尊奇稲田姫命東二座宮簀姫命健稲種命也右一座也後以二四神一爲二相殿一［和鈔］厚田［扶見］（五十三）建久元年八月廿七日御潔齋奉二幣熱田社一給當社依レ爲二外戚祖神一殊被レ致二中心之崇敬一（○賴朝上洛ノ時也）同書（五十九）同四年十二月一日大內相摸守惟義爲二奉幣使一參二向尾張國熱田社一被レ獻二神馬一又被レ遣二別錄於大宮司範經一是殊可レ有二御祈禱事一也將軍家御母堂大宮司季範之娘也故熱田事別而有二御尊崇一云々［十訓］妙音院大臣殿尾張國に坐しましけるとき夜熱田神宮に參給ける七日滿ける夜月のくまなかりけるに琵琶を引すまして願は今生世俗大字業と云朗詠をし給たりければ寶殿おびたゞしくゆるぎけり

頭注 妙音院殿ノ古事ハ（平家）（盛衰）ニモミユ又興福寺ノ一和僧都維摩ノ講師ヲ望テ神託ヲ得シ事（撰集抄）（春日驗記）（元亨釋書）等ニミユ又釋性蓮母ノ遺骨ヲ抱テ社外ニ臥ケルコト（沙石集）（釋書）等ニモミエ伏見修理大夫俊綱大宮司ニ無禮ヲ咎ケルコトハ（續世繼）藤波卷（寶物集）

［集說］愛智郡今攝ニ知多郡ニ處多矣

日置(ヒオキ)神社

○今在ニ日置村ニ［集說］市部庄日置村今稱ニ山田庄ト俗稱ニ千本松八幡ニ［姓氏］日置朝臣 應神天皇皇子大山守王之後也續日本紀合［國帳］從三位日置天神○信友云出雲風土記ニ日置ノ地名ノ說アリ

上知我麻(カムツチカマ)神社

［和鈔］愛智郡千竈○社記曰上社ハ國造乎止與命也俗號ニ源大夫熱田地主ニ也建稻種命宮簀媛命皆此命之子也○今在ニ八劔社南ニ［集說］千竈庄熱田鄕市場村［國帳］正二位上ノ知我麻名神一作ニ千竈上ノ名神ニ［集說］此社俗稱ニ源大夫ニ尾張宿禰氏祀而祭ニ尾張國造小止與命ニ今爲ニ六座ニ國造志賀高穴穗朝諡成務以ニ天別天火明命十世孫小止與命ニ定ニ賜國造ニ［熱田本記］尾張氏遠祖建レ國肇レ鄕獻レ賦貢レ稅是本州國造之始也按［天孫本紀］小止與命男建稻種命生ニ二男ニ嫡尾綱根命應神天皇御宇賜ニ尾治連姓ニ爲ニ大臣大連ニ其裔代仕レ朝孝德天皇御宇尾張連忠(ナガ)命奉レ勅供ニ奉熱田神宮ニ［尾張氏系圖］曰忠命之男尾張連稻君其男尾張連稻與天武持統文武三朝奉レ祀補ニ大宮司職ニ稻與二十世孫大宮司尾張宿禰員信有ニ三子ニ嫡曰ニ員賴ニ祝師田島田家祖也仲曰ニ信賴ニ惣撿挍馬場家祖也季曰ニ員識ニ補ニ大宮司職ニ員識無ニ男子ニ有レ故以ニ外孫藤原季範ニ爲ニ家嗣ニ自レ此大宮司職代以ニ季範之裔ニ補レ之

下知我麻(シモツチカマ)神社

社記曰下千竈社二座眞敷刀媛命小豐命妃多麻媛命稻種命妃俗號ニ紀大夫ニ蓋奉祀神役人號也今在ニ熱田宮西北ニ［國帳］正五位下知我麻名神一作ニ千竈下名神ニ［集說］熱田大宮鎭皇門外北俗稱ニ紀大夫ニ小止與命妃尾張大印色(オホイニシキ)女岐イ云々眞敷刀婢命建稻種命之妃尒波縣君大荒田命女子玉姬命二座也

熱田神社名神大

［集說］熱田鄕江崎神ノ故見ニ日本紀及熱田本紀貞觀社記寬平緣起其他古記字錄ニ又予別造ニ問答雜錄ニ國帳正一位勳一等熱田大神宮一作ニ大名神ニ［　］

「集說」山田庄大野木村稱二六所明神一「國帳」從三位大乃伎天神一作二大簷（オホノキ）一

尾張（ヲハリ）神社

「續紀」神護景雲二年十二月甲子尾張國山田郡人小治田連藥等賜二姓尾張宿禰一「國帳」從三位尾張天神一作二尾張田一一書二小針一「集說」味岡庄小針村稱二山王社一「姓氏」尾張宿禰火明命二十七世孫阿曾連之後也「集說」此社祭二天賀吾山命一今誤稱二山王一私曰此村本州中央之地也蓋名起二於此處一歟尾張其實小墾也云々

別小江（ワカエ）神社

「舊事」物部印葉連弟大別連歟「國帳」從三位別小江天神一作二太江一

大井神社

「集說」山田庄如意村六所明神社北有二大井池一「國帳」從三位大井天神

坂庭（サカハノ）神社 二八日本

「集說」味岡庄坂場村稱二三明神一場又作レ庭「國帳」從三位坂庭天神

尾張戸（ヲハリベ）神社

「集說」山田庄水野村稱二當國明神一鎭座山謂二尾張山一水野一作二下水野一 按戸與レ部同訓「姓氏」尾張部彥八井耳命之後也與二尾張宿禰等一不レ同二姓祖一或曰「和鈔」山田郡主惠主惠陶也今有二上末村下末村一「萬葉」齋戸（イハヒベ）乎忌穿居（ヲイミホリスヘ）「書紀」瓮此云レ倍「神名式」大膳職坐高倍神者崇二陶器之靈一「大嘗會式」尾張國所二造進一甕以下十六種以レ之考レ之則盖尾張瓮神歟

石作（イシツクリ）神社

今愛智郡中有二石（ヤカ）集說作レ岩作（コ）村一訓二也佐古一有二神明社一蓋山田郡今攝二愛智郡一者多矣石作村卽今山田庄也「和鈔」石作「集說」山田庄岩作（ヤサコ）村稱二神明一隷二愛智郡一「姓氏」石作連火明命六世孫武機根命之後也〇尾張氏同祖之神也（）當國中島羽栗丹羽山田ノ四郡トモニ同名ノ社アリ

愛智郡十七座 大四座 小十三座

［集說］田中庄川村（稱ニ熊野權現ト）按水神也呼ニ熊野ト者蓋水分之倭訓久麻利之訛乎［國帳］從三位川島天神川一作レ河

小口（サクチ）神社

［集說］篠城庄野口村八幡社乎○中島郡大口神社丹羽郡小口神社［和鈔］山口ハ小口歟［國帳］從三位小口天神

伊奴（イヌ）神社

［舊事］須沼比神女伊努姫○［集說］山田庄稻生村（按伊勢國奄藝郡伊奈富神社稻生祭神保食神也與レ此同神）［國帳］從三位伊奴天神○信友云出雲風土記ニ伊努神社多シ

金（コガネ）神社（カネ印本）

○延賢（集說以下同）按天孫本紀有ニ尾治金連ト天香語山命十五世（孫田事）後也○今在ニ山田庄上水野村小金山ニ（稱ニ白山ト）［國帳］從三位金天神一作ニ小金ト○信友云式外國帳ニ金名神アリ

和爾良（ワニラ）神社

［集說］［姓氏］和仁古大國主神六世孫阿太賀田須命之後也○私曰［天孫本紀］建手和邇命身人部連等之祖也是尾治氏種類之神也［國帳］從三位和爾良天神一作ニ和尒士ニ一本無ニ良字ト

多奈波太神社

［集說］山田庄田幡村按天柳機姬神也此神裔八千丶（本ノマヽ）姬命太神宮機殿始也（神名秘書）［國帳］正四位下多奈波天神一作ニ桁幡ト按桁ハ欅字誤乎

綿（ワタ）神社

［姓氏］和田首神魂命五世孫天道根命之後也［國帳］從三位綿天神一作ニ和田ト

澁川（シブカハ）神社

［集說］田中庄印場（イナバ）村私曰物部印葉連歟［國帳］從三位澁川天神川一作レ河

太乃伎（オホノキ）神社（大集說）

「國帳」從三位高牟天神一作ニ高見ニ○高田寺村ニアリ社地ヲ高見ノ森ト云フ今ハ白山明神ト云フ近郷六村惣社ナリ卽コレヲ高田六郷ト云フ

内々(ウツ、ウチウチ印本)神社

「式社考」篠城(シノキ)庄內津(ウツ、)村「國帳」正三位內々天神一作ニ內津ニ「寛平熱田社記」日本武尊還ニ向尾張ニ到ニ篠城ニ進食之間稻種公傔從久米八腹策駿足馳來啓曰稻種公入レ海亡沒日本武尊乍レ聞悲泣曰現哉々々(ウツ、ナルカナ)註曰依ニ現哉之詞ニ其地號ニ內津社ニ○今錄天神在ニ春日部郡ニ○今俗曰ニ內津妙見ニ實建稻種命也廟祠篠城庄內津村也

多氣(タケ)神社

○今在ニ大氣村ニ「集說」味岡庄大氣村稱ニ熊野權現ニ大御食都姬歟「國帳」從三位多氣天神

山田郡十九座並小

信景曰山田郡今攝ニ春日部郡ニ爲ニ庄名ニ或(以下集說)曰斯波氏領國之時停ニ山田郡ニ合ニ春日井郡ニ爲ニ一郡ニ云々

片山(カタヤマ)神社

「集說」山田庄東杉村稱ニ藏王權現社ニ按春日部郡坐片山神社同レ之歟「國帳」從三位片山天神

大目(オホマ、ノ印本訓)神社

「姓氏」大眞(オホ眞姓)連饒速日命十五世孫彌加利大連之後也云々 或曰舊事紀所謂物部目連歟「國帳」從三位大目天神

羊(ヒツジ)神社

「集說」田中庄辻村稱ニ神明社ニ「國帳」從三位羊天神○信友云辻村ニアレバ辻テフ地名ニヨレルニヤ山田郡田中庄ト云フニツキテ思ヘバ舊ハ樋辻ナド云地名ニハアラズヤ

深川(フカカハ)神社

「集說」山田庄瀨戸村稱ニ八王子社ニ「國帳」從三位深川天神一作レ河

川島(カハシマ)神社

○今在二北外山村一[集說]同味岡庄也稱二六所明神一[國帳]從三位外山天神

片山神社

[集說]味岡庄牛山村[國帳]從三位片山天神

訓原神社

印本訓

○在二篠城庄外原村一白山社歟[式社考][集說]同山田庄井關村[國帳]從三位訓原天神[舊事]尾治佐迷連之子尾治栗原連云々○丹後國久爾原神社○信友按和名鈔安藝國高宮郡訓覔久留倍木トアルニヨレバ訓原ハ久留波良ナルベシ然レバ栗原ニヨシアリ[集說]稱二栗原天神一

牟都志神社

○今在二六師村一[集說]小田井庄六師村稱二白山社一[國帳]正四位下牟都志天神一本作二六師一[頭注]集說曰按下總國相馬郡蛟蝄神社倭名鈔水神和名美豆知云々美豆智與二牟都志一語近蓋水神歟或云出雲國嶋根郡都武自神社同レ之歟按舊事紀速飄命云々私曰二說未レ知二孰是一然共風水神而其義近歟今按小治田連等祖六見命歟

味鋺神社

印本

[集說]山田庄味鋺村稱二六所明神一俗ニ味鏡トカキテアジマト唱フルコトアリ[國帳]從三位味鋺天神一本作二味鏡一非也○信友云物部氏祖味間見命ノ子ニ宇麻志麻治命ナドアルニ對ヘテ按フニ味鋺モ宇麻志麻里ナランカサレド村名ノ命唱ニハ叶ハズ物部氏當國ニヨシアルコトオモヒ合スベシ

物部神社

愛智郡又式外中島郡[國帳]從三位物部天神[集說]味間見命之子宇麻志麻治命也

伊多波刀神社

[集說]味岡庄多樂村稱二八幡宮一俗云古板面畫鳩獻二神靈一故爲レ號按石見國多鳩社同レ之歟日本紀ニ曰高皇產靈尊兒火之戸播姫云々[國帳]從三位伊多波刀天神一作二板鳩一

高牟神社

「集説」稲置庄小口村「國帳」從三位小口天神○信友云中島郡大口神社山田郡小口神社和名鈔小曰トアルハ小口ノ誤也

鹽道神社（シホチ）

「集説」稲置庄鹽尻村稱ニ神明社ニ「國帳」從三位鹽道天神

大縣神社（オホカタ）名神大

「集説」柳庄二宮村本宮坐ニ山頂ニ號ニ眞神山ニ神或本作レ靈州二宮也云々 社記別錄 之國帳正一位大縣大明神「舊事」日本武尊子武田王尾張國丹羽建部君祖同云邇波縣君祖大荒田命「姓氏」倭建尊三世孫大荒田命「續後紀」承和十四年十一月癸酉奉レ授ニ尾張國无位大縣天神從五位下ニ「文實」仁壽元年十一月辛巳詔以ニ尾張國大縣神ニ列ニ於官社ニ同三年五月辛亥无位大縣神授ニ從四位下ニ「三實」貞觀元年二月十七日從四位下大縣神從四位上同十九日乙巳遣ニ正五位下守右中辨兼行式部少輔大枝朝臣音人ニ向ニ伊勢國多度神社尾張國熱田大縣等神社ニ奉ニ神位記財寶ニ同十五年八月十三日授ニ從四位上大縣神正四位下ニ

春日部郡（カスガベ）十二座並小

異本及和鈔無ニ日字ニ「集説」今書ニ春日井ニ部與レ井通又今合ニ山田郡ニ爲ニ一郡ニ○信友云熱田寛平緣起ニ春日井郡トアリ

非多神社（ヒタ）

「集説」味岡庄林村有レ稱ニ早田地ニ「國帳」從三位非多天神非一作レ卑或作レ樋多一作レ田按伊勢國飯野郡意非田神社同レ之歟飯野社也

乎江神社（ヲエ）

○乎異本作レ宇按當レ作ニ宇乎江ニ二本互脱歟印本頭書云ト兼永本曰宇江神社「國帳」從三位乎江天神乎一作レ宇一本作ニ魚江ニ○山田郡小江神社○伊勢國魚海神社

外山神社（トヤマ）

詩小雅北山有レ杻○又云山城名跡志杻社(フタツリ)アリ字鏡杻ノ訓左良比一本杻トアリ同書粗ノ訓阿良々和名鈔杻械也云々天加志今按杻又木名也云々トアリテ櫃和名加之萬年木也爾雅集注云一名杻云々トアリコヽノ杻ハ檀ノ事ナランカ刑具ノ天加志ハイカニゾヤオボユ件ノ引書ナドヲ本トシテナホ可レ考也

削栗(カチクリ)神社

ケヅリ印本訓此考恐非也

○今柳庄入鹿村今移ニ前原村ニ「集説」高雄庄勝栗村稱ニ八幡ニ云々削當レ作レ剌「和鈔」栗剌俗云久利乃伊加「國帳」從三位削栗大神○信友按削ハ式ノ諸本又國帳ニモ然アレバ誤字トモ定ガタシ今勝栗村ニ在ト云ニヨリテシヒテイハヾナホ加知具利ト唱ベキニヤカチ栗テフモノ古クヨリアリシカ未考ザレドモ今ヲ以テ云ニ皮ヲ削ギ去リテ干(ホシ)タルモノナレバ字ノ義ニモ叶ヘリサテ當國ノ郡ニ葉栗アリ又和久里村ニ若栗神社アリ葉ト云ヒ若ト云ヒカチ栗ト云ヘル栗ニヨシアル事ナルベシ「舊事紀」尾治栗原連「國帳」栗田三所地神マタ栗栖地神丹羽郡栗須村ニアリ「姓氏錄」栗栖連云々宇麻志麻治命之後也「三代實錄」貞觀十六年ノ下ニ栗栖神アリ訓原神社モ久留ハラナルベシクリクル同言ナリ下クコノ見合ベシ 以上信友考

託美(タクミ)神社

「國帳」從三位託美天神一作レ工(タクミ)「姓氏」工造火用命十世孫大美和都禰乃命之後也

蟲鹿(ムシカ)神社

○在ニ柳庄入鹿(イルカ)村ニ今移ニ前野村ニ「集説」初坐ニ蟲鹿庄入鹿村ニ寛永十二年移ニ村民於前原ニ造ニ沼池ニ之時遷ニ坐前原村ニ「國帳」從三位蟲鹿天神

立野(タチノ)神社

「集説」高雄庄神野(カウノ)村「國帳」從三位立野天神

井出(キデ)神社

「集説」井上庄井上村「國帳」從三位井出天神

小口(ヲクチ)神社

天神

前利（サキト）神社

「續後」承和八年四月乙巳縣主前利連氏益賜ニ姓縣連ニ云々神八井耳命之後也「和鈔」前刀〇今在ニ高雄庄齋藤村ニ「集說」同「國帳」從三位前利天神一作ニ前刀ニ

諸鑼（モロクハ）神社

「和鈔」丹羽郡大桑〇海部郡諸鍬神社〇今在ニ諸桑村ニ「國帳」從三位諸鑼天神一作ニ諸桑ニ

阿具麻（アグマ）神社

「國帳」從三位阿具麻天神一作ニ吾馬ニ〇今在ニ江城庄天摩村ニ稱ニ天神ニ「集說」同集說曰按出雲國生馬神社同レ之歟生馬社祭神保食神也

針綱（ハリツナ）神社

「舊事」建稻種命邇波縣君祖大荒田女子玉姫爲レ妻生ニ尾綱根命ニ「式社考」稻置庄犬山村ニアリ「姓氏」若犬養宿禰尾綱根命之後也〇按犬山名起レ自ニ犬養之稱ニ乎（天孫本紀）天香語山命五世孫建筒草命男建多乎利命者笛連若犬甘連等祖云々「集說」稻置庄犬山村今稱ニ白山ニ「國帳」從一位針綱名神〇信友云愛智郡針名神社

生田（イクタ）神社

〇今在ニ井上庄芝原村ニ「集說」同「國帳」從三位生田天神

宅美（タクミ）神社

「舊事」日本武尊子武田王尾張國丹羽建部君祖「國帳」從三位宅美天神集說曰大和國宅布世神社姓氏錄所レ謂名奇波世君也然則宅是也美君略語也

鳴海（ナルミ）杻神社

杻印本傍書作レ粗「國帳」從三位鳴海杻天神一無ニ杻字ニ〇國帳異本梁白杻糿トモアリテサマ〳〵ニ誤レリ〇愛智郡成海神社アリ「集說」小弓（テカシ）羽黑村「和鈔」小弓〇信友云字書杻齒九切音丑手械也又檍也

神名曰二阿麻之彌加都比女一吾未レ得レ祝若爲レ吾充二祝人一皇子能言亦是壽考帝卜二人覔レ神者一日置部等祖建岡君卜食卽遣覔レ神時建岡君到二美濃國花鹿山一攀二賢樹枝一造レ縵誓曰吾縵落處必有二此神一縵去落二於此間一乃識レ有レ神因竪レ社由レ社名レ里後人訛言二阿豆良里一也〔集說〕稻置庄吾鬘村（祭神天甕津媛命）

田縣神社

〔舊事〕日本武尊子武田王尾張國丹羽建部君祖〔國帳〕從三位田縣天神一作二田方一〔集說〕久保一色村今屬二春日井郡味岡庄一有二縣森一蓋此社歟○信友云中島郡ニ高田服蘇皮神社アリ

頭注國人大脇道輔云當社神體ハ木造ノ男莖ナリ祭禮ニハコトニ大キナルヲ造リテ持出スト云々春村案ニ田社ニハオホクアル事ナリ首卷ニ云フヲミルベシ

稻木（イナキ）神社

〔古事〕大中津日子命稻木之別尾張國之別等祖也〔集說〕稻置庄寄木村（俗稱二天道一俗天道社ト云）〔和鈔〕丹羽郡稻木

〔集說〕依二日子之稱一附二會日天子一者歟夫天道者浮屠氏祭北斗號也東鑑曰天道北斗或書二天頭一而充二大日靈尊一又謂天道根命也者共牽合之說也〔國帳〕從三位稻置天神

石作（イシツクリ）神社

〔集說〕稻置庄石枕村〔國帳〕從三位石作天神○中島羽栗丹羽山田四郡トモニ同名ノ神社アリ

伊賀々原（イカゞハラ）神社

〔集說〕饒速日命六世孫伊我香色乎命〔國帳〕從三位伊賀々原天神

山那（ヤマナ）神社

○今在二高雄庄南山那村一〔集說〕同〔國帳〕從三位山那天神

爾波神社

〔古事〕神八井耳命者尾張丹羽（波イ）臣島田臣等之祖也○今在二高雄庄丹羽村一〔和鈔〕丹羽〔國帳〕從三位爾波

大野神社

「集說」今在二門間庄大野村一「國帳」從三位大野天神

石作神社

「國帳」從三位石作天神○中島郡丹羽郡ニモアリ

宇夫須那神社

「推古紀」本居訓二宇夫須那一「集說」今在二門間庄島村一「墻囊」若栗鄕云々「風土記」此鄕盧入姫命降誕之地也「國帳」從三位宇夫須那天神

川島神社

「風土」葉栗郡川島社在二川沼鄕河島村一奈良宮御宇　聖武天皇時凡海部忍人申此神化爲二白鹿一時々出現有レ詔奉齋爲二大社一焉「集說」門間庄島村「國帳」從三位川島天神

保富利部神社（伊フ印本）

「姓氏」伊福部尾張連同祖火明命之後也「集說」門間庄八幡村八幡歟「國帳」從三位伊富利部天神一無二部字一○信友云いほりべト唱ベシ　宇夫須那神社ノ下所レ引風土記所レ謂盧入姫ノ事オモヒ合セ且コノ姫子ノコト可レ考　合帳外葉栗郡魚入天神ト云フモアリ

大毛神社

○今在二門間庄大毛村一「集說」同「和鈔」大毛「姓氏」大毛首大閉蘇彌命孫建新川命後也「國帳」從三位大毛天神一作二大筒一○信友云大綜杵命當國ニヨシアリ大閉蘇彌命トカムガヘ合スベシ「集說」按大御食郡姫神歟

丹羽郡廿二座（大一座　小廿一座）

阿豆良神社

「國帳」從三位阿豆良名神一作二吾鬘一「和鈔」五鬘トアルハ吾ノ誤也釋日本紀「風土」丹羽郡吾縵鄕卷向珠城宮御宇天皇御世品津別皇子生七歲而不レ語傍二問群下一無二能言一之乃後皇后夢有二神告一曰吾多具國之

室屋ハ室原神社トアルニ由アルカ「國帳」從一位輌
江名神

葉栗郡十座 並小

「集說」葉栗郡今屬ニ美濃國地ニ凡五十二村

穴太部神社

「集說」按山田郡多奈波太神社同神歟私曰孔王部首
始祖乎姓氏錄曰穴穗天皇諡安康之後也○民部省圖帳
突部明神トアルハ穴太ヲ突ニ誤リタル也「國帳」從
三位穴太部天神一無ニ部字一

阿遲加神社

補「集說」按日本紀曰應神天皇二十年倭漢直祖阿知
使主來歸云々(萬葉集)云中凉綾云々阿知織綾歟和
田○以上春村補「舊事」宇摩志麻治命十五世物部阿遲古連
公云々加與レ古音通蓋祭ニ此連公ニ「國帳」從三位阿遲
加天神一作ニ足近ニ○信友云 萬葉十四「安治可麻の
可家の湊にいる汐のこてたすくもかいりてねまく
も」天野信景ノ庚辰隨筆ニ 尾張國知多郡ニ加家村
アリ安治可麻ハ知我麻ノ事ニヤト云ヘリコレラニ
ツキテナホ考ベシ○今美濃國ニ屬テ葉栗郡ニテ足
近拾九箇村アリ其内ノ直道村ト云フニ此神社アリ

若栗神社

「和鈔」若栗「民圖」若栗明神「古事」孝昭天皇娶ニ尾
張連之祖奥津余曾之妹名余曾多木毘賣命ニ生ニ天押
帶日子命ニ又曰天押帶日子者羽栗臣之祖也「姓氏」
葉栗彦國葺命之後也○吉從按若ハ葉ノ誤ナランカ
猶考ベシ「集說」上門間庄大家鄉和栗村是今島村旡
八幡社旡也島村古和栗村也古事記云々文武天皇御
宇小乙中葉栗臣人麻呂者當郡本貫而光明寺本願也
當時有ニ民人者ニ可レ知レ之寶永三年丙戌初冬於ニ當
郡北河田村ニ發ニ古丘ニ得ニ石櫃ニ長九尺計廣六尺餘中有ニ腐碎鏡
鈴類ニ是往古物而無ニ墓志ニ非ニ人麻呂之塚ニ則其氏
族貴介之古墳乎「國帳」從三位若栗天神

黑田神社

「集說」今在ニ門間庄黑田村ニ「民圖」黑田明神「國帳」
從三位黑田天神

［國帳］從三位千野天神

鹽江神社

［集說］今在二中庄鹽川村一稱二八幡社一按舊事紀曰天背男命尾張國中島海部直祖云々鹽與二背男一音便近姓氏錄曰神魂命五世阿麻乃西乎乃命云々然久多鹽江兩社天背男命而久多實岩隱地歟國府宮神主家中世有二鹽川稱號一亦有レ故歟［國帳］從三位鹽江天神

布智神社

○或云師靈歟智與レ都音通尾張氏之所レ崇也今在二中庄玉野村一稱二八劔社一或曰丸潤村有二此社一歟或曰物部布都久呂大連也［國帳］從一位布智名神一作レ淵一作二淵森一尾張殿敬公ノ記シ玉ヘル神祇寶典ニハ富士ト作リ［集說］以上同神

宗形神社

［國帳］從二位宗形天神无國府宮也俗稱二角玉明神イ社一是也［姓氏］宗形君大國主命六世孫吾田片隅命之後也

尾張大國靈神社

［集說］國府宮村稱二國衙庄惣社一本州國府宮也［式社考］同又四ノ宮トモ稱［集說］社記別錄之故略之［國帳］正一位尾張大國靈大名神［文實］仁壽三年六月丁卯以二尾張國大國靈神一列二於官社一○直會參事附錄卷一四十一左ニミユ

大御靈神社

［集說］國府宮別宮也大和國大和神社同神大歲神之子也大國靈大御靈角玉稱二國府宮三所一［文實］仁壽三年六月丁卯以二尾張國大御靈神一列二於官社一○今國府宮中御玉神社［國帳］從一位大御靈名神

鞆江神社

［三實］貞觀七年十月廿八日尾張國正六位上鞆江神イ元從五位下［集說］今在二中庄祖父江村一（和名鈔）中島郡拜師云々按林宿禰大伴連同宗也舊事紀曰天忍日命大伴連祖以レ此考レ之則鞆江者伴部也（姓氏錄）林宿禰室屋大連男御物宿禰後也云々今熱田宮祠官有二林眞人一○信友云伴部也トイヘルハイカヾ伴ニ由アル地名ニテモアラシカ祖父江ノ事ナド考ベシ

「續紀」景雲三年九月壬申尾張國言此國與二美濃國一堺有二鵜沼川一今年大水其流改レ道每日侵二損葉栗中島海部三郡百姓田宅一云々

酒見神社

「式社考」中島庄神戸村「和名」神戸○今曰二酒見明神一古代酒甕半埋レ土在二社頭一「皇字沙汰文」尾張國酒見御厨云々古伊勢大神宮三節祭有二缶申之式一今尙存二其遺意一○按酒見者酒彌豆之略語而外宮酒殿坐宇賀乃咩命也（今神明社境古大甕存矣實古代物也）「神鳳」酒見御厨云云「國帳」從一位酒見名神酒一本誤作レ須

淺井神社

今門間庄東淺井村八龍社歟今爲二葉栗郡一「國帳」從三位淺井天神一作二疵井一

久多神社

「集說」國衙庄稻島村士畠今社絕矣村西有二天背男命（尺蠶命子中島郡海部直等祖也）岩崛之墟一（今俗云二稻荷社一）蓋此所古社地歟大國靈社神主職中世有二久田稱號一所謂若二久田彌四郎淸嗣及信淸宰相房崇政等一見二建武四年二月曆應三年十月等本州目代文書中文一（今呼二其地一稱二諏訪一背男與二諏訪一音通）「國帳」從一位久多神名社一作二久田一

堤治神社

（千印本）

今在二荒木庄小信村一「集說」按垣安媛神也萬葉集云「垣安乃池之堤云々「續紀」景雲三年九月壬申尾張國言此國與二美濃國一堺有二鵜沼川一今年大水其流改レ道每日侵二損葉栗中島海部三郡百姓田宅一云々蓋當時爲二堤防鎭護一祭二此神一乎若二伊勢豐受別宮上宮一亦爲レ鎭レ堤所二崇祀一也「國帳」從三位堤治天神「和鈔」海部郡津積

石作神社

當郡今無二石作村一河北庄有二串作村一是歟但海東郡松葉庄石作村天神歟「集說」同「和鈔」石作（以之豆久利）「姓氏」石作連火明命六世孫建眞利根命後也云々是尾張氏同祖神也　石作神社葉栗郡ニモ丹羽郡ニモアリ「國帳」從三位石作大神

千野神社

○大呰布命伊香色雄命子大綜杵命孫「集説」在ニ中庄娌振村ニ八幡社歟據ニ物部氏舊譜ニ波蘇伎大口賣矢三祠者同氏族類之神分明也「國帳」從三位賣天天神○信友按メフニリヲ添テ呼ル也若狹國大飯郡佐分ヲ今サブリト云フ類例多シ

眞墨田神社 名神大

印本墨作レ黒非今從ニ一本ニ「集説」松降庄一宮村本州一宮也眞神田朝臣大神朝臣等ノ祖神也神記別錄レ之故略レ之「國帳」正一位眞墨田大名神墨一作レ清名一作レ明「續後紀」承和十四年十一月癸酉奉レ授ニ尾張國眞清田天神從五位下ニ「文實」仁壽元年十一月辛巳詔以ニ尾張國眞清田神ニ列ニ於官社ニ同三年五月辛亥授ニ從四位下ニ「三實」貞觀七年七月廿六日授ニ尾張國從四位上眞清田神正四位上ニ「同書」貞觀四年三月巳巳朔眞神田朝臣全雄賜ニ姓大神朝臣ニ大三輪大田々根子命之後也「一宮田」大己貴命按黒當レ作レ墨直墨田眞神曰語通野今在ニ一宮村ニ「宗廟社禝問答」眞清田神社者一宮記爲ニ大己貴命ニ非也成務天皇朝以ニ天別天火明命十世孫小止與命ニ定ニ賜尾張國造ニ今所レ祭愛智郡知我麻神社者是也先レ是尾張氏上祖等歷世居ニ當國ニ景行天皇朝日本武尊東征之日所ニ從師ニ之建稻種命者小止與命之子而祭ニ春日部郡内々神社ニ其祖天香語山命者祭ニ同郡尾張神社ニ凡尾張氏遠祖等所レ祭ニ國内ニ者三十餘座其所レ出レ自ニ遠祖天照國照彦火明命ニ祭ニ之中島郡眞清田神社ニ以稱ニ當國一宮ニ眞清田首直神田會禰連眞髮部造等遠祖也此所ニ以非ニ國常立尊ニ也大縣神社者倭建尊三世孫大荒田命也邇波縣君祖大荒田女子玉姫建稻種命之妻也倭武尊者祭ニ熱田神社ニ其兒武田王者尾張國丹波建部君祖而丹波郡宅美神社矣此大縣神社所ニ以非ニ國狹槌尊ニ也凡當國倭武尊及尾張氏種類所レ祭神社者甚多矣此等説元祿年中平時庸源晉市藤信景等奉ニ邦君之命ニ撰ニ尾張國郡志ニ之日迄撿考索ニ都鄙及金城文庫自他秘書ニ而所レ記者如レ斯

川曲神社

「國帳」從三位川曲天神一作ニ川勾ニ此條次ノ酒見神社ノ注也伴本コヽニアルハ誤也「集説」中島庄本神戸村神明俗呼ニ北大門明神ニ

者是也［姓氏］多朝臣出レ自二神八井耳命一云々［文實］仁壽三年六月以二尾張國多天神一預二於名神一云々七月加二從五位上一云々正史載二當社事一者非二一二一然自二氏人散亡一而以降神祠荒廢後誤稱二於保村天王一［三實］元慶元年閏二月廿六日尾張國多名神正五位上

知除波夜神社

知一本作レ智［集說］長道盤神歟私曰國造本紀曰參河國造物部連祖出雲色大臣命五世孫知波夜命云々蓋此命也［國帳］從三位知除波夜天神一作二除治早一

小塞神社

○今在二門間庄小關村一［續紀］延曆元年十二月庚戌小塞宿禰弓張言弓張等二世祖近之里庚寅歲以降因二居地名一從二小塞姓一望請依二庚午年籍一改二換小塞一蒙二賜尾張姓一許レ之［國帳］從二位小塞天神一作二尾塞一門間庄小關村今攝二葉栗郡一

石刀神社

○今在二石刀村一［姓氏］神魂命兒天石都倭居命○按天背男杵祖大綜杵命［國帳］從三位石刀天神一作二岩門一○門間庄黑田村是亦屬二葉栗郡一天王社歟○備前國御野郡石門別神社阿波國名方郡天石門別八倉比賣神社等同神歟以上集說

室原神社

○今在二室原村一［國帳］從三位室原天神○信友云鞆江神社ノ加筆考ヘ合スベシ

高田波蘇伎神社

［集說］今寄在二高田村一是又大綜杵命也［國帳］從三位高田波蘇杵天神

大口神社

［集說］大水口宿禰命大綜杵命弟也今異水字乎［國帳］從三位大口天神○信友云丹羽郡小口神社アリ如レ此大小ヲ對ヘテ稱ヘタル例多シ可レ考

賣夫神社

實錄）曰眞神田朝臣全雄賜二姓大神朝臣一大三輪大田々根子命之後也云々大和國大神大物主神社同神也（當社ニ且荒廢而以二御正體一藏二眞淸田宮一別宮故也）信景云以二熱田社一或稱二三宮一當村熱田庄也且土俗至二于今一以レ鷺呼二白鳥一而不レ食レ之又古初秋七日自二此村一獻二索麵及蓮華數莖於熱田宮一以レ此見レ之則當村熱田神領歟今（以上一本元）按火明命十世孫大美和都禰命歟尾張氏同祖也

波蘇伎神社（ハソキ）

〔國帳〕從三位波蘇伎神社一作二波曾岐一按伊香色雄命父大綜杵命也閉蘇與二波蘇一語通

針熊神社（ハリクマ）

〔國帳〕針熊天神一作二針前一從三位也

野見神社（ノミ）

〔姓氏〕彥八井耳命男野見宿禰又曰尾張部彥八井耳命之後也〔國帳〕野見天神從三位國衙庄淺井村有下呼二野見一地上蓋社絕而在二其舊號一諸歟〔姓氏〕天穗日命十四世孫野見宿禰土師氏祖也（以上集說）又云彥八井耳命男野見宿禰又尾張部彥八井耳命之後也

淺井神社（アサイ）

〔國帳〕從三位淺井天神淺井村今社荒蕪存二其舊墟一而已

裳咋神社（モクヒ）

〔集說〕今在二國衙庄目比村一（在二安養寺境內一然其舊地在二寺地一俗稱二八龍社一）〔國帳〕從三位裳咋天神〔續紀〕天應元年五月丁亥尾張國中島郡人外正八位上裳咋臣船主言己等與二伊賀國敢朝臣一同祖也是以曾祖宇奈已上皆爲二敢臣一而祖父得麻呂庚午年籍謬從二母姓一爲二裳咋臣一伏望欲レ蒙二改正一於レ是船主等八人賜二姓敢臣一（敢與二阿拜一同神名式伊賀國阿拜郡敢國神社古事記曰建沼河（孝元天皇孫）者阿倍臣等之祖）

大神神社（名神大）

大神一本作二太一字二〔和鈔〕中島郡美和〔國帳〕從一位太大名神太一作レ多○今熱田庄花池村三明神〔集說〕丹羽庄於保村丹羽古所謂美和庄也式作二大神神社一度會郡昌田大神神字衍臨時祭式作二多神社一

人山口忌寸刀自賣目（集說）作二刀自一按山口朝臣武内宿禰之後也［集說］當國海部郡同祖人多矣後世紀之高住二中島郡堀田村一其男右衞門佐正泰移二居海部郡津島一建二姓祖武内宿禰祠一者尤有レ故［國帳］從三位伊久波天神一作二生桑一

憶感神社

［國帳］正一位憶感名神［文實］仁壽三年六月丁卯以二尾張國憶感神一（滅貞歩本）列二於官社一［三實］貞觀七年十一月十七日授二尾張國從五位下憶感神從五位上［姓氏］島田臣八井耳命之後也○神武皇子多朝臣等之祖也五世孫武惠（成務）賀前命孫仲臣子上稚足彥天皇御代尾張國島田上下二縣有二惡神一遣二子上一平二服之一復命之號賜二島田臣一也［和名］海部郡島田○按憶感與二子上一音訓通○信友按コノ說ニツキテ考ルニ憶感ハ大カムコ上ハ子カムニテ憶感ハ子上ノ父兄ナドニモヤアラム其ヲ子上カ氏神ト祀レルナルベシナホ可レ考○今在二中功庄神守村一ト云（アモリトモ云）

中島郡卅座 大三座 小廿七座

［集說］今大㭊庄二十餘村今隸二美濃國一

坂手神社

［集說］今寄庄佐手村イ二佐手原村○今在二坂田村一［國帳］從三位坂手天神一作二坂手原一

見努神社

○吉從按神代紀ニ見野尊ミエタリ［國帳］從三位見努天神伊勢國美濃屋神社○隣國美濃ニ由アル歟

大神神社 名神大（古本无）

○大神古本臨時祭式作二太神一是也○下ノ大神神社ト照シテナホ可レ考也○多天神恐同社見二卷末一（廿一右）○今在二國府成突十町許於保村一［書紀］神八井耳命多臣始祖也［國帳］從一位大神大名神延經本作二於保名神一［集說］熱田庄宮地花池村稱二三明神一（倭名鈔）所謂美和是也（式）錄二名神大一度會延昌曰式撰之日未二名神一蓋衍字歟名神祭式不レ載レ之後來進二名神一故追加二名神字一者乎按（姓氏錄）曰大神朝臣素佐能雄命六世孫大國主命之後也云々 初書二大三榮一日本紀作二大三輪一（三代

多隷レ他

漆部神社

［舊事］王見宿禰命漆部連祖〇一作ニ塗部神社ニ［民部省圖帳］元亨二年殘篇〇知雄云凡當國ノ中本國神名帳集説ニ云フ所ノ説ハ［　］中ニ集説ノ二字ヲ標ス又某集説ノ中ニ古書ヲ引テ云モノハ其書目ヲ［　］ニ記ス其餘集説ノ中ニアラズシテ古書ヲ引テ云ヘルハ各國ノ例ニヨリテ書目ヲ［　］中ニ書テ是ヲ分ツ下效レ之漆部大明神神田七十二束有餘仁壽三年二月加ニ再復一實大智三年五月之御新遷所祭神靈木花咲耶北咩也［集説］三見宿禰宇麻志麻治命三世大禰命三男而仕ニ安康天皇一賜ニ宿禰尸ニ［國帳］從三位漆部天神

諸鍬神社

［集説］今在ニ門間庄諸桑村ニ［國帳］從三位諸鍬天神一作ニ諸桑一

國玉神社

［國帳］從二位國玉名神一作ニ正一位ニ［集説］中島郡國靈社同社歟以伊勢度會郡國玉社云例謂之則此社蓋直祖神乎［舊事紀］淡夜別命大海部祖云々

藤島神社

［集説］今在ニ秋竹庄秋竹村ニ［國帳］從三位藤島天神

宇太志神社

［集説］今在ニ富安庄鵜多須村ニ［國帳］從三位宇太志天神［民圖］國津宇多志明神田三十八束有餘天武天皇元年壬申十二月建ニ宮殿一爾來及ニ堀河寛治二年戊卯當ニ卯作レ辰加ニ再復一境十一園云々〇參河國莵足神社

由乃伎神社

［古事］崇神天皇娶ニ尾張連之祖意富阿麻比賣一生ニ御子大入杵命ニ［國帳］從三位由乃伎天神一作ニ夜儚一〇崇神皇子大入杵命也〇今在ニ日置庄神木村ニ［天孫本記］湯ノ支命三見宿禰漆部氏祖當郡漆部神社

伊久波神社

［仁德紀］的臣祖盾人宿禰〇［姓氏］的臣建內宿禰男葛城襲津彥命之後也［類史］天長九年尾張國海部郡

津島牛頭天王祠者考貞治以後進冠記之「大國靈宮土御門院建仁元年辛酉二月進正一位津島社後村上院建德元年庚戌正月授正一位」一神社和訓大槩用卜部兼永古本然各社所呼來者姑從之「國府宮藏元龜二年古本及從五位上源幸和之藏古本予家所藏應永古本等間有存古訓者或亦採之而已」一文字依本不同者以一作某註各社之下誤者依舊書互改之一社地甄者記某庄某村於其疑者以歟乎字書之絕不可知者闕之俟後人之補正一隣郡接壤之地後世互改隸此記先隨古以今注之一雖其社今存而誤改其號者以俗稱其明神或今稱其社等書之一集說中按者（正四位下）度會神主延經所考索也　若熱田眞墨田大縣大國靈等大社及津島午頭天王社則別述以備考索故今缺其說一中島宮雖帳外而異他神社也故於中島郡終記其梗槩一東照宮今國家祖神而邦君奉祀之神宮其禮樂專依臺命祭之且朝家補其神主職則不異宮幣之神社故錄愛智郡帳外焉一若府下若宮八幡宮及午頭天王社雖帳外而今邦君尊崇之神也故東照宮下記之以上

○同書跋文曰謹按各國所祭神社者所以崇山川社稷蠶桑同廟神靈以報本追遠而古昔有本居民庶諸家氏人而持其神籬然是非私家之祭皇家進其神祇例官社則國司奉勅愼祈賽以禱田里之安榮自寶龜聖主定神社大小以降代錄神名之簿以正稅班幣帛使長官（守介等也）奉其祀禮義一准神祇官及中葉有亨祀之典不繼民居其本居氏人亦散亡者則四至或荒蕪得神靈失其所依神社變其所號終爲淫祠原廟云々藤信景行本貞觀延喜舊式參考國帳數本集度會延經神主之說述本州神名解一篇云々寶永第五歷神衣祭日從五位上守刑部大輔源幸和謹書○信友云當國神社に針能神社堤治（ハリ）──針綱──尾張──尾張戸──針名──アリ波里テフコト國名ニモヨシアルベシ今春日井郡ニ小針村アリ

海部（部中イ）郡八座（並小）

[集說]中世分爲二郡所謂海東海西也豐臣秀吉以海西屬美濃及伊勢故海西郡長島以北之地

神名帳考證　十

延喜式第九之十　東海道第四

尾張國一百廿一座

大八座

小一百十三座

○信友云尾張國之部ニ「集説」トシテ書入タルハソノ國人天野氏藤原信景ノ著シタル參考本國神名帳集説ト云フ書ノ内ノ取ベキコトヲ書ヌキタル也其書ノ序ニ曰謹以王者建宗廟云々養老元后詔曰凡國神祇宜使長官（各國守也）致其祭祀若有限外當祭山川則聽亨焉寶龜明主初定諸社大中小以別官幣（以正三位以上為大社以從四位以上為中社以從五位以下為小社而造定社殿字之制）國幣之禮矣（代又立名神天神地神三等別祭祀隆殺）貞観延喜照代新錄各州神社者凡三千餘所（國司祭所祈神社凡大小二千三百九十五座）而我本州八郡神祇一萬二十一座也其後國衙錄國帳所奠幣神祠九十餘前共係國典官有人焉（氏社有氏人國社有其地祝部）儀有制焉而恭饗之禮尤盛也及皇綱解紐禮典不脩其氏人散亡而為非族私祭神祠亦荒蕪四至陁（地カ）犂摧其舊墟希存矣甚者至失號無由訪其他者豈遑于得董乎我敬公（義直卿）國務之餘記式内神社之故名神祇寶典以藏秘府焉元祿中載誠公（綱誠卿）更有與繼臺旨使有司撰修國志然至封内神社者頗不甄者多矣故吾儕等考諸田卷雜錄略錄所傳梗槩撰定未畢之間公家有不諱而諸生終閣筆毫可不亦哀惜乎丁亥仲春度會神主延經（正四下）偶訊弊廬神主曾有志于神名式注解而以其稿示僕云々僕日蒙鴻命忝國志編摩副員叨開秘閣版圖云々今也播新篇而回舊感便抄錄本州神祇之説以本之更參伍古記實錄考訂神名社地竊述我國帳集説号云々寶永四年端午日尾州末學藤原信景序同書凡例云一若式内神社不拘其神階一從神祇式神名帳之次而記之式外諸社者諸本間有不同者故考其位以次之一諸社神階依書有同異今以貞治三年古本為本「貞治本熱田如法院藏也奥書曰依文治二年丙午三月宣命國中諸神皆增位階云々此本貞治三年甲辰正月七日所書寫云々」但若中島郡尾張大國靈宮及海部郡

ノ義アル字ナレバ改ムルニオヨバヌ事也式ニ出雲國出雲郡都我利神社伊佐波神社ト次第シテアルモ由アリ

櫛琵前命

又名有レ三　伊勢津彦神　櫛玉命（内宮儀式帳小朝熊神社ノ下ニモアリ）　出雲建子命　以上三名ナリ志摩國伊射波神社二座ノ内ノ神也（多氣郡伊佐和神社アリ）御鎭座傳記朝熊神社六座ノ内櫛玉命亦曰ニ甄尾（シリ）ニ御靈石ニ坐トアルニヨレバ此今ノ事ヲ倭姫世記ニ一名櫛玉命トアルニ出雲臣譜ニ津狹命ノ子ニ櫛甄前命トアルヲ對ヘ見レバ甄尻（サキシリ）モ此命ノ一名也今姑ク此說ニ從ヒ前尻ノ義ニツキテ甄前命ヲ兄ノ位ニシルス○式ニ出雲國出雲郡伊佐波神社○延經神主ノ考證云伊勢風土記ニ伊勢津彦ハ神武天皇時人也自ニ神武天皇元年ニ至ニ垂仁天皇廿五年ニ六百五十六年云々信友按伊射和止美命ノ事世記ニ垂仁廿五年ニ見エタル故件ノ說アル也上古ノ事ヲ年紀シテ書タルモノ信カタク又人ノ壽數モ今モテ測ルベカラズ況神ノ御上ニオキテヲヤ猶ヨク考ベキコト也

伊射波止美命

玉杜屋姬命

伊射和止美命之御妻志摩國伊射和神社五座トアル内ノ神也天牟羅雲命裔天日別命ノ母也

大歲神

志摩國粟島坐神千多乃御子神社（千多式ニ平多ニ誤今世記ニ依テ改ム）トアル神也世說ニ曰形石ニ坐素戔嗚命ノ御子大歲神トハ別也信友按スルニ世記ニヨルニ千多ハ千田ニテ地名也ソレヲ神千田ト稱ヘタル也御子トハ伊射和止美命ノ御子ト云事也御名ハ傳ヘナシ世記ニ彼鵜乃眞鳥平號稱ニ大歲神ニ同處祝充奉トアレバ大歲神ハ卽カノ鶴ノ眞鳥也止美命ノ子ニハ非ズ但世記ニ大歲神一坐國津神子形石ニ坐トモカケル處アレバ一向ニハ云ガタケレドモ元ヨリミナカラ信ラレヌ記ナレバ鶴ノ眞鳥ノ處ノ文モ故アリゲニキコユレバソレニ從フベシ然ルヲ彼鶴ノ故事ヲシヒテ大歲神トセル延經主ノ說ハ非也又按ニカノ鶴ハ素戔嗚命ノ御子ノ大歲神ノ鶴ニ化リテ云々シ玉ヘルモアルベシ猶考ベシ

櫻大刀自

内宮儀式帳小朝熊神社ノ下ニ見ユ

佐比禰足尼

出雲臣祖

某

笠屋命

國造本紀佐比禰足尼孫島津國造（則島津志摩國也）伊勢多氣郡加須夜神社アリ

弟武彥命

國造本紀曰神伊勢津彥十三世孫相武國造

○（神名帳）曰出雲國出雲郡都我利神社伊佐波神社
○按出雲臣譜武夷鳥命其子伊佐我命其子津狹命狹當レ作レ狩其子櫛瑘前命也都我利神社津狩命歟（鎭座傳記）曰櫛玉命亦曰二瑘尻一疑瑘前瑘尻兄弟津狩命子歟帳日都我利神社次載二伊佐波神社一者亦似下伊佐波一爲二都我利神子一凡伊勢志摩出雲皆有レ祀二伊佐波神一其出雲神之子而爲二伊勢之地主一避二國於神武天皇一其裔爲二武藏相摸志摩國造一也此神之事跡略可レ見倭姫命之所レ崇孰可レ不レ致二誠敬一哉世遠時移二異說一起失二事實一矣今集二管見之所レ及爲二考證一如レ此

元祿十三年二月朔日

○伊射波與二伊雜一同今俗曰二礒部一○（兵部式）曰志摩國鴨部礒部

○篤胤云予ガ見タル本等ミナ伊佐波登美之神宮造奉爲二皇太神攝宮一伊雜宮是也云々トアリサテ上伊雜登美神乎爲已云々トアルト合セ考ルニイサハトミノ神ハ倭姫同時ノ人ニテ此人ノ立タル神社ニテ其祭神ヲ玉柱屋姫命ト申スハ大御神ヲ此社ニテ稱ス御名ナルベシコヲ日別命ノ子ト云フ說ハ後人ノ推當ナルベシ機殿儀式帳ニ機殿ニ祭レル大御神ノ御靈ヲ麻績屋姫命ト稱ストアルヲモ思フベシサテ式ニ伊射波神社二座トアル一座ハ大御神ノ御靈玉柱屋姫命一座ハ保淤止志神ナルベシ鎭座傳記ニ皇大神ノ遙宮也トアルゾ正說ナルベキ儀式帳ニモ遙宮トアリ延經ノコヽニ擧タル事ドモノ委キコトハ予ガ古史或問垂仁段ノニ云ヘリ○信友云延經神主ノ件ノ考證ニ隨テ目安ヲ系圖ヲ作テ左ニ記ス考證ノ書名其異同ノ考說ハワヅラハシク記サズ本書ト照シテ見ルベシ但御鎭座傳記ハコトニ信ガタキ書ナルユエソレノミ書名ヲ標スサテ圖ニ父子ノ脈（スヂ）ニハ朱モテ系ヲカキ（○知雄云コヽニ朱トアルハ今二筋ニシテ黑トアルハ一筋ニス）某ノ裔トノミ知ラレテ父ノ知ラレヌハ墨モテ系ヲ書テ分テリソモ〳〵此考イトメヅラシキ說ナレバナヲヨク考正スベキナリ

又云粟島ニ坐云々ノ三座ノ神ニハ●ノ印ヲツケツ

○天穗日命——天夷鳥命——武夷鳥命——

津狹命（信友云狹ノ字延經神主ハ當作レ狩トイヘド狹モ狩）

社存佐々夫江社亡
○（倭姫世記）曰又明年按垂仁天皇二十八年秋之比眞名鶴皇太神宮ニ當リ天翔從レ北來天日夜不レ止翔鳴支時當ニ白草ー本ノマヽ波也爰倭姫命異給差ニ足速男命ー使令レ見罷到見波彼鶴佐々牟江宮前之葦原中還行鳴使到見葦原中生稲本波一基爲天末八百穗茂也咋捧持鳴支爰使到見顯時鳴聲上天翔事止支于レ時返事白支爾時倭姫命歡詔久恐志皇太神入坐波鳥禽相悅草木共相隨奉稲一本千穗八百穗茂利禮詔天竹連吉比古等尓仰給先穗令レ拔半分大税令レ苅皇太神御前懸奉拔穗波號ニ細税ニ亦號ニ大苅ー大半氏御前懸奉仍天都告刀千税餘八百税氏稱白氏仕奉也因レ茲其鶴住處八握穗社造祠也

○按八握穗社者佐佐夫江神社乎垂仁天皇廿七年鶴咋ニ千穗稲ー造ニ伊雑宮大歳社ー廿八年亦鶴咋ニ八百穗稲ー神名帳多氣郡伊佐和神社以ニ伊雑神ー祠ニ伊勢志摩兩國ー千税餘八百税之祝詞起レ自ニ千穗八百穗稲ー大神宮年中行事神嘗祭祝詞曰常毛仕奉留荷前ノ御調絹由貴ノ大酒大贄懸力千税餘八百税於如ニ海山ー仁置所足（タラハシ）天云々大神宮式曰小（ホソチカラ）税以ニ一把ー爲レ束神麻續一百束神服織八十束大税（フト）以ニ五把ー爲レ束神麻續百束云々兩機殿共在ニ多氣郡ー

○（伊勢國風土記）今逸ニ此文ー纔出ニ于釋日本紀及萬葉集抄ー曰伊勢國者天御中主尊之十二世孫天日別命之所ニ平治ー天日別命神倭磐余彦天皇自ニ彼西宮ー征ニ此東州ー之時隨ニ天皇ー到ニ紀伊國熊野村ー云々廼詔ニ天日別命ー曰國有ニ天津之方ー宜レ平ニ其國ー卽賜ニ標劔ー天日別命奉レ勅東入ニ數百里ー其邑有レ神名ニ伊勢津彥ー天日別命問曰汝國獻ニ於天孫ー哉答曰云々天日別命發レ兵欲レ戮ニ其神ー于レ時畏伏啓曰吾國悉獻ニ於天孫ー云々遂乘レ波而東焉云々伊勢津彥神近令レ住ニ信濃ー天日別命懷ニ柔此國ー復ニ命天皇ー天皇大歡詔曰國宜下取ニ國神之名ー號中伊勢上爲ニ天日別命之村地ー因賜ニ宅地于大倭耳梨之村ー焉

○按（神名帳）信濃國水内郡伊豆毛神社伊勢津彥神住ニ信濃ー者是歟抑神代昔大己貴命長隱焉高皇產靈尊以ニ女三穗津姫命ー爲レ妻據レ是則伊雜宮二座伊佐波止美命配ニ玉柱屋姫命ー者似下於避レ國之時天日別命以ニ女玉柱屋姫命ー爲中妻上乎雖レ然數千載之下不レ可レ知ニ大古之事跡ー記レ之以備レ考

靈石保於止志神一座（倭姫命御代崇祭之神社也眞名鶴所化御靈石坐也）懸稅靈神（カケチカラノミタマノ）坐櫻大刀自（サクラオホトジノ）神一座（靈花ノ木ニ坐也大八洲櫻樹ノ始從天上降居也因以花開姫命也一座大山祇神變坐也）苔蟲神一座大山祇神一座朝熊水神一座（○信友云コノ文モ鎭座傳記ノ文ナリ）

○按石保於止志神與伊雜大歳同神也炳焉

○大神宮儀式帳曰小朝熊神社稱櫛玉命兒大歳兒櫻大刀自又苔蟲神又大山罪命子朝熊水神

○按小朝熊神社儀式帳爲三座（○信友云櫻大刀自苔蟲朝熊水神ノ三座ナリ）傳記爲六座兩說

○倭姫世記曰垂仁天皇廿五年丙辰幸行奈尾之彌（ナヲシネ）宮坐給于時出雲神子出雲建子命（一名伊勢津彦一名櫛玉命）並其子大歳神櫻大刀自命山神大山罪命朝熊水神等五十鈴川後江（天爾）奉御饗廿六年丁巳櫛玉命大歳神大山津見神朝熊水神等奉饗彼處（仁志天）神社定給

○按出雲神者蓋天穗日命子天夷鳥命後也伊勢津彦命之出自於是可見伊勢風土記伊勢津彦神武天皇時人也自神武天皇元年辛酉至垂仁天皇二十五年丙辰其間六百五十六年卽知出雲建命已下神與倭姫命不同時而今爲奉御饗者丙辰年御舟到朝熊江之日相攸丁巳年終立社

筆世記者爲群神饗皇大神其實謂嘉尙神駕到其地歟立言之趣令伊雜神稜穗者同皆似設言不可不察焉

○國造本紀曰島津國造云々出雲臣祖佐比禰足尼ノ孫出雲笠夜命定賜國造

○按島津國者志摩國也伊勢津彦命其先出自出雲神所謂出雲笠屋命其裔乎而伊雜宮在此國神名帳伊勢國多氣郡加須夜神社加須夜笠屋相近出雲笠夜命歟亦與伊佐和神社同郡

○同曰相武國造云々武刺國造祖神伊勢津彦命三世孫弟武彦命賜國造

○相武者相摸也武刺者武藏也日本紀曰天穗日命此出雲臣武藏國造土師連等遠祖也成務紀五年九月令諸國以國郡立造長自神武天皇元年至此七百九十五年歷十三帝疑三世孫上脫十之字

○神名帳曰伊勢國多氣郡加須夜神社竹佐々夫江神社伊佐和神社

○按和名鈔曰多氣（竹）今此郡射和（イサワ）村東北三許里有大淀浦其西一許里有佐々夫江橋伊佐和神

レ作二千田一世記千穗稻生レ地號二千田一千與レ乎字形相似誤字歟卽伊射波神子而今大歲神社是也伊佐波止美命者伊勢津彥命而其先出レ自二天穗日命一也以二伊勢志摩兩國地主神之故一殊尊レ之列二于別宮一者歟

○倭姬世記曰垂仁天皇廿七年九月鳥鳴聲高聞氐晝夜不レ止囂此異止宣氐大幡主命舍人紀麻呂良止差レ使遣令レ見二彼鳥鳴處一罷行見波島國伊雜方上葦原中有二稻一基一生本波一基爾爲氐末波千穗茂也彼稻白眞名鶴咋持廻乍鳴支此見顯其鳥鳴聲止支返事申支爾時倭姬命宣久恐志事不レ問奴鳥須良田作皇太神奉物止乎詔氐物忌始給氐彼稻伊佐波登美神乎爲氐拔穗爾令レ拔氐皇太神御前懸久眞爾懸奉始支則其穗大幡主女子乙姬爾淸酒令レ作御饌奉始支千稅奉始事因レ玆也彼稻生地乎千田號支在二島國伊雜方上一其處伊佐波登美之神宮造奉爲二皇太神攝宮一伊雜宮是也彼鶴眞鳥乎號稱二大歲神一同處祝定奉也又其神皇太神之坐朝熊河後之葦原中石仁氐坐彼神小朝熊山嶺社造奉祝定令レ坐大歲神稱是也

○按令二伊雜神拔レ穗者倭姬命伊雜神似二同時人一此時造二伊雜宮一爲二皇大神攝宮一則非二同時之人一明矣謂令二其拔レ穗者非二事迹一是殊尊嘉穀將レ配二其子大歲神一之詞也祈年祭祝詞曰取作牟奧津御年乎八束穗能伊加志穗爾奉云々年者穀也年歲倭語同以二今瑞穗一比二大歲神德鶴眞鳥一稱二大歲神一大歲神者非二素戔鳴尊子大年神一矣櫛玉命一名伊勢津彥命子大歲神是也卽知二伊勢津彥命者伊佐波止美命同神一也

○同曰伊雜宮一座（天牟羅雲命裔天日別命子玉柱屋姬今是也形鏡坐）　大歲神一座（國津神子形石坐）

○按上文曰（信友云上ニ引タル世記ノ事也又コヽニ〔　〕ナドト合印ヲ付タルハ其處此處ニ文ヲ見合センタメノ目安ニ付タル也）造二伊佐波登美之神宮一爲二皇大神攝宮一伊雜宮此也此曰玉柱屋姬命一座前後齟齬如二式文一亦互有二不同一未レ知二其由一上云三鶴眞鳥稱二大歲神一此曰下國津神子卽是以二鶴瑞一配中大歲神上之故乎

○鎭座傳記曰伊雜宮一座（皇大神遙宮也天日別命兒玉柱屋姬命也依二神託一崇二祭之一）

○按據二此文一則似下元祠二伊佐波登美神一後從中祀玉柱屋姬神上

○朝熊神社六座（倭姬命崇祭之神也）　櫛玉命一座（倭姬命御代瑞玉奉レ造レ之亦曰二甄尻御）

「多度寺緣起私財帳」桑名郡云々七條二多治比邊里田代並山一處在ニ寺前ー四至東小祭社南小山已上延暦十七年人人寄進

神名帳考證　九

延喜式卷第九之九　東海道第三

志摩國三座

大二座

小一座

答志郡三座大二座小一座

粟嶋坐伊射波神社二座並大

「和鈔」伊雜今本雜ヲ推ニ誤

同嶋坐神乎千歟多乃御子神社

權禰宜度會神主延經伊佐止美神考證如レ左

○太神宮式曰伊雜宮一座太神宮遙宮在ニ志摩國答志郡ー去ニ太神宮ー南八十三里○神名帳曰志摩國答志郡粟島坐伊射波神社二座並大同島坐神乎多乃御子神社

○按大神宮式與ニ神名帳ー不レ同如レ此二座伊佐波止美命玉柱屋姬也餘命有ニ御樋代二具ー乎多當

宿ニ乾二十町許也［背書］船着神トモ號ス

深江神社

○在ニ深谷部村ニ

額田神社

［姓氏］額田部天津彦根命孫意富伊我都命之後也○在ニ糠田村ニ桑名宿ノ西也［神鳳］額田神田［和鈔］額田沼加多

宇賀神社

［背書］宇賀村ニアリ［撿錄］員辨郡宇賀村

中臣神社

［續紀］天平神護二年十二月癸卯外從五位下中臣伊勢連大津賜ニ姓伊勢朝臣ニ○在ニ桑名宿ニ稱ニ春日社ニ此平［撿錄］桑名市中春日ト稱スル桑名神社ニ相殿ニ坐ス

長谷神社

○朝明郡ニモ長谷神社アリ

立坂神社

○今曰ニ矢田八幡ニ此平［撿錄］朝明郡無坂村又矢田村八幡トモ稱ス［背書］此社ノ邊ヨリ流出ル川ヲ米苗川ト號ス垂坂村ニアリ［雜記］同

式外舊社

村上神

［文實］仁壽三年六月甲戌以ニ伊勢國村上神ニ預ニ於名神ニ

簀乃波社

［三實］貞觀五年十月廿九日伊勢國正六位上簀乃波神從五位下

火雷神

［三實］貞觀八年十月廿四日授ニ伊勢國無位火雷神從五位下ニ

小祭社

○在二多度東小山村一

野志里神社

○今在二野代ノ大鳥居村一野代郷名也［内儀］野代宮［世記］同［和鈔］野代乃之呂

多度神社 名神大

［續紀］延暦元年冬十月庚戌朔叙二伊勢國桑名郡多度神從五位下一［續後］天長十年四月庚辰奉レ授二伊勢國從五位下多度大神正五位下一承和六年十二月丁巳奉レ授二伊勢國正五位下多度大神正五位上一同十一年六月丙辰奉レ授二伊勢國正五位上多度神從四位下一［文實］嘉祥三年九月丁亥朔甲申詔以二伊勢國多度大神一列二於官社一同十月癸丑以二伊勢國多度神一列二於官社一［三實］貞觀元年正月廿七日伊勢國從三位多度神正三位同二月十七日正三位多度神從二位同月十九日乙巳遣二正五位下守右中辨兼行式部少輔大枝朝臣音人一向二伊勢國多度神社尾張國熱田大縣等神社一奉二神位記財寶一同五年六月廿六日進二伊勢國從二位多度神階一加二正二位一仁和三年四月六日奉二幣伊勢國多度一○在二多度村一此社傍小社俗稱二一目連一者多度大神之子天麻比止都禰命乎○多度山桑名城ヨリ三里乾ニアタレリ［姓氏］天津比古禰命子天麻比止都禰命參道多度社アリ伊勢ヨリ勸請スト云　萬葉六「多度川の瀧をかしこみ昔より宮つくりけん多藝の野の上に」大伴家持［延暦廿年桑名郡多度寺緣起資財帳］以去天平寶字七年歲次癸卯十二月庚戌朔廿日丙辰神社以東有二井於道場一滿願禪師居住敬二造阿彌陀丈六一于レ時在レ人託レ神云我多度神也云々於レ玆滿願禪師神坐山南邊伐掃造二立小堂及神御像一號稱二多度大菩薩一云々跋文ニ多度神一切神等云々コノ寺ヲ神宮寺トモカケリ［續紀］七十六丁當藝郡多度山美泉云々トアリ古ハ美濃國ニ屬セルニヤ又山ハ美濃伊勢ニワタリテ神社ハ伊勢ニ屬セルニヤ○雜記ノ說ニ北伊勢洪水暴風ノ災アルトキハ此神出現シテ防ギ玉フトナン神幸ノトキ山河鳴動シテ雷電ス古今靈驗也

尾野神社

○今稱二船著神社一在二東方村尾野入江邊一去二桑名

賀毛神社

［背書］治田村［撿錄］野尻村ノ東ニアリ○賀毛ト書タルハ帳ニ例ナケレドモ伊豆國賀茂郡加毛神神社アリ

星川神社

［姓氏］星川朝臣武内宿禰之後也欽達天皇御世依ニ居地一賜ニ姓星川朝臣一○按巨勢小柄宿禰子星川建日子［神鳳］員辨郡星河大明神神田二端［撿錄］桑名郡星川村ノツヾキ森□村ニカヽレリ

桑名郡十五座 大一座 小十四座

桑名神社二座

［和鈔］桑名 久波奈 ［姓氏］桑名首天津彥根命男天久之比乃命之後也［伊勢參道里程抄］尾張天野信景著 今桑名ノ町ニ在ル春日社ハ卽式ノ桑名神社也社家說ニ社內左ハ三崎神社ト號 昔ハ太夫村ニアリ後コヽニウツサル今モ太夫村ヨリ神輿舁人出ルナリ 建雷命齋主命右ハ春日神社ニテ兒屋根命姬大神也奥ノ御前ハ母山神社ト稱シテ地主ノ神秘ナルコト朝官

郷司氏ニ聞リ

佐乃富神社

○漕野村ノ 知雄按溝ノ誤歟 稱ニ八劔宮ト此乎［撿錄］此村ノ庄屋ヲ八劔忠左衞門ト云フ家紋ハ竪劍ナリ倭武命ノ緣アル家也

尾津神社二座

［和鈔］尾津 乎都 ［撿錄］尾津村［萬葉］「伊せ島やみそのか原の一松」［舊事］日本武尊兒稚武彥王命尾津君等祖［景行紀］日本武尊向レ東之歲停ニ尾津濱ニ而進レ食是時解ニ一劔ヲ置ニ於松下ニ遂忘而去今至ニ於此ニ一劔猶存故歌曰「烏波利珥多陁珥霧伽弊流比苫菟麻菟云々［古事］「遠都能佐岐那流比登都麻都云々此社在ニ戸津村北漕野村隣ト也古老曰今長嶋地古尾張國海部郡也今爲ニ伊勢國ト且海埋爲レ陸與ニ此歌辭ト地勢不ニ相合ニ［雜紀］漕野村庄屋ハ日本武尊ノ子孫トテ草薙忠右衞門ト號云々

小山神社

末也二生川村ハ治田ノ南ニアリ[大安]員辨郡宿野原伍百町云々四至東鴨社南坂河西山北丹生川

石神社

[和鈔]石加以之加〇今在二飯倉村一

平群（ヘクリ）神社

[三實]貞觀三年九月廿六日右京人大内記從七位上味酒首文雄欵偁云々武内宿禰大臣云々弟三男平群木菟宿禰 即是文雄之祖也木菟宿禰之後賜二味酒臣姓一淪落被レ貫二伊勢國一云々今在二桑名郡志和村一稱二平群神社一[撿錄]桑名郡志知村ノ山城ト云フ處也[背書]志知村ノ山城ニアリ[雜記]山城村ニアリ今平群大明神ト云[古事]倭武命御歌ヘグリノ山ノクマガシノ云々コヽ也

多奈閇（タナベ）神社

[姓氏]田邊宿禰神魂命五世之孫天日鷲之後也[國造]以二天日鷲一爲二伊勢國造一〇在二田邊中上村一[撿錄]中上ノ内田邊村ニアリ古注誤レリ

猪名部（イナベ）神社

[三實]貞觀元年五月廿六日辛巳授二伊勢國從五位下員辨大神正五位下一同八年閏三月十三日戊午伊勢國正五位下員辨神授二從四位下一[姓氏]猪名部造伊香我色男命之後也[三實]貞觀十五年九月九日辛未掌侍從五位上春澄朝臣高子按春澄善繩女也善繩本姓猪名部造伊勢國員辨郡人也詳載二實錄一撿錄云長尾村ニ善繩ノ宅跡アリ奉二幣氏神一向二伊勢國一勅賜二稻一千五百束一以爲二行旅之資一[背書]長尾村

鳥取山田（トリノヤマダ）神社

[姓氏]鳥取部連角凝魂命孫天湯河桁命之後也〇今在二南山田村一[背書]北山田村

鳥取（トトリ）神社

〇今在二山田神社同地一[撿錄]南山田[背書]同

大谷（オホタニ）神社

[神鳳]大谷御厨田文田大泉大谷[撿錄]三郷ノ内大谷村〇今在二大泉村一

○今在ニ長井村北東一神明社歟此地朝明河上也

殖栗神社

「姓氏」殖栗連出レ自ニ天兒屋根命一也今在ニ保々郷千栗村ニ之社歟「撿錄」村ノ北ニ縣大明神天平三年ノ棟札アリ

布自神社

○今在ニ大矢智(夫賀)村一布自權現ト云フ

穗積(ホヅミ)神社

「撿錄」廣永村ノ內河島ノ宮コレ歟俗團子ノ宮ト云ノ「姓氏」神饒速日命五世孫伊香色雄命之後也「三實」貞觀三年六月廿日伊勢國朝明郡人六人部津根麻呂云々按六人部此神裔也「背書」團粉ノ宮ト云フ穗積庄川島村十七村惣社ナリ

櫻(サクラ)神社

○櫻村ニアリ「撿錄」山村ノ北ニアリ御厨アリ

井後(井ガシリ)神社

「背書」柿村○神祇官ナル座摩ト同神歟又井後ノ唱同キカ

長倉(ナガクラ)神社

○按輿レ根倉言通「和鈔」朝明郡訓覇久留倍○今久留倍村在ニ大矢知村之中一產神稱ニ八幡一此乎「背書」桑部村ニアリ「撿錄」久米郷桑部村

苗代(ナハシロ)神社

○今曰ニ福永村一乎「神鳳」桑名郡也

長谷神社

「和鈔」朝明郡杖部(鉢世都加倍)○今別名村稱志久神之社乎「撿錄」別所村也云々別名ハ波津村ノ十一町計西ナリ桑名郡ニモ長谷神社アリ

員辨郡十座 並小

鴨神社

「神鳳」員辨郡鴨大明神社神田幷幣料社地無レ考「背書」丹生村ニアリ「撿錄」姓氏錄鴨縣主ハ治田連ノ

〔和鈔〕朝明郡大金於保加禰禰與レ美通今大鐘村有二東西兩村一東大鐘村產社此歟〔背書〕片樋村〔撿錄〕員部郡片樋村

多比鹿神社

〔和鈔〕田光多比加〔雜記〕田光村ニアリ今天ハク大明神ト云フ〔撿錄〕〔神鳳抄〕德光コレ也

鳥出神社

○今富田村海濱社稱二飛鳥社一鳥出訓二登利氏一利與レ美通在二田光村之東一〔背書〕白鳥飛鳥明神ト號ス〔撿錄〕富田鄉ノ內北島飛鳥權現若一權現神明〔神鳳〕富田村

八十積椋神社

○今在二豊田村一此乎豊田鄉名也〔神鳳〕鈴鹿郡豊田村アリ

志氐神社

〔萬葉〕六　天平十二年幸二伊勢國一之時歌後爾之人乎思久四泥能崎木綿取之泥而將往跡其思〔續紀〕天平十二年十一月丙午車駕到二朝明郡一云々今別名村南四手野社此乎〔背書〕大神宮荒御魂羽津村ニアリ〔撿錄〕吉澤村志津御前ト云フ大神宮ノ荒魂トモ云フ

耳利神社

○社地無レ考〔背書〕田口村ニアリ

耳常神社

○今曰二小島村產神一俗稱二八幡一此乎

移田神社

○今在二埋繩村一稱二富士社一此乎〔神鳳〕宇頭尾御薗アリ

櫛田神社

○今島田村產神藏王權現此乎〔撿錄〕員辨郡島田村

井手神社

○今在二小古曾村一北ノ西ニアリ[雜記]同

足見田神社

[古事]倭建命幸二到三重村一之時勅吾足如二三重勾一而甚疲故號二其地一謂二三重一○按足字可二注意一[和鈔]葦田安之美田今在二葦田郷一水澤村ノ産神也

椿岸神社

○在二智積村一[雜記]采女村ニアリ今日ノ宮ト云ト也○加富神社ト見合ベシ[大安]三重郡河内原六十町云々四至東椿社南鎌山登道西山北牧木之限[撿錄]菰野弁ニ三重川原岐也

、

朝明郡廿四座並小

[永萬]朝明上下社トアルハイヅレ社ニヤ考ベシ

伊賀留我神社

[和鈔]朝明郡額田[姓氏]額田部天津彦根命孫意富伊我都命之後也○在二鵤村一[背書]伊賀留我神社大日雲貴尊號二齋宮一此社ノ側ヨリ流ルヽ川ヲ咒志川ト號ク北鵤河ニアリ[雜記]鵤村ニアリ又斑鳩宮トモ云フ[撿錄]同

能原神社

○今在二萱生村一此乎[紀略]天慶三年九月四日奉レ授二伊勢國從五位上能原神正五位下一

伎留太神社

○今曰二切畑村一乎[撿錄]切畑村田光ヨリ半里アリ近江ノ君ガ畑ヘ通ル道也

石部神社二座

[姓氏]石邊公久斯比賀多命後也[背書]石埋村ニ在[神鳳]員辨郡石搏コレ也[撿錄]同○石部ハイシムレ歟

菟上神社

[背書]中上村[撿錄]員辨郡中上村ノ田ノ中

太神社

云大安寺資財帳赤松原ノコト三重郡加富神社ノ條ニ注ス

阿自賀神社

「撿錄」須可村神社（神鳳抄）ニ御厨アリ

夜夫多神社

○在二甲斐村一「神鳳」夜夫多御厨○但馬國夜夫坐神社五座播磨國八保神社

土師神社

○今在二神戸ノ東土師村一二社相並「雜記」土師村ニアリ社二ツアリ西ハ八劔東ハ大寶天王也「撿錄」神戸ノ並ヤバタイノ八幡ト云ヘリ

大鹿三宅神社

「古事」大年神娶二香用比賣一生二子大香山戸臣神一次御年神○按鹿與レ香同訓三宅ハ屯倉也「雜事」河曲神戸領大鹿武則「撿錄」奄藝郡三宅村ノ東向ノ所大社ナリ

三重郡六座 並小

江田神社

○今在二西坂部村一此郷名刑部 於佐加倍 坂部ハ刑部之略語○四日市ヨリ一里計西「雜記」西坂部村ニアリイマ春日大明神ト云フ

加富神社

「古事」豐樂之時三重釆女云々「世記」釆女香刀比賣以校二取美好女一稱二香刀比賣一○今按在二釆女村一釆女社「背書」今日宮ト云フ 釆女郷羽木村ニアリ「永萬」賀福社「大安」三重郡赤松原百町云々四至東上無二清泉一南甲杜山道北郡堺道西山之限トアリ甲ノ社加富社ナルベシ「大安寺伽藍緣起」云三重郡宮原肆拾町云々四至東賀保社南峯河北大河西山限トアリ

神前神社

○今在二高角村一

小許曾神社

良二十町在二中戸村一有レ社［雜記］中戸村ニ在此社ニ獅子頭一ツアリ正二位也［撿錄］今ハ都婆貴ト相殿一宮ツバキ社コレ也ツバキノ社一殿二座

小川神社

［撿錄］三重郡楠村ノ岐ノ川ニアリ今諏訪ト云フ社也

都波岐神社

○鈴鹿郡椿大神社今云二楠村產社一此平［撿錄］今ハ奈加等神社ニ相殿トナレリ［三實］貞觀七年四月十五日授二伊勢國從五位上勳七等椿神正五位下一

飯野神社

○在二神戸一［撿錄］神戸ノ西條村ニアリシヲ今ハ神館ニ相殿タリ弘治三年神戸友盛西條ニ城ヲ築神館社ニ飯野ノ神體ヲ遷ス

久々志彌神社

○在二箕田村一［雜記］此社ニ獅子頭一ツアリ正一位也ト云リ○度會郡久々都比賣神社

高岡神社

○在二高岡川邊路西一［雜記］高岡川ノ北ニ山ニ權現アリ○天野信景云今今宿村ノ西ノ岡ニ藥師堂アリ又山ニ熊野十二所アルハ則高岡神社ナリ

大木神社

［書紀］木此曰レ開○今曰二追分村一平今屬二三重郡一［背書］堀江村ノ西畠中ニ楠アリ○尾張國大毛神社

須伎神社

［大安］河曲郡牛屋窪二十町四至東鳥沼橋北南岡西棒迫之限トアリ棒ハ古書ノ例ニテスギト訓ナルベシ渡會郡棒原神社［撿錄］奈古村今ハ長太ト云フ

深田神社

○北若松村［和鈔］深田布加多○今在二若松村一社歟若松原此地也○吾子ノ松原聖武行宮ノ跡アリ○信友

タク降タリコハカノ人ノ血ノコボレタルヲ清メ玉ハンノ神慮ナランカト人ミナ云ヘリ 切略シテ大意ヲ取テ書ス

彌牟居神社（ミムコ）ケ伴本

○今三津子山[撿錄]鈴鹿ノ三津子山又三高山トモ云今ハ片山神社ノ傍ニアリ風土記ニ山ノ半腹ニ社アリト云ヘルコレ也東鑑ニ三箇山トカケリ

河曲郡廿座 並小

高市神社（タケチ）

[姓氏]高市連天津彥根命三世孫彥伊賀都命之後也

○今六呂見村產社稱二御大和森（ミヤマ）一此平今屬二三重郡一

○コノ六呂見村ハ神戶ヨリ二里計隔コヽハ日永村ノ出鄕ニシテ近年ノ所ナレバ據ガタシ[背書]神戶市中高館ト云フ[撿錄]神戶ノ市中神館神社コレ也處ノ產神也飯野神社今相殿也

彌都加伎神社（ミツカキ）

○在二玉垣村一同 雜記 稱二土御前一[撿錄]今玉垣ノ明神ト云フアリ市中也

貴志神社（キシ）

○神戶巽一里在二岸岡村一此平[撿錄]岸岡村山ト海トノ前也コレヨリ出タル村名也○鈴鹿郡小岸神社

鬼太神社（キタ）

○在二肥田村一[背書]木田村[撿錄]同

川神社（カハノカミノ）

○川原田村此平○川後（シリ）鄕川原田村 和鈔二出 三重ト川曲ノ界也三重郡ニ屬ス川原田堤ノ前ニアリ

矢橋神社（ヤハシ）ハセ伴本

○在二矢橋村一

岡太神社（ヲカタ）田伴本

○在二神戶西北半里岡田村一

奈加等神社（ナカト）

[舊事]天椹（クレ）野命中跡（ナカトノ）直等祖[和鈔]中跡 奈加止 鄕神戶

鈴河中瀨ニ忽隨ニ逝水ニ（倭武尊ノ薨ナ云也）時年三十仍號ニ其瀨ニ曰ニ能知瀨ニ今改爲ニ長瀨ニ訛也

忍山（オシヤマ）神社

○在ニ忍山村ニ○忍山村今野村ト云フ［撿錄］龜山驛ノ西野村［世記］云々

片山（カタヤマ）神社

［撿錄］鈴鹿郡鈴鹿權現○今鈴鹿姬社乎［弘安元年勅使記］曰鈴鹿山鈴鹿姬坐ニ路頭之北邊ニ○按此鈴鹿明神乎俗ニ自ㇾ古稱ニ鈴鹿御前ニ或曰天照大神姨也共不ㇾ免ニ女神之稱ニ又［弘安記］云坐ニ路頭之北邊ニ者相合乎○四五十年許以前（四五十年以前ハ明和ノ頃ナルベシ）ノ事ナリシカ或夜坂ノ下ノ古町甚三郎ト云者ノ家ヤケテ火ノ手上リシトテ鈴鹿ノ坂道ヲ飛脚馬ニノリテ通リシニ白衣ノ人馬ニ乘テ出玉フヲ正シク見シガタチマチ彼家ノ火鎭リタリト云ヘリ然ルニ坂下三丁ノ者火事ヲシラザリシニカノ甚三郎坂下今驛ヘ禮ニ來レリ驛家人皆不思議ノコト也ト云ヘリコハ件ノ神里人トナリテ火ヲ消シ玉ヒシ也ト云リ今ハカノ甚三郎ノ家ハ絶テナシト云ヘリコノ物語ハ當驛ニ古ヨリ出火ナシト云ヘルニツキテ驛人ノカタリシ也坂下古ヨリ癩病火災墮雷ナシ火ヲ忌コト伊勢兩宮山城ノ加茂ト同ジ朝鮮人紅毛人來朝ノトキ止宿ヲユルサズ但シ古ハシカラズ先年ヨリ如ㇾ此ト云ヘリ右異國人通ルトキハ問屋ニテモタバコノ火モ出サズ

［伊勢見聞私記］享和三年九月ノ末鈴鹿ノ社ノ少シ上ノ方ノ坂路伊勢國ノ者江州穴村ヘ灸治ニ行トテ四人連ニテ此處ヲ通リケルニ一人ノモノ何トモナキニ坂ノ石垣ノ所ヨリ落テ氣絶シ頭少シワレテ血出タリ連ノ人坂ノ下ヘツレカヘリテ後氣付タリソノ落タルヤウ童子一人來テ彼坂ノ所ヲ飛ト見タルガ我モソノ儘落タリト云ヘリカクテカノ怪我人ヲ三人ノモノイタハリテ吾村ノ家ヘカヘリケルガカレガ母親今朝五時イマダネタリシガ誰ナルニカフトンノ上ニノリカヽレリト思ヒテ人ニ其由ヲ云ヒシガ彼落タリシ時モ五時トイヘバイトフシギナル事也トイヘリト也コハカノ怪我シタル人ノ父先月死タルニ御社ノ鳥居ヲ越タルユヱナラント云ヘリサテ其日伊勢ノ國大雨フリシガ鈴鹿坂ハコトニイ

ノ北ヲ云フ○甲斐國大井俣神社萬葉一「山の邊の御井を見かてり神風のいせのをとめら相みつるかも」又十三五

三宅(ミヤケ)神社

[書紀]屯倉此曰ニ彌夜氣ー[雜記]三宅村ニアリ千(チ)力大明神ト云フ[窓螢]昔椿ノ社ヨリ朝廷ノ御祈セシ事恒例ナリキ云々三宅伊勢掾種名ト云者南方ノ御祈禱トテ三宅神社建ケルトキ彼御事申ナゲキ云々首書ニ式三宅ノ社在ニ鈴鹿郡三宅村ー千力大明神或云祭ニ手力雄命ー[撿錄]鈴鹿郡國府今ハ總社ト云フ○內山氏云天武紀天皇國司三宅連ヲタノミ玉ヒココニ來ラセ玉ヒ三宅連ヲ將トシテ大友皇子ヲ責玉ヘリ

江(エ)神社

[背書]下ノ庄ニアリ[撿錄]今ハ奄藝郡ニ屬ス民家ノ裏松ト榎木アリ其處歟

布氣(フケ)神社

[背書]今神館ト云野尻村ニアリ○例祭六月廿一日天照大神遷幸ノ行宮ノ古跡也ト云ヘリ[撿錄]鈴鹿郡關驛ノ北小野村ノ野ニテ羽黑山ト云フコト野ヲ湯津羽野ト云フ

石神(イハカミ)社

○小岐須村北山麓有ニ大巖石ー高百丈餘此乎[雜記]石(シヤク)大神ハ小岐須村ノ里ヨリ十四五町ホド奧ノ山ノ北ノ根也社トテモナク岩ノ高サ二百間幅二十間計ニシテ突兀シタル嶮巖也或云式ナル石神社ハ此處ナランカト云ヘリ[撿錄]大岐須村石大臣ト云ヘリ石ノ高サ二百間横五十間也村ヨリ二十町山中ヘ入リタル處ニアリ○小社ノ領小岐須村ニアリ野登山ノ北也大巖アリ石大神(シヤクダイジン)ト云フ巖根ニテ東西五十間南北ハ大山ニ添ヒテ高サ六十三間ナリ社ハナシ雨乞スルニイツモ靈驗アリ○陸奥石神山精神社

長瀨(ナガセ)神社

[和鈔]長瀨奈加世[撿錄]鈴鹿郡長瀨鄉長澤村○知雄按長瀨神社祭神日本武尊歟[熱田寬平緣起]曰渡ニ

「背書」阿野田村ニアリ○眞龍云(續紀)十六(三丁ウ)伊勢國眞木山コレハ伊賀近江伊勢マデ廣ク眞木山ト云フ甲賀越ノ道ニテ近江ト加賀ニ通ズ鈴鹿郡加太ノ山也神社ヲ阿野田村ニアリト云フハ移シテ今云フ也

志婆加支神社(シハカキ)

○在ニ楠原村一稱ニ天神一○楠原村天神八幡少シ山ノ上問屋ノ向ヒ也

縣主神社(アガタヌシ)

「姓氏」縣主日本武命之後也「古事」倭建命御子建見兒王者伊勢別祖也「和鈔」英多(安加多)「背書」川崎村「撿錄」岑ノ川崎村御贄川アリ六月十一日外宮ヘ年魚ヲ奉ル○北伊勢朝明郡保々之庄ノ氏神縣大明神アリ

天一鍬田神社(アメノヒトクハタ)

「背書」原村「撿錄」今八幡大明神ト稱ス「古語」太玉命所レ率神天目一箇命伊勢忌部等祖也

椿大神社(ツバキノ)

○阿曲郡ニモ都波岐神社アリ「三實」貞觀七年四月十五日從五位上勲七等椿神正五位下「雜記」山本村ニアリ今椿大明神ト云又行滿大明神トモ云保食神也獅々頭アリ又式ナル小岸太神社ハ今岸大明神ト云フ里ヨリ乾ノ山ノ根川端ノ上ノ森ノ内ニ兩社相殿ニシテマシマス也「窓螢」昔椿ノ社ヨリ朝廷ノ御祈リセシ事恆例ナリキ云々○祭神猿田彦大神也ト云フ社前ニあやつばきトテ椿木ノ葉ニ似タルモノニ椿ノ花サク也色ハ赤キモ白キモアリ他所ニ無モノ也トゾ社司山本氏ノ説也「龜山賦」椿大明神本社末社椿嶽ノ下ニアリ○椿岸社ハ俗ニ下ノ椿ト云フ

小岸大神社(ヲキシ)

○在ニ小岐須村一○雜記ノ説ニ上ノ椿大明神ノ處ニ記ス

大井神社二座(オホヰ)

○在ニ山邊村一有ニ清水一「撿錄」河曲郡川邊郷高岡川

○淡路國伊勢久留麻神社「背書」今勝手明神ト云群載七十一右稲生社四至ヲ云條栗眞

鈴鹿郡十九座並小

那久志理神社

「古語」今長白羽神伊勢國麻續祖種麻以爲ニ青和幣ニ「世記」奈具波志忍山○按奈具長白也波志坐也在ニ忍山村ニ俗稱ニ白鬚神ニ「背書」名越村「撿錄」名越村東側

倭文神社

「撿錄」龜山ノ西野尻村ニアリ

川俣神社

「姓氏」川俣公彥坐命之後也「續後」十六ノ五ウ鈴鹿郡枚田鄕川俣縣造藤繼「世記」川俣縣造祖大比古命啓ニ味酒鈴鹿ニ○今鹿伏兎村乎○鹿伏兎鄕ニアリ鈴鹿川ト加太川トノ岐合也仍テソノ處ヲ川俣ト云今轉ジテ加太ト云フ

眞木尾神社

久留眞神社

○白子村南曰ニ栗間ニ「甘露寺親長記」伊勢國栗眞庄

村

横道下神社

「古事」鳥鳴海神娶ニ額田毗道男伊許知邇神ニ生ニ國忍富神ニ○横地村乎「背書」同「撿錄」稲生ノ南横知

服織神社

「雄略紀」將ニ呉所ノ獻手末才伎漢織呉織ニ云々漢織呉織衣縫是飛鳥衣縫部伊勢衣縫之先也「和鈔」㐰藝郡服部八止利「背書」郡山村「撿錄」上ノ酒井神社ト並テ郡山村ニアリ可ニ併考ニ

七合ノ田地ヲ寄進シ玉フヨリ年々是ヲタクハヘ置テ社ヲ修補ス云々或人云稲降ト稲生ト一ツニテ共ニ保食神也トイヘリ按ニ稲降ト穗落ト一ツニテ穗落ハ大歳神ト申セバ此處ノ三社ノ中ニ聖ノ宮ト申ガアルモ大歳神ノ御子ノ聖神ナルベシ然レバ稲生ト同一體ト申說オボツカナシトイヘリ

〔袖中童蒙抄〕曰伊勢國奄藝郡亂獵人入レ山射レ鬼殺レ之得ニ鬼所レ捕之女ニ因爲レ妻生レ兒一旦母子共亡(失イ)覓レ之無レ見ニ其居處ニ題ニ和歌ニ曰三輪乃山本杉立流門云云因レ之到ニ大和國三輪社ニ祈レ再ニ會妻子ニ時神殿忽開母子共在ニ殿內ニ得ニ逢遇ニ終其獵人母子皆爲レ神因レ之其神祭ニ伊勢國奄藝郡ニ人執ニ行之。○今在ニ大古曾村ニ〔撿錄〕一身田ノ南大古曾村

事忌社（コトイミ）

○今在ニ林村ニ〔撿錄〕天神社

酒井神社（サカ井）

○今在ニ甲斐村ニ〔背書〕郡山村〔撿錄〕下ノ服織神社モコノ並ノ社也三座之內別保ノ西ニテ服織郷郡山村ニ在衣ヲリ山ハコホリ山ト轉ゼリ（一本酒井神社尾前神社ノ次ニアリ）

尾前神社（ヲサキ）

○今在ニ窪田郷坂田村(部イ)ニ〔背書〕大別保村〔撿錄〕大別保濱邊ニアリ享保十四年御尋アリ

比佐豆知神社（ヒサツチ）

○安濃郡ニモアリ〔背書〕寺家觀音ノ內〔撿錄〕白子(本ノマヽ)家寺ノ界內天平年間ノ鳥居アリコヽハ鹽屋郷ナリ〔參宮〕コレヲ愛宕權現ト云當城(城津)ノ子ノ方鎭守トシテ堵世ノ惣社也神名帳ニ比佐豆知神トアルハ是也白子ニモ同名ノ神アリイヅレカ是ナル

石積神社（イハツミ）

○在ニ窪田ノ南岩積村ノ山麓ニ（岩積村今麼）〔撿錄〕窪田驛ノ南ノ山麓社ナシ

彌尼布理神社（ミネフリ）

○伊奈富神社同神今曰ニ稻降神ト云々今在ニ北黑田村ノ北八町山上ニ三神相並黑田郷也〔雜記〕稻降大明神ハ北黑田村里ヨリ八町程北ノ山ニアリ三社坐ス一社ハ稻降一社ハ春日八幡御同殿ニ坐ス一社ハ聖ノ宮ト號ス每年正月十六日同廿一日祭禮アリ往昔ノ御供田ハ文錄ノ撿地ニ押領セラレ神社破壞甚シカリシニ伊賀侍從高次正保二年社領五石六斗四升

○在二藤方村一［崇神紀］出雲臣之遠祖甘美韓日狹［雄略紀］土師祖吾笥進ニ伊勢國藤方村私民部一名曰ニ贄土師部一［姓氏］土師宿禰天穗日命十二世孫甘美乾飯根命之後也［世記］安濃藤方片樋宮○按韓日乾飯片樋言通安濃壹志兩郡之交也故古記或爲ニ壹志藤方一○信友云カラヒハ乾飯也出雲風土記解ヲ見合スベシ

船山神社

［撿錄］津ノ西草生鄕船山村ニアリ津ヨリ三里アリ［雜記］津ヨリ西行程三里廢寺船山寺トテ山上ニ藥師アリ船山神社モコヽナリ［古事］神八井耳命者伊勢船木直之祖也

奄藝郡十三座並小

伊奈冨（イナフ）神社

［群載］七十一左嘉承二年十二月攝政右大臣家政所下文稻生社四至限ニ西國府東枝川一限ニ東白子濱一限ニ南井手橋南畔一限ニ北奄藝川曲郡堺一［雜事］三月三日奄藝郡坐稻生社祭日也○今在ニ稻生村乾松山一三坐［永萬］稻生社［雜記］今正一位稻生大明神ト云フ稻生村ノ乾松山ニ五社アリ云々本社ハ良ニオハシマス三ノ太神宮ハ雷電神也西宮ハ地主東ハ八幡云云

加和良（カワラ）神社

［背書］今千力（チリキ）明神ト云長法寺村ニアリ○正身云［崇神紀］十年時人號ニ其脫レ甲處一曰ニ伽和羅一［古事記］應神段以レ鉤探ニ其沈處一者繫ニ其衣中甲一而訶和羅鳴故號ニ其地一謂ニ訶和羅前一也太古名レ甲曰ニ加和羅一者分明筑後國高良玉垂神社祠ニ武內宿禰一今甲人世姓治田自謂出レ自ニ武內宿禰一高良與ニ加和羅一无レ別則此神社亦祠ニ武內宿禰一歟［大安寺天平資財帳］奄藝郡城上原四十二町云々四至東濱南加和良社幷百姓田西同田北濱道之限

多爲（タヰ）神社

［和鈔］田井多井○河內國田坐神社○在ニ山田井村一

大乃己所（オホノコツ）神社

比賣ニ生子大年神次宇迦之御魂神「安東郡專當記」安乃津ノ市今安濃津河松社此乎「背書」阿野郡大市山妙法寺ハ昔大寺ノ由ナリ妙法寺村ニアリト云ヘリ○百木按此社ハ妙法寺ニアルカタヅヌベシ（雜記）ニ今ノ妙法寺村ノ三町程東ニ古大市村ト云小里アリ其處ノ川端ニ大市ノ社アリツル也今ハ里モ社モナク舊跡ニ一木ノ古松アルノミ也ト云リ「撿錄」昔妙法寺村ニアリ今ハ津川村ニ移ス則大市山妙法寺ト云ヘリ田ノ字ニアリ

志夫彌神社

○在ニ澁見村ニ「撿錄」津ノ西也「古事」志夫美宿禰王「姓氏」志夫彌宿禰ハ此神ニアラザルカ

小丹神社（舟カ）

「背書」安濃湊田小丹ノ鹽屋ニアリ卽大部田村也「撿錄」安濃湊田コヽニ阿乃ノ松原アリコヽヨリ郡田ニ移ス堤ノ上ニ松一本アリ云々大郡田村ノ西ニ濱ノ宮トテ五社ノ内トナセリ今ヲニノシホヤト云フ「名寄」西園寺入道「いせのうみ見渡り歸る浪間より數もかくれぬあのゝしほかま」「村名帳」小舟村アリ「神鳳」小舟別各三斗○越後國小舟生神社

美濃夜神社（屋伴本）

「撿錄」安濃郡雲林院村ニアリ椋本ノ南ノ方也河内ヘ行道ノ口也前ナル川ヲミノヤ川ト云フ今云溝淵神社「背書」土ノ御前溝淵明神ト云「雜記」雲林院村ニアリ今溝淵大明神ト云往昔ハ社領七十五貫アリ天正年中ノ亂ニ失却ス古ノ卯社頭ノ棟札ノミ殘レリ云々○隱岐國水祖神社出雲國三屋神社

阿由太神社

「背書」阿野神社○安濃村高野尾ノ正南

小川内神社

「撿錄」在ニ河内村ニ古社ト云フ

比佐豆知神社（智一本）

○今塔世愛宕山平火雷命奄藝郡ニモアリ

加良比乃神社

貝ノ形セル石ノ多クアルヲモテ貝石山ト云フ云々古ヘ湯明神ノ御社射山ニアリシ時ハ此温泉其山ノ北ノ麓ニアリ今此處ヲ湯ノ嵩ト云フ御社ヲ今ノ處ヘ遷シ奉レバ湯モ又御社ノ邊ニ湧ス實ニ神ノ御湯ナルコト明ラケシ（八雲御抄）ニなヽくりのいでゆ云々（枕草子）ニモ湯はなヽくりの湯云々七栗トハ郷ノ名ニテ榊原トイヘルハ云々ムカシ此邊ヨリ神宮ヘ眞榊ヲ獻ジ大中臣ノ氏人ナンドモ住玉ヒメデタキ例アルヲモテコトブキテ榊原トノミトナヘシユヱ一郷ノ名トナリテイツトナク七栗ノ郷トハ外ノヤウニナリケルトゾ（古談）橘純縄「一志なる岩根に生る七栗のけふはかひなき湯にもあるかな」○イヤマハ湯山也ユヲイト云ヘル例伊奈郡ハ湯之郡伊奈ハ出湯ノ轉又惠那郡ハ湯之郡ノ轉眞龍ノ説

川併（カハヒ）神社

○矢野村去ニ加良須ニ三町許雲津川爲ニ二流ト入レ海在ニ其中間ニ之社稱ニ落合社ト稱ニ土御前ト此神歟（背書）菅瀬村（撿錄）都川ト雲出川トノ出合ノ處ヲ落合ノ社ト云フ

敏太（ミヌタ）神社

［和鈔］（トシタ印本訓）民太（三乃太）○今日置郷戸木村風速神社乎卷尾有レ説

安濃郡十座 並小

置染（オキソメ）神社

［姓氏］大椋置始連阿居（アコ）太（タ）都（ツ）命之後也又曰神魂命八世孫阿居大（佐イ）都命此郡有ニ阿古木浦ト名與ニ阿居ト言通［三實］貞觀四年七月廿八日伊勢國安濃郡人右辨官史生正七位上爪工仲業賜ニ姓安濃宿禰ト神魂命之後也［撿錄］産（ウブシナ）神村津ヨリ二里西［神鳳］産（ウブシナ）階［洞津考］源親房卿安濃ノ傍ニハ塔世ノ東河岸ニアル楠ノ林トゾ申傳ヘキ其左ニアコタチノ社オキソメノ氏社フタツナラビシモ今ハ松ノ濱風ノ音サヘタヘヌ此二社ハ阿濃ノ杜宮也カタ〳〵オロソカナラヌヤウニアラムカシ［殘風土記］云々

大市神社

［古事］速須佐之男命娶ニ大山津見神之女名神大市

日

須加神社

〔撿錄〕須賀村ノ西權現村ノ權現コレ也〔和鈔〕須可須可〔古事〕速スサノヲノ命曰我心淸明我所レ生之子得ニ手弱女一〇道中貴禰宵忍比咩〔儀式帳〕須佐乃乎命御玉道主命

阿射加神社三座 並名神大

〔撿錄〕小阿坂村二座サルダヒコ大阿坂村一座阿佐加惡神大蛇也ト云フ兩村ニ宮アリ龍大明神ト稱ス大阿坂村淨眼寺中ナリ昔ハ鹽入ニテアリシユヱ古事記ニモ云々トアリ昔片樋ノ宮トモイヘルコレ也〇在ニ小阿坂村一〔背書〕今龍天明神ト云〔古事〕猨田毗古神坐阿邪訶云々時爲レ漁云々謂沫佐久御魂云云按阿和佐久之略語〔續後〕承和二年十二月甲申奉レ授ニ阿耶賀大神從五位下一此神坐ニ伊勢國壹志郡一〔文實〕嘉祥三年十月乙巳朔伊勢國阿耶賀神從五位上齊衡二年正月壬寅以ニ伊勢國阿耶賀神一預ニ於名神一同月丙午伊勢國阿耶賀神加ニ從四位下一〔三實〕貞觀元年正月廿七日從四位下阿耶賀神從四位上同八年十一月四日伊勢國從四位上阿耶賀神授ニ從三位一

波氏神社

〇印本作ニ須氏一傍書云一本須作レ波〇在ニ波氏村一〔背書〕星合村〔神鳳〕蘇原御厨波氏御厨〔雜例〕一志郡內宮御領波氏御厨〔撿錄〕蘇原村ノ邊ニ波氏村アラズ星合里ニ七夕社アリ

小川神社

〇在ニ小川村一〔撿錄〕雲出川ノ枝川ナル都川ノ南小川村ノ南西ノ角ニ三社アリ〔和鈔〕小川乎加波

射山神社 禮印本傍書

〔背書〕榊原村　今七栗溫泉稱ニ湯神一此乎〔榊原溫泉來由記〕湯ノ大明神ハ神名帳ニ壹志郡射山神社ト申奉ル是也今鑰取大明神ト稱シテ郷ノ惣社トモ崇奉ル本名射山神社或ハ湯山神社一名氏山御前祭神二座大己貴命少彥命云々貝取山名ハ射山ナレドモ

丹ノ生ズルヲ見テ丹生ト稱ス往古ヨリ此社ノ神人ノ系四家アリ共ニ上田ヲ姓トス其三家皆絶テ享保ノ初比マデ上田氏一家アリ俗ニ禰宜屋京次郎ト呼タリ然ニ亦タエタリ

丹生中(ニフノナカノ)神社

○在二同村一[撿錄]丹生兩社並坐

堀坂(ホリサカノ)神社

○今堀坂山半腹有レ社[撿錄]矢津村ノツヾキ也[雜記]堀坂山ハ松坂ヨリ西行程三里アリ堀坂神社ハ伊勢寺村ノ山上ニアリ龍天權現也云々

久尓都(クニツノ)神社

[背書]鄕津(カウヅ)村鄕津社[撿錄]大口村ノ西○内山氏云久爾津ハ人名也[景行紀]ォ十七　日本武尊征夷國津神ヲ俘ニシテ都ヘ上ルォ廿二其俘ヲ令レ班ニ邦畿之外ニ是今播磨讃岐伊勢安藝阿波凡五國佐伯部之祖也云々コレニヨルニ伊勢國ヘモ班チ置シコトアリケン姓氏錄ニヨレバ伊勢ハ伊豫ノ誤ト聞ユレドモ一編ニハ定ガタシ久爾津神社ハ蝦夷ノ首國津神トキコユ

壹志郡十三座 大三座 小十座

波多神社

○在二波多村一[和鈔]八太 鉢多

物部神社

[舊事]物部竺志連公新家連等祖鎭ニ座山邊行宮ニ今號ニ壹志郡新家村ニ是也○新家訓尓爲乃美(ニノミ)今新家村[撿錄]山邊行宮之跡 有レ稱ニ天王森ニ乎

稻葉神社二座

[三實]貞觀七年四月十五日授ニ伊勢國稻葉神從四位下ニ[國造]稻葉國ハ因幡國也○在ニ矢野村ニ加良須社此乎[撿錄]大カラスノ宮小カラスノ宮コレ也大カラス宮ハワカヒルメノミコト也小カラス宮ハ近年大水ニ流サレ玉フ○社家今井縫殿新家淸政云昔番良洲社ノ森繁茂シテ白兎住リ今木枯テ其事ナシ云々此比度會彥敬云古事記所謂稻葉素兎八上姫ノ據アルカ○祭禮六月十六日與ニ祇園御靈會ニ同月

云武藏國人今是額田部槻本首等之始祖也云々居ニ磐石ニト云フニ由テ石前ト號シ又桑名郡額田槻本神社當國ニ散在セルヲ以テ考レバ長彥ヲ崇ミ（和鈔當郡長田（奈加多）鄕アリ鈴鹿郡長世（奈加世）鄕アリ）其名ヲ以テ千熊ト云（桑名郡ニ熊口鄕アリ）其巧ヲ以テ社號トスルカ［和鈔］員辨郡石加（以之加）鄕安濃郡石田（伊波多）鄕アリ石田神社多氣郡ニアリ○度會郡伊蘇鄕多氣郡伊蘇上神社アリ多氣ト度會ト郡隣レリモシクハコノ石前ノ石ハ伊蘇ト訓ベキカ然ラバ伊蘇ノ地名ニテ伊蘇乃久末伊蘇邪支ナランカ又イソザキテフ地名カ

神垣（カミカキ）神社

［撿錄］高木村豐原ノ北

飯高郡九座（並小）

立野（タチノ）神社

（野乃多千）

○立野村ニアリ［撿錄］松坂ノ西［雜記］同［和鈔］立

大神（オホミワ）社

（神一本）

［背書］在ニ深（フカサ）長村ニ

物部（モノベ）神社

［背書］伊勢寺村［撿錄］同［繼體紀］物部伊勢連父根

○內山眞龍云此人ハ外國人ニテ祖父未レ詳

加世智（カセチ）神社

［背書］石津村　○背奈浦　石津神社　松崎ノ東南ニアリ

意悲（オヒ）神社

○在ニ下村ニ神館社［撿錄］館作レ離此乎此東ノ川下樋小川也［撿錄］此處七鄕ヲ神戶鄕ト云［大神宮式］飯高ノ下樋小川此飯高神戶神館也　○飯野郡意悲多神社アリ［永萬］於非神社［雜例］飯高郡內宮御領五（ゴ）勾（マガリ）六於非二个里トアリ

丹生（ニフ）神社

○丹生村［雜例］丹生大明神［和鈔］丹生（爾布）○丹生村長谷川氏談云丹生村本號ハ上田村也弘仁七年以後

ノ社ト云フアリコレナラム［和鈔］櫛田久之多［齋多］云々

牛庭(ウシニハ)神社

○今與二宇爾神社一同今在二蛸路(タコチ)村一二社相並稱二牛嶺(ウシガミネ)社一○下蛸路村領ノ内ニアリテ上下蛸路村ノ産神ナリ［背書］大神宮御厨大藏山御厨是也［齋多］云々○清主按雜例集云度會郡外宮牛庭御厨飯野郡内宮牛庭御薗

大櫛田(オホクシタ)神社

○櫛田ハ郷名也［撿錄］飯野郡豐田町ノ中紅葉屋ト云茶屋ノ向ニアリ以前ハ袖引ノ社トモ云ト云ヘリ［齋多］云々

飯野郡四座 並小

意非多(オヒタ)神社

○今云長田(ヲサダ)社在二朝田村一北向レ東此乎［撿錄］此說是也○飯高郡意非神社アリ

神山(カミヤマ)神社

○在二乳熊郷山添村神山北麓一士民稱二鑰取神一按鑰與レ貝語近猿田彥神拾レ貝稱二甲斐辨羅神一士民語鑰取此訛歟郷名乳熊者道隈乎［撿錄］乳熊郷云々此說是也飯野高宮コレ也［雜記］山添村ノ神山ノ北ノ森ニアリ神山明神ト云ヘリ俗此明神ヲ二之鳥居トモ云［伊水］伊賀國高瀨神社大田命ニシテ俗ニ鑰取明神ト稱トアリ○猿田毘古ノ貝云々ハ古事記ニヒラブ貝トアリ和鈔蠣ノ下ニ本草云蠣蛤和名加木今ハカキトキヲ清テ唱モシギト濁リテ云所モアルカ記傳ニヒラブ貝詳ナラズトテ誠ニイハレタル說ハアリ蠣ハ岩ニ堅クツキ居テサテ咋合タルハ殊ニ强キモノ也猶可レ考

石前神社

○在二中萬村一○チウマト唱フル歟 中萬者乳熊也［撿錄］同○或云［神功紀］四十九年春三月云々唯千熊長彥與二百濟王一于二百濟國一登二辟支山一盟之云々曰若敷レ草爲レ坐恐見二火燒一云々故居二磐石一而盟者示二長遠之不レ朽者也又云四十七年云々以二千熊長彥一爲二使者一當如レ所レ願注千熊長彥者分明不レ知二其姓人一一

○今國東山南麓大久保村乎「背書」久保村「撿錄」平生村ノ西有レ森俗ニ天神宮ノ産井ト云アリ「儀式帳」國生神兒大國玉命 ○國生神社上ニアリ「齋多」云々

大分神社

○今云大垣内村歟「撿錄」法田村ノ西兄國クロタ山ニアリ大垣内ハ不審「齋多」云々「景行紀」碩田於保岐陀豐國也「和鈔」豐後大分於保伊多アリ若狹大飯於保伊太郡アリコレハ別意ナルベシ別ニ考アリ大分郡ノ名ノ由縁景行紀又豐後風土記ニアリ當郡相鹿木太神社アリ又「和鈔」度會郡城田木多郷アリ

國乃御神社

○國ノ御祖神歟度會郡國津御祖神社又越前坂井郡國祖神社

櫃倉神社

櫃當レ作レ根又禰歟「鎭座」以ニ大土祖宇賀魂神一爲ニ根倉甕星神ニ「儀式帳」根倉物忌父根倉社二所神殿造理掃清奉云々マタ竹ノ首吉比古五百枝刺竹田乃國止白旦櫛田根椋神御田進支 ○今稱ニ御玉社一在ニ根倉村ニ「齋多」云々○信友云櫃一本作レ樻根樻草體相近

伊蘇上神社

「儀式帳」難波長柄豐崎宮御宇竹村立ニ屯倉ー磯部直夜手ヲ助督ト仕奉支「續紀」寶龜六年五月癸巳朔伊勢國多氣郡人外正五位下敢礒部忍國等五人賜ニ姓敢臣ニ「神名秘書裏書」伊蘇宮在ニ多氣郡逢鹿村一字古宮本上相可村磯部寺前森中社曰ニ磯宮ニ「撿錄」相鹿木太神社此處並坐「和鈔」度會郡伊曾以曾郷「齋多」云云

伊呂上神社

「神鳳」伊呂止御薗　止上之誤乎不レ知ニ孰是一○社地无レ考「背書」兄國村ニアリ「齋多」伊呂上社 ○百木云伊呂上ニテ弟國村ニアルカ

櫛田槻本神社

「撿錄」飯野郡月本五智如來ノ裏雜記櫛田村ニ月本

○在二大淀浦一［世記］海鹽大與度爾與度美氐御船令二幸行一其時倭姬命悅給氐其濱爾大與度社定給○山城乙訓郡與杼神社今謂二水垂明神一○淸在神主云今大淀ノ邊度會多氣兩郡ノ界ニ天八王子ト稱スル祠アリ村老云此祠古ハ大淀社ト云リト云ヘリ○信友按竹ハ郡名ノ多氣也鄕名ニモアリ大與杼ハ大淀ノ地名也［齋多］大與杼社

竹佐々夫江神社

牟儀式帳世記

○大淀ノ西與行部村之間有二小入江一此有二佐々夫江橋一○社今亡［世記］眞名鶴佐々牟江ノ宮ノ前之葦原中還行鳴生レ稻云々因レ玆其鶴住處八握穗社造祠也［雜記］根倉村ニアリ○大淀ノ里ノ西ニ小社アリコヽニ移セリ［齋多］云々○信友按コレモ竹ハ郡鄕ノ名佐々夫江ハ佐々夫江ノ邊ニ坐セル由ナルベシ世記ニ佐々牟江御船泊給

棒屋神社

○菅生村［撿錄］井口村機殿ノ北東ニアリ○度會郡棒原神社［齋多］棒屋社

伊佐和神社

○今射和村北ノ山上ト與レ村東在レ社北稱二上社一東稱二下社一［撿錄］飯野郡也松坂ノ北ニイサワ村アリ○志摩答志郡伊射波神社ノ下可二見合一○但馬養父郡石禾伊和波［齋多］云々

牟禮神社

○今在二牟禮村一［撿錄］井口村機殿不審［齋明紀］歌ニ乎武例○攝津嶋下郡牟禮神社［齋多］云々

有貮神社

○今在二有爾村一曰二產社八王子一此乎［和鈔］有貮字爾鄕アリ［齋多］云々

國生神社

［儀式帳］國生神兒大國玉命○今國東山稱二白山一此乎國東國津神之片言歟［齋多］云々

大國玉神社

「和鈔」流田奈加禮太○飯野郡郷名也地名ヲ社號ト云今清水村東稱ニ伏拜フシヲガミト爲ニ遙拜所ト有ニ大松二株ト此邊ノ田亦字曰ニ伏拜ト云々流田上神社ノ下可ニ見合ー○魚見社見ニ于上ー北東之田俗云ニ流田ト其田中地稱ニ美與度利ト爲ニ古社地ニ「本緣」水取社座ニ内宮月讀宮北ト與レ是同神歟萬葉十三「月夜見の持有越水伊取來而云々「齋多」云々

畠田ハタケダ神社三座

「撿錄」飯野郡藤原ノ御炭ミスミ山无社○信友按（和名鈔）郷名ニ某田田某ト云名コトニ多シ神社ノ號ニモ田ト云ヘルガ大カタハ地名ヨリ出タル號ナランカトオモハル、也考ベキ事也

流田上ナガレタカミノ社神社

「齋宮式」神ノ上ノ社字无（背書）亡レ社大神宮ノ伏拜ト云飯野郡清水村ノ東ニアリ流田神社ノ下見合ベシ○百木云或説ニ（齋宮式）ニ四字メノ社字ナシソハ脱タル也上社ハカミコソト訓ベキ歟近江淺井郡ニ上許曾神社アリ又按ニ上ノ社ハカミノモリ歟社ヲ萬葉モリトヨメリ今神森カンモリト云フ森アリコレ流田ノ上社ノ舊跡歟ト云ヘリ○信友云此説ニヨレバ社ハ杜ノ誤歟可レ考

石田イハタ神社

○今宇爾村ノ田ハ字ヲ曰ニ石田ト曰ニ姫神ト「和鈔」安濃郡石田伊波多「撿錄」オイシ村歟「齋多」云々

火地ヒチ神社

○在ニ岩内村ト社是乎「撿錄」飯高郡「再興」火地ハ保豆知ナルベシ火突智ノ義ナルベシ○岩内村ノ山腹ニアリ石觀音ト云フ此處ヨリ出ル石佛像ニ似タリ宇爾神社ノ傍ニアリトモ云撿錄○伊賀國伊賀郡比地神社アリ「齋多」云々

佐伎栗栖サキノクルス神社二座

岐齋宮支古本

「姓氏」栗栖連神饒速日命子于摩志摩治命之後也「神鳳」志貴御厨佐與レ志音通○今在ニ古志貴村ト大淀ノ西也「撿錄」飯野郡志貴村腹太ノ西「齋多」云々

竹大與杼タケオホヨド神社

○在ニ齋宮南宇田ニ卽櫻社之北也宇田海田之略語也[齋多]大海田社[撿錄]南宇田村齋宮ノ南也[齋宮式]大海田社同レ之白當レ作レ自[和鈔]謂ニ老女ニ爲レ自和名度之同六廿一ォ海田安萬多○信友按大海田ハ地名水代大刀自ハ神名ニテ女神ナルベシ[儀式帳及世記]ニ佐那縣造祖御代宿禰ト云アリコヽニ水代ノ大刀自ハ郡代宿禰ノ妻ナルニヤ

相鹿木太御神社（アフカノコタミ）

●祖補信友云脫乎下ナル國乃御神社ノ下可レ考

○今在ニ林村ニ森庄村乎相可村之東南也[撿錄]伊蘇上神社ノ所ニ今ハ並ベリ此注是[和鈔]樹神古太萬同度會郡城田木多鄕アリ[齋多]相鹿中社

紀師神社（キシ）

[機儀]神名秘書引倭姬皇女大神齋ニ奉飯野之高宮ニ于レ時機殿立ニ長田鄕ニ是所立レ社號ニ麻續社ニ亦名河崎社是太神御靈也稱ニ麻績屋姬神ニ于レ後機殿遷ニ於岸村ニ是處立レ社號稱ニ岸社ニ亦是太神御靈也此社今在ニ阿波曾村ニ[撿錄]乳熊鄕也川ノ岸ニ在ユヱキシト云飯野郡也○阿波曾古記ニ爲ニ乳熊鄕ニ是多氣郡飯野郡兩郡之交也[和鈔]飯野郡乳熊知久末同郡長田[齋多]云々

宇留布都神社（ウルフツ）

○今云腹太（ハラタ）村[撿錄]此村飯野多氣兩郡トナル今多氣郡稻木ノ川下一里許ニアリ○出雲意宇郡宇留布神社伊賀名張郡宇流富志禰神社モアリ[齋多]云々

天香山神社（アメノカグヤマ）

○今在ニ保津（ホウツ）村ニ服部機殿之南也[撿錄]腹田ノ西也今カフサツノ社ト云フ飯野郡[名秘]舊記神衣祭者皇太神宮御ニ座高天原ニ之昔人面等之遠祖天八千姬殖ニ桑葉於天香山ニ以ニ所レ蠶之御糸織ニ供ニ進御衣ニ[齋多]云々

穴師神社（アナシ）

○在ニ立利（タテリ）村ニ[撿錄]立利村北莿ノ中也杉ノ社ト云飯野郡[齋多]云々

流田神社（ナガレタ）

坤方松椙繁リタル樹間ノ内ニ横二間長六間裏ノ社ヲ船ノ形ニ造リ所ノモノハ四方角ノ社ト云リ魚海神社コレ也[撿錄]飯野郡北魚見村ノ村ヨリ二町許西田中川島ト云ッ處[齋多]云々

林(ハヤシ)神社

○在ニ林村井內村西ニ[雜記]林村[齋多]云々

相鹿上(アフカノウヘノ)神社

○今在ニ上相可村森中ニ稱ニ上宮(ウヘノ)ニ○相可上社享保廿一年丙辰氏子等造替ノ時千木鰹木ヲ設ク今年マデ扉內開ナリシヲ今度外開ニ改メ作ル[齋多]云々

守山(モルヤマ・モリ)神社

○在ニ宇爾村ニ稱ニ伊達山(イタテノ)社ニ[齋多]云々

守爾櫻(ウニノサクラ)神社

○今在有ニ爾中村之北ニ稱ニ櫻社ニ○木花開耶姬命歟櫻與ニ開耶ニ言通[齋多]云々

宇爾神社

[雜記]有爾村ニアリ[撿錄]宇爾ノ內蓑村ニアリ[世記]隨ニ天神之訓ニ土師物忌乎置取ニ宇仁之波邇ニ造ニ天平瓮ニ[齋多]云々

服部麻刀方(ハトリマトカタ)神社一座 萬印本麻齋宮式

[撿錄]經雅按今ノ下機殿ナルベシ飯野郡[世記]日本建尊比々羅木乃八尋鉾根奉ㇾ獻郎倭姬皇女貴財止爲天八尋機圓方機本ノマヽ殿是也隱狀天皇太神御靈奉ㇾ崇[大神宮式]神衣祭鉾鋒各十六枚○信友云コノ圓方トハ殿ノ名ニハアラズ地名ヲ云ヘル也[勢風]萬葉抄引的形(マトカタ)浦者此浦地形似ㇾ的故以爲ㇾ名今已跡絕成ニ江湖ニ也天皇御ニ幸浦邊ニ歌云「麻須良遠佐都夜多波佐美牟加比多知伊流夜麻度加多波麻乃佐夜氣佐」萬葉一廿六ノ「マスラヲカサツヤタハサミムカヒタチ射流圓方ハ見ルニサヤケシ」又按ニ麻刀方神社モ右ノ地名ニヨレル御號ナルベシ但(齋宮式)ニハ麻刀麻トアリ之ニヨレバ麻刀萬トアル方ヨロシキニ似タレド上ニ引タル證正シク思ハルレバ(齋宮式)ナルハ誤ナルベシ

天海田水代大刀白(ウチタミシロオホトジ)神社 大一本イ本及齋宮式 自一本イ本

中海村ハ中麻績ノ中麻績ノ舊地ニヤ麻績機殿ノ東南ニアリ○百木云伊豆國那賀郡伊那上神社仲神社下神社コレハ上中下明ラカニシテシラレタリコヽモ上中アレバ決テ下ノ神社アルベシ[考證][再興]ノ説ニヨルトキハ竹上神社ヲ上機殿トシ中神社ヲ中麻績機殿トシ下神社トスルハ麻績神社ヲサス也然ルニ下館ハ神服機殿ニシテ麻績機殿ニアラズ可レ考

麻績神社

○今在ニ井口村ニ[撿錄]上機殿今飯野郡ニ屬ス舊長田郷ニアリシガ後年コヽニ移[和鈔]麻績平字多郷アリ信友按ニ多ハ美ノ誤ニテヲウミ歟[機殿儀式帳]神名秘書所レ引太神御靈稱ニ麻績屋姫神ニ[類聚大補任]神麻績機殿鎮守神殿三狐神社今按ニ三狐御衾津ト訓[世記]號ニ麻績郷ニ者郡當作レ郷北有レ神此曰ニ大宮神ニ荒妙衣麻績氏人等別ニ居此村ニ因以爲レ名也[撿錄]三狐神今アリ是也[齋多]云々

服部伊刀麻神社

○今在ニ出間村服部機殿之北ニ也[撿錄]飯野郡[背書]井口村[名秘]神服部機殿三狐神[皇字沙汰文]御食津神機殿坐[齋多]云々

相鹿牟山神社二座

○在ニ相可村ニ稱ニ山神ニ[和鈔]相可阿布加郷アリ當郡相鹿某ト云ヘル神社多シ[雜記]同[祭主家公文抄]任料牟山禰宜絹一匹[永萬]牟山社中牟山社トアリ

奈々美神社

○在ニ七見村西北ニ[雜記]七見村ニサガリ杉ト云處アリ此也[撿錄]飯野郡也村ノ東界ノ外ニ鳥居計アリ俗藤カケト云[再興]今七見村ニアリ毎年正月此村ヨリ外宮若菜ノ七草ヲ獻ル例アリ

魚海神社二座

[機儀]魚海神三前月讀命豐玉彥命豐玉姫命合三柱神靈也依レ可ミ以治ニ滄海原潮之八百重ニ配享焉○今在ニ北魚見川嶋村ニ社地悉爲レ田俗曰ニ潮積ニ共東去二丈許田間地殖木曰ニ美與登利ニ云々東月讀西海神兩殿相並其東殿亡西殿猶存歟[雜記]北魚見村ノ

之櫛田ニ爲ニ郷名ニ今在ニ櫛田村ニ稱ニ大櫛田ニ已上三社古造ニ大神宮ニ之日造替以レ有レ縁ニ神宮ニ也「雜記」其在所ハアレドモ社モナク絶ウセテ慥ニハ知ル人ナシ「撿錄」飯野郡櫛田村豐原北茶店ノ西ニアリ「和鈔」櫛田多久之「應永九年頭エ日記注文」二十貫文櫛田社○淸在神主云井口村ノ長某云古ノ櫛田社今ハ絶タリ然シテ字ニ櫛田ト號スル處アリ疑ラクハ古ノ社地ナルベシ今櫛田村ノ近邊ニ小祠七ツアリ皆櫛田社ト稱スト云ヘリ「齋多」云々

加須夜（カスヤ）神社

「國造」出雲臣祖出雲笠夜命志摩國伊射波神社下ニ延經ノ考證ノ文見合ベシ「神鳳」糟屋御園（ソノ）○鱗（ヒロテ）尾村之北加志村東柏村「撿錄」加志波村大淀の東南也「齋多」云々

竹神社

「齋宮式」作ニ竹上ニト部兼永本及一本竹田「伊呂波字類抄」同○百木按「齋宮式」竹上社トアルモ同社ニテ仲ノ神社ニ對ヘタル也又一本竹田トアルモサル事也「內儀」及「世記」ニ五百枝刺竹田國トアリ多氣郡モ此竹ヨリ起レリ○倭姬命也今在ニ齋宮寮之舊跡之西ニ此平此地多氣郡也「和鈔」多氣竹齋宮稱ニ竹郡ニ也「古事」大足彥景行天皇二十年庚寅倭命年旣老者不レ能レ仕云々多氣宮奉天齋愼美命レ侍給支「三實」貞觀十五年伊勢國多氣郡人從五位下阿閉臣次子云々其先出ニ大彥命之後ニ也大彥誤作ニ大產ニ今改レ之「姓氏」竹田臣大彥命男武渟川別命後也○今竹川村之產社在ニ稻木川東道路南ニ「撿錄」稻木村ノ道ノ南「雜記」祓戶ハ祓處ノ字カ稻木川ノクダリヨリ三町程東ノ林中ニ社アリ伊勢祭主兩宮ヘ祭禮ニ參リ備ルトキ爰ニテ櫛祓ト云事アリ櫛ハ山田岡本ヨリ進獻スル恒例也トイヘリ「齋多」竹上社

仲（ナカノ）神社

○今中川原村產社○中海村平麻續機殿之東南也「撿錄」飯野郡トス「神鳳」中麻續御園「三實」貞觀五年八月伊勢國多氣郡百姓外少初位下麻續部愚麻呂等榎本姓中麻續公自欵曰豐城入彥命之後也「齋多」竹仲社「再興」神鳳抄ニ中麻續御薗トアリ然レバ今俗上館下館ト云フ機殿ニ中麻續機殿アリシ也今云

○大杉谷ノ奥熊野堺ニアリ奥定村ヨリ九里許アリト云其間人家ナシ[内儀解]度會郡熊野界大杉山ノ麓ナル奥定村ヨリ九里許奥ニ葭原神社アサ坐ス神ハ[儀式帳]ニ云々佐々津比古命云々トアリコハ佐多津比古ナドノ誤ニテコノ定ト云フ地ニ由アル神ナルベシヲギ原縁ヨロシ[再興][文實]天安二年云々伊勢國葭原神社トアリ荻ハ俗言ニ難波ノ蘆ハ伊勢ノ濱荻ト云ヘバ相通ズベシ此社地前ノ榎村神社ト同方角ニテ大杉谷江馬山口定村ニアリ麓ノ人家ヨリ二里山中也又榎村ノ社ノ所在奥定村ハ相距ル事二里半共ニ深山幽谷ニテ人跡絶シ陰闇ノ地也今上定村下定村ト云又佐田ノ御前トモ云フ何ノ故ヲシラズ[文實]天安二年二月丙戌在伊勢國正六位上葭原神社預官社[和鈔]荻野王按云荻（音狄字亦和名乎木）適[字鏡]萩（七由反蒿蕭類伊夏）[和鈔]蘆葦云々兼名苑云葭一名葦（云々和名阿之）云々亂（音乱）炎也（音毯和名阿之豆乃）蘆之初生也マタ野王按云荻（云々平木）與亂相似而非一種矣トアリ[齋度]荻原社

官舎神社

○離宮院ニアル中臣氏社コレ也[園大]延暦十六年神祇官符以離宮稱官舎[雜例]右大臣清麻呂奉遷春日社於攝津國島下郡須久社是也津島小松亦奉移度會郡津島埼延暦十六年立離宮院於湯田郷之日奉遷彼院西方

多氣郡五十一座（並小）

須麻漏賣神社

○在服部郷内垣内村東南隅[撿錄]今飯野郡大垣内村機殿ノ北[上代]天照大神遷幸但波乃吉佐宮今歳止由氣之皇太神結幽契天降居子時云々須麻留賣神（今號須麻留社是也云々）[和鈔]天門冬須末呂久佐[齋多]云々

（留齋宮式）

佐那神社二座

○在佐那仁田村西稱大森社[古事]手力雄神者坐佐那之縣也○爲大神御戸開神[齋多]

櫛田神社

[世記]伊勢津彦神一名櫛玉命以此國地主神祀

古其地ヲ失ヒシカバ寛文再興ノトキ此地ニ建ツ川原淵社モ同ク其地シレザレバ檜尻ト云フ處ノ森ノ内ニ建ラルトゾ云々今疑ラクハ船江社ト稱シ船江町ノ産神トスル神名不レ知社アリ其社地ニ淵ノ形ノ池アリテ年々淵ノ祭ト云フ事アレバ是彼淵ノ社ニシテ其北ナル川原淵社ト祭ル檜尻ハ川原社ナルベシト云ヘリ此説可レ從也［齋度］云々

宇須乃野神社（ウスノノ　伴本ヌ）

○在二高向郷高向村一［齋度］云々

伴本無二神字一

小俣神社（オマタ）

○在二湯田郷小俣村一○百木云今小俣村（オバタ）ノ裏町ト云ニアリ森ノ中ニ二社アリ一社ヲバ八王子ト云フ即小俣社ナリ一社ヲ伊奈倍乃社ト云フハコハ稲穗社ト云フヲ訛レル歟サテ此處ヲ小俣ト云フハ宮川ノ流（マタ）ナルベシ古ハ宮川ノ一流中河原ヨリ高河原ノ方ヘ流タレバ此處ハ川派ナリ［齋度］云々

川原淵神社（カハラノフチ）

○在二箕曲郷勾村川原社南一川原大神社ノ下可レ考［再興］此邊ハ往古宮川ノ下ノ川筋ニテ今劔（ケン）ガ池ナド云アリ［齋度］云々

大神乃御船神社（オホミカミノミフネノ）

○在二宇爾郷止羽村一［世記］寒川御船留給氐其處仁御船神社定給［儀式帳］御船神社［内儀解］有爾郷登羽村ニ在或人今御船社ノ地ハ古ノ跡ニアラズ登羽村ノ隣村ニ御船ノ社ト稱シテ里人ノ氏神ト祝祭ル社アリコレゾ古ノ跡ナルヲ寛文神社再興ノ時誤テ今ノ所ニハ祭リシ也云々有爾郷ハ［和鈔］多氣郷ノ中ニ入タレドモコヽハ多氣度會二郡ノ間アル郷ニテ此社ハ度會郡ノ方ニアレバ今度會郡ノ神社内ニハ入シ也○或人此神ハ大御神御船神也ト云ヘリ［儀式帳］ニ大神ノ御蔭川神云々

雷神靇社（イカツチ）

本源別當社在二離宮坤方一［儀式帳］四月伊加津知社［齋度］

荻原神社（アシハラ　萩齋宮式　ヲギ印本）

未ㇾ詳［古事記］大山咋神亦名山末之大主神［齋度］云々

大河內神社

○在二沼田木郷山𡺸村一○崇德院大治三年六月十日奉ㇾ授二從四位下一防河堤守護也［萬葉］度會ノ大河乃部云々［再興］宮川ノ内ト云フ義也古ノ社地不分明寛文再興ノトキ志等美社打懸社堂社三前ヲ宮川ノ東三郷山ノ南ニ建俗ニ其處ノ字ヲヤバコト云シ故也古名山幡ノ轉語トモ云ガタシ今ノ祀ル地違ヘルニ似タリ或ハ久留町ノ牛頭天王社古ノ地ニテ其前ノ畑ノ古券ニ山幡ノ前ノ畑トアリト云リ然ルニヤ［齋度］云々

榛原神社

○在二田邊郷田邊村一［撿錄］田邊村ノ内アサクダ村ニアリ○河曲郡須伎神社ノ下可二見合一マタ多氣郡棒屋神社［字鏡］榛（奈志乃木　榛同　士市反蓁生木曰ㇾ榛草蓁生曰ㇾ薄也波自加彌）［儀解］榛原神社ハ田邊郷田邊村ノ内朝久田村ニアリ棒原ハイカニヨムニヤスキハラトヨミ來レドモ古書ニ多ク榛ヲハギト訓ヌレバ棒ハ榛ノ誤ニテハイハラト訓ベキ歟トオモフイヅレニテモコハ此邊ノ古キ名ニヤアルベキ坐神ト［儀式帳］天須婆留女命云々トアリ［再興］棒ハ欅字ノ誤也久奴木ノ略語奴木原也［萬葉］ニ大川の邊の若くぬぎトアレバ此邊其木ノ多クアリシヲ知ベシ今田邊郷淺管村ニアリ長谷街道也○信友按スキハラスハル神名通音也サテ奉ハサヽグル義ノ字也木ノ旁ニ奉ヲ書テ杉ノ字ニ用ヒナラハシタル歟サル例古ニアリ杉ト云フモ立ノブルニツキテスグ木ノ義ナルベケレバ奉ノ書モ意義カヨヘリサテ［類聚名義抄］ニハ棒ノ訓アヒシモトトアリ又按［大安寺流記帳］ニ河曲郡棒迫トアルハスギノ迫ニテ［式］河曲郡須伎神社トアル地名ナルベシコレ棒ヲスギトヨム一證也ナホ須伎神社ノ下可二見合一

川原神社（大一本）

○在二箕曲郷勾村一［撿錄］檜尻北ニアリ○百木云川原大社ノ事近江栗太郡小槻大社ノ下ニ云［再興］今新開村ニアリ古說ニ箕曲郷勾村ニアリトイヘド中

榎村神社

○今江村乎興定村歟○イニ江馬山興定村今屬ニ多氣郡ニ［再興］榎村ヲ江馬ト云ハムラノ約マ也社所在ノ江馬山ハ大杉谷興定村也ト云ヘリ

度會國御神社

［撿錄］沼木鄕山田原外宮宮山中也常ハ國見社ト云フ［齋度］度會國御社［名秘］度會上祖天日別命子彥國見賀岐建與束命［外儀］度會之國都御神［齋內式］度會國御社○多氣郡ニ國乃御神社ト申スモアリ

度會乃大國玉比賣神社

○在ニ繼橋鄕字宮山高神山南尾崎ニ［儀式帳］度會之大國玉姬神社［再興］此社地ノ邊ヲ大こく谷ト云フ［齋度］云々

清野井庭神社

○在ニ沼木鄕山田村大間ノ社東野ニ［再興］大間社ノ東ニアリ俗小間社ト云ハ大間ニ對セル也疑ラクハ往古清野ト云ヒシニヤ此社地及大間社ノ北ノ方ニ廢レタル堤ヲ俗ニ清森堤ト云フハ清森堤也平清盛ノ築レシト云フ事國史舊記ニ見エズ唯俗傳ノミ然ラバ清野ノ井庭ノ社ト訓ベシ井ハ堰ノ假字清野堤堰埭ヲナシタル社ト云フナリ［齋度］云々

志等美神社

○在ニ沼木鄕山旛村ニ一名蔀野井度神社［外儀］同［撿錄］今矢畑ト云フ田ノ字也○崇德院大治三年六月十日奉ㇾ授ニ從四位下防河堤守護ㇾ也［本源］東大河內中志等美西打懸志等美打懸同玉垣也○大和葛下郡志都美神社近江高島郡阿志都美神社［齋度］云々

川原神社

○在ニ沼木本鄕佐八村ニ［再興］寛文ノ再興ノ時此地ニ設ラル［攝社再興記］ニ委シ［齋度］云々

山末神社

○在ニ繼橋鄕字宮山小梨谷御田ニ○社南也［再興］今豐宮崎ニアリ往古ハ小梨谷ニアリシト云ヘド其處

坂アリテ田地アレバ也［齋度］○尾張國中島郡坂手神社

粟皇子神社

○在ニ伊氣郷伊氣浦ニ［再興］［世記］ニ其鹽淡滿溢浦名乎伊氣浦止號支其處ヲ參相氏御饗仕奉乎淡海子神止號氏社定給支トアレバ此浦ノ地主神淡海子ノ略語ニテ子トハ男子ノ稱也皇子ハ借字也社地今猶松下村伊氣浦ニアリ［齋度］云々

久久都比賣神社

○在ニ城田郷久具村ニ宮川川上也［齋度］云々

川原坐國生神社

○在ニ沼木郷山田村ニ今曰ニ高川原社ニ［儀式帳］川原神社［齋度］云々

大間國生神社

○在ニ沼木郷山田村ニ［撿錄］今ノ大間廣也東ハ大間大若子命西ハ國生弟若命也［齋度］

江神社

○在ニ二見郷江村ニ［再興］二見郷江村ノ邊蒔繪ノ松ト云フアレバ俗ニ蒔繪明神ト稱ス

神前神社

○在ニ宇治郷松下村ノ北神崎ニ［内儀解］神前ノ前ハ借字ニテ崎也神崎ハ神ノ知リ坐崎ナルヨシ也コハ宇治郷松下村ニツキテ二見浦ヨリ東ノ海道阿波良木神崎ニアリ坐神ヲ［儀式帳］ニ云々荒崎比賣命云云荒崎トハ荒海ノ崎ト云意ニテ此神ハコノ神崎ヲシリ坐ル神ナルベシ六月十五日本宮ノ禰宜贄ノ海ノ神事ニ荒蠣ノ御贄トル所也［再興］［世記］ニ荒崎姫參相玉フトアリ則地主神也此地ヲ二見ノ潜島ト云其邊荒海ナレバ荒崎姫ノ號アリ後ニ此處ニテ贄海ノ神事ヲ執行ヘバ神崎トモ云ベシ［齋度］云々

朽羅神社

○在ニ田邊郷東原村ニ［萬葉］十一卌丁ノ朽羅山雲風○因幡國八上郡久太美神社［儀式帳］久麻良比神社［齋度］○信友云クタミハフタミ也二見説ハ［倭姫世記考］ニクハシク云ヘリ

證再興」ナリ

大國玉比賣神社

○在二一見郷一今曰二堅田社一［齋度］○大國玉命澤女命配二二神一稱二大國玉比賣社一［儀式帳］載二堅田社一不レ載二大國玉姫社一一社二名也明矣郷ノ名二見依二此二神配享一歟［再興］［儀式帳］ニハ堅田社ヲ載テ此社ヲ不レ云決テ當社二名也云々［世記］ニ佐美都日女大神ニ堅鹽ヲ多ク獻リシ事アレバ此神二見國ノ地主神ナリ凡テ國靈トハ其邑長ヲサシテ云比賣ハ佐見津彦ノ妻也

御食神社

饗齋宮式

○在二箕曲郷大口村一［儀式帳］水戸御食都神［撿錄］御饗社○按御食神社［齋宮式］ニ御饗社トアルモ同社ナリ［外宮儀式帳］ニ水戸御食都神社又［倭姫命世記］ニ水門爾水饗神社定賜支

大土御祖神社

或本御祖二字無

○在二宇治郷楠部村一［內儀］大主神社

田上大水神社

○在二繼橋郷宮崎一［和鈔］田部多乃倍○田乃家神社［齋度］云々

國津御祖神社

○在二宇治郷一大上御祖同地［世記］取二苗草一女名宇治津日女［齋度］國津御社［內儀解］國津御祖社太土社ノ北ニ並坐リ神ハ［儀式帳］ニ國生神兒宇治比賣命云々宇治比賣ノ宇治ハ所ノ名ヲ御名トセリ此ハ宇治ヲウシハキ玉ヒシ神ナレバニヤ國津御祖ト申テ祭リシナルベシ

坂手國生神社

○在二田邊郷氏社北岡一［神鳳］度會郡坂手郷厨又多氣郡坂手御薗［儀式帳］坂手神社［內儀解］坂手國成神社ハ田邊郷田邊村荒木田氏社ノ北方ノ小鹽崎ト云フ池ノ邊ニアリ坂手ハ此邊ノ古名ナル由云傳フ［再興］坂手ハ佐加多ト訓ベシ［世記］ニ丘高田深坂手國云々坂手社定給支トアリ其地高低等カラズ

方之本ニ書寫久方ハ内宮ノ蓬萊大夫也松本村ハ四日市ヨリ西ノ山本也
右ノ本遠江國豐田郡二俣郷大谷村内山眞龍翁ヨリ
借寫文化十酉年八月廿五日夜於ニ京堀川邸ニ校了信
友「齋度」云々

礒神社

○今曰ニ礒村ニ八王子社蓬社歟平「和鈔」伊蘇以曾○常陸國
鹿島郡大洗礒前云々社同國那賀郡酒烈礒前云々社
伊豫國新居郡伊曾乃神皆大己貴命也「齋度」云々

多伎原神社紀一本

○三瀬村ニアリ一名三瀬社「儀式帳」瀧原神社「齋
度」云々

月夜見神社

○社記曰坐ニ沼木郷山田村ニ「撿錄」經雅案今ノ新月
讀也○承元四年五月廿二日改レ社爲レ官列ニ別宮ニ
「齋度」云々

湯田神社

○在ニ湯田郷湯田村ニ「齋度」云々

奈良波良神社

「儀式帳」楢原神社○在ニ城田郷宮子村ニ「撿錄」俗ヤ
グラダウノミヤト云「左經記」長元四年十二月十九
日齋院女房曰朝夕御膳散飯等坐ニ野宮ニ奉ニ難良刀
自之神ニ「齋度」云々

大水神社

○在ニ宇治郷畑村ニ「齋度」云々

津長大水神社或本大水二字無

「儀解」宇治今在家町ノ西ノ山ニアリ津長ハ地名也
此邊ヲ古ハ津長河原ト云シ事古キモノニ見エタリ
坐神ハ「儀式帳」ニ大水上兒柄長比女命云々トアリ
地ノ名ヲ御名トセシハコヽヲウシハキ居玉ヒシ神
ニヤ「再興」綱長井神ハ禁中神祇官ニ祭ル所俗ニ云
井戸ノ神也ツルベノ綱長クシテ汲井ヲ云當社宇治
郷畑村ニアリ其邊ヲ古ハ津長ノ原ト云ヒテ川原ナ
リシトゾ○コヽニ再興ト標セルハ「伊勢神名帳考

「儀式帳」小朝熊神社稱ニ神櫛玉命兒大歳兒櫻大刀自ニ形石ニ坐又苔蟲神形石ニ坐又大山罪命子朝熊水神形石ニ坐「世記」出雲神子出雲建子命一名伊勢津彦神一名櫛玉命並其子大歳神櫻大刀自命山神大山罪命朝熊水神等五十鈴川後江爾天奉ニ御饗一○在ニ宇治郷朝熊村北鹿海村東山上ニ「齋度」云々

蚊野神社（カノ）

○在ニ田邊郷蚊野村ニ「齋度」云々

鴨神社（カモノ）

○在ニ城田郷山上村ニ「齋度」云々

狹田國生神社（サタノクナリ）

○在ニ湯田郷佐田村ニ「儀式帳」狹田神社「三實」五國業比賣アリ國生モコレニヨリテクナリト唱フベシ國生コノ外ニモ多シミナ同○猿田彦神ハサダヒコニテ地名ナランカ猿ヲサトノミヨメル例古書ニアリ「齋度」云々

田乃家神社（タノヘ）

○在ニ城田郷矢野村ニ「和鈔」田部多乃倍「内義解」田邊（タノベ）神社今來田郷矢野村ニアリ俗ニトヤブノ神トモ申社也今コヽヲ來田郷トセルハ後ノ事ニテ古ハナベテ田邊郷也故ニ地名ヲ社ノ號トセリ今モ近キ所ニ上田邊村下田邊村ト云名アリ田邊トハ此所ニ荒木田ト云神田アレバ其神田ノ邊ト云意也「式」ニハ田乃家ト書レドモ其意ニハアラジ「齋度」云々

草名伎神社（クサナギ）

○在ニ沼木郷山田村大間社西一○駿河有渡郡有ニ同名神社ニ（儀式帳）草奈岐神社「齋度」云々

園相神社（ソナヒ）薗イ

○在ニ沼木郷積良村ニ「撿錄」經雅按沼木郷津村也此社邊ニ上園村下園村アリ「内宮儀式帳」ニ曾奈比比古命トアルニヨリテソナヒト唱○コヽニ「撿錄」ト標シテ書入タルハ「當國神名帳撿錄」ノ書入也奥書云多氣郡以後別注社名下者三重郡松本邑古谷久語（本ノマヽ）盛長求曾之事其地理相共討論以草書畢安永二年巳冬十一月十二日夜了天明四年於ニ伊勢宇治一以ニ久

事カ○筑後國三井郡伊勢天照御祖神社

荒祭宮（アラマツリ）大月次新嘗

○在二太神宮北一

瀧原宮（タキガハラ）大月次新嘗

○在二瀧原村一

伊佐奈岐宮（イザナギ）二座 伊佐奈彌命一座 並大月次新嘗

[三實]貞觀九年八月二日勅伊勢國伊佐奈伎伊佐奈彌神改レ社稱レ宮預二月次祭一幷置二内人一員一○在二月讀宮地内一[齋度宮式]丁卅二 齋宮祈年祭神百十五座大社十七座在二齋宮内一大宮賣四座御門神八座御井神二座ト庭神二座地主神二座小社九十八度在二多氣度會兩郡一トテ郡ヲ分テ載ラレタル社號ヲ此書ニ比校シテ度會郡ニハ齋度ト標シ多氣郡ニハ齋多ト標ス九十八座ミナ帳ニアル神タチ也太神宮式ニ載ラレタル兩宮ノ攝社ニハアラズサテ其小社トアル中ニ伊佐奈岐宮二座ト月讀宮二座ノ中ノ荒御玉社三座ハ帳ニハ大社ナルヲコヽニハ小社ノ列ニアリサテ件ノ大社十七座ハミナ帳ニ載玉ハズ

月讀宮（ツキヨミノ）一座 荒御魂命一座 並大月次新嘗

○在二宇治郷河原田村一[齋度]荒御玉社

度會宮（ワタラヒノ）四座 相殿坐神三座 並大月次新嘗

○在二山田原一[大神宮式]度會宮四座在二渡會郡沼木郷山田原一去二大神宮一西七里トアリ[皇字沙汰文]ニ貞觀儀式ヲ引タルニハ沼木里トアリテ其餘ハ同ジ[類史]三高野天皇天平神護三年八月癸巳改元神護景雲詔云々伊勢國守從五位下阿倍朝臣東人等我奏久六月十七日爾度會郡乃等由氣乃宮乃上爾當天五色瑞雲起覆天右依レ此天彼形乎書寫以進止奏利云々然此方太神宮上爾示顯給故尙是方太神乃慈備示給幣流物奈利云々 事具詳二瑞部一トアリ

高宮（タカノ）大月次新嘗

○在二度會宮南一

朝熊神社（アサクマノ）

[三實]貞觀五年三月十六日伊賀國正六位上應感神授ニ從五位下ー同十五年九月廿七日伊賀國從五位下應感神從五位上

伊賀津彥神

[三實]貞觀六年十月十一日伊賀國正六位上伊賀津彥神從五位下

鹿高神

[三實]貞觀十五年九月廿七日伊賀國正六位上鹿高神從五位下

神名帳考證　八

延喜式卷第九之八　東海道第二

伊勢國二百五十三座

大十八座（就レ中十四座預ニ月次新嘗等祭ー）

小二百三十五座

度會郡五十八座（大十四座　小四十四座）

大神宮三座（オホカミノ）（相殿坐神二座並大　預ニ月次新嘗等祭ー）

[類史]ニ天平勝寶九歲六月乙未始制伊勢太神宮幣帛自レ今以後差ニ中臣朝臣ー不レ得レ用ニ他姓人ー○同書云神護景雲十年八月辛卯夜有レ盗燒ニ伊勢太神宮正殿一宇財殿二宇御門三間瑞籬一重ー同十一年三月戊寅造ニ伊勢國天照太神宮ー以レ遭レ火也天安七年十一月四日辛巳勅遣ニ使者於伊勢太神宮并明神社ー奉幣云々（信友云此明神可レ考）同十三年九月十一日告文曰天照坐太神乃廣前爾云々[三實]元慶七年十二月云云天照高日女神トアルハ（伯耆國也）モシクハ大御神ノ御

乎佐介良ト宇介良ノ類也乎奈根トモ宇奈根トモ云ツベキ也又宇ト乎ト書似タレバ誤リタルニモヤアランイヅレニモ「三實」ナル宇奈根トコノ乎美禰ト同神ナラントゾオモフ○或書ニ宇名根社ハ今在ニ平尾村一

高瀬神社

「伊考」比土高瀬邑「伊水」高瀬大明神比土村ノ内高瀬ニ在大田命ヲ祭ル大田ハ白髭明神也俗ニ鑰取明神ト云フ

坂戸神社

「伊考」在ニ坂戸村一郷號ニ若宮一

名張郡二座 並小

名居神社

○一本ニ宇流富志禰神社ノ次ニアリ「伊考」在ニ梁瀬一卽平尾ノ春日也「姓氏」名張阿倍朝臣同祖大彥命之後也○敢國神社ノ下見合ベシ

宇流富志禰神社

○一本名居神社ノ前ニアリ見林本ニ宇流禰ニ作ル○舊訓ウナネフシミ百本按コハモト宇奈泥富志彌トアリシヲ奈ヲ脫シ泥ヲ流ニ誤リテ舊訓ハノコリタル歟「三實」ニ宇奈根神トアル コレ也又云後ノ「風土記」當郡ニ不盡見嶽アリ富士彌ト同ジ地名ニヤト云ヘリ考ベシ「伊考」字ハ中河原惣社春日也「三實」貞觀三年四月十日授ニ正六位上宇奈根神從五位下一同十五年九月廿七日授ニ從五位下宇奈根神從五位上一○信友云宇奈根ノ事上ノ乎美禰神社ノ下ニ云己ガ考アリ「和鈔」硘米宇流之禰○伊勢多藝郡ニ宇留布都神社又出雲意宇郡宇留布都神社

式外舊社

高藏神

「三實」貞觀三年四月十日甲寅授ニ伊賀國正六位上高藏神高松神從五位下一

高松神

見ニ于上一

應感神

バモシクハ櫓ノ意ニテ田ニハ由縁ナキニヤコレモ考ベキ事也名張郡ニ宇流富志禰神社トアルモ［和名鈔］ニ粇米ハ宇流之禰トアルニモヨシアリゲ也サレド宇流富士禰ハ誤字アルニカナホ其處ノ下ニ云フ

大村神社（オホムラ）

［伊考］在ニ比保驛一東岡大森社是乎［三實］貞觀五年三月十六日伊賀國正六位上大村神從五位下［姓氏］大村直ハ紀直ト同祖大名草命男枳根命之後也○當郡木根神社アリ

比々岐神社（ヒビキ）

［伊考］未レ詳又在ニ大内上庄邑一○近江國伊香郡天比々岐命神社

比自岐神社（ヒジキ）

［伊考］在ニ比自岐森邑一大森明神

依那古神社（エナコ）

［伊考］依那具邑在ニ出河原一大破ノ後小泉社ニツボム郷人ハ高野社ト云フ○依ハ古書エノ假字ニ用ヒタル例也江ノ大明神ト云フトイヘル江モ同言ナルベシ［姓氏］伊賀大稻輿命男彦屋主田心命之後也當郡田守神社［伊水］依那具村ニアリ味耜高彦根ヲ祭ル江ノ大明神ト稱ス［天正伊亂記］同ジ

猪田神社（ヰタ）

［和鈔］猪田郷○今在ニ山田郡郡村一［伊考］在ニ猪田村一［伊水］猪田社上部村在五座住吉三神諏訪瀨織津姫也一云三條院勸請也

乎美禰神社（ヲミネ）

［伊考］未レ詳○乎美禰村ニアリ素尊ヲ祭ルト云フ○信友按コノ乎美禰神社ノコト舊説スベテ考ナシ今オモフニ此末ニ宇留富志禰神社ノ下ニ引タル［三代實錄］ニ宇奈根トアルハコノ乎美禰ニテ美ト奈トイヅレカ誤レル也［三實］ニ宇奈禰ト二所マデアレバソレ多キニツキテ正シトスベキ也猶考ベシサテ宇ト乎トハ通ハセ云ヘル例也宇佐支ト乎佐藝

アリ又或說ニ今山田郡ニ鳥坂村アリテトビサカ村ト唱フトアリ○或說ニ鳥坂神社伊賀阿拜郡鳥坂村ニアリ昭子內親王ノ歌ニ「祈りてもかひこそなけれ獨子をいつもうさかの神垣の內」トヨミ玉ヒタレバ鳥坂ハ誤也ト云リ○帳ノ中ニ鳥ヲうノ假字ニ用タル例ナシ

阿波(アハ)神社

○大和國添上郡牟川阿波神社「三實」貞觀二年四月十日授ニ伊賀國正六位上阿波神從五位下一同十五年九月廿七日授ニ從五位下阿波神從五位上一○在ニ阿波村ニ「伊考」在ニ下阿波一杉生大明神「伊水」下阿波村ニアリ神功皇后ヲ祭ル昔ハ粟ノ郷ニ在

葦(アシ)神社

「伊考」未レ詳

伊賀郡十一座 並小

木根(キネ)神社

○攝津能勢郡岐尼神社可ニ見合ニ「伊水」阿拜郡鬼子里眞盛宗西蓮寺ニ牛頭天王ノ小社アリ木根社酒池明神建角見命也今舊蹟モ無ト云「姓氏」大名草彥命男枳彌命「天武紀」詔在ニ伊賀國一紀臣等云々○當郡大村神社ノ下可ニ見合一

田守(タモリ)神社

「伊考」在ニ上神戶(チハリ)邊一未レ詳○カチヤ村ニアリ今雷ノ社ト云「世記」隱市守宮トアリ市ト田ト似タリイヅレカ誤ニテ此社ニモヤ有ン「姓氏」伊賀大稻輿命男彥屋主田心(ヒコヤスシタコリ)命 按ルニ 田守(タモリ)田心(タコリ)語通「神代紀」田心(タコリ)姫

比地(ヒヂ)神社

「伊考」今在ニ阿拜郡長田比自山一又云琰王寺神明○信友按「伊水溫故」ニ高瀨神社ヲ比地大明神ト云ヒテ比土(ヒヂ)村ノ內高瀨ニ在ト云ヘリ比土イカニ唱ツルニカ知ラネドヒツチナランカソハトマレ地ト土トハ同義ノ字ナレバカノ比土村ヨシアリゲ也國人ニモ尋ネ考ベキ也「和名鈔」ニ櫓ハ自生稻也比豆地トアリ田守神社大村神社トアルニ並テ載タルヲ思ヘ

一間ニ二間千歳村ヘ行方ニアリ空海封スルニ由テ水涸レズト云事委ク[園太暦]ニ出昔本社二間ニ三間ノ禮殿三間ニ十三間攝社二十一宇神輿堂二間半ニ四間觀音堂鐘樓僧坊十二寺上下ニ馬場アリ神主二十八人神子十六人有シナリ當社ノ奥二町餘ニ觀音谷アリ兼家ヲ葬リシ所也已上(伊水温故)ノ文淸在其義ヲ取テ要略シテ記レ之

佐々神社（サ）（木此補）

[三實]貞觀十五年九月廿七日授ニ伊賀國從五位下佐々神從五位上ニ[姓氏]佐々貴山君阿部朝臣同祖大彦命之後也○近江國蒲生郡沙々貴神社[伊水]往昔近江佐々嶽ノ麓宮居ス事代主命也天正兵亂以後村ノ邊士ニ勸請ス在ニ音羽村ニ佐々木明神[伊考]在ニ音羽邑ニ往昔在ニ篠岡ニ爲ニ野火ニ所レ焚文祿年中當村松尾某遷ニ今地ニ[永萬元年神祇官御年貢進社事記]佐々宮トアリ

穴石神社（アナシ）

式卯本傍注云一本作ニ石作師ニ[三實]貞觀元年正月廿七日伊賀國无位穴石（師イ）神從五位下○在ニ服部村ニ[和鈔]服部[伊考]小宮神社トセルニ似タリ可ニ合見ニ[伊風]穴師山有レ神號ニ穴師大明神ニ所レ祭木花開耶姬也[伊考]在ニ柘殖ニ石神

眞木山神社（マキヤマ）

○彌豆麻岐神乎[伊水]槇山村ニアリ白石大明神ト云三座武甕槌天兒屋根經津主也昔白山ノ側ニアリ天正ノ兵亂ニ係ル文祿ノ比今ノ所ニ遷ス[伊考]在ニ槇山村ニ

小宮神社（ヲミヤ）

[伊考]在ニ服部ニ大宮是也正二位服部氏惣社也號レ宮

山田郡三座（並小）

鳥坂神社（トサカ）

○大和國高市郡鳥坂神社二座[伊名]山田郡鳥坂明神ハウサカノ里ニ坐ス○越中國婦負郡鵜坂神社ト云モアリ[伊考]鳥坂神社在ニ出後村ニ岩坂神社ト

此郡ニ之時國神奉ニ愛敬ニ之義也○今在ニ上寺村ニ「伊水」今一宮村ニアリ當國ノ一宮ニシテ本社少彥名命南宮金山比咩「永萬」南宮社米五石贄少々トアリ「伊水」曆應四年四月下旬南帝後村上院行幸當社ニテ下「闔雜願事皆無ニ納受」信宿五ケ夜曉神詠ヲ示サル「神垣は隔ばかりをしるしにてなきこそ神の栖(本ノマヽ)家なりけり」帝の返歌「我とても國は治めむ千早ふる神代を過て人の世の數」還幸ノ節猶被ニ屬ニ神緣ニ神主友勝一筐ノ文書ヲ捧山ヲ南山ト名ケ宮ヲ敢國大明神ト注ス冷泉院御宇安和二年八月三日授ニ正一位ニ延喜帝修造ノ例多ク木工寮省ノ人ヲ下シ玉フ由緣起ニ記少名彥命ノ神體仙人ノ如シ相殿南宮大明神金山比賣昔ハ南宮山ニ坐ス今ノ小富士是也圓融院貞元二年二月修造ノ時告アリテ此南宮明神ヲ敢國明神ト同所ニ遷ス神體蛇形神諏訪ハ南宮大明神ト號ス伊賀ニテハ伊賀南宮ト云美濃ニテハ垂井南宮ト云甲賀三郎兼家像少名彥ニ並タリ〔伊名〕甲賀兼家靈儀トアリ醍醐天皇御宇信濃國守諏訪源左衞門源重賴其子三人嫡望月信濃守重宗二望月美濃守貞賴三望月隱岐守兼家ト云健御名方命ノ苗裔也父子四人延喜三年八月衆山ニ遊ブ兼家若狹國高懸山ノ窟中ニ入テ鬼輪王ヲ射殺ス時ニ嫡男二人トシテ兼家ヲ欺キ龍穴ニ陷シ入ル、漸ニ窟中ヲ遁テ江州甲賀郡ニ徘徊シ朱雀院承平二年ニ往日ノ事ヲ天聽ニ達スル故ニ重宗貞賴ハ兼家ガ威力ヲ恐レテ自害ス同八年兼家ハ將門ガ事ニ軍功ニ由テ甲賀郡主トナリ甲賀近江守ト稱シ刑部卿ニ任ズ重宗貞賴ガ子孫或ハ諏訪ト號シ或望月ト號後當國ノ大守ト成テ諏訪ヲ勸請シ神體トシテ十一面觀音ヲ納ム天正九年信長伊陽征伐ノ時當社ヲ破リ神體散亂ス其後慶長ノ中比伏見ノアル武士ノ家ニ京五條ノ古道具屋ヨリ求テ持佛堂ニ置ケルニ光ヲ放ツニヨリテ怪ミ其像ニヨリ次第ヲ以テ尋ルニ當社ノ神體ニ疑ナシ此事藤堂高虎ノ聞ニ達シ則一宮ノ神職人其外ノ人數ヲ伏見ニツカハシ神體ヲ迎ヘ安ス高虎悅テ禮殿三間ニ十三間瓦葺御輿二同御輿屋二間半ニ四間鐘樓神子八人神主五人社領七百石寄附又櫻三千五百本植サセ每年極月初卯ニ祭禮アリ本社二間ニ三間山出鄉小天狗造立池中ノ宮ハ辨財天也鳥居ハ正保二年ニ大守從四位下少將高次建立也眞言社僧南宮神光院御手洗井

凶ヲ知ル往古ヨリ也社僧ハ高松山吉藏院寺號ハ寶珠寺京仁和寺ノ下兼良詣玉テ「木綿カケテナホコソ聞メ郭公手向ノ聲ノ高松ノ宮」

補春村云出羽國平鹿郡波宇志別神社ニモ此タヾオシ同ヤウナル祭事アリ

宇都可（ウツカ）神社

「三實」貞觀十五年九月廿七日伊賀國正六位上宇豆賀之神從五位下「伊考」在二内保村一通山明神

波太伎（ハタキ）神社

近江國伊香郡伊波太岐神社山城國紀伊郡眞幡寸神社「伊風」阿拜郡國府山有レ神號二波太伎社一所レ祭仁徳天皇也「伊水」府中村ニ在三ノ宮ト云神體ハ天皇白馬ニ乘ル

須智荒木（スチノアラキ）神社

「和鈔」當國名張郡周知鄉「伊名」阿拜郡荒木里ノ社ハ白髮大明神ト申葛木襲津彦武内宿禰ノ由直指抄ニ侍ル伊賀守仲敎此社ヲ新シク造リ替ラレタル由宮記ニ侍ル「伊水」周知社三座白髮大明神ト云ハ武内宿禰葛城襲津彦ナリ荒木村ニアリ古ヨリ社北面也昔ハ本社ニ白髮若宮ニ武内ト襲津彦也從五位下伊賀守藤原仲敎修造ト傳フ禮殿鐘樓社僧十九坊瓦葺社領五百石天正ノ亂ニ燒今別當久光山延壽院寺號二寶生寺一眞言宗也此社ノ事又著聞集第一ニ出

敢國（アヘノクニツ）神社 大

○郡名ナリ「三實」敢國津神トアルニヨリテ此國神ヲクニツミカミト訓ベシ郡名阿拜「三實」ニ安部神而トアルスナハチ敢ノ字ニアタル「三實」貞觀六年十月十五日伊賀國正六位上安部神從五位下同九年十月五日授二伊賀國從五位下敢國津神從五位上一同十五年九月廿七日授二伊賀國從五位上敢國津大社神正五位下一「舊事紀」大彦命阿倍臣阿閉臣伊賀臣等祖也「世記」敢都美惠（ツミエ）宮「儀式帳」阿閉柘殖宮「和鈔」阿拜郡柘殖今卯本枯殖トアルハ誤也「書紀」廿八到二積殖山口一「伊風」柘殖又云此山有レ神奉レ申二敢國一所謂少彦名之命也敢國之御名高皇產靈之尊使守二

式外舊社

田邊東神　田邊西神

○共ニ住吉郡ニアリ[三實]貞觀四年十一月十一日攝津國正六位上田邊東神田邊西神並授二從五位下一○田邊東神社在二平野中野村一今稱二天王一田邊西神社在二南田邊村一稱曰二山坂明神一住吉郡ニ北田邊南田邊二村アリテ此社ヲ氏神ト稱ス古ノ東西今南北ニ轉ズルカ或ハ國史文字ノ誤歟

高林神

[三實]貞觀十八年七月十五日授二攝津國正六位上高林神從五位下一○菟原郡原田村高松社アリ高林ノ號轉ジタル也祭神ハシレズ社地ノ落葉ヲ採ルモノモ神罰アリトテ土民甚畏レ之

補遺

三宅門神　荒々神

[紀略]延喜二年五月十九日授二攝津國三宅門神荒荒神並從五位下一

神名帳考證　七

延喜式卷第九之七　東海道第一

東海道神七百卅一座

大五十一座就中十九座預二月次新嘗等祭一

小六百八十座

伊賀國廿五座

大一座

小廿四座

阿拜郡九座大一座小八座

陽夫多神社

[伊水]藪田社二座素戔烏命大己貴命正二位馬場村ニ在リ高松祇園ト云宣化元年國造多賀連祭レ之每年六月十四日祇園會アリ神輿二ツワタル昔社領二百石アリ禮殿ニシテ每年タヾオシアリ河合七鄕大勢集リテ是ヲオシ其勝負ニヨリテ其年ノ村々ノ吉

湯泉神社 大月次新嘗

[親長記]湯山明神ハ三輪明神也[千載集]有馬の湯に忍て御幸有ける湯の明神をば三輪明神となん申と聞て「めつらしく御幸を三輪の神ならはゑるし有馬の出湯なるへし」在二湯山町一祭二湯山主一仍稱二三輪神一界内有二温泉寺一專掌二神事一堂安二薬師一稱二本地一○大江隆兼遊二温泉道場一詩見二(無題詩)一○温泉寺享祿二年化緣簿曰僧正行基建有二巨鐘一勒云天文六年三月十八日鑄[色葉字類抄]温泉三和社舊記云大神温泉鹿舌三像大明神者是一體分身也故名號二三和社一崇神天皇御宇之時七年始被レ定二置神戸一載二天慶八年交替帳一夫大明神爲レ鎮二護國家一爲レ利二益衆生一云々古老云此湯明神者云々温泉底有二石佛像一云々承德年中雷雨洪水以後不レ奉レ見二尊容一云々

能勢郡三座(並小イ)

岐尼神社

[姓氏]大名草彦命男枳禰命○今西村稱二杵宮一○神官二家曰祝部曰森脇有二永德嘉慶永祿天正年間古記及地子帳一[歌枕名寄]「おのつから神の心にならはしの枳根か宮居の月そさやけき」○今西ノ古城アリ天文中森本左衛門尉築レ之鹽川伯耆守ト合戰ノ地也一名杵ノ古城ト云フ社ニ由アリテ云フ[和鈔]枳根木子

久佐々神社

[書紀]雄略紀 土師連祖吾笥進二攝津國來狹々村私民部一名曰二贄土師部一[姓氏]贄土師連天穂日命十六世孫意富曾婆連之後也[續紀]和銅六年九月攝津職言河邊郡玖左佐村山川遠隔道路嶮難由レ是大寶元年始建二官社一雜務公文ハ一准二郡例一今能勢郡是也○今能勢郡宿野村ニアリ俗草々宮ト云フ今宿野土器名物也信友云贄土師氏ノ證又正一位宿野大明神ト號

野間神社

[志]在二地黄村一上棟文云天正十九年九月重修今稱二布留社一○清在云在二野間村一土俗有無宮ト稱○今野間村ノ中ニ伊奈地村澤村出野村西山村大原村立石村アリ

奈牟智神子積羽八重事代主命之後也○今在ニ長田村ニ○社記云村上天皇應和三年七月十日祈ニ雨于長田社ニ鳥居額小野道風筆○神官大中臣氏家藏ニ保元建久承久延慶年間國宣建武天正延中施入文等ニ「和鈔」長田奈加多

汶賣神社

○延佳本及攝津志敏馬「攝津國風土記」美奴賣松原今稱ニ美奴賣ニ者神名其神本居ニ能勢郡美奴賣山ニ昔息長足比賣天皇幸ニ于筑紫國ニ時集ニ諸神祇於川邊郡内神前松原ニ以求ニ祈福ニ于レ時此神亦同來集曰ニ吾亦護佑ニ仍諭レ之曰吾所レ住之山有ニ須義乃木ニ各宜材採爲レ吾造レ船則乘ニ此船ニ云々天皇乃隨ニ神敎ニ遣ニ命作ニ船此神船遂征ニ新羅ニ還來之時祠ニ祭此神於斯浦ニ並留レ船以獻レ神亦號ニ此地ニ曰ニ美奴賣ニ「萬葉」「八千矛の神の御世より百舟の泊湊と八島國百船純乃定めてし三犬女の浦は云々」又云過ニ敏馬浦ニ時作歌千船湊大和太浦云々○按汶賣者今輪田岬邊也「續千載」「ますかゝみぬめの浦はなのみしておなし影なる秋の夜の月」○今在ニ菟原郡岩屋村ニ稱ニ三社ニ

有馬郡三座大一座小二座

有馬神社

「志」在ニ中村ニ屬ニ邑西尾ニ今稱ニ山王ニ近隣七村所レ祭村民平日忌レ穢婦人産期出就ニ水涯ニ分娩未ニ嘗有ニ産死者ニ「攝陽群談」湯山ハ式ノ有間社也所レ祭三座熊野三輪鹿舌神也鹿舌神ハ有馬郡香下村羽束山香下寺ノ本尊ニテ救世觀音ノ垂跡少彥名命也○今鹿舌明神ノ南ノ山稱ニ有間富士ニ○今在ニ鹿舌山ニ補「今物語」右廿八少輔入道寂蓮ときこえしかたよりありま社にまうで社の前なるものをみて「此山のえゝいかめしくみゆるかないかなる神のひろまへそこは」とよめりけりいと興ありてこそ聞えけれびんなきさまにてぞ聞ゆる云々

公智神社鍬靫

「古事記」久々智神「攝津國風土記」有馬郡功地山難波長樂豐前宮ニ御宇探ニ材木於久牟知山ニ其材木美麗於レ是勅曰此山有レ功之山也因號ニ功知山ニ

[續紀]慶雲三年十月壬午攝津國造從七位上凡河内忌寸石麻呂進ニ位一階ニ[姓氏]攝津國神別凡河内忌寸ハ額田部湯坐連同祖額田部湯坐ハ天津彦根命子明立天御影命之後也○今稱ニ御影森ト森中有レ社稱ニ天神ト○在ニ五毛村ニ今稱ニ天神ト有ニ文明社記ニ

大國主西神社（オホクニヌシノ）靫鍬

○今在ニ西ノ宮村ニ○廣田社ノ西ニタヽセレバ西宮ト稱ナルベシ今西ノ宮ト云神司高橋村成說[古事記]

保久良神社（ホクラノ）靫鍬

[續紀]廿九 癸卯攝津國菟原郡人正八位下倉人水守等十八人賜ニ姓大和連ニ[姓氏]攝津國神別大和連神知津彦命十一世孫御物足尼之後也[古語拾遺]輕島豐明朝百濟王貢ニ博士王仁ニ是河内文首始祖也立ニ大藏ノ東西ニ文氏勘ニ錄其簿ニ是以漢氏賜レ姓爲ニ内藏太藏ニ○在ニ北畑村ニ今稱ニ天神ニ上梁文云建長二年重修

八部郡（ヤベ）三座 大二座 小一座

生田神社（イクタノ）名神大月次 相嘗新嘗

[三實]貞觀元年正月廿七日正五位上勳八等生田神從四位下○同十年十二月十六日攝津國從四位下勳八等生田神從三位○同十年閏十二月十日己亥遣ニ使於攝津國廣田ト生田トノ神社ニ奉レ幣告文曰 廣田社ノ下ニ記ス [書紀]神功紀 稚日女尊誨レ之曰吾欲レ居ニ活田長峽國ニ因以ニ海上五十狹茅ニ令レ祭[舊事紀]織女稚日姬尊乃驚隨レ機云々其稚日姬尊者天照大神之妹也○今在ニ生田村ニ○裔神八前咸在ニ域外ニ一宮ハ北野村二宮菟原郡生田村三宮神戸村四宮花熊村五宮平野村七宮兵庫北濱町六宮八宮俱坂本村○生田宮村宮前有レ井曰ニ梶原泉ニ○信友云古昔ノ生田ハ生田川ノ東ニアリ今ノ生田ハ川ヨリ西ニテ古ノ生田ノ西南ニ當レリ生田川ノ源ハ布引山ナリ

長田神社（ナガタノ）名神大月次 相嘗新嘗

[三實]貞觀元年正月廿七日從五位上勳八等長田神從四位下[書紀]神功紀 事代主命誨レ之曰祠ニ吾于御心長田國ニ則以ニ葉山媛之弟長媛ニ令レ祭[姓氏]長公大

日ノ下西國探題持範ノ注進狀ニ蒙古高麗ノ賊船ヲ退治セル注進狀ニ（七月十五日ノ日附ナリ）合戰難儀の時節いづくよりとはしらず大船四艘錦の旗三流差たるが大將とおぼしきは女人也其力量べからず蒙古が舟に乘移て軍兵三百餘人手取にして海中へ投入大將蒙古が弟其外以下咎のもの廿八人少々は卽時に斬弃相殘七人は上意によてのぼすべし（下略）注進狀如ㇾ件七月十五日　探題持範判　雖ニ末代一神明威力吾國擁護顯然也此注進狀正說也ト記シ玉ヘリ天照大神ノ荒御魂ノ奇シキ尊キ事イハマクモカシコキ事カナ

名次神社（鍬靫）

○百木按（祈雨神祭式）ニ名次社一座トアリ卽此神社也カクテ（祈雨神祭八十五座並大トアレバ此神社大ニテアレバ次ノ伊和志豆神社ノ細書ト反サマニ混ジタルモノナルベシ○信友云此說ヨロシクオボユカシコケレドモシバラクシカ改ムベキニヤ〔三實〕貞觀元年正月廿七日從五位下名次神正五位下〔萬葉〕「わきもこに猪名野はみせつ名次山角の松原いつしか可將示」○信友云有馬郡神尾村ニ名次山マタ當郡廣田社ノ西ニ名次岡アリト云フ

伊和志豆神社（大月次新嘗）

○百木按（祈雨神祭式）ニ云々上ノ名次神社ノ下ニ云フト合見ヨ〔三實〕貞觀元年正月廿七日伊和志豆神從五位上○在ニ伊刁志村一○信友云刁ハ寅ノ略字カ刀字歟又云鰯津ト云フ地名ニハアラジカサル地名アルニカ尋考フベシ武庫郡海邊モアル也（和鈔）東生郡ニ味原トアルヲ（續紀）ニ鯵生トアルヲモオモフベシ（孝德紀）ハ（和鈔）ト同ジ味原アヂフト唱フベキニヤサテ津國ト云フヲハジメ鄕名モ某津又津某ト云フガオホクアルヲモオモヒアハスベキナリ

岡太神社

○在ニ小村一今稱ニ音歌始祠一祝祠錄稱ニ田野於可祠一
○考ニ今岡田社首書在ニ小松村一稱ニ音歌始祠一シ

菟原郡三座（並小）

河内國魂神社（鍬靫イ）

アリ同神ナルベシ

武庫郡四座 大二座 小二座

廣田神社 名神大月次相嘗新嘗

［文實］嘉祥三年冬十月乙巳朔授ニ攝津國廣田神從五位下ニ［三實］貞觀元年正月廿七日攝津國從三位勳八等廣田神正三位○同十年十二月十六日進ニ攝津國正三位勳八等廣田階ニ特加ニ從一位ニ○同十年閏十二月十日己亥遣ニ使於攝津國廣田神社ニ奉レ幣告文曰云々攝津國解久（頁）地震乃後爾小震不レ止因卜求之牟禮波大神乃布志己利賜天所ニ致賜ニ止奈利申利又先日禱申賜布事毛有介利因今從一位乃御冠爾上奉利云々［書紀］五十鈴宮所レ居神廣田天疎向津媛命○按武庫與レ向言通此郡名起ニ廣田神名ニ同紀神功天照大神誨レ之曰我之荒魂不レ可レ近ニ皇居ニ當レ居ニ御心廣田國ニ而以ニ山背根子女葉山媛ニ令レ祭［廣田社歌合］安心性阿「世を結ふ夷の宮のちきりにはもらさしものを數ならぬ身も「名にしあへは賴をかくる西の宮そなたに我をみちひくやとて」［伯資宗王記］貞應三年十月廿八日辛酉家司取ニ廣田社年貢解文ニ祝部神奴有益解

文也［和鈔］多比呂○今在ニ廣田村ニ○信友云西宮鄕廣田村稱ニ西宮ニ是也夷則末社也［著聞集］ニ後三條院ノ御時國ノ貢物廣田ノ御前ノ濱ニテ多ク入海ノキコエアリケレバ宣旨ヲ彼社ヘ下サレテ貢物ヲ全ウセラレヌ由逆鱗アリケルニ社ノ邊ノ木一夜ニ枯ニケリ主上聞召シオドロカセ玉ヒテ宥メ申サレケレバ木モトノゴトクニ榮エニケリ其後舟モ入海セザリケリ［同書］五嘉應二年住吉社ノ歌合ノ事ヲ廣田大明神海上ヨリ羨セ玉フ由兩三人同樣ニ夢ニ見奉リケリ道因其由ヲ聞テ又人々ノ歌ヲ乞テ合セケリ［扶桑見聞私記］卅一寄進　廣田社神領事在ニ淡路國ニ廣田領一所右爲レ增ニ神威ニ殊存ニ祈禱ニ寄進如レ件　元曆元年四月廿八日正四位下源朝臣［同書］卅三元曆元年十月廿七日ニ梶原平三景時彼庄ニ亂入シ乃貢ヲ妨ルコトヲ禁ズル文アリ［後崇光院御記］應永廿六年六月廿五日ノ下抑大唐蜂起事有ニ沙汰ニ云々又西宮荒夷宮震動又軍兵數十騎廣田社ヨリ出テ東方ヘ行其中ニ女騎武者一人如ニ大將ニ云云神人奉レ見レ之其後狂氣云々自ニ社家ニ注進伯二位馳下尋ニ實否ニ云々異國襲來勿論歟マタ同八月十一

河邊郡七座 並小

伊佐具神社 鍬靫

「書紀」景行紀卷七 三左 五十狹城入彦皇子○信友云（舊事紀）卷七ニ不知來入彦トモ五十狹入トモ五十功彦トモカケル來モキ也クニハアラズ○在二上坂部村一今稱二稻荷一（夫木）「蘆の屋のいさこの山の水上をのほりてみれは布引の瀧 補「舒明紀」四年攝津國住道伊佐具二社

高賣布神社

○在二高平谷坂井村一今稱二惣社一上梁文云永正十年越前守小野時家修補○當郡ノ下ニ賣布神社アリ

鴨神社

「姓氏」攝津國神別鴨部祝大國主神之後也「和鈔」河邊郡大神 於保無知○信友云今本ニモカクアレドモ知ハ和ノ誤也和泉國大鳥郡ニ上神加無都美和又大和國城上郡大神於保無知ト今本ニアルヲ一本ニ知ヲ和ト作レリ證例ナリ ○今加茂村ノ氏神トス此村ノ人山城ノ加茂ニ詣ルニ社家火ヲ忌ザル也

伊居太神社

「攝津志」池田村舊名吳織里以三固有二吳織祠一也中古遷二建本社于此一因改二里名一曰二伊居多一又改二社號一曰二穴織一以二舊蹤小坂田一爲二神幸之地一觀二（南鄕春日社記）西成郡加島神祠舊書軸一而可レ知也○今在二豐島郡池田村一舊在二河邊郡小坂村一

多太神社

「攝陽群談」多太神社今川邊郡多田庄平田村ニ在テ平野神社ト稱ス社家記ニ山城平野社ニ同ジ祭神四座也ト云フ

小戸神社

「和鈔」雄家 乎倍 ○今在二小部村一○俗稱二小倍天神一

賣布神社

「舊事紀」建新川神弟大咩布命 者若湯坐連等祖「姓氏」攝津國神別若湯坐宿禰石上朝臣同祖神饒速日命六世孫伊香色雄命之後也「三實」貞觀五年八月八日攝津國河邊郡人散位正六位上若湯坐連宮足云々○在二米谷村一今稱二貴布禰一○當郡上ニ高賣布神社

之始祖也

豐嶋郡五座大二座小三座

爲那都比古神社二座

「三實」貞觀五年十月廿七日攝津國河邊郡人九世散位正六位上川原公淸永川原公淸宗正七位上川原公淸貞從八位下川原公淸方十一世大膳大進正六位上爲奈眞人菅雄等五人之戶並貫ニ課役ニ淸永等宣化天皇々子火焰王之後云々「姓氏」攝津國皇別爲奈眞人宣化天皇々子火焰王之後也「和鈔」河邊郡爲奈「萬葉」三猪名野○今在ニ白島村ニ稱ニ天王ニ有レ等號曰ニ大宮寺ニ後ニ巨岩自然ニ疊其高十三丈許名曰ニ醫王石ニ

細川神社

「大神宮儀式帳」大水神御子細川水神○在ニ吉田村ニ每歲正月望日有レ祭

垂水神社名神大月次新嘗

「續後紀」承和八年九月垂水神從五位下「三實」貞觀元年正月廿七日從五位上垂水神從四位下○元慶元年六月十四日奉ニ幣於垂水神ニ祈ニ甘雨ニ「書紀」神功紀以ニ依羅吾彥男垂見ニ爲ニ祭神主ニ「姓氏」垂水公豐城入彥命四世孫加表眞稚命之後也六世孫阿利眞公謚孝元天皇御世天下旱魃河井涸絕于レ時阿利眞公造ニ作高樋ニ以垂ニ水ヲ岡山ニ基レ之令レ通ニ水宮內ニ供ニ奉御膳ニ天皇美ニ其功ニ便賜ニ垂水公姓ニ掌ニ垂水神社ニ也「夫木」後賴「をりのほる人のためとやこゝにしもあとを垂水の朱の玉垣」○今上垂水村下垂水村アリ

阿比太神社大月次新嘗

「續後紀」嘉祥三年正月辛丑奉レ授ニ攝津國豐島郡阿比太神從五位下ニ「書紀」孝元皇子大彥命阿倍臣阿閉臣之始祖也云々○按ニ阿比ト阿倍ト相通「姓氏」載ニ當國阿倍枝別七姓ニ越後國阿比太神社アリ阿比太者饗田平(書紀)大彥命越國造祖也(繼體紀)十年百濟遣ニ灼莫古將軍日本斯那奴阿比多ニ副ニ高麗使安定等ニ來朝結レ好(欽明紀)十年注百濟本紀云日本使人阿比多率ニ三舟ニ來至ニ都下ニ○又云四月一日庚辰日本阿比多還也

「月夜には手くらの杜もくらからすましてしらゝの濱いかならむ」

牟禮神社（ムレノ）

「古事記」垂仁天皇皇子大中津日子命者牟禮之別等祖也○伊勢多氣郡有二同社號一在二牟禮村一○在二中村一○島下郡戸伏村ニ在リ

三島鴨神社（ミシマカモノ）

［三實］元慶八年十二月廿一日授二正六位上三島神從五位下一「書紀」皇極紀三年中臣鎌子連居二三島一「伊與國風土記」乎知郡御島坐神　御名大山積神　一名和多志大神也是神者所レ顯二難波高津宮御宇天皇御世一此神自二百濟國一度來坐而津國三島（御嶋注）坐云々謂二三島（御嶋注）一者津國御島名也○今屬二島上郡一在二三島江村一○伊與ノ三島伊豆ノ三島此ト併テ三箇ノ三島ト稱ス

伊射奈岐神社二座（イザナギノ）並大月次新嘗

［三實］貞觀元年正月廿七日從五位下伊射奈岐神從五位上○一座在二山田庄小川邑一今稱二五社一與山田五邑共預二祭祀一一座在二佐井村一今稱二春日一○信友按に二座とある今一社は伊射奈美神社なる若狹遠敷郡若狹比古神社二座と有て一座は若狹比咩神社なると同例なるべしさて（三實）貞觀元年いざなぎ神のみに加階の事ありかく二座とも帳にのせらるべきみあしらひならむにはいざなみ神にも加階あるべきにその事なかりしは當時はいざなぎの神一座のみなりしを延喜よりさきにいざなみ神をもまつられたるにやあらむ

溝咋神社（ミゾクヒノ）鍬靫

「書紀」神代巻　事代主神化爲二八尋熊鰐一通二三島溝杭姬一○今在二溝杭村一○在二溝杭庄馬場村一今屬二島下郡一「國造本紀」三島溝杭命九世孫小立足尼

太田神社（オホタノ）鍬靫

○在二大田村一俗傳相殿三座稱曰二內宮外宮天王宮一○大田村在二島下郡一土俗太神宮ト稱シ伊勢八幡宮住吉ノ三座ヲ祭ト云フ（應神紀）根鳥皇子是大田君

從四位下〇同年五月廿六日辛巳攝津國從五位下新屋天照神伴酒著神並正五位下（此位階考ベシ）〇今曰ニ酒滿明神ト歟自ニ三田ニ三里許巽也〇此三座一座在ニ西河原村ニ一座在ニ福井村ト一座在ニ上河原村ト於ニ福井村ト今稱ニ天王ト於ニ上河原村ト今稱ニ天照大神ト

天石門別神社

〇土佐國吾川郡天石門別安國玉主天神社〔大系圖〕本系帳曰天兒屋命外祖也〇在ニ茨木村ニ

須久久神社二座 鞁鍬

〔大神宮雜例集〕天平十二年庚辰四月五日春日御社奉レ遷ニ壽久山御社ト是右大臣大中臣淸麻呂卿致仕籠ニ居攝津國島下郡壽久山鄕ト之間住家近所奉レ崇也〔和鈔〕宿久（信友云今本宿人トアルハ誤ナリ）〇在ニ宿久莊鳥羽邑ト〇今宿久庄村也 東村畑村水村 其中ニアリ〇信友云（朝野群載）天永三年ノ文書宿久御園

阿爲神社 鞁鍬

〔姓氏〕攝津國神別中臣藍連ハ雷大臣命十二世孫大江臣之後也〔書紀〕（雄略紀）三島郡藍原〇在ニ島下郡安威村ト稱ニ日苗森明神ト〔和鈔〕安威（阿井）

井於神社 鞁鍬

〔續紀〕天平神護二年四月丁未攝津國人正七位下日尾雪麻呂賜ニ姓井於連ト〇宇野邊村民今稱ニ三所明神ト〇島下郡宇野邊村ニ此社アリ村號モト社號ニ出テ訛

走落神社 鞁鍬

〔舊事紀〕速飄命〔志〕今在ニ能勢郡切畑村ト稱ニ走湯天王ト

佐和良義神社

〔姓氏〕早良臣平群朝臣同祖〔古事記〕平群都久宿禰者佐和良臣祖也〇今在ニ澤良宜村ト〇信友云宜モ義モ古ハゲノカナ也

幣久良神社 鞁鍬

〇島下郡耳原村ニアリ幣ノ森ニ在ス（八雲御抄）ニ

新雨十一社ニ入

嶋上郡三座 並小

阿久刀神社

[姓氏]調連水海連同祖百濟國努理使主之後也譽田天皇御世歸化孫阿久太男彌和次賀夜次麻利彌和弘計天皇 諡顯宗 御世蠶織獻ニ絁絹之樣ニ仍賜ニ調首姓ニ○阿久刀神社芥川村ニアリ（拾遺）「人をとく芥川てふ津の國のなにはたかはぬ物にそありける」土俗此社ヲ住吉神ト云フ又建御名方富命八坂入姬ヲ祀ルトシテ諏訪明神トモ稱フ○信友云（古事記）仁德ノ段ニ太后云々ノコト入ニ坐筒木韓人名奴理能美之家ニ云々 コノ筒木ハ山城ナリ 奴理能美之所レ養蟲云々欲ニ行見ニ自ニ大宮ニ上幸行入ニ坐奴理能美之家ニ云々 コノクハシキ解ハ（記傳）卅五ノ卷ニアリ コレニ據テ思フニ奴理能美ガ裔ノ津ノ國ニヨシアル事アルベシ奴理能美皇國ニマキテ來テモ宜キサマニテゾアルベケレド傳ニイハレタルヲモ思フベシ當時仁德天皇ハ津ノ國高津宮ニマセリ

野身神社

[姓氏]攝津國神別土師連天稻日命十二世孫飯入根命之後也同十四世孫野見宿禰[類史]百八十二延曆十一年四月在ニ攝津國島上郡菅原寺ニ[和鈔]濃味○在ニ上田邊村ニ今稱ニ天神ニ祝氏家藏文治二年應永元年祭禮式莊所村有ニ地名上菅原ニ○上宮天神歟在ニ高槻村ニ

神服神社

○今去ニ芥川ニ二里許有ニ服部郷ニ今在ニ池田ニ吳羽綾羽宮歟ニ[書紀]應神三十七年遣ニ阿智使主都加使主於吳ニ令レ求ニ織工女兄媛弟媛吳織穴織四婦女ニ[姓氏]攝津國神別服部連云々 允恭天皇世任ニ織部司ニ總領ニ諸國織部ニ因號ニ服部連ニ○在ニ服部村ニ[和鈔]服部 波止利

嶋下郡十七座 大五座 小十二座

新屋坐天照御魂神社三座 並名神大月次新嘗 就中天照御魂神一座預ニ相嘗祭ニ

[和鈔]新屋 爾比夜 [續後紀]嘉祥二年十二月甲午奉レ授ニ伴ノ馬立天照神伴ノ酒著神從五位下ニ[三實]貞觀元年正月廿七日從五位下勳八等新屋天照御魂神

被レ修ニ海若革命ノ年ニ可レ被レ行レ祭也云々三日潔齋
之今日ニ生玉ニ「生玉社家記」曾云明應年中本願寺ノ
僧來ニ此所ニ而創ニ寺院ニ以ニ神地ニ接ニ境内ニ矣依レ斯
神惡ニ不潔ニ罰ニ彼僧ニ也于時懷ニ神殿造替之宿禱ニ而
介ミ神主藤原吉勝ニ告ケ願辭ト也數日後起ニ寢床ニ遂奉
レ遷ニ替神殿ニ其後信長兵燹之日殿閣悉爲ニ灰燼ニ纔
以ニ神璽ニ遷ニ別處ニ慶長年中秀吉築ニ城郭ニ之序遷ニ今
神地ニ云々「志」祈雨祭式稱ニ難波大社二坐ニ云々○
又云天正中豐臣太閤加ニ其祭田ニ

比賣許曾神社 名神大月次相嘗新嘗

「三實」貞觀元年正月廿七日下照比賣神從四位下
「臨時祭式」亦號ニ下照比賣ニ「攝津風土記」比賣島
松原者昔輕島豐阿伎羅宮ニ御宇天皇之世新羅國
有ニ女神ニ遁ニ去其夫ニ來暫住ニ筑紫國伊伎○伎仙覺抄作波比乃ニ
比賣島ニ乃曰ト此島者猶不ニ是遠ニ若居ニ此島ニ男神
尋來ト乃更ニ遷リ來停ニ此島ニ故取ニ本所レ住之地名ニ
以爲ニ島號ニ○百木云按ルニ（風土記）筑紫國ノ岐伊
比賣島トアルハ（和鈔）肥前國基肄木伊郡姬社アリ○
信友按（肥前風土記）基肄郡姬社ノ々ノ下ニ昔此門
西有ニ荒神ニ云々阿是古此神ナマツル人名ナリ卽捧レ幡祈禱云々
其幡飛往墮ニ於御原郡姬社之社ニ云々卽立レ社祭レ之
基肄郡ノカチニ也因曰ニ姬社ニ今以爲レ鄉文長ケレバ省キテ記ス○松下氏
云比賣許曾者今之古宇豆明神也古宇豆者許曾之轉
語也（太平記）作ニ古宇豆ニ或作ニ郡戶ニ近世誤作ニ高
津ニ爲ニ仁德之祠ニ者甚誤也

阿遲速雄神社

○阿遲須岐高彥根命カ○在ニ放出村劍陂ニ今稱ニ八
劔ニ「和鈔」味原アヂフ

西成郡一座 大

坐摩神社 大月次新嘗

「三實」貞觀元年正月廿七日坐摩神從四位下「百錬
抄」元仁元年四月十三日有ニ軒廊御卜ニ住吉末社坐
摩社門幷荒垣等去年十二月廿七日燒亡事○在ニ石
町ニ時其比曰ニ樓岸ニ舊有ニ數十小祠ニ皆屬ニ域内ニ天
正中遷置ニ圓江ノ側ニ因ニ公朝卿歌ニ曰ニ渡邊町ニ（夫木
集）公朝「渡邊や橋の上てを始にて多かる岸の妻社
かな」○詳在ニ宮中坐摩神條下ニ○信友云（拾芥抄）

浪田謂ニ水田ニ云々○在ニ杉本村野々太池側ニ○信友云若狹ニテ布ノ事ヲ乃々トイヘリ

大海神社二座 元ハ津守安人神

○一本ニ元津守ノ氏人神トアリ○田裳見宿禰命乎今在ニ木社北ノ礒御前「書紀」神功紀 津守連祖田裳見宿禰「姓氏」凡海連ハ綿積命後也○社家説大綿津見神玉依姫ニシテ而津守ノ嫡流大領氏此社司也○在ニ住吉神社西北ニ「扶桑略記」天暦元年七月祭ニ住吉海神ニ「志」住吉四座依羅四座海神二座乖水二座住道三座皆古來預ニ八十島祭ニ不レ可下以ニ其在ニ住吉境域ニ爲中住吉裔神上○信友云八十島祭ノ事此末生魂神社ノ下ニアリ

多米神社

「姓氏」多米連神魂命兒天石都倭居命之後也

船玉神社

○在ニ本社前ニ○在ニ北花田宮邑ニ

生根神社 大月次新嘗

○活津彦根命東生郡生國魂同神○在所不レ詳或曰在ニ住吉村ニ今稱ニ奥天神ニ

東生郡四座 大三座小一座

難波坐生國咲國魂神社二座 並名神大月次相嘗新嘗

○信友云生國魂咲國魂ノ二座也ソヲ常ニ生國魂社トノミ稱セル也(孝德紀)(三實)ニモシカリ今ハ生玉ト稱ス(古事記)上ニ活玉前玉比賣ト申スモアリ「書紀」孝德紀 天皇尊ニ佛法ニ輕ニ神道ニ云々註斮ニ生國魂社樹ニ「三實」貞觀元年正月廿七日難波生國魂神從四位下○信友云(四時祭式)(臨時祭式)等ニ難波大社トアリ○生島足島神乎生ハ秋也云々秋始在レ春云々爲ニ陽靈ニ也 信友云此説例ノ取ニタラザレド爲ニ後考ニイサヽカ書ス「祝詞」生國足國登御名者白氏辭竟奉云々「袖中抄」代始にぞ八十島の使とて内の御めのとのたち八十島めぐりといふ事は侍れそれも島々にて祓すべきを住吉の濱のこなたにて西の海にむかひてもろ〳〵の島々の神を祭といへり「臨時祭式」八十島祭御巫生島ノ巫幷史一人云々赴ニ難波湖ニ祭レ之「西宮記」應和四年八月廿一日遣ニ天文博士保憲藏人輔成等於難波湖ニ

補「舒明紀」四年攝津國住道伊佐具二社○以上所補「三實」貞觀元年正月廿七日從五位下中臣須牟地神從五位上「姓氏」攝津國神別自二津島朝臣一至二生田首一八姓皆中臣枝別也「和鈔」住道須無知「志」今在二河內國丹比郡住道村一稱曰二住吉一

神須牟地神社 鍬靫　四イ

「姓氏」攝津國住道首伊弉諾命男素盞烏命之後也○在二寺岡村一今稱二三ノ宮一

楯原神社　二イ

○在二西喜連村一今稱二天神一

須牟地曾禰神社　三イ

「姓氏」曾禰連神饒速日命六世孫伊香我色雄命之後也「河內志」在二八上郡南花田藏前邑一今稱二勝手一式載在二攝州一「家持家集」「すみの江の二路を行く道なしと人にしれぬることいたきかな」ト詠ル此ナリ

止杼侶支比賣命神社　一イ

○在二澤口村一社今稱二若宮一傍有二轟池一「書紀」神功紀迹驚岡トアルハ今筑前那珂郡安德村其遺跡アリ思ヒ紛フベカラズ

赤留比賣命神社

○舊平野町ノ南ニアリ今町東ニ遷平野三十歩ノ社ト稱テ住吉ノ末社也雨ヲ祈ル神ヲ祭ルト云フ（攝陽群談）ノ說右ニ同ジクシテアラシ（新撰神代記）ト云書ヲ引テイヘリ○赤留比賣ハ天ノ日矛之妻也（古事記）新羅國云々一賤女晝寢於レ是日耀如レ虹指二其陰上一云々妊身生二赤玉一云々天日矛云々卽化二美麗孃子一仍婚爲二嫡妻一云々其女人言云々將レ行二吾祖之國一卽竊乘二小船一逃遁渡來留二難波一此者坐二難波比賣碁曾社一謂二阿加流比賣神一者也

天水分豐浦命神社

○在二安立寺町一今稱二步王一

努能太比賣命神社

「書紀」吾和魂宜レ居二大津渟中倉之長峽一（纂疏）渟

んといへどなほそれよりも後なるべき（齊明紀）に住吉ノ松嶺とあるも今の住吉にはあらじかし

大依羅神社四座 並名神大月次相嘗新嘗

「續後紀」承和十四年修ニ造攝津國大依羅社ニ爲ニ官社ニ「三實」貞觀元年正月廿七日從五位下勳八等大依羅神從四位下○按自ニ住吉社ニ十五町在ニ鷹日村邊ニ而住吉ノ攝社也補「紀略」延喜九年九月十三日奉レ授ニ攝津國大依羅神正二位ニ○「古事記」建豐波豆羅和氣王者依網之阿毘古等之祖也「續紀」天平勝寶二年八月辛未攝津國住吉郡人外從五位下依羅我孫忍麻呂等五人賜ニ依羅宿禰姓神奴意伎奈祝長月等五十三人依羅物忌姓ニ「書紀」神功紀得ニ神敎ニ而拜禮因以ニ依羅吾彥ノ男垂見ニ爲ニ祭神主ニ「姓氏」攝津國皇別依羅宿禰彥坐命之後也○彥坐命子丹波道主也○丹後與謝郡籠神社「一宮記」住吉同體也按依羅與ニ與謝海ニ語通「書紀竟宴歌」細注云（續日本紀）十六天平十八年閏九月戊子正六位上依羅我孫忍麻呂授ニ外從五位下ニ同十八天平勝寶二年八月辛未攝津國住吉郡人從五位下依羅我孫忍麻呂等五人賜ニ依羅宿禰姓神奴意支奈祝長月等五十三人依羅物忌姓ニ○神功皇后ノ御時吾彥ノ子筑前ノ住吉ノ神主トナレリカ、レバ吾彥ハ二百餘歲ナガラヘタル人也其後ハシラズ依羅神スナハチ此人ノナレルカ又云（定家卿家集）信云拾遺愚草末ニシルス ニ依羅ノ祠官ノ求子ニ歌フベキ歌ヲコフルニ由テ讀テツカハサル「君カ代ハ依羅ノ森ノトコトハニ松ト杉トヤチタヒ榮ム」依羅池ハ住吉社ヨリ辰巳ニ當リテ十六七町モ有ベキ歟今ハ漸々淺ビタレドナホ水多キ時ハ海ノ如シ云々社ハ池ノ北ニ庭井ト云村ノ南ニ今ハ小サキホクラトナレリ我彥ハ村ノ名トナリテ其西ニアリ定家卿ノ松ト杉トヤト讀玉フハ松ハイヅクニモヨムベキカ杉ハ昔名木ノ有シニヤ今モ杉本村ト云フ村我孫村ノ南少シ未ノ方ニアリ「拾遺愚草」住吉並ニ依羅社ニ求子ノ歌ヨミテ奉ルベキヨシ祠官申シカバ「君カ代ハヨサミノ森ノトコトハニ松ト杉トヤ千度榮ム」

草津大歳神社 靫鍬

○大歳神「志」在ニ苅田村ニ

中臣須牟地神社 大月次新嘗

暦廿年二月丙申始令ニ住吉社神主把レ笏○同廿五年
四月丁巳攝津國住吉大神奉レ授ニ從一位ニ以ニ遣唐使
祈ニ也（信友云大神號始メテ見ユ）○弘仁三年六月辛卯是日神祇官言
住吉香取鹿島三神神社隔ニ二十箇年ニ一皆改作積習
爲レ常其弊不レ少今須下除ニ正殿ニ外隨レ破修理上永爲ニ
恒例ニ許レ之○信友云（臨時祭式）ニ攝津國住吉大神
等神社正殿二十年一度改造云々トアリ又同式ニ凡
住吉社長門國封租穀者令ニ封戶ノ傜夫運送ニ云々但
豐浦郡ノ封戶ノ傜夫者便チ留テ充ニ御蔭社ニトアリ御
蔭社ハ攝津歟［書紀］神功紀表筒男中筒男底筒男三神
誨レ之曰吾和魂宜レ居ニ大津渟中倉之長峽ニ便因看ニ
往來船ニ於レ是隨ニ神誨ニ以鎭座焉則平得ニ度海ニ
（春村云詞林采集云附考一（二右））［釋紀］先師說稱ニ四座ニ者神功皇后
坐ニ別殿ニ歟［神祇令義解］天神者住吉等之類是者
謂ニ海水靈ニ［風土記］稱ニ住吉ニ者昔氣長足比賣天皇
世住吉大神現出而巡ニ行天下ニ云々［十訓抄］江擧周
和泉の任果て後病重かりけり住吉の御祟ある由を
知て其母赤染衞門「かはらむと祈る命はをしから
てさても別れむ事そ悲しき」とよみてみてぐらに
書て彼社に奉りければ其夜夢に白髮の老翁ありて

此幣をとると見て病いえぬ［帝王編年記］正嘉二年
五月四日住吉ノ第一神殿鳴動シテ狛犬形落レ地［著聞
集］嘉應二年十月九日道因法師人々ヲ勸テ住吉社
ニテ歌合シケルニ後德大寺左大臣前大納言ニテオ
ハシケルガ此歌ヲヨミ玉フトテ社頭月ト云フ事ヲ
「フリニケル松モノイハヽ問テマシ昔モカクヤ住
ノ江ノ月」ソノ比彼家領筑紫瀨高庄ノ年貢積タリ
ケル舟、津ノ國ニ入ントシケル時惡風ニ遇テ既ニ
入海セントシケルトキ何方ヨリカ來リケン翁一人
出來テ漕直シテ別事ナカリケリ舟人怪ミ思フホド
ニ翁ノ云ケルハ松モノイハヾノ御句オモシロク候
テ此邊ニ住侍ル翁ノマキリツルト申セト云テ失ニ
ケリ住吉大明神ノカノ歌ヲ感ゼサセ玉ヒテ御體ヲ
見ハシ玉ヒケルニヤ不思議ニアラタナル事カナ○
久老云生田に住吉祠あり神功皇后の初此大神を祠
玉ひし御社はこゝなるべし長田生田住吉廣田と相
ならびて坐しますにてもしられまた生田の長峽住
吉の長峽と聞えしは北の山より海際につき出たる
峽さきの名なるべくおもはる今も其さま見えたり
さてこの社を難波に遷されしは仁德の大御世なら

とほしとつけたる心は誠にやあらん云々「貫之集」下廿三右きのくにゝくだりてかへりのぼるみちにてにはかにむまの志ぬべくわづらふところにてみちゆく人々立とまりていふやうこれはこゝにいましつるかみのし給ふならんとしごろやしろもなく志るしもみえねどうたてあらがみなりさきくかゝるにはいのりをなんまうすといふにみてぐらもなければなにわざもせで手あらひてかみおはしげもなしやそも／＼なにのかみとかきこえんとゝへばありとほしのかみといふをきゝてよみてたてまつりけるむまのこゝちやみにけり「かきくもりあやめもしらぬおほ空にありとほしをは思ふへしやは」「六帖」以上黒川春村所補

神名帳考證　六

延喜式卷第九之六　畿内第五

攝津國七十五座

大廿六座並月次新嘗就レ中十五座預二相嘗祭一

小四十九座並官幣

補「紀略」天慶四年十二月十九日奉レ授二神祇官神左京職宮内省攝津國凡十七所階級一

住吉（スミヨシノ）郡廿二座大十座小十二座

住吉（スミヨシノ）坐神社四座並名神大月次相嘗新嘗

「續紀」延曆三年六月辛丑叙二正三位住吉神勳三等一○同十二月丙申叙二住吉神從二位一補「紀略」「大同元年四月攝津國住吉大神奉レ授二從一位一以二遣唐使祈一也「長明文字鏁」上さゝがにの糸段、住よしの社は四社おはします一社は衣通姫也又玉津島と申も衣通姫也むかしかの所をめでおはしける故にあとをたれ給へるとなん申侍りき○以上補「日本紀略」延

「志」波太宮八幡宮坐ニ相殿ー在ニ石田村南ー鳥取郷總社也緣起云 波太宮鳥取氏祖神角凝魂命也 末社有ニ天湯河板擧社ー 波太者畑 之和訓地名也八幡宮之源起昔神功皇后征ニ新羅ー歸時從ニ務古水門ー詣ニ紀伊國ー繋ニ御船于鳥取玉津ー武内宿禰懷ニ皇子ー遊ニ海岸ー後其地建レ社祭レ之今貝掛邑指出森其地也中世遷ニ波太八幡兩社於南山下ー合ニ祭相殿ー神宮ノ寺ヲ曰ニ神光寺ー「姓氏」右京皇別八多朝臣石川朝臣同祖武内宿根命之後也○和泉郡波多神社

國玉神社

「志」在ニ深日村ー

意賀美神社

比賣神社 鍬

「三實」貞觀元年五月七日和泉國比賣神列ニ官社ー○同八月十三日 和泉國无位 比賣神從五位上「志」俗曰ニ下御前ー在ニ大井堰社鳥居邊ー 余按茅渟宮舊蹟近ニ于此社ー比賣神者衣通姬歟又曰ニ溝口大明神ー此社在ニ溝口村前ー故云レ爾非ニ神號ー

式外舊社

卷尾神

「三實」貞觀六年七月廿五日己酉授ニ和泉國正六位上卷尾神從五位下ー○同八月廿日授ニ從五位上ー

蟻通明神

○和泉國日根郡紀ノ若山ヨリ大坂ニ達スル官道ノ信達村ヨリ一里東北ニ永瀧村アリ村南二町バカリニ神社アリ南面スコレ蟻通明神也社領六十石社家社僧アリ紀ノ鷺森明神ノ祠官杉原平馬云蟻通ハ實ニ思兼命ナルベシ世ニ傳ル翁ノ談ハ此神ノ智慮ヲ形容セシナランカ「補」「祖庭事苑」五十五左 九曲珠條云世傳孔子厄ニ於陳ー穿ニ九曲珠ー遇ニ桑間女子ー授レ之以訣云密爾思レ之思レ之密爾孔子遂曉乃以レ絲繋レ蟻引レ之以レ蜜而穿レ之故今問云密蟻絲レ之也然未レ詳ニ所出ー事雖レ闕レ疑間實有レ由合多擧ニ其緣ー遂錄レ之云「枕草紙」十一ウ やしろは云々ありとほしの明神貫之が馬のわづらひけるに此明神のやませ給ふとて歌よみて奉りけんにやめ給ひけんいとをかし此あり

氏」珍(チヌノ)縣主云々「志」未レ考按舊府當レ在ニ府中邊一未レ詳ニ其處一○信友按（和鈔）和泉國國府和泉郡（和鈔）ノ職官國郡鄉歲時ノ部ハ後人ノ補入セル也別ニ考アリ鈴屋大人云コノ鈔ナル國郡鄉名ハ奈良朝ノ頃出來シモノト見ユル由イハレタリ

聖(ヒジリノ)神社 鍬

「三實」貞觀元年五月七日和泉國聖神列ニ於官社一○同八月十三日授ニ和泉國從五位下聖神從四位下一○信田社額正一位聖大明神「國帳」正一位信田聖宮

○信友云（和鈔）當郡信太(臣多)鄉（古事記）

「志」信太大明神信太森余按此森應ニ明神鎭座地一夫本朝稱レ森榮神

日根郡十座 並小

男(ヲカミノ)神社二座

○今或曰ニ一岡社一其社邊ノ海濱有ニ舟岡山一「和鈔」呼吹乎「諸陵式」宇度墓五十瓊敷入彥命在ニ和泉國日根郡一今舟岡山此墓乎今在ニ男村ニ「志」男森(ヲノモリ)大明神在ニ男ノ里ノ東南一余按今稱ニ天神一者五瀨命也先所レ謂與ニ男水門小社一同神也後世合ニ祭八幡天神春日等一（神武紀）五瀨命云々號ニ其處一曰ニ雄水門一（古事記）云々五瀨命云々到ニ紀國男之水門一云々

神前(カムサキノ)神社

「志」在ニ神前村一今曰在ニ畠中村領一俗稱ニ妙見一

火走(ヒハシリノ)神社

「志」在ニ大木村一今號ニ瀧大明神一相傳祭ニ此神一男巫之走ニ火上一故曰ニ火走社一五十年來此祭絕

日根(ヒネノ)神社 靫鍬

「志」大井堰大明神日根郡總社之緣起曰昔神鳳降ニ于大鳥郡ニ立レ社祭レ之天照大神所レ化也聖武天皇御宇勸ニ請于此一

加支多(カキタノ)神社 靫鍬

「姓氏」天璧立命子天背男命「國帳」垣田社「志」貝田(カヒタ)神社余按加支多貝田(カヒタ)和訓相近今稱ニ八幡社一

波太(ハタノ)神社

木角宿禰信友云(和鈔)當郡木島「木乃之末」鄉[續紀]天應元年和泉國和泉郡人坂本臣信友云(和鈔)當郡坂本鄉アリ糸麻呂賜二姓朝臣一[姓氏]坂本朝臣ハ紀角宿禰男白城宿禰之後也[志]見二于未考部一

穗椋神社

[志]在二小倉村一今稱二天神一

和泉神社

[和鈔]上泉加美都以美鄉下泉鄉○當郡穴師神社泉井上神社[志]上泉天神在二國府一

楠本神社

[志]在二包近村一今稱二天神一

淡路神社

意賀美神社

[志]武塔天神社在二上村一

波多神社

[志]在二內畑村一今合二祭牛頭天王一神宮寺曰二朝日山長光寺一○信友云矢代寸神社ノ下ニ引タル(古事記)(續紀)(姓氏)考合ベシ波多氏ニヨシアルカ日根郡ニモ波太ノ神社アリ

積川神社五座 鍬

[續紀]承和九年十月己巳奉レ授二无位積川神從五位下一[三實]貞觀六年三月廿三日授二和泉國從五位積川神從四位下一○同十五年四月四日授二從四位下積川神從四位上一[積川社記]積川大明神者生井、福井、綱長井、波比岐、阿須波神也[志]今在二積川村一

丸笠神社

○信友按ワカサ歟(記)九邇[志]見二未考部一

舊府神社

○舊訓キウフ○信友按クフ歟[三實]貞觀元年五月七日和泉國舊府神列二於官社一○同八月十三日和泉國无位舊府神正五位下[國造本紀]和泉國造元河內國靈龜元年割置二茅渟監一則改爲レ國元珍努官[姓

泉穴師神從五位上〇同六月朔日授ニ和泉國從五位上泉穴師神正五位下ヲ〇同十年二月廿一日授ニ和泉國正五位下穴師神從四位下ヲ［玄蕃式］凡新羅客入朝者給ニ神酒ヲ其釀酒析之稻云々和泉國安那志一社［姓氏］和泉神別穴師神主天富貴命五世孫古佐麻豆知命之後也［志］穴師大明神社家傳云天忍穗耳尊拷幡千千姫命二座〇信友按當郡上泉(加美都以郡美)下泉ト(和鈔)ニアリ社號ノ泉ハ地名ナルベシ泉之穴師ト唱フベキ也右ニ引タル史ドモニ泉トイハザルガアルヲモ思ヒ合スベシ泉井上神社モアリ同例也(永萬記)ニハ阿那師社トアリ

兵主神社

粟神社

［志］今曰ニ粟堂ト在ニ宇多大津村ニ［古語拾遺］天富命立ニ太玉命社ヲ今謂ニ之安房社ト〇安房國安房坐神

曾根神社

［姓氏］和泉神別曾根連ハ神饒速日命六世孫伊香我色雄命之後也〇今在ニ曾禰村ニ［志］今稱ニ天神ト後合ニ祭住吉祇園ヲ

泉井上神社

〇當郡泉穴師神社泉井上トアリ

阿理莫神社

［書紀］崇峻紀茅渟縣有眞香邑［姓氏］珍縣主豐城入彦命六世孫阿利眞公〇今泉南郡久保村ニアリ［志］在ニ瀧村ニ今稱ニ雨近明神ト者阿莫轉也又云阿間河庄余按ニ古記ニ曰ニ有眞香安幕ト者皆此地也(姓氏)和泉國安幕速日命七世孫十千尼大連之後也〇信友云(本國帳)泉南郡安幕社トアリシノ韻ヲリト活用ノ例アリ

山直神社

［姓氏］和泉神別山直天穗日命十七世孫日古曾乃己名命之後也［和鈔］山直(也末多倍)［志］未レ詳ニ左所ニ

矢代寸神社二座

［古事記］建內宿禰子波多(信友云當國ニ波多神社二社アリ)八代宿禰次

地名を二字に作て例によりて下を省て日部と作きてなほ久佐加倍と唱へるならんを抄には加ノ字脱せしならんかとおもひしに(志)に國内の神名帳とて引たる社に草部とあればなほ久佐倍と云へる也故ある事なるべし○百木按ニ日部ハ日下部歟當國神名帳當郡ニ從四位上早(クサヘ)部大藏社前此外アマタ早部云々社ト云ガミエタリ早ハ日下ヲ一字ニ合セテ書ケル歟又草ノ字ヲ誤レル歟サレドモ草ノ字ヲ誤レルニハアルベカラズ(和鈔)尾張國愛智郡日部郷アリテ(神鳳抄)ニ尾張國草部御厨トカケルハ則同地トミエタリコレモクサベト訓也サテ(尾張國風土記)ニ愛智郡福興寺ハ云々在ニ早郡郷伊福寺ニトアル早郡郷ハ即日下部郷ヲ誤リ伊福寺ハ福興寺ヲ誤レリサレバモト當國モ尾張國モ日部郷ハ日下部郷ナリシ事シルシ後ニ□□(聖徳太子ノ事カ)天皇ノ御名ヲ避テクサカヘ、ヲクサヘ、トシモ唱ヘアラタメソレニヨリテ後又草部トモ書改メシナランカクテオモフニ此處ノ日部神社ノ書ザマハ地名日下部三字ヲ二字ニ改メラレシ上ニテ記シタルモノナラム

和泉(イツミノ)郡廿八座(並小)

男乃宇刀(ヲノウトノ)神社二座

［書紀］垂仁記廿九年五十瓊敷命居ニ於茅渟菟砥川上宮ニ作ニ劒一千ロ藏ニ于石上神宮ニ○信友云（風土記）男○宇刀ハ菟砥（神武紀）雄(ヲノ)水門［志］菟砥川上宮址今在ニ自然田村東南ニ　神社未考［志］　（和鈔）日根郡呼唹(平)（式）十八男

博多(ハカタノ)神社

［志］在ニ伯(ハクタ)田村ニ今號ニ天神社ニ○河内國安宿郡伯太彦神社伯太姫神社

夜疑(ヤキノ)神社

［姓氏］八木造ハ和多羅豐命兒布留多摩乃命後也［和鈔］八木　［志］未ㇾ詳ニ所在ニ

泉穴師(アナシノ)神社二座

［續後紀］承和九年十月己巳奉ㇾ授ニ无位穴師神從五位下ニ［三實］貞觀七年二月廿七日和泉國從五位下

神社と之文字つけて唱ふべき也追考(永萬記)に大井開社とあり按に開は闕の誤也古體闕を開と作より誤りたるにて(書紀)の天闕を印本に天開とありて其外此誤例多しさて大の下に鳥の字脫たる歟又は鳥の字のなきが正しき歟考に備ふ

坂上神社

[續紀]三十八坂上大忌寸苅田麻呂上表言臣本是漢靈帝之曾孫阿智王之後諸國漢人其後也

開口神社

[書紀]投レ褌是謂ニ開囓神ニ[志]在ニ甲斐町東ニ(住吉舊記)ニ云開口大明神者伊弉諾尊御子事勝食勝國長狹也後合ニ祭生玉明神牛頭天王ト爲ニ住吉之外宮ト故朝廷二十年一度每造ニ替住吉社ト當社亦造替元開口村水戶村原村之間也故俗號ニ三ッ村大明神ト按ニ住吉造營金物用途支配記ニ有ニ預所案主刀禰ト今絕○兼永本アキクヒ○松下氏點アクチ(志)同ジ(泉州志)今唱ノ訓○頭書ニ兼永點本訓レ口曰ニクイニ蓋爲ニ開囓神ニ云爾然證ニ之開口勘文ト則開口神者鹽土翁也

櫻井神社

[姓氏]櫻井宿禰坂上大宿禰同祖都賀直三世孫大人直之後也[志]在ニ片倉村ト境內有レ井相傳云ニ之櫻井ニ又社東有ニ怪松ト故此邊曰ニ若松庄ト余按櫻井社武內宿禰後合ニ祭八幡ト歟

大歲神社 鍬

[志]余按ニ國內神名帳ト草部菱木荒田下大鳥高志取石大庭山田蜂田九處有ニ大歲社ト不レ知ニ何式內神社ト大歲神者素戔烏尊之御子聖神御父也○信友按に聖神社和泉郡にあり又云當郡なる美波比神社とあるも大歲神の御子ならんかとおもはるゝよしあり考合べし

日部神社

[姓氏]和泉神別日下部首ハ日下部宿禰同祖彥坐命之後也[志]在ニ日部村ト余按日下部祖神也○國ハ八云草部村ニ日部明神アリ[和鈔]大鳥郡久佐倍鄕○信友按(和鈔)ニ日部とあるはもとは日下部とかけるを

子麻呂等五十三人賜ニ姓高志連一（逍遙院殿高野紀行）高師の松原のした天神乃社の前をこしを立て「袖の上に松吹風や仇波の高しの濱の名をも立覽」

大鳥美波比神社

［本國帳］大鳥爾波比神社［志］社家説天照大神余按ニ流記一爲ニ爾波比社一爾與レ美同韻相通延喜廿年四月五日職事禰宜神主等所ニ注進一帳云正一位爾波比社大鳥社ノ内ニ坐中ノ宮是也神田三段勅施入葦田正里卅五坪一段布施屋卅六坪水合里一坪郡里六坪並三箇坪内二段畠地二百歩赤坂里廿七坪内［古事記］大年神娶ニ天迦流美豆比賣一生ニ庭津日神一○信友云當郡大歳神社ノ下考合ベシ

多治速比賣神社

○信友按次なる大鳥井瀨神社の下に引たる（志）の説による時は此多治速比賣則橘姫也波奈と波夜の奈と夜と通ふ例は阿奈と阿夜と通はせ云類なるべし又思ふに舊本多治波那と作りけむを那を耶に見誤りて速に書かへしならむかこは試に云のみ也（書紀）垂仁紀十三丁ウ裸伴大刀ノ名の訓注阿箇播娜我等母とあるを（舊事紀）に赤花と作るも娜ヲ奈の音とおもひ誤れるか又女篇を脫して那とある本のありしによりて阿箇播那と思ひて赤花の字を借りてかけるなるべしこれも似たる例なり○河内丹比郡丹比神社

大鳥井瀨神社

［志］社家説弟橘姫余按（神名帳）井瀨社外別有ニ多治速比賣神社一然郎井瀨社者弟橘姫之荒魂耶延喜廿年四月五日職事禰宜神主等所ニ注進一帳云正三位井瀨社云々［和鈔］堰 井せ木

大鳥濱神社 鍬

［志］社家説天兒屋根命延喜廿年四月五日神主等所ニ注進一所帳云正三位濱社坐ニ嶋木ノ里五ノ坪内一神田二段郎敷地勅施入○大鳥郡西ノ海濱也○信友按にこの大鳥云々の二社の御事（志）に引たる延喜廿年の注進帳に據れば共に上なる大鳥神社の攝社の類と見えたれば二社の大鳥は社地の大名を唱へたるにて實は井瀨神社濱ノ神社也されば大鳥之云々ノ

「姓氏」和泉神別殿木連ハ信云蜂田氏同祖也大中臣同祖天兒屋命之後也「志」富木村（續後紀）天平勝寶四年五月庚申无位中臣殿來連竹田賣授ニ外從五位下ヲ余按殿來氏之祖神也今稱ニ天神ト〇信友云（和鈔）常陵(トノキ)

蜂田(ハチタノ)神社 鍬

「姓氏」和泉神別蜂田連ハ信云殿來氏同祖也大中臣同祖也「三實」貞觀六年和泉國大鳥郡人蜂田連瀧雄改レ居「志」在ニ平井村ニ余按蜂田社者蜂田祖神天兒屋根命也今謂ニ天神ト〇信友云（和鈔）當郡蜂田波知多郷アリ神名コヽノ地名ニヨレルナラン（和泉志）ニ鍬靱トアリ

陶荒田(スエノアラタノ)神社二座（鍬イ）

「三實」貞觀元年三月四日庚申遣ニ三左衞門少尉正六位下紀朝臣今影、右衞門大志從六位上櫻井田部連貞雄麻呂於ニ河内和泉兩國ニ辨ニ決陶山爭ヲ〇同四月廿一日河内和泉兩國相ニ爭燒レ陶伐レ薪之山ニ依ニ朝使左衞門少尉紀今影等勘定ニ爲ニ和泉國地ト「志」今曰ニ天神社ト在ニ大村ニ大村又曰ニ上ノ村ニ余按荒田直ハ神高魂命劒根命ニ二座歟又云高魂娜合ニ大村直祖神魂命ニ二座歟

（姓氏）和泉國神別荒田直ハ高魂命五世ノ孫劒根命之後也」又云陶器(タウキノ)庄昔大村郷余按此地往古爲レ陶故ニ有ニ此名ト舊記曰ニ陶邑ト是也〇信友云（和鈔）當郡大村於保無良郷アリ又土師波爾之郷アリ（孝德紀）ニ小山上百舌鳥土師連土德ト云フ人見エタリ陶ヲ製レル考證トスベシ

國(クニノ)神社

「志」未考

鴨(カモ)田一本無田字神社

「姓氏」加茂朝臣ハ太神朝臣同祖大國主神之後也〇信友按（和鈔）當郡上神加無都美和郷アリ「志」在ニ太平寺村ニ俗傳曰ニ住吉神ト〇信友云（秘釋）田ノ字衍トイヘリ又（和泉志）鴨田神社ハ在ニ鴨田村ニトイヘリ

高石(タカシノ)神社

「志」今稱ニ天神ト在ニ海道西側ニ（持統紀）三年秋八月云々准ニ河内國大鳥郡高脚(タカシノ)海ニ（續日本後紀）天平神護二年十二月乙酉和泉國人外從五位下高志毗登若

下ニ同九月八日和泉國大鳥神遣レ使奉レ幣爲ニ風雨祈ニ同三年七月二日授ニ和泉國從四位下勳八等大鳥神從三位「姓氏」和泉神別大鳥連大中臣之同祖天兒屋命之後也○在ニ大鳥中村ニ「和泉志」以下（志）ト標ス大鳥大明神在ニ大鳥村ニ（大鳥社流記）云大鳥大神宮 五社「永萬記」大鳥社明神子孫領○信友云大鳥神社下ニモアリ（和鈔）當郡大鳥於保止利郷アリ「一宮記」

山井神社（ヤマノヰノ） 靫鍬

「志」梅村今曰ニ天神ニ

大鳥神社（オホトリノ） 靫鍬

「志」社家說吉備穴戸媛延喜廿二年四月五日職事禰宜神主等所ニ注進ニ帳云正三位鍬靫社坐ニ下神里五六坪 原里十二三坪ニ神田四段勅施入葦田正里三坪內御狩庭野四所字西原南原葛原伊勢沼原○大鳥神社上ニモアリ

美多彌神社（ミタミノ）

「姓氏」和泉神別民直天兒屋命之後也「志」未考

押別神社（オシワケノ）

「出雲風土記」素盞之雄命 國忍別命「志」未考

生國神社（イククニノ） 靫鍬

「志」未考

火雷神社（イナヽカリノ） 大雷イ（脱カ）

「志」未考

石津太社神社（イシツタノ）

「本國帳」石津多社「志」余按云々當レ訓ニ以之都意富神社ニ然則與ニ大和國十市郡太坐彌志理都比古社ニ同神乎今號ニ天神ニ乃此神歟○信友按（和鈔）當郡石津以之都郷アリ（仁德紀）ニモ此地名ミエタリ地名ニヨレル御名ナルベシ但シ（和泉志）（泉州志）トモニ

○太ノ字ナシ

末社野見宿禰像載附考一十二左

等乃伎神社（トノキノ） 靫鍬

補遺

譽田八幡宮

○附考卷一八左ニミユ

堤津嶋女神

［文實］嘉祥三年十二月癸酉河内國堤津島女神從五位下

神名帳考證　五

延喜式卷第九之五　畿内第四

和泉國六十二座

大一座

小六十一座

○波伯部百木按此帳ノ初ニ小云々四百卅三座ハ並預ニ祈年案下官幣ニト見ユ（四時祭式）上ニ不レ奠ニ幣案上ニ祈年神四百卅三座注ニ云々和泉國六十一座トアリ故今上ノ例ニヨリテ並官幣ノ三字補フベシ

大鳥（オホトリノ）郡廿四座 大一座 小廿三座

大鳥（オホトリノ）神社 名神大 月次新嘗

［紀略］弘仁十四年七月丙辰奉ニ和泉國大鳥社幣ニ以ニ祈雨ニ也［續後紀］承和九年十月己巳奉レ授ニ和泉國ノ從五位下大鳥神從五位上ニ［三實］貞觀元年正月廿七日奉レ授ニ和泉國正五位下勳八等大鳥神從四位

大雷火明神
〔文實〕齊衡元年三月丙辰授㆓河内國大雷火明神從五位下㆒

天夷鳥神
〔文實〕天安二年三月壬戌朔癸未在㆓河内國㆒天夷鳥命神授㆓從五位下㆒

彌加布都命神
比古佐自布都命神
〔三實〕貞觀二年七月十日戊午進㆓河内國從三位彌加布都命神比古佐自布都命神階㆒並（三實此間有加字）從二位

豐稻賣神　御祖神　子宮神
〔三實〕貞觀二年十一月河内國從五位下豐稻賣神御祖神子宮神並授㆓正五位下㆒

天押日命神
〔三實〕貞觀十五年十二月廿日河内國正六位上天押日命神從五位上〔志〕石川郡降幡神祠在㆓大ケ塚村㆒與㆓兩大友山城㆒共㆓祭祀㆒或曰貞觀十五年十二月授㆓天押日命神從五位下㆒即此

掃部神
〔三實〕貞觀十六年十二月廿九日河内國正六位上掃部神從五位下〔志〕今高安郡里谷村ニ祠アリ○信友云（和鈔）和泉國和泉郡掃部（加尓毛利）郷アリ（古語拾遺）

野中神
〔三實〕貞觀十七年八月廿八日授㆓河内國正六位上野中神從五位下㆒○信友云（和鈔）丹比郡野中（乃奈加）郷アリ

堺神
〔三實〕元慶七年十二月廿八日河内國堺神從五位下

垂水神二前
〔三實〕仁和二年十一月十五日河内國從五位下垂水神二前並從五位上〔志〕澁川郡都留彌神社乎

[三實]貞觀元年正月廿七日狹山神從五位上[姓氏]狹山連天兒屋命之後也○按兒屋命十世孫臣扶山命[和鈔]狹山佐也萬[志]在二半田村一今稱二天王一○信友云當郡狹山堤神社アリ

菅生（スガフノ）神社大月次新嘗

[三實]貞觀元年正月廿七日菅生神從五位上[姓氏]河内神別菅生朝臣天兒屋根命之後也○今丹南郡菅生天神[志]ノ説モ同ジ○信友云(和鈔)菅生須加布郷アリ

酒屋（サカヤノ）神社(鍬靫イ)

[三實]貞觀七年十二月廿六日河内郡正六位上酒泉神從五位下按郡ハ國泉屋之字歟○信友按ニ泉ト家ト誤ルニテ酒家ト有シナルベシ[姓氏]河内神別中臣酒屋連津速魂神十九世孫眞人連公之後也○信友云大津神社津原神社當國ニアリ[志]在二丹比郡三宅村西一今稱二權現一○信友云(和鈔)三宅郷アリ

櫟本（イチモトノ）神社鍬靫

○今曰二市村天神一[志]在二興（貫イ）福寺一今稱二八幡一社旁有二地名櫟本一

田坐（タヰノ）(井イ)神社

[三實]貞觀四年五月十七日甲申詔以二河内國從五位下田坐神一列二於官社一[萬葉]田居（タヰ）[書紀]天武紀田井直吉麻呂[志]在二丹比郡田井城村一今稱二八幡一○信友云(和鈔)當國志紀郡田井郷アリ

弓削神社一座

[河内志]志紀郡當宗神社ノ次ニ載ス

長野神社

○異本ニ丹比郡田坐神社ノ次ニ載○葛井寺村○信友云志紀郡長野神社アリ(和鈔)同郡ニ長野郷アリ

式外舊社

和尒神

[文實]嘉祥三年十一月癸酉進二河内國和尒神階一加二從五位上一

「續後紀」承和十四年十二月奉レ授二河内國丹比郡无位丹比神從五位下一「文實」嘉祥三年十月乙丑朔丹比神從五位上「三實」貞觀元年正月廿七日從五位上丹比神正五位下「古事記」宣化皇子惠波王多治比君之祖付川内（カフチ）之若子比賣「三實」加美惠波皇子生二十市王一十市王生二多治比公一○貞觀元年七月遣二使諸社一奉二神寶幣帛一使散位從五位下丹墀眞人繩王（マイ）爲二丹墀社使一「志」在二丹治井村一今稱二天神一○和泉多治速比賣神社アリ

補丹治比氏岩田系譜ニ云河内國丹南郡多治比村若松天神ハ延喜式所載丹治比神社是也毎年六月廿五日十一月廿五日修二祭事一則丹治比古王之靈社也今稱二菅神一非也

阿麻美許曾（アマミコソノ）神社 鍬靫

「姓氏」天津彥根命男天戶間見命按中臣祖大小橋命子阿摩毗命○今丹比郡天見山社在二枯木村地一「志」在二丹比郡枯木村南天見丘一一名阿麻岐志今稱二天王一

狹山堤（サヤマツツミノ）神社 大月次新嘗

「三實」貞觀元年正月廿七日狹山堤神從五位上「古事記」垂仁皇子印色入日子命作二狹山池一「續紀」天平四年十二月丙戌築二河内國丹比郡狹山下池一「志」在二狹山南明神山一○信友云（和鈔）當郡狹山佐也萬鄉アリ

大津（オホツノ）神社三座 鍬靫

「續記」四十延曆九年秋七月辛巳云々津連眞道等上表言眞道等本系出レ自二百濟國貴須王一云々應神天皇云々搜二聘有識者一國主貴須王云々遣二其孫辰孫王一名智宗王隨レ使入朝天皇嘉焉特加二寵命一以爲二皇太子之師一矣於レ是始傳二書籍一大闡二儒風一云々干定君生二三男一長子味沙仲子辰爾季子麻呂從レ此而別始爲二三姓一云々葛井船津連是也同一日道照和尙河内國丹比郡人也俗姓船連父惠釋「三實」七河内國丹比郡人葛井連宗之「志」在二丹下宮邑一今稱二大宮一○信友云當國河内郡大津神社アリ又津原神社ト云モアリ又梶無神社ト云フモアリテ今船山明神社ト云フトイヘバ船氏ニヨシアリ

狹山（サヤマノ）神社 大月次新嘗

志紀長吉神社二座 並大月次新嘗

[三實]貞觀元年正月廿七日志紀長吉神從五位上

[　]長江襲津彥命武內宿禰子也[續紀]神護景雲元年河內國志紀郡人山口臣犬養等賜姓山口朝臣

[姓氏]河內皇別山口朝臣武內宿禰之後○今曰北條天神[和鈔]志紀

伴林氏神社 鍬靫

[三實]貞觀九年二月廿六日志紀郡林氏神預官社

[續紀]延曆六年河內國志紀郡人林臣海主野守改臣賜朝臣[姓氏]河內國神別林宿禰大伴宿禰同祖室屋大連公男御物宿禰之後也[志]曰在林村

[和鈔]當郡ニ拜志郷アリ

辛國神社

○印本頭書ト兼永曰志紀辛國神社[三實]貞觀九年二月廿六日志紀郡辛國神預官社[姓氏]和泉國神別韓國連伊香我色雄命之後也武烈世被遣韓國復命之日賜韓國連[志]今在丹南郡岡村今稱春日社北有辛國池

當宗神社三座 並大月次新嘗

[姓氏]當宗忌寸出自後漢獻帝四世孫山陽公之後也[新國史](神名帳頭注所引諸社根元記同)仁和五年四月乙亥詔朕(宇多)之外祖母當宗氏社在河內國自今年始可祭之狀仰○當社祭ノ事(年中行事秘抄)上丁六十(本朝月令)四月[志]在譽田村北圭水町當宗垣內寬平五年四月七日始遣河內國志紀郡當宗神祭幣帛使國司一人專當其事並用國正稅永爲恒例見公事根源○信友云上件ノ文見エズ但祭事ハ中ノ十九丁ニ在○宇多帝ノ母ハ仲野親王ノ女班子也桓武—仲野(外祖父)—班子(母)—宇多(仲野ノ室ハ當宗氏也史ニ見エズ外祖母)又(伊呂波字類抄)當宗マサムネ大和光孝天皇御宇始有祭ト見ユ大和ハ誤ニテ河內ナルベシ(以上信友)杜本神社ノ下考合ベシ○氏神祭ノ事附考一九右ニミユ

丹比郡十一座 大三座小八座

信友云(和鈔)丹上丹下二郡トス

丹比神社 鍬靫

川郡許麻莊神武明星ノ澤和歌云「コマノ里澤ヘニ生ルカキツハタ君カ手コトノ水ヤカヘサム」神武堤名明星澤在ニ村西北一〇信友云當國大縣郡大狛神社アリ（和鈔）大縣郡若江郡トモニ巨麻アリ又（催馬樂）山城ニ「山シロノコマノウリツクリ」又石川「イシカハノコマウトニ云々」石川郡ハ河內ノ石川郡ニテ古ヘ高麗人ヲ置レシ事（紀）ニ見ユ（和鈔）相樂郡下狛大狛同州石川郡百濟

都留美神社（ツルミノ）

「三實」仁和二年十一月十五日河內國從五位下垂水神ニ前並從五位上〇信友云上文ヲ（志）ニ指ニ都留美神社ニ乎ト云テ上ニ許麻神社ノ下ニ引ル古笥ノ歌ヲモ考ヘ合スベキヨシイヘリ又按ニ（頓阿自筆神名帳）ニ積組大明神トアルハコレカ當國若江郡ニ都留美島神社アリ「志」足代村稱ニ天神一

志紀郡（シキノ）十四座 大六座 小八座

志貴縣主神社（シキノアガタヌシノ） 大月次新嘗

「書記」神武紀 弟磯城名黑速爲ニ磯城縣主一「三實」貞觀四年二月河內國志紀郡人志紀縣主員戌等賜ニ姓宿禰一即改ニ本居一隷ニ左京職一神八井耳命之後與ニ多朝臣一同祖也「姓氏」河內國皇別志紀縣主神八井耳命之後也「志」國府村今稱ニ春日一「續後紀」八志紀首「和鈔」當郡志紀鄉

長野神社（ナガノノ） 鍬

「和鈔」志紀郡長野鄉〇丹比郡長野神社アリ

志疑神社（シキノ）

「志」在ニ大井村一今稱ニ天王一

黑田神社（クロタノ）

「志」在ニ北條村一今稱ニ天神一〇近江ニ久留彌多神社「和鈔」丹比郡黑山鄉按此地名（書紀）孝德紀ニアリ 信友

樟本神社（マキモトノ）三座 鍬靫

「書紀」櫟樟可ニ以爲ニ浮寶ニ「志」一座在ニ北本村一一座南木本村並布都明神ト稱ス

尾西郷村ニ今稱ニ天王ニ

加津良神社

[三實]貞觀九年二月廿六日加津良神預ニ官社ニ○阿波國勝占神社アリ[書紀]天武紀八年縵連忍勝獻ニ嘉禾ニ

[志]在所未レ詳

仲村神社

[三實]貞觀九年二月廿六日中村神預ニ官社ニ[姓氏]中村連己巳都牟須比命子天乃子矢根命之後也[志]在ニ菱江村ニ

澁川郡六座 並小

鴨高田神社

[志]在ニ高井田村ニ今若江郡也中古以ニ此地ニ供ニ山州八幡神祭料ニ因稱ニ八幡宮ニ ○信友云當國高安郡 鴨神社アリ石川郡鴨習太神社

横野神社

[志]在ニ大地村西ニ今稱ニ印色宮ニ

波牟許曾神社

[三實]阿當護山破无神○今蛇草村大森天神是乎

[志]在ニ北蛇草村ニ今稱ニ神明ニ○信友按ニ蛇草ト書テ今イカニ唱フニカ知ラネド波牟久佐トカ波美久佐トカ唱フベキ也(和鈔)蝮ノ下ニ蝮蛇トモ書テ蝮和名波美トアリ波美ヲ波牟トモ通ハセ唱フベクマタ久佐ト許曾トハコトニ親シクカヨフ音ナレバ波牟久佐スナハチ波牟許曾ト同言ニテモト地名ヲ以テ神社ノ號ニ唱ルナラン蛇草村ノ地名(平氏太子傳)ニモ見エタリ又(和鈔)草部ニ續斷ハ拾遺本草云續斷去聲和名波美一云於仁乃夜加豆中ニ有レ水者謂ニ之含水藤ニ

路部神社

○異本ニ跡部トアリ[和鈔]跡部阿止倍[志]在ニ跡部村ニ

許麻神社

[姓氏]狛連[書紀]孝德紀五年狛連[志]在ニ久寶寺村ニ今稱ニ天王ニ又曰古筒所謂色紙形者筒上題云河州澁

「姓氏」河内國皇別川俣公彥坐命之後也「和鈔」川俣
○信友今本保トアル誤「志」在二川俣村一

弓削神社二座 並大月次相嘗新嘗

「三實」貞觀元年正月廿七日弓削神從五位上○同二年七月進二河内國從三位彌加布都命比古佐自布都命神階一並加二從三位一「古事記」建御雷神平レ國之横刀名曰二佐士布都神一「姓氏」弓削宿禰神饒速日命後也○今在二弓削村一稱二布都大明神一今一座ハ在二東弓削村一一座在二志紀郡西弓削村一「志」在二東弓削村一
「和鈔」弓削 由介

都留美嶋神社 鍬

「志」舊在二都塚村一都冢南今遷二冢上一○信友云當國澁川郡ニ都留美神社アリ

長柄神社 鍬

○信友云志紀郡ニ志紀長吉神社アリ「姓氏」長柄首天乃八重事代主神之後也「志」在二長八尾村一今稱二小守勝手宮一

意伎部神社

「志」在所未レ詳

彌刀神社

「志」在二近江堂村一○今稱二天王一

宇婆神社

○伊豆國優波夷命神社アリ「志」在二加納村一今稱二熊野一

澁川神社二座

「志」今在二澁川郡植村一稱二天神一

栗栖神社

「三實」貞觀四年四月十二日授二河内國正六位上栗栖神從五位下一○同四年十一月十一日詔以二河内國從五位栗栖神一預二之官社一○元慶七年十二月廿八日正六位上栗栖神從五位下 比神貞觀四年叙二從五位下一可レ考 「姓氏」栗栖連神饒速日命子于摩志摩治命之後也「志」在二八

「書紀」神代紀高靇「志」在ニ伊加賀村後山ー

交野郡二座 並小

片野神社 靫鍬

「志」在ニ坂村ー今稱ニ一宮ー

久須々美神社 鍬

「和鈔」葛葉久須波「志」在ニ葛上邑ー邑屬ニ坂村ー○並河氏云久須々當ニ久須个傳寫誤ー○百木按葛上村ニアリト(河内志)ニアレバ並河氏ノ云ヘル如ク久須个美神社ヲ誤リタルカサレバ(和鈔)ニ葛波久須波トミエタレバ葛葉上神社ノ義カ又按日野本ニ久須々美神社ト書セリ且大和城下郡ニモ同名ノ神社アリ倘可レ考

若江郡廿二座 大二座 小廿座

坂合神社二座

「三實」元慶七年十二月授ニ從五位下ー○火明命十六世尾治坂合連「志」在ニ小坂合村ー

矢作神社

「書紀」矢作ニシテ造レ矢云々「姓氏」河内國矢作連布都怒志乃命之後也「志」在ニ八尾別宮邑矢作械樋西北ー有ニ長久年中國宣ー今稱ニ八幡ー

若江鏡神社

「志」在ニ若江村ー階下右石稱ニ雷神石ー「文實」齊衡元年四月授ニ大雷大明神從五位下ー

御野縣主神社二座 靫鍬

「志」今在ニ河内郡上島村御野郷辻ー今稱ニ天日ー(式)載在ニ若江郡ー「姓氏」河内神別美努連角凝魂神四世孫天川田奈命之後也「三實」元慶三年河内國若江郡人美努連清名云々

石田神社三座

○今曰ニ岩田八幡三社ー在ニ岩田村ー○今稱ニ八幡宮ー

川俣神社 靫鍬

「姓氏」河內國天孫津夫江連天津彥根命之後也「志」在ニ中村一屬ニ邑大上一

高宮神社 大月次新嘗

「三實」貞觀元年正月廿七日高宮神從五位上「舊事紀」萬魂尊兒天剛川命高宮神主等祖○今在ニ高宮村ニ「和鈔」高宮

津桙神社

「書紀」大己貴神以平レ國時所レ杖之廣矛授ニ二神一「出雲風土記」衝桙等乎而留比古神○在ニ岡山村一屬ニ邑坪井一

高宮大杜祖神社

「和鈔」高宮「志」在ニ高宮村東一

國中神社

○越前國今立郡國中神社山城國乙訓郡國中神社○在ニ中村一今稱ニ天神一

茨田郡五座 並小

堤根神社

「古事記」日子八井耳命者茨田連之祖「姓氏」河內國皇別茨田宿禰彥八井耳命之後葛呂母能古「書紀仁德」造ニ茨田堤一 此時ノ社ナランカ 「志」在ニ野口村一其神宮寺號曰ニ慶雲寺一在ニ常稱寺村ニ「萬葉」ニ「堤安乃池之堤之云々

津島部神社 靫鍬

「文實」嘉祥三年十一月河內國堤津島女神從五位下○按部與奴語通。「志」在ニ金田村一與ニ對馬江一共預ニ祭祀一○信友云米ト倍ト通ヘル例美作國大庭郡形部神社ヲ（三實）ニ形賣トアリ（拾芥抄）樂器ノ部朽目或朽部トアリ

細屋神社 鍬

高瀬神社

「和鈔」高瀬○高瀬川「志」在ニ小高瀬莊世木村一今稱ニ八幡一

意賀美神社

一位正四位上勳六等枚岡比咩神從三位同七年十月廿一日己巳勅河内國平岡神主一人給ニ春冬當色料絹布等一如ニ平野梅宮神主一又春秋二祭差ニ神祇官中臣官人一人一撿ニ挍祭事一兼付ニ幣帛一又春秋二祭差ニ琴師一人一供ニ事祭場一立爲ニ恒例一十二月十七日甲子勅河内國平岡神四前准ニ春日大原野神一春冬二祭奉レ幣永以爲レ例［志］在ニ出雲井村北一今尙國民敬信稱ニ本國一宮一勤ニ時祭踏歌占穀等祭事一神幸之地在ニ豐浦村一［和鈔］讃良郡枚岡比良平加
補浪華帖第一橘逸勢朝臣書梵釋四王鹿取鹿島相殿枚岡四所大神證知證成改變刧磐我善不レ破矣
口受遺言无品内親王伊都

津原神社

［姓氏］河内國神別平岡連　津速魂四世孫鯛身臣之
［志］在ニ市場村津原池側一今稱ニ玉串明神一有ニ古歌一

梶無神社

［志］六萬寺櫻井邑今稱ニ船山明神一社北有ニ地名梶無一

大津神社

［志］在ニ舊水走村一

栗原神社 鍬

［志］吉原村今稱ニ梶原宮一［姓氏］中臣栗原連雷大臣之後也

石切劒箭命神社二座

［三實］貞觀七年河内國正六位上石劒神等授ニ從五位下一○按箭當レ作レ前蓋枚岡前社也（啓蒙）曰岩本社疑此乎春日社御前社原石立命神社今稱ニ岩本社一與レ此同名［志］在ニ神並村一自レ社西至ニ芝村一舊名木津神浦今尙稱ニ木積宮一其所ニ收藏一神符刻板背面欵字曰弘治三年神主行春記

讃良郡六座 大一座 小五座

須波麻神社 靱鍬

［志］在ニ中垣内村一

御机神社

[三實]貞觀元年　正月廿七日授ニ從五位下春日戸神從五位上ニ[志]今在ニ恩智村ニ天川社歟○在ニ教興寺村東山ニ今稱ニ辨財天ニ[舊事紀]天香語山命亦曰ニ高倉下神ニ此命隨ニ御祖天孫尊ニ自レ天降○百木按ニ高座神ハ天照大神ト共ニ擧タレバ高御產日神ヲ申ナラン尾張國愛智郡高座結御子神社名神大トアルヲ考合スベシ○信友云當郡ニ春日戸社坐御子神社アリ習太神社アリ

玉祖神社（タマノオヤノ）

[姓氏]忌玉作高魂命孫　天明玉命之後也云々故號ニ玉祖ニ○今在ニ神立（カウタチ）村ニ[志]今稱ニ高安明神ニ有ニ社司供僧ニ收ニ文治元年告牓及施入文等ニ[和鈔]玉祖多末乃於也

御祖神社（ミオヤノ）

[志]大窪村○壹岐島高御祖神社

鴨神社（カモノ）

[古事記]意富多々泥古命鴨君之祖○在ニ大竹村鴨森ニ○信友云當國澁川郡ニ鴨高田神社　又石川郡鴨習太神社アリ

佐麻多度神社（サマタトノ）

[志]在ニ山畑村ニ見ニ灌頂錄ニ

春日戸社坐御子神社（カスガヘノ　ミコノ）

[三實]貞觀元年正月授ニ從五位下ニ○在所未レ詳○信友云當郡　天照大神　高座神社　元號ニ春日戸神ニトアリ

河內郡十座 大四座 小六座

枚岡神社四座（ヒラヲカノ） (並イ)名神大 月次相嘗新嘗

[續後紀]承和三年五月河內國河內郡從三位勳三等天兒屋根命正三位從四位下比賣神從四位上同六年十月己酉朔丁丑坐ニ河內國河內郡ニ正三位勳二等天兒屋根命從二位　從四位上　比賣　神　正四位下同十年六月戊午朔乙丑河內國河內郡從二位勳三等平岡大神社神主永預ニ把笏ニ[文實]齊衡三年冬十月辛未朔己丑加ニ從一位平岡神幣布廿四端ニ[三實]貞觀元年正月廿七日河內國從一位勳三等枚岡天子屋根命正

淸泉ニ[舊事紀]鐵鐸 謂ニ佐那岐ー

大狛神社

[姓氏]河内國諸蕃大狛連[秘釋]犬狛 犬作レ大非 [書紀]天武紀十年大狛造百枝[和鈔]巨狛○信友云澁川郡ニ許麻神社アリ

若倭彦命神社（鍬イ）

[志]在ニ平野村ー今稱ニ權現ー八幡二座

若倭姬命神社 鍬

[三實]貞觀元年八月十三日正六位上若倭彦命若倭姬命並從五位下[舊事紀]建筒草命若倭部祖[志]在ニ山井邑ー邑屬ニ平野村ー今稱ニ春日白山二座ー

石神社

[三實]貞觀九年二月廿六日以ニ河内國大縣郡石神ー預ニ官社ニ[書紀]宣化天皇々女石姬 後爲ニ欽明后ー [志]太平寺村今稱ニ能野ー

常世岐姬神社

[三實]貞觀九年二月廿六日以ニ河内國大縣郡常世岐姬神預ニ官社ニ[書紀]神代紀 岐神[和鈔]岐神和名布奈止乃加美[志]在ニ神宮寺村ー今稱ニ八王子ニ[姓氏]河内國諸蕃常世連燕國王公孫淵○又右京諸蕃道祖史出レ自ニ百濟國王族許里公之後ー也

高安郡十座 大四座小六座

恩智神社二座 並名神大月次相嘗新嘗

[文實]嘉祥三年冬十月乙巳朔辛亥河内國恩智大御食津彦命神恩智大御食津姬命神等並正三位[三實]貞觀元年正月奉レ授ニ正三位勳六等恩智大御食津比古神恩智大食津比咩神並從二位ニ[志]在ニ恩智山ー○今在ニ恩智村ニ[姓氏]恩智神主高魂命兒伊久魂命之後也○相傳中臣大御食津臣命ナリ[殘風土記]

都夫久美神社

[姓氏]河内神別積組造子麻志麻治命之後也[和鈔]津積[志]在ニ水越村中ノ杜ー

天照大神高座神社二座 並大月次新嘗號ニ春日戸神ー

〔文實〕天安二年二月己丑在二河内國一從五位下伯太彦伯太姫神並預二官社一〔河内志〕在二玉手村一〔續紀〕神護景雲四年三月歌垣ノ歌「布智毛世毛伎與久佐夜氣志波可多我波知止世乎萬知天須賣流可波可母」○博多川

伯太姫神社 鍬

〔志〕河内志 在二圓明村一今稱二白山一前ノ伯太彦神社ノ下ニ云フ

大縣郡十一座 並小

天湯川田神社

〔姓氏〕河内神別鳥取 角凝魂神三世孫天湯河桁命之後也〔和鈔〕大縣郡鳥取〔志〕高井田西

宿奈川田神社

〔舊事紀〕天少彦命鳥取連等祖〔姓氏〕角凝魂神四世孫天川田奈○出雲國神魂子角凝魂神社〔志〕在二高井田村東南一乃北片山村故墟土人稱二白坂明神一○信友按天湯川田、宿奈川田、互ニヨシアル神ナルベシ引證考合シテナホヨク考ベキ也二神ノ御名天湯ト宿奈ト對ヘテ考ベシ田川ハトモニ同意ナルベシ

金山孫神社

〔古事記〕伊弉冊尊生神金山毗古神次金山毗賣神○美濃國不破郡仲山彦神社今南宮ト申スハコレ也（文實）二ニ越前國金山彦神トアルハ此レカ（傳）五ノ五十七丁○金山毗古神名義ハ枯惱シ也云々（傳）五ノ十七丁○孫ハ（續後紀）我孫國人ツノ（式）尾張國愛智郡孫若御子神社（和鈔）三河國寶飫郡赤孫（萬葉）十八丁廿七孫枝蘖（ヒコバエ）ノ略ナリ〔志〕舊在二青谷村山上一老松一株猶存今移二山下一

金山孫女神社

〔志〕一本作二比女一○在二雁田尾畑村一今稱二山王一

鐸比古神社

〔志〕在二大縣村一今稱二春日一

鐸比賣神社

〔志〕在二法善寺村高尾山頂一今稱二比賣御前一傍有二

○信友云高安郡鴨習太溢川郡鴨高太神社

古市郡（フルチノ）二座（並小）

利鴈（トカリノ）神社

「書紀」推古紀　河內國作二戸苅池一○在二西坂田村戸苅一今稱二王宮一

高屋（タカヤノ）神社

「姓氏」河內皇別　高屋連「續紀」慶雲元年河內國古市郡人高麗連藥○在二古市古屋敷邑一今稱二山王一○一說在二高屋村一

安宿郡（アスカヘ）五座（大三坐小二坐）

杜本（モリモトノ）神社二座（並名神大月次新嘗）

「三實」貞觀元年正月廿七日從五位下杜本神正四位下○同七月十四日丁卯遣二使諸社一奉二神寶幣帛一信友云上文ノ中ニ少納言兼侍從從五位下良峯朝臣經世爲二杜本社使一補史料卷四云「公事根源抄」云杜本祭四月十一月上申日河內國に侍る神社に午日使たつ仁和五年四月に祭は始るなり「諸社根元記」云杜本祭文德仁壽三癸酉公家遣二內藏寮使一令レ供二奉事一祭自二此時一始レ之或云仁和五二始レ之午日使立按本書或說得之二宜レ作レ四「諸神本懷」延喜九年七月官符以二一寮御馬一互供二杜本當宗兩社祭一申日杜本酉日當宗件社相去不レ遠云々信友云（諸神記）中五五丁ウ考フベシ「河內志」杜本神社在二古市郡駒谷村一二座稱二山神一一座稱二水神一（式）屬二安宿郡一「公事根源」仁和五年四月始行二祭禮一

飛鳥戶（アスカベノ）神社（名神大月次新嘗）

「三實」貞觀元年八月十三日河內國無位飛鳥戶神正四位下○同二年十月十五日正四位下飛鳥戶神列二官社一「續後紀」承和六年御春宿禰春長改二宿禰一賜二朝臣一是百濟王之種飛鳥戶等之後也「三實」元慶四年九月廿九日庚戌河內國飛鳥戶神社賜二田一町一以充二春秋祭禮之費一緣二氏人百濟宿禰有雄御春朝臣有世等之請一也○信友云上文ニヨルニ百濟王某ヲ祭レル姓ナリ「姓氏」下ノ十四オ廿七ウ廿八オ　飛鳥戶造出レ自二百濟國主比有王ノ男混伎王之後一也「河內志」在二古市郡飛鳥村一（式）屬二安宿郡一

伯太彥（ハクタヒコノ）神社（鍬）

分神正五位下一○同十六年三月十四日授二正五位上建水分神從四位下一○元慶三年九月廿五日授二從四位下建水分神從四位上一○今在二水分村一[河内志]延元二年丁丑四月廿七日授二正一位一有レ額題云正一位建水分神社其背面云延元二年丁丑四月廿七日勅授二位記一五年庚辰四月八日左衛門少尉楠正行書○[三實]二一ニ安藝國ニ水分ノ天神ト云フアリ又丹後與謝郡籠神社ハ天ノ水分神ナリト云又(古今六帖)片戀ノ題ノ歌ドモニみこもりの神ト多クヨミ清少納言ノ册子ニ神ハト云中ニモみこもりの神アリコレラモ水分(ミクマリ)ノヲ訛ル名カ吉野ナルヲモ後ノ世ニハシカ云也(傳)五ノ四十一丁○攝津國住吉郡天水分豐浦命神社(新年祭祝詞)(月次祭祠)(神名式)大和國吉野郡宇陀郡山邊郡葛上郡ナドニモオノ〳〵水分神アリ

大祁於賀美神社(オホケヲカミノ)(祁 オホイ)

[書紀]高龗(オカミ)神代紀[河内志]在二古市郡大黒村一今稱二山王一(式)屬二石川郡一

美具久留御玉神社(ミクヽルミタマノ)

[書紀]崇神紀山川之水泳御魂(ミクヽリノミタマ)[河内志]美具久留御玉神嘉祥三年十二月授二從五位上一在二喜志村和爾池西一一名和爾神社今稱二下水分祠一有二元龜天正年間告牓一○水分神歟

佐備神社(サビノ)

[舊事紀]天忍日命亦曰二神狹日命一○在二左備村一上梁文曰河内國石川郡東條佐備鄕高園宮文安元年十二月廿三日重修[和鈔]佐備

咸古佐備神社(カンコサビノ)(咸 イ)

○咸古神社上ニアリ

壹須何神社(イスカノ)

[三實]元慶元年十二月廿七日ノ下ニ武内宿禰男宗我石川生二河内國石川別業一故以二石川一爲レ名○壹須何神社在二一須何村一天正中祭祀日記○今俗曰二市河明神一今在二甘南備村一

鴨習太神社(カモナラヒタノ)(習 羽イ)

迎ニ宇佐八幡神於平群郡一即此

補遺

河內神

［紀略］天慶三年九月四日奉レ贈ニ大和國正五位上河內神從四位下一

石成神

［續紀］九卅三ォ神龜三年七月乙未遣レ使奉ニ幣帛於石成葛木住吉賀茂等神社一［續後紀］八十一ォ承和六年四月壬申此日發ニ遣雩使等於山城國宇治綴喜大和國石成須知等社一［和名］大和國山邊郡石成以之奈利

須知社見レ上

神名帳考證　四

延喜式卷第九之四　畿內第三

河內國一百十三座

大廿三座並月次新嘗就中八座預ニ相嘗（祭一イ）

小九十座並官幣

石川郡九座並小

咸古（カンコノ）神社鍬靫

［姓氏］河內皇別紺口縣主神八井耳命之後也［和鈔］紺口［河內志］在ニ龍泉村一○咸古佐備神社下ニアリ

科長（シナガノ）神社

［書紀］級長戶邊命亦級長津命○在ニ山田村一稱ニ八社大明神一

建水分（タケミコマリノ）神社

［三實］貞觀五年八月二日授ニ河內國從五位上建水

〔三實〕元慶二年二月廿七日授二大和國大仁保神從五位下一〔志〕在二高市郡入谷村一今稱二春日一

法華寺薦枕高御產柄神　火雷神

〔三實〕元慶三年六月八日丁卯授二法華寺正三位薦枕高御產柄日神從二位從三位火雷神正三位一〔玉海〕治承二年十一月春日使ノ條ニ鑄鈍岡ノ事ヲ自二法華寺ノ鳥居一一町許北行路西邊岸上也トアル鳥居ハコノ神社ノ鳥居ナルベシナホモノニ考合スベシ

統神

〔三實〕元慶五年十月廿二日授二大和國正六位上統神從五位下一〔志〕在二須惠村一今稱二八幡一

子島神

〔三實〕元慶五年十一月十四日大和國正六位上子島神從五位下〔志〕在二高市郡小島一今稱二春日一

散吉大建命神　散吉伊能城神

〔三實〕元慶七年十二月二日大和國正六位上散吉大建命神散吉伊能城神從五位下

當宗

〔色葉字類抄〕諸社式外ニ當宗マサムネ在二大和一光孝天皇御宇始有レ祭

瀧倉明神 藏今昔

補〔長谷寺假字緣起〕上三右 泊瀨河上に瀧藏の社を脇にして天人所造の毘沙門天王います云々○以上補文

○〔符宣抄〕太政官符神祇官從五位上瀧倉明神坐大和國今奉レ授二從四位下一延喜廿年十一月□日下　補〔紀略〕天慶三年九月四日奉レ贈二大和國瀧倉神正二位一案瀧倉上某位脫〔古本今昔十九〕廿二段「長谷ノ奥ニ瀧藏ト申ス神在ス其社ノ前ニ檜合セニ三間ノ檜皮葺ノ屋有リ社ノ方ハ山ナレバ高キ所ニ立テ前ノ方ハ谷ニ柱ヲ長ク繼テ立タリ其谷道遙ニ深クシテ見下セバ目轉タリ云々

八幡

〔志〕添下郡高山村八幡神祠天平感寶元年十二月

〔紀〕イツモタケル〇今在二石上社南門中一

式外舊社

都郡(那貞觀本)木神

〔文實〕仁壽二年七月辛卯以二大和國都郡木神一列二於官社一〇按宇陀郡都賀那木神社乎

天玉敷神　豐日神

〔三實〕貞觀五年十月六日大和國正六位上天玉敷神豐日神授二從五位下一

田中神

〔三實〕貞觀七年四月廿五日授二大和國無位田中神從五位下一〔志〕田中神社在二添下郡田中村一今稱二甲斐明神一田中森名所也

武雷神　保沼神

〔三實〕貞觀七年十月九日大和國正六位上武雷神保沼神從五位下〇九年八月十六日大和國武雷神保沼神從五位上〇信友云保沼神ハ式內廣瀨郡穗雷命

神皇產靈神

〔三實〕貞觀八年三月二日授二大和國從五位下神皇產靈神正五位下一

馬立伊勢部田中神

〔三實〕貞觀九年正月廿五日授二大和國正六位上馬立伊勢部田中神從五位下一〔志〕在二高市郡一昔在二和田村一後遷二田中村界一今稱二八幡一

高生神

〔三實〕貞觀九年四月廿三日大和國正六位上高生神從五位下

朝日豐明姬　拔田神

〔三實〕貞觀十一年九月廿八日大和國正六位上朝日豐明姬拔田神並從五位下

大仁保神

社器仗於山城國葛野郡ㇾ○同廿四年石上神靈咎祟リ玉フニヨリテ二月件ノ器仗ヲ返ニ納於石上神宮ㇾ詔曰天皇御命爾坐石上乃天神爾申給波久大神乃宮爾收有志器仗乎京都遠久成奴流爾依氏近處爾令治牟止爲氏奈母去年此爾運收有流然爾比來之間御體如ㇾ常不ㇾ御坐ㇾ有流大御夢爾覺志坐爾依氏大神乃願坐之任爾本社爾返收氏之無ㇾ驚久無ㇾ咎久平久安可ニ御坐ㇾ止奈母念志食云々「文實」嘉祥三年冬十月辛亥進ニ大和國石上神ㇾ授ニ正三位ㇾ「三實」貞觀元年正月廿七日勳六等石上神正三位此位階可ㇾ考○同九年三月十日進ニ大和國從一位勳六等石上神階ㇾ加ニ正一位ㇾ「和鈔」石上伊曾乃加美○信友云當社ノ論ノ事又伴佐伯ノ二殿アル事（記傳）ニ見ユ

都祁水分神社 大月次新嘗

「三實」貞觀元年正月廿七日都祁水分神正五位下

「和鈔」都介

山邊御縣坐神社 大月次新嘗

「三實」貞觀元年正月廿七日從五位下山邊御縣神從五位上「舊事紀」建麻利尼命山邊縣主等祖

白堤神社

「姓氏」大和神別白堤首天櫛玉命八世孫大熊命後也「用明紀」有ニ白堤ㇾ者○異本ニ堤作ㇾ提蓋非也松下氏論ニ辨之ㇾ

夜都伎神社

○信友云十市郡ニ屋就神命神社アリ

都祁山口神社 大月次新嘗

「三實」貞觀元年正月廿七日都祁山口神正五位下○山口村

祝田神社

○入田村

石上市神社

下部神社

出雲建雄神社

姫皇子命神社
小杜(社イ)神命神社
屋就神命神社已上四神大社皇子神
○百木按大社ハ太社歟卅二丁左可レ考コノ事皇子神命神社
ノ下ニイヘリ○信友云山邊郡ニ夜都伎神社アリ
下居(井イ)神社
[文實]天安元年八月乙丑朔在ニ大和國一從五位下椋
橋下居神授ニ從五位上一[姓氏]下家連彦八井耳命之
後也○與多座社可ニ合考一今下居村多武峯東口也椋
橋村邊也

山邊郡十三座大七座小六座

大和坐大國魂神社三座並名神大月次相嘗新嘗
[文實]嘉祥三年冬十月乙巳朔進ニ大和國大和坐大
國魂神階一授ニ從二位一[三實]貞觀元年正月廿七日
大和大國魂神正三位位階可レ考[舊事紀]大年神娶ニ伊怒
姫一爲レ妻生ニ兒大國御魂神一大和神也[崇神紀]六年先レ是
天照大神和大國魂二神並祭ニ於天皇大殿之內一然畏ニ
其神勢一共住不レ安云々以ニ大日本大國魂神一託ニ渟名
城入姫命一祭[中右記]永久六年六月軒廊御卜是大
和國大和社去二月九日戌刻俄有レ火寶殿三宇並御
正體燒亡也○今曰ニ三座一大國魂神大歲神須沼比神
[和鈔]城上郡大和於保夜末止○信友云新泉村ニアリテ
大和大明神ト申ス(持統紀)六年五月庚午奉ニ幣于
四所一伊勢大倭住吉紀伊大神也トアル大倭ハ當社
也(記傳)十二ニ三十二丁(大倭社注進狀)可ニ考合一[補]
[大倭社注進狀]云新國史曰寬平九年冬十二月壬寅
朔申辰奉レ授ニ五畿七道諸神三百四十社各位一階一
官符云大和國大和大國魂神奉レ授ニ正一位一云々
石上坐布留(都イ)御魂神社名神大月次相嘗新嘗
○信友云一本都備前國赤坂郡ノ神名モ同ジ[舊事
紀]天尾羽張神兒健甕槌之男神亦名建布都神亦名
豐布都命磯城瑞籬宮御宇建布都大神社於ニ大倭國
山邊郡石上邑一石上神社又云天尾羽張神兒建甕槌
之男神今坐ニ常陸國鹿島大神一卽石上布都大神是也
[日本紀略]延曆廿三年二月庚戌運ニ收大和國石上

縁起」即ニ天皇位ニ田村帝ヲサシテ云十一年歳次己亥春二月於ニ百濟川側ニ子部社乎切排而院寺家建ニ九重塔ニ入ニ賜三百戸封ニ號曰ニ百濟大寺ニ此時神怨失レ火燒ニ破九重塔並金堂石鴟尾ニ云々○信友按此縁起ノ首ニ大安寺三綱言上云々トアリテ奏上ノ稿ナリ(三實)元慶ノ文ハ此言上ニヨリテ記サシタルナルベシ

畝尾都多本神社 靫鍬

[舊事紀]坐ニ香山之畝火丘樹本ニ所レ居之神號曰ニ啼澤女神ニ[萬葉]二、哭澤之神社尒三輪須惠雖禱祈我王者高日所知奴

天香山坐櫛眞ノ命神社 大月次新嘗元名大麻呂井天和神 大麻等乃知イ

○信友按元名大麻呂井天和トアルハ誤リ也異本ノ注ニヨリテ大麻等乃知ト改メ訓ベシ(三實)ニ天香山大麻等野知神ト記サレ武藏國多摩郡大麻止乃豆乃天神社トアルヲ(殘風土記)ニ大麻止乃智天神トアルニ考ヘ證スベシ又按京中坐神ノ中ニ久慈眞知命神アリ此御名モ櫛眞知命トアリシヲ知ノ字ヲ脫セシカ(釋紀)ニモ知ノ字ナシサテ元名大麻呂井天和神社マタ(帳)ノ異本ニ大麻等乃和神トアリ古クヨリ誤字アリシナリ[釋紀]龜兆傳曰天按當レ作レ櫛持神女住天香山龜津比女命今稱ニ天津詔戸太詔戸命ニ

○香山ノ北ノ麓ニアリ

補春村按大麻呂井天和ノ天和ハ之知ノ誤字ニテ大圓居ノ津歟又古本ニハ大麻等乃知トアルヲミレバ本書ハ誤字ニテ大眞門ノ津歟埴安ノ池邊ニ座ス神ナドニテカクハ名ニ負タマヘル歟知ヲツト訓ムベキヨシハ武藏國多摩郡大麻止乃豆乃天神社ノ條ニ云フヲ併セミテサトルベシ

[三實]貞觀元年正月廿七日天香山大麻等野知神從五位上

皇子神命神社

○信友云一本ニ大麻等乃皇子神命神社トアリ又異本モ大麻等乃知トアリ知ノ字可レ補歟サテ百木ノ考ニ皇子神命ノ上ニ大麻等乃トアルハ此四字注ノ下カ異本ニアルヲ頭書ニセルガ混ヒテ入タル也已上四神云々太ノ神ノ皇子神ナルベキ事明也ト云ヘリナホ考ベキナリ

元年正月廿七日石寸山口神正五位下[仙覺萬葉抄]引ニ(常陸風土記)ノ曰石村玉穂宮大八洲所馭天皇云云春村云已下仙覺抄ニヘズ復磐余池邊雙槻用明天皇御宇都[續紀]石村池邊宮御宇云々[萬葉]石村點ニイハムラノ非也當レ訓ニイハレノ磐余玉穂宮繼體天皇之都城也[神武紀]訓レ村曰ニアレノ

畝尾坐健土安神社 大月次新嘗

[三實]貞觀元年正月廿七日授ニ畝尾坐健土安神從五位上ニ[神代紀]土神號ニ埴安神ニ[神武紀]己未年二月云々號ニ取レ土之處ニ曰ニ埴安ニ[舊事紀]香山之畝尾丘[崇神紀]武埴安彦

耳成山口神社 大月次新嘗

[三實]貞觀元年正月廿七日耳成山口神從五位下○今俗曰ニ天神山ニ稱ニ其天神ニ者山口神乎

竹田神社

[姓氏]竹田川邊連火明命五世之後也仁德天皇御世大和國十市郡刑坂川之邊有ニ竹田神社ニ因以爲ニ氏神ニ同居ニ住焉ニ緣竹大美供ニ奢竹ニ因レ茲賜ニ竹田川邊連ニ○今曰ニ竹田村ニ

坂門神社 鍬靫

○信友云(和鈔)平群郡ニ坂門アリ(萬葉)鳥綱張坂手乎過云々○今爲ニ城下郡ニ○尾張國坂手神社在ニ坂田村ニ丹波國福大神社按坂門福田稻靈魂也○淸主考景行五十七年造ニ坂手池ニ是時祀乎今中村有ニ春日社ニ○吉從云(萬葉)十六十六丁オ兒部女王嗤歌坂門等之云々左注ニ有娘子姓尺度氏也トアリ次ナル子部神社ヲモ思合ベシ

子部神社二座

[三實]貞觀元年正月廿七日授ニ子部神從五位上ニ[姓氏]子部火明命三世孫建刀米命之後也[三實]元慶四年十月廿日大安寺三綱申牒偁昔日聖德太子創建ニ平群郡熊凝道場ニ飛鳥岡本天皇遷ニ建十市郡百濟川邊ニ云々號曰ニ百濟大寺ニ子部大神在ニ寺近側ニ含レ怨屢燒ニ堂塔ニ天武天皇遷ニ立高市郡夜部村ニ號ニ高市大官寺ニ[天武紀]兒部連賜ニ宿禰ニ[大安寺天平

石都倭居命

波多瓱井神社（大月次新嘗）

「三實」貞觀元年正月廿七日波多瓱井神從五位上

「續紀」廿九　大和國大神波多公石持「姓氏」波多門部神魂命之後也「志」羽田村今稱ニ天照大神一

久米御縣神社三座

「古事記」天津久米命此者久米直等之祖也「和鈔」久米「神武紀」使ニ大來目居ニ于畝傍山一以ニ西川邊之地一今號ニ來目邑一此其緣也「志」久米村今稱ニ天神一

氣吹雷響雷吉野大國栖御魂神社二座（並名神大月次新嘗）

「三實」貞觀元年七月五日大和國從五位下氣吹雷神從五位下響雷神並列ニ官社一○今飛鳥川東有ニ雷村雷岡九頭明神社一九頭者國栖之訛也「志」雷土村今稱ニ八王子一　信友云高市郡雷土村ニアリ

十市郡十九座（大十一座　小八座）

多坐彌志理都比古神社二座（並名神大月次相嘗新嘗）

「三實」貞觀元年正月廿七日多坐彌志理都比古神正二位「舊事紀」神八井耳命多臣始祖也「臨時祭式」多坐神社或號ニ太社一「和鈔」飫富オホ○今多ノ社九品寺村ノ艮九町許八木村ノ北一里許

十市御縣坐神社（大月次新嘗）

「三實」貞觀元年正月廿七日十市御縣坐神從五位上「大系圖」中原本姓十市宿禰安寧天皇子磯城津命之後也

目原坐高御魂ノ神社二座（並大月次新嘗）

「三實」貞觀元年正月廿七日目原坐高御魂神從五位上

石寸山口神社（大月次新嘗）

○信友云一本並（三實）（萬葉）共ニ石村ニ作ル○鈴屋翁云（臨時祭式）ニ石根トアルモ石村ヲ誤リタル也（三實）二十六丁石寸同三十丁石村トアリ「三實」貞觀

〔志〕在所未レ詳

波多神社 鍬靫

〔和鈔〕波多〇在二畑村一〇（日本紀）（古事記）有二波多臣數人一（姓氏）有二波多造一〔志〕在二冬野村一今稱二氣多祠一

御歳神社 鍬靫

〔文實〕仁壽二年四月丁酉朔庚申加二大和國御歳神從二位一〇同年十月癸亥朔甲子加二大和國御歳神正二位一〔三實〕貞觀八年二月十三日己未神祇官奏言大和國三歳神舊無二神主一而新置レ之致二祟咎一實由レ此仍更停焉〔舊事紀〕大年神娶二賀用姬一生二子御年神一〔古語拾遺〕神代大地主神營田之日以二牛宍一食二田人一于時御歳神發レ怒云々是今神祇官以二白猪白馬白鷄一祭二御歳神一之緣也〔志〕在所未レ詳

於美阿志神社

〇信友云（和鈔）檜於賣阿志又古比〔續紀〕卅二寶龜三年四月庚午坂上大忌寸苅田麻呂等言以二檜前忌寸一任二大和國高市郡司一元由者先祖阿智使主輕島豐明宮馭宇天皇御世率二十七縣人夫一歸化詔賜二高市郡檜前村一而居焉凡高市郡內者檜前忌寸及十七縣人夫滿レ地而居他姓者十而一二焉〇今鷹取山北有二檜隈村一〔志〕檜前村〔和鈔〕檜前比乃久末

鳥坂神社二座 鍬靫

〔志〕鳥屋村東今稱二天照大神一

瀧本神社

〇今曰二秋本村一歟

許世都比古命神社

〔古事記〕許勢小柄宿禰許勢臣之祖〔志〕越村今稱二五老神一

天津石門別神社

〔三實〕貞觀五年二月十四日大和國從五位天津石門別稚姬神授二從五位上一〇同十七年三月廿九日授二正五位下天石戶別神從四位下一〔姓氏〕神魂命兒天

ル意ニヤサテ上ノ廿七丁右飛鳥神社四座ノ下ニ引タル官符ニ飛鳥神符天太玉臼瀧カヤナルヒメ四社トアリ本文ヨク見ベシ神名ハ三柱アゲテカク云ヘルハ飛鳥神ニ右三柱ヲ合セテ四座ト言ナルベシ（字類抄）ニ右ノ如ク此三座ヲ式外トイヘルハ後ニ此三社ヲ飛鳥神トハ別ナルガゴトクニナレル上ニテ式外ト云ヘルナルベシ但シ此三座ハ小キ社ニテヤオハシケンサテ帳ニ此三神アルハモトヨリ既ク列ニ祭ラレタリシ也中ニモ太玉命神社ハ四座トアリテ名神大月次新嘗ニ預リ給ヘリ

東大谷日女命神社（オホタニヒメノ）

○東當レ訓ニ夜麻止一謂ニ東漢文直一［姓氏］谷宿禰坂上大宿禰同祖

呉津孫神社（クレツヒコノ）

［姓氏］牟佐呉公呉國王子靑清王之後也［雄略紀］身狹村主靑等將ニ呉所レ獻手末才伎漢織呉織及衣縫兄媛弟媛等一安ニ置呉人於檜隈野一因名ニ呉原一○今土佐與ニ鷹（本ノマヽ）取交一有下稱ニ栗原一之地上呉原之誤乎［志］栗原村今稱ニ下ノ宮一

川俣神社三座（カハマタノ）　並大月次新嘗

［三實］貞觀元年正月廿七日川俣神社授ニ從五位上一○同六年五月正五位下［姓氏］大和皇別川俣公彥坐命之後也　今鎌田村川俣之誤屬ニ葛上郡一［志］在ニ雲梯村一今稱ニ川俣八王子一

氣都和既神社（ケヅノワキノ）

［姓氏］眞神田曾禰連伊我香色乎命ノ男氣津別命之後也［萬葉］明日香乃眞神之原○在ニ上村茂古森一○（舒明紀）ニ境部臣摩理勢大臣蝦夷ニ背テ父子共ニ殺サル其長子毛津逃テ畝傍山ニ隱ル因テ山ヲ探ル毛津遁ル所無シテ自殺ス時人歌テ云其中ニ氣菟能和區呉能云々トアリ毛津ノ若子ナリ此毛津ガ靈ヲ宥ムトテ之ヲ祭ル是氣都和既神社ナリ氣都和既ハ毛津若子ノ屬也契冲ガ說ナリ○信友云（秘釋）ニ氣津トアリ

大歲神社二座（オホトシノ）

五位上ニ［姓氏］輕我孫公治田連同祖彦今簀命之後也［志］今輕大道西在ニ天神社一是乎○池尻ノ屬輕子邑

天高市神社（アメノタケイチノ）大月次新嘗

［三實］貞觀元年正月廿七日授ニ大和國天高市神從五位上ニ［古事記］天津日子根命高市縣主祖也［志］曾我神社南今稱ニ高市八幡一相傳神代八百萬神會ニ合于天高市一卽此

治田神社（ハルタノ）鍬靫

［姓氏］治田連彦坐命之後也［志］岡村今稱ニ八幡一

太玉命神社四座（フトタマノ）並大月次新嘗

○信友云（名神祭式）ニ名神大トアリアル方是ナリ［三實］貞觀元年正月廿七日授ニ大和國太玉命神從五位上ニ○太玉命大宮賣命豐磐間戸命櫛磐間戸命今在ニ忌部村ニ［豐受大神宮儀式帳］神祇官大史忌部飛鳥田首野守○信友云カヤナルミウスタキ神社ト可ニ見合一

櫛玉命神社四座（クシタマノ）並大月次新嘗

○信友云異本ニ並名神大トアリ［三實］貞觀元年正月廿七日授ニ大和國櫛玉神從五位上ニ［古語拾遺］太玉命所レ率神名櫛明玉命［志］眞弓村今稱ニ八幡一

加夜奈留美命神社（カヤナルミノ）

［三實］貞觀元年正月廿七日授ニ大和國賀夜奈流美神正四位下ニ［出雲神賀詞］大穴持命己命乃御子云云賀夜奈流美命乃御魂乎飛鳥乃神奈備爾坐天皇孫命乃近守神登貢置云々［志］栢森（カヤノモリ）村今稱ニ葛神（クズカミ）一○信友云次ナルウスタキヒメノ神社ト見合ベシ

飛鳥川上坐宇須多伎比賣命神社（アスカカハカミ）

［類聚三代格］飛鳥神之裔天太玉臼瀧加夜鳴比女云云○信友云上ナル廿七丁右飛鳥坐神社條又加夜奈留美神社條見合ベシ又按（伊呂波字類抄）阿部諸社ノ條式外神社ニ飛鳥神アスカノカミ坐大和國天太玉ノ臼瀧賀屋鳴比女トアルハ加夜奈留美命ト宇須多伎比賣トヲ合セマツリタル由也按ニ賀夜奈流美命ハ抄ニ比女トアルニテ女神ナル事決シ相照シテ按フニ賀夜奈留美ノ美ハ女ノ義ニテ加夜奈留女ト稱セ

甘樫坐神社四座並大月次新嘗

〔三實〕貞觀元年正月廿七日授二大和國甘樫神從五位上一〔古事記〕男淺津間若子宿禰天皇愁二天下氏々名々人等之氏姓忤過一而於二味白檮之言八十禍津日前一居二玖訶瓮一而定二賜天下之八十友諸氏姓一也〔書紀〕允恭紀味橿丘之辭禍戸碑坐二探湯瓮一〔名所記〕玉林抄曰甘橿丘豐浦寺　東橘寺之北○豐浦村今稱二推古天皇一○信友云（四時祭式）ニ相嘗新嘗トアリ

稻代坐神社大月次新嘗

〔三實〕貞觀元年　正月廿七日稔代神從五位上○在レ所未レ詳或曰在二常門寺村一今打鳥祠是大和志

牟佐坐神社大月次新嘗

〔三實〕貞觀元年　正月廿七日授二大和國從五位下牟佐坐神從五位上一〔書紀〕天武紀牟佐社所居名生雷神者也釋紀靈神〔諸陵式〕身狹○三瀨村今稱二境原天神一

畝火山口坐神社大月次新嘗

〔三實〕貞觀元年正月廿七日畝火山口神正五位下○今畝火山稱二神功社一疑山口神社歟○昔在二畝火山腹一今遷二山頂一有二石灯爐一勒云文明十六年造〔頓阿自筆神名帳〕宇禰美大明神トアルコレ歟信友

高市御縣神社名神大月次新嘗

〔三實〕貞觀元年正月廿七日大和國高市御縣神從五位上〔姓氏〕高市縣主天津彥根命十二世孫建許呂命之後也〔志〕在二四條村一今稱二高縣社一〔書紀〕天武紀高市郡大領縣主許梅倏忽口閉而不レ能レ言也

巨勢山坐石椋孫神社

〔志〕鳥屋村東南稱二巨勢春日一〔和鈔〕巨勢

鷺栖神社靫

〔古事記〕鷺巣池〔志〕四分村今稱二鷺栖八幡一

輕樹村坐神社二座並大月次新嘗

〔和鈔〕樾ハ寮要曰木枝相交下陰曰レ樾和名古無良

〔三實〕貞觀元年正月廿七日授二大和國輕樹村神從

賀」事代主命能御魂乎宇奈提留坐「和鈔」雲梯宇奈提「萬葉」眞鳥住卯名千之神社○今在ニ雲梯村ニ○高殿村ニアリ今稱ニ大宮ニ又名ニ鴨(カモノ)公森ニ「書紀」天武紀元年神託高市郡大領高市縣主許梅言云々可ニ參考ニ「古事記傳」十一六十五ウ神南備神社コレ也

飛鳥(アスカ)坐神社四座 並名神大月次相嘗新嘗

「類聚三代格」貞觀十六年六月廿八日太政官符應下以ニ大社封戸ニ修中理小社上事其祖神則貴而有レ封其裔神則微而無レ封假令飛鳥神之裔天太玉臼瀧賀屋鳴比女四社（信友云三社ナルベキチカクアルハ説アリ次（三十丁右）加夜奈留美命神社ノ條ニイフ）此等類是也○貞觀十六年格(逸史)三十卷可レ考○按天太玉命者高皇産靈命之子也賀屋奈流美神神賀詞曰大穴持命之子也由レ之見レ之飛鳥神者高皇産靈命大己貴命也明矣(姓氏)飛鳥直天事代主命之後也上載ニ高市社ニ亦曰ニ甘南備飛鳥社ニ此社亦從ニ祀事代主命ニ乎其一座未レ考今社司曰四座事代主命建御名方命高照姫命下照姫命也此説與ニ格文ニ不レ合恐非乎「日本紀略」天長六年三月己丑大和國高市郡賀美郷甘南備山飛鳥社遷ニ於同郡同郷鳥形山ニ依ニ神託宣ニ也

（信友云(延喜式)ノ出來タル延長五年ヨリ九十餘年前ノ事也）(大和志)ニコレヲ以次ノ飛鳥山口坐神社ノ事トス(式祝詞)山口坐皇神等能前爾白久飛鳥石寸忍坂長谷畝火耳無登御名者白天云々(和鈔)賀美今在ニ飛鳥村ニ飛鳥村四座合殿小祠五十餘前又酒殿在ニ岡村在上方ニ○信友云卅丁太玉カヤナルミウスタキノ社アリ其條見合ベシ又(神壽後釋)五十五丁ウニイヅ

宗我(ソガ)坐宗我都比古神社二座 並大月次新嘗

「三實」貞觀元年正月廿七日宗我都日古神從五位上○同六年六月十六日授ニ大和國從五位上宗我都日子神正五位下ニ「古事記」蘇我石河宿禰者蘇我臣等之祖也○今蘇我村蘇我河原○在ニ曾我村ニ北今稱ニ入鹿宮ニ

飛鳥山口(アスカノヤマグチ)坐神社 大月次新嘗

「三實」貞觀元年正月廿七日大和國飛鳥山口神正五位下○飛鳥村上方鳥形山「日本紀略」天長六年三月己丑大和高市郡賀美郷甘南備飛鳥社遷ニ於同郡同郷鳥形山ニ依ニ神託宣ニ也

服部神社二座 鍬靫

[姓氏]大和皇別 服部連 天御中主命十一世天御桙命之後也 ○大安寺村今稱ニ波都里神ト[和鈔]山邊郡ニ服部波止利アリ

富都神社 鍬靫

[書紀]五十瓊敷皇子作ニ太刀一千口ヲ藏ニ于忍坂邑ニ然後從ニ忍坂ニ移レ之藏ニ于石上神宮ニ ○富木村

糸井神社 鍬靫(一本)

○波伯部百木云(四時祭式)上ニ社三百七十五所注ニ云々三座各靫一口並見ニ神名帳ニトアリサテ靫一口ハ大和國宇陀郡椋本神社高市郡鷺栖神社ニテ今一座シレズ糸井神社鍬トアルヲ一本靫トアルヲ入テ三座トスル歟[姓氏]絲井造新羅國天日槍命之後也○結崎市場村

村屋神社二座

[書紀]天武紀村屋神著レ祝曰今自ニ吾社中道ニ軍衆將レ致故宜レ塞ニ社中道ニ ○按ニ三穗津姫命室屋大連公共高皇産靈尊後也(三實)大伴健持大連公子室屋大連兩按村與レ室語通○藏堂村屋邑○信友云(令集解)ノ相嘗祭ノ條ニ釋云大倭社大倭忌寸祭 宇那太利村屋住吉津守云々首卷□丁考ベシ

鏡作伊多神社

○鏡作ノ事前廿五丁左

鏡作麻氣神社

○小坂村今稱ニ春日ト

久須々美神社

○河内國久須々美神社○在所未レ詳

高市郡五十四座 大卅三座 小廿一座

高市御縣坐鴨事代主神社 大月次新嘗

[三實]貞觀元年正月廿七日從二位高市御縣鴨八重事代主神從一位[舊事紀]都味齒八重事代主神坐倭國高市郡高市社亦曰ニ甘南備飛鳥社ト[出雲國造神

城下郡十七座 大三座 小十四座

村屋坐彌富都比賣神社 大月次相嘗新嘗

「三實」貞觀元年正月廿七日從五位下村屋彌富都比賣神從五位上「書紀」神代卷下十三ウ 高皇產靈尊勅二大物主神一汝云々吾女三穗津姬配レ汝爲レ妻○今俗曰二森屋社一○一說藏堂村今稱二天王一○信友云筑前宗像神社條可二考合一

池坐朝霧黃幡比賣神社 大月次相嘗新嘗

「三實」貞觀元年正月廿七日池坐朝霧黃幡比賣神從五位上○法貴寺村今稱二天神一

鏡作坐天照御魂ノ神社 大月次新嘗

「三實」貞觀元年正月廿七日鏡作天照御魂神從五位上○天照御魂者鏡作連神火明命也(舊事紀)饒速日命十一世物部鍜冶師連公鏡作連等祖「和鈔」鏡作加々美部久利○伊豆國田方郡鏡作加々美豆久里○八尾村社旁有二鏡池一々今乾涸○信友云鏡作ノ地名天照神ノ魂ト申ニヨシアリ可レ考(文明ノ東大寺戒壇神明帳)ニ鏡作カン〳〵ツクリト假名ヲ付タリ

補春村按ニ「古本今昔」廿三十七段ニ大和國十市郡奄知ノ村ノ東ノ方ニ住人有ケリ家大キニ富ヌ姓ハ鏡造也」トアル郡ハタガヘド由緒アリゲ也

千代神社

「書紀」千敷神○今法貴寺邊有レ稱二齋宮之社一按道祖(和鈔)佐倍乃加美佐倍乃宮之訛乎

岐多志太神社二座 靱鍬

○在所未レ詳大和志

倭恩智神社 靱鍬

「古事記」天津日子根命倭淹知造等之祖也○今曰二海知村一此乎

比賣久波神社 靱鍬

「神名秘書」天八千々姬殖二桑葉於天香山一以二所レ蠶之御糸一織供二進御衣一今曰二檜牧村一此乎○一說唐院村今稱二子守一

祖也○今高冶明神在二松木山東一今移レ之在二谷村一
又安倍山二許町西在二膳部村一

宗像神社三座（並名神大月次）

○信友云月次新嘗ト一本ニアルヨロシ［三實］元慶四年三月廿七日以二大和國城上郡宗像神一預二官社一○同五年十月十六日太政官處分依レ請大和國城上郡從一位勳八等宗像神社准二筑前國本社一置二神主一以二高階眞人ノ氏人一爲レ之（類聚三代格）元慶五年十月十六日太政官符曰應下准二筑前國本社一置中從一位勳八等宗像大神社神主上事（坐二大和國城上郡登美山一）右得二氏人内藏權助從五位下高階眞人忠岑等解狀一偁件社坐二大和國城上郡登美山一依二太政官去年三月廿七日符旨一預二官社一訖自二從淨御原天皇（天武）御世一至二于當今一氏人等所レ奉神封並園地色數稍多高階眞人累代鱗次執二當社事一云々○寛平五年十月廿九日ノ太政官符ニ應レ充二行宗像神社修理料賤代傜丁一事云々（此文引ベシ）又同日忠岑ノ解狀ノ文中ニ唯筑前社有二封戸神田一大和社未レ預二封例一因レ玆忠岑等始祖太政大臣淨廣壹高市皇子命分二氏賤年輪物一令レ修二理神社一以爲二永例一云々須下依二貞觀十八年六月廿八日格一申中請祖神封物一以充上レ修理料一云々トアリ信友按ニ（年中行事秘抄）宗像祭ニ官幣不レ立氏人祭レ之寛平五年十月廿九日格云彼社氏人左少辨兼大學頭高階眞人忠岑等解狀偁件神坐二大和國城上郡一與下坐二筑前國宗像郡一從一位勳八等宗像大神上同神也舊紀云是天照大神之子也大神勅云汝三神降二居道中一奉レ助二天孫一爲二天孫一所二崇祭一者今國家每レ有二祈請一奉二幣件神一本緣也トモ見ユコノ官符ニ載セラレタル忠岑ノ解狀ハ上ニ擧タル元慶五年ノ度ニハアラズトミユ忠岑ノ官タガヘリサテ高市皇子ノ母ハ（紀）ニ胸方ノ德善女トアリ筑前胸形神ヲモテイツケル胷形君ノ緣ニヨリテ高市皇子ノ外戚ノ氏神トシテ祭リ玉ヘルヲ其御後ノ高階ノ氏人等ガ祖神トアガメタルナリ［舊事紀］須勢理姬命大三輪嫡后宗像同神也［補］山城式外ニ同社アリ

［書紀］雄略紀九年遣二凡河内直香賜（カタマフト）與二采女一祠二胸方神一按此時帝都ハ此郡長谷朝倉宮也所レ謂胸形神者當社歟詳見二于筑前宗像下一今外山村歟（外山者今登美山）稱二春日一［書紀］十二（六丁ウ）

曰大物主神或曰ニ菟田墨坂神ト［志］在所未レ詳

玉烈神社

○信友按古書ニ列ヲ烈ト作ルハ常也列ハナミ歟ツラ歟（内藏式）大神祭夏祭ノ中ニ緋帛一丈五尺玉列王子ノ幣料盛ニ筥一合ニトアリ大神ノ攝社トキコユ○慈恩寺村

伊射奈岐神社

［志］在所未レ詳或曰ニ柳木村三輪祠ト是也

綱越神社

［三實］貞觀元年正月廿七日無位綱越神從五位下○今云箸墓（崇神紀）倭迹々日百襲姫命爲ニ大物主神之妻ニ薨葬ニ大市ト號ニ箸墓ト運ニ大坂山石ト人相踵以手遞傳而運焉○三輪村南明神溝側

稔代神社

○信友按稔ヲ稔ト書ハ古書ニ多シ［三實］貞觀元年正月廿七日稔代神從五位上［續紀］十八御戸代田二町［祈年祭祝詞］皇神乃御刀代［志］在所未レ詳

穴師大兵主神社

［志］昔在ニ穴師村弓月嵩ト今遷ニ穴師神社ノ左ト

若櫻神社

［姓氏］若櫻部朝臣阿部朝臣同氏大彦命彦伊波我加利命之後也［書紀］履中紀三年有ニ稚櫻事ト可レ考○今在ニ十市郡櫻井ノ谷村ト稱ニ白山權現ト

堝倉神社

○駿河國那閇神社○初瀬堝倉村○信友云長谷ノ與喜ノ天神ノ社ノ山ノ上ニアリ今モ堝倉明神ト云フ

高屋安倍神社三座 並大月次新嘗

○信友云一本及（名神祭式）ニ並名神トアリ［文實］天安二年四月壬辰朔戊申在大和國從五位上高屋安倍神授ニ從四位下ト補［紀略］天慶三年九月四日奉レ贈ニ大和國正四位下高屋安倍神從三位ト○［書紀］孝元天皇立ニ欝色謎命ト爲ニ皇后ト生ニ大彦命ト阿部臣之

〔和鈔〕忍坂加於佐〔書紀〕崇神紀九年三月戊寅天皇夢云
云祠ニ墨坂神ニ亦以ニ黑盾八枚黑矛八竿ニ祠ニ大坂神ニ
四月己酉依ニ夢之教ニ祭ニ墨坂神大坂神ニ○忍坂與大
坂同○在ニ忍坂村ニ○信友云（和鈔）城上郡忍坂加於佐
葛上郡太坂トアリ忍坂ト大坂トハ別ナルベシ

長谷山口坐神社 大月次新嘗

〔三實〕貞觀元年正月廿七日長谷山口神正五位下○
今在ニ長谷町中ニ○一説初瀬村今稱ニ手力雄神祠ニ
見ニ初瀬寺縁起ニ〔和鈔〕長谷郷波都世

等彌神社

〔古事記〕邇藝速日命娶ニ登美毗古之妹登美夜毗賣ニ
〔姓氏〕登美連速日命孫伊香我色乎命之後也○今外
山村

殖栗神社

〔書紀〕用明紀其三曰ニ殖栗皇子ニ〔志〕在所未レ詳〔和
鈔〕山城久世郡殖栗郷

忍坂山口坐神社 大月次新嘗

〔三實〕貞觀元年正月廿七日忌坂山口神正五位下○
赤尾村今稱ニ天一神ニ

水口神社

〔舊事紀〕大水口宿禰命穗積臣等祖○澁谷村今稱ニ
天王ニ

桑内神社二座 鍬靫 社板本神名式

〔舊事紀〕建麻利尼命桑内連祖〔書紀〕天武紀十年九
月己亥桑内王卒ニ於私家ニ〔志〕在所未レ詳

秉田神社二座 鍬靫

〔頓阿自筆神名帳〕短田大明神トアルハコレ歟〔續
紀〕神護景雲二年二月大和國人大神引田公足人賜ニ
姓大神朝臣ニ〔和鈔〕辟田東田村乎〔書紀〕天武紀十三
年云々三輪引田君難波麻呂○在ニ白川村轟瀧上ニ今
稱ニ白山ニ

宇太依田神社

○宇陀郡神御子美牟須比命神社○〔書紀〕雄略記注

神社二座今廣峯社在ニ餝麻郡ニ是乎相傳山城國祇園社元自ニ廣峯ニ所ニ移來ニ也射楯素戔烏命帥ニ子五十猛神ニ到ニ於新羅國ニ五十猛與ニ射楯ニ言相ニ渉出雲國ニ韓國伊太氏神社是六壹岐島壹岐郡住吉神社兵主神社（舊事紀）曰素戔烏尊所レ知ニ海原ニ矣詔寄賜矣因ニ此言ニ以ニ素戔烏尊ニ配ニ享海童神ニ則兵主神者素戔烏尊也明矣是七○穴師村○首卷天王ノ條可ニ合考ニ

卷向（マキムク）坐若御魂神社 大月次相嘗新嘗

［三實］貞觀元年正月廿七日卷向坐若御魂神從五位上［書紀］火神云々稚產靈今穴師山南檜原稱ニ豐受火神ニ鎭座地是乎［大倭本紀］（釋日本紀）引用 天皇之始天降來之時共副護ニ齋鏡三面子鈴一合ニ云々一鏡及子鈴者天皇御食津神朝夕御食夜護日護齋奉天神今卷向穴師社宮所坐解祭大神也三輪山北卷向檜原

他田（ヲサタ）坐天照御魂神社 大月次相嘗新嘗

［三實］貞觀元年正月廿七日他田坐天照御魂神從五位上　志貴連天照饒速日命○大田村今稱ニ春日ニ

志貴御縣（シキノミアガタ）坐神社 大月次新嘗

［三實］貞觀元年正月廿七日志貴御縣神從五位上［姓氏］大和神別志貴速神饒速日命孫日子湯支命之後也○今長谷與喜山天神是乎與喜湯支語通誤稱歟○［書紀］神武紀 弟磯城名黑速爲ニ磯城縣主ニ○今金屋村稱ニ志貴宮ニ

狹井（サヰ）坐大神荒魂神社五座 鍬靫

［神祇令義解］鎭華祭謂ニ大神狹井二祭ニ也在ニ春華飛散ニ必有ニ此祭ニ故曰ニ鎭華ニ○今在ニ三輪社北二町許ニ○一說在ニ三輪大神社北狹井川南ニ今稱ニ花鎭（ケチン）狹井神社ニ［令集解］釋云大神之狹井二處祭ニ大神ニ者祝部請ニ受神祇官幣帛ニ祭レ之狹井者大神之麁御靈也此祭レ之華散之時二神共散而行レ之疫已爲レ止ニ此疫ニ祭レ之也［志］古事記所レ謂伊須氣余理比賣命之家在ニ狹井河上ニ卽此

忍坂（ヲシサカ）坐生根（イクネノ）神社 大月次新嘗

［三實］貞觀元年正月廿七日忍坂山口神從五位上

大神社ニ則爲ニ大物主ニ無レ謂ニ大己貴ニ（日本紀）大己貴躬披ニ瑞之八坂瓊ニ而長隱者矣此後無レ謂ニ大己貴ニ謂ニ大物主ニ可ニ注意ニ又高皇産靈尊詔ニ大物主神ニ以ニ女三穗津姫命ニ配爲レ妻城上郡ノ首ニ載ニ大神大物主神社ニ城下郡ノ首ニ載ニ村屋坐彌富都比賣神社ニ［　記］長保二年七月廿三日戊子奉ニ幣廿一社ニ依ニ大神社寶殿鳴ニ也［和鈔］大神（於保無知）○信友云右ニ本知字和ニ作ル是也○社旁有ニ驗杉ニ株ニ老杉也（萬葉）「三輪ノ山フモト遠ノ横霞シルシノ杉ノコノナカクシソ」（信友按此歌萬葉ニ見アタラズ）○信友云當社ハ一ノ宮ナリ古ハ神殿アリシ證（古事記傳）廿三ノ（廿四丁ウ）ニアリ又（内藏式）ニ大神祭夏祭料云々日向王子玉列王子ノ幣料アリ日向玉列ノ二社當郡式社也大神ノ御子神ニヤサテソノ大神ノ祭料ノ中ニ忍冬花（スヒカツラ）ノ鬘盛ニ柳箱一合ニトアリコハ當社ニカギリタル品ナリ故アル事ナルベシ考ベシ○神主ノ事附考一（三右）載ス

神坐日向（ヒムカヒノ）神社（大月次新嘗）

［三實］貞觀元年正月廿七日坐日向神從五位上○今號ニ三輪若宮ニ［内藏式］大神祭夏祭料ノ中ニ緋帛二丈日向王子幣料盛ニ筥一合ニ［舊事紀］大神君祖天日方奇日方命［姓氏］大物主命兒櫛日方命○一説在ニ三輪山嶺ニ今稱ニ高宮ニ

穴師（アナシニス）坐兵主神社（名神大月次相嘗新嘗）

［三實］貞觀元年正月廿七日從五位下勳八等穴師兵主神正五位上○兵主神者謂ニ素戔烏尊ニ也諸神記以爲ニ八千矛神ニ而未レ爲ニ至當ニ通考（舊事紀）曰素盞烏尊乞ニ食物於大御食都姫神ニ矣云々因レ之考ニ神名帳ニ其證七也大和國城上郡穴師坐兵主神社上ニ載ニ大神大物主ニ下ニ載ニ卷向坐若御魂ニ（大倭本紀）（釋日本紀引用）曰御食津神今卷向穴師社所坐據ニ（舊事紀）文ニ一山兩地祭ニ素戔烏與ニ御食津神ニ（是一）同郡稔代神社穴師大兵主神社稔代ハ食神也是亦意同上非ニ八千矛神ニ也（是二）近江國野洲郡兵主神社今俗此兵主曰ニ閇會（ヘソ）ニ村天皇ノ社ニ世以ニ素戔烏命ニ稱ニ牛頭天皇ニ上民所レ傳可ニ亦證ニ焉（是三）同伊香郡兵主神社赤見神社赤見與ニ若御神ニ言通（是四）但馬國養父郡盈岡神社更杵村大兵主神社按盈ハ瑞也岡ハ若也隱岐國水若酢命神社已上二國祭祀意同ニ大和國ニ（是五）播磨國餝麻郡射楯（イタテ）兵主

「三實」貞觀九年八月十六日大和國從五位下樫生龍穴神正五位下信友云樫チ(字鏡)ニモ「ムロ」ト訓メリ○今在ニ室生山麓ニ補「紀略」延喜十年八月廿三日授ニ大和國龍穴神從四下ニ○「文選」吳都賦曰其荒阪譎詭則有ニ龍穴ニ云々劉曰湘東新平縣有ニ龍穴ニ穴中黑上天旱人々便共以レ水沾ニ此土ニ則暴雨應レ之常以レ此請レ雨也○室生村「室生山記」松下見林室生山龍穴事彼山有ニ三龍穴ニ云云龍穴之底ニ入リ十五丈ナリ有ニ五丈池ニ左右有レ穴左穴最方也此内有ニ石戸ニ廣三尺厚二寸以爲ニ戸扉ニ云云此內入ルコト七尺大岩有レ之後レ地一尺二寸上有ニ最方穴ニ廣一尺八寸高一丈五寸云々「和鈔」城下郡室原「符宣抄」左辨官下ニ興福寺ニ　應下轉ニ讀仁王般若經ニ祈中請甘雨上事　在炎旱方熾霈澤不レ降自レ非レ歸ニ佛神之冥助ニ何得レ期ニ稼穡之豐穰ニ左大臣宣奉レ勅宜下仰ニ彼寺ニ令下權少僧都定澄卒ニ淨行僧十口ニ差ニ遣室生山龍穴神社ニ始レ從ニ今月十八日辰二點ニ五箇日間殊致ニ精誠ニ轉ニ讀仁王般若經ニ祈中請甘雨上者寺宜ニ承知ニ依レ宣行レ之但供菜料米可ニ宛行ニ之由下ニ知當國ニ已畢事出ニ綸旨ニ不レ得ニ緩怠ニ　長保四年六月十五日大史小槻宿禰○同六年七月六日官符ニモ同前ノ事アリ萬壽二年七月十八日同前「埃囊抄」室生龍穴神社

都賀那木神社

「書紀」應神紀　二十年倭漢直祖阿知使主其子都加使主來歸焉○山路村上方伊那佐山今稱ニ貴布禰ニ十三村氏共祭祀歲早祈

補春村按(文實)ニ都那木神ミユ同社ナリ下文式外ノ條ニミユ○齊明紀以レ梧戰

城上郡卅五座 大十五座 小廿座

大神大物主神社 名神大月次相嘗新嘗

「舊事紀」大己貴神坐ニ倭國城上郡大三輪神社ニ「文實」嘉祥三年冬十月乙巳朔大神大物主神授ニ正三位ニ○仁壽二年十二月乙亥加ニ大和國大神大物主神從二位ニ「三實」貞觀元年正月廿七日勳二等大神大物主神奉レ授ニ正二位ニ○同年二月丁亥大和國從一位勳二等大神大物主神奉レ授ニ正一位ニ「書紀」大己貴神到ニ出雲國ニ于レ時神光云々此大三輪之神也○按大物主者和魂之稱也　大己貴者荒魂之稱也　故古記謂ニ

椋（一本作㯍）下神社 鍬靫

ムクノモト秘決

○一本クラジトアリ○高倉下命[志]在所未ㇾ詳

高角神社二座 鍬靫（京本日本無）

[姓氏]神魂命孫鴨建津之身命化如二大烏一翔飛八咫烏之號從ㇾ此始也[志]屬二吉野郡一一座在二高見山巓一一座在二山足平野村一俱今稱二水分祠一高見田名高角

八咫烏神社 鍬靫（イ本无）

[續紀]慶雲二年九月丙戌置二八咫烏社于大倭國宇太郡一祭ㇾ之　今在二鷲家村一纔存二遺趾一

味坂比賣命神社

○味坂村○一說荷坂村[和鈔]浪坂 奈無佐加 [書紀]應神紀旣坂

御井神社

[舊事紀]大己貴神娶二稻羽八上姬一生二兒御井神一○檜牧村今稱二食井明神一上梁文云建長八年重修天正三年再修

岡田小秦命神社

○小秦木股神歟○駒返村○一說在二小和田村一

神御子美牟須比命神社

[書紀]雄略紀注大物主神曰二莵田墨坂神一[同]神武紀墨坂置二焃炭一[同]崇神紀九年云々以二赤盾八枚赤矛八竿一祠二墨坂神一○大神村○一說在二大神村一今稱二古首明神一

櫻實神社

[志]作二櫻實一○佐倉村

劒主神社

[姓氏]葛城直高魂命五世孫劒根命之後也○葛村書紀神武紀 復以二劒根一者爲二葛城國造一[志]在二宮奥村一有二石壇一無二社屋一土人相傳以爲二故實一

室生龍穴神社

四位下波寶神授二從三位一〇參河國賀茂郡ニ灰寶神社ト云フガアリ

波比賣神社

〇京本日本一本共ニ棃トアリ「文實」天安二年三月己丑在大和國從五位下波寶神波比賣神並預二官社一〇同四月壬辰朔癸丑在大和國從五位下波寶神波比賣神並授二從四位下一「三實」貞觀六年六月廿三日大和國從四位下波寶神波比賣神並授二從四位上一〇同八年十一月四日大和國正四位下波寶神波比賣神並授二從三位一〇栃原村西南今稱二黃金岳宮一

宇陀郡十七座 大一座 小十六座

宇太水分神社 大月次新嘗

〇(祈雨神祭式)ニ宇陀水分神社トアリ「三實」貞觀元年正月廿七日宇太水分神正五位下　今在二母里村一「志」在二下井足村一神鏡背識曰承暦三年二月奉納又有二應保二年院宣一

阿紀神社 靫鍬

「古事記」秋毗賣神「書紀」天武紀菟田吾城「倭姫世紀」宇田秋宮〇今在二宇陀町一五ー許町神戸「萬葉」安騎野〇在二迫村間一今稱二神戸明神一域內有二中祠九前一神武陟二于丹生川上一用祭二天神地祇一即此

門僕神社 靫鍬

〇信友云一本ニ門倍トアリ異本及(殘風土記)門僕トアリイヅレニテモカドベト稱セルナルベシ門部ノ義ニヤ申樂ノ(邯鄲)ノ謠曲ニ四方の門部の玉の戸を出いる云々ともあり「姓氏」門部連牟須比命兒安牟須比命之後也「大嘗會式」門部ハ大和國八人「書紀」孝德紀門部金「志」作二門僕神社一在二今井村一

丹生神社 靫鍬

〇今丹生村〇一說在二雨師村一(神武紀)所謂菟田川朝原即此

御杖神社

「舊事紀」景行皇子大稻背別命御杖君祖　今神末村〇一說同レ上今稱二葛明神一

晋子賓が(捜神記)巻一に赤松子者神農ノ時ノ雨師也服ニ冰玉散一以教ニ神農一能入レ火不レ焼至ニ崐崘山一常入ニ西王母石室中一隨ニ風雨一上下炎帝少女追レ之亦得レ僊倶去ル至ニ高辛時一復爲ニ雨師一遊ニ人間一今雨師本レ是焉又巻四云風伯雨師ハ星也 風伯者箕星也 雨師者畢星也鄭云司中ノ司命文星ハ第四第五星也雨師一曰ニ屏翳一一曰ニ號屏一一曰ニ玄冥一などありこの丹生川上神を雨師と稱ふるも漢風の稱なるべし上に引出たる類聚三代格の文なる(名神本紀)の傳併考ふべし

金峯(カネノミタケノ)神社 名神大月次新甞

○信友云一本及(相甞祭式)兼本共に相甞新甞とあり[文實]仁壽二年十一月辛丑特加ニ大和國金峯神従三位一○同三年六月己巳以ニ大和國金峯神ニ預ニ於名神一同齊衡元年六月甲寅朔以ニ大和國金峯神ニ預ニ於相甞月次並神今食祭一也[三實]貞觀元年正月廿七日金峯神 正三位○在ニ吉野山村一今稱ニ金精ノ明神一土人云吉野山地主神金ノ御嵩之號起ニ於此神社一[和鈔]嶽ハ蔣魴切韻曰高山名也漢語抄云美太介[僧尼令義解]山居在ニ金嶺一者判ニ下ニ吉野郡一之類也

[靈異記]

高桙(タカホコノ)神社 鍬

○吉野高城山俗云城山(萬葉)三吉野乃高城山(タカギノ)○信友按ニコノ高城山ノ名ニヨルニ高桙歟○在ニ山口神社域内一土人云昔在ニ龍門山頂一礎石尚存

川上鹿鹽(カハカミカシホノ)神社 鍬

○今柏木村近江國石部鹿鹽上神社○一説在ニ樫尾東川南國栖三村之交界一今稱ニ大藏明神一

伊波多(イハタノ)神社

○和田村○一説天川莊和田村今稱ニ立和宮(タチワノ)一

波寶(ハホノ)神社 鍬

印本頭書ニト兼永本曰波賣寶神社 今在ニ國栖村一一説夜中村(ヨナカノ)東銀峯(シロガネノ)今稱ニ神藏宮一[文實]天安二年三月己丑從五位下波寶神預ニ官社一同四月癸丑從五位下波寶神授ニ從四位下一[三實]貞觀六年六月廿三日從四位下波寶神授ニ從四位上一同八年十一月四日正

和國丹生川上雨師神社界地一事四至東限二鐙旬一南限二大山峯一西限二板波瀧一北限二猪鼻瀧一右云々祝禰宜等解狀偁謹撿二名神本紀一云不レ聞二人聲一之深山吉野丹生川上立二我宮柱一以敬祀者爲二天下一降二甘雨一止二霖雨一者依二神宣一造二件社一云々「日本紀略」弘仁九年四月丁丑大和國吉野郡雨師神奉レ授二從五位下一以レ祈レ雨也「續後紀」承和七年十月己酉奉レ授二正五位下丹生川上雨師神正五位上一○同八年九月戊戌奉レ授二正五位上丹生川上雨師神從四位下一○同十年九月戊戌奉レ授二從四位下丹生川上雨師從四位上一「文實」嘉祥三年七月丙子朔丙戌進二大和國丹生川上雨師神階一授二正四位下一「三實」貞觀元年正月廿七日丹生川上雨師神從三位○元慶元年六月廿三日授二從三位丹生川上雨師神正三位一補「大倭社注進狀」云新國史曰寛平九年冬十二月壬寅朔甲辰奉レ授二五畿七道諸神三百四十社各位一階一官符云大和國云々丹生川上雨師神奉レ授二從二位一○信友按に著聞集第一保延五年五月朔日祈雨の奉幣ありけり大宮の大夫師頼卿奉行せられけるに大内記儒辨さはりありて參らざりければ宣命をつくるべき人なかりければ上卿しのびて宣命をつくりて少內記相永作りたりとぞ號せられける此宣命かならず神感あるべきよし自讃せられけるにはたして三日雨おびたゞしくふりたりけるとなん裏書云彼宣命詞上略大神日域爾垂レ跡多末倍留遂窟ノ雨師ト○續後紀九十九丁この神に祈雨の事あり廿四丁ゥ雨師俄奔二於西溪一云々の文この神名にかけ合たり傳レ名太末倍留靈祠奈利然則名山大澤與利與レ雲之致レ雨天云々本朝世紀仁平三年七月廿日祈雨奉幣ノ時ノ宣命ニモ就レ中大神者日域爾垂レ跡禮雨師爾通レ名須遂窟乃靈祠與レ雲仁有レ便名山乃幽壖降レ雨仁無レ煩之云々とあるは雨師神に申給へるなりしかればもと漢神なりと聞ゆれどもさにはあらずもとより祈雨の驗神にまし〳〵けるを陰陽家などの附會して雨師號を稱せるを用ひ給へるにて史には弘仁のころより見えたりそは酒列磯前藥師菩薩の類なるべし式に雨師の二字なきは議ありて省かれたるなるべしいづれの本にもなければ脫字にはあらずなは式中よく訂すべし「新葉集」吉野の行宮にて雨師の社へ止雨の奉幣などたてられたるころ後醍醐天皇「此里は丹生の川上ほど近し祈らばはれよ五月雨のそら」○信友云（抱朴子）に辰日雨師者龍也また

○在所未レ詳或曰ニ黒馬村一今稱ニ御靈一

高天山佐太雄神社（タカマノヤマサタヲノ）鍬

○今在ニ佐名傳村一○一説大澤村神福山頭俗呼ニ天狗岑一「出雲風土記」飯石郡須佐郷須佐能袁命大須佐田小須佐田定給故云ニ須佐一

一尾背神社（ヒトヲセノ）

北山村今稱ニ水分一

吉野郡十座（ヨシノ）大五座 小五座　和鈔吉野 與之乃

吉野水分神社（ヨシノミコモリノ）大月次新嘗

「續後記」承和七年十月己酉无位水分神従五位下

「三實」貞觀元年正月廿七日吉野水分神正五位下

「萬葉」七神左振磐根己凝敷三芳野之水分山乎見者悲毛○今云子守明神○一説丹治村相傳昔在ニ水中址一水分山年々山崩遷ニ神社于此一毎歳初夏吉野山僧修ニ禊于社前一「六帖」四片戀「みこもりの神しまことの神ならはわかゝた戀をもろこひになせ」此外三首あり みな同意也合せみるべし ○宇陀郡ニ宇太水分神社山邊郡ニ都祁水分神社アリ攝津國住吉郡ニ天水分豐浦命神社アリ○玉勝間十二廿七右ニ種々論アリ附考一十三右ニアグ

吉野山口神社（ヨシノヤマグチノ）大月次新嘗

「三實」貞觀元年正月廿七日吉野山口神正五位下○龍門莊山口村今稱ニ天神一

大名持神社（オホナモチノ）名神大月次新嘗

「臨時祭式」名神祭ニ大名持御魂神トアリ○兼本相嘗新嘗ト有リ「三實」貞觀元年正月廿七日奉レ授ニ大和國大己貴神正一位一○在ニ妹山一山麓ニ川原屋村一

丹生川上神社（ニフノカハカミノ）名神大月次新嘗

「類聚三代格」「續後紀」「三實」「文實」「日本紀略」等ニ丹生川上雨師神トアリ又（頓阿自筆神名帳）ニ雨師大明神 以上信友校 補「續紀」卅三廿三右 寶龜六年九月辛亥遣レ使奉ニ白馬及幣於丹生川上畿内群神一霖雨也「帝王編年記」十四廿八右 寛平七年六月廿六日官符云大和國吉野郡丹生川上雨師神社四至之内禁ニ狩獵一 ○春村云此文類聚三代格之文ト參考スベシ「類聚三代格」寛平七年符應レ禁ニ制大

「三實」貞觀元年正月廿七日授二葛木火雷神從二位一
○在二笛吹村笛吹明神祠旁一

宇智郡十一座並小

宇智神社

「姓氏」大和皇別内臣彦大忍信命之後也　今此社在二待乳山一○一説今井ノ安生寺邑宇智川東南今稱二國生明神一

阿陀比賣神社

「古事記」大山津見神之女名神阿多都比賣云々○阿陀郷原村

荒木神社

「姓氏」天高御魂乃命十三世孫建荒木命○今井村荒木坂ノ池南今稱二天神森一曰二浮田一○信友云大アラキノ浮田ノ杜コレ也

丹生川神社

○雨師神○丹原村今稱二御靈一○兼本丹川神社トアリテ生ノ字ナシ

二見神社

「姓氏」大和天孫二見首富須洗利命之後也○二見村今稱二雨師一

宮前霹靂神社

○今在二御山村一若宮神稱二雷神一○一説西久留野村今稱二雷神一「和鈔」霹靂ハ俗云加美於豆一云加美止介霹ハ拆也靂ハ歷也所レ經皆破拆也○信友按上ノ御山村ノみやまトみやまへ音近シ

火雷神社

○在二火打野村一○一説御山村亦稱二雷師一「三實」貞觀元年四月十日授二正四位上火雷神從三位一○元慶三年六月八日授二從三位火雷神正三位一

高天岸野神社鍬

落杣神社鍬ト本イ本ナシ

○北山村今稱二岸野辨財天一

[志]未レ詳

火幡神社 名神大月次新嘗

[志]火幡作ニ大幡ニ [三實]貞觀元年正月廿七日授ニ大和國火幡神從五位上ニ ○在ニ畠田山上邑ニ 今稱ニ八幡ニ 又小里邑ノ白山祠尼寺邑ノ厨祠乃大幡神社攝社也二邑俱屬ニ畠田ニ

志都美神社

○上里村今稱ニ志美都八幡ニ ○近江國阿志津彌神社

伊射奈岐神社

○下牧村今五社ト稱ス其宮趾在ニ忍山東ニ

當麻都比古ノ○社二座 ○神京日イ

[書紀]用明紀葛城直磐村女廣子生ニ麻呂子ノ皇子ニ此當麻公之先也[姓氏]當麻眞人麻呂古王ノ後也[三實]貞觀元年遣ニ使諸社ニ奉ニ神寶幣帛ニ 從五位下守圖書頭當麻眞人清雄爲ニ當麻社使ニ ○在所未レ詳○[和鈔]當麻 多以末

當麻山口神社

○京本又一本ニ大月次新嘗トアリ補フベシ大十三座トアルニ合ヘリ○一本書入ニ仁壽三年始レ之トアリ[三實]貞觀元年正月廿七日授ニ當麻山口神正五位下ニ○在ニ高雄寺山口藥師堂西ニ今稱ニ新宮ニ

大坂山口神社 大月次新嘗

[三實]貞觀元年正月廿七日授ニ大坂山口神正五位下ニ○在ニ穴蟲村ニ今稱ニ牛頭天王ニ[和鈔]葛上郡ニ大坂

葛木二上神社二座 大月次新嘗

[三實]貞觀元年正月廿七日葛木二上神從五位上[西譽記]二上嶽坐豐布都靈神社亦名武雷尊大將軍坐大國魂尊○在ニ二上山頂ニ今稱ニ權現ニ 京本イ本共ニ並大トアリ

忍海郡三座 大二座小一座

爲志神社

○在ニ林堂村ニ今稱ニ十二所權現ニ

葛木坐火雷神社二座 並名神大月次相嘗新嘗

葛下郡十八座 大十三座 小五座

葛木倭文坐天羽雷命神社 大月次新嘗

「三實」貞觀元年正月廿七日葛木倭文天羽雷命神從五位上「書紀」神代卷不レ服者星神香々背男遣二倭文神建葉槌命一者則服「古語拾遺」天羽槌雄神倭文遠祖也○加守村今稱二加守明神一

片岡坐神社 名神大月次新嘗

「三實」貞觀元年正月廿七日從五位下片岡神正五位上「山城風土記」賀茂建角身命倭石余比古之御前立坐而宿二坐大倭葛木山之峰一○王寺村今稱二五社明神一

長尾神社 大月次新嘗

「三實」貞觀元年正月廿七日大和國長尾神授二從五位一○今在二長尾村一「放光寺緣起」長尾社境內有二內宮外宮一

石園坐多久虫玉神社二座 並大月次新嘗

「大和志」虫作蟲「三實」貞觀元年正月廿七日大和國石園坐多久豆玉神從五位上「姓氏」瓜王連神魂命男多久豆玉命之後也又曰神魂命子多久都玉命「年中行事秘抄」多久須玉依媛命○三倉堂村今稱二龍王一上梁之曰承久元年七月重修又云應永十二年再造○對馬上縣郡二天神多久頭麻命神社（玉勝間）二所レ引多久頭多麻命トアリ同下縣郡多久頭神社（玉勝間）所レ引多久頭魂神社トアリ

調田坐一言尼古神社 大月次新嘗

「三實」貞觀元年正月廿七日調田一事尼古神從五位上○疋田村今稱二春日一

金村神社 大月次新嘗

「三實」貞觀元年正月廿七日授二金村神從五位上一○大伴金村連談連之子其先出レ自二高魂命一○大屋村

葛木御縣神社 大月次新嘗

「三實」貞觀元年正月廿七日授二葛木御縣神從五位上一「志」在所未レ詳

深溝神社

字ナシ又宇治郡ニモ火雷神社アリ可ニ考合一　在ニ檜原村一

高天彦(タカマヒコノ)神社 名神大月次相嘗新嘗　一イ(京日)

[後紀]延暦二十五年大同元年四月己未大和國葛上郡正四位上高天彦神預ニ四時幣帛一縁ニ吉野皇太后願一也[續後]承和六年五月丙午大和國葛上郡從三位高天彦神爲ニ名神一[三實]貞觀元年正月廿七日大和國高天彦神從二位○按(舊事紀)葛城國造高魂命裔也高天彦者高皇座靈尊也明矣　今金剛山半腹有ニ高天山一在ニ高天村一○一說在ニ高天村一今稱ニ彦澤權現一

大倉比賣(オホクラ)神社 一ハ名ニ雲櫛ノ社一

[秘訣]雲櫛命社トアリ[舊事紀]下照姬命坐ニ大倭國葛上郡雲櫛社一○今一言社之南一里半有ニ高鴨社村一號ニ神動寺村一○一說在ニ巨勢河合村一號爲ニ宇久比須宮一(舊事紀)所謂雲櫛社此

高鴨(タカカモ)阿知須岐詑彦根ノ命神社四座 並名神大月次相嘗新嘗

○一本書入大己貴一男也又捨篠社[舊事紀]大己貴神娶ニ田心姬命一生ニ子味鉏高彦根神一坐ニ倭國葛上郡高鴨社一曰ニ捨篠社一妹下照姬命坐ニ倭國葛上郡雲櫛社ニ[續紀]天平寶字八年十一月庚子復ニ祠高鴨神於大和國葛上郡一高鴨神者法臣圓興　其弟中衞將監從五位下賀茂朝臣田守等　言昔大泊瀨天皇獵ニ于葛城山ニ時有ニ老夫ニ毎與ニ天皇一相逐爭レ獲天皇怒レ之流ニ其人於土佐國ニ先祖所レ主神化成ニ老夫一爰被ニ放逐一今撿ニ前紀一不レ見ニ此事一　於レ是天皇乃遣ニ田守一迎レ之令レ祠ニ本處一[三實]貞觀元年正月廿七日從二位勳八等高鴨阿治須岐宅比古尼神云々　並從一位○在ニ左味庄神通寺村ニ神宮寺一名金剛寺々有ニ大般若經一跋曰施ニ入大和國葛上郡高雄大明神一元享元年佐味藤原遠眞[土佐風土記]曆錄曰雄略天皇四年庚子春二月天皇獵ニ于葛城山ニ忽有ニ長人一云々或說云時神與ニ天皇一相競有ニ不遜之言一天皇大瞋奉レ移ニ土佐一神隨而隱神身已隱以レ祝代レ之初坐ニ賀茂之地一後遷ニ于此社一而高野天皇寶字八年從五位上高賀茂朝臣田守等奏而奉レ迎ニ鎭於葛城山ノ東ノ下高宮ノ岡上一其和魂者猶留ニ彼國一于レ今祭祠云々

羊頭箭一枝羽ノ間ニ記シテ云天文十七年畠山ノ幕下吐田孫三郎奉納「書紀」雄略紀四年春二月天皇射ニ獵於葛城山ニ「廿二社法式奥入」葛木祭神一言主神皆一神也「日本紀竟宴歌」「御狩スル君カヲルトテクメ川ニ一言主ハイデマセリケル」「ヨキコトヲ萬代兼テウツル哉葛城山ノ君ノ御狩ニ」○信友云上ニ引タル（釋紀）ノ文（土佐風土記）ノ文ト合見ルベシ

多太神社 鍬靫

「志」多太神社トイヘリ「姓氏」賀茂朝臣太田々根古命孫大和國三歳祝意富太多根子命之後也「續紀」神護景雲三年大和國葛上郡人賀茂朝臣清濱賜ニ姓高賀茂朝臣ニ在ニ佐太村ニ○在ニ多田村ニ今稱ニ莊神ニ

長柄神社 鍬靫

「姓氏」大和地祇長柄首事代主神之後也「書紀」天武紀幸ニ于朝嬬ニ看ニ馬於長柄社ニ○今一言主社邊有ニ長柄村ニ

巨勢山口神社 大月次新嘗

「三實」貞觀元年正月廿七日巨勢山口神正五位下○今巨勢村在下郡西與ニ高市郡ニ境上也巨勢山跨ニ兩郡ニ○在ニ古瀬村ニ今稱ニ高社ニ上梁文云正長元年修造

葛木水分神社 名神大月次新嘗

「名神祭式」名神ナシ「三實」貞觀元年正月廿七日葛木水分神正五位下○在ニ關屋村ニ舊訓ミコマリ、ミクマリ、ミコモリ、ミヅワケ

鴨山口神社 大月次新嘗

「三實」貞觀元年正月廿七日鴨山口神正五位下○在ニ倶尸羅村高鴨山ニ松樹一株下有ニ小祠ニ土人云樹頭時見ニ靈灯ニ

大穴持神社 三イ(京日)

○今下鴨社南在ニ三室村ニ明神社是乎○一說在ニ朝町村ニ稱曰ニ三輪明神ニ唯有ニ拜殿鳥居ニ而不レ設ニ宮殿ニ

葛木大重ノ神社 二イ(京日)

○葛木大重一本作レ火「秘訣」八重作レ大非トアリ
○忍海郡ニ葛木坐火雷神社アリテ（三實）ニハ坐ノ

正六位上散吉大建命神散吉伊能城神從五位下ー
[志]在ニ濟恩寺赤部二村界ー

櫛玉比女命神社

[志]在ニ辨財天村ー即稱ニ辨財天ニ云々有ニ石燈爐ー勒云天正十年建

穗雷命神社

○保田村川合村之東也今屬ニ城下郡ニ(大和志)在所未レ詳(三實)作ニ保沼雷ー貞觀七年冬十月九日授ニ大和國正六位上武雷神保沼雷神云々並從五位下ー○同九年八月十六日授ニ從五位下武雷神保沼雷神並從五位上ー

於神社 鍬

○按於訓ニ宇倍ニ[志]在ニ大塚村ー稱ニ城宮社ー已廢

葛上郡十七座 大十二座 小五座

鴨都波（味一本）八重事代主ノ命神社二座 ・並一本京本 ・名神大月次相嘗新嘗

[舊事紀]大己貴神娶ニ高津姬神ー生ニ兒都味齒(姓氏)積齒八重事代主神ー今御所村邊下鴨社歟○或說オナジ
[三實]貞觀元年正月廿七日從二位高市御縣鴨八重事代主神從一位[殘風土記]

葛木御歲神社 名神月次新嘗

[舊事紀]事代主神高照光姬大神命坐ニ倭國葛上郡ー葛木神社與ニ高市郡葛木神社ー同名異神也[文實]仁壽二年四月庚申加ニ大和國御歲神從二位ー○同十月甲子加ニ正二位ー[三實]貞觀八年二月十三日神祇官奏言大和國三歲神舊無ニ神主ニ而新置レ之○在ニ持田村東ー○或云森脇村ニアリ

葛木坐ニ一言主神社 名神大月次相嘗新嘗(祭式)

[文實]嘉祥三年冬十月乙巳朔辛亥授ニ葛木一言主神正三位ニ[三實]貞觀元年正月廿七日葛木一言主神從二位[舊事紀]素戔烏尊兒葛木一言主神坐ニ倭國葛上郡ニ[釋紀]寶字八年奉レ迎ニ鎭於葛城山ノ東下高宮岡上ニ云々○今在ニ葛城山東麓森中ー地名稱ニ森傍ー○在ニ森脇村ー上梁文云永祿五年十二月修造○

神岳神社

[萬葉]登神岳歌ニ諸乃神名備山云々[志]在ニ神南村一

雲甘寺坐楢本神社

[三實]貞觀三年十月廿二日授ニ靈感寺無位楢本神從五位下一同八年五月廿四日以ニ大和國平群郡雲甘寺從五位下楢本神一列ニ官社一[志]在ニ梨本巳郡尾邑一今稱ニ野馬田明神一○清在按據ニ(三代實錄)一則雲是靈字誤也雲甘之文字亦無ニ熟語一

廣瀨郡五座 大一座 小四座

廣瀨座和加宇加賣命神社 名神大月次新嘗

[文實]嘉祥三年七月丙子朔丙戌若宇加賣命神加ニ從五位上一○仁壽二年七月庚寅大和國若宇賀乃賣命神加ニ從四位下一○同年十月癸亥朔甲子加ニ大和國若宇加賣神從三位一　補[諸社根元記]龍田御位記貞觀元正廿七廣瀨龍田正三位○[三實]元慶二年七月大和國廣瀨龍田兩社造ニ立倉各一宇一爲レ納ニ神寶一

○今在ニ廣瀨河合村一泊瀨川倉橋河合ニ此地[大和志]天武四年四月祭ニ大忌神於廣瀨河曲一此也[左經記]十三長元七年七月三日庚寅大夫史義賢朝臣來云去一日東宮有ニ犬死穢一仍俄被レ停ニ祈晴幣使一畢又或人云廣瀨龍田祭依ニ內裏穢一可ニ延引一云々是可レ然乎奏レ之尋ニ先例一可レ被レ行歟[神祇令集解]云大忌祭謂ニ廣瀨龍田ノ二祭一也令下山谷水變成ニ甘水一浸ニ潤苗一稼得ミ其全稔一故有ニ此祭一也釋云廣瀨並龍田祭自ニ山谷一下水交甘水成而爲レ令ニ五穀成熟一祭也差ニ五位以上一充レ使也古記無レ別跡云祈年祭祭ニ甲神一大忌祭祭ニ乙神一之類依ニ別式一也[續紀]光仁天皇寶龜九年六月辛丑奉ニ幣帛於廣瀨龍田二社一爲ニ風雨調和秋稼豐稔一也[廣瀨大忌祭祝詞]御膳持須留若宇加能賣命登御名者白氐云々○丹後國竹野郡大宇加神社奈具神社アリ(鎮坐傳記)丹後國竹野郡奈具社坐豐宇賀能賣神ト云ヘリ○川合村ニアリ○平群郡龍田比古神社ノ下ト可ニ併考一

讃岐神社

[和鈔]散吉[三實]元慶七年十二月二日授ニ大和國

氏云々○今神殿向レ東

往馬坐伊古麻都比古神社二座（並大月次新嘗）

［臨時祭式］膽駒［三實］貞觀元年正月廿七日往馬坐伊古麻都比古神從五位上［大和志］在二一分村一僧十一坊○今曰二往馬大明神一

平群石床神社（大月次新嘗）

［三實］貞觀元年正月廿七日平群石床神從五位上○在二越木塚村一稱云二巖上祠一傍有二巨石一名二石床一○按（天武紀）五年有二三宅連石床一○［本草和名］石牀云々出二石鐘乳中一［和鈔］平群（倍久利）

伊古麻山口神社（大月次新嘗）

［三實］貞觀元年正月廿七日伊古麻山口神正五位下

［志］在二櫟原村一今稱二瀧宮一

平群神社五座（並大月次新嘗）

［志］在所未レ詳或曰西宮村西宮是也

久度神社

［續紀］延曆二年十二月丁巳大和國平群久度神叙二從五位下一爲二官社一○按山城國平野ノ久度神同神乎今久上村在二勢蓋村巽一屬二葛下郡一［志］今在二葛下郡王寺ノ久度邑一

平群坐紀氏神社（名神大月次新嘗）

○紀武内宿禰命［古事記］建内宿禰之子平群都久宿禰平群臣等祖也次木角宿禰木臣之祖［志］在二上ノ庄村一今稱二辻宮一

猪上神社

○一本書入猪上ノ訓井乃反（萬葉）　春霞井上山言嶺上有二大池一無二旱涸一俗呼二加那度乃池一猪假訓已井上山今呼二信貴山一［志］在二信貴山一

船山神社

［志］未レ詳或曰中宮村中宮是也

御櫛神社

○在二勢蓋村一［志］在二椹原村一

伊射奈岐神社（イザナギ）大月次新嘗

［三實］貞觀元年正月廿七日伊弉奈岐神從五位上

平群郡（ヘグリノ）廿座 大十二座 小八座

龍田坐天御柱國御柱神社（タツタニスアマノミハシラ）二座 並名神大 月次新嘗

［書紀］天武紀四年四月云々祠ニ風神于龍田立野ニ云祭ニ大忌神於廣瀨河曲ニ［本朝月令］四月四日廣瀨龍田祭ノ事ノ條ニ（弘仁式）云大忌祭一座 廣瀨社七月准レ之 風神祭二座 龍田社七月准レ之 右二社云々又云大忌風神二社者四月ト七月トノ四日祭レ之云々［文實］嘉祥三年七月丙子朔丙戌龍田天御柱命神國御柱命神並加ニ從五位上ニ○仁壽二年六月庚寅大和國天御柱命神國御柱命神並加ニ從四位下ニ○同年十月癸亥朔甲子加ニ大和國天御柱命神國御柱命神並從三位ニ 補［文實］嘉祥三年云々策命アリ卷二ニオ ［諸社根元記］龍田御位記貞觀元正廿七廣瀨龍田正三位」○［神皇正統記］大倭ノ龍田ノ神ハ此瀧祭同體也［神祇令］大忌祭 義解謂ニ廣瀨龍田ノ二祭ニ也欲レ令下山谷水變成ニ甘水ニ浸ニ潤苗稼ニ得中其全稔上故有ニ此祭ニ 又風神祭 義解謂ニ亦廣瀨龍田二祭ニ也欲レ令ニ沴風不レ吹稼穡滋登ニ故有ニ此祭ニ也［同集解］風神祭釋云廣瀨龍田ノ祭也草木五穀等風吹而枯ニ壞之ニ此時不レ知ニ彼神心ニ卽天皇齋戒願レ覺ニ夢中ニ卽覺云龍田廣瀨祭ニ二社ニ同日共祭ニ其妹妖神（イモセノ）ニ亦五位以上充レ使○精古按伊豆國那賀郡國柱命神社○立野村ニアリ東面ノ大社二ツアリ其社ノ右ニ中社二ツアリコレ龍田彦龍田姫ノ社ナリ

龍田比古龍田比女神社二社

○二社トアルハ誤也異本ニ二座トアリ［三實］貞觀元年正月廿七日龍田神從三位○元慶二年七月大和國廣瀨龍田兩社造ニ立倉各一宇ニ爲レ納ニ神寶ニ［書紀］天武紀祠ニ風神于龍田立野ニ○以上四座同宮地今法隆寺坤別稱ニ龍田ニ者離宮也［龍田祭祝詞］志貴嶋爾大八嶋國知志云々皇御孫命乃大御夢爾悟奉久天下乃公民乃作々物乎惡風荒水爾相都々不レ成傷波我御名波天乃御柱乃命國乃御柱乃命止御名者悟奉氐云々朝日乃日向處夕日乃日隱處乃龍田乃立野乃小野爾吾宮波定奉

[廿二社記]春日前立明神天石吸明神是也[志]在所未レ詳

五百立神社

[國造本紀]神八井耳命孫建五百建命○在二南都東大寺眞言院北一今稱二五百餘社一

天乃石立神社

○在二小柳生村岩戸谷一

添下郡十座 大四座 小六座

矢田坐久志玉比古神社二座 並大月次新嘗

○兼倶書入本父神櫛明玉命子神天明玉命[三實]貞觀元年正月廿七日矢田坐久志玉比古神從五位上[姓氏]大和皇別矢田部饒速日命七世孫大新川命之後也[天孫本紀]天照國照彥天火明櫛玉饒速日尊○矢田村松尾社是乎[大和志]今稱二矢田村矢落明神一[和鈔]矢田

添御縣坐神社 大月次新嘗

[姓氏]添縣主出レ自二津速魂命男武乳遺命一○今曰二添田天神一[三實]貞觀元年正月授二從五位上一[志]在二三碓村一亦稱二天王一

菅田比賣神社二座 鍬靭

[志]在二筒井村一今稱二信田宮一

佐紀神社

[志]在二超昇寺村一今稱二大宮一[和鈔]佐紀

菅原神社

○今在二菅原村一稱二菅原天神一

登彌神社

[姓氏]登美連饒日命六世孫伊香我色乎之後也[志]在二木島村一

菅田神社

[姓氏]菅田首天久斯麻比丘都命之後也[志]今在二菅田村一二階道村之南也屬二平群郡一

神等能乞賜比能任留春日能三笠山能下津石根留宮柱廣知立高天原留千木高知氏云々補[古本文實]嘉祥三年九月己丑遣ニ參議藤原朝臣助ヿ向ニ春日大神社ニ策命曰天皇我詔旨止大神乃廣前留申賜倍申久皇大神乃厚護留依天之天日嗣乃高御座留平介波久郎賜止奈毛所ニ念行ニ須因レ玆天先先留禱申賜比之御冠止爲天奈毛建御賀豆智命伊波比主命二柱乃大神留波正一位留天兒屋根命平波從一位留比賣神平波正四位上留上奉利崇奉留狀平神財平令ニ捧持ニ天奉レ出須此狀平聞食天益々留天皇朝廷平堅磐留常磐留幸倍奉賜比天下平安留護賜比助賜倍止恐見恐見毛申賜波久申」[大鏡裏書]下ウ卅三

春日社　奈良帝都之時祝レ之稱德天皇神護景雲二年戊申藤氏四所明神奉レ祝ニ春日山ニ○[建武年中行事]二月上ノ未ノ日春日祭ノ使タツ近衞ノ中少將コレヲツトム昔ハ賀茂ノ祭ノゴトシ今ハ鑾衣ノ隨身ナド計フ見エメル云々[三實]貞觀元年二月丁亥朔丙申春日祭如レ常同十一月壬子朔庚申春日祭如レ常○義知云祭初不レ見ニ於承和天安等ノ國史ニ然則所レ載ニ三代實錄ニ濫觴乎[朝野群載]春日社告文　孝親朝臣作維永承二年云々藤原朝臣掛毛畏支佐保山椎嵓乃廟乃廣前留云々興福寺波靈廟乃所ニ建立ニ也云々景祖乃賢跡云々[廿一社記]春日社天兒屋命坐略本社河內國平岡也略當社鎭坐ノ初ハ神護景雲年中ノ事也今興福寺ニ坐ス彼寺ハ本山背ノ山科ニ有レ之爲ニ大織冠ニ建立淡海公時今ノ平安城ニウツサル其時ハ卽勸請ナカリケルニヤ遙ニ送ニ年月ニ景雲年中遷坐也常陸鹿島ニテ遷坐ト申傳ヘタリ○信友云此神ノ事(正ト考)ニイヘリ

赤穗神社

○今云野田社歟[志]在ニ南都高畠神坊町ニ

島田神社

[姓氏]島田臣神八井耳命之後也[志]崇道天皇郎曰ニ御靈ニ在ニ八島村ニ

御前社原石立命神社

社(分釋)　一本无類本无

○百木云原ハ天乃ノ二字ヲ誤レル歟次ニ天乃石吸天乃石立ノ兩社アリ○岩本社平[志]在ニ古市村ニ

天乃石吸神社

太祝詞神社 大月次新嘗 四イ三(京日)

○兼倶本書入天兒屋命也[大和志]在所未ㇾ詳○谷川氏云今大和ヨリ紀伊ヘ越ル一徑ニ太祝詞越ト云フ處アリ

高橋神社 三イ二(京日)

[志]在ニ八條村ノ麓枕川東一

神波多神社 鍬 二イ一(京日)

[書紀]神武紀層富縣波哆丘岬[姓氏]大和神別神波多ノ祝高彌牟須比命孫治方之後也

宅布世神社

○異本イハフセ、タカフセ、タフセ [姓氏]豐城入彦五世孫多奇波世君[書紀]仁德紀 竹葉瀬公上毛野祖大荒田別命子也[志]在ニ鉢伏村一今稱ニ八幡宮一

大和日向神社 鍬靫

[姓氏]豐城入彦命男倭日向建日向八綱田命○今在ニ奈良村一稱ニ輕天社一是乎輕部八綱田命後也[志]在所未ㇾ詳或曰春日山ノ頂浮雲宮卽此三輪山巓亦有ニ此祠一

夜支布山口神社 大月次新嘗

[文實]嘉祥三年冬十月乙巳朔辛卯授ニ夜岐布山口神從五位下一[三實]貞觀元年正月廿七日夜岐布山口神正五位上[和鈔]楊生 也本布 [志]在ニ大柳生村一今稱ニ天王一

春日神社

[姓氏]大春日朝臣出ㇾ自ニ天帶彥國押人命一春日地主今榎本社[和鈔]春日 加須加

賣田神社

[志]在ニ稗田村一今稱ニ三社明神一

春日祭神四座 並名神大月次新嘗

[祝詞]鹿島坐健御賀豆智命香取坐伊波比主命枚岡坐天之子八根命比賣神四柱能皇神等能廣前仁白久大

[文實]四十六右 仁壽二年十一月辛丑率川阿波神授ニ從五位下ニ ○狹岡神社ノ下ト可ニ合考ニ[志]在ニ南都西新屋町ニ[書紀]皇極紀謠 歌云烏智可挹能阿婆努能枳々始騰余謀作儒云々[萬葉]七 鏡成吾兒之君乎阿婆乃野之花橘之殊爾拾津

宇奈太理坐高御魂神社 大月次相嘗新嘗

[書紀]持統紀 六年奉ニ新羅調於莵名足ニ○法華寺村ニ在今楊梅天神ト云フトイヘリ○兼倶本書入ニ武内宿禰勸請也

和尒坐赤坂比古神社 大月次新嘗

[三實]貞觀元年正月廿七日和尒赤坂彥神從五位上[舊事紀]阿田賀田須命和尒君等祖○按赤坂與ニ阿田賀田ニ語涉[志]在ニ和尒村ニ今稱ニ天王ニ域內有ニ常樂寺ニ上梁文曰天正六年重修

穴次神社

○今云穴栗明神乎[志]在ニ古市村管內ニ上田百木云舊訓アナツキ、アナフキ、フエフキナド有穴次穴吹ト異本ニアリ共ニ誤也(景行紀)ニ春日ノ穴咋邑コレ也延曆七年八月戊子對馬島守正六位上穴咋皆麻呂賜ニ姓秦忌寸ニ大和國春日神社ニ穴栗神社ト云フ末社アリ社記ニ穴次神也(延喜式神名帳)曰大和國添上郡穴次神社トアリ○信友按ニ當帳ニ有對社トアルハアナフニテ穴吹トアルヲ同社トオモハル、說アリ(正ト考)ニイヘリ未決○頓阿自筆ノ(神明帳)ト云フモノニ笛吹大明神トアルハ當社歟○(舊事紀)首書ニ笛吹神社(姓氏)笛吹ハ火明命之後也○兼倶本穴次穴咋トアリテ猿田彥命也

和尒下神社二座

[書紀]天足彥國押人命和珥臣等始祖也[同]雄略紀 春日和珥臣深目○今和尒村南有ニ櫟本社ニ按櫟井臣和尒臣同祖[志]一座在ニ櫟本村ニ號曰ニ上治道天王ニ云々一座在ニ橫田村ニ號曰ニ下治道天王ニ云々

奈良豆比古神社 鍬靫 一イ

[國造本紀]豐城命四世孫奈良別[志]在ニ奈良坂村ニ今稱ニ八幡ニ

神名帳考證　三

延喜式第九之三　畿內第一

大和國二百八十六座

大一百廿八座（並月次新嘗就中卅一座預相嘗祭）

小一百五十八座（並官幣）

添上郡卅七座（大九座　小廿八座）

鳴雷神社（大月次新嘗）

○今神殿村「年中行事秘抄」二月擇吉日之條鳴雷神祭事（大和國添上郡神祇官遣中臣一人供祭）

率川坐大神神日本御子神社三座

「文實」仁壽二年十一月辛丑率川坐大神御子神授從五位下「神祇令」三枝祭義解謂率川社祭也以三枝華飾酒罇祭故曰三枝祭也「釋紀」伊謝川社大神氏宗定而祭不宗者不祭卽大神族類之神也以三枝飾罇而祭大神氏供此云龜靈和靈祭「年中行事秘抄」南家口傳曰右大臣藤原是公卿所建立也光孝天皇八十町之勅旨田又其社南有社號三枝名神卽大神名神御子神件兩社在一村相去不幾今林ノ小路ノ加弁古不ノ社者神御子之訛乎○義知云按三枝神者是事代主命神媛蹈鞴五鈴媛命也綏靖天皇御母也據舊事本紀號伊須氣余理比賣也但謂率川社者與率川三枝御子社別社也御子社在率川社西而祀三坐中御子神左事代主神右玉櫛姫左右父母也曰之子守神「大和志」在南都子守町「古事記」取其山由理草之名號佐韋河云々山由理本名云佐韋也「伊呂波字類抄」式外ノ神ニ三枝（サキクサ）率川社南有社號三枝名神御子也以三枝花飾酒罇祭故曰三枝祭也

狹岡神社八座

「文實」四十六右仁壽二年十一月辛丑率川坐大神御子神狹岡神率川阿波神並授從五位下「志」在法蓮屬邑佐保田○契沖本（和鈔）大岡アリ狹岡ニ對ナラン

率川阿波神社

喜撰トアリ已上或人說

佐女牛若宮

「祇園執行日記」十一左文和元年二月十七日鎌倉殿並部殿今夕御ニ參北野並佐女牛若宮ニ云々

地々良大明神

載ニ千首卷地主神條一

橘逸勢社

「山槐記」仁安二年五月廿七日天晴今日有ニ著駄政一中略予奏ニ勘文一之間坤方有レ火退出之間下人云三條油小路云々中略南至ニ于三條一北至ニ于油小路一東西燒亡橘逸勢社燒了「諸社根元記」姉小路猪熊橘逸勢靈神平治元九二此祭上皇營ニ其事一給世人以淫祀焉

赤坂神

「本朝世記」正暦四十七午後權大納言藤原伊周卿中納言同公季卿參議藤原懷忠卿參著左伏座有ニ內卯印カ事一是坐ニ比叡山西坂本禪院一從五位下赤坂神被レ奉レ授ニ從四位下一云々

宗像社

附卷一十一右

藤森神社

山城名勝志卷十六四十五左委シ社家說○神祇拾遺諸社根元記

御靈社

附卷一五十八右

伊都岐嶋別宮

附卷二四右

國愛宕郡吉田神社四座神名同ニ春日社ニ鎭坐年記不ニ分明ニ或曰清和貞觀年中鎭坐又云中納言山蔭卿始奉ニ渡之勸請ニ云々（以呂波字類抄）云吉田社以レ榊爲ニ正體ニ（百錬抄）云氏三社春日大原野吉田（宣胤卿記）云御堂殿御書奏奈良京之昔者以ニ春日社ニ爲ニ氏社ニ以ニ興福寺ニ爲ニ氏寺ニ平安城之今者以ニ吉田社ニ爲ニ氏社ニ以ニ法性寺ニ爲ニ氏寺ニ隨ニ社頭之興廢ニ宜レ測ニ藤門之榮衰ニ者一天安全四海平定殊可レ抽ニ當氏繁昌之祈禱ニ者愼レ之莫レ怠矣長和元年十一月十八日神道長左衞門權佐殿于時兼忠　御草名（大鏡）春日又ちかくふり奉りて大原野と申云々猶もちかくとて又ふり奉りて吉田と申ておはしますめりこの吉田明神を山蔭の中納言のふり奉り給へるぞかし（諸社根元記）云堀河院長治三官符預ニ四度祭ニ四月中子日十一月中酉日　御位記後光嚴院延文五六卅正一位

補春村云延文五年正一位ハ吉田ノ末社四社ノ御位ナリ長治ノ官符ハ本社ニツケリ混ズベカラズ委シクハ本書ニツキテミルベシ

（歷代編年集成）云永延元年公家始有ニ吉田祭事ニ元山蔭一族所レ祭也帝王編年記同之（日本紀略）曰一條院寛和二年十二月一日詔以ニ吉田社ニ准ニ大原野ニ行ニ二季祭ニ（玉葉集）吉田社をよめる「皇も賴む宮ゐと成にけりたゝ山陰の名殘はかりに」從三位爲實（新續古今集）「百年をはや四かへりの霜をへて絕ぬ吉田の神祭哉」吉田神主兼照（千首）「程ちかき吉田の宮の神樂岡さて松風の聲しほりつゝ」爲尹「大鏡裏書」下廿二ウ藤氏社事鹿嶋社云々春日社云々大原野云々吉田社平安帝都之時祝之一條院御宇永延元年四月始吉田祭元中納言山蔭卿一家所祭也

補以下至伊都岐嶋別宮係春村氏補下倣之

四宮明神

○宇治郡山科鄕四宮明神ハ諸葉明神トモ云後ノ山ヲ柳山ト云フ（名跡志）ニ四宮ト號スル心ハ山科鄕ノ内ニ一二三四ノ宮アリ當社ソノ第四ノ宮ナル故ニ號スト云々土人產沙神トシ例祭九月九日ナリ祭神ハ天兒屋根命天太玉命ナリ天孫左右羽翼ノ臣ナルガ故ニ兩羽ト名ヅク（神社啓蒙）ニミエタリ（名勝志）ニハ諸葉山在ニ四宮河原北ニ土人呼ニ柳山ニ麓有ニ諸葉明神社ニと云諸羽山（六帖）に「つらしとて諸葉の山にかくるともわれ山彥になりて答へむ」

以下於ニ幔西ニ乗車相共出ニ栢森方ニ見物云々見物了自ニ船岡方ニ出ニ本院ニ歸京「新六帖」爲家「しめ野ゆき紫野なるかへの森葉かへそなから埋れにけり」

北野社

「神祇拾遺」北野天神 菅原天神地主神也其名同其神別ナリ仁明天皇承和三年二月庚午朔爲ニ遣唐使ニ祠ニ天神地祇於北野ニ續日本後紀第五同レ之 此當社鎭坐ノ始ナルベシ已上一書曰坐ニ菅原伏見ニ以ニ天穂日命ニ移ニ祭於北野ニ爲ニ地主神ニ矣是菅家始祖也菅丞相於レ此宥ニ怨怒之靈ニ云々一書云北野神社元來天穂日命ヲ北野之社ト云後三社ヲ祭テ天滿宮ト云「廿二社注式」北野社六十二代村上天皇天暦元年六月九日遷ニ座北野ニ九年三月十二日酉時御託宣右近乃馬場乃興宴乃地奈利我彼馬場乃邊仁移居牟倶至牟所仁波可レ生ニ松云々又云祭ニ一條院永延元年八月五日始預ニ官幣ニ寛弘二年八月四日始被レ獻ニ神寶ニ禰「下學集」下 廿九左 草木門云一夜天暦元年三月十二日菅丞相神託而北野右近馬場一夜ニ松千本生ズル也「桂史抄」下ウ 廿四 神事部 中略 近則壽永二年日吉諸神幷丹生高野明神等被レ奉ニ階級ニ同三年北野宰相殿被レ增ニ正二位ニ和泉殿被レ增ニ從三位ニ等也「朝野群載」七 四右 天永元年攝政家制ニ封戸ニ奉レ寄事アリ○春村云式外事載ニ附考一 四左 石淸水下ニ宰相殿載ニ同一ニ 五十七左

梅忠社

「廿二社注式奧入」一條富小路梅忠社 本名宿直 安貞二三十六兼直參ニ殿下ニ大外記師季參入面談云一條京極梅忠社事或記云宗直也今俗誤ニ梅忠ニ雖レ爲ニ道祖神ニ中御門右府不レ憚ニ其名ニ如何「諸社根元記」同上文「盛衰記」治承元年四月十三日三社ノ 十禪師 客人 八王子 神輿ヲ陣頭ヘ振上々々奉ル大嶽水呑云々河合梅忠社柳原法成寺ニナリケレバ云々「明月記」嘉祿三年十一月七日南隣梅忠社ノ北群盜入近日無ニ間斷ニ

吉田社

「山城名勝志」十三下愛宕郡社家説云當社元坐ニ吉田山西ニ文明中遷ニ神樂岡麓ニ舊趾今有ニ二株松ニ若宮殿跡在ニ石像彌勒堂東南ニ（二十二社次第）云山城

ニ載タリ今モ三月十日ヤスライ祭アリ〔諸神記〕弘安五年後四月廿二日被レ奉レ授ニ正一位一補〔諸社根元記〕延文四年四月社解云當社大明神者永承七年五月廿九日依ニ神託一被ニ崇敬加一レ之毎年五月五日祭禮之被レ獻ニ內藏寮幣一也云々件位記事被レ尋ニ下兼豐一被ニ注進一云弘安二年五月十五日被レ授ニ從二位一之由社解之分無ニ相違一今般正一位々記不レ能ニ左右一云々（延文四年七四注進）同十一年四月廿二日被レ奉レ授ニ正一位一奉行頭左中辨藤原忠光上卿中納言具造卿

赤山大明神

〔山家要略記〕（承安四年撰）赤山靈神緣起云大明神者震旦明神之山神也有ニ弘法守護之誓一隨ニ慈覺大師一垂ニ迹叡岳之西坂一云々依ニ大師遺言一貞觀六年造ニ禪院一安ニ置一切經等一同十年始有レ勅以ニ近江國正稅一被レ造ニ赤山大明神之一間四面神殿一同三月五日安惠座主申ニ叙正四位一並申ニ加年分度者六人一云々寛平二年宇多天皇御宇增命內供以ニ赤山明神一申ニ叙正三位一云々延喜元年酬ニ赤山明神之託宣一天皇下詔直被レ奉レ授ニ正二位一云々天曆二年九月三日橘朝臣直齊謹記レ之補近江式外之部可レ考〔諸社根元記〕赤山權現素盞嗚尊慈覺大師勸請云々〔山城名勝志〕十二右十八所レ載（正曆四年宣命）曰天皇掛畏天台山西麓坐世留赤山明神爾申久大神ハ大唐ニ坐テ被ニ崇敬一給ケルヲ慈覺大師爲ニ求法一トテ入唐セシ時途中平ケク祈申ケルニ依テ云々正曆四年奉レ授ニ從四位下一○春村云是マコトナランニハ山家要略記ノ神位ハ僞リナリ猶考フベシ○〔慈覺大師傳〕仁和四年建立大師本願禪院是南大納言山庄也在ニ延曆寺西坂下一大衆合レ力以ニ錢二百貫一買得也（是今ノ明神ノ社地ナリト名勝志ニ委シクミエタリ）○以上春村所補

栢社

〔貫之家集〕延喜二年左の大臣の北の方の御屛風の歌かへの社「かけとのみたのむかひありて露霜に色かはりせぬかへの社か」〔永昌記〕長治三年四月廿四日參ニ齋院一今日賀茂祭也仰ニ外記一令レ催ニ所々使等一遣ニ使部等一柏社近邊宿所令ニ相尋一云々卽以前行下於ニ栢社一列見上相ニ副牛車一前行參ニ向本院一入レ自ニ東門一參著〔明月記〕建仁二年四月十七日（賀茂祭）近衞使出ニ幔門一乘ニ餝車一參ニ神館一此間予等皆起座頭中將

九日庚戌於二紫野一有下祭二疫神一事上件祭長保年中所二始行一也世號二之今宮祭一〇以上春村氏所補〇「諸神記」一條院長保二年正暦五年ヨリ六年目五月九日庚辰今日於二紫野一有二疫神御靈會事一仍兼日神殿三宇瑞垣等木工寮修理職所二造儲一也又御輿內匠寮造レ之又説云長保三年五月九日被レ遷二坐疫神於紫野一京師衆庶行二御靈會一被レ遷二此所一事依二靈夢之告一也〇朝野群載(廿二)同

補春村按ニ紀略ノオモムキニテハ船岡紫野別々ニ聞エタレド實ハ船岡ヨリ紫野ニ遷シタルナルベシ諸社根元記ニ紫野今宮素盞嗚尊正暦五年六月廿七日被レ安二置疫神於船岡山一長保三年五月九日被レ遷二座疫神於紫野一京師衆庶行二御靈會一被レ遷二此所一事依二靈夢之告一也トアルハサルコトナリ

「公事根源」紫野今宮祭五月九日是は疫病の神也正暦五年長保二年天下しづかならざりし時此神社を祭らる藤氏長能二首を詠じて奉りけるとかやその歌(後拾遺)に侍るとぞ承る藤原長能「白妙のとよみてくらをとりもちていはひぞ初る紫の野に」そめたるむらさきの宮根元記「今よりはあらふる心ましますな花の都にやしろさためつ」此歌或人云よの中さはがしう侍りければ舟岡の北に今宮といふ神を祝ひておほやけも神馬奉り給ふとなん云傳へたり「後拾遺」廿神祇世の中さはがしく侍りける時さとのとね宣旨にてまつりにつかうまつるべきを歌ふたつなんいるべきといひければよみ侍りける云々補「內裡雛」五七左やすらひ花の祭此神事は三月十日なり此所の里人ゑぼし素襖を著し太刀をかたげむらさき野より加茂の西を渡りて今宮に來り社をめぐりてやすらひ花よとはやす是をやすらひ花の踊といへり中略法花會はやわらかにはてよとはやせしをいつの頃よりかやすらひ花よあすなひ花よとあやまれり下略按ニ六張右ニ踊ノ圖モミエタリ〇「諸神記」寛弘三年長保二年ヨリ六年目五月九日於二紫野一有二疫神祭事一件祭長保年中所二始一行一也世號二今宮祭一以上紀略文也又云延文四年四月社解云々當社大明神者永承七年五月廿九日依二神託一被二崇敬一「百錬抄」久壽二年四月近日京中兒女備二風流一調二鼓笛一參二紫野社一世號二之夜須禮一有レ勅禁止〇信友云今宮社司ニ寂蓮法師ノ書タリト云フヤスライ花ノ歌一軸アリソレニ鎮花祭謌トアリソノ中ノ歌一首ハ西行法師ガナリトテ(夫木集)

御體歸朝之後奉レ安ニ高尾ニ文〇後考ノ爲附抄ス「神名帳辨疑」首書ニ石清水八幡宮舊說或謂在ニ久世郡ニ今爰擧ニ綴喜郡ニ者是依ニ東武御朱印之文ニ也〇信友云貞觀十八年太政官符ニ久世郡トアリ神名帳久世郡亦不レ載ニ此社ニ按御朱印之文有レ所レ據也乎盛輪院延德元年十月之勸進帳端書曰云云雍州綴喜郡男山繼弓岡盛輪院本尊云々「石清水社記」天延二年勅石清水八月十五日會准ニ諸節會ニ又宣左右寮獻ニ十列御馬ニ以奉ニ幣帛使ニ又云延久二年八月十五日有ニ宣旨ニ差ニ上卿參議外記史並六衞府左右馬寮等次將以下ニ供ニ奉其事ニ以宜レ准ニ行幸ニ是依ニ儲貳時御願ニ也

大原野社

「文實」仁壽元年二月乙卯別制ニ大原野祭儀ニ一准ニ梅宮祭ニ「三實」貞觀七年四月十七日丁卯勅奉レ充ニ諸明神神田ニ松尾神五段賀茂御祖五段別雷神五段稻荷神三段平野神五段大原野神五段以ニ山城國愛宕紀伊乙訓葛野郡得度除田ニ充レ之「延喜四時祭式」春日祭ノ次ニ大原野神四座祭右料物同ニ春日祭ニ春二月上卯冬十一月中子日祭レ之「同祝詞式」春日祭祝詞ノ下ニ大原野牧岡等祝詞准レ之「公事根源」大原野祭云々此神社は后宮のまゐらせ給はんため春日の本社遠きによて都近き所にうつし奉らるされば大原野の行啓など申事の侍るにや〇信友云如此アヘシラヘ玉ヘド官帳ニハノセラレズ「廿二社注式」舊紀曰仁壽元年二月一日依ニ太皇太后御祈ニ山城國葛野郡大原野仁宮柱廣立春冬御祭加賜

今宮

〇舊稱ニ紫野社ニ坐ニ大德寺北ニ今御旅所在ニ大宮通北涯ニ曰ニ下松ニ所也元在ニ近衞南西洞院西ニ見ニ康富記ニ「日本紀略」正曆五年六月廿七日爲ニ疫神ニ修ニ御靈會ニ木工寮修理職造ニ神輿二基ニ安ニ置北野船岡山窟ニ令レ行ニ仁王經講說ニ城中之人招ニ伶人ニ奏ニ音樂ニ都人士女賫ニ持幣帛ニ不レ知ニ幾千萬人ニ禮了送ニ難波海ニ此非ニ朝議ニ起レ自ニ巷說ニ補「紀略」長保三年五月九日庚辰於ニ紫野ニ祭ニ疫神ニ號ニ御靈會ニ依ニ天下疾疫ニ也是日以前神殿三宇瑞垣等木工寮修理職所レ造也又御輿內匠寮造レ之京上中下多以集會此社號ニ之今宮ニ寬弘三年五月

同十八年八月十三日丁巳石清水八幡護國寺申牒偁故傳燈大法師位行教法印詮央去ル貞觀二年奉下爲二國家一祈中禱大菩薩上奉レ移二此間一望請准二宇佐宮一永置二神主一卽以二從八位下紀朝臣御豐一爲レ之勅從レ之「類史」五

貞觀七年四月十七日告文ニ岩清水爾坐八幡大菩薩乃廣前爾申給止申久新宮構造天楯鉾及種々神財可レ奉レ出云々○同十八年五月廿八日甲辰勅令三山城國每年米四十二斛宛二石清水八幡宮護國寺一永以爲レ例「三代格」貞觀十八年八月十三日ノ太政官符ニ

應レ置二石清水八幡宮神主一事坐二山城國久世郡一從八位上紀朝臣御豐右得二護國寺牒一偁去貞觀二年故傳燈大法師位行教奉二爲國家一時以二懇誠一祈二請大菩薩一奉レ移二此山宮一自レ爾以降道俗男女集會祈祀非レ無二靈驗一仍令下件御豐權充二神主一供中奉祭事上望請准二宇佐宮一充二置件職一將レ增二神威一者右大臣宣奉レ勅依レ請「榊葉集」上卷貞觀五年八月十五日始修二放生會一石清水別當安宗沙汰行レ之仁和四年八月十五日爲二所司沙汰一別當未レ補之故以レ之爲レ始「元亨釋書」釋行教武內大臣之裔也居二大安寺一貞觀元年詣二豐之宇佐八幡神祠一一夏九旬晝讀二諸大乘經一夜誦二密咒一法藏已滿夢大神曰久受二法施一不レ欲レ離レ師師廻二王城一我亦隨行居二王城側一當レ護二皇祚一耳漸著二山崎一其夜又夢大神曰師見二我所ヲ居俄覺便起見二東南一男山鴿峯上現二大光一凌晨至二光處一實其區也敎便錄二二事一表奏帝詔二橋工部一准二宇佐祠規一建二新宮一世言敎祈レ見二大神本身一於レ是彌陀觀音勢至三像現二袈裟上一因レ是殿內安二三像一止○（神皇正統記）二應神章同二本書一

「年中行事秘抄」三月石清水臨時祭ノ首書ニ（年中行事抄）ニ石清水略記文ヲ引記セリ可レ見又（續古事談）第二石清水ノ事アリ

補臨時祭事載于附考一三左

式外之事同上

石清水最初寺院也同一四左

託宣同上

御體燒失同上

詩寺崇鎭守同一五右

紀氏別當事同一五右

「山家要略記」承安四年撰八幡大菩薩僧形事（眞濟僧正記）云先師空海阿闍梨入唐時爲二渡海守護一奉レ圖二八幡宮御體一其像沙門乘二靑蓮花一著二衲衣錫杖一彼

天聽ニ達セズ天皇御夢ニ自ニ男山一光明映ニ照宮中一云々翌日ニ勅使ヲ遣ハシテ行敎ニ尋テ令レ奏ニ聞事由一卽勅ニ諸司一奉レ造ニ立神殿一自レ其宗廟ニ擬奉奉ニ官幣一宇佐遼遠ナレバ一代ニ一度ノ使等ハ古ヲ不レ改也細々ノ報賽ハ當宮ニテ在レ之朱雀院御宇始テ被レ行ニ臨時祭一將門追罰ノ報謝也圓融院ノ御時行幸坐依後三條ノ御願ニ依テ毎年放生會ノ時中略ソモソモ八幡三所ト申ハ中ノ御殿ハ大菩薩西御殿ハ神功皇后大足姬ト申ス東御殿ハ神武天皇ノ御母玉依姬ニ坐也此神同殿ノ事不レ測事也是ハ海神ノ女ニ坐定有ニ由緒一奉レ獻ニ神服一中ニハ法體ノ御裝束兩所ハ女體ノ御衣也式部卿敦實親王寬平ノ御子男體僧形二像ヲ造リ玉フ被レ備ニ毎日御供一或時僧形ノ御體〆御箸ヲ令レ落玉ナリ仍御體奉レ安ニ置石清水之外殿一保延ノ回祿ニ燒玉ヒ了依レ奉ニ假安置一不レ及ニ造替之沙汰一補鎭座之事　續古事談下一右詞林采葉一右二正直の頭にやどらむと云レ託宣十訓大廿五右にみゆ又八幡愚童訓下正直事條にも凡御託宣に正直ナルニ依テ大菩薩其頭ニやどり玉フナラバ天魔惡鬼ハ恐ヲナシ七珍萬寶ハ自ライタリナン「玉葉」「やはた山さかゆく峯は越はてゝ君をそいのる身のうれしさに」「新拾遺」攝政太政大臣「八はた山さかゆく神のめくみもてちよともさゝし峯のまつかえ」「新續古今」後鳥羽院「やはた山跡たれそめししめのうちになをよろつ代とまつ風そふく」「夫木」後成「萬代にちよを重ねて八はた山君を守らん名にそ有ける」「書言字考」云邑老云當山其形陽也故曰ニ男山一「朝野群載」七四右天平元年攝政家割ニ封戸一奉レ寄事アリ○以上係春村補

○當宮ノ祠官ニハ補ニ紀氏輩一其後撿挍別當及僧俗官皆紀氏也武内大臣子角宿禰ノ後胤也神功應神ノ御代專棟梁臣下トシテ補佐被レ申往因ナリ「神名帳辨疑」石清水八幡宮山城國綴喜郡當レ載而失レ之

義知按此神貞觀二年二月九日之夜遷ニ座男山嶺一事詳見ニ遷座記一同三年五月十五日始奉幣祈レ雨有ニ宣命一同十八年八月十三日准ニ宇佐宮一永置ニ神主一祀レ之殊本朝第二宗廟而卽位大嘗會必有ニ奉幣勅使一名神大社實異ニ于他一而神名帳脫レ之不レ載者可レ謂ニ疎略失誤之甚一歟

○(三代實錄)曰貞觀三年五月十五日遣ニ使者於近京名神一七社奉レ幣祈レ雨告文曰天皇我詔旨止掛畏支八幡大菩薩乃廣前仁申賜倍止申久云々自餘社告文准レ此

會とのみ記し(長秋記)には御靈渡御間大風雨云々と記されたれば祇園御靈といへるぞ委しき稱へには有べき御靈の文字を略けるはやゝふるくは(顯廣王記)安元二年又近き代には(忠富王記)(二水記)所には祇園會とのみ記(觀音寺相國記)には祇園祭會と記され(康富記)には祇園祭禮ともあるは皆略けるなるべし又後の代の事ながら寶德三年六月十五日祇園臨時祭の時の宣命に祇園天神乃廣前爾云々(康富記)と見えたれば正しき神號には祇園天神といふべきにやされども神にまれ人にまれ荒魂を祭りたらんには御靈といはんに難あるまじければ普く稱へしまゝに祇園御靈といふぞやすかるべき補

[花營三代記]下四左 祇園會舞車御所へ參ル七番ウタフ云々[忠富王記]明應九六七 祇園會再興珍重々々山桙渡時分甚雨神幸時分聊屬レ晴云々

石清水八幡宮

○行敎宇佐ヨリ勸請也[三實]石清水八幡宮護國寺ト見ユ(大安寺緣起)ニモ行敎和尚以二其衲衣一鎭二于此一以爲二石清水寺伽藍神一隷二于和州大安寺八幡一トアル意ナルベシ源義家ヨリ源家ノ爲ニ崇重セラレマシテ當時ノ如クハナリタルナリケリ行敎ハ武內宿禰ノ後ナリ[廿一社記]石清水八幡宮ハ豐前國宇佐宮ニ坐ス人王十六代譽田天皇ノ御靈也欽明天皇御宇ニ始テ化現垂跡ノ本地一所ニ非レ之今五所ノ別宮ト號ス是也此天皇ハ胎內ニ坐ス御時ヨリ神夢坐シキ依二住吉明神敎一御母神功皇后新羅百濟高麗等ノ國ヲ平ゲ玉ヒキ此國ハ胎中天皇可レ治國也ト託宣アリ垂跡ノ初我ハ譽田八幡丸ナリト勅シ玉ヒシニヨリ八幡ト申奉ル也譽田ハ往古ノ御名八幡ハ和光ノ御稱也八幡ノ稱號凡慮不レ測文武天皇ノ御子開化皇出家シ玉ヒテ攝津國勝尾ト云フ山ニシテ誓願ヲ發シ書二寫大般若經一時大菩薩化現示曰得道以來不レ動二法性一示二八正道一垂二權迹一若二衆生一皆得二解脫一故號二八幡大菩薩一云々清和天皇ノ御宇貞觀十八年中大安寺僧行敎彼宮ニ參詣シテ一夏九旬奉二丁寧法施一菩薩感應ノ阿彌陀三尊ノ形化現ス其光明行敎ノ袈裟ニ映徹ス種々有レ告帝都近ク可レ令二守護一云々行敎件ノ袈裟ヲ頂戴奉リ進發ス今男山石清水ノ峯ニ草菴ヲ結ビ勤行ス然レドモ

模ニ焉大唐西明寺以ニ彼祇園精舍一爲ニ規模一矣本朝大安寺以ニ彼西明寺一爲ニ規模一焉寺者在ニ大和國添上郡ニ云々其自レ小及レ大一起ニ於上宮太子熊凝精舍一矣」トミエタリ山城ノ祇園モモト此意ニテ建タル精舍ノ牛頭天王ヲ神トシテ崇メタルモノナルベシ

補「諸社根元記」云天祿三以ニ祇園社一爲ニ日吉末社一祇園牛頭天王初垂ニ跡於播磨明石浦一移ニ廣峯一其後北白川東光寺其後陽成御宇移ニ感心院一託宣曰我天竺祇園精舍守護神云々故號ニ祇園社ニ「朝野群載」七四天永元年攝政家割ニ封戸一奉レ寄レ事「諸社根元記」右臨時祭祇園ノ祭天延三年六十四代圓融ノ比六月十五日始被レ奉ニ走馬一勅樂東遊御幣等使云々日本紀略百錬抄同廿一社記モ三考東遊祭リイ歌云「神風の八さかの里と今よりそ君か千歳を計始る」此後中絶七十五代崇德天治以後毎年相續○信友按ニ公事根源祇園臨時祭ノ下ノ歌ニ「神か代の八坂のさとゝ今日よりそ君か千歳はかそへはしむる」トアリコノ歌一首ニ神か代君か千歳も調へりトモキコエズ又神か代の八坂ト云フツヾキモイカヾコハ（諸社根元記）ニ神風トアルヤ正シカランソハ神かせトカ神か世トカ書タリケンヲせヲ世ト誤リテツヒニ神風ノトト書タルナルベシ下ノ句ハ（公事根源）ノ方ヨロシ○右參考ルニ凡後三條院天皇ノ比ヨリ六月十五日行幸ノ事始リテ見ユレド臨時祭トハナシ天延二年定マリタルカ中絶シテ天治元年ヨリ相續トキコユコノ事（帝王編年記）ニ出デ初有ニ祇園臨時祭一トミエタリシカレドモ毎年アリシ事ハ記缺テ詳ナラズ（根元抄）ニイヘルハ社傳ナルベシ又（公事根源）ノ御説モ誤ニハアラネド記サレザマ紛ラハシキ故ワレ人コノ御説ニテハ誤ル也サテ（諸社一覽）ナル播磨國飾磨郡廣峯社ノ社記ハ妄説不レ足レ論（廿二社注式）（伊呂波字類抄）等ナホ可レ考（後拾遺集）神祇おなじ御時七十一代後三條也祇園に行幸侍りけるに東遊の歌にうたふべき歌めし侍りければ藤原經衡「ちはやふる神のそのなるひめ小松萬代ふへきはしめなりけり」祇園拗物山本祇園を御靈といへるは古くよりしか稱へしと見えて六月の祇園會を（公事根源）（禮儀類典）等には祇園御靈會と擧られ禮儀類典に記載する處の（中右記）（玉海）（山槐記）（吉記）（三長記）（業資王記）（玉蘂）（吉續記）（百錬抄）等には祇園御靈會と記され（永昌記）には御靈

延久の比焼亡の時梨本の座主其深さをはからんとせられければ五十丈におよびてなほ底なしとぞ保安四年山法師追捕せられけるに多く寶殿の中ににげ入たりけるその中にみぞありそれに落入たりつるとぞいひける「今昔物語」祇園はもと山階寺の末寺にてなん有ける又祇園の東に比叡山の末寺蓮華院といふ寺ありしかるに祇園の別當良算といふものありて云々座主（横川の慈惠僧正天台の座主也）山門の所司を呼下して祇園の神人等一統に延暦寺に隨ふべき寄文を設て其に判を加へよと責ければ神人等責られて侘て判を加へける斯して後祇園は天台山の末寺也早々別當良算を追放すべきよし座主より仰らる云々其後よりは叡荷（西塔ノ平南房ニ住レシモノ也）を別當になして執行せしめける云々「玉葉集」「我宿に千もとの櫻花さかは植おく人の身もさかえなん」これは祇園の御歌とて人のうへに見えけるとなん「廿一社記」祇園社此云二感神院一自二播磨廣峯一遷座號二牛頭天皇一也從二圓融院御時一預二祭祀一白河院御時有二寵幸人一時人祇園女御ト號ス依二此人歸依一白河院令二興隆一給從レ其行幸在レ之又自二院中一被レ獻二十列一已流例也「中右記」寬治六年六月十四日祇園御靈會「永昌記」保安五年六月十四日御靈會○（同十五日臨時祭ノ儀アリテ）天永二年貞觀年中有二此例一云々可レ有二臨時祭一之由世以云然而今日儀如レ此云々「中右記」大治二年六月十四日祇園御靈會同四年六月十四日祇園御靈會長承二年六月十四日祇園御靈會（此後ノ書ニイト多シ）「長秋記」長承三年六月十四日御靈會ノ事ヲ記サレタル條ニ御靈渡御間大風雨後聞鴨河橋破大政所第二神輿渡レ河一町計流下村閭人入レ河荷二上之一云々希代事也後寺僧云稱下有二先例一之由上入レ夜詣二祇園一「康富記」寶德三年六月十五日祇園臨時祭ノ宣命祇園天神乃廣前爾云々去大治元年與利始天限以二永代一天毎年乃今日恒例乃會日爾東遊走馬并神樂等乎調備氐云々」信友云コノ記錄ドモノ文ニヨリテ考ルニ佛ノ祇薗精舍林ニヨリテ神域ヲ祇薗ト稱シ神ヲバ御靈ト申ナルベシサテ後ニ天神ノ號ヲ上ラレテ祇園天神ト稱ヘ玉ヘル也牛頭天王ハ又後ニ申セル稱ナルベシ○サテ記錄ドモニ神輿トイヘルハ輿ヲサシテイヘルナルベシ又（大安寺寬平緣起）中天竺舍衞國祇園精舍以二兜率天宮一爲二規

ヘ田野ノ中ニアリ故ニ田中明神ト云フ

春日年祈神

[三實]貞觀五年十二月三日山城國春日年祈神從五位下

興我萬代繼神

[三實]貞觀八年八月十四日授二山城國正六位上興我萬代繼神從五位下一同十六年閏四月七日授二山城國興我萬代繼神從五位下一○乙訓郡上久我ニアリ菱妻明神ト稱シテ土人生土神トス例祭四月巳日也コノ社地ノ杜ヲ久我杜ト云リ[新六帖]光俊「木々にはふ蔦もみちせり久我の杜淀のわたりや時雨しつらん」大伴郎女「いとはやも鳴つる鴈か久我の杜木にはふ蔦ももみちあへぬに」

澄水神

市河神

[三實]貞觀十二年四月三日山城國正六位上澄水神市河神並從五位上

石坐神

[三實]元慶四年十月十三日授二山城國正六位上石坐神從五位下一

補春村云名勝志十二五十四右坐ニ大雲寺南三町許一岩倉村氏神又大雲寺ノ鎭守ナリ

祇園社

[日本紀略]延長四年六月廿六日甲子供二養祇園天神堂一修行僧建立補[東寺長者補任]承平四年六月初建二祇園社一○[日本紀略]天慶五年六月十一日癸酉奉二東遊走馬十列於祇園社一依二東西賊亂御賽一也天延元年五月七日以二祇園一爲二天台別院一同三年六月十五日丙辰公家自二今年一被レ奉二走馬並勅樂東遊御幣等一感神院是則云々[本朝世記]久安四年三月廿九日祇園寶殿燒亡ノ下ニ延久二年十月十四日云々火出來燒二失寶殿幷諸社屋一牛頭天皇御足燒損蛇毒氣神燒失了今度奉レ出二御體一尤可レ謂二希□一世之所レ疑者云々○信友云此事(玉葉)ニ委シ(忍草)二五十三丁無骨法師ノ事ヨリ內裡炎上ノ事アリイトユヽシ[續古事談]祇園の寶殿の中には龍穴ありとなん去

上郡ニ神波多神社アリ

相樂(サカラカノ)神社

[和鈔]相樂佐加良加

岡田鴨(ヲカタノカモノ)神社大月次新嘗

[三實]貞觀元年正月廿七日岡田鴨神社從五位上○今在ニ鴨村(加茂里村イ)ニ木津川渡一杵(寄カ)里東也[山城風土記]賀茂建角身命神倭石余比古之御前立坐而宿ニ坐大倭葛木山之峯ニ自レ彼漸遷至ニ山代國岡田之賀茂ニ隨ニ山代河下ニ坐葛野河與ニ賀茂河ニ所レ會至坐[中右記]元永元年閏九月留ニ賀茂上號所ニ從ニ泉木津ニ及ニ三四十町ニ

岡田國(ヲカタノクニツカミノ)神社大月次新嘗

[三實]貞觀元年正月廿七日岡田園神社從五位上園ハ國字ノ誤カ○今在ニ笠置河邊ニ稱ニ國津明神ニ[三實]貞觀八年六月十日前筑前守從五位下清原眞人眞貞ヲ以テ山城國岡田山ノ銅ヲ採ラシムル使トス判官主典各一人ヅヽ

式外舊社

堀雷氷(沼イ)都久雷湯豆波和氣神

[文實]仁壽元年八月庚子朔壬寅授ニ山城國堀雷氷都久雷湯豆波和氣神從五位下ー

大川原國津神

有市國津神

天照御門神

[三實]貞觀元年五月廿八日山城國從五位下大川原國津神有市國津神正六位上天照御門神並從五位下

廣幡神

田中神

[三實]貞觀五年五月廿二日是日勅遷ニ山城國廣幡神田中神於愛宕郡伊佐彌里ニ以ニ舊社近ニ於汚穢ニ也[著聞集]和泉式部しのびて稻荷へ參けるに田中明神のほどにて時雨のしけるに云々○今大和大路三橋ノ南三町目西方ニアル俗稻荷ノ叔母ノ神ト云古

葉」久邇京ノ時歌「手束弓手爾取持而朝獵爾君者立去奴多奈久良能野爾」

佐牙乃神社 鍬靫　○兼本田原

酒屋神社

「姓氏」中臣酒屋連津速魂神十九世孫眞人公之連公之後也○南興戸村ノ西ノ山上ニアリ

甘南備神社

○神南備山在ニ多賀之西ニ「名跡志」薪村ノ西南ニ二十町バカリニ俗ニカンナベト云山アリソノ峯ニ小社アリ是歟

天神社

「書紀」天津彦根命是山代直等祖也○今云ニ天神森ト此乎○天神森村ニアリ天神宮ト云フ

地祇神社

相樂郡六座 大四座 小二座

祝園神社 大月次 新嘗

「三實」貞觀元年 正月廿七日祝園神 從五位下今在ニ柞森ニ「和鈔」祝園 波布曾乃

和伎坐天乃夫支賣神社 大月次 新嘗

「三實」貞觀元年正月廿七日和伎神正五位下○大平尾小平尾兩村ノ間ニ涌社アリ社中ニ涌出宮ト云社コレ也和伎ヲ涌ニ誤レル也

頭注「崇神記」十年知レ不レ得レ免叩頭曰ニ我君ニ云云號ニ叩頭之處ニ曰ニ我君ニ

綺原坐健伊那大比賣神社

○今俗曰ニ梶原社ニ即蟠滿寺邊也「和鈔」蟠幡 加無波多「元亨釋書」蟠滿寺緣起者素戔烏尊斬レ蛇之古事也因ニ蟠幡字ニ造レ言者乎「書紀」垂仁紀三十四年條云仍喚ニ綺戸邊ニ納ニ于後宮ニ生ニ磐衝別ニ是三尾君之始祖也○玉手南平尾村ノ北ニ綺田村アリ今蟠滿寺ノ南森中ニ在土俗梶原社ト云「和鈔」綺 加無波太 ○綺原神 社綺村ニ在（太平記）ノ比マデ御朱印アリト云フ○大和添

七世孫呉足尼之後也

綴喜郡十四座 大三座 小十一座

樺井月神社 大月次新嘗

（臨時祭式）（類史）（續後紀）トモニ月ノ字ナシ（三實）ニハ月讀トアリ「三實」貞觀元年正月廿七日從五位下樺井月神正五位下「續後紀」承和十二年五月山城國言綴喜相樂兩郡境內始自二三月上旬一蝱虫殊多身赤首黑大如二蜜蜂一好咬二牛馬一咬處卽腫相樂郡牛斃盡無レ餘綴喜郡病死相尋ク郡司百姓求二之龜筮一就二佛神一隨レ分祓攘曾無二止息一移染之氣于レ今北行者令レト二其由一綴喜郡樺井社及道路鬼更爲レ祟卽遣レ使祈二謝之一兼賜下治二牛疫一方並祭料物上「雜試」泉河樺井渡頭○樺井河合乎今光明山在二綴喜相樂兩郡之交一○水主村ニアリ「和鈔」樺

朱智神社

「舊事紀」山代大筒城眞若王兒迦爾米雷王

月讀神社 大月次新嘗

○大住村ニアリ

咋岡神社 鍬靫

○正身按玉水ノ邊小キ山ノ上ニ飯岡村アリテ祠アリ疑ラクハ飯ハ咋ノ訛歟

高神社 鍬靫

「和鈔」多何○今云多賀村ノ梵天宮乎○（和鈔）ニ志磨アリ高ハ島ノ誤歟

內神社二座

「古事記」比古布都押之信命娶二葛城之高千那毗賣一生二子味師內宿禰一山代內臣之祖也

粟神社

「姓氏」山城皇別粟田朝臣彥國葺ノ命之後也○按數ニ埴安彥於泉河ニ立レ功之地也

棚倉孫神社 大月次新嘗

「三實」貞觀元年正月廿七日棚倉彥神從五位上「萬

命次玉勝山代根古命（山背天國魂命神）倭名水主神今水無瀬○讃岐國大内郡同社號在今稱二大主水明神一又惟云レ社靈尤新也○信友云水主坐山背大國魂命神（ミツシニマスヤマシロノオホクニタマノミコト）水主カク訓ベシ又山城ハ舊一區ノ地名ナリ

荒見（アラミノ）神社

雙栗（サクリノ）神社三座

[三實]貞觀元年正月廿七日授二雙栗神從五位下一

[和鈔]羽栗マタ殖栗郷アリ○羽栗今曰二左右村一歟

水度（ミトノ）神社三座（鍬靫）

[三實]貞觀元年正月廿七日授二雙栗神從五位下一[山城風土記]（釋記八ノ十五オ）久世郡水渡社（祇社）名ハ天照高彌牟須比命和多都彌豐玉比賣命○按水度美豆森乎[三實]（四十二）久世郡美豆野○水戸神社ハ（名跡志）ニ久世郡三田坂（ミタガ）ハ久世ノ南十四丁大和街道ニアリ或人云水戸ガ坂ナリト然ラバ寺田村ノ天神宮ト云コレ水渡神社カ三田坂ノ寅卯ノ方六七町ニアリ

旦椋（アサクラノ）神社（祚イ）

伊勢田（イセタノ）神社三座（鍬靫）

[三實]貞觀元年正月廿七日伊勢田神從五位下[書紀]（神功紀）天照大神誨レ之曰我之荒魂當レ居二御心廣田國一以二山代根子之女葉山媛一令レ祭○按山背根子命水主氏祖既祠レ之因二其女葉山媛一祭二伊勢荒魂一亦建レ祠乎從祀同時所レ顯稚日女事代主歟[名跡志]ニ今イセ田村ノ東梵天ノ社ト云アリコレカト云ヘリ○例祭九月九日ナリ

巨椋（オホクラノ）神社（掠）

○在二巨椋村伏見南一許里二[姓氏]山城天神巨椋連止由波知命之後也○按神魂命之孫也○例祭九月十日ナリ[名寄]（近左）「宇治山の紅葉の色をかこふ哉をくらの森のおほつかなさよ」

室城（ムロキ）神社

[姓氏]上宮太子巡二行山城國一于レ時古麻呂家在二山城國久世郡水主村一其門有二大榎樹一太子曰是樹如レ室大雨不レ漏仍賜二榎室連一○又曰榎室連火明命十

預ニ官社ニ同十八日乙卯授ニ山城國天穗日命神從五位下ニ

宇治彼方神社 鍬靫

[百錬抄]宇治離宮明神授ニ一階ニ○今大路方者謂ニ宇治橋北ニ今在ニ橋傍ニ

補春村云離宮追考在ニ附考ニ右ニ

山科神社二座 並大月次新嘗

[新國史]延喜十一年正月六日宣旨山科神ニ前右依ニ宮道氏人内藏少允宮道良連等去年八月七日解ニ初付ニ官帳四度幣ニ偁件氏神依ニ去寛平十年三月七日奉勅之宣旨ニ初預レ亭（禮イ）春秋祭祀又預ニ四度官幣ニ○信友云此文(諸社根元記)ニ引(諸神記)ニアリ又(本朝月令)ニ右ノ太政官符全文アリテ官帳ニ附ラレタリ其文凡例官帳ノ條ニ出ス○山科大宅村ノ東ニアリ巖屋明神ト云フ土人生土神トス例祭九月十六日[和鈔]山科 也末之奈 ○今在ニ勸修寺村ニ稱ニ兩社大明神ニ[公事根源]山科祭四月上巳日此社ハ宮道氏の祖神也寛平十一年より祭ははじまる

久世郡廿四座 大十一(座)イ 小十三(座)イ

○精古云[萬葉]七廿八右開木代來脊社草勿手折己時立雖榮草勿手折

石田神社 大月次新嘗

[書紀]垂仁天皇娶ニ山背苅幡戸邊ニ生ニ五十足彦命ニ是石田君之始祖也[萬葉]十三山科之石田之森之須馬神爾奴佐取向云々○今在ニ木幡東北ニ栗栖與ニ木幡ニ交也俗稱ニ神明宮ニ○精古按(萬葉)十二 三下 山代石田杜心鈍手向力在妹相難

水主神社十座 並大月次新嘗就中同水主坐天照御魂神水主坐山背大國魂命神二座預ニ相嘗祭ニ

[續後紀]承和十一年五月奉レ授ニ山城國水主神從五位下ニ[三實]貞觀八年十一月廿日授ニ從四位下水主神從四位上ニ[姓氏]山城天孫水主直火明命後也[舊事紀]玉勝山代根子命山代水主連祖云々○按自ニ火明ニ至ニ山代根子ニ都十世其神名天照國照彥天火明命 天照御魂神 次天香語山命次天村雲命次天忍男命次建額赤命次建筒草命次建田脊命次建諸隅命次倭得玉彥

庄内ニ尋ベシ飛鳥田ハ地名也（八坂寺文書）ニ云私領田合貳段但稲荷御油段別壹升進レ之大江左衞門業尙先祖相傳私料也在ニ山城國紀伊郡柿本里ニ自ニ大和大路ニ西云々貞應二年四月十六日左衞門尉大江判

眞幡寸神社二座

○文明ノ綸旨ニ眞幡木トアリ［日本紀略］弘仁七年七月乙酉山城國紀伊郡飛鳥田神眞幡寸神預ニ官社例ニ並鴨雷神之別也○今曰藤森社乎○伊賀國波太伎神社伊勢國畠神社近江國伊波太伎神社因幡國因幡井神社○中島村城南ノ神ノ森ニアリ或說ニ藤森社コレ歟○信友云伊賀國阿拜郡波伎神社アリ又云眞幡寸ノ寸ハ樹ノ省也ト或イヘリ信ハ寸ノ訓キヲ用タルナルベシ○飛鳥田神社ノ下參考スベシ眞幡寸ハ地名也

宇治十座郡 大五座 小五座

宇治神社二座 鍬靫

［姓氏］山城國神別宇治宿禰饒速日命六世孫伊香我色雄命之後也［三實］元慶元年十二月廿五日辛卯山城國宇治郡人左衞門少志從六位下宇治宿禰常永鎮守府軍曹從八位上宇治宿禰春宗並改ニ本居ニ隷ニ左京三條ニ○今曰ニ二之尾社ニ［和鈔］宇治

日向神社

○今曰ニ日野ニ○大和國坐日向神社（舊事紀）大神君祖天日方奇日方命（國造本紀）阿多根命爲ニ山代國造ニ阿田都久志尼命奇日方命別名也（姓氏）山城地祇石邊公大物主命子久斯比賀多命之後也

許波多神社三座 並大月次新嘗

［三實］貞觀元年正月廿七日授ニ許波多神從五位上ニ○今在ニ木幡ニ（山城風土記）宇治郡木幡社 祇社 名ニ天忍穗長根命ニ［釋紀］八十丁 先師申云本緣自レ昔若レ無ニ存知之人ニ歟如ニ（風土記）ニ者宗廟之神尊崇可レ異レ他歟弘長諸祭輿行之時當社祈年月次祭幣帛神主請ニ取之ニ由載ニ本官史生散狀ニ當時見在歟

天穗日命神社

［三實］貞觀四年六月山城國正六位上天穗日命神

のほどにて時雨のし侍けるに云々「山城名勝志」稻荷社今在ニ藤尾ニ元藤杜社在ニ其處ニイナリ社從ニ山上ニ被レ遷ニ山下ニ時藤杜社移ニ今地ニ（大和大路東伏見北）故（藤杜緣起）云々山城國紀伊郡藤尾靈地垂跡云々然則藤尾社藤杜神ナルベシ稻荷社家說ニ云舍人親王墓在下稻荷大鳥居與ニ樓門ニ間北方上近年建レ社號ニ藤尾靈社ニ「諸神記」下（百二丁メ）（藤森社緣起）ニ云弘仁七年弘法大師稻荷大明神爲ニ勸請ニ藤森天王敷地之內所望之由被レ達ニ叡聞ニ被レ伺ニ中當社神慮ニ之處可レ奉レ借之由依レ有ニ神託ニ三山之麓勸ニ請之ニ自レ爾以來號ニ彼所於稻荷ニ矣（下文モナホ參考スベシ）○橋本氏（經亮）云伏見稻荷ハモト三座ナレドモ弘長三年告文アリテ文永三年正月十六日田中社（飛鳥田）四大神（三諸）ヲ併マツリテ五坐トセシヨリコノカタ稻荷五社ト崇メ奉テ（神祇伯忠富王記）永正二年三月七日稻荷祭禮役勅裁案ニモ稻荷五社云々トミエテ稻荷五社ト云フ事明也又云此社明應年中今ノ地ヘ造殿

大椋（オホクラノ・タテノ）神社

○大和大倉比賣神社（一名雲櫛社）「舊事紀」下照命坐雲櫛社按大倉比賣與ニ葛城御歲神高照光姬ニ春秋相對以レ秋收稱ニ大倉ニ今鳥羽城南寺神社在ニ秋山邊ニ疑大椋神社乎今稱レ祭ニ鳥羽法皇ニ者非也古記曰久安二年九月廿二日法皇幸ニ城南寺ニ祭如レ常法皇卽鳥羽院也○吉從云今ノ小倉（池トモ堤トモ）イヘル地ハ卽コノ大椋ニヤ大ヲ小トイヘル事多キ中ニモ大原ヲ小原ナドイヘルガ如シ小倉ハ鳥羽トハ土地少シヘダヽレリ可レ考

飛鳥田（アスカタノ）神社（一名ニ柿本社ニ）

○今曰ニ明日荷田社ニ在ニ稻荷上社傍ニ地主神（姓氏山城神別額田部宿禰明日名門命後也飛鳥田字今作ニ明日荷田ニ則明日名門命也可ニ以證ニ其先出レ自ニ神魂命ニ鴨縣主同祖也「日本紀略」弘仁七年七月乙酉山城國紀伊郡飛鳥田神眞幡寸神預ニ官社ニ例ニ並鴨別雷神別也○信友云（東寺古文書）其寺領ヲ書タルモノニ山城國紀伊郡拜師庄內ニ眞幡里飛鳥里アリ又眞幡木トモ眞幡寸トモ書ルガアリ又假字ニテとぶとり里まうたき里トモカケリコレニヨレバ飛鳥田トブトリダト唱ヘル也又飛鳥田眞幡寸社地拜師

「類史」天長四年正月詔詞稲荷神前爾申給閉止申佐久云々禮代爾從五位下乃冠授奉理治奉留云々承和十年十二月乙卯朔戊午奉レ授ニ從五位下稲荷神從五位上ニ同十一年奉レ授ニ從五位上稲荷神從四位下ニ同十二年十二月從四位下稲荷神預ニ名神例ニ「文實」嘉祥三年冬十月乙巳朔辛亥進ニ山城國稲荷神階一授ニ從四位上ニ天安元年四月戊辰朔乙酉任ニ山城國從四位上ニ稲荷神三前各授ニ正四位下ニ「三實」貞觀元年正月廿七日稲荷三前正四位上同十六年閏四月七日乙丑山城國正四位上稲荷上中下三名神並奉レ授ニ從三位一補「紀略」延喜元年九月十五日授ニ從三位稲荷神正三位ニ天慶三年九月四日正二位稲荷神從一位「諸社根元記」稲荷御位記天慶三八廿八從一位此後諸神一階度々也極位勿論也（信友云當社正一位ノ證ハ予ガ（官社私考）增一階ノ下ニ記ス又云當社ノ事（擔國風土記）山城ノ異本ノ條ニモ書入アリ可ニ三考ニ「二十二社注式」元明天皇和銅四年始顯坐ニ伊奈利山三ケ峯ニ（神名帳頭注）ノ說ニ考スベシ塙本トゾ「山城風土記」稱ニ伊奈利一者秦中家忌寸等遠祖伊侶臣秦公積ニ稲梁一有ニ富裕一乃用レ餅爲レ的者化ニ成白鳥一飛翔居ニ山峯一生レ子遂爲レ社其苗裔悔ニ先過一而拔ニ社之木一植レ家禱レ命也「諸神記」稲荷秦氏之祖神也○今大和大路ノ南ニアリ所レ謂伏見街道ナリ伏見稲荷ト云フ永享十年三峯ヨリ遷スト云リ補「伯家部類」稲荷祭之事當社祭延喜八年始テ行云々御座三月後午日祭禮四月中卯日御旅也閏廿日 勅裁之同松尾社臨事御祈事亦同レ前令ニ沙汰一勅裁料米四斗獻レ之「夫木」「二月やけふ初午のしるしとて稲荷の杉の本つ葉もなし」光俊 同いなり行幸の時「いなり山杉間の紅葉きこ見れはたゝ青地なる錦也けり」「拾遺」「瀧の水かへりてすまはいなり山七日登りし驗と思はん」作者不知「後拾遺」「いなり山みつの玉かきうちたゝき我ねきことを神も答へよ」惠慶法師「枕草紙」いなりにおもひおこしてまゐりたるに中の御社のほどわりなくくるしきをねんじてのぼるほどに「壬生忠峯集」二月初午いなりまうで歌云々「忠見集」いなりまて「神のやと三つの社に祈すとけふより君か坂とイはゆかなん」「山槐記」治承二年十一月十二日辛未中宮告ニ御産氣一著ニ召使並諸人從者等一奉ニ神社佛寺等一神社四十一ヶ所内稲荷三所田中「著聞集」和泉式部忍びて稲荷へまゐりけるに田中の明神の西

こよひのうちに歌合して奉りたらば平愈あるべきよし申侍りしかば奉り侍りき社頭述懐「伏て思ふ心も苦しあすよりは太田の杉のしるしあらはせ」此歌合病のむしろにしづみながら詠進て次の日より平愈侍りき［百錬抄］建長四年十一月八日賀茂大田社垣鹿斃件鹿氏人於ニ大田山奥一射レ之云々　○大田山ハコノ神社ノ後ニアリ

三井(ミヰノ)神社　名神大月次新嘗

［臨時祭式］御井○春村云釋記九ノ三オ亦頭注(十二ウ)有異同［山城風土記］蓼倉里三身社稱ニ三身一者賀茂建角身命也丹波伊可古夜日女也玉依日女也三柱神身坐故號ニ三身一今云ニ三井社一○社家說云中賀茂三井社也元生ニ蓼倉里一蓼倉里在ニ下賀茂東北之地高野川之西一［袖中抄］中賀茂片岡社也　○三井社今坐ニ河合社南一三坐北向

大柴(オホシバノ)(紫イ)神社　(古本)大月次相嘗新嘗

［和鈔］愛宕郡蓼倉 多天久良

高橋(タカハシノ)神社

○今在ニ下小野一俗稱ニ落葉宮一是乎

［三實］貞觀元年正月廿七日高橋神授ニ從五位下一［姓氏］山城神別高橋連神饒速日命七世孫大新河命之後也

片山御子(カタヤマノミコノ)神社　大月次相嘗新嘗

［文實］齊衡三年五月戊辰以ニ山城國片山神一列ニ於官社一兼預ニ相嘗祀一［三實］貞觀元年正月廿七日片山神授ニ從五位上一　補［小右記］寬仁元十二二授正一位云々(文既見河合條)○按今片岡社鴨玉依彥命也［左經記］曰寬仁元年十二月片山等神被レ叙ニ一階一(古記)曰寬仁元年十二月授ニ片岡神等正二位一片山者片岡也明矣(千載集)賀茂故平さりともとたのみぞかくる木綿襷わが片岡の神とおもへば稱ニ吾片岡神一者可レ知ニ賀茂縣主祖神玉依彥命一也

紀伊郡八座　大三座小五座

御諸(ミモロノ)神社

［書紀］三諸岳○或說ニ伏見御香宮歟○次下ノ稲荷神社ノ處ニ記セル文永ノ告文ノ三諸考合スベシ

稲荷(イナリノ)神社三座　並名神大月次新嘗

部が男かれ〴〵なりける比貴布禰に詣たりけるに螢の飛を見て「もの思へは澤のほたるも我身よりあくかれ出る玉かとそ見る」と詠めければ社の内より忍ひたる御聲にてかく聞えけり「おく山にたきりて落る瀧つせの玉散計りものな思ひそ」そのしるしありけるとぞ[百錬抄]天喜三年四月廿六日貴布禰社爲レ水流損移ニ立他所ニ嘉祥元年四月十三日賀茂別雷社燒亡御正體奉レ移ニ貴布禰社ニ[廿二社注式](日本後紀)古本缺卷弘仁十年五月爲ニ大社ニ造東寺長官藤朝臣伊勢人奉レ勅雖レ造ニ東寺ニ私願未レ遂聿建ニ一堂ニ然間夢洛陽北有ニ一深山ニ云々宜レ望ニ地形ニ爰老人出來齡八十郎相語云汝知ニ此地ニ否伊勢人答云目見耳所レ不レ聞也老人重云斯地之勝甲ニ于天下ニ建ニ立道場ニ最得レ地我是王城鎮守貴布禰大明神也トアリ又末社奥深吸葛トアリ

鴨岡本神社（カモヲカモトノ）大イ

[續後紀]天長十年十二月癸未朔道場一所在ニ山城國愛宕郡賀茂社以東一許里ニ本號ニ岡本堂ニ是神戸百姓奉ニ爲賀茂大神ニ所ニ建立ニ也天長年中撿非違使盡從ニ毀廢ニ至レ是勅曰佛力神威相須倚矣今尋ニ本意ニ緣ニ神力ニ宜ニ彼堂宇特聽ニ改建ニ云々○信友云(賀茂神記)ニ岡本郷ノ內ニ錦部郷中村郷アリ錦部ハ今西賀茂ト云フワタリナリトゾナホ和鈔愛宕郡ノ上頭ニ書入オケリ又按ニ岡本ニ神戸アリシニヨリテ賀茂神ヲ祭リタルナルベシカノ岡本堂オモヒ合スベシ

伊多太神社（イタタノ）大イ

○今大原坐江文明神乎[諸社根元記]高野末社九神ノ中ニいた〴〵の大明神ありコノ伊多太神社ナルベシ今高野村西ノ山際ニ森アリ社ハ絕タリ社領田字ニアリ九月九日是ヲマツル土人いた〴〵大明神ト云フ以上(名勝志)說

太田神社（オホタノ）大イ

[神名帳頭注]云後鳥羽院天永三年官符預ニ案上官幣ニ○今在ニ上賀茂社東南五六町山足ニ[光經家集]建保五年四月ころれいならぬ事大事に侍りしにおもひかけず隣家に侍るきねに託宣ありて太田社に

末刀神社

須波神社

○阿須波神○今在二別雷社門東南一○異本須波神社伊多太須波貴布禰須波鴨川合坐須波神社鴨岡太須波太田須波三井須波ト次第ス

鴨川合坐小社宅神社 名神大月次相嘗新嘗

○小社(三實)作レ祖不レ知二孰是一○下鴨社家說云小社宅ヲコソヤケト訓ト云リ[文實]天安二年八月己丑朔丁未在二山城國一從五位上鴨川合神預二名神一[三實]貞觀元年正月廿七日 鴨川合神從五位上同四年十一月廿五日授二山城國從五位上鴨川合坐小社宅神正五位下一 補[小右記]寬仁元十二三 大外記文義申レ慶呼レ前仰二雜事一次問二昨日神御位事一申云河合片山貴布禰被レ奉レ增二正二位一社司注進本位從二位仍所レ被レ奉レ增昨日作二御位記一者○[年中行事秘抄]御祖多久須玉依媛命遊二川上一時有二美箭一流來依身按宅可レ訓二多久須一乎大和國宅布世神社(姓氏)鴨建玉依彥命高野川至レ此合二流賀茂川一故云二川合一[年中行事秘抄]川合神件社立始祭始之由無二所見一依二天安二年八月七日大政官符一預二名神一又云延喜元年十二月廿八日大政官符備得二神祇官解一備件ノ川合神是御祖別雷兩神ノ苗裔神也加之此神靈驗顯然而貴賤歸依奉二大神幣帛一之時先奉二此神一也者左大臣宣奉レ勅依レ請者預二相嘗祭一云々者件社立始又祭始之由無二所見一但彼社祝申云天安二年八月七日預二四度官幣一又去寬平五年九月十五日預二相嘗祭一自レ爾以降社祝奉仕者舊記曰貞觀元年十一月九日祭二件社一 以上年中行事秘抄文ナリ

貴布禰神社 名神大月次新嘗

[續後紀]承和十年十二月奉レ授二從五位下貴布禰神正五位下一[三實]貞觀元年正月廿七日 正五位上貴布禰神從四位下同十五年 五月廿六日授二從四位下貴布禰神正四位下一 補[諸社根元記]貴布禰御位記國夫云弘仁九大奉レ授二從五位下一承和十十一正五位下天安三正廿七從四位上貞觀十五五廿六正四位下長保五三廿大正三位寬仁元十一廿五正二位承曆五二十從一位保延七七十正一位○[十訓抄]和泉式

出雲高野神社

○今高野村東ノ山下ニアリ例祭三月五日也靈應著明ノ神也（神祇拾遺）云八所御靈之內崇道天皇早良親王也山城國高野御靈云々○當郡出雲井於神社

賀茂山口神社

[三實]貞觀元年正月廿七日鴨山口神從五位下

賀茂波爾神社

[姓氏]山城天孫土師宿禰天穗日命十四世孫野見宿禰之後也今上賀茂攝社土師尾社歟

小野神社二座 鍬靫

[三實]貞觀元年正月廿七日授ニ小野神從五位下ニ元慶二年十二月山城國愛宕郡小野鄕人勘解由次官從五位下小野朝臣倘岑改ニ本居ニ貫ニ隷左京職ニ[和鈔]小野乎乃○按（姓氏）山城皇別小野朝臣天足彥國押人命之後也今鷹岑北小野庄杉坂村有ニ小野社龍社ニ（古事記）天押帶日子命者小野臣多紀臣之祖龍社多紀ノ祖疑御子ノ神歟○近江國滋賀郡小野神社二座同國高島郡小野神社○小野毛人墓愛宕郡高野川ノ北崇道天皇社山上一町計ニアリ慶長十八年癸丑十二月上人高村政重件ノ地ヲ堀テ石棺ヲ得タリ內ニ金牌一枚アリ其表裏ノ文左ノ如シ表文

（飛鳥淨御原宮治天皇御朝任太政官兼刑部大卿位大錦上） 長二尺計 幅二寸計

背文（小野毛人朝臣之墓 營造歲次丁丑年十二月上旬卽葬）

此碑公命ニ依テ人家ニ安置ストエヘドモ崇リアルニ依テ又元ノ石棺ヘ收ムト云フ今此金牌ノ摸高野村寶幢寺觀音堂ニアリ○信友云コレラヲオモヒ合スニ小野氏代々ノ采地ニテ其祖神ヲ祀リタルナルベシ毛人ハ（小野氏系圖）ニ敏達天皇曾孫妹子子毛野男也トアリナホ可レ考（記傳）廿一丁廿八見合ベシ

久我神社

[三實]貞觀元年正月廿七日久我神授ニ從五位下ニ

[舊事紀]天神立命山代久我直等祖○今在ニ御祖社北ニ○兼倶本云建角身命也○乙訓郡ノ同名社可レ考

出雲高野神社

賀茂御祖(ミオヤノ)神社二座 並名神大月次相嘗新嘗

[日本紀略]大同二年五月戊子是日賀茂御祖神奉レ授二正一位一〇春村云延暦三年従二位上賀茂條ニミユ[續後紀]承和十五年二月辛亥正一位勳一等賀茂御祖大社禰宜外從五位下鴨縣主廣雄等款曰去天平勝寶二年十二月十四日奉レ充二御戸代田一町一自レ爾以降未レ被二奉加一因レ玆年中用途乏少請准二別雷社一加二增御戸代田一町一勅許レ之[帝王編年記]永承二年四月廿三日行二幸賀茂社一今朝件御祖社幣殿有レ火一間餘燒亡[日本紀略]寛仁元年十一月廿五日己未天皇行二幸賀茂社一皇大后同レ輿宣命云愛宕郡可レ奉レ寄之由先年祈申而件郡或帝王城都或明神鎭地皆是萬代相傳之處非二一人自由之地一〇(廿一社記)ノ説別雷神社ノ下ニ記ス[記傳](鴨長明四季物語)ト云フ物ニ下鴨ト申奉ルモ大山咋御神ニテ坐シテ是モアリガタク松尾日吉ナド皆々同ジ神スガタナルベシト云リ四季物語ハ長明ガ作レルニハ非ルカ下鴨ヲ大山咋神ト云事ハ他書ニ見エヌ事ナリ然レドモ下鴨ハ式ニ賀茂御祖神社二座トアレバ彼丹塗矢ノ靈ト玉依比賣ト二座ナランカコレ別雷命ノ御父母ナル故ニ御祖トハ申ナルベシサテ御父ナレドモ丹塗矢ハ松尾乙訓ニ主トシテ祀ル故ニ下鴨ニテハ玉依日賣ヲ表ニ祀ルナルベシサテ上鴨ハ別雷神社トアレバ彼別雷命ナル事論ナシ然ルニ此下上賀茂社今京トナリテ皇朝ノ尊崇坐ス事伊勢ニ亞テ比ナキユヱニカノ別雷命ニハ非ジカト嫌ヒテ或ハ秘事ナリト云ヒ或ハ上ハ瓊々杵尊下ハ神武天皇ナド申ス事ノ聞ユルハ由モナキ事也公家ノ尊崇マス事ノ重キハ皇京ノ守神ニ坐スユヱニコソアレ必シモ其神ノ本ノ尊キ卑キニノミヨル事ニハアラズカノ崇神天皇ノ御世ニ大倭大國御魂神ヲモ皇女ヲシテ祭ラシメタマヒシ例ヲ思ヒ合スベシ又皇大神ト申ス號ノ事ヲ云ナドハイヨ〳〵俗ノサタ也(萬葉)(祝詞式)ナドヲ見ヨ〇吉從云上ニ別雷神社ト御名ヲ擧テ次ニ御祖神社トアレバ別雷命ノ御祖ナル事ミルベシ〇當社下賀茂ナリ(いほぬし)增基法師作宇多ノ比ノ人 當社ノ事ヲしものやしろト云リ又下上賀茂ト云フ事ハ已下闕

勅ニ命ト部住吉若日子ニ令レト賀茂神祟也撰ニ四月中ノ
祀馬繫レ鈴人蒙ニ猪影ニ而馳駈以爲ニ祭禮ニ能令ニ祈
禱ニ因レ是五穀成就天下豐年乘馬始ニ於此ニ也○當社
上賀茂ナリ補「古事談」二ノ八十四段加茂祭ニ聖人渡事者
聖寶僧正渡始ケリ其後增賀上人波レ渡云々
補春村按ニ 此古事宇治拾遺十二ノ八段ニ委シクミ
エタリ又文永賀茂祭ノ繪卷ニ風俗ミエタリ
○「萬葉」六ノ廿五丁天平九年夏四月大伴坂上郎女奉拜ニ
賀茂神社ニ之時便超ニ相坂山ニ云々「廿一社記」賀茂社
中略今下上二社在レ之下ハ鴨ノ御祖上賀茂ハ別雷ト
號鴨賀茂音通歟今下上各別用也雖レ爲ニ鴨賀茂各別ニ
以ニ加茂ニ爲レ本但下上ト云事ハ依ニ御祖ニ儀歟「色葉
字類抄」加茂社ハ鴨御祖社河合社別雷社片岡社貴
布禰社大田社若宮社(本朝文集)云御祖多久須玉依
媛命始遊ニ川上ニ時有ニ美箭ニ流奉依レ身卽取レ之挿ニ床
下ニ夜化ニ美男ニ相副既知ニ任身ニ遂生ニ男子ニ不レ知ニ其
父ニ云々吾大神御子乃上天也子レ時御祖神等戀慕哀
思夜夢天神御子云ク云々造ニ葵楓縵ニ嚴餝待レ之山本
坐天神御子稱ニ別雷神ニ本ノマヽナリ コノ文ノ云々ハ(本朝事始)云
欽明天皇之御世天下擧レ國吹レ風雨零爾時勅ニ命ト

部伊吉若日子ニ令レト乃ト奏賀茂神祟也仍撰ニ四月
吉日ニ馬繫レ鈴人蒙ニ猪影ニ而驅馳以爲ニ祭祀ニ能令ニ
祈祀ニ因レ之五穀成就天下豐年也又曰宇多天皇寬平
三年十一月廿四日庚午此日於ニ鴨明神ニ有下奉ニ幣
帛ニ並走レ馬事上勅使右兵衛督藤原朝臣高經率ニ遊男
廿人ニ參ニ上下社ニ皆著ニ青摺ニ歌舞如レ例

出雲井於（ノヰノヘノ）神社 大月次相嘗新嘗

「三實」貞觀元年正月廿七日出雲井於神授ニ從五位
上ニ「和鈔」出雲以都毛有ニ上下ニ○今御祖神社東井歟此地出
雲鄕也「本朝世記」久安四年三月四日ノ下ニ一條北
邊出雲路燒亡「古今集」戀ニしもついつもてらに人
のわさしける日云々「四時祭式」出雲井上トアリ○
於ヲウヘト訓コトハ(萬葉)○橋本經亮云今ノ柊（ヒヽラギ）社
ヲ云フ也古ハ別處ニアリシヲ後ニ今ノ處ニ遷シタ
ル也祭神ハ素戔烏尊也出雲ト云フモユヱアルベシ
又按ニ井上ト申セバ舊ハ井ノ上ニ社ノアリタルナ
ラン洛東祇園社尾張津島社モ素戔烏尊ヲ祭リテ共
ニ井ノ上ニ社ヲ建タリシカルニ今柊社ニ奉ル御衣
ハ姫神ノ御服ナリコレモユヱアル事ナラン○當郡

以遷都也○大同二年五月戊子是日賀茂別雷神奉授正一位[補]「帝王編年記」十二右十三大同二年丁亥五月從一位賀茂兩所大神奉授正一位「同」十三左十二承和十一年甲子十一月四日官符曰鴨上下大神宮邊河禁制狩獵「百錬抄」一條天皇永祚元年六月十九日鴨社御殿前大樹顚倒數星自樹中飛指南連去堀河天皇嘉承元年四月十二日賀茂別雷社燒亡御正體奉移貴布禰社

[補]「賀茂皇太神宮記」酉日御祭禮齋の行啓あり云々北祭といふ是也「朝野群載」七四右天永元年攝政家割封戸奉寄下上社事あり○「一宮記」大山咋神也「山城風土記」賀茂建角身命娶丹波國神伊可古夜日女生子名至依日子次曰玉依日賣玉依日賣於石川瀨見小川遊爲時丹塗矢自川上流下乃取挿置床邊孕生男子至成人時外祖父建角身命造八尋殿竪八戸扉釀八腹酒而神集々而七日七夜樂遊然與子語言汝父將思人令飮此酒即擧酒杯向天爲祭分穿屋甍而升於天乃因取外祖父之名號可茂別雷命所謂丹塗矢者乙訓社坐火雷命「百錬抄」永延二年三月十六日諸卿定申賀茂別雷社鳥居側堀出往古錢七百八十文事可令諸道勘申由宣下仁安元年七月近日仁和寺邊女夢云依天下政不法賀茂大明神棄日本國可令渡他所給云々去月並今月上旬兩度有此夢仍賀茂社司等參内並攝政第申之「帝王編年記」寛仁四年十一月廿五日行幸賀茂社奉寄一條以北田畠永承七年四月七日僧綱已下於賀茂社爲禳疾疫奉供養大品般若經四部先是依夢想告奉勸宮院公卿大夫等各令書寫也寛治三年三月廿六日自今日始調備賀茂神膳七月十三日奉輸田百餘町爲御供田永久四年丙申六月廿日壬午申刻雨此日賀茂別雷社御塔供養也件塔但馬守家保朝臣蒙勅命所造立也公卿中納言源基綱卿同顯綱卿同能俊卿宰相中將同顯雅卿參議左大辨藤原長忠朝臣右少辨師俊殿上人少將顯國朝臣顯重朝臣宗成朝臣等也又大外記史等參入以僧正寛助爲御導師讃衆二十八御願文式部大輔在良朝臣草之今朝鎭壇事有之「扶桑見聞私記」四十三越後國石河庄賀茂社領「廿二社註式」第卅代欽明天皇御宇二十八年丁亥天下擧國吹風雨零子時

今學館院是也

補[三僧記]十梅宮事兵部卿入道云橘氏ノ氏神ナリ但此モ昔親王ナリ親王御座ナリテ後橘氏之人ニ被ニ仰付ーケルニ以長以政父我許ノ社務ハ叶ハジトテ寄ニ進守治入道殿ー其後永□□所ニ付ケ御沙汰アリ云々

天津石門別稚姫神社 名神大月次新嘗

[三實]貞觀七年六月廿二日山城國從五位上天津石門別稚姫神列ニ官社ー○或曰今雲畠辨財天社此乎○石門別稚姫神古本訓ウトケノヲカノカミ

伴氏神社 大月次新嘗

[續後記]承和元年正月庚午山城國葛城郡上林郷地方一町賜ニ伴宿禰等ー爲下祭ニ氏神ー處上[和鈔]上林加元都波也之[姓氏]林宿禰大伴宿禰同祖○今在ニ龍安寺村ニ[萬葉]三丁廿七大伴坂上郎女祭神歌一首並短歌云云右歌者以ニ天平五年冬十一月ー供ニ祭大伴氏神ー之時聊作ニ此歌ー故曰ニ祭神歌ー○信友云トモノウヂガミノ社ト訓ベシ中古ノ假字カキノ沽劵ナドニスラみなもとの氏の女藤原の氏の女ナドキハメテ某ノ氏トカケリ某うぢト云フハ後也○今龍安寺村ニアリテ住吉ト云フ○河内志紀郡伴林氏神社

大酒神社 元名大辟神

[續後紀]嘉祥二年九月奉レ授ニ葛城郡大辟神從五位下ー緣下屢有ニ靈驗ー所レ祈必應上也○今在ニ太秦桂宮院ニ○秦酒公[書紀]雄略紀秦酒公領ニ率百八十種勝部ー奉レ獻ニ庸調絹縑ー充ニ積朝廷ー因賜レ姓曰ニ禹豆麻佐ー

愛宕郡廿一座 大八座 小十三座

賀茂別雷神社 亦名若雷 名神大 月次相嘗新嘗

○信友云元ノ名云々トアル准例ニテ名ノ字アルヨロシサテコノ若ワキト訓ベケレバ別ハワケト訓ベシ百木云亦名ノ四字例ニヨルニ云々新嘗トアル次ニアルベキナリ按ニ此四字ト部家ノ傍注ノ混入タル也[續紀]延曆三年十一月丁巳遣ニ近衞中將正四位上紀朝臣松守ー叙ニ賀茂下上二社從二位ー補[帝王編年記]十二左延曆三年是歳賀茂下上社奉レ授ニ從一位ニ[日本紀略]延曆十三年十月鴨袖松尾神加レ階

並奉授從四位下自玉手祭來酒解神前正五位下並預名神同十年五月奉授從五位下酒解子神從四位下同年十月梅宮從四位下酒解子神前預之名神「三實」貞觀元年正月廿七日正四位下大若子神小若子神酒解神酒解子等正四位上貞觀十七年五月十四日梅宮正四位上大若子神小若子神酒解神酒解子神並授從三位補「紀略」延喜十一年二月二日授梅宮坐梅宮神正三位「諸社根元記」御位記治承四十二正一位○按梅宮四座者大若子神小若子神酒解神酒解子神也(三實)梅宮祠者仁明天皇母文德天皇祖母太后橘氏神也―歷承和仁壽二代以爲官祠云々以在梅津村西號梅宮「建武年中行事首書」(壺井義知)社記云天平寶字年中祭此社「永萬記」梅宮社「伊呂波字類抄」梅宮(ムメノミヤ本地聖觀音次如意輪次不空羂索次信藏菩薩已上四神殿如)此天平寶字之比垂跡之由見傳末社一所二條西大宮(學館院內號酒殿社)一所山城國井手寺內祭事仁明天皇母文德天皇祖母橘太后之氏神也太后者諱嘉智子內舍人贈太政大臣清友之女也清友者左大臣諸兄之孫奈良麿之男也元慶三年四月始停此祭承和仁壽二代以爲官祠今永停廢光孝天皇元慶八年四月丁酉

又祭之寬平又停之延喜以後祭之十一月同之贈太政大臣正一位橘清友朝臣母伴宿禰邑等之女大同四年十月十四日贈正五位下弘仁六年七月三日贈大納言從三位天長十年三月廿五日贈太政大臣正一位鈴野山墓是凡地十四町諱於康和八年二月八日官符也譜牒男卷下云太后氏神祭於圓提寺(此神始縣犬養大夫人所祭神也大夫人子藤原太后及乙牟漏女王祭於洛陽葛野川頭其後遷於相樂郡挟山)(イ本已下モ亦付注)此神爲仁明天皇成崇出於御卜復詫宣宮人云我今天子外家神也我不得國家大幣是何緣哉云々天皇畏之欲盛立神社准諸大社每年令崇壯太后不肯曰神道遠而人道近吾豈得與先帝外家齊乎天皇固辭之太后曰但恐爲國家爲崇仍近移祭於葛野川頭太后自幸拜祭焉今梅宮祭是也除內外氏之外未甞言神異之事性敦慈愛內外親戚無遠近皆養護之但於上議則先賢能而後親戚弘仁天皇及時大臣皆欲以大后弟之右大臣爲宰相太后曰恐天下以帝爲私於妾固辭不聽及諸親戚非有才能勳勞未甞爲之請官爵唯勸以才學勵以德行仍立一院以爲橘氏學書之處

「吉記」壽永二年七月傳聞平家公卿連署以ニ日吉社ニ爲ニ氏社ニ云々棄ニ平野社ニ用ニ氏社ニ神慮有レ恐事歟

○按ニ平野桓武天皇外祖神也中古以來異說亂眞成爲ニ八姓祖神ニ或爲ニ仁德廟ニ皆齟ニ齬于式文ニ也「袋草紙」平野御歌「白壁の帝のおやの祖父こそ平野の神の心也けれ」「伊呂波字類抄」縣社アガタノヤシロ坐ニ平野ニ社「祝詞式」平野祭云々今木與利仕奉來流皇大御神乃廣前爾白給久皇御神乃乞志給乃任爾此所乃底津石根爾宮柱廣敷立弖「公事根源」平野祭四月上申日延暦にこの神社を造立ありて貞觀にかの祭禮を始行はせらる云々此臨時の祭は寬和元年四月十日より始らる云々第一の御殿は源氏第二は平氏第三は高階氏第四は大江氏すべては姓の祖神にてましますなるべし

補「三僧記」卷十平野事 兵部卿入道云 一ノ殿平氏 二ノ殿源氏三殿江家四殿高階也 代々社務ハ皆親王也至ニ于延久三宮ニ如レ此其後依レ無ニ親王ニ源氏長者社務ス後房公ヨリ始レ之其後親王御座セドモ如レ此下リタルナリ平家六ハラ大相國時社務セヨト被レ仰ケレドモ辭退猶只源氏沙汰也云々

「康富記」嘉吉三年四月十一日ノ下ニ平野臨時祭ノ宣命ヲ載タリ 上略 去寬和元年與利始弖奉出給布宇都乃御幣乎云々「江家次第」祈年祭ノ下ニ藤氏公卿頒ニ春日祭幣ニ之後或早退出云々源氏 江氏 皆ハ頒ニ平野幣ニ之後可ニ退出ニ歟「左經記」參議左大辨源經頼記也(頭注) 參議經頼ハ宇多源氏也 寬仁四年四月三日中刻參ニ平野祭ニ事如レ例 兼官之後未ニ參ニ結政所ニ雖レ然初任辨人未ニ初參ニ以前間々著ニ氏祭ニ云々 上源中納言「中院道秀公記」文明十三年三月廿五日兼俱卿參ニ會平野奉加芳事ニ也凡源氏神以ニ平野ニ爲レ正也於ニ八幡宮ニ淸和源氏義家以來事也云々○信友云平野社家ヨリ關東ヘ出シタル(平野勘物)ト云ヘルモノアリ按ニ社司ノ私ニ叶フベキ事バカリ抄シタリト見ユ「四時祭式」平野神四座祭今木神久度神古開 印本關非也 神相殿比賣神

梅宮坐神四社（ムメノミヤニマス） 並名神大 月次新嘗

○信友云 社トアル誤也平野ノ下ニ云ヘルト同ジ

「續後紀」承和三年十一月壬申奉レ授ニ無位酒解神從五位上無位若子命小若子神並從五位下ニ此三前坐ニ山城國葛野郡梅宮社ニ同十年四月坐ニ梅宮ニ正五位下酒解神從五位下大若子神從五位下小若子神三前

云地名アリ或書ニ今櫟谷社アリ「古事記」「書紀」
「萬葉」トモニ伊地比

平野祭神四社（並名神大 月次新嘗）

○信友云社トアルハ誤也（四時祭式臨時祭式）モ座トアリ○今木神久度神古開神合殿坐比咩神「類史」延暦元年十一月丁酉叙ニ田村後宮今木大神從四位上ニ（續紀ニアリ）「續後紀」承和三年十一月庚午從四位上今木大神奉レ授ニ正四位上從五位下久度古開兩神並從五位上ニ同十年十月丙辰朔壬申平野社ニ前預ニ之名神ニ嘉祥元年七月壬午奉レ授ニ正四位上今木大神從三位從五位上古開神久度神並正五位下無位合殿比咩神從五位下ニ「文實」仁壽元年十月策命ニ正三位今木大神平波從二位爾正五位上久度古開等二前乃神平波從四位下爾合殿坐須比咩神平波正五位下乃御冠爾上奉利云々「三實」貞觀元年正月廿七日甲申從一位平野今木神正二位久度神古開神從四位上同七月十四日丁卯授ニ平野正二位今木神從一位從四位上久度神古開神從三位正五位下合殿比咩神從四位下ニ同五年五月二日甲子平野從三位久度神古開神並加ニ正三位從四位下合殿比咩神從四位上ニ同六年七月十日甲午進ニ平野從一位今木神階ニ加ニ正一位ニ「類聚三代格」貞觀十四年十二月十五日大政官符應レ充ニ正一位平野神社地一町ニ事在ニ上林鄕九條荒見西河里廿四坪ニ得ニ被社預從五位下卜部宿禰平麻呂解狀ニ偁謹撿ニ田記ニ延暦年中立ニ件社ニ之日點ニ定四至ニ奏聞既訖云々○信友云（本朝月令）ニ（延喜格）ヲ引テ此文アリ「大政官式」凡平野祭者桓武天皇之後王（改レ姓爲レ臣者亦同）及大江和等氏人並預ニ見參ニ

補「四時祭式」祭服料ノ下ニ物忌王氏云々和氏大江氏云々トアリ下ニ引（大政官式）可ニ見合ニ又云

右夏四月冬十一月上申日祭レ之

「續紀」延暦八年皇太后（桓武母后）上レ謚曰天高知日之子姫尊皇太后姓和氏諱新笠贈正一位乙繼之女也母贈正一位大枝朝臣眞妹后先出レ自ニ百濟武寧王之子純陀太子ニ其百濟遠祖都慕王者河伯之女感ニ日精ニ而所レ生皇太后卽其後也因以奉レ謚焉「姓氏」土師宿禰天穗日命之後也改賜ニ大江朝臣姓ニ和朝臣出レ自ニ百濟國孝慕王十八世孫武寧王ニ也「日本紀略」寛仁三年十一月八日庚申平野祭以ニ氏人平理義ニ爲ニ辨代ニ

一月廿〇根元記作廿日進ニ山城國從一位勳二等松尾神階ヲ加ニ正一位ニ「玉葉」建久二年十二月七日松尾行幸神寶御覽寶殿ニ所云々一所金銀幣一具無ニ御鏡ヲ是男體之故也又女體之御劔不レ付ニ平緒ニ「扶桑見聞私記」四十三信濃國今溝庄松尾社領「廿二社注式」文武天皇大寶元年秦都理奉レ勸ニ請松尾ヲ始造ニ立神殿ヲ「日本紀略」延暦十三年十月鴨松尾神加レ階以ニ遷都ヲ也「後拾遺」一條院御時はじめて松尾の行幸侍けるに歌ふべき歌つかふまつりけるに源兼澄「ちはやふる松尾山の陰みれは今日そ千年のはしめなりける」「釋紀」賀茂別雷命父丹塗矢乙訓坐火雷神社是也又秦氏大亦〇南溟按系歟帳者戸上矢者松尾大明神是也松尾大明神者大山咋神用鳴鏑也二字モトハ鏑木吉從云(江次第)ノ奈都理ハ注式ニアル如ク秦都理ナルベシサテ(秦氏大赤帳)トイヘルハ卽秦都理ガ神殿ヲ作レル時ノ記ニヤト云ヘリ〇橋本經亮云松尾社司ノ家秦都理已來相續セシカド近世相豐神主ノ頃ハ只一家トナリシヲ相賴神主ノ五世相秀神主今ノ東ノ本家相長權神主イマノ權神主東家相豐神主四世相賴正禰宜今ノ南家トワカレシヨリ今時東南權神主東ト三家トナレリ云々又南家ノ祖相賴ト云フ名ハイカニモツケタリケン安元年中神主祭相賴ト云フ人アリテ神忠ノキコエ院宣名イ廳ノ下文ニモ見エタリ云々「色葉字類抄」松尾寄紙黃使公卿以下(本朝文集)云大寶元年秦都理始建ニ立神殿ヲ立ニ阿禮ヲ居ニ齋子ヲ供奉天平二年預ニ大社ヲ者

深川(フカガハノ)神社

「舊事紀」國造本紀 建許呂命兒深川意彌命建許呂命者山代國造祖天津彦根命孫也〇按鳴瀧村福王子社歟爲ニ地主神福王ヲ者深川之訛乎

墮川御上(オチカハノミカミノ)神社

櫟谷(イチヒタニノ)神社

「續後紀」嘉祥元年十一月奉ニ山城國無位櫟谷神從五位下ニ「三實」貞觀十年閏十二月十日授ニ山城國從五位下櫟谷神正五位下ヲ「百錬抄」仁治二年八月七日夜櫟谷宗形兩社燒亡是松尾末社也「夫木集」「大井川時雨る秋の櫟谷山や嵐の色をかす覽」貞應三年百首爲家「和鈔」葛野郡櫟原「三實」十四「後紀」十二ニモ櫟原ト

神社○兼本書入松尾末社

木嶋坐天照御魂神社（コノシマニマスアマテルミタマノ） 名神大月次相嘗新嘗

［舊事紀］天日神命 對馬縣主等祖 蓋高皇產靈命子也［書紀］顯宗紀日神著レ人謂ニ阿閉臣事代一曰以ニ磐余田一獻ニ我祖高皇產靈一事代便奏依ニ神乞一獻ニ田十四町一對馬下縣直侍祠［三實］貞觀元年正月廿七日木島天照御魂神正五位下○今在ニ太秦（ウヅマサ）村東南一［永萬記］木嶋社

墮川神社（オチカハノ）

［源氏物語］「月のすむ河のをちなる里なれば桂のかげはのどけかるらむ」○［書紀］垂仁紀ニ出タル竹野媛ノ靈ヲ祭ルカ（水鏡）ニ其事ヲ記シテ云桂川を渡りて心うしとやおぼしけむ車より墮てやがてはかなくなり給ひきト云（古事記）ニハ淺淵ニ墮テ死スト云○當郡墮川御上神社 信友云おノカナチナマリテヨミカケタリ

阿刀神社（アトノ）

［三實］貞觀八年閏三月三日山城國正六位上阿刀神從五位下［姓氏］山城國神別阿刀宿禰饒速日命孫饒田命之後也

松尾神社二座（マツノヲノ） 並名神大月次相嘗新嘗

［古事記］大山咋神云々亦葛野之松尾用鳴鏑神者也［舊事紀］大歲神娶ニ天知迦流美豆姬一生ニ大山咋神一此神者坐ニ葛野郡松尾用鳴鏑神社一也一曰從祀市杵嶋姬命［江次第］大寶元年奈注式作レ秦都理始造ニ立神殿一天平二年預ニ大社一［補］［朝野群載］七 四右 天永元年攝政家割ニ封戶一奉レ寄事トアリ預ニ大社一見ニ年中行事秘抄一

［續紀］延曆三年（日本紀略）ニハ十三年トアリ十一月丁巳遣ニ兵部大輔從五位上大中臣朝臣諸魚一敍ニ松尾乙訓二神一○乙訓ハ火雷神也 從五位下一以ニ遷都一也延曆五年十二月辛巳敍ニ從五位下松尾神從四位下一［續後紀］承和十二年五月奉レ授ニ從四位上勳二等松尾神正四位下一餘如レ故承和十四年七月奉レ授ニ正四位下勳二等松尾大神從三位一餘如レ故嘉祥二年三月壬辰勅從三位松尾大神禰宜等預ニ把笏之例一［文實］仁壽二年五月丁卯朔甲戌加ニ山城國松尾神正二位一［三實］貞觀元年正月廿七日山城國正二位勳二等松尾神從一位同八年十

玉手祭來酒解神一前正五位下並預ニ名神ニ丁丑山崎神預ニ之名神ニ同十五年三月壬申勅奉レ充ニ山城國乙訓郡山崎明神御戸代田二町ニ○今在ニ山崎離宮傍ニ[臨時祭式]名神祭條ニ酒解神社一座亦號ニ山崎神ニ○山崎社今不レ詳[和鈔]山崎夜末佐岐○信友按ニ元山崎神社アリシニ後玉手ヨリ酒解神ヲ祭リ來リテ二坐ナルヲ式ニハソノ酒解神ノミヲ申テ載ラレタルニヨリテオノヅカラ一坐ノ如クナリテモトヨリノ山崎ノ神ハ隱レ玉ヘルガ如シサレド既ニ承和十年四月授位ノ文ニ自ニ玉手ニ祭來酒解神ニ前ト別テ稱ハレ玉ヒタルハ山崎神ノ相殿ナル證也同月丁丑山崎神預ニ之名神ニトアレバ二坐アリテ共ニ名神ニナサレタリ其後同十五年三月壬申ノ文ニモ乙訓郡山崎明神云々トアリテ此神社ニ二坐マスヲ式ニ一坐ノ如クノセラルヽノミカ元ヨリノ山崎神ノ隱レ玉ヘルハカシコキ御事也但酒解神ハヤク承和五年從五位下ニナサレタリ其頃山崎神ハ名神ニナリ玉ヘルノミニテ神位ノ沙汰モナクシテ後ニ御戸代田ヲ充ラレタルモイカヾカツ既ニ名神ニナサレタルニ式名神祭ニ酒解神一坐亦號ニ山崎神ニトアルモイカヾ

神足（カムタリノ）神社

[文實]齊衡元年十月戊辰以ニ山城國神足神ニ列ニ於官社ニ○今在ニ神谷村向日明神之巽ニ也○信友云タキハ元タリ也サクナタリハサクラ谷也此考別ニ云フ

葛野（カトノ）郡廿座 大十四座 小六座

葛野坐月讀（カトノニマスツキヨミノ）神社 名神大 月次新嘗

[舊事紀]天月神命 壹岐縣主祖 蓋高皇產靈命子也[書紀]顯宗紀阿閉臣事代啣レ命出ニ使于任那ニ於是月神著レ人謂レ之曰我祖高皇產靈有下預鎔ニ造天地ニ之功上宜下以ニ民地ニ奉中我月神上若依レ請獻レ我當福慶事代由レ是還レ京具奏奉以ニ歌荒樔田ニ 歌荒樔田在ニ山背國葛野郡ニ 壹岐縣主先祖押見宿禰侍祠[文實]齊衡三年三月戊午移ニ山城國葛野郡月讀社ニ置ニ松尾之南山ニ社近ニ河濱ニ爲レ水所レ嚙故移レ之[三實]貞觀元年正月廿七日葛野月讀神正二位○今在ニ松室村ニ去ニ松尾之南ニ五町許○綴喜郡月讀神社伊勢國度會郡月讀宮二座月夜見神社丹波國桑田郡小川月神社壹岐國壹岐郡月讀

東ニ○古本書入素盞嗚孫大歳子也母須治比女「廣隆寺縁起」山城國乙訓郡有ニ一宇社殿一號ニ乙訓社一今尙明神也云々○佛說ナリ「記傳」十二三十六丁

大歳（オホトシノ）神社 大月次新嘗

「古事記」速須佐之男命娶ニ大市比賣一生子大年神云云「神祇拾遺」向日社ノ北ニ當テ灰方ト云村ニ大歳神鎮坐今在ニ灰方村一

茨田（マムタノ）神社

「姓氏」山城國皇別茨田連彥八井耳命之後也「和鈔」河內國茨田萬牟多「續紀」延曆廿三年正月戊寅茨田親王ヲ萬多ト改

石井（イハヰノ）神社

神川（カムカハノ）神社

○水分神今俗謂ニ賀茂川村一者神川之轉也此村有ニ神社一稱ニ住吉一

久我（コガノ）神社

「舊事紀」天神立命山代久我直等祖○今在ニ下鳥羽西久我村一久我村ハ鳥羽川ヨリ西ニ鴫村ト云並ニ在「三實」十三十二丁又廿五十丁與我萬代繼神トアルハコレカ式外可ニ見合一「永昌記」嘉祥元年云々桂川胡加ノ邊トアルハコガト訓ベシ久我ト與我別ナルカトオモヘド大和國紲口ヲ咸古トモ書リ

簀原（スハラノ）神社

「三實」貞觀元年正月廿七日簀原神授ニ從五位下一「和鈔」簀ハ須乃古

小倉（ヲグラノ）神社 大月次新嘗

○今在ニ山崎北圓明寺村西一

入野（イリノ）神社

「和鈔」大江於保江大江祖飯入根命歟野與レ根相通

自ニ玉手一祭來酒解（ヨリタマテマツリキタルサカトケノ）神社 名神大月次新嘗元名山崎社

「續後紀」承和五年四月甲子奉レ授ニ无位自玉手祭來酒解神從五位下一同十年四月己未云々從五位下自

與杼(ヨドノ)神社

「三實」貞觀元年正月廿七日正六位上與杼神從五位下○今云ニ水垂明神ト肥前國與止日女神社

大井(オホ井ノ)神社

○木股神亦名御井神丹波國桑田郡大井神社

乙訓坐火雷(オトクニニマスホノイカヅチノ)神社 大イ 名神大月次新嘗

「續紀」大寶二年七月詔在ニ山背國乙訓郡ニ火雷神每レ旱祈レ雨頻有ニ徵驗ニ宜レ入ニ大幣及月次幣禮ニ寶龜五年正月山背國言去年十二月於ニ管內乙訓社ニ狼及鹿多野狐一百許每夜鳴七日而止五月奉ニ幣於乙訓社ニ以ニ豺狼之怪ニ也「文實」嘉祥三年七月丙子朔丙戌進ニ山城國火雷神階ニ授ニ從五位上ニ「三實」貞觀元年正月廿七日正五位下乙訓火雷神從四位下「中右記」大治二年二月神祇官失レ火登ニ高倉ニ消レ火者山城國乙訓社祝部直茂可レ令(書カ)レ給レ祿○按今樋爪村歟(山槐記)作ニ火爪ニ爪與レ祇言通疑在ニ此地ニ歟○井內村ニアリ「釋紀」賀茂別雷命父丹塗矢乙訓坐火雷神社是也云々記傳十二四十六丁可レ考「續紀」延曆三年十一月丁巳遣ニ兵部大輔ニ云々叙ニ松尾乙訓二神從五位下ニ以ニ遷都ニ也○一本書入ニ賀茂健角身命也トアリ

石作(イシツクリノ)神社

「三實」貞觀元年正月廿七日山城國石作神從五位下「舊事紀」建麻利根命石作連等祖「和鈔」石作以之都久利

走田(ハシリダノ)神社

○在ニ灰田村ニ「三實」貞觀十五年曰信濃國和世田神

御谷(ミタニノ)神社

○但馬國水谷神社

國中(クナカノ)神社

向(ムカヘノ)神社

「三實」貞觀元年正月廿七日向神從五位下○今云ニ向日明神ニ大歲神子母須沼比姫白日神也在ニ小鹽山

元二年七月廿五日自二今日一殊召二東三條殿角明神神主一給二毎日幣料紙一被レ仰二子細一了「春日權現驗記」第四卷知足院殿東三條院におはしましける比御夢のうちに或尊き僧をめして密敎をうけさせたまひけるにそのかたはらにしらぬ法師二三人すゝみ參りてゐたり中略天狗にこそありけれと思食ていかにこの東三條の中などにかやうのものは參るぞ角振の明神はおはせ侍ぬかと仰られたりければその御聲につきて春日の神主時盛參りて候けりこれをみて天狗法師どもみな〳〵にげうせにけりつのふりはやぶさの明神は春日の御眷屬にて御社におはしますなり「台記」保延二十二九渡二御東三條一條於二二條烏丸辻一警蹕於二二條室町一警蹕於二二條町一又警蹕此間予下レ簾憚二角振明神一之故也又於二南四足小棟門之間一警蹕云々

神名帳考證　二

延喜式卷第九之二　畿內第一

畿內神六百五十八座

大二百卅一座

小四百廿七座

山城國一百廿二座

大五十三座並月次新嘗就レ中十一座預二相嘗祭一

小六十九座並官幣

乙訓(オトクニ)郡十九座大五座小十四座

羽束師坐高御產日(ハツカシニマスタカミムスビノ)神社大月次新嘗

○今在二下鳥羽西西南羽東石森一○今在二志水村一○大和國添上郡宇奈太理坐高御魂神社十市郡目原坐高御魂神社二座對馬下縣郡高御魂神社○「和鈔」羽東波豆賀之

四位下ニ〇信友按隼神ハ三實貞觀十六年從四位上ニ叙トアリテコノ說トアハズ別社ニヤ考ベシ（三實）ナルハ後院トアリ［廿二奧］久安六年正月四日天皇御元服於ニ東三條ニ有ニ御元服事ニ廿二日庚子天皇還ニ御四條皇居ニ先勸賞兩神正一位上ニ云ヘル如ク此隼神ハ式ナルトハ異ニテ攝政某公ノ東三條第ニ祀タル社歟ナホ考證アルベシ

補案ニ奧入ニ東三條云々トアルハ日本紀略永延元年十月十四日天皇行ニ幸攝津東三條第ニ命ニ詩宴ニ題云葉飛ニ水面ニ紅又召ニ文章生ニ奉ニ試賦詩ニ題云池岸菊猶鮮又奏ニ音樂ニ又授ニ角振神隼神從四位下ニ又有ニ勸賞ニトアルヲ引ルナリコレハ（三實）ニ後院トアルトハ憶ニ別社トシラレタリ又（紀略）天慶三年十一月廿六日授ニ正六位上早總神從五位上ニ寬弘三年三月四日天皇自ニ東三條ニ遷ニ御一條院ニ中宮同行啓是日也天皇先於ニ東三條殿ニ命ニ花宴ニ題云度レ水落花舞大臣貢ニ馬十匹ニ又行ニ慶賞ニ角振隼兩神並授レ位又左大臣室幷子息家司等各增レ爵東宮出ニ御左大臣枇杷第ニ同年四月五日請ニ印角振隼兩明神奉レ授ニ正二位ニ位記幷叙人等位記上ナドアルモ後院ノニハアラズ又諸社根元記云京中式內神內隼社坐ニ朱雀院內ニ坐ニ四條坊門油小路之小社ニ爲ニ隼神ニ者一說ナリ然而所レ載ニ國史ニ坐ニ朱雀院ニ歟トアルヲ思フベシ

［中外抄］保延四年正月廿八日シカ〲朝隆申云東三條の角振隼明神ハ帝王名不レ覺御後靈也聖人ハ又後身也件事實歟仰云不ニ聞食ニ事也隼明神ハ春日王子也又尾州熱田の御子也云々昔は强□□憚也而後未云々より强禁中ニハ被レ憚也東宮云々間有ニ御願ニ歟大內裏考證所引［拾芥抄］東三條一條院誕生所或重明親王家云々二條南町西南北二町忠仁公家貞仁公大入道殿傳領補［古本今昔］十九三十三段二條ヨリ北西ノ洞院ヨリハ西ニ西ノ洞院面ニ住ム僧有ケリ中略東三條ノ戌亥ノ角ニ御スル神ノ森ノ筋向ニ見エ渡リケレバ經ヲ讀奉リ常ニ此ノ神ニ法樂シ奉テ過ケル程ニ云云［榮花］鳥邊野女院東三條院ものせさせ給てなやましうおぼしめしたり云々この三條院のすみの神たゝりといふ事さへいてきて其けしきいみじうあやにくげなり［兵範記］仁平二年十一月十七日丁未被レ行ニ東三條院御神樂ニ間廻廊戸並神殿御戸供ニ神供ニ保

香山坐櫛眞命神社モ故アルナラン（亀卜集説）「伊呂波字類抄」太詔戸とあり

久慈眞智命神（クシマチ）

○櫛眞乳魂命者神皇産靈之子也（釋紀）太占讀ニ太町ニ據ニ甲穴體ニ者也○信友云正五位下也スベテ太詔詞命ノ下見合ベシ

同京四條坐神一座

○信友云月次新嘗ト一本ニアリ按ニ（四時祭式）上ニ奠ニ幣案上ニ神三百餘座注ニ云々京中三座云々トアリ幣ヲ案上ニ奠リ玉フ神ハ皆月次新嘗ノ祭ニ預リ玉フ神ダチナレバ一本ニ據テ補フベシ

補春村云山城名勝志ニ引トコロモ月次新嘗トアリ

隼神社（ハヤブサ）

「三實」貞觀二年六月十五日甲午授ニ後院無位隼神從五位下ニ同七年六月四日癸丑授ニ後院隼神從五位上ニ同十年十一月十七日丙午授ニ後院從五位上隼神從四位下ニ同十六年八月四日後院從四位下隼神從四位上「扶桑略記」四條後院「西宮記」後院四町三條南四條坊門北大宮ノ西壬生ノ東此内一町號ニ三條殿ニ「台記別記」久安六年正月六日ノ下自ニ今日ニ五ケ日奉ニ幣帛於東三條角振隼神社ニ○此ハ女御入内ノ事ニツキテナリ「台記」久安六年十月十七日己未奉レ拜ニ隼神ニ奉幣七ケ日（時料紙祠官）陸奥鼻節神社同神也「大府記」（大炊御門經實卿記ナリ缺本ナリ）康和二年七月六日辛未戌尅奉レ渡ニ東三條ニ角神於本神殿ニ御簾中座惟新所々被レ奉レ供也云々十一日丙子角二所明神被レ奉レ幣使盛家云々十三日戊寅大殿渡ニ御東三條ニ仍參入自ニ今日ニ限ニ三ケ日ニ於ニ角神寶前ニ以ニ三口僧ニ被レ講ニ仁王講ニ云々「諸社根元記」京中集社坐ニ朱雀院内ニ坐ニ四條坊門油小路ニ之小社爲ニ隼神ニ者角振隼者格別事也「日本紀略」天慶三年九月四日奉レ贈ニ左京正四位上隼神從三位ニ「保元物語」一新院御謀叛露顯ノ條ニ東三條殿ニ行向テ見ルニ云々西表ノ南ノ小門ヲ打破テ入ヌツノフリハヤブサノ社ノ前ヲ過テ千巻ノ泉前云々「廿二社注式奥入」東三條角振神隼神永延元年十月十四日天皇行ニ幸攝政東三條第ニ又授ニ角振明神隼明神從

二月朔日除目西市權佑正六位上大江朝臣國房修造主水司社料同十五日關白被レ語ニ雜事ニ被○南溟按示字脫事等今度除目尻付修ニ造主水司社ニ料令レ注依ニ請文狀ニ也而件社字不レ可レ然之由卿相有ニ傾寄○南溟按當作奇玉海異本傾寄二字作令傾之三人ニ云々此事又不レ可レ然諸司皆有ニ神社ニ今依ニ字主水司社修造事ニ浴レ恩○南溟按此下脫之者二字任ニ請文ニ注レ之有ニ何難ニ哉云々者予申云若不レ可レ有ニ社字ニ歟唯修ニ造主水司ニ○又按脫と字可レ注歟如何命曰不レ可レ然本司神社各別也爭乖ニ請文ニ哉云々

京中坐神二座 並小

補「紀略」天慶四年十二月十九日奉レ授ニ神祇官神左京職宮內省攝津國十七所階級ニ○信友云京本ニ並大トアリ月次新嘗ニ預リ玉フ神ノ小社ナルハ一ツモナケレバ大トアルヨロシ

左京二條坐神社二座 並月次相嘗新嘗

「三實」貞觀五年十二月三日辛酉左京職正六位上戊亥隅神授ニ從五位下ニ

太詔戸命神

「三實」貞觀元年正月廿七日左京職從五位上太詔詞神久慈眞智神並正五位下「扶桑略記」承平元年六月一日丁巳奉レ授ニ左京正四位上太詔戸神從三位ニ補「紀略」延喜三年五月十九日授ニ左京太詔戸神從四位上ニ天慶三年七月五日奉レ授ニ左京從三位太詔戸神正三位同年九月四日奉レ贈ニ左京從三位太詔戸神正三位ニ○「江次第」御體御占神祇官人自ニ朔日ニ籠ニ本宮ニ迎ニ太詔神ニ「古事談」六龜甲御占波仁春日南室町西角仁御坐須流社平波太詔戸明神止申件社平此占乃時波奉レ念○今按（四時祭式）所謂卜庭神二座此神社平

「釋紀」龜兆傳曰凡述ニ龜誓ニ皇親神魯岐神魯美命荒振神者掃々手石木草葉斷ニ其語ニ云々取ニ天香山白眞名鹿ニ吾將仕奉我之肩骨內拔々出父成レト以問レ之問給之時已致ニ大僞ニ太詔戸命進啓白眞名鹿者可レ知ニ上國之事ニ何知ニ地下之事ニ吾者能知ニ上國地下天神地祇ニ況復人情憤悒但手足容貌不レ同ニ群神ニ大和國添上郡太詔詞神社對馬國上縣郡能理刀神社下縣郡太詔詞神社○谷川氏云大和添上郡太詔戸神社是（古事談）ニ云ヘル所ノ社ナルベシ今ハ廢祀セシニヤ（大和志）ニ在所未レ詳ト云ヘリ又十市郡天

某年云々宮咩五柱笠間乃廣前仁云々〇笠間ノ事ハ拾芥抄此祭文ノ書入ニ云フ[姓氏]山城神別神宮部造葛城猪名岡天下神天破命之後也六世孫吉足日命磯城瑞籬宮御宇崇神天皇御世天下有レ災因遣ニ吉足日命ニ令レ齋ニ祭大物主神ー災異卽止天皇詔曰消ニ天下災ニ百姓得レ福自今以後可レ爲ニ宮能賣神ー仍賜ニ姓宮能賣公ニ云々〇信友云(大三輪注進次第)ニ宮能賣トアリテ此神ノ字ナク下文ニモトホリテ聞ユサレバ大宮賣神ハ神主ノ事ニテ神ニハアラズ又(類史)類聚國史聖武皇帝九年ノ條八月甲寅詔ニ大宮主御巫座摩御巫生島御巫云々大宮主ハ大宮賣ノ事カ異本ヲ校ルニミナ主トアリ

酒殿神社(サカトノノ)二座並小

酒彌豆男神(サカミツヲノ)

酒彌豆女神(サカミツメノ)

[類史]天長八年二月甲申通ニ取他氏二十氏ー補ニ造酒司名負酒部闕ー見直少レ數供事多レ闕也[三實]貞觀元年正月廿七日无位酒殿神從五位下同三年十月十一日造酒司從五位下酒美豆男神酒美豆女神並授ニ從五位上ニ[姓氏]上廿七丁酒部公云々於レ是賜ニ麿號酒看郎子ー賜ニ山鹿比咩號酒看郎女ー因以ニ酒看ー卽爲レ氏〇信友云(古事記)下雄略段歌佐加美豆久云云(萬葉)十八十八丁佐可彌豆伎トアルナド酒宴ノ事ト聞エタリ此神ノ御名ノ義考合スベシ又云(古事記)允恭段酒見郎女(書紀)仲哀記逆見海(サカミノ)トアリ[古本神樂歌]酒殿歌本佐加止乃波比呂志末比呂志美加巳之爾和加テ奈止利曾之加川世那之爾末佐可止乃波介佐波奈波岐曾止禰利女乃毛比岐須曾ひ支計散波々支弖岐〇信友云(萬葉)造酒歌中臣の太詔戸詞いひはらへあかふ命もたかためになれ(催馬樂)酒殿歌或說ニ本天の原ふりさけ見れば八重雲の雲の中なる中臣のなかとみの天のこすげをさきはらひいのりしことはけふのひのためあなこやな我すべがみのかみろきのよさこさコノ歌共ニヨレバ中臣氏ノ故事アルカ考ベシ

主水司坐神一座大

鳴雷神社(ナルイカツチノ)

〇大和國添上郡鳴雷神社大月次新嘗[玉海]承安四年十

召ニ宮主兼信奉ニ仕御祓ニ[大膳式]菓飯所火雷神一座云々[禁中御抄]竈神云々[清少納言記]后のひるの行啓御うぶやみやはじめのさわかしくこま大しやうしなどもてまゐりて御帳の上にしつらひ内膳御へつひわたし奉りてなどしたる コノへつひイカニ考ベシ

高倍(タカベノ)神社

[三實]貞觀元年三月廿日授ニ大膳職醬院無位高倍神從五位下ニ[大膳職]醬院高部神トアル是也

造酒司(サケツカサ)坐神六座 大四座 小二座

[造酒司式]祭神九座春秋二座 並同 酒彌豆男神 酒彌豆女神 並從五位上云々四座 竈神 云々三座 從五位上大邑刀自 從五位下小邑刀自 次邑刀自 云々古本傍書ニ「古老口傳於 保太宇女古太宇女須伎乃太宇女止云就レ字案レ之於保伊於布止師須奈伊於保止師須伎乃於布止師止可レ讀歟」信友按ニ邑ハオホトハヨミガタシ[和鈔]上野郡名邑樂ハ於波良岐トアリ考ベシ又按ニ神名式ニ此三座ハ載ラレズシテ上ノ二座四座ヲノセラレタリサテ大宮賣神社四座ハ造酒司式ニヨレバ竈神也

頭注 直清按漢呉音徴ニ邑呉音於布倭名鈔石見郡名邑知ハ於保知同上上野郡名邑樂ハ於波良岐○於布ノ假名ハ亡レ論ナリ於保於波ハ唇内音ナル故ニ波行ノ通ナリ

[文實]齊衡三年九月辛亥造酒司酒甕神從五位下大邑刀自小邑刀自等並預ニ春秋祭ニ[續古事談]造酒司の大とじといふ壺は三十石入なり土に深く堀するゑてわづかに二尺ばかり出たるに一條院の御時故なく地よりぬけ出てかたはらにふしたりけり人あやしみおどろきけるにみかどうせ給ひにけり三條院の御時大風吹てかのつかさたふれたりけるに大とじ小とじ次とじみなうちわれてけり○此神々ノ祭式(造酒司式)ニ出タリ[三實]貞觀元年正月廿七日造酒司從五位下大戸自神等從五位上

大宮賣神社四座 並大月次新嘗

[造酒司式]四座 竈神 [四時祭式]大宮賣神社四座祭 坐ニ造酒司一云々春二月冬十一月上午日祭卽神主供事 [古本神樂歌]竈殿遊歌本止與戸川比みあ所比須良之比さかたのあまのかはらにひさのこゑする云々末云々[拾芥抄]宮咩祭文維永承

也[日本紀略]天德四年十一月十九日ノ條同五年十一月廿日ノ條ニアリ

御食津神社（ミケツノ）

[三實]貞觀元年正月廿七日大膳職正四位上御食津神從三位同三年五月申戌朔授ニ園池司无位御氣津從五位下ニ]此位階追可レ考

火雷神社（ホノイカツチノ）

[文實]齊衡二年十二月丙子朔大炊寮大八島竈神齋火武主比命庭火皇神並授ニ從五位下ニ天安元年四月戊辰朔癸酉有レ勅大炊寮大八島竈神 ○春村云版本無 內膳司忌火庭火神並授ニ從五位下ニ 補 [三實]古寫諸本 貞觀元年正月廿七日大膳職從五位下火雷神授ニ從五位上ニ ○信友云大炊寮ナルハ大膳職ニ坐トハ別ナルベシ大炊內膳大膳ミナ職員令ニアリテオノ〳〵別ナリ

[三實]貞觀元年正月廿七日奉レ授ニ從五位下 ○春村云奉以下六字可除 大膳職從五位下火雷神大炊寮從五位下 ○春村云火雷以下十字據古本補 大八島竈神八齋火武主前比命神從五位上ニ同九年正月廿六日丁卯授ニ內膳司從五位上庭火皇神從四位下ニ元慶二年七月八日授ニ內膳司從四位下庭火神從四位上ニ ○信友按[三實]ニヨルニ火雷ハ火靈ノ誤ナルベシ[中右記]寬治八年十一月三日ノ下御竈神長德三年三月十一日藏人信經私記曰今日雨降又召ニ宮主ニ令レ奉ニ御祓ニ 御厨子所並內膳司 御詞曰陰陽寮依レ例奉ニ仕□御祭ニ而日來之間奉仕之勤不レ如レ法也此由所レ不ニ知食ニ也爰日者御膳非レ例仍令ニ占申ニ之處御竈神祟之奉レ致者此由可ニ核申ニ者兼仕奉ニ宣旨ニ向ニ彼司ニ奉ニ什御禊ニ還令ニ奏問ニ云々內膳司御竈神三所也一所平野件(共イ)美御祭奉仕之神也一所庭火是尋常御飯奉仕之神也一所忌火三神也是則十一月新嘗六月神今食祭奉仕之神也而矣御祭不レ如レ法之由欲ニ祓申ニ之處件平野神無ニ所在ニ仍召ニ問司官人ニ申云件神圓融院御時爲ニ人所ニ盜取 依ニ件神事ニ○朝召(臣カ)被ニ除籍ニ云々 事旣以後納ニ置內膳御戶宅內ニ是有ニ事厄ニ之上依レ無ニ神殿ニ也者因レ之日來於ニ庭火神御前ニ奉仕件矣御祭云々是尤乖ニ舊規ニ則奏ニ聞事由ニ宣旨曰隨ニ兼信所レ申之旨ニ如ニ舊跡ニ可ニ奉仕ニ者仍召ニ修理職官人等ニ仰下造ニ之神殿ニ之由上召ニ陰陽師晴明光榮等ニ令レ勘下申可レ立ニ神殿ニ之日時上畢昨日依ニ左大臣御

旨留申給久御冠奉授无止禱申賜比之爾依天從五位下乃御冠爾奉授利崇奉留狀乎御位記介持天奉出須此狀聞食天天皇朝廷乎常磐堅磐爾護幸奉賜倍止申給久止申

○「三實」貞觀元年正月廿七日宮內省從三位園神韓神並正三位「舊事紀」大年神娶二伊怒姬一生二韓神一次曾富理神云々「儀式」園神在レ南韓神在レ北其立レ机先レ南後レ北「百鍊抄」大治二年二月十四日園韓ノ神社神祇官八神殿并內外院門垣等燒亡園神韓神ノ御正體奉レ取二出之一但後日兼俊宿禰云八神園韓神自レ元無二御正體一但園韓神有二神寶劔枓一云々「長秋記」大治四年三月廿一日己亥參院仰曰去夜本院御夢想ニ有二老人一稱二宮內省ニ住人一ト申云近日居住ノ近邊ノ雜人等亂入甚難レ堪也此事可レ令レ訪給一也今朝被レ尋之處彼園幷韓神二社入レ夢驚申歟件社燒亡後未レ突二四面垣一仍雜人等亂入セリ「園太曆」文和四年十一月十九日天陰園韓神祭社壇顚倒其後無二沙汰一五節又同日無二沙汰一「康富記」應永廿六年二月五日大風園韓神御社顚倒「諸神本懷」八神殿不レ安二御體一只用二賢木一也「古事記」故其大年神娶二神活須毘神之女伊怒比賣一生子大國御魂神次韓神次曾富理神「江次第」頭書ニ園韓神口傳云件神延曆以前坐レ此遷都之時造宮使欲レ奉レ遷二他所一神託宣云猶座二此處一奉レ護二帝王一云々仍鎭二座宮內省一トアリ此由古事談ニモ見ユ

補按江次第頭書又見抄卷五有二大同小異一

○信友云(古本神樂歌)ニ韓神 并頭本 見志萬由不加太仁止利加介可良加見波加良乎支世武也加良乎支云々末也比良天乎天耳止利毛知天和禮加良加見乃加良乎支世武哉云々サテ此歌ニヨレバ加良加美ト唱フベシ

大膳職坐神三座 並小

「年中行事祕抄」中辰日節會高橋氏文云六雁命七十二年秋甍天皇宣命曰十一月新嘗會大膳職御膳事六雁命勞始成流所是以六雁命御魂膳職爾伊波比奉天春秋永世神財仕奉○信友云上文(姓氏錄)ノ高橋朝臣ノ下ニ書入タルガクハシ「大膳式」御膳神八座云云醬院高部神一座 コハ三座ノ中也 竈神四座云々菓餅所火雷神一座云々 コハ三座ノ中也 竈神四座云々「元々集」第五(本朝月令)云安房大神爲二御食神一今大膳職祭神

豐石窓神（トヨイハマドノ）四面門各一座

[三實]貞觀元年正月廿七日神祇官無位櫛石窓神豐石窓神奉レ授ニ從四位上ニ[舊事紀]天石戸別神亦名櫛石窓神亦曰ニ神石窓神ト此者御門之神云々[古語拾遺]令ニ豐磐間戸命櫛磐間戸命二神守ニ衞殿門ト是並太玉命子云々[古事記]次天石戸別神亦名謂ニ櫛石窓神ト亦名謂ニ豐石窓神ト此神者御門之神也○丹波國多紀郡櫛石窓神社二座大和國高市郡天津石門別神社攝津國嶋下郡天石門別神社近江國伊香郡天石門別神社陸奥國白川郡伊波止和氣神社美作國英多郡天石門別神社備前國御野郡石門別神社同郡石門別神社土佐國吾川郡天石門別安國玉天神社山城國葛野郡天津石門別稚姫神社阿波國名方郡天石門別八倉比賣神社

生嶋巫祭神（イクシマノミカンナギノマツルカミ）二座 並大月次新嘗

生嶋神（イクシマノ）

[三實]貞觀元年正月廿七日神祇官無位生嶋神奉レ授ニ從四位上ニ同年二月十一日神祇官從四位上生嶋神奉レ授ニ正四位下ニ[舊事紀]生嶋是大八洲之靈今生嶋御巫齋祀矣[攝津志]生島祠在ニ河邊郡栗山村ニ相傳此地嘗爲ニ生島神祭田ニ故有ニ此祠ニ[祈年祭祝詞]生國

足嶋神（タルシマノ）

[三實]貞觀元年正月廿七日神祇官無位足嶋神奉レ授ニ從四位上ニ同年二月十一日神祇官從四位上足嶋神正四位下[祈年祭祝詞]足國

宮內省ニ坐ス神三座 並名神大月次新嘗

[補][紀略]天慶四年十二月十九日奉レ授ニ神祇官神左京職宮內省攝津國九十七所階級ニ

園神社（ソノノカミノ）

韓神社（カラノカミノ）二座

[文實]齊衡元年三月癸亥園神韓神並加ニ從三位ニ同二年九月癸亥以ニ園韓神ニ列ニ名神ニ[補][文實]嘉祥三年十月甲子云々亦遣ニ右大辨兼右近衞中將從四位下藤原朝臣氏宗ニ向ニ園神韓神等社ニ宣命曰　天皇我詔

志備所レ生神ナリ如下今ノ世内侍善言美詞和ニ君臣間一
令中宸襟悦懌上也

御食津神

「鎮坐傳記」宇賀能美多麻神是伊弉諾伊弉冊二柱尊所レ生神也亦號ニ大宜都比賣神一亦名ニ保食神一神祇官座御膳神是也「古語拾遺」御膳神「三實」貞觀三年五月甲戌朔授ニ園池司無位御氣津神從五位下一

事代主神

座摩巫祭神五座並大月次新嘗

「舊事紀」坐摩是大宮地之靈今座摩御巫齋神矣「令集解」居摩「祝詞考」座摩「記傳」十三四十八ウ井後

生井神

「三實」貞觀元年正月廿七日神祇官無位生井神奉レ授ニ從四位上一

福井神社

「三實」貞觀元年正月廿七日神祇官無位福井神奉レ授ニ從四位上ニ「祈年祭祝詞」榮井「文實」同○信友云古本社字ナシ可レ從

綱長井神

「三實」貞觀元年正月廿七日神祇官無位綱長井神奉レ授ニ從四位上ニ「祈年祭祝詞」津長井

波比祇神

「三實」貞觀元年正月廿七日神祇官無位波比祇神奉レ授ニ從四位上ニ「舊事紀」大年神娶ニ天知迦流美豆姫一生兒阿須波神次波比祇神「古事記」故其大年神云々又娶ニ天知迦流美豆比賣一生子云々次阿須波神次波比祇神「祈年祭祝詞」波比支

阿須波神

「三實」貞觀元年正月廿七日神祇官無位阿須波神奉レ授ニ從四位上ニ「古事記」大年神ノ御子也上波比祇神ノ下ニ注ス「萬葉」廿二十丁爾波奈加能阿須波乃可美爾云々

御門巫祭神八座並大月次新嘗 ○兼永本書入於ニ大内一祭レ之

櫛石窓神四面門各一座

産ト稱ス神五神坐テ共ニ從一位ヲ授奉ラレタルハユヱアル事ナルベシ同年二月ニ又正一位ヲ五神ニ授奉リ玉ヘリ[古語拾遺]逮ニ神武天皇東征之年ニ云云建ニ都橿原ニ云々爰仰從ニ皇天二祖之詔ニ建ニ樹神籬ニ所謂高皇産靈魂留産靈生産靈足産靈大宮賣神事代主神御膳神已上今御巫所レ奉レ祭也櫛磐間戸神豐磐間戸神已上今御門巫所レ奉レ祭也生島是大八島之靈今生島巫所レ奉レ齋也坐摩是大宮地之靈今坐摩巫所レ奉レ齋也○(式)祈年祭祝詞ニコノ神々アリ[記傳]十五四十丁ウ

高御産日神（タカミムスビノ）

[三實]貞觀元年正月廿七日神祇官無位高御産日神奉レ授ニ從一位ニ同年二月丁亥朔神祇官從一位高御産日神奉レ授ニ正一位ニ○山城國乙訓郡羽束師坐高御産日神社大和國添上郡宇奈太理坐高御魂神社同國十市郡貝原坐高御魂神社尾張國愛知郡高坐結御子神社

玉積産日神（タマツメムスビノ）

[三實]貞觀元年正月廿七日神祇官無位玉積産日神奉レ授ニ從一位ニ同年二月丁亥朔神祇官從一位玉積産日神奉レ授ニ正一位ニ[古語拾遺]作ニ魂留産靈ニ[姓氏]神魂命兒天石都倭居命

生産日神（イクムスビノ）

[三實]貞觀元年正月廿七日神祇官無位生産日神奉レ授ニ從一位ニ同年二月丁亥朔神祇官從一位生産日神奉レ授ニ正一位ニ[舊事紀]神皇産靈尊兒天御食持命次天道根命次天神玉命次生魂命猪使連等祖也[姓氏]恩智神主高魂命兒伊久魂命之後也○攝津國東生郡難波坐生國魂神社二座○信濃國小縣郡生島足島神社二座○和泉國大島郡生國神社[祈年祭祝詞]生島能云々生國足國登御名ハ白氏○攝津國東生郡生國魂神社下可ニ合考ニ

足産日神（タルムスビノ）

[三實]貞觀元年正月廿七日神祇官無位足産日神奉レ授ニ從一位ニ同年二月丁亥朔神祇官從一位足産日神奉レ授ニ正一位ニ

大宮賣神（オホミヤノメノ）

[舊事紀]天太玉命之子也天照大神入ニ于天石窟ニ焉
[古語拾遺]令ニ大宮賣神侍ニ於御前ニ注是太玉命久

遷宮注文)曰八神殿御裝束事　御衾八領白張兩面長各四尺二巾」御帳帷八帖平絹白張兩面長各四尺二寸四巾有レ細表差筒貫耳全在ニ懸緒ニ承塵八帖シカジカ壁代二十四帖シカゞ御茵八枚シカゞ御座八帖シカゞ御濱床八脚黒漆平文長各二尺弘二尺二寸高各一尺」御差筵(高筵)御供机八脚黒漆平文各長二尺一寸弘一尺二寸」御簾八枚シカゞ燈樓八蓋○八神殿在所ノ事「大内裏考證」曰(伯家部類)貞應元年十月九日(神祇伯拜記)所レ載神祇官古圖又(文保元年二月十一日廳始)及(拜賀記)所レ載神祇官圖八神殿西院西築垣内面八社相ニ並東面ニ北爲ニ第一ノ殿ニ○神祇官西屋ノ事「大内裏考證」(延喜式)ニ神祇官ノ西屋トアル處ハ官ノ八神殿ノ巽角東西二間南北一間卯酉建レ之サテ此西屋ヲ齋部殿トモ祝部(ハフリベ)殿トモ云又刀禰殿トモ宿所トモ云フ由證ヲトリテ記サレ又古文書曰祝部殿者御巫等ノ宿所也假令今世御子等カ號ニ神殿ニ如下致ニ祈禱ニ之所上无ニ指細物ニ也又曰神祇官祝部殿事一名齋部殿只如ニ神殿ニ懸ニ御簾ニ引ニ壁代ニ立ニ濱床ニ安ニ青榊ニ又曰兼敦案レ之御厨子祝部殿共以无ニ神座ニ勸請之義但祝部殿案上安ニ榊木ニ可レ存ニ如在禮ニ歟(正和二年神祇官遷宮注文)曰祝部殿御裝束事　御衾一帳シカゞ御帳帷一帖シカゞ承塵一帖シカゞ壁代三帖シカジカ御茵一枚御座一帖シカゞ御濱床一脚シカジカ御簾一間シカゞ燈爐一蓋有ニ鈎鋼蘇芳絹栗形ニ○信友云(右記)永久六年六月十一日ノ條(薩戒記)應永卅三年六月十一日月次祭ノ下ニ八神殿ノ稱アリ此外イト多シ(儀式)大嘗會式中ニ鎭ニ大嘗宮齋殿地ニ條ニ八神ヲ祭ラル、儀アリテ其下ニ捌御殿幷門處其宮地東西廿一丈南北十五丈云々延喜式大嘗祭式ニ八神殿一宇(長四丈廣一丈)マタ於ニ齋院ニ祭神八座御歳神高御魂神庭高日神大御食神大宮女神事代主神阿須波神波比伎神」トアル八神殿ハ此御巫ノ祭八座ノ事ニハアラズ又同式ニ御飯稻ハ造レ棚別ニ置テ祭ニ御膳八神ニトアルモ又別神トキコユ

神産日神(カムムスビノ)

「三實」貞觀元年正月廿七日神祇官無位神產日神奉レ授ニ從一位ニ同年二月丁亥朔神祇官從一位神產日神奉レ授ニ正一位ニ○信友云貞觀元年ニ神祇官ノ某

補春村曰信友說に神祇官卅二柱ニ云々といへるは違へり三實を併せ見るべし但三實刊本脫字あり古寫本に據るに大膳職火雷神も同時に從五位上とし給へり又刊本大八島竈神云々の上古本どもには大炊寮從五位下の六字あり

神祇官ノ西院ニ坐ス御巫等ノ祭神廿三座

並大月次新嘗 ○信友云神産日神ヨリ足島神マデ廿三座ナリ

御巫祭神八座 並ニ大月次新嘗中宮東宮ノ御巫モ亦同ジ

[延喜式]四時祭下御巫奉レ齋神祭坐摩巫奉レ齋神祭　右御巫以下諸祭並於ニ神祇官齋院ニ祭レ之[大内裏考證]第十九、神祇官扁額ノ條ニ古文書ニ曰神祇官内東西兩院事八足門内有レ額八神殿（諸社根元記）曰神祇官東西院事八足門内有レ額八神殿[三實]貞觀二年八月廿七日甲辰夜偷兒開ニ神祇官西院齋部神殿ニ盜ニ取三所齋戸衣幷主上結御魂緒等ニ[百錬抄]崇德天皇大治二年二月十四日園韓神社神祇官以下八神殿並内外院門垣等燒亡園韓神御正體同奉レ取ニ出之ニ但後日兼俊宿禰云八神殿園韓神自レ元無ニ御正體ニ但園韓神有ニ神寶劔杵ニ云々又曰貞應元年六月五日今夜神祇官八神殿遷宮[玉勝間]十一、安元三年四月廿八日ノ火災ニ神祇官八神ノ御正體燒亡ノ由其頃ノ記錄ドモニ見エタリソノホドヨリツギ〳〵ノ世ノ有サマヲオモフニ天皇ノヤムゴトナキ御守リ神ダチノ御靈實ノカクナリ玉ヘルハ由アル事ナリケンカシ○信友按ニ此記錄ト云ヘルハ（玉海）ナリ燒亡所々云云八神殿御正體燒失トアリサレド○南溟按バ之誤歟大治ニ神體ナシトイヘルハ兼俊ノ僞說歟[帝王編年記]永仁二年九月卅日神祇官八神殿御戸開盜犯所爲歟[玉英]曆應三年三月十九日大藏卿雅仲卿爲ニ勅使ニ來神祇官可レ有ニ修造ニ武家執奏之故也於ニ神體ニ者凡無ニ御座ニ由伯業清王所レ申也此事如何又任ニ先例ニ先可レ有ニ假殿造營ニ歟將又直可レ被レ作ニ正殿ニ歟如何宜可ニ計申ニ且可レ相ニ守ト部輩ニ者予申云早可ニ相守ニ候○南溟按守字可作尋歟神祇官神體爲ニ神木ニ之條勿論歟伯申條不審又須ニ直作ニ正殿ニ也其故者神體御座之時先作ニ假殿ニ奉レ移ニ神體ニ之後有ニ正殿造營ニ於ニ此度ニ者神體已紛失假殿无ニ其詮ニ雖ニ片時ニ可レ急ニ正殿ニ也者云々注云有ニ假殿造營ニ之由見レ奥（正和二年

神名帳考證一

延喜式卷第九之一

神名上（宮中 京中 五畿內 東海道）

天神地祇惣テ三千一百三十二座

社二千八百六十一處

前二百七十一座

大四百九十二座

三百四座（並預二祈年月次新嘗等ノ祭之案上ノ官幣ニ就中七十一座預二相嘗祭一）

小二千六百四十座

一百八十八座（並預二祈年國幣一）

四百三十三座（並預二祈年案下官幣一）

二千二百七座（並預二祈年國幣一）

原本此間ニ神名帳ノ事社數ノ事神社ニ係レル事何クレトナキ考證ドモ細字モテ書イレアリテ大カタ伴氏ノ補ヒナリサレド所セク煩ラハシケレバ今ハ別ニ書キヨメテ猶ヒロク增補シテコレ一部ノ首卷トス

因云每卷緖墨モテ書イレタルハ皆春村ガ增補ナリ但シ長文ニシテ書入ガタキハ別ニ附考ノ卷ヲ添タリ（按者云緖書ハ本集ニハ補又ハ補遺ヲ以テ之ヲ示シ補ノ後ニ原文ヲ連ヌル時ハ○ヲ以テ兩者ヲ區別セリ）

天保十五年甲辰六月卅日　藤原春村

宮中神卅六座

○信友按ニ大卅座小六座アリ主水司坐神マデ三十六座也（三實）貞觀元年正月廿七日ノ度ニ神祇官ノ諸神卅二柱ニ位階ヲ授奉ラレタルニ大宮賣神御食津神事代主神鳴雷神ノ四柱ノミ其事見エズ故アル事ニカモシクハ右ノ四神ハ貞觀元年ヨリ後延喜ノ頃ナドニ宮中ニ祭ラレタルユヱニ貞觀元年ノ度ニ其事ナカリシニヤナホ考ベキ也但高倍神ニハ同年ノ三月廿日ニ從五位下ヲ授玉ヘリ

補「紀略」天慶四年十二月十五日奉レ授二神祇官神左京職宮內省攝津國凡十七所階級一

伊都伎島神社……六五二
尾張大國靈神社……六五四
犬上明神……六五四
春日末社香爐……六五五
安須波神を祭る圖……六五六
八所御靈……六五六
五條天神……六五九
清瀧社……六六〇
新羅大明神……六六〇
由伎明神……六六一
粟田宮……六六一
鞠神……六六一
三十番神……六六一
龜神……六七一
妙見八星神……六七一
金神……六七一
金劔宮……六七一
三嶋大明神隨身木像縮圖……六七一
北野宰相殿……六七二
管粥神事……六七三
御靈社……六七三
野木宮……六七四
大平權現……六七五
氏家今宮明神棟札……六七五
大前神社大黑天木像……六七六
かさまの神……六七六

六十九……自六一〇至六一四
對馬島二十九座……六一〇
式外舊社一座……六一四

神名帳考證土代附考

目錄

八神殿事……六一七
宇治離宮……六一七
住吉神社……六一八
現人神……六一九
三輪社神並由來……六一九
石清水……六一九
祇園鬪亂之事……六二二
江尻大明神……六二三
都農神社……六二三
稻荷神影……六二四
譽田八幡宮……六二五
當宗神社……六二六
蜂社……六二六
美保神社一年神主事……六二七
靜權現窟……六二八
宗像社……六二八
大宮賣神像……六二八
野見宿禰命像……六二九
大鳥美波比神社……六二九
吉野水分神社……六三〇
住吉神寶曲玉圖　椎尾八幡宮曲玉圖……六三一
神祇官町圖……六三三
建部神社神事再興事……六三四
勝呂神社……六三五
石神社……六三六
椿大神社……六三六
水無神社地圖幷祭禮之事……六四〇
八幡明神祭禮之事……六四三
神社を古曾と云事……六四五
東大寺八幡宮轉害會圖……六四六
同翳幷神供圖……六四八
高野御子神靈威之事……六四九
石屋神社幷磤馭慮嶋地圖附天地大神宮……
神事……六五一

淡路國十三座……五四五
五十五　南海道第三……自五四七 至五五四
阿波國五十座……五四七
式外舊社四座……五五四
五十六　南海道第四……自五五四 至五六一
讃岐國廿四座……五五四
式外舊社十一座……五六一
五十七　南海道第五……自五六二 至五六七
伊豫國廿四座……五六二
式外舊社十座……五六七
五十八　南海道第六……自五六八 至五七四
土佐國廿一座……五六八
式外舊社十六座……五七三
五十九　西海道第一……自五七四 至五八五
筑前國十九座……五七四
式外舊社九座……五八〇
六十　西海道第二……自五八五 至五八七
筑後國四座……五八五
式外舊社一座……五八七
六十一　西海道第三……自五八八 至五九三
豐前國八座……五八八
式外舊社一座……五九三
六十二　西海道第四……自五九三 至五九六
豐後國六座……五九三
六十三　西海道第五……自五九六 至五九九
肥前國四座……五九六
式外舊社十九座……五九七
六十四　西海道第六……自五九九 至六〇一
肥後國四座……五九九
式外舊社二座……六〇一
六十五　西海道第七……自六〇二 至六〇三
日向國四座……六〇二
式外舊社一座……六〇三
六十六　西海道第八……自六〇三 至六〇四
大隅國五座……六〇三
六十七　西海道第九……自六〇五 至六〇六
薩摩國二座……六〇五
式外舊社七座……六〇六
六十八　……自六〇七 至六〇九
壹岐島廿四座……六〇七

四十一 山陰道第五……自四七三至四七五 四七三
伯耆國六座……四七三
式外舊社十座……四七四
四十二 山陰道第六……自四七五至四九六 四七五
出雲國一百八十七座……四七五
式外舊社三座……四九六
四十三 山陰道第七……自四九六至五〇一 四九六
石見國卅四座……四九六
式外舊社六座……五〇〇
四十四 山陰道第八……自五〇一至五〇五 五〇一
隱岐國十六座……五〇一
式外舊社三座……五〇四
四十五 山陽道第一……自五〇六至五一二 五〇六
播磨國五十座……五〇六
式外舊社九座……五一一
四十六 山陽道第二……自五一三至五一五 五一三
美作國十一座……五一三
式外舊社四座……五一五
四十七 山陽道第三……自五一六至五一九 五一六
備前國廿六座……五一六
式外舊社三座……五一八
四十八 山陽道第四……自五一九至五二二 五一九
備中國十八座……五一九
式外舊社一座……五二二
四十九 山陽道第五……自五二三至五二五 五二三
備後國十七座……五二三
式外舊社六座……五二四
五十 山陽道第六……自五二六至五二七 五二六
安藝國三座……五二六
式外舊社十一座……五二七
五十一 山陽道第七……自五二八至五三一 五二八
周防國十座……五二八
式外舊社七座……五三〇
五十二 山陽道第八……自五三一至五三二 五三一
長門國五座……五三一
式外舊社八座……五三二
五十三 南海道第一……自五三三至五四四 五三三
紀伊國三十一座……五三三
式外舊社十座……五四三
五十四 南海道第二……自五四五至五四六 五四五

式外舊社六座……三四七

廿七　東山道第六……自三四八 至三五五

下野國十一座……三四八

式外舊社六座……三五四

廿八　東山道第七……自三五六 至三七九

陸奥國一百座……三五六

式外舊社十三座……三七七

廿九　東山道第八……自三七九 至三八三

出羽國九座……三七九

式外舊社六座……三八三

三十　北陸道第一……自三八四 至三八七

若狹國四十二座……三八四

三十一　北陸道第二……自三八八 至四〇〇

越前國一百廿六座……三八八

式外舊社六座……四〇〇

三十二　北陸道第三……自四〇一 至四〇五

加賀國四十二座……四〇一

式外舊社四座……四〇五

三十三　北陸道第四……自四〇六 至四一一

能登國四十三座……四〇六

式外舊社二座……四一一

三十四　北陸道第五……自四一一 至四一六

越中國卅四座……四一一

式外舊社六座……四一五

三十五　北陸道第六……自四一六 至四三〇

越後國五十六座……四一六

三十六　北陸道第七……自四三一 至四三二

佐渡國九座……四三一

式外舊社四座……四三二

三十七　山陰道第一……自四三三 至四四一

丹波國七十座……四三三

式外舊社一座……四四一

三十八　山陰道第二……自四四二 至四四八

丹後國六十五座……四四二

三十九　山陰道第三……自四四九 至四五九

但馬國一百三十一座……四四九

式外舊社四座……四五八

四十　山陰道第四……自四五九 至四七三

因幡國五十座……四五九

式外舊社八座……四七一

十三　東海道第七……自二三〇至二三五……二三〇
駿河國廿二座……二三〇
式外舊社四座……二三五
十四　東海道第八……自二三六至二五三……二三六
伊豆國九十二座……二三六
十五　東海道第九……自二五四至二五九……二五四
甲斐國廿座……二五四
式外舊社五座……二五八
十六　東海道第十……自二五九至二六三……二五九
相模國十三座……二五九
式外舊社三座……二六三
十七　東海道第十一……自二六四至二七四……二六四
武藏國四十四座……二六四
式外舊社七座……二七四
十八　東海道第十二……自二七五至二七六……二七五
安房國六座……二七五
式外舊社二座……二七六
十九　東海道第十三……自二七七至二八〇……二七七
上總國五座……二七七
式外舊社七座……二七八

二十　東海道第十四……自二八一至二八四……二八一
下總國十一座……二八一
式外舊社一座……二八四
廿一　東海道第十五……自二八四至二九八……二八四
常陸國廿八座……二八四
式外舊社九座……二九六
廿二　東山道第一……自二九九至三二一……二九九
近江國一百五十五座……二九九
式外舊社廿二座……三一九
廿三　東山道第二……自三二二至三三〇……三二二
美濃國卅九座……三二二
式外舊社七座……三二八
廿四　東山道第三……自三三〇至三三二……三三〇
飛驒國八座……三三〇
式外舊社十座……三三二
廿五　東山道第四……自三三三至三四二……三三三
信濃國四十八座……三三三
式外舊社十四座……三四一
廿六　東山道第五……自三四三至三四六……三四三
上野國十二座……三四三

伴信友全集第一

總目錄

神名帳考證

一 …… 自一 至一一

宮中神卅六座 …… 一

京中坐神三座 …… 一一

二 畿內第一 …… 自一四 至五〇

山城國一百廿二座 …… 一四

式外舊社廿九座 …… 三八

三 畿內第二 …… 自五一 至九〇

大和國二百八十六座 …… 五一

式外舊社廿四座 …… 八八

四 畿內第三 …… 自九〇 至一〇六

河內國一百十三座 …… 九〇

式外舊社十五座 …… 一〇四

五 畿內第四 …… 自一〇六 至一一六

和泉國六十二座 …… 一〇六

式外舊社二座 …… 一一五

六 畿內第五 …… 自一一六 至一三二

攝津國七十五座 …… 一一六

式外舊社三座 …… 一三二

七 東海道第一 …… 自一三二 至一三九

伊賀國廿五座 …… 一三二

式外舊社五座 …… 一三八

八 東海道第二 …… 自一三九 至一七八

伊勢國二百五十三座 …… 一三九

式外舊社四座 …… 一七七

九 東海道第三 …… 自一七八 至一八四

志摩國三座 …… 一七八

十 東海道第四 …… 自一八四 至二〇九

尾張國一百廿一座 …… 一八四

式外舊社二座 …… 二〇八

十一 東海道第五 …… 自二〇九 至二一五

參河國廿六座 …… 二〇九

十二 東海道第六 …… 自二一六 至二三〇

遠江國六十二座 …… 二一六

式外舊社十四座 …… 二二八

を以て底本とせり。

一神名式考證土代附考は、春村氏が宮中に坐せる神を始め、諸國の大社等に傳はれる神事の儀式、或は神寶、又は口碑等により考證せしものにして、翁の著にはあらざれども、神名帳考證により附考せしものなれば、本編に收めたるなり。

明治四十年三月

伴信友全集第一

例言

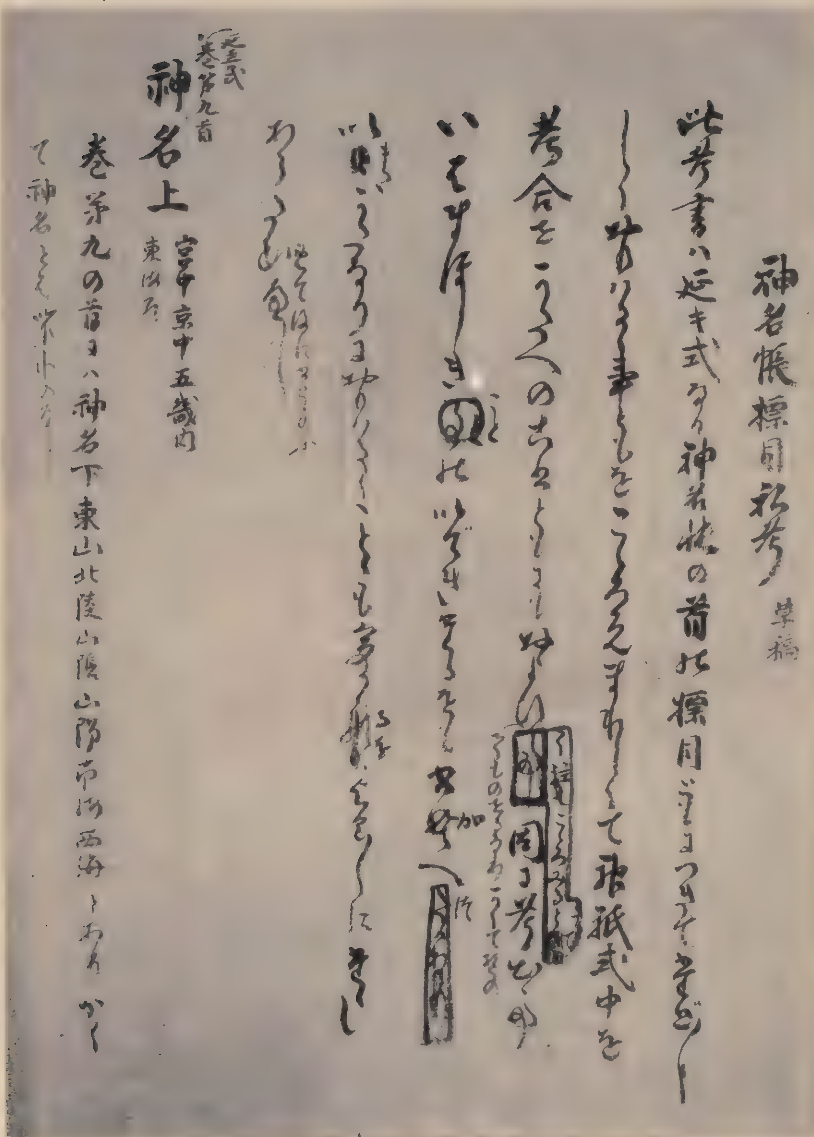
一本編は、伴信友全集の首卷として神名帳考證十四卷、神名式考證土代附考の二種を收む。

一神名帳考證は、伴翁が延喜式神名帳に諸書を參照し、式に擧げられざる國史見在の諸社をも掲げ、其祭神を始め社創立の由來、及び名稱幷に沿革等を考證せしものに黑川春村氏の補注せしものにて、享保年中度會延經の著はせる同名の書世に傳はれゝども、其内容は全く異なるものなり。

一本書中補注又は頭注と記せるものは、もとその鼇頭に書せるものなるを今便宜の爲め其處に挿入せるなり。

一本書は、翁の自筆本を春村氏謄寫校訂せる、黑川眞道氏の祕藏本

伴信友雑考草稿



静嘉堂文庫藏

伴信友全集第一